

瑞浪市介護に関する アンケート調査結果報告書

令和8（2026）年6月

瑞 浪 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	2
6	調査結果の表示方法.....	4
7	用語説明.....	4
II	調査結果.....	5
1	介護予防・日常生活支援ニーズ調査.....	5
1.	あなたのご家族や生活状況について.....	7
2.	からだを動かすことについて.....	11
3.	食えることについて.....	28
4.	毎日の生活について.....	39
5.	地域での活動について.....	65
6.	就労について.....	85
7.	たすけあいについて.....	87
8.	健康について.....	100
9.	介護が必要になった場合などについて.....	107
10.	医療等について.....	115
11.	認知症について.....	120
12.	生活機能評価等に関する分析.....	123
2	在宅介護実態調査.....	134
1.	ご家族や生活状況について.....	135
2.	介護予防・介護サービス等について.....	141
3.	主な介護者の方について.....	152
3	介護支援専門員アンケート調査.....	171
1.	あなたご自身について.....	171
2.	ケアプランの作成について.....	173
3.	業務について.....	179
4.	高齢者虐待について.....	193
5.	本市の高齢者福祉施策について.....	195
4	介護事業所アンケート調査.....	197

I 調査の概要

1 調査の目的

「第 10 期瑞浪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討する必要があります。

本調査は、計画策定のための基礎資料とするために実施したものです。

2 調査対象

介護予防・日常生活支援ニーズ調査：令和 7 年 10 月 1 日現在、65 歳以上で要介護 1 ～ 5 の認定を受けていない方から 1,000 人に調査（無作為抽出）

在宅介護実態調査：令和 7 年 10 月 1 日現在、65 歳以上で要介護認定を受けており、在宅で生活されている方から 797 人に調査

介護支援専門員アンケート調査：市内居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員 44 人に調査

介護事業所アンケート調査：市内介護事業所 45 か所に調査

3 調査期間

介護予防・日常生活支援ニーズ調査：令和 7 年 12 月 10 日～令和 8 年 1 月 15 日

在宅介護実態調査：令和 7 年 12 月 10 日～令和 8 年 1 月 15 日

介護支援専門員アンケート調査：令和 7 年 11 月 13 日～令和 7 年 12 月 15 日

介護事業所アンケート調査：令和 7 年 11 月 20 日～令和 7 年 12 月 15 日

4 調査方法

介護予防・日常生活支援ニーズ調査：対象者へ郵便調査

在宅介護実態調査：郵送または調査員による直接聞き取りにて調査

介護支援専門員アンケート調査：介護支援専門員へロゴフォームによる回答を依頼

介護事業所アンケート調査：各事業所へロゴフォームによる回答を依頼

5 回収状況

調査名	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活支援ニーズ調査	1,000通	708通	70.8%
在宅介護実態調査	797通	552通	69.3%
介護支援専門員アンケート調査	44通	42通	95.5%
介護事業所アンケート調査	45通	35通	77.8%

(1) 介護予防・日常生活支援ニーズ調査 年齢・地域別の状況

単位：上段 人、下段 %

	合計	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 ～ 94 歳	95 ～ 99 歳	100 歳 以上	年齢無 回答
市全域	708 100.0	176 24.9	163 23.0	168 23.7	114 16.1	64 9.0	16 2.3	2 0.3	- -	5 0.7
瑞浪地区	263 100.0	74 28.1	61 23.2	67 25.5	36 13.7	21 8.0	2 0.8	1 0.4	- -	1 0.4
稲津地区	70 100.0	25 35.7	11 15.7	18 25.7	12 17.1	3 4.3	1 1.4	- -	- -	- -
陶地区	83 100.0	17 20.5	21 25.3	17 20.5	16 19.3	8 9.6	4 4.8	- -	- -	- -
土岐地区	124 100.0	26 21.0	37 29.8	20 16.1	20 16.1	14 11.3	5 4.0	- -	- -	2 1.6
明世地区	32 100.0	3 9.4	14 43.8	6 18.8	5 15.6	3 9.4	- -	1 3.1	- -	- -
釜戸地区	67 100.0	17 25.4	8 11.9	22 32.8	10 14.9	8 11.9	2 3.0	- -	- -	- -
大湫地区	10 100.0	1 10.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	- -	- -	- -	- -	- -
日吉地区	55 100.0	12 21.8	9 16.4	14 25.5	12 21.8	6 10.9	2 3.6	- -	- -	- -
瑞浪南部圏域	416 100.0	116 27.9	93 22.4	102 24.5	64 15.4	32 7.7	7 1.7	1 0.2	- -	1 0.2
瑞浪北部圏域	288 100.0	59 20.5	70 24.3	66 22.9	50 17.4	31 10.8	9 3.1	1 0.3	- -	2 0.7
居住地区 無回答	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	2 50.0

(2) 在宅介護実態調査 年齢・地域別の状況

単位：上段 人、下段 %

	合計	64歳以下	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80 ～ 84歳	85歳以上	年齢無回答
市全域	552	5	13	39	63	143	289	-
	100.0	0.9	2.4	7.1	11.4	25.9	52.4	-
瑞浪地区	197	2	4	13	30	52	96	-
	100.0	1.0	2.0	6.6	15.2	26.4	48.7	-
稲津地区	98	1	-	5	13	28	51	-
	100.0	1.0	-	5.1	13.3	28.6	52.0	-
陶地区	64	1	2	3	2	12	44	-
	100.0	1.6	3.1	4.7	3.1	18.8	68.8	-
土岐地区	71	-	2	8	8	22	31	-
	100.0	-	2.8	11.3	11.3	31.0	43.7	-
明世地区	30	1	-	2	4	6	17	-
	100.0	3.3	-	6.7	13.3	20.0	56.7	-
釜戸地区	38	-	1	4	2	9	22	-
	100.0	-	2.6	10.5	5.3	23.7	57.9	-
大湫地区	3	-	-	-	-	1	2	-
	100.0	-	-	-	-	33.3	66.7	-
日吉地区	51	-	4	4	4	13	26	-
	100.0	-	7.8	7.8	7.8	25.5	51.0	-
瑞浪南部圏域	332	3	8	24	40	86	171	-
	100.0	0.9	2.4	7.2	12.0	25.9	51.5	-
瑞浪北部圏域	220	2	5	15	23	57	118	-
	100.0	0.9	2.3	6.8	10.5	25.9	53.6	-
居住地区 無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

7 用語説明

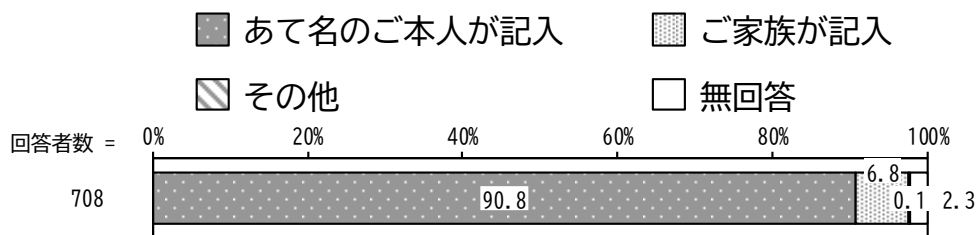
本調査結果における各用語（左欄）の意味は、それぞれ右欄のとおりです。

圏域	日常生活圏として市内を2つの地域に分けたもの。瑞浪地区、稲津町、陶町（瑞浪中学校及び瑞浪南中学校区）を南部圏域、土岐町、明世町、釜戸町、大湫町、日吉町（瑞浪北中学校区）を北部圏域としています。
タイプ別	「活動タイプ別分類」の略称。加齢に伴い社会的なつながり等が弱くなった状態の予防に取り組み、その進行を緩め心身ともに健康な状態に戻すことを目的として分類する指標。本調査では、問12「週に1回以上は外出していますか。」の回答より「在宅志向型」・「外出指向型」を判定し、問44「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。」の回答より「社交的」・「内向的」を判定しています。
在宅指向型 社交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な社交的志向があるタイプのこと。想定される事業の方向性としては、介護予防事業、サロンへの参加促進、ボランティア等への参加促進などが挙げられます。
在宅指向型 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強くみられるタイプのこと。想定される事業の方向性としては、介護予防など健康情報の提供、生涯学習情報の提供、在宅生活を支援するための情報提供などが挙げられます。
外出指向型 社交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、社交的志向もみられるタイプのこと。想定される事業の方向性としては、介護予防事業、サロンへの参加促進、各種事業運営者の育成支援、ボランティア等への参加促進などが挙げられます。
外出指向型 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、社交的志向はあまりみられないタイプのこと。想定される事業の方向性としては、介護予防など健康情報の提供、生涯学習情報の提供、在宅生活を支援するための情報提供などが挙げられます。
幸福度	主観的な幸福感を点数で表したもの。本調査では、問58「あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）」の回答に基づき、「4点未満」、「4～7点未満」、「7点以上」の3区分に分類し、幸福度の多い・少ないによる傾向の分析を行っています。

Ⅱ 調査結果

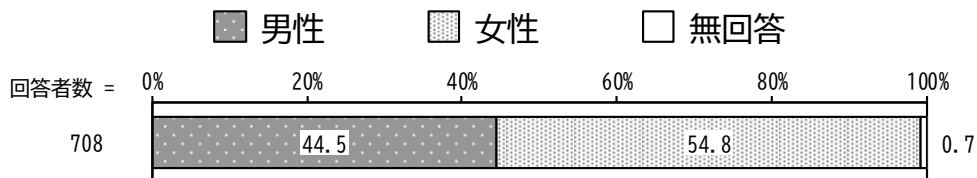
1 介護予防・日常生活支援ニーズ調査

問1 調査票を記入されるのはどなたですか。【○は1つ】

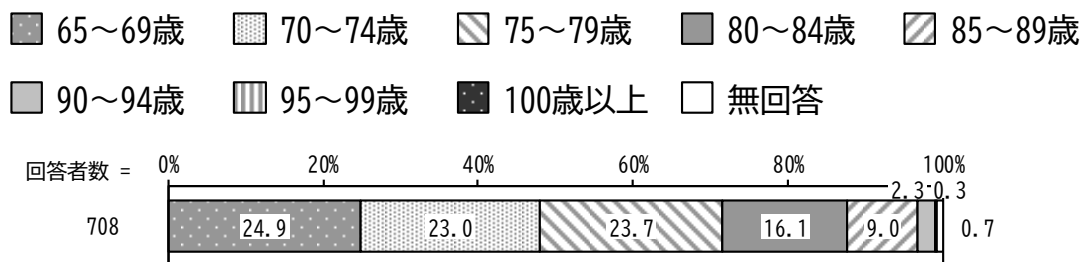


問2 あて名のご本人の情報を記入してください。

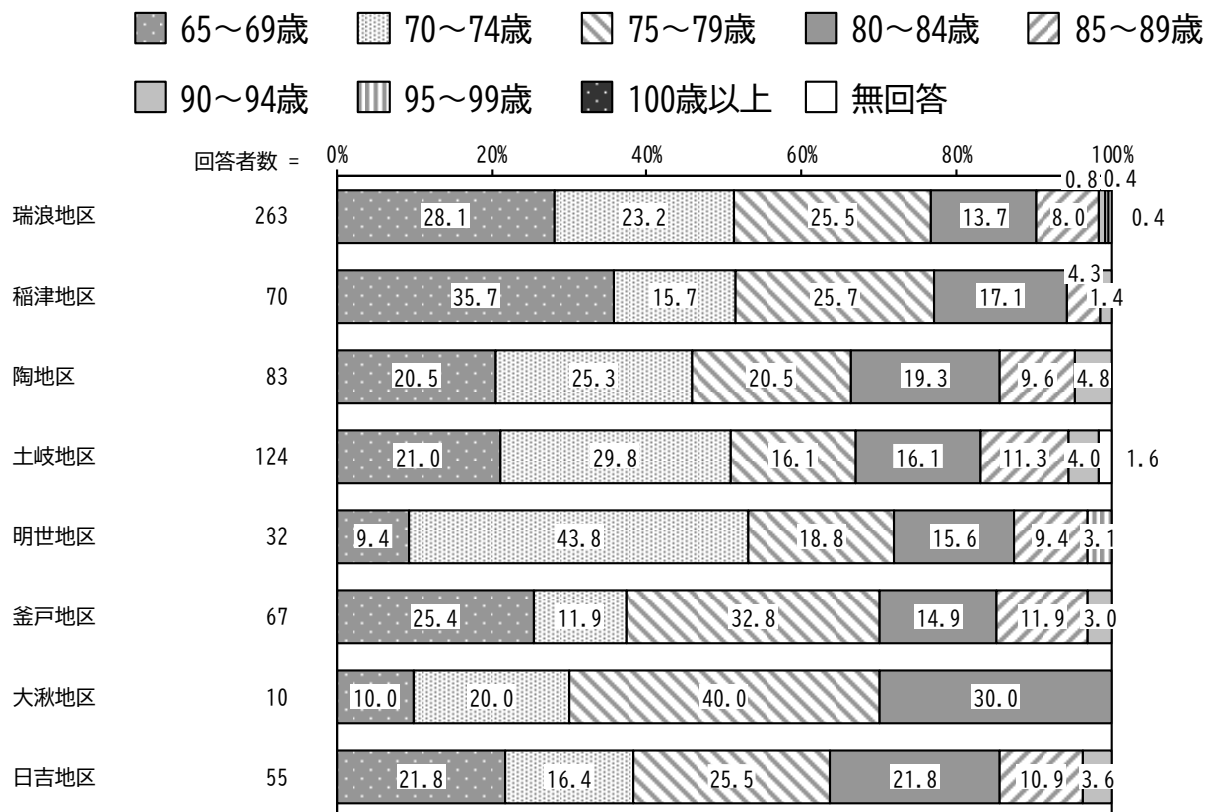
① 性別



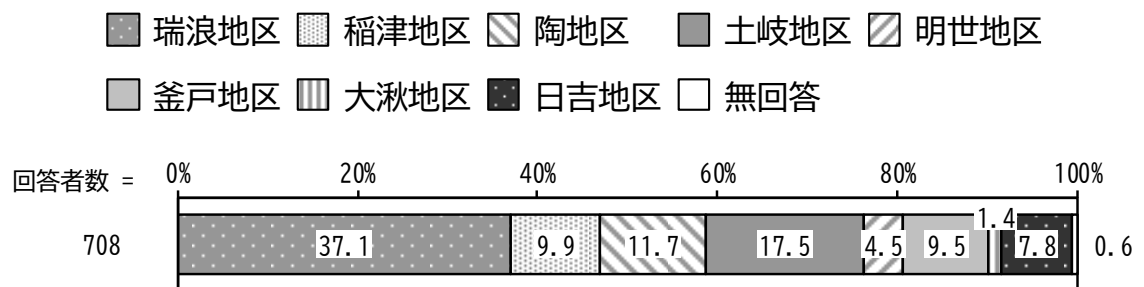
② 年齢



【地区別年齢】



③ 居住地区【〇は1つ】



④ 要介護認定の状況【〇は1つ】

「介護保険の認定を受けていない」の割合が95.2%と最も高くなっています。

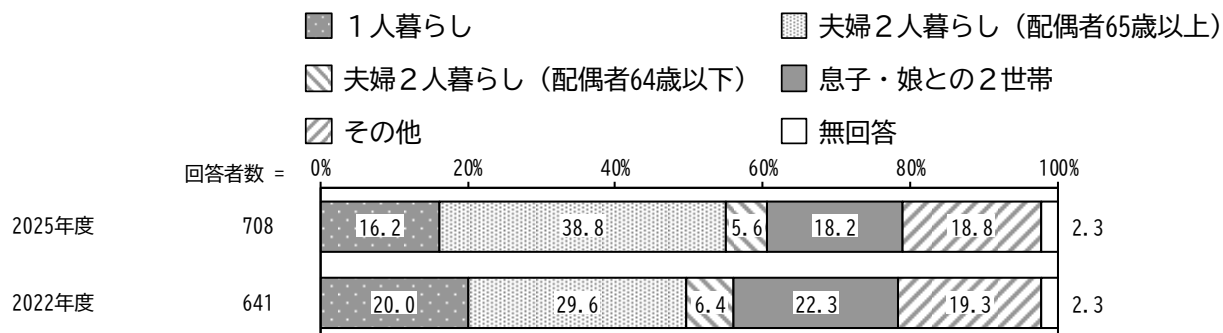


1. あなたのご家族や生活状況について

問3 家族構成をお教えてください。【〇は1つ】

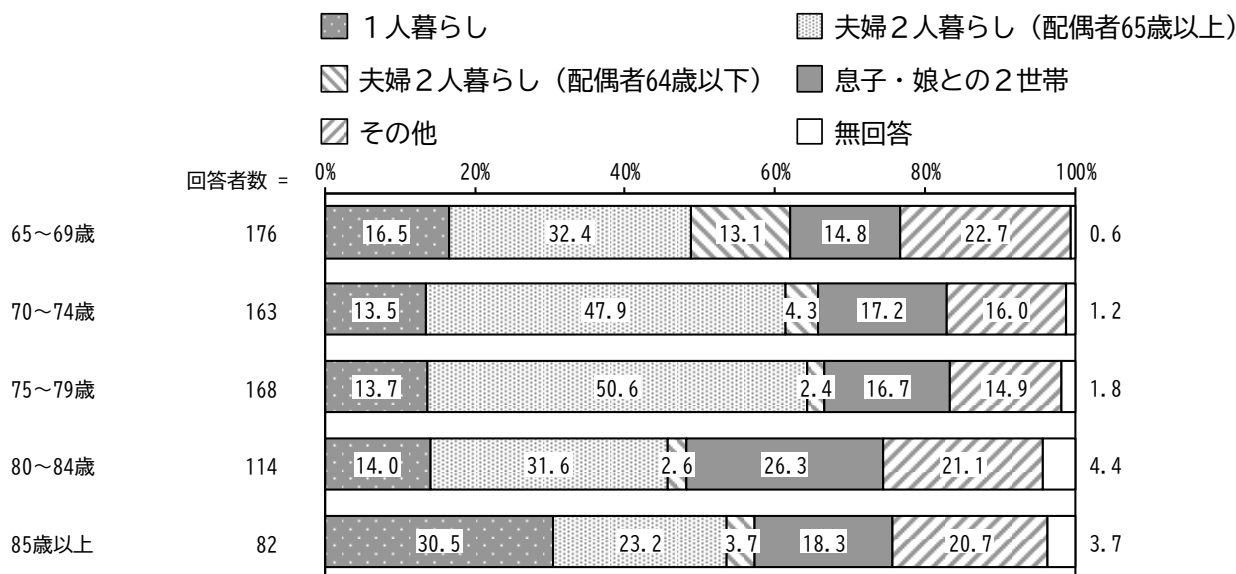
「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が 18.2%、「1人暮らし」の割合が 16.2%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が増加しています。



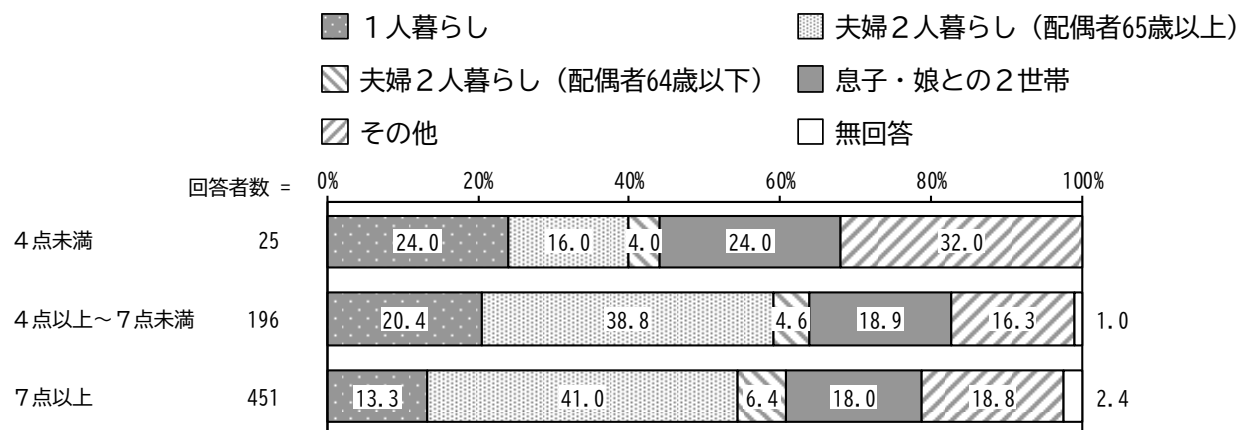
【年齢別】

年齢別にみると、85 歳以上で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

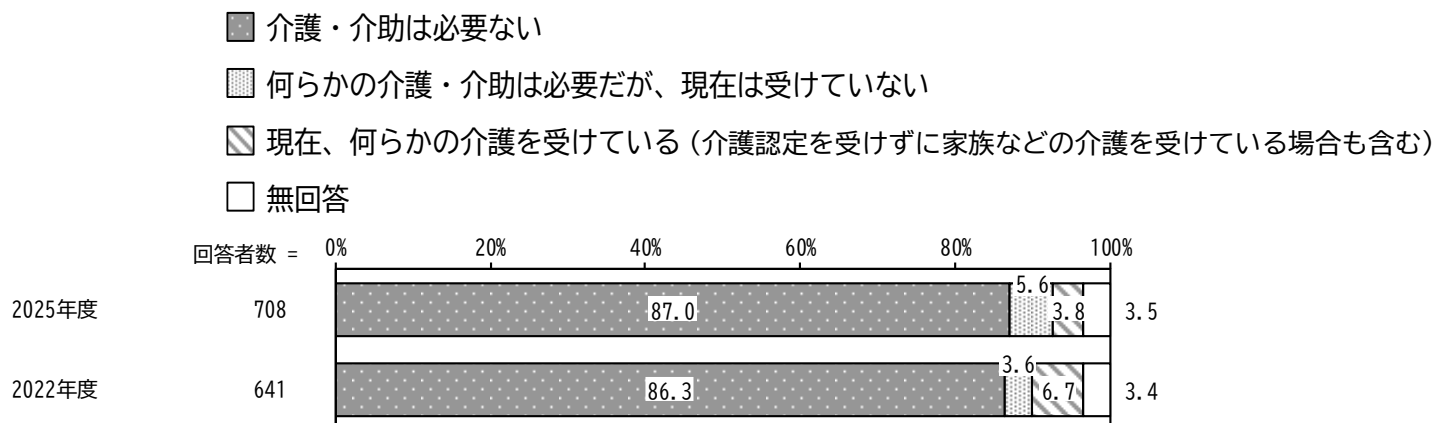
幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「1人暮らし」の割合が高く、夫婦2人暮らしの割合が低くなっています。



問4 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。【○は1つ】

「介護・介助は必要ない」の割合が 87.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が 5.6%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が 3.8%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

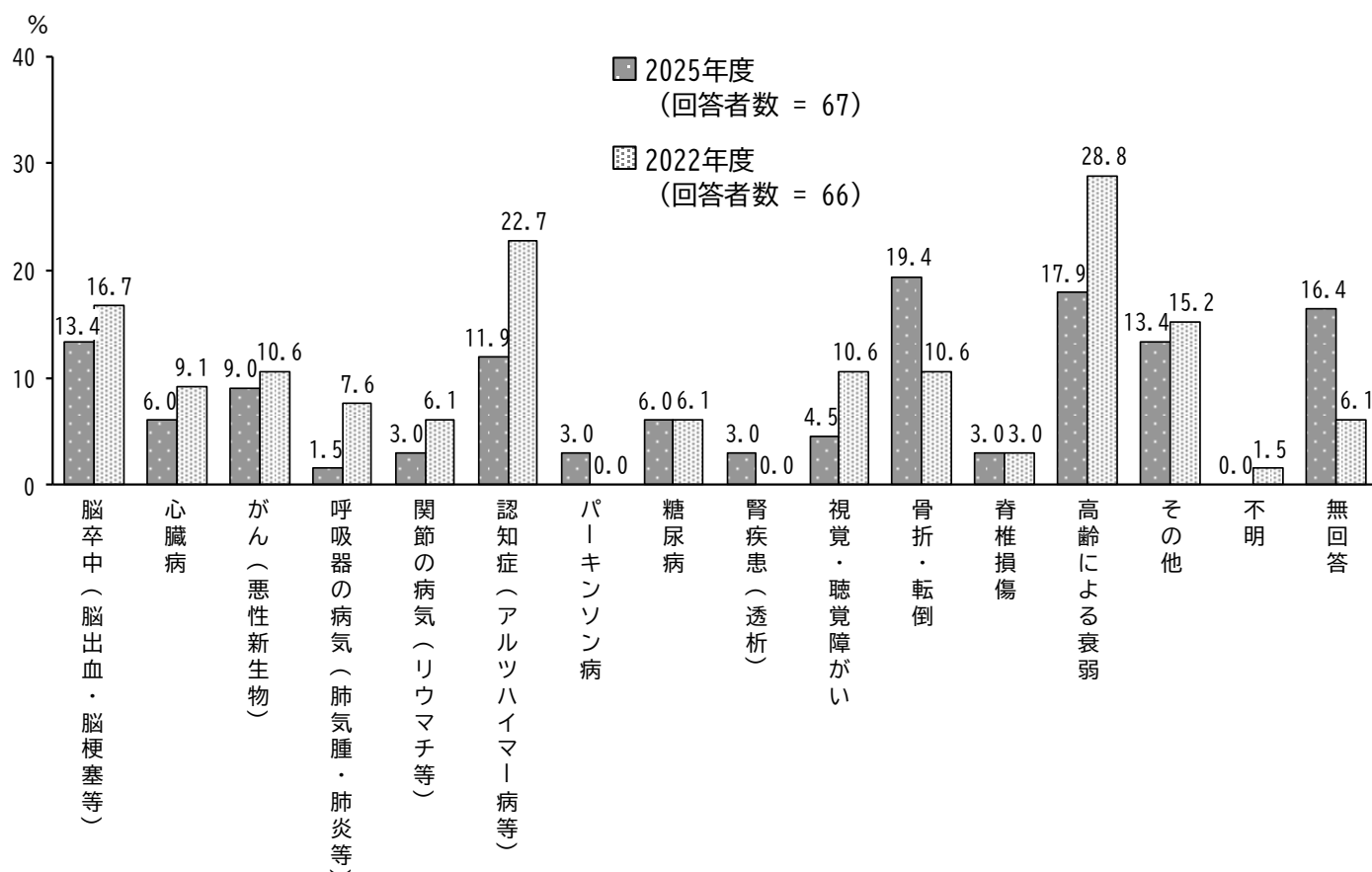


問4で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」に○をつけた方にうかがいます。

問4－1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【○はいくつでも】

「骨折・転倒」の割合が 19.4%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が 17.9%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が 13.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が増加し、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「視覚・聴覚障がい」「高齢による衰弱」の割合が減少しています。

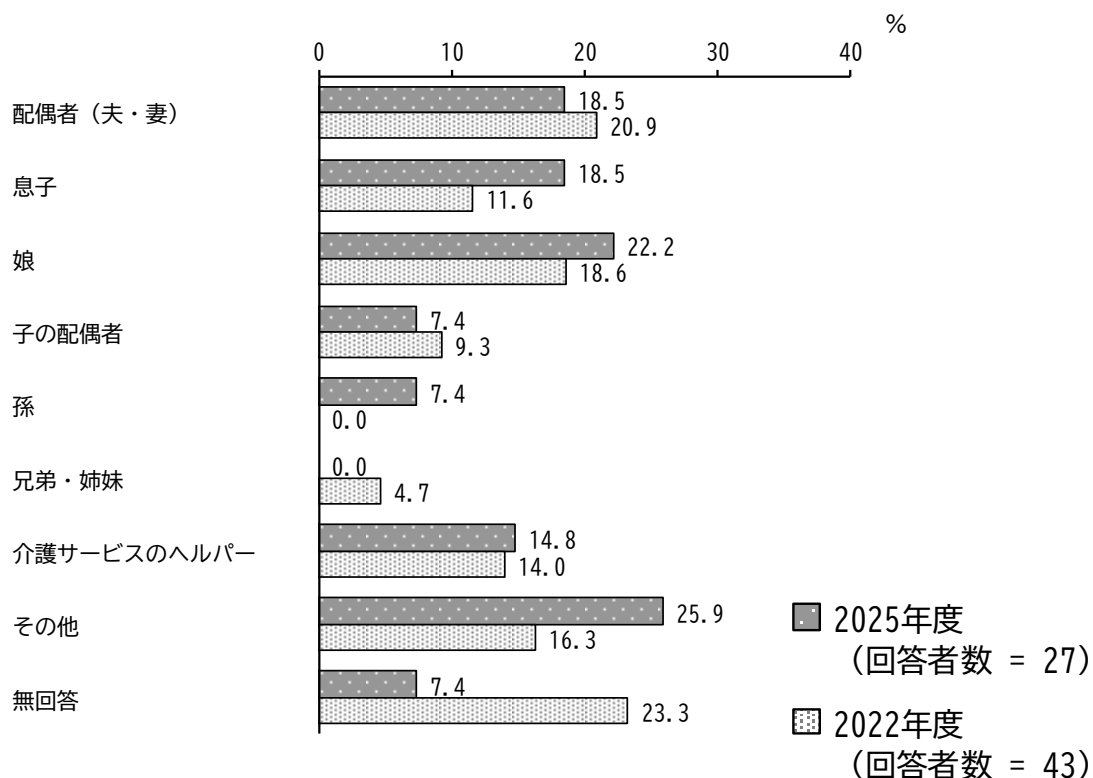


問4で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」に○をつけた方にうかがいます。

問4－2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。【○はいくつでも】

「娘」の割合が22.2%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」、「息子」の割合が18.5%となっています。

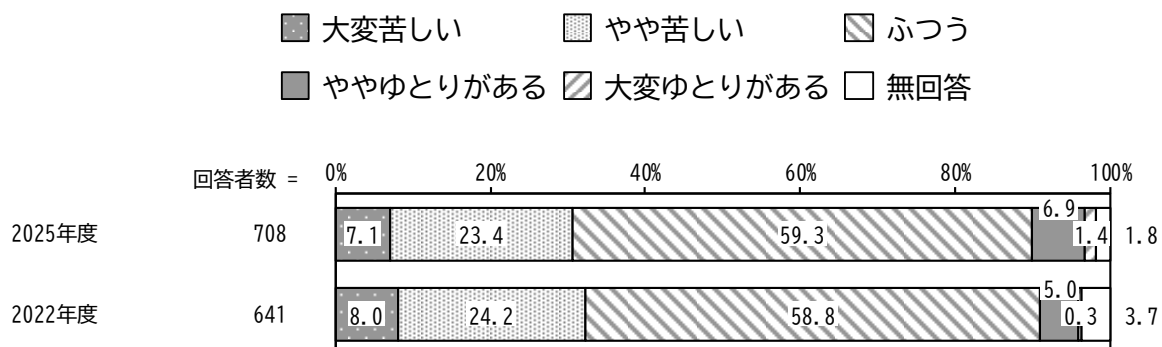
2022年度調査と比較すると、「息子」「娘」「孫」の割合が増加しています。



問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【○は1つ】

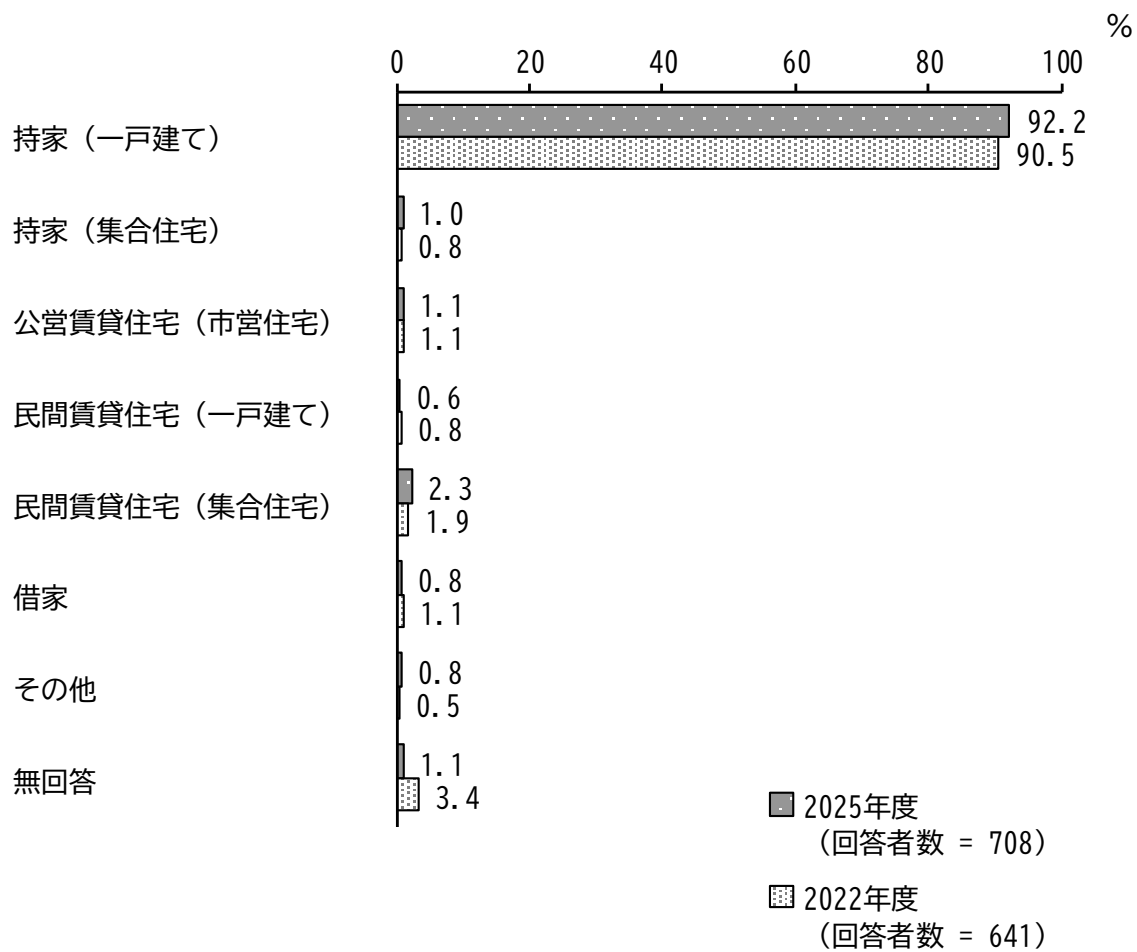
「ふつう」の割合が59.3%と大きく占めており、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が30.5%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。【○は1つ】

「持家（一戸建て）」の割合が92.2%と最も高くなっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

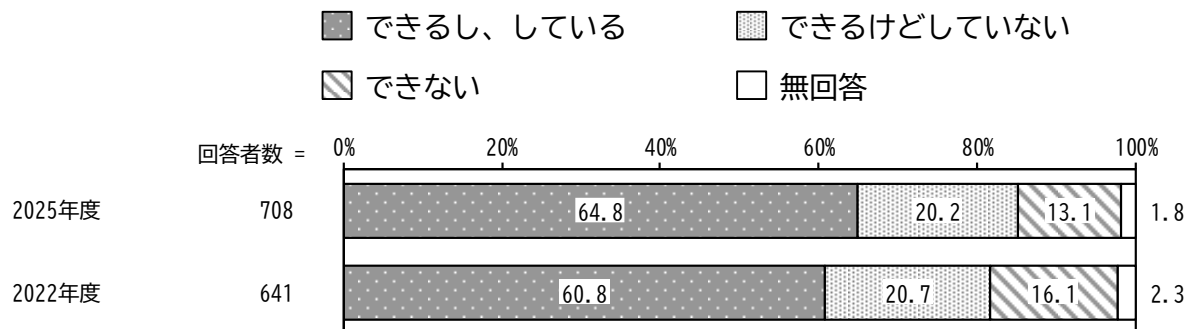


2. からだを動かすことについて

問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。【○は1つ】

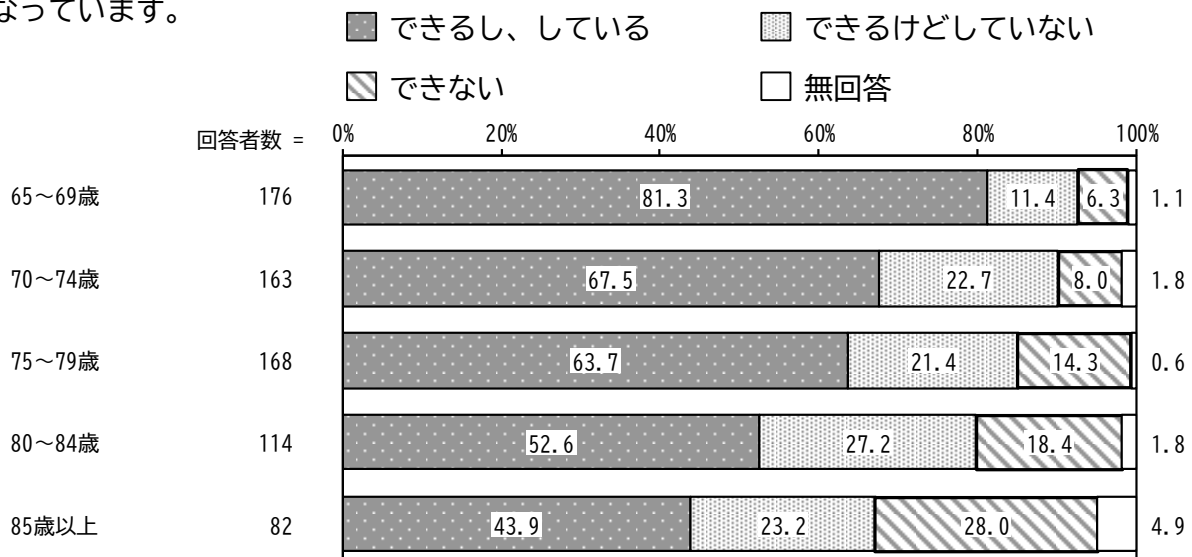
「できるし、している」の割合が 64.8%、「できるけどしていない」の割合が 20.2%、「できない」の割合が 13.1%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



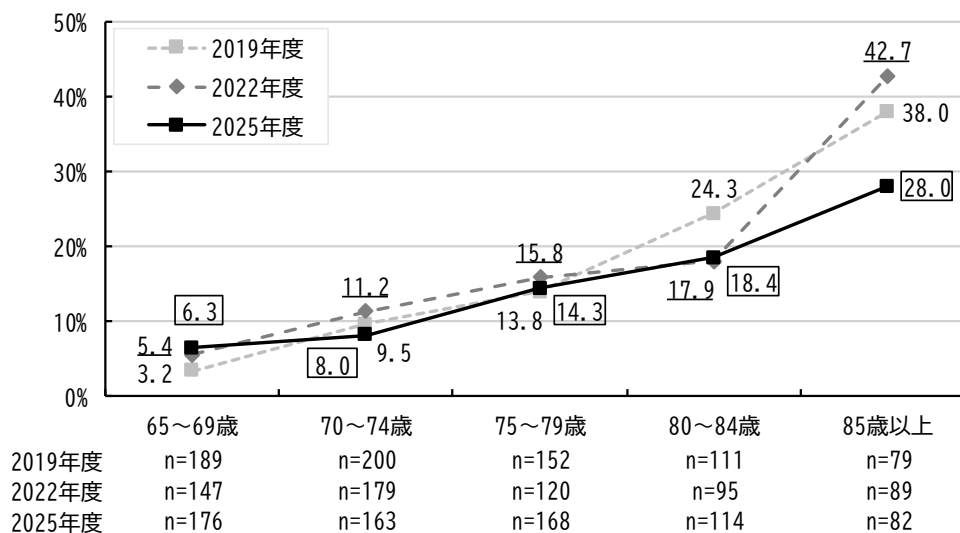
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



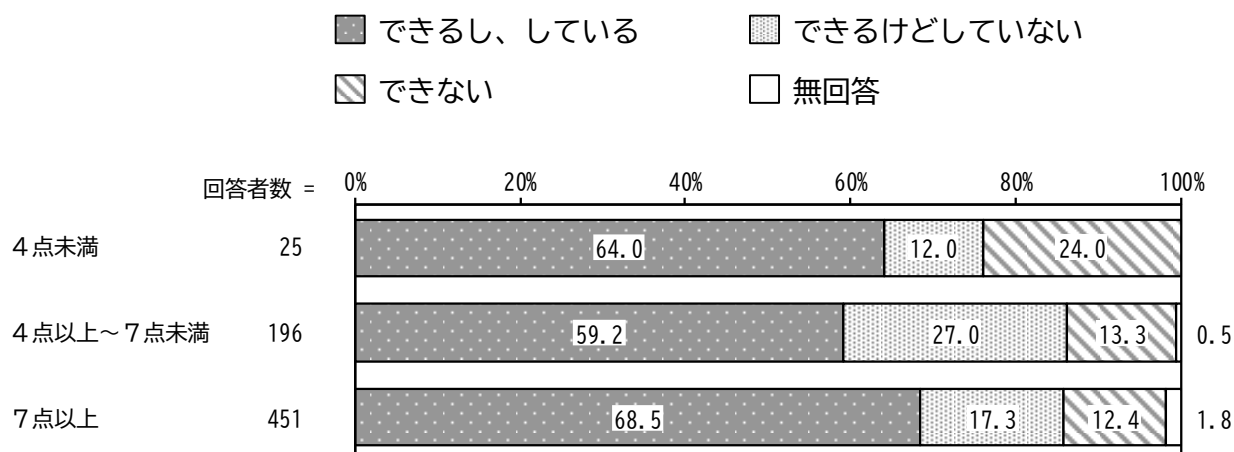
【階段昇降時に手すりや支えが必要（経年比較）】

85 歳以上で「できない」の割合が減っています。



【幸福度別】

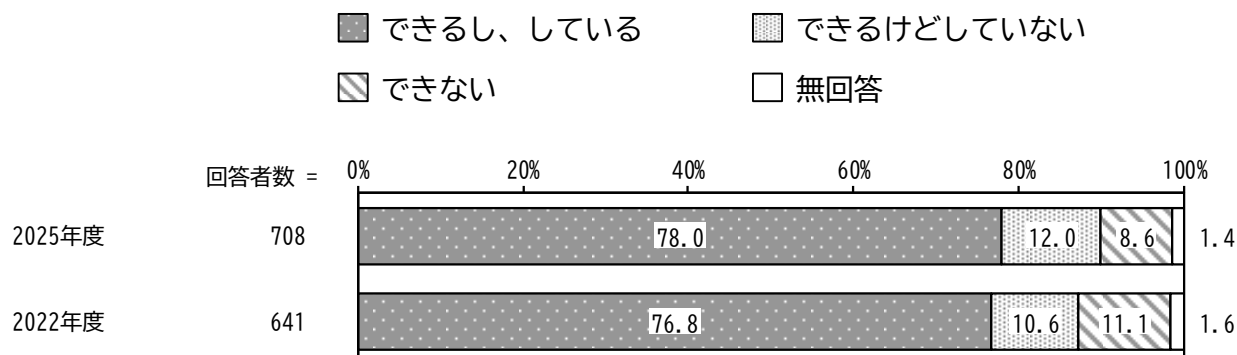
幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「できない」の割合が高くなっています。



問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。【○は1つ】

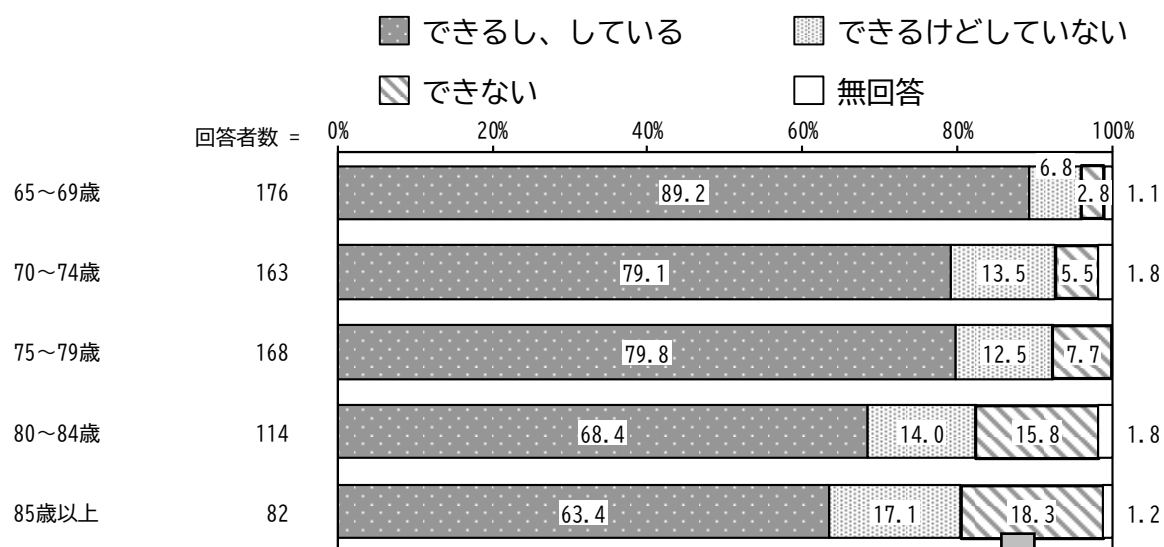
「できるし、している」の割合が 78.0%、「できるけどしていない」の割合が 12.0%、「できない」の割合が 8.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



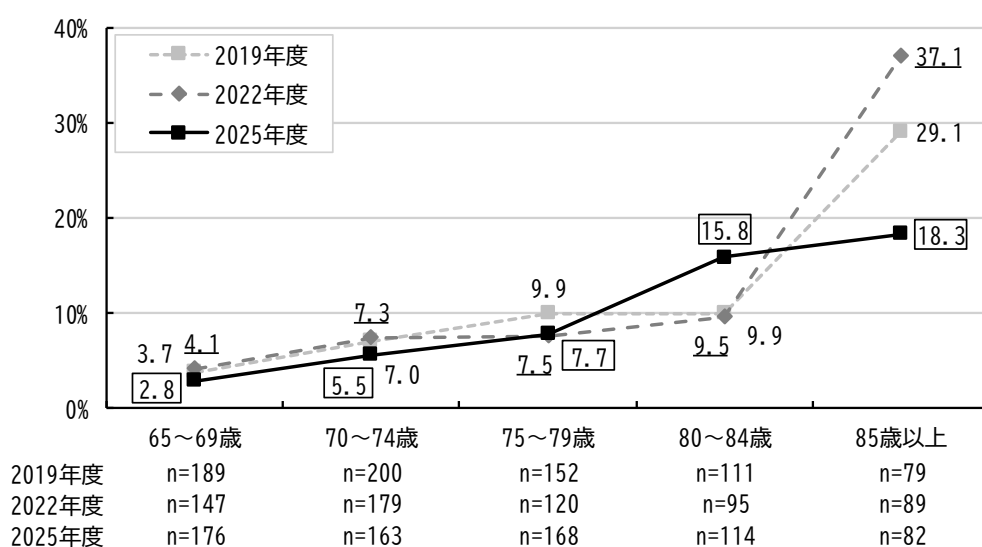
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高い傾向にあり、「できるし、している」の割合が低い傾向にあります。



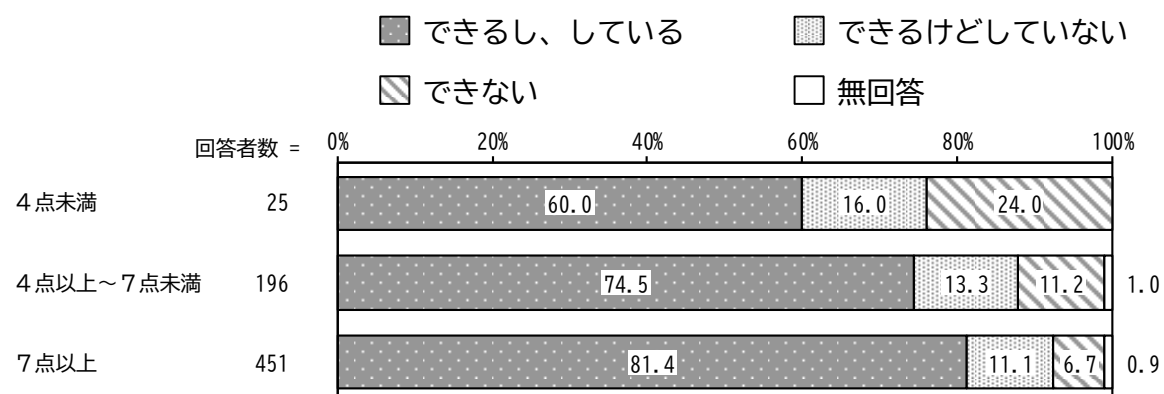
【椅子からの立ち上がりに必要な（経年比較）】

85歳以上で「できない」の割合が減っています。



【幸福度別】

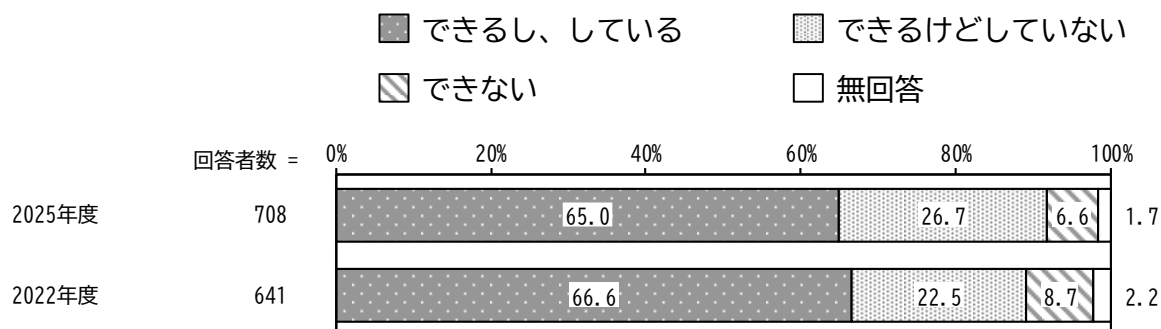
幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



問9 15分位続けて歩いていますか。【○は1つ】

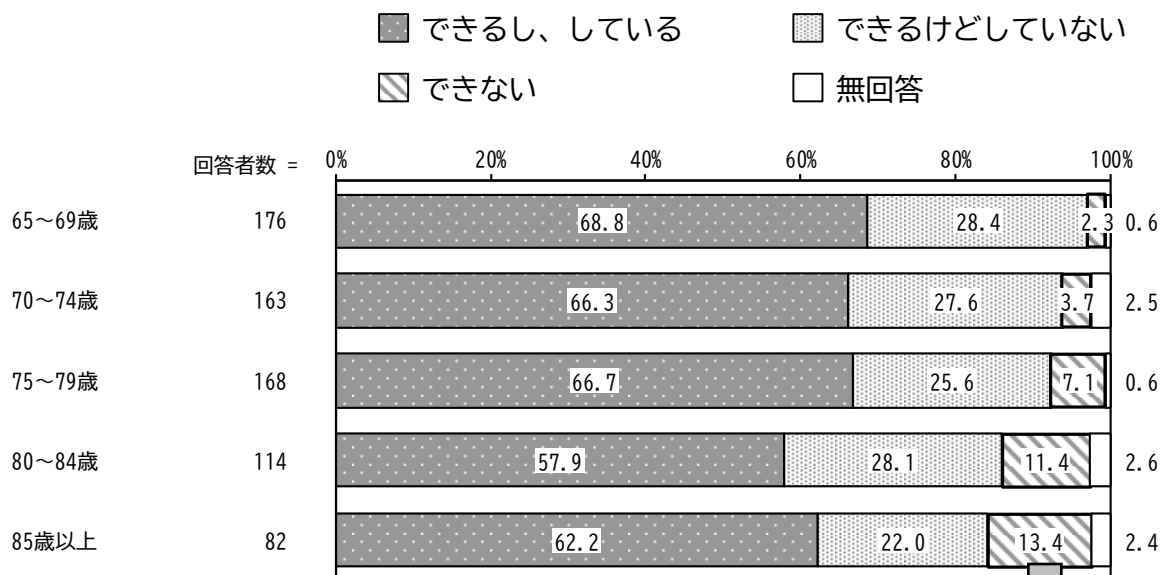
「できるし、している」の割合が 65.0%、「できるけどしていない」の割合が 26.7%、「できない」の割合が 6.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



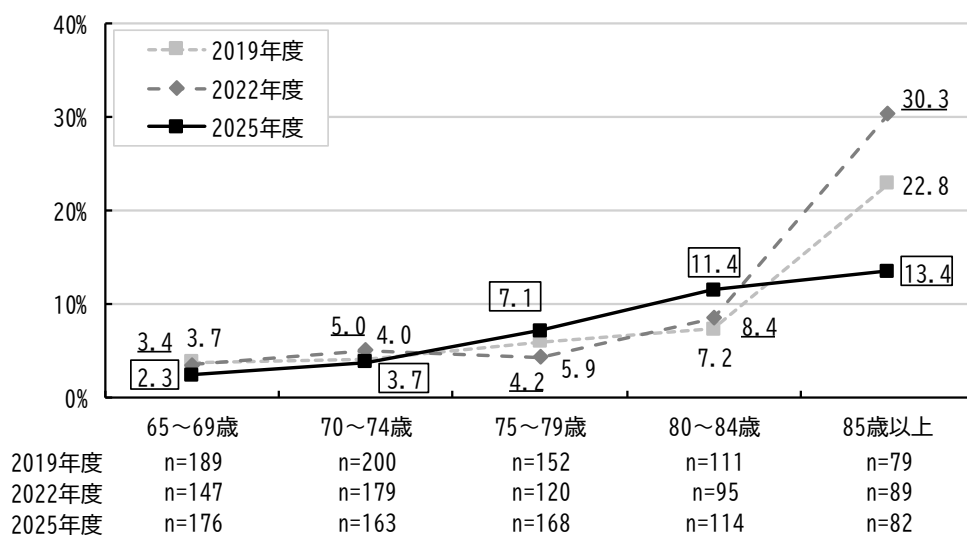
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高くなっています。



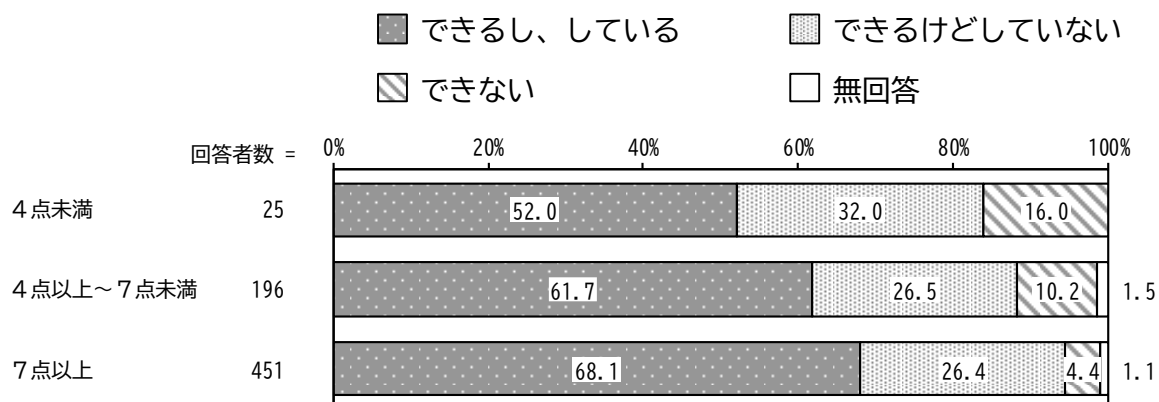
【15分連続歩行できない（経年比較）】

85歳以上で「できない」の割合が減っています。



【幸福度別】

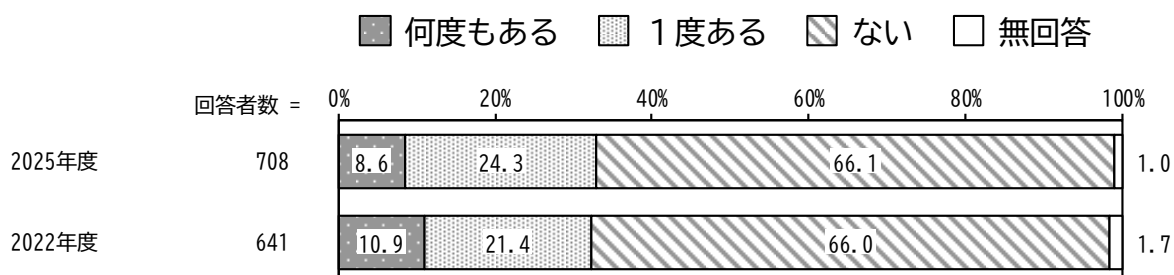
幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



問 10 過去1年間に転んだ経験がありますか。【○は1つ】

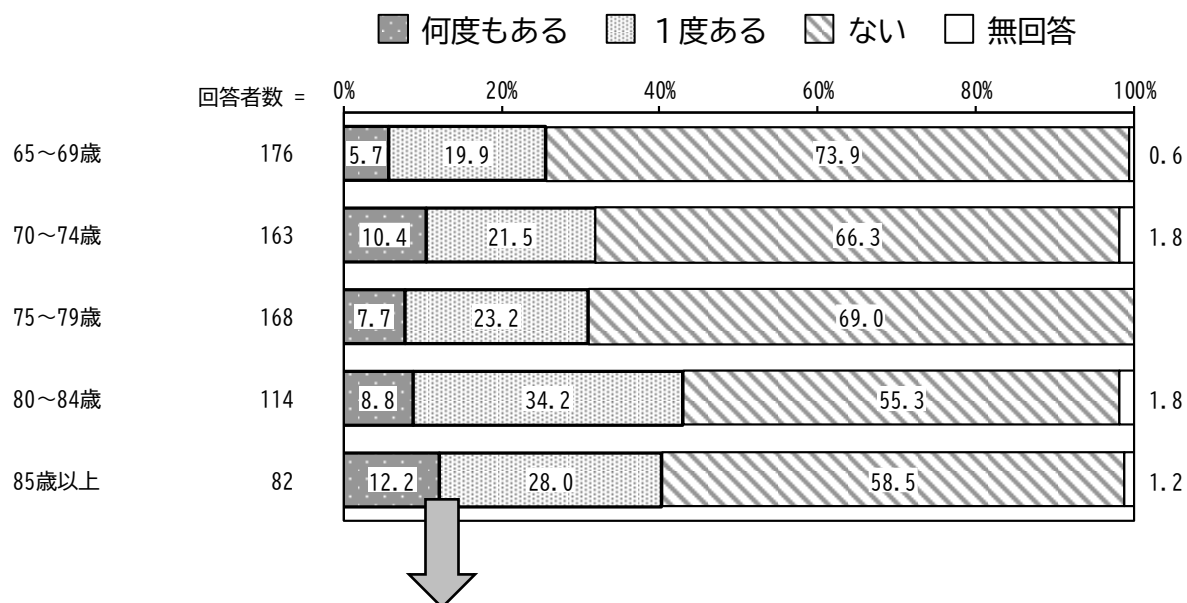
「何でもある」の割合が 8.6%、「1度ある」の割合が 24.3%、「ない」の割合が 66.1%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



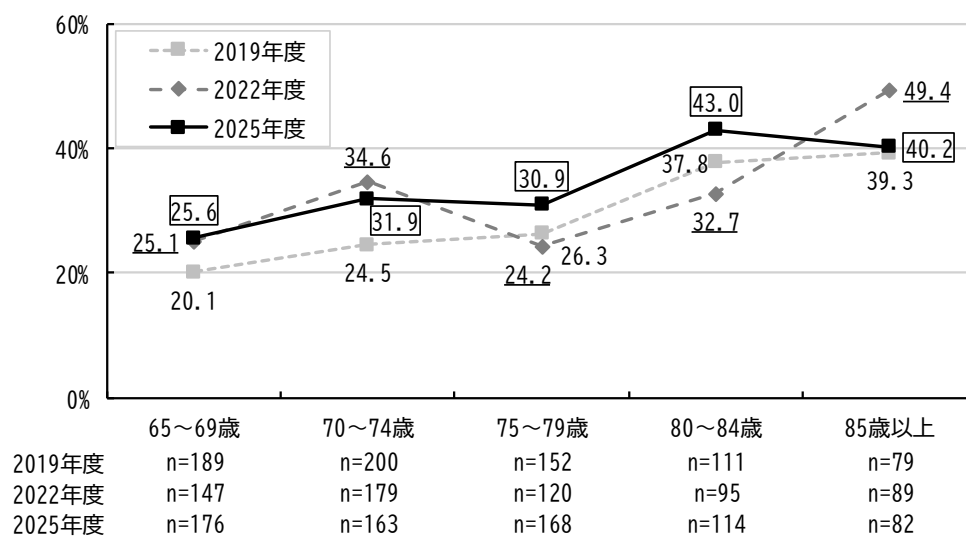
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど過去1年間に転んだ経験がある方の割合が高い傾向があります。



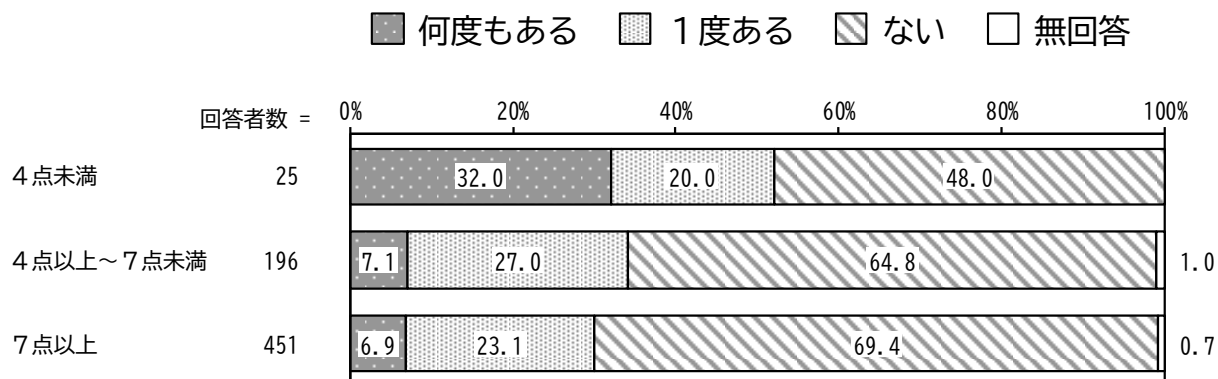
【転倒経験あり（経年比較）※「何度もある」、「1度ある」の合計】

75歳～84歳で転倒経験ありの方が増えています。



【幸福度別】

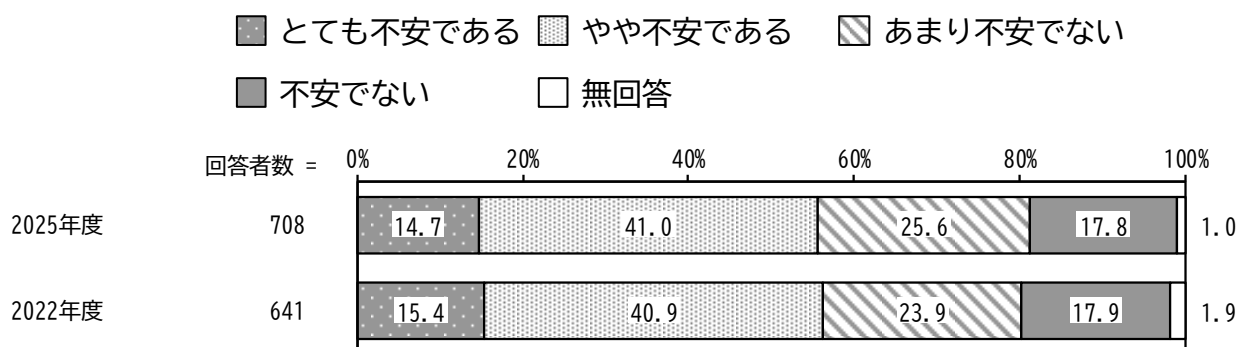
幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「ない」の割合が高く、「何度もある」の割合が低くなっています。



問 11 転倒に対する不安は大きいですか。【○は1つ】

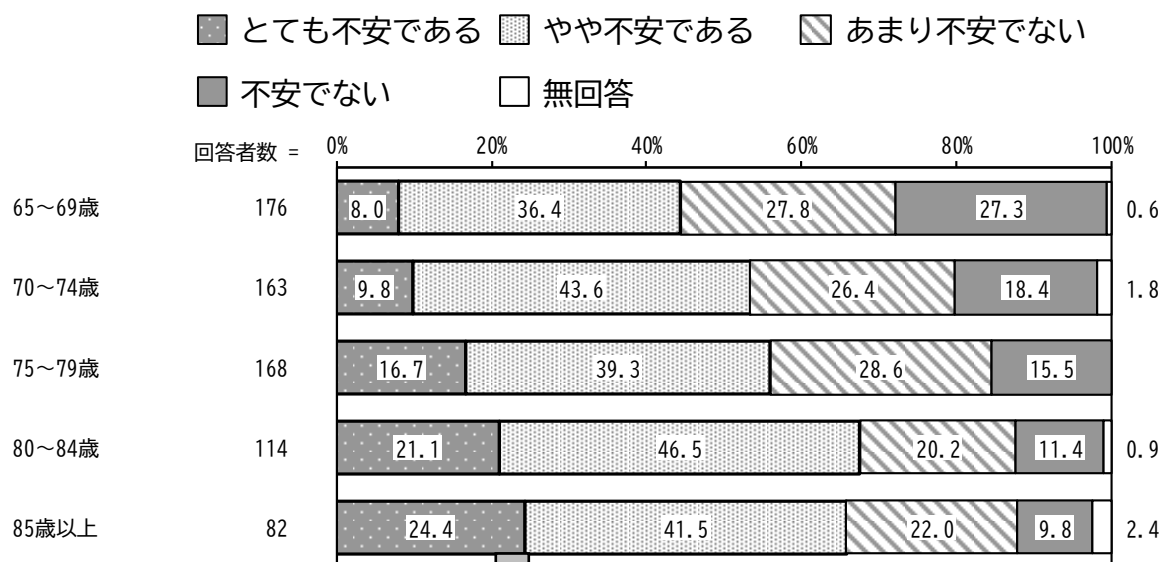
「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”の割合が 55.7%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”の割合が 43.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

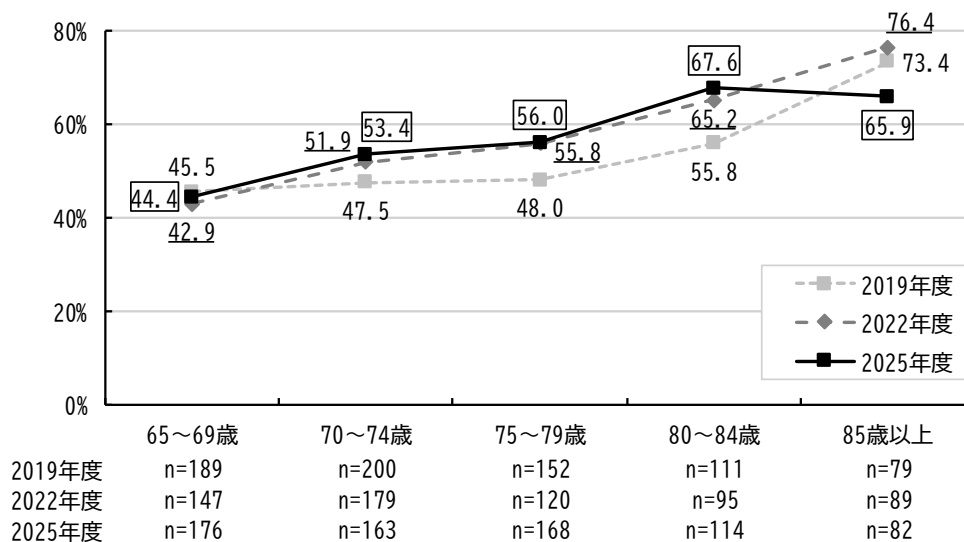


【年齢別】

年齢別にみると、概ね年齢が上がるほど“不安である”の割合が高くなっています。

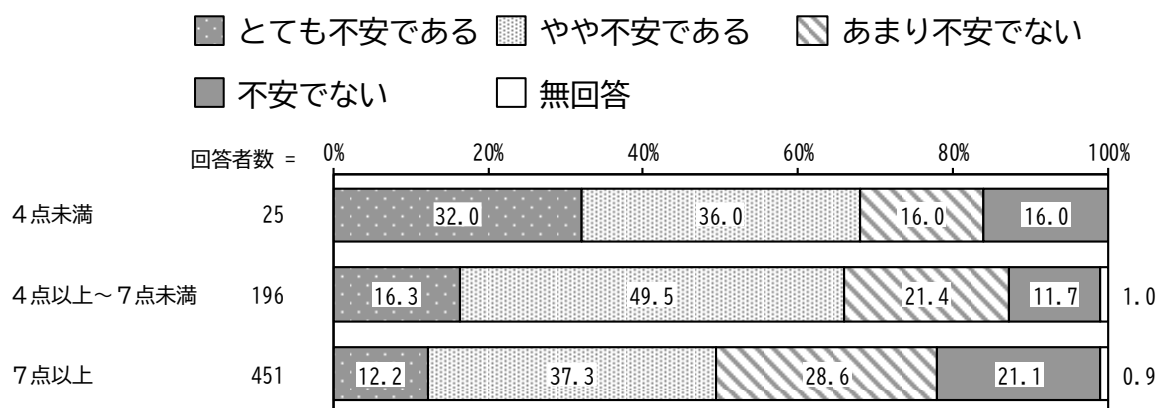


【転倒への不安感（経年比較）※「とても不安である」、「やや不安である」の合計】



【幸福度別】

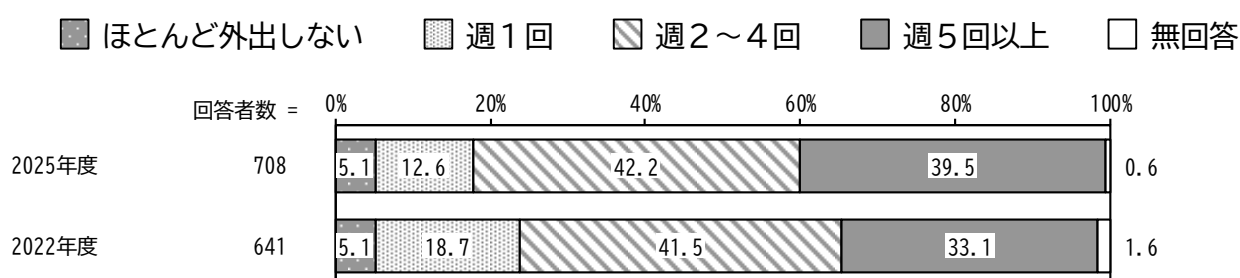
幸福度別にみると、幸福感が上がるほど“不安でない”の割合が高くなっています。また、4点未満で「とても不安である」の割合が高くなっています。



問 12 週に1回以上は外出していますか。【○は1つ】

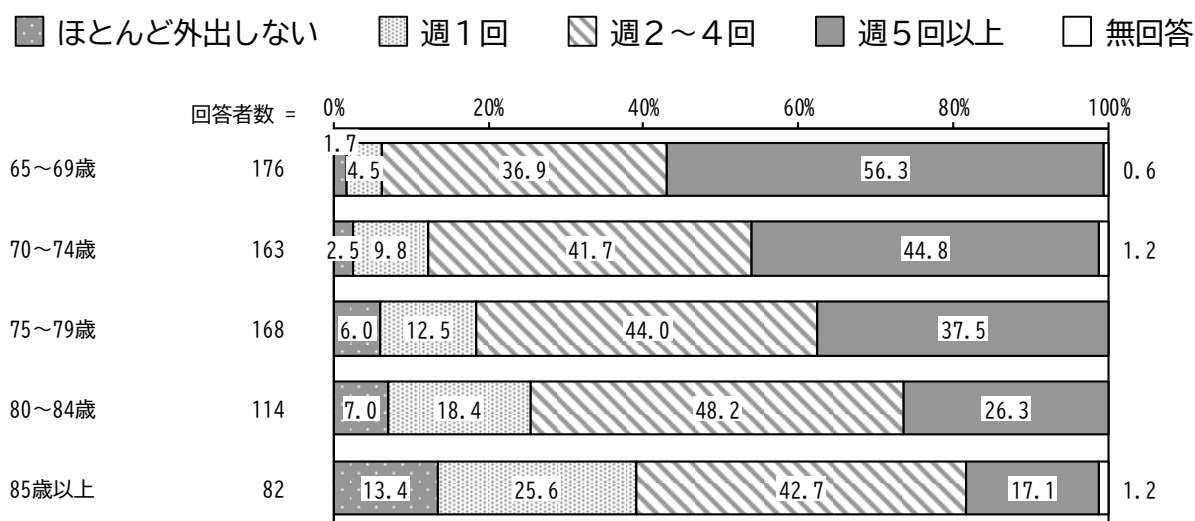
「週2～4回」の割合が42.2%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が39.5%、「週1回」の割合が12.6%となっています。

2022年度調査と比較すると、「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が減少し、週2回以上外出する方の割合が増加しています。



【年齢別】

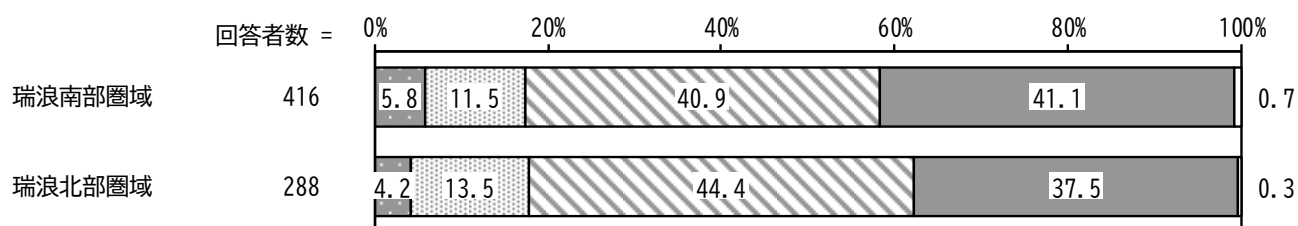
年齢別にみると、いずれの年代においても「週2～4回」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるほど「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

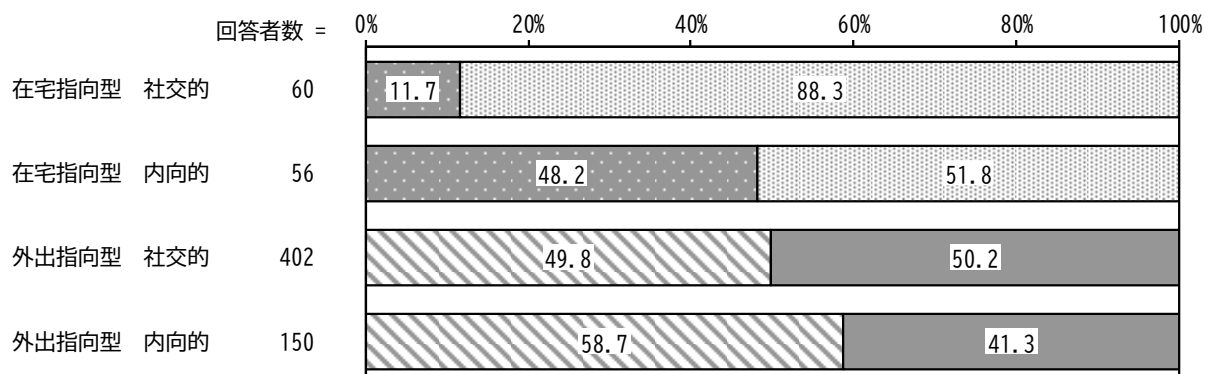
■ ほとんど外出しない ■ 週1回 ■ 週2～4回 ■ 週5回以上 □ 無回答



【タイプ別】

タイプ別にみると、インドア派 内向的で「ほとんど外出しない」、インドア派 外向的で「週1回」、アウトドア派 内向的で「週2～4回」、アウトドア派 外向的で「週5回以上」の割合が高くなっています。

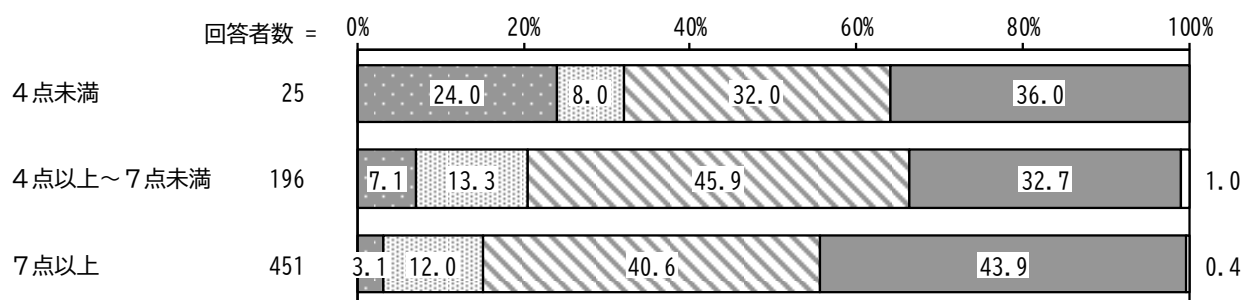
■ ほとんど外出しない ■ 週1回 ■ 週2～4回 ■ 週5回以上 □ 無回答



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。また、4点未満で「週2～4回」の割合が低くなっています。

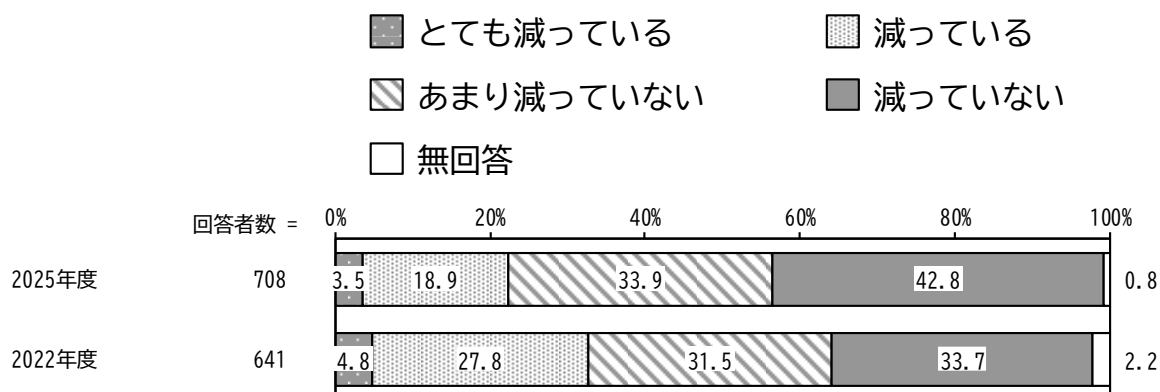
■ ほとんど外出しない ■ 週1回 ■ 週2～4回 ■ 週5回以上 □ 無回答



問 13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。【○は1つ】

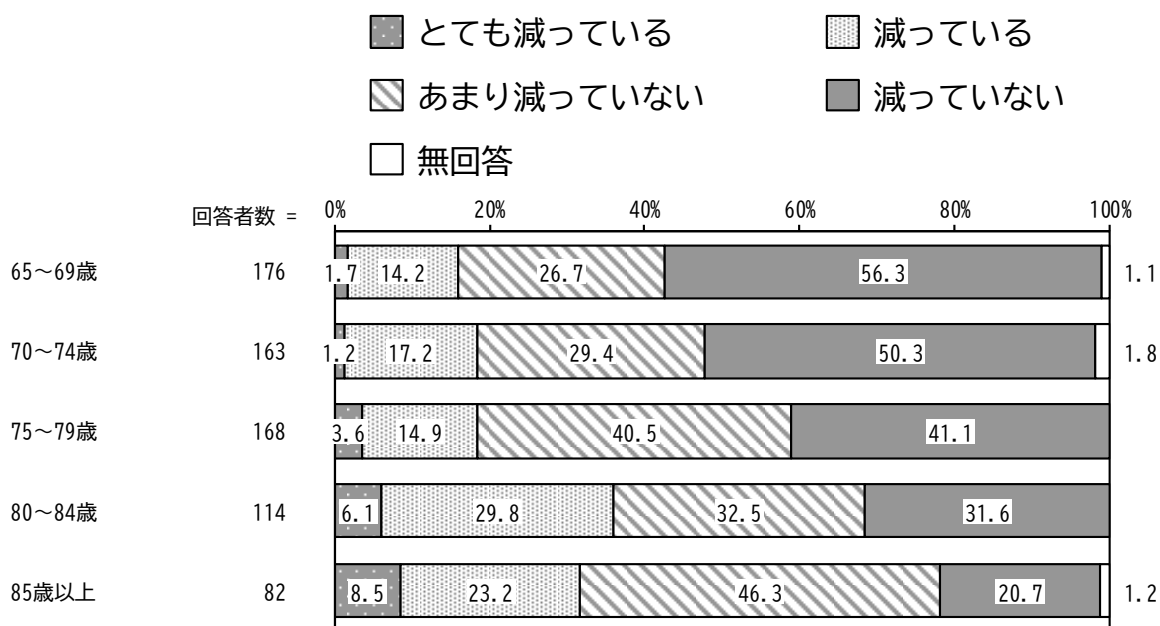
「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が 22.4%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が 76.7%となっています。

2022 年度調査と比較すると、“減っていない”の割合が増加しています。



【年齢別】

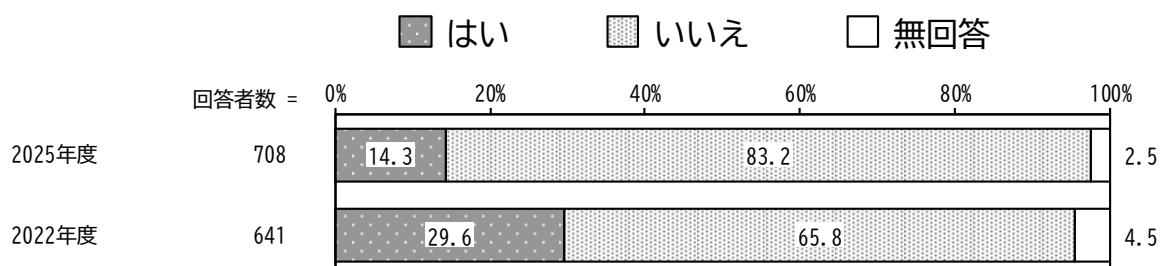
年齢別にみると、65～69 歳から 80～84 歳まで年齢が上がるほど“減っている”の割合が高い傾向にあります。また、80～84 歳で「減っている」、85 歳以上で「あまり減っていない」、65～69 歳で「減っていない」の割合が高くなっています。



問 14 外出を控えていますか。【○は1つ】

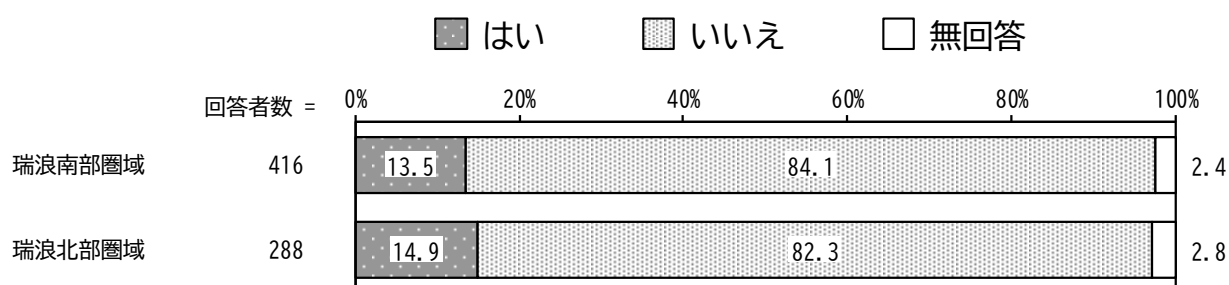
「はい」の割合が 14.3%、「いいえ」の割合が 83.2%となっています。

コロナ禍の影響があった 2022 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

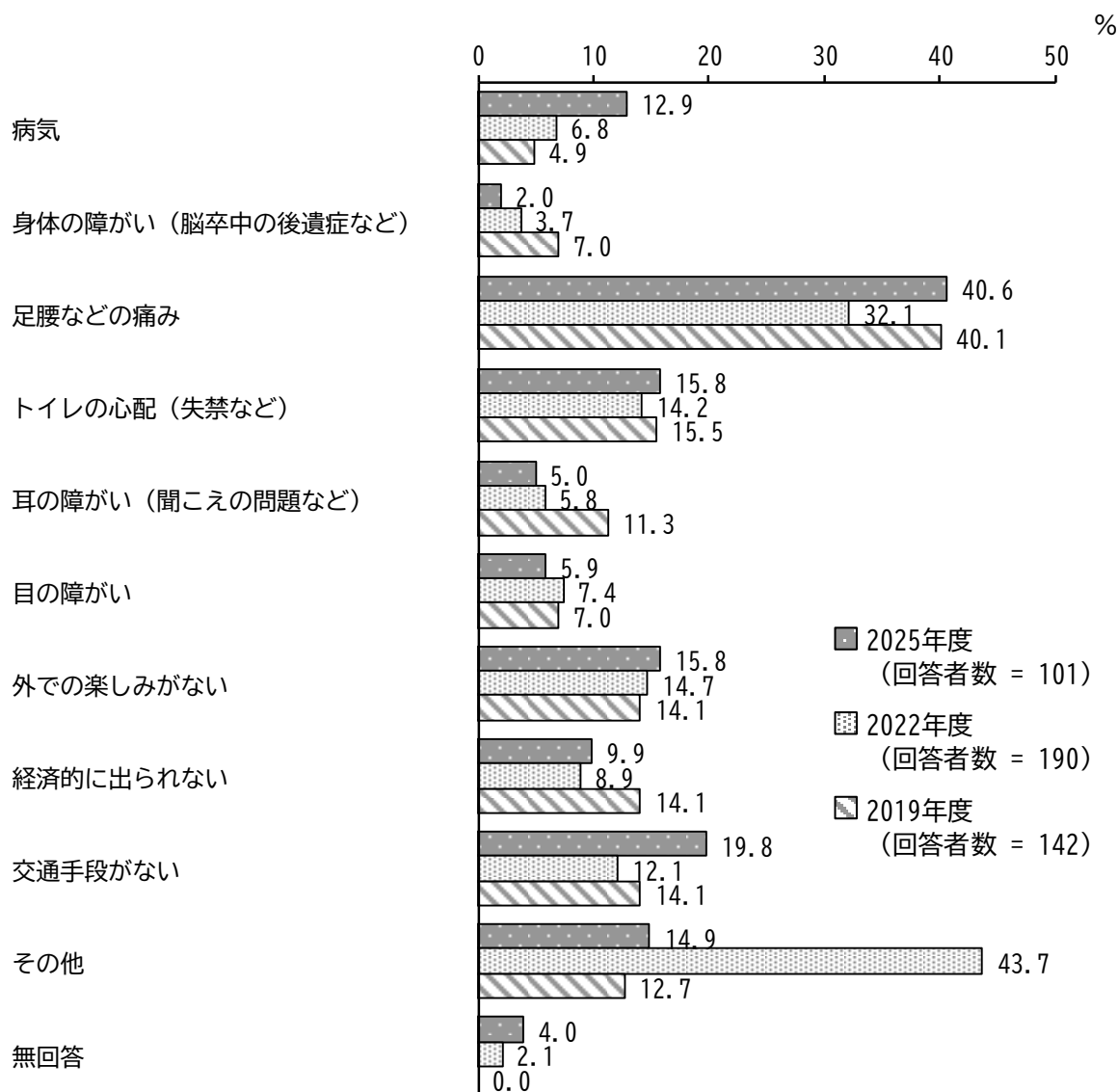


問 14 で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

問 14－1 外出を控えている理由は、次のどれですか。【○はいくつでも】

「足腰などの痛み」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が 19.8%、「トイレの心配（失禁など）」、「外での楽しみがない」の割合が 15.8%となっています。

コロナ禍の影響があった 2022 年度調査と比較すると、「その他」の割合が減少し、「病気」「足腰などの痛み」「交通手段がない」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、70～79歳で「病気」「外での楽しみがない」の割合が高く、75歳以上で「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。また、80歳以上で「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	身体 の障がい (脳卒 中の後遺症など)	足腰 などの痛み	トイレ の心配 (失禁 など)	耳の障 がい (聞こえ の問題など)	目の障 がい	外での 楽しみが ない	経済的 に出られ ない	交通手 段がない	その他	無回 答
全 体	101	12.9	2.0	40.6	15.8	5.0	5.9	15.8	9.9	19.8	14.9	4.0
65～69歳	11	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	36.4	0.0
70～74歳	9	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	33.3	0.0	11.1	22.2
75～79歳	21	23.8	4.8	57.1	19.0	9.5	14.3	23.8	4.8	0.0	4.8	0.0
80～84歳	36	5.6	0.0	41.7	16.7	8.3	5.6	16.7	5.6	27.8	16.7	5.6
85歳以上	22	4.5	0.0	50.0	13.6	0.0	4.5	4.5	4.5	40.9	9.1	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、瑞浪南部圏域で「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が高く、瑞浪北部圏域で「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	身体 の障がい (脳卒 中の後遺症など)	足腰 などの痛み	トイレ の心配 (失禁 など)	耳の障 がい (聞こえ の問題など)	目の障 がい	外での 楽しみが ない	経済的 に出られ ない	交通手 段がない	その他	無回 答
全 体	101	12.9	2.0	40.6	15.8	5.0	5.9	15.8	9.9	19.8	14.9	4.0
瑞浪南部圏域	56	14.3	1.8	37.5	12.5	3.6	5.4	19.6	12.5	19.6	10.7	3.6
瑞浪北部圏域	43	11.6	2.3	46.5	20.9	7.0	7.0	11.6	7.0	16.3	18.6	4.7

【地区別】

地区別にみると、いずれの地区でも「足腰などの痛み」の割合が最も高くなっています。

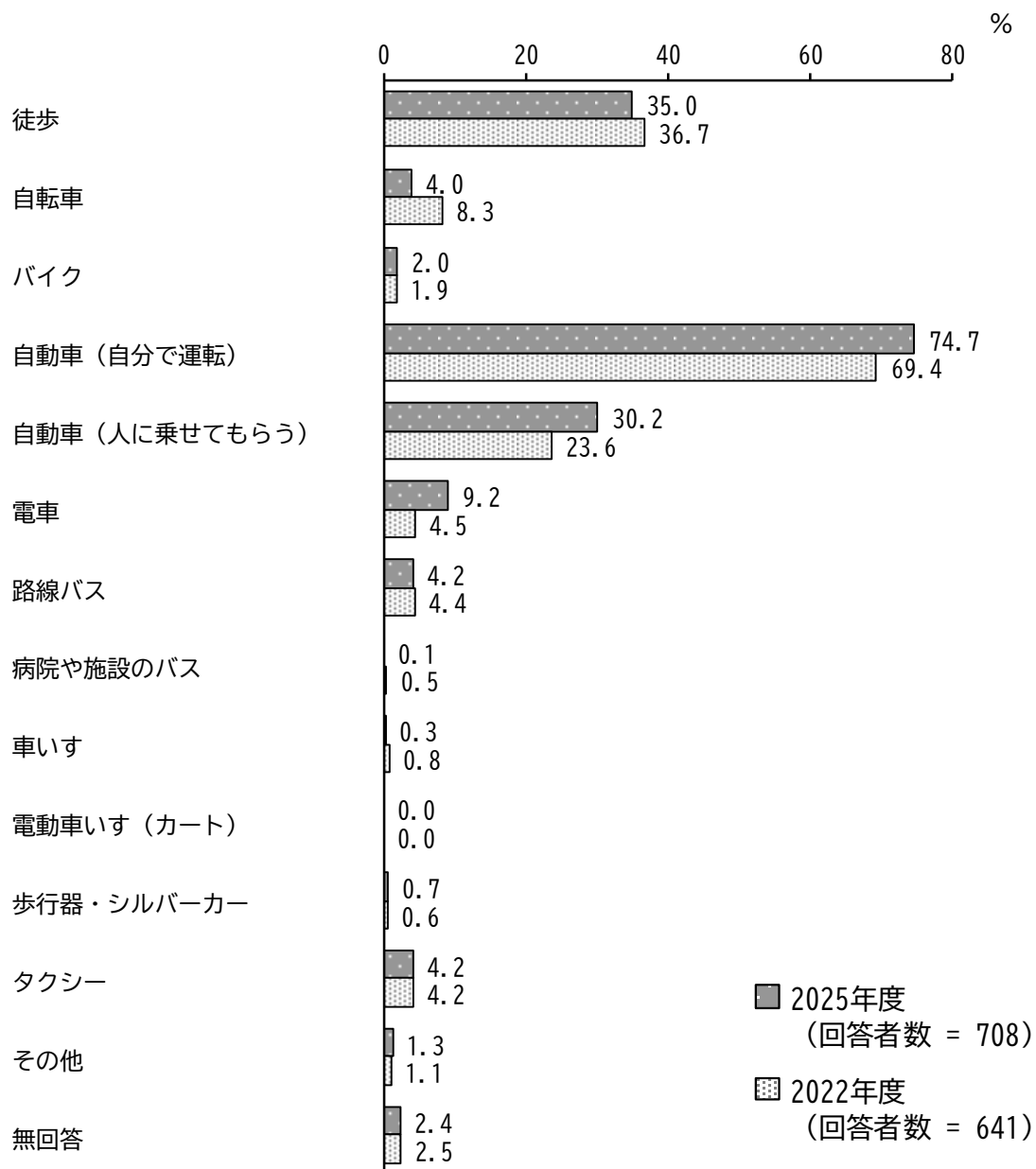
単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	身体 の障がい (脳卒 中の後遺症など)	足腰 などの痛み	トイレ の心配 (失禁 など)	耳の障 がい (聞こえ の問題など)	目の障 がい	外での 楽しみが ない	経済的 に出られ ない	交通手 段がない	その他	無回 答
全 体	101	12.9	2.0	40.6	15.8	5.0	5.9	15.8	9.9	19.8	14.9	4.0
瑞浪地区	32	12.5	0.0	37.5	12.5	3.1	6.3	18.8	15.6	21.9	9.4	3.1
土岐地区	17	23.5	5.9	52.9	23.5	5.9	11.8	17.6	11.8	17.6	0.0	5.9
陶地区	14	21.4	7.1	50.0	14.3	0.0	7.1	28.6	7.1	21.4	7.1	0.0
稲津地区	10	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0
明世地区	5	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
日吉地区	13	7.7	0.0	38.5	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	15.4	30.8	0.0
大湫地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
釜戸地区	8	0.0	0.0	50.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0

問 15 外出する際の移動手段は何ですか。【〇はいくつでも】

「自動車（自分で運転）」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 35.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 30.2%となっています。

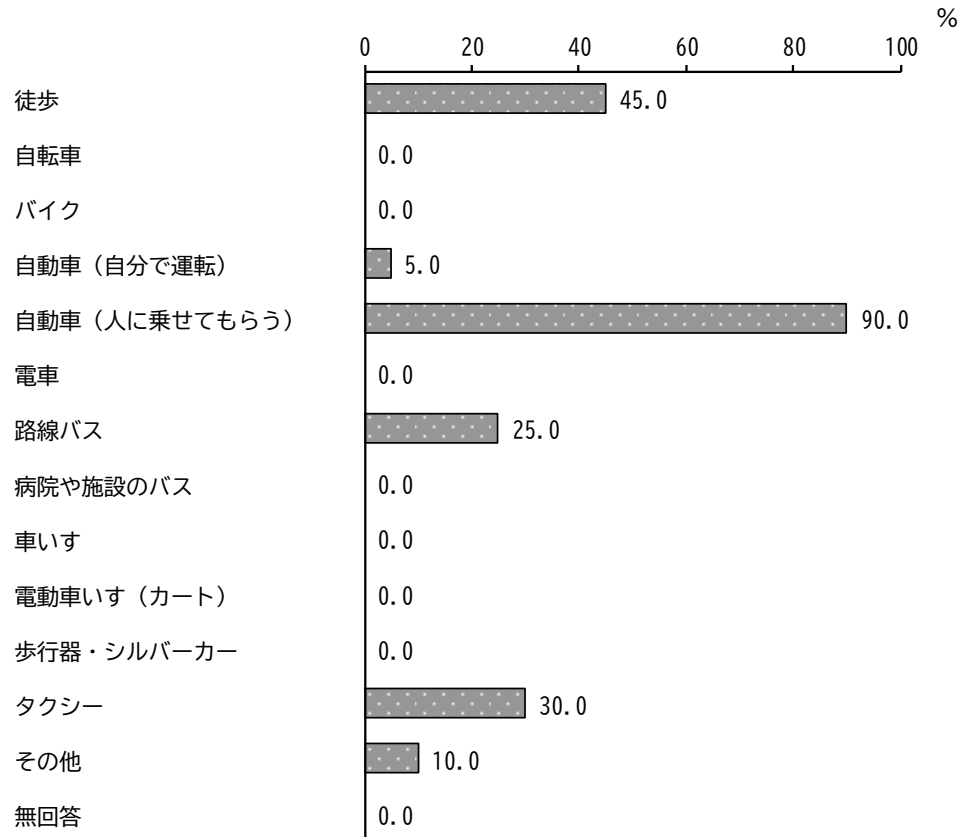
2022 年度調査と比較すると、「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が増加しています。



【問 14－1 で「交通手段がない」と回答した方】

問 14－1 で「交通手段がない」と回答した方の交通手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 90.0%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 45.0%、「タクシー」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 20



【年齢別】

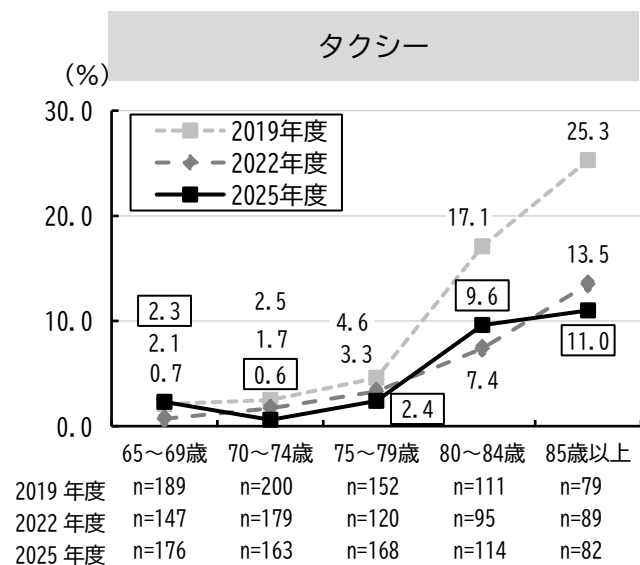
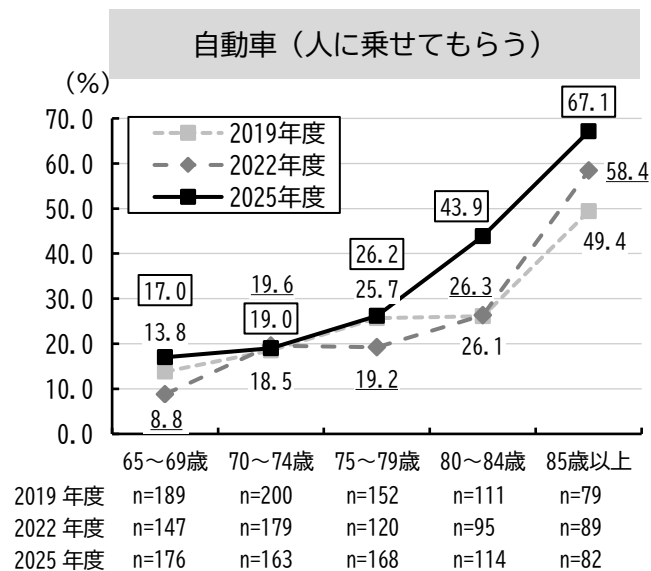
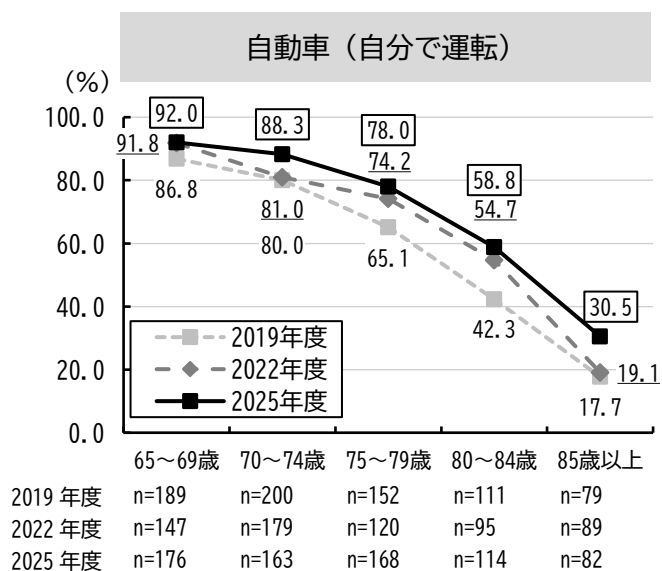
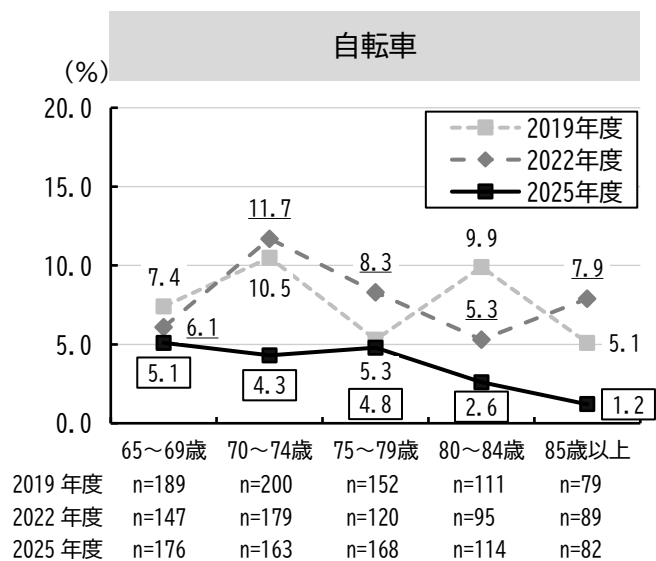
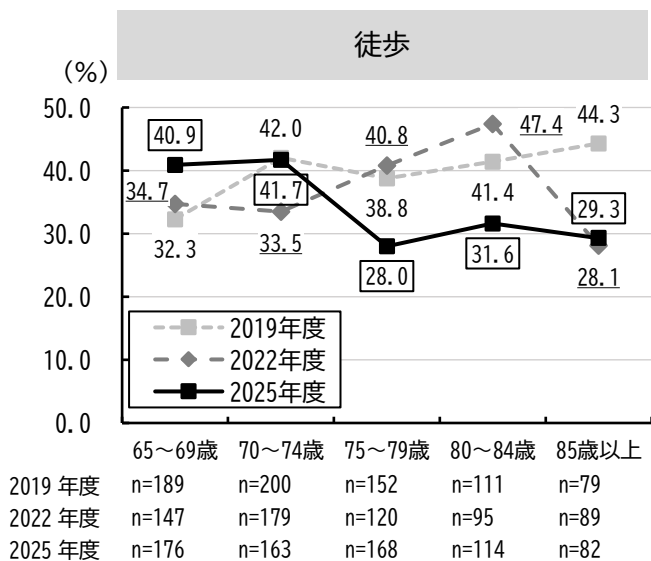
年齢別にみると、75 歳以上で「徒歩」の割合が低くなっています。

また、80 歳以上で「自動車（自分で運転）」の割合が大きく下がり、「自動車（人に乗せてもらう）」、「路線バス」、「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	708	35.0	4.0	2.0	74.7	30.2	9.2	4.2	0.1	0.3	0.0	0.7	4.2	1.3	2.4
65～69歳	176	40.9	5.1	4.0	92.0	17.0	13.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	1.7
70～74歳	163	41.7	4.3	1.8	88.3	19.0	14.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	1.8
75～79歳	168	28.0	4.8	1.2	78.0	26.2	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.6	2.4	0.0	3.6
80～84歳	114	31.6	2.6	1.8	58.8	43.9	5.3	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	2.6	1.8
85歳以上	82	29.3	1.2	0.0	30.5	67.1	6.1	11.0	1.2	2.4	0.0	4.9	11.0	2.4	2.4

【年齢階級別移動手段（経年比較）】



【圏域別】

圏域別にみると、瑞浪南部圏域で「徒歩」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	708	35.0	4.0	2.0	74.7	30.2	9.2	4.2	0.1	0.3	0.0	0.7	4.2	1.3	2.4
瑞浪南部圏域	416	38.5	5.0	2.2	76.4	29.8	8.4	3.1	0.2	0.0	0.0	0.5	2.9	1.0	1.9
瑞浪北部圏域	288	30.2	2.4	1.7	72.9	30.2	10.4	5.9	0.0	0.7	0.0	1.0	5.9	1.4	3.1

【地区別】

地区別にみると、瑞浪地区、稲津地区、土岐地区で「徒歩」の割合が高くなっています。また、明世地区、日吉地区で「タクシー」の割合が高く、日吉地区は「徒歩」の割合が低くなっています。

単位：％

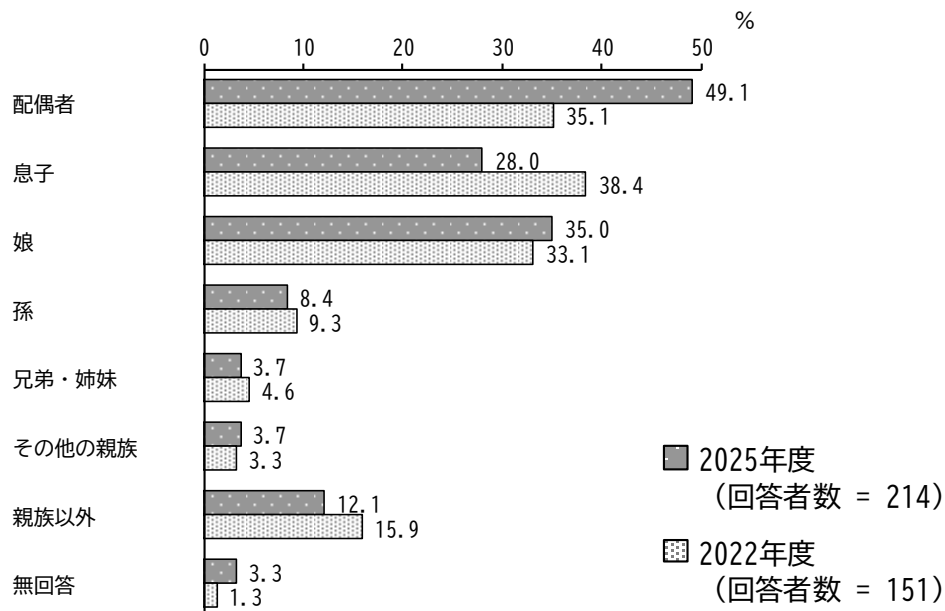
区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	708	35.0	4.0	2.0	74.7	30.2	9.2	4.2	0.1	0.3	0.0	0.7	4.2	1.3	2.4
瑞浪地区	263	39.9	6.8	1.1	76.4	32.7	9.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.4	2.3	1.1	1.5
稲津地区	70	40.0	4.3	7.1	82.9	18.6	8.6	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4
陶地区	83	32.5	0.0	1.2	71.1	30.1	6.0	7.2	1.2	0.0	0.0	1.2	4.8	1.2	3.6
土岐地区	124	37.9	4.0	3.2	70.2	32.3	13.7	7.3	0.0	0.8	0.0	1.6	3.2	0.8	4.8
明世地区	32	31.3	0.0	0.0	71.9	28.1	9.4	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	9.4	0.0	3.1
釜戸地区	67	29.9	3.0	0.0	70.1	29.9	11.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	3.0	1.5
大湫地区	10	30.0	0.0	0.0	80.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日吉地区	55	12.7	0.0	1.8	81.8	27.3	3.6	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	1.8	1.8

問 15 で「自動車（人に乗せてもらう）」に○をつけた方にうかがいます。

問 15－1 乗せてもらう人は誰ですか。【○はいくつでも】

「配偶者」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「娘」の割合が 35.0%、「息子」の割合が 28.0%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が増加し、「息子」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「配偶者」の割合が下がり、「息子」と「娘」の割合の合計が上がっています。また、80 歳以上で「孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	数回答者 (件)	配偶者	息子	娘	孫	姉兄弟・ 妹	のそ 親の 族他	外親 族以	無 回答
全 体	214	49.1	28.0	35.0	8.4	3.7	3.7	12.1	3.3
65～69歳	30	73.3	6.7	20.0	3.3	3.3	3.3	10.0	10.0
70～74歳	31	83.9	19.4	16.1	0.0	0.0	0.0	9.7	3.2
75～79歳	44	63.6	20.5	31.8	4.5	9.1	0.0	9.1	6.8
80～84歳	50	38.0	42.0	42.0	12.0	2.0	2.0	16.0	0.0
85歳以上	55	18.2	36.4	50.9	16.4	3.6	9.1	12.7	0.0

【地区別】

地区別にみると、瑞浪地区、陶地区で「配偶者」、稲津地区、土岐地区、日吉地区で「息子」の割合が高くなっています。

単位：％

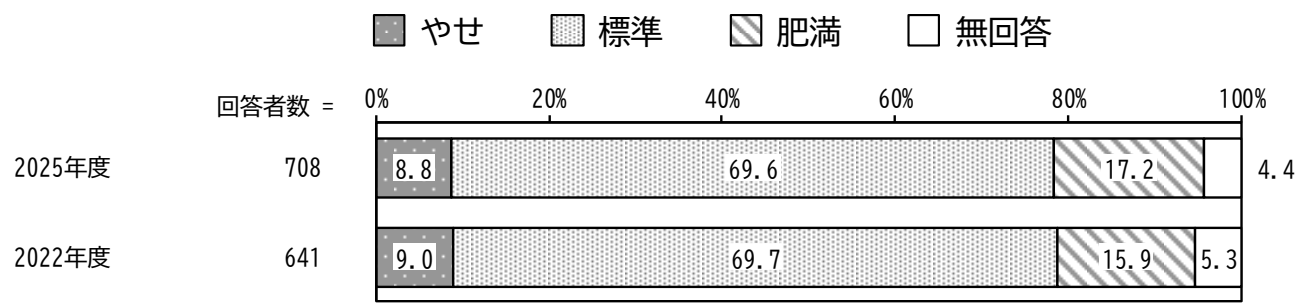
区分	数回答者 (件)	配偶者	息子	娘	孫	姉兄弟・ 妹	のそ 親の 族他	外親 族以	無 回答
全 体	214	49.1	28.0	35.0	8.4	3.7	3.7	12.1	3.3
瑞浪地区	86	55.8	20.9	38.4	5.8	3.5	4.7	4.7	4.7
稲津地区	13	30.8	53.8	30.8	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0
陶地区	25	60.0	20.0	24.0	8.0	0.0	0.0	28.0	4.0
土岐地区	40	45.0	40.0	32.5	15.0	2.5	7.5	17.5	0.0
明世地区	9	55.6	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
釜戸地区	20	45.0	20.0	35.0	10.0	5.0	0.0	10.0	5.0
大湫地区	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
日吉地区	15	33.3	40.0	33.3	6.7	6.7	0.0	26.7	0.0

3. 食べることについて

問 16 身長・体重をご記入ください（小数点以下切捨て）。

BMI

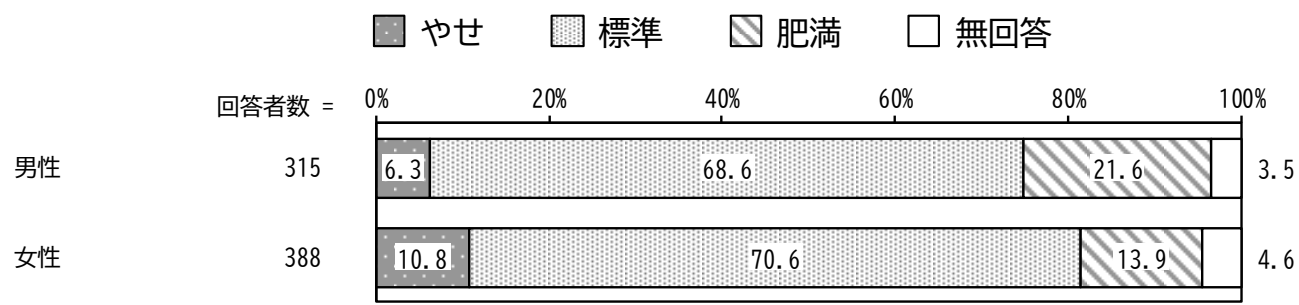
「やせ」の割合が 8.8%、「標準」の割合が 69.6%、「肥満」の割合が 17.2%となっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※2022 年度調査では、「やせ」が「低体重」、「標準」が「普通体重」となっていました。

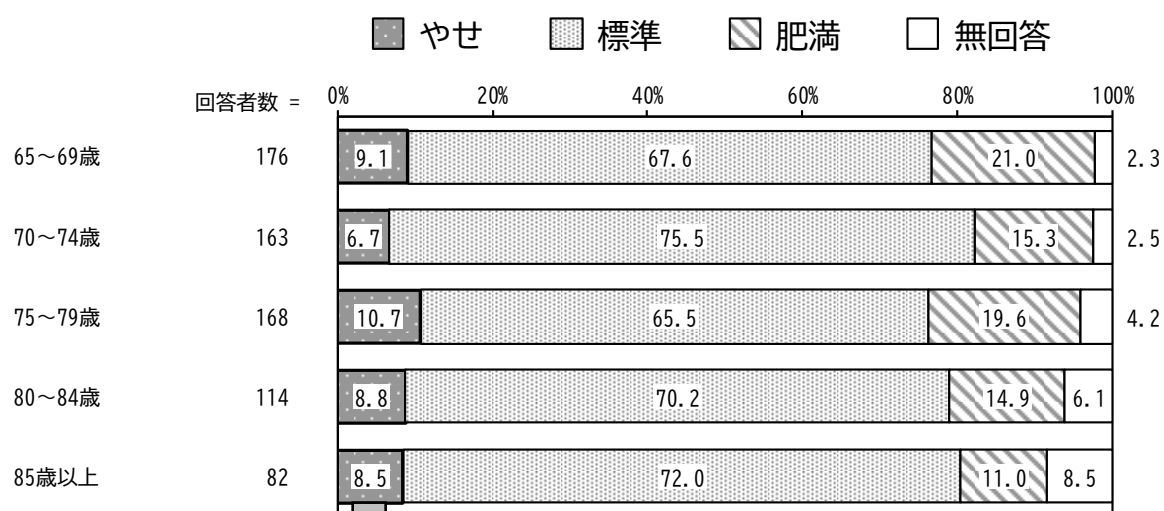
【性別】

性別にみると、男性で「肥満」の割合が高くなっています。



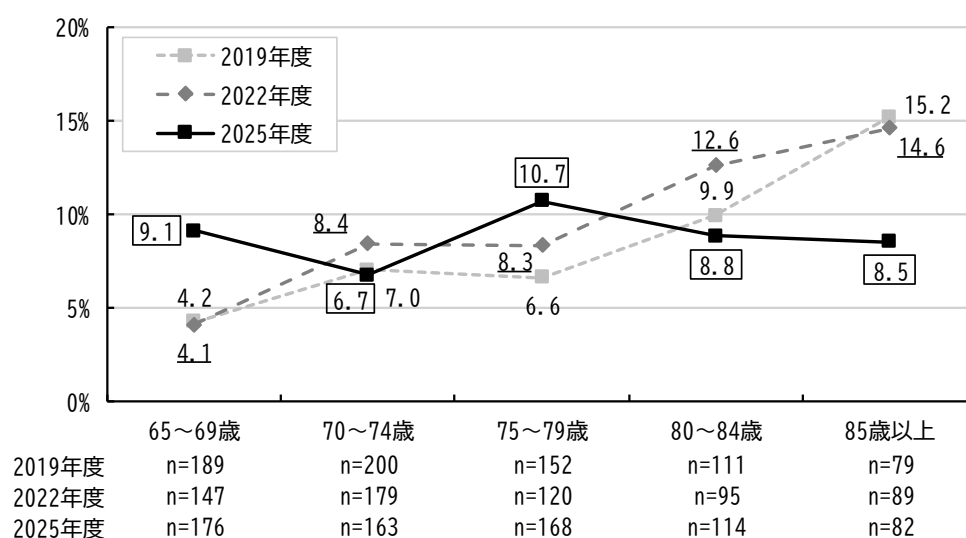
【年齢別】

年齢別にみると、概ね年齢が上がるほど「肥満」の割合が低くなっています。



【BMI <18.5（経年比較）】

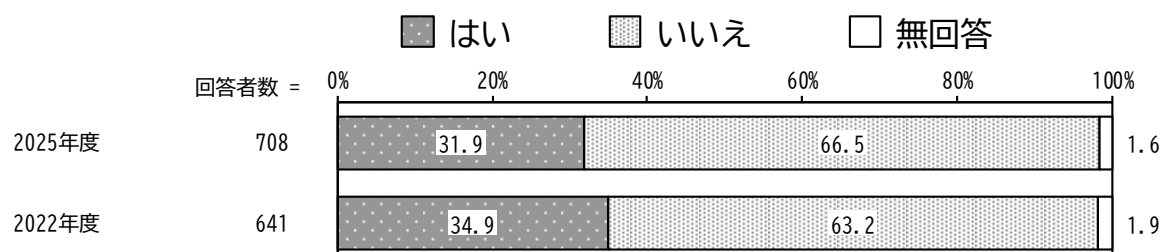
2019年度調査及び2022年度調査と比較すると、80歳以上で「やせ」の割合が低くなってきています。



問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。【○は1つ】

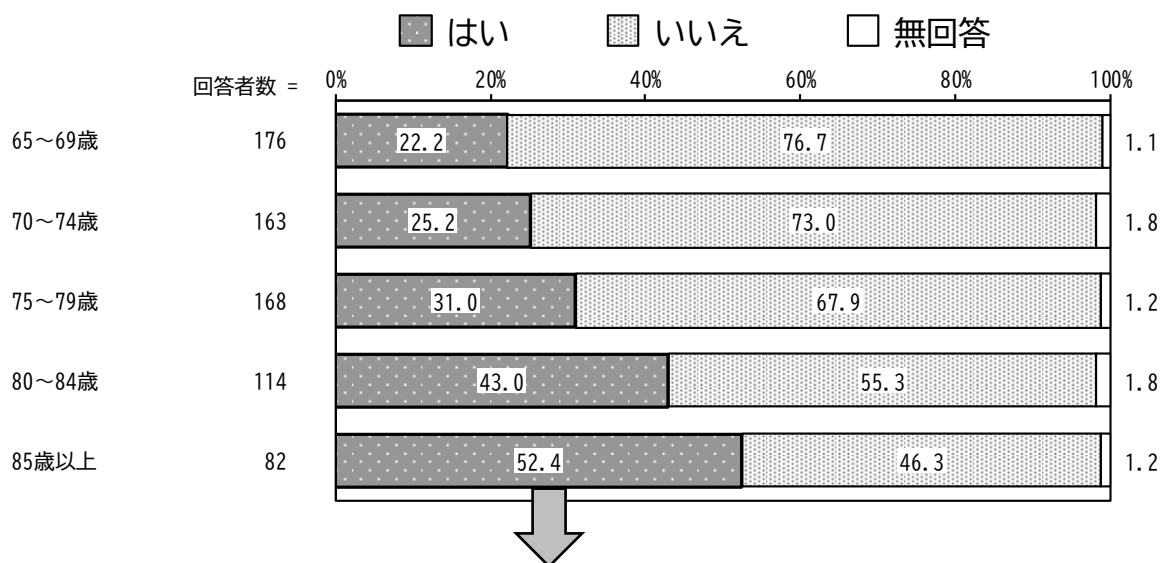
「はい」の割合が31.9%、「いいえ」の割合が66.5%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

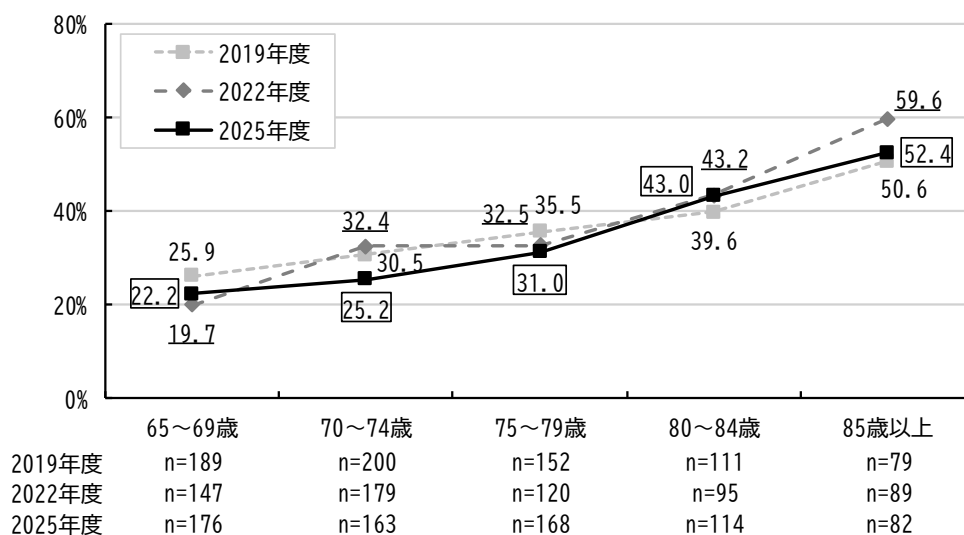


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高い傾向にあります。



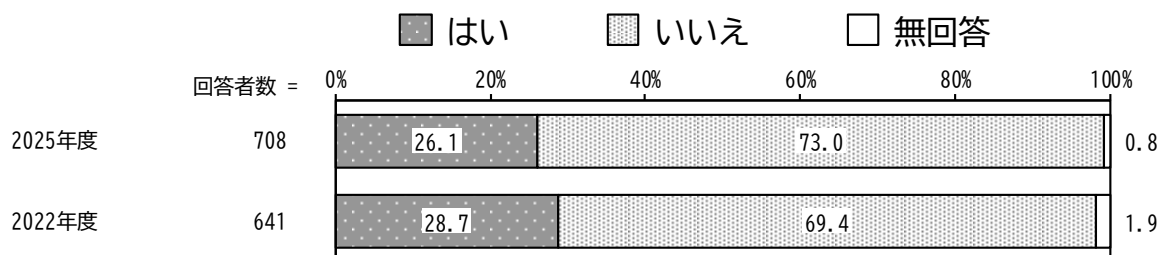
【半年前に比べて固いものが食べにくい（経年比較）】



問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか。【○は1つ】

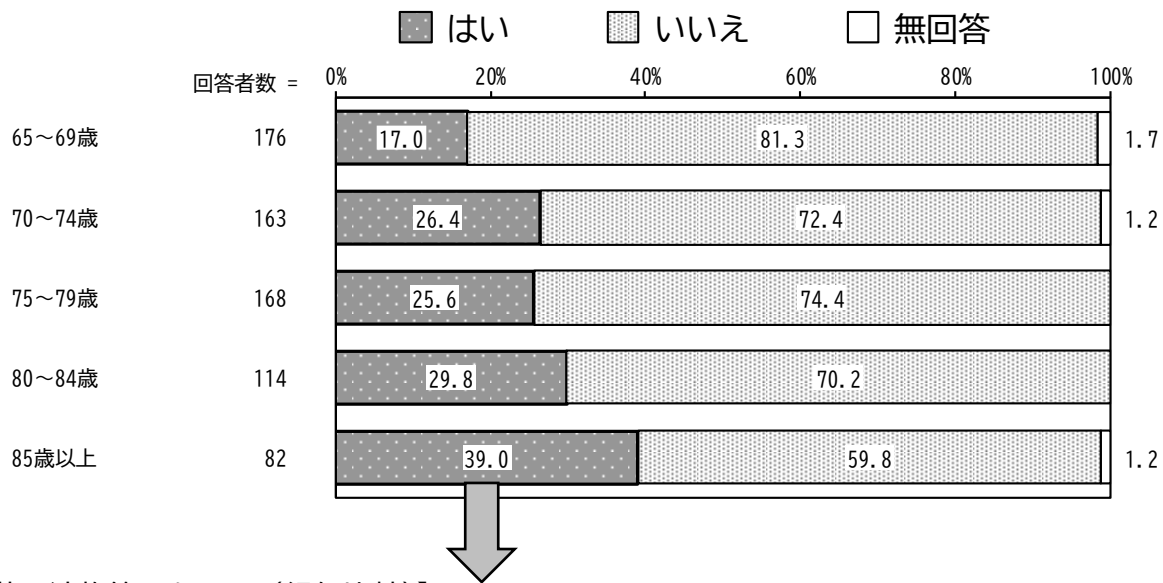
「はい」の割合が26.1%、「いいえ」の割合が73.0%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

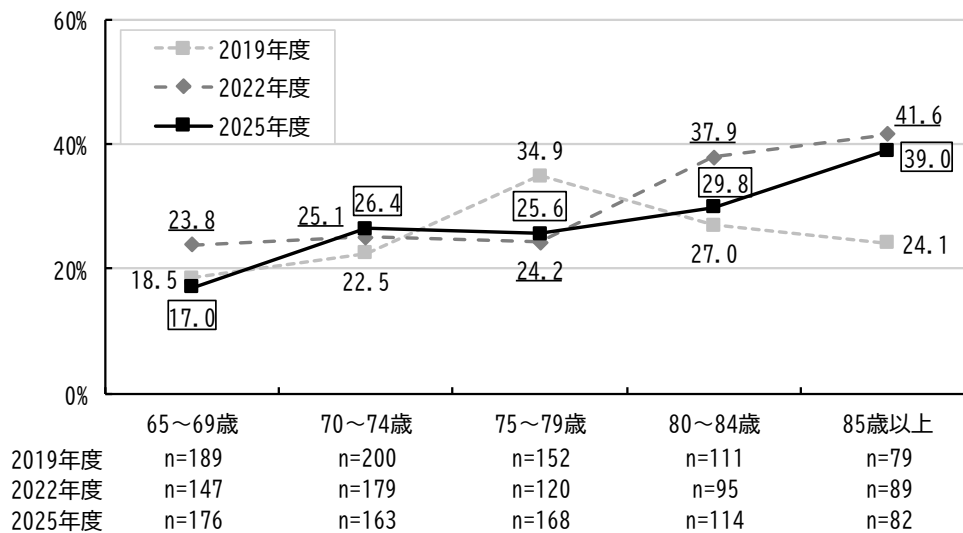


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高い傾向にあります。

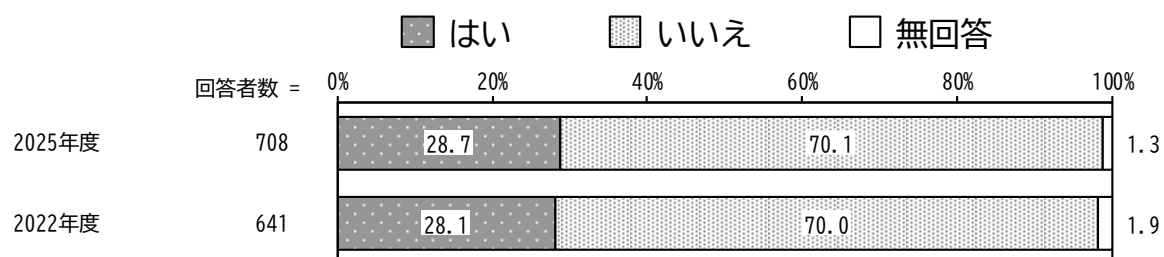


【お茶や汁物等でむせる（経年比較）】



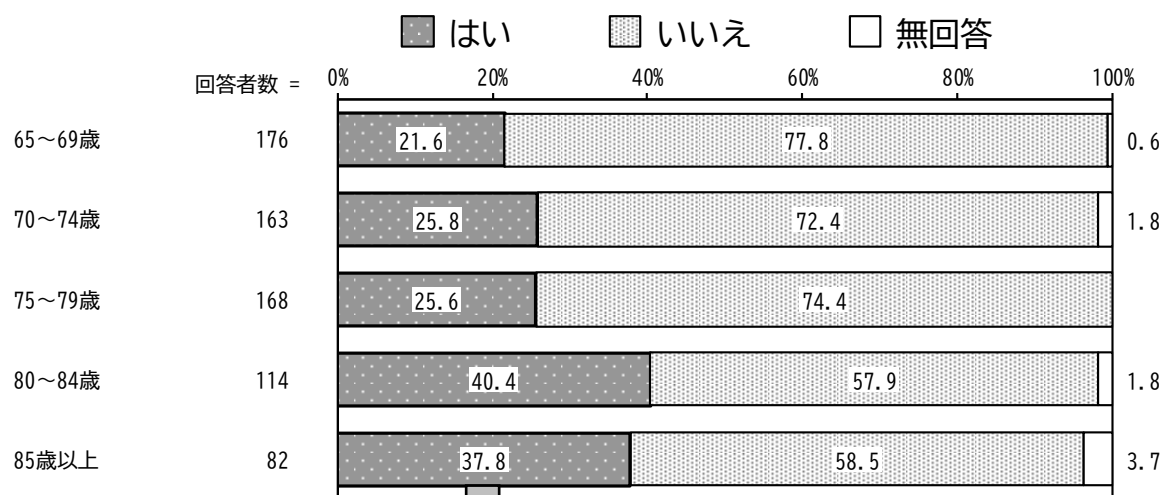
問 19 口の渇きが気になりますか。【○は1つ】

「はい」の割合が28.7%、「いいえ」の割合が70.1%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

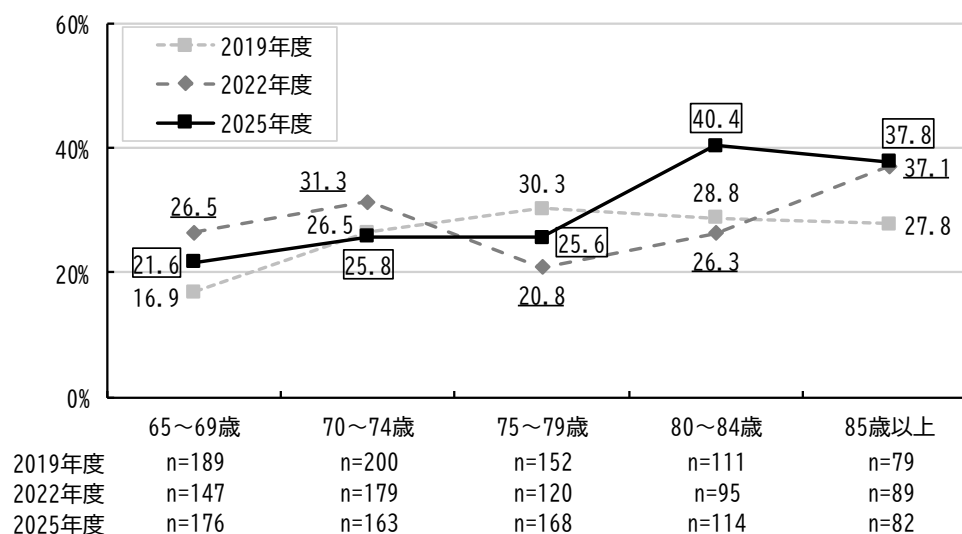


【年齢別】

年齢別にみると、80歳以上で「はい」の割合が高い傾向にあります。

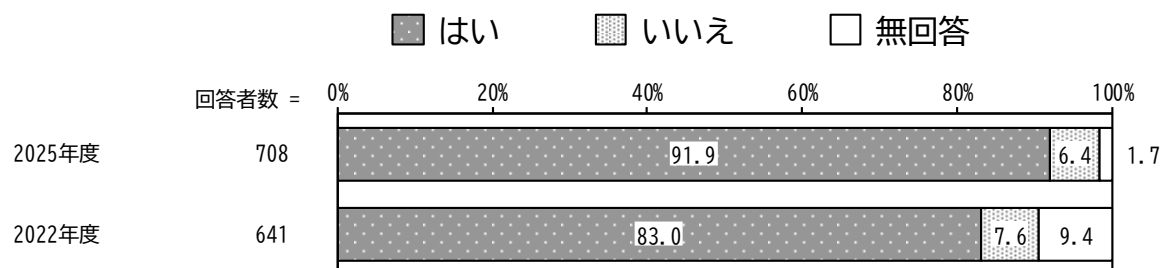


【口の渇きが気になる（経年比較）】



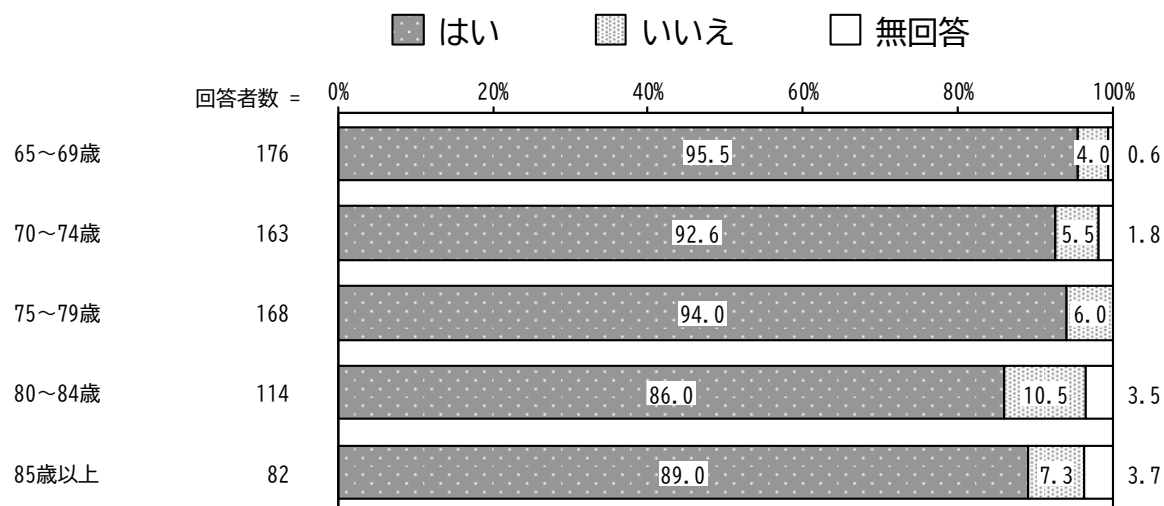
問 20 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。【○は1つ】

「はい」の割合が91.9%、「いいえ」の割合が6.4%となっています。
2022年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



【年齢別】

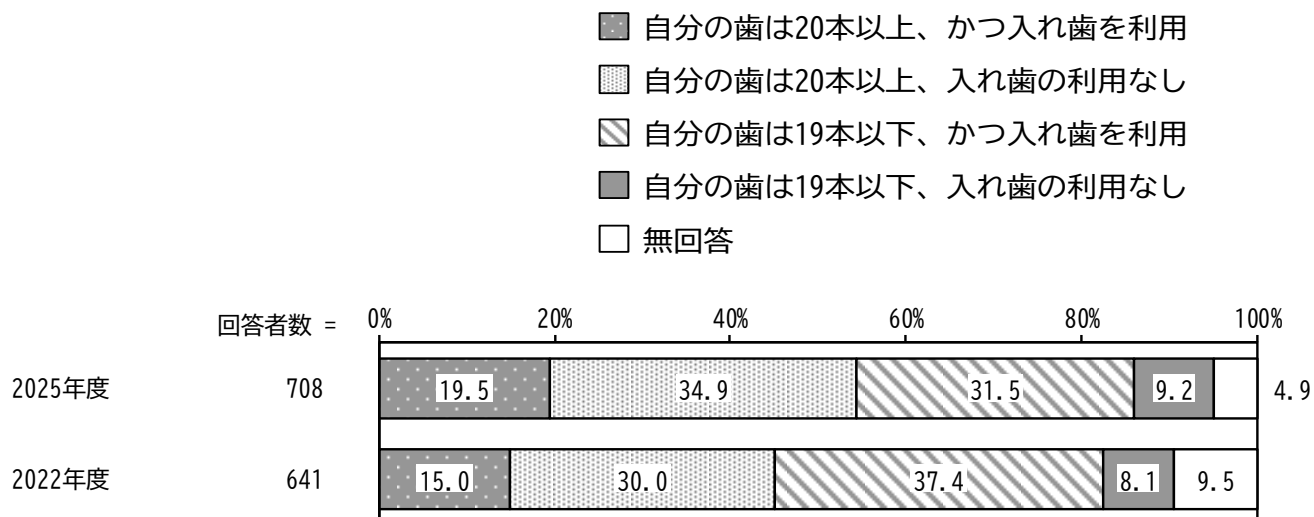
年齢別にみると、65～69歳から80～84歳まで年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。【○は1つ】

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。

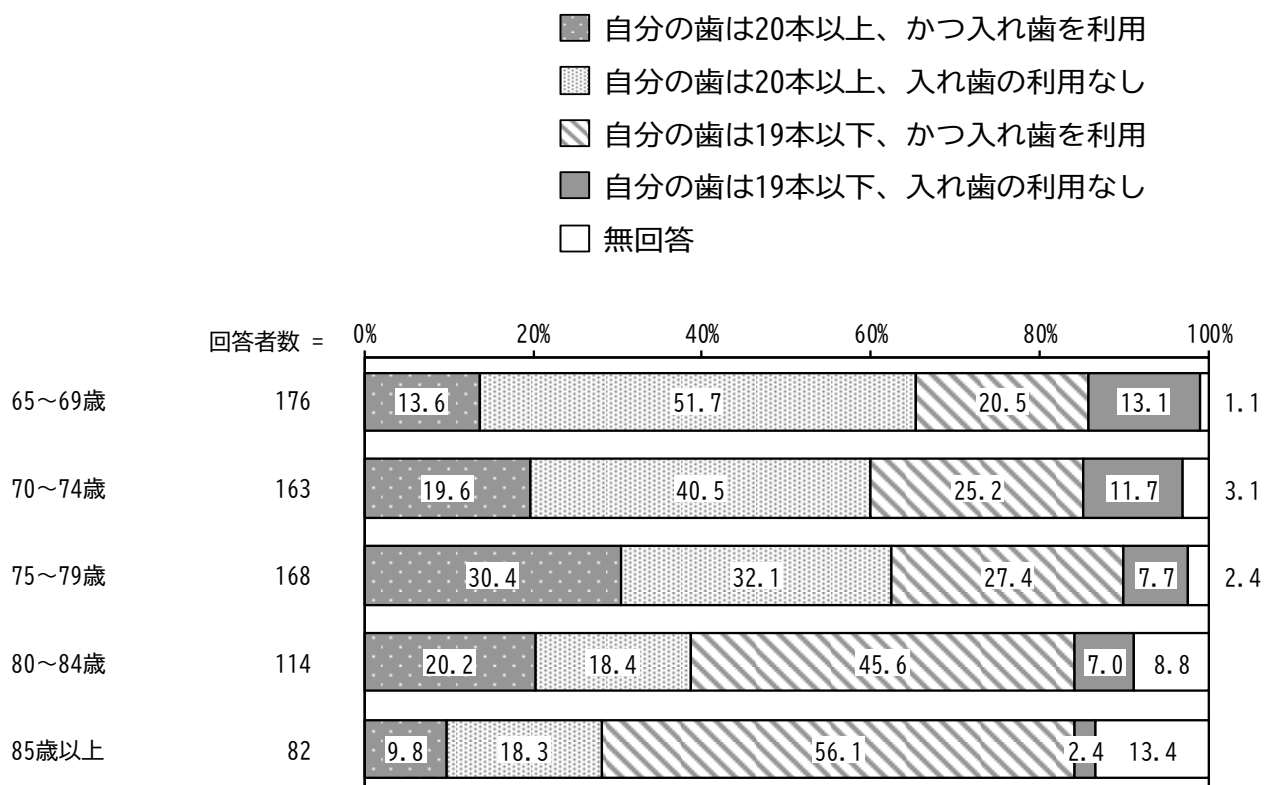
「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 34.9%と最も高くなっています。
2022 年度調査と比較すると、「自分の歯は 20 本以上」の割合が上がっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。

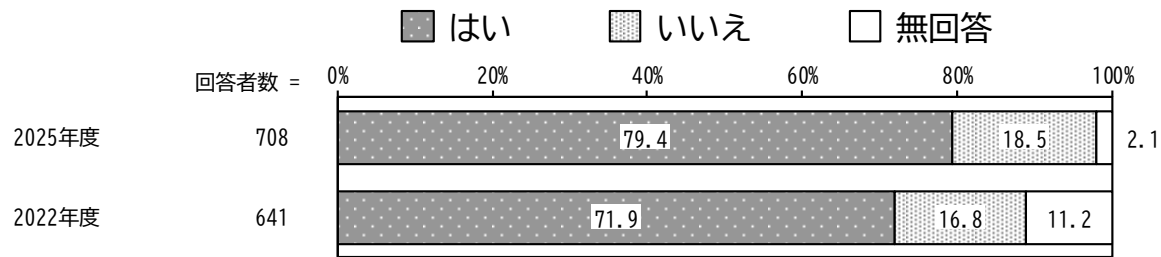
また、80 歳以上で「自分の歯は 19 本以下、入れ歯を利用」の割合が上がっています。



すべての方にうかがいます。

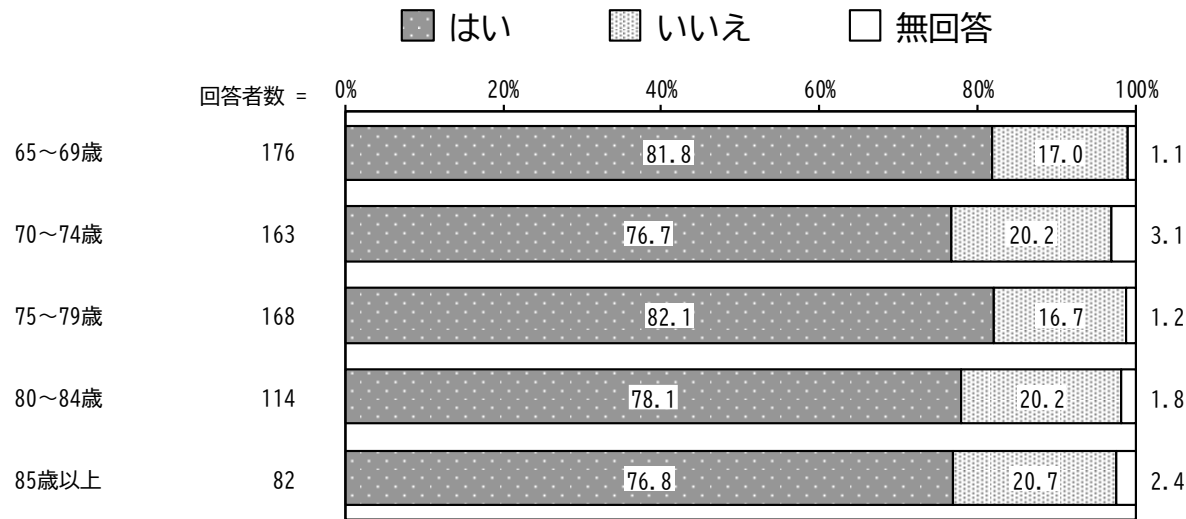
問 21－1 噛み合わせは良いですか。【○は1つ】

「はい」の割合が79.4%、「いいえ」の割合が18.5%となっています。
2022年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



【年齢別】

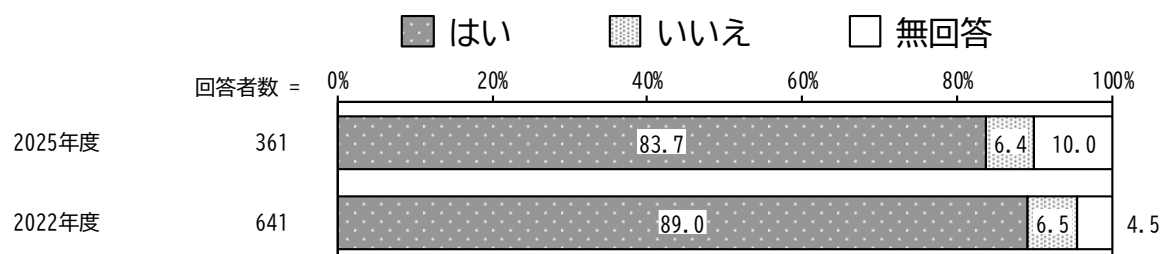
年齢別にみると、大きな差はみられません。



問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」に○をつけた方（入れ歯を利用している方）にうかがいます。

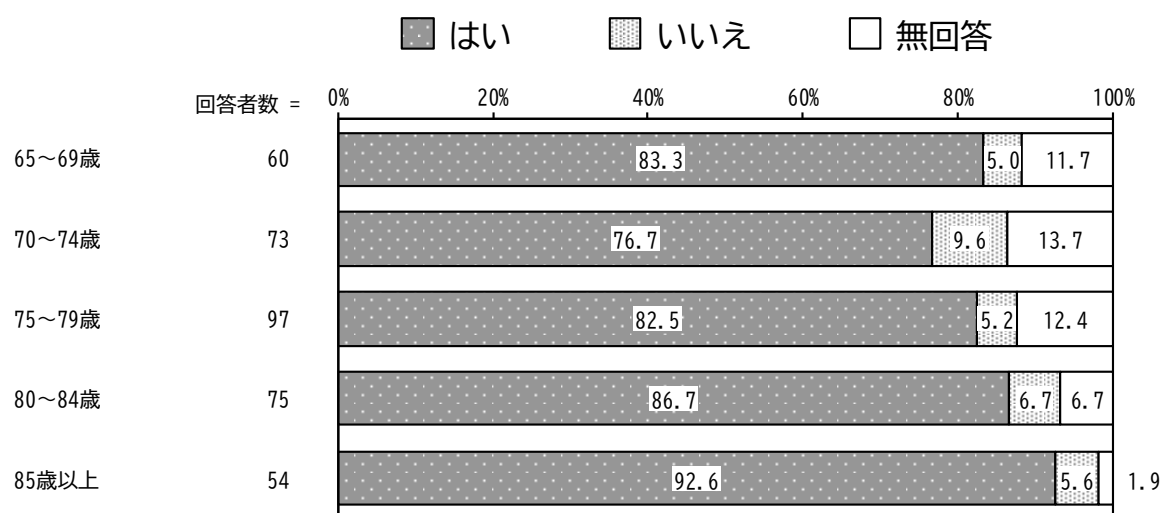
問 21－2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。【○は1つ】

「はい」の割合が 83.7%、「いいえ」の割合が 6.4%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



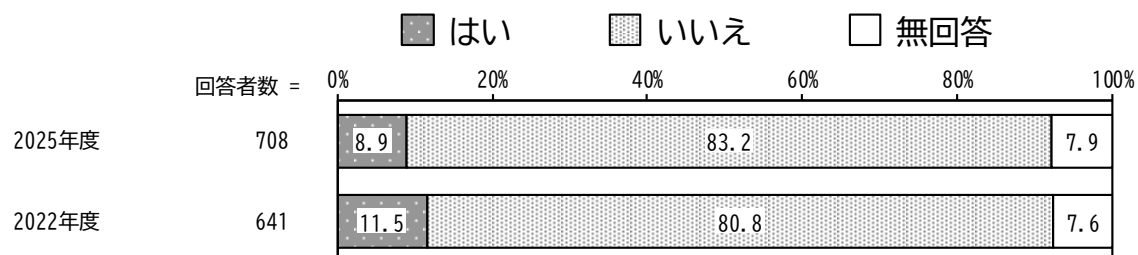
【年齢別】

年齢別にみると、70～74 歳から 85 歳以上まで年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



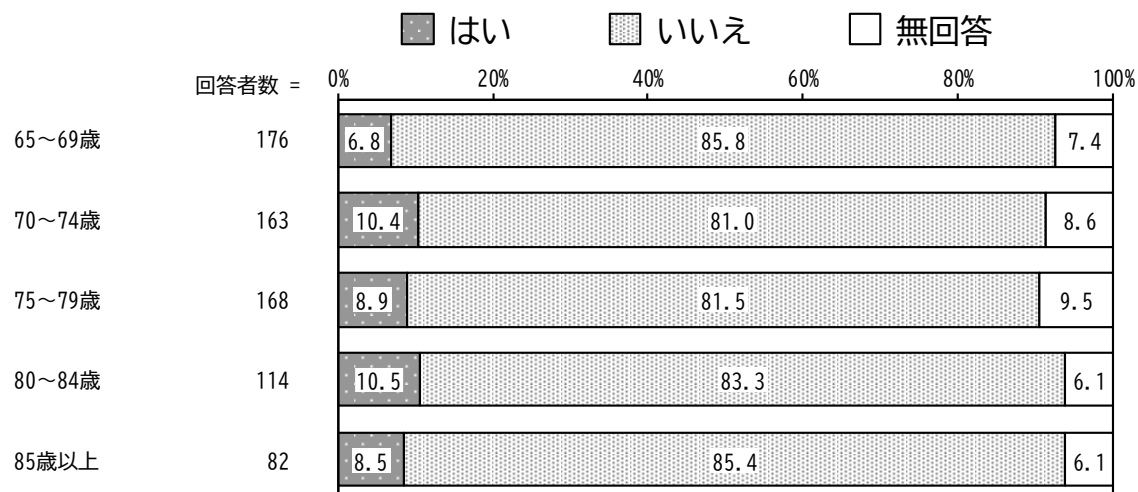
問 22 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。【○は1つ】

「はい」の割合が8.9%、「いいえ」の割合が83.2%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



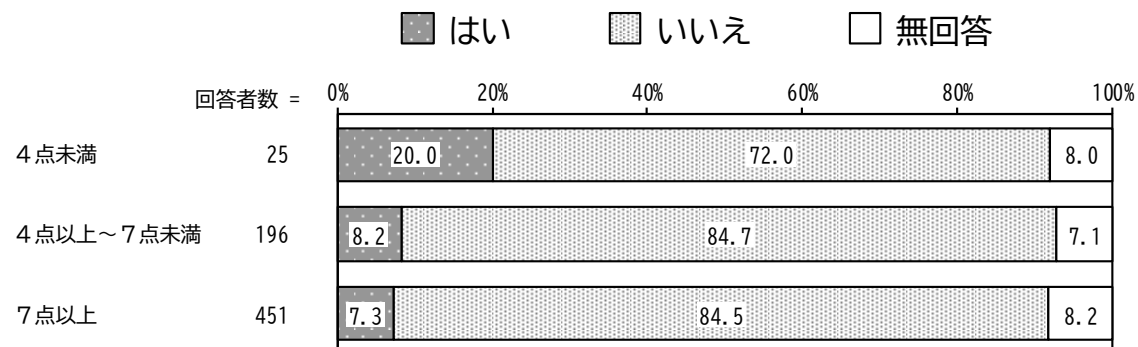
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



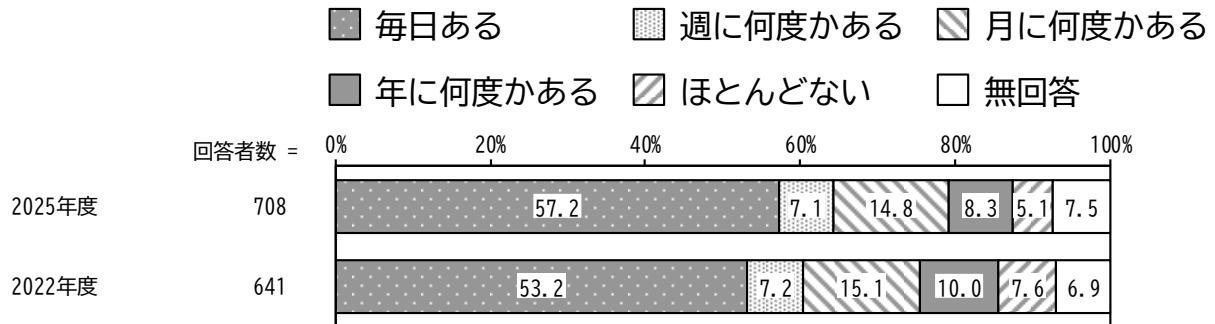
【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。



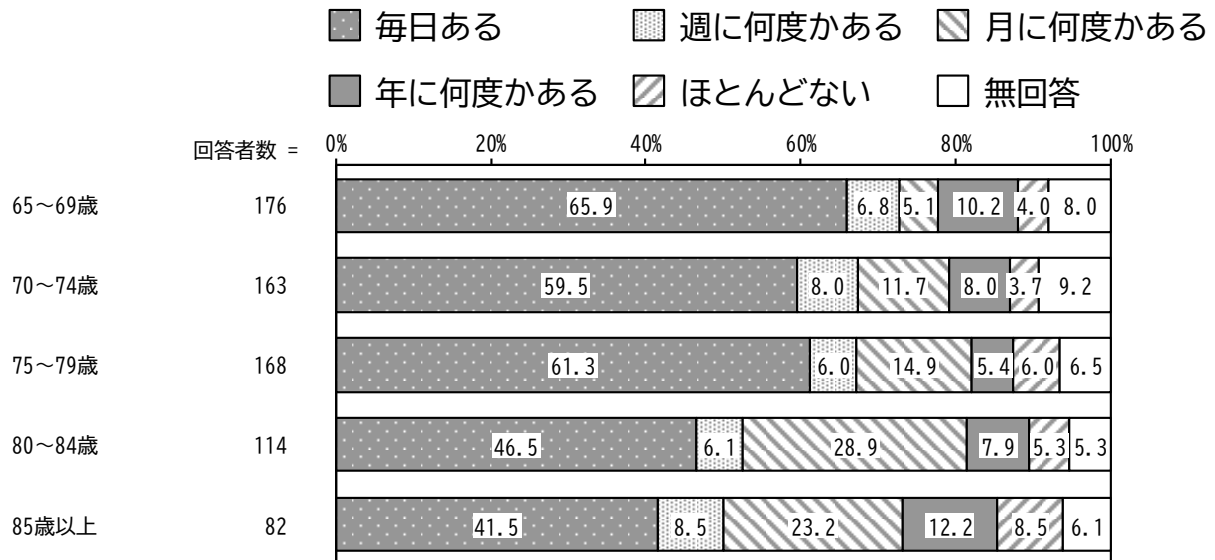
問 23 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。【○は1つ】

「毎日ある」の割合が 57.2%と最も高くなっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



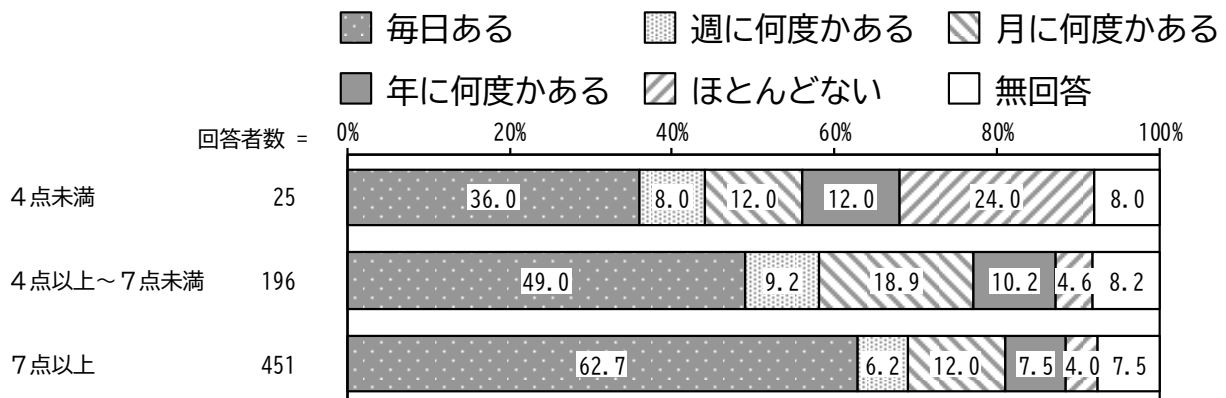
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「毎日ある」の割合が高い傾向にあり、65～69 歳から 80～84 歳まで年齢が上がるほど「月に何度かある」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

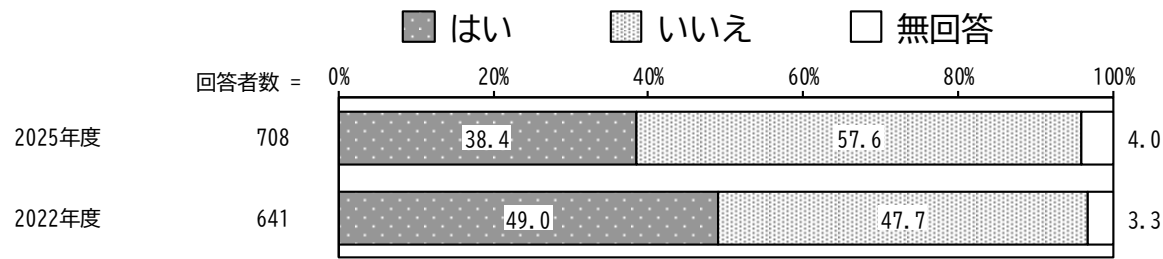
幸福度別にみると、幸福感が下がるほど「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、「毎日ある」の割合が低くなっています。



4. 毎日の生活について

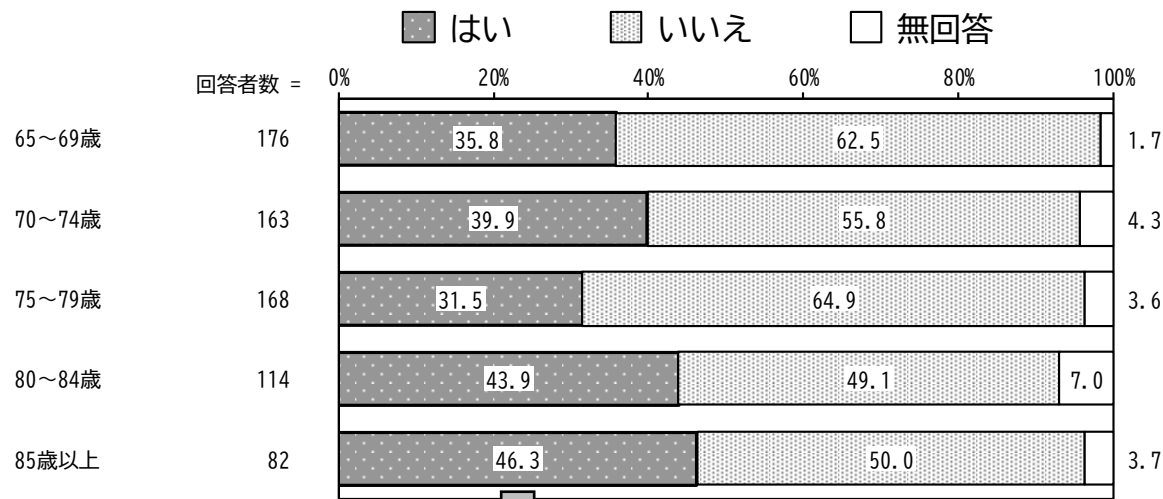
問 24 物忘れが多いと感じますか。【○は1つ】

「はい」の割合が38.4%、「いいえ」の割合が57.6%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



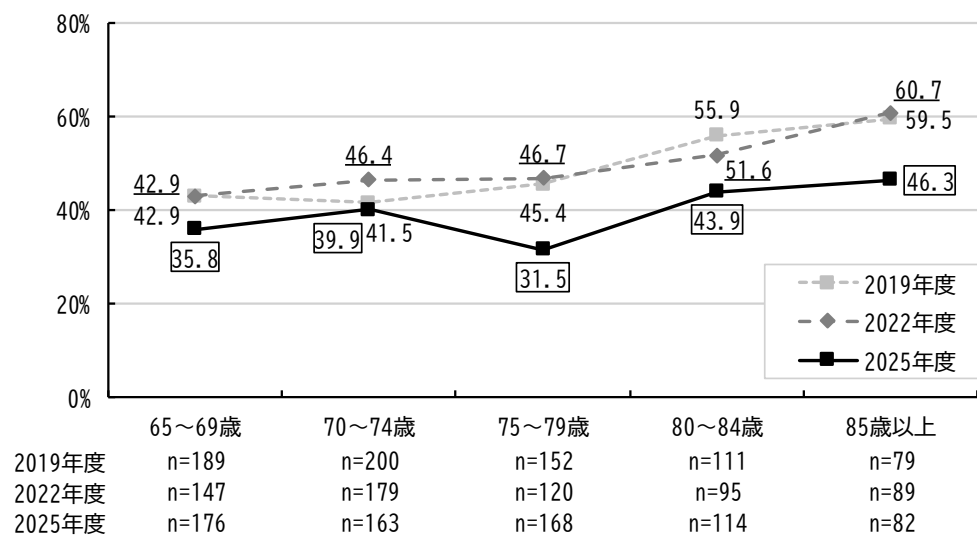
【年齢別】

年齢別にみると、80～84 歳、85 歳以上で「はい」、75～79 歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



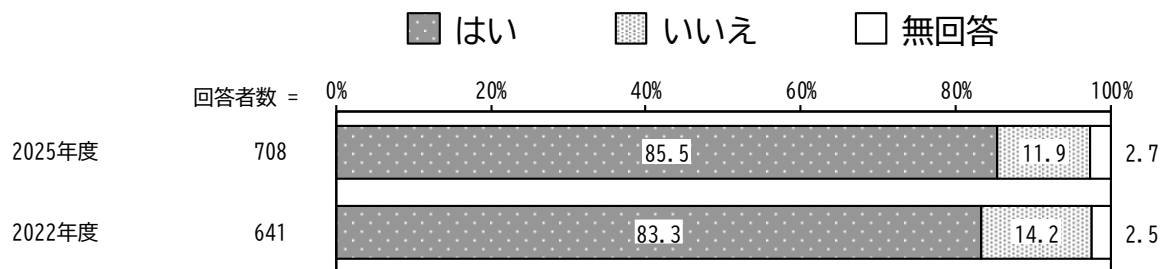
【物忘れが多いと感じる（経年比較）】

いずれの年代においても、物忘れが多いと感じる方が減少傾向にあります。



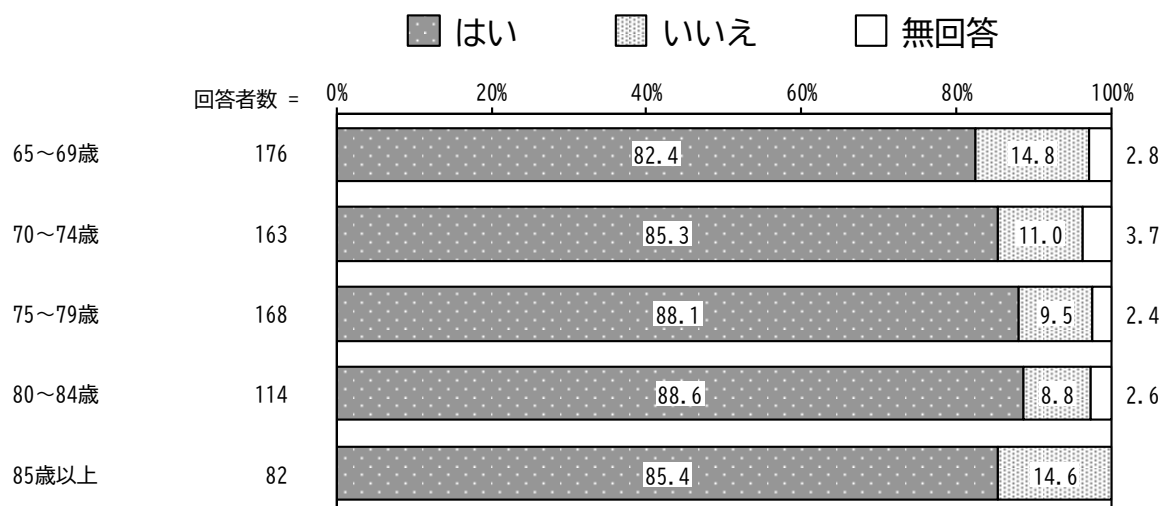
問 25 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。【○は1つ】

「はい」の割合が85.5%、「いいえ」の割合が11.9%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



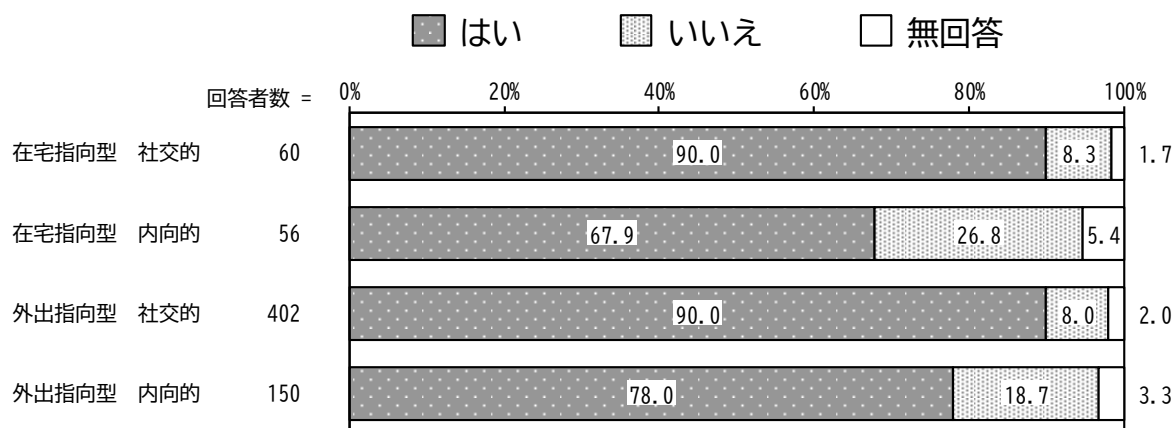
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から80～84歳まで年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



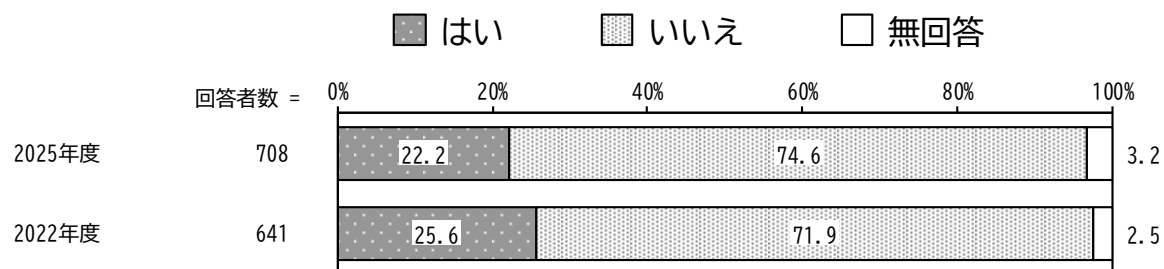
【タイプ別】

タイプ別にみると、内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



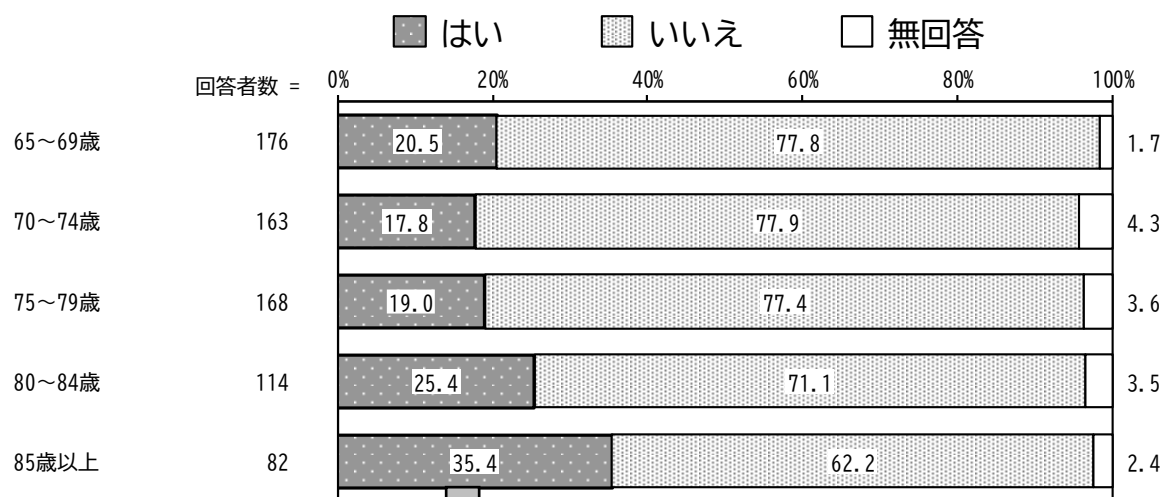
問 26 今日が何月何日かわからない時がありますか。【○は1つ】

「はい」の割合が22.2%、「いいえ」の割合が74.6%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

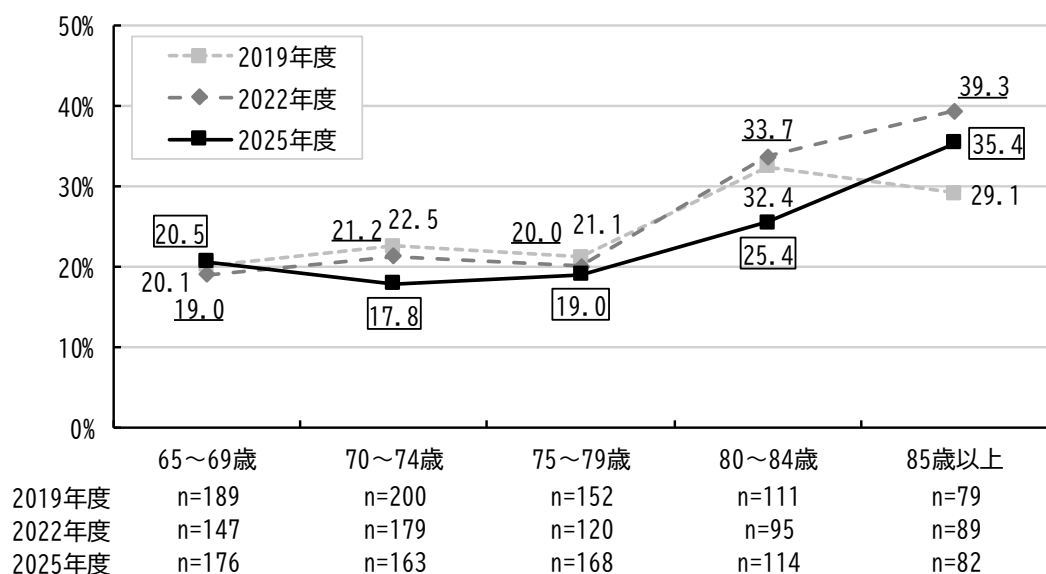


【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。

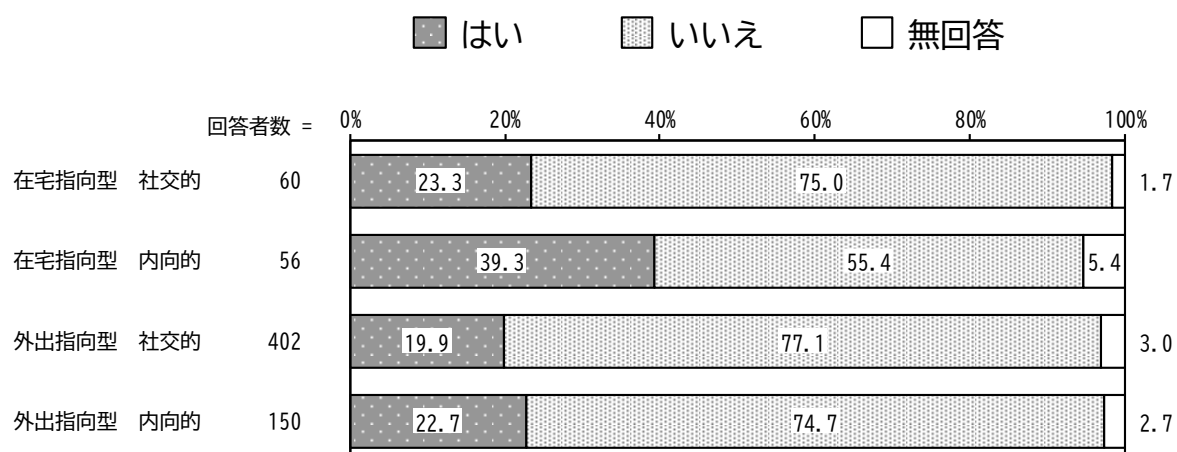


【日時の物忘れあり（経年比較）】



【タイプ別】

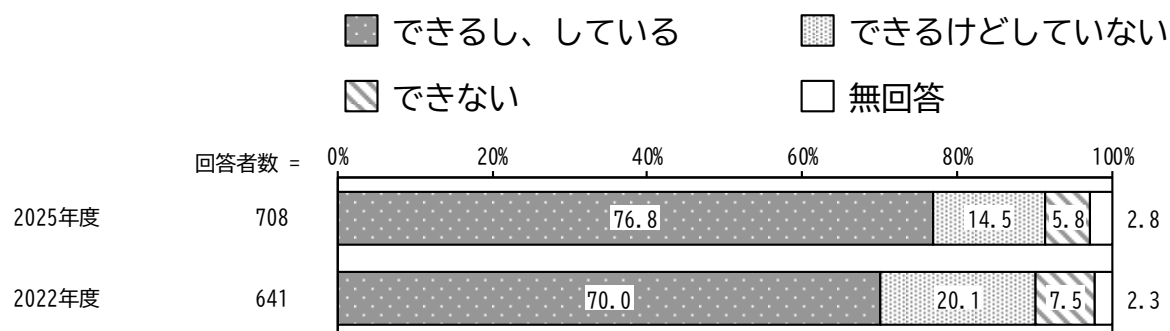
タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「はい」の割合が高くなっています。



問 27 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)【○は1つ】

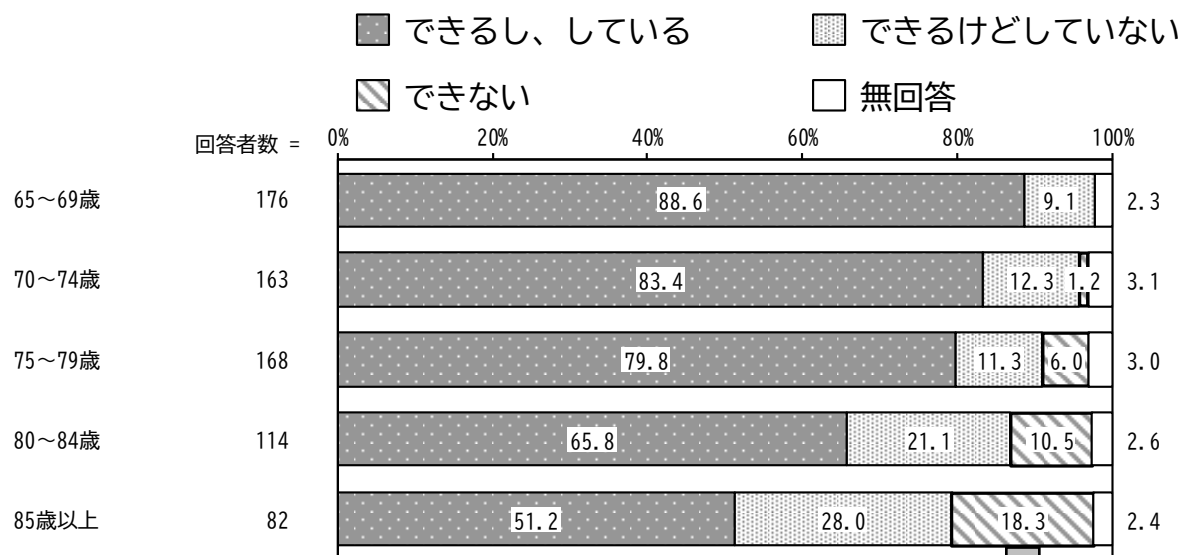
「できるし、している」の割合が76.8%と、最も高くなっています。

2022 年度調査と比較すると、「できるし、している」の割合が増加しています。一方、「できるけどしていない」の割合が減少しています。



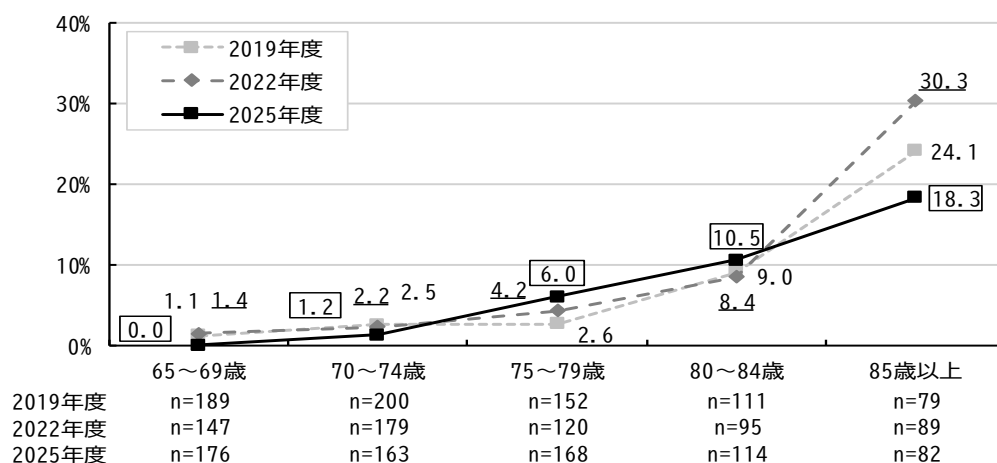
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高い傾向にあり、「できるし、している」の割合が低くなっています。



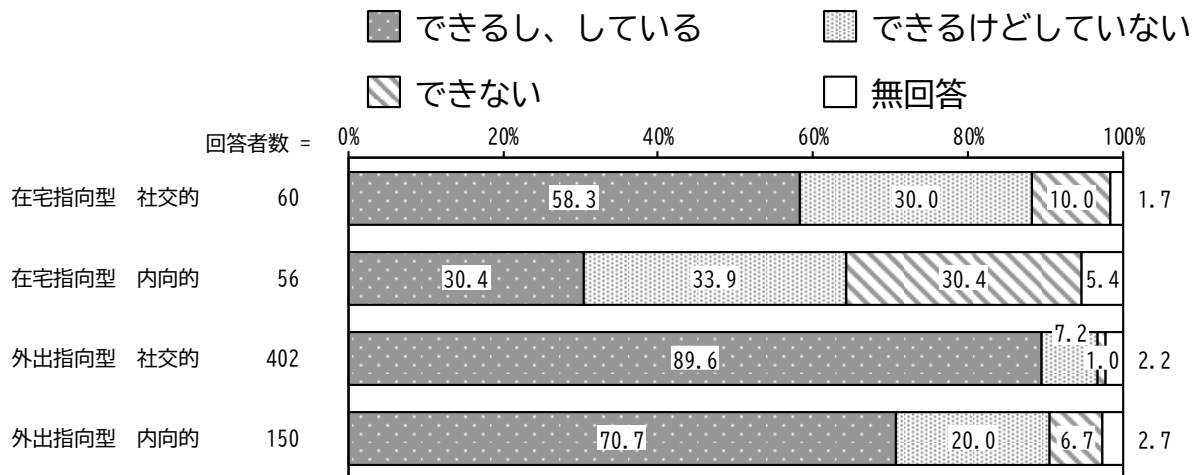
【1人での外出が困難（経年比較）】

2019 年度調査及び 2022 年度調査と比較すると、85 歳以上で「できない」の割合が減少しています。



【タイプ別】

タイプ別にみると、外出指向型 社交的で「できるし、している」、在宅指向型 内向的で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

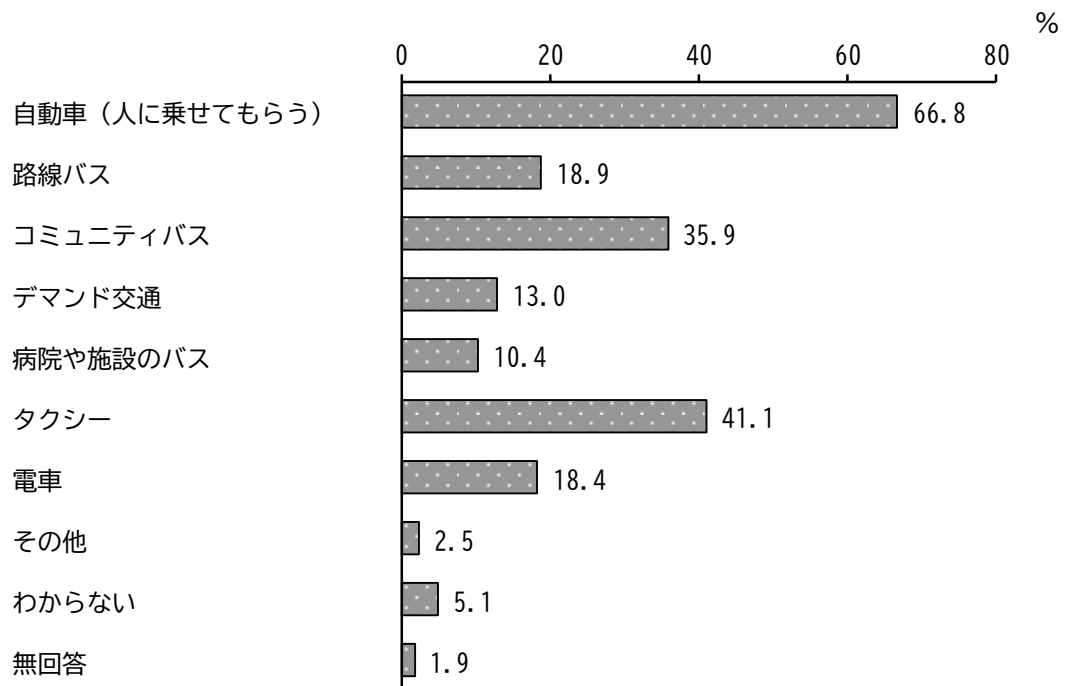


問 27 で「できるし、している」または「できるけどしていない」に○をつけた方にうかがいます。

問 27－1 あなたが自分で移動ができなくなった場合、利用すると思う移動手段について、ご回答ください。【○はいくつでも】

「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が 41.1%、「コミュニティバス」の割合が 35.9%となっています。

回答者数 = 647



【年齢別】

年齢別にみると、全ての区分で自動車（人に乗せてもらう）が最も高いですが、75 歳以上の区分では「路線バス」「コミュニティバス」「タクシー」の割合が 74 歳以下の区分より低い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自動車 (人に乗せて もらう)	路線バス	コミュニティバス	デマンド交通	病院や施設のバス	タクシー	電車	その他	わからない	無回答
全 体	647	66.8	18.9	35.9	13.0	10.4	41.1	18.4	2.5	5.1	1.9
65～69歳	172	69.8	20.9	38.4	14.0	11.0	46.5	26.2	2.3	4.1	1.7
70～74歳	156	62.2	25.6	40.4	10.9	10.3	44.9	21.2	3.8	8.3	1.3
75～79歳	153	69.3	18.3	35.9	13.7	10.5	33.3	14.4	2.0	4.6	1.3
80～84歳	99	59.6	9.1	29.3	12.1	10.1	37.4	8.1	2.0	6.1	3.0
85歳以上	65	73.8	13.8	29.2	15.4	9.2	41.5	15.4	1.5	0.0	3.1

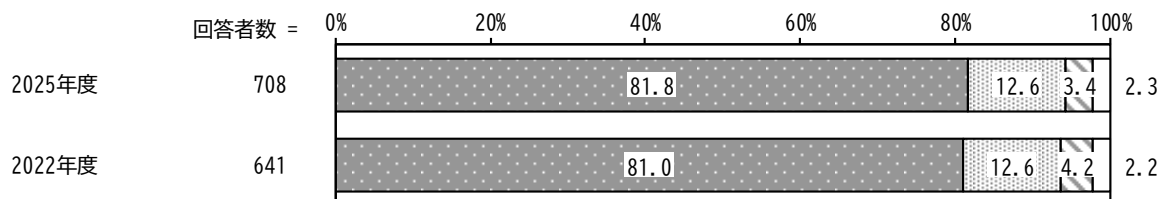
問 28 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【○は1つ】

「できるし、している」の割合が 81.8%と、最も高くなっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

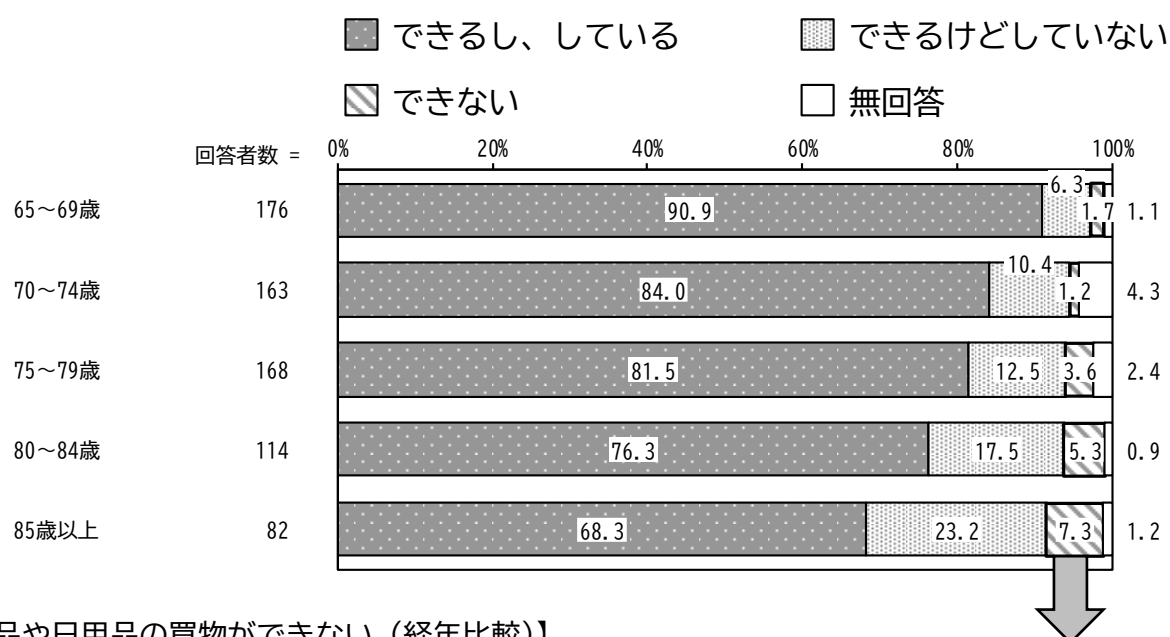
できるし、している
 できるけどしていない

できない
 無回答



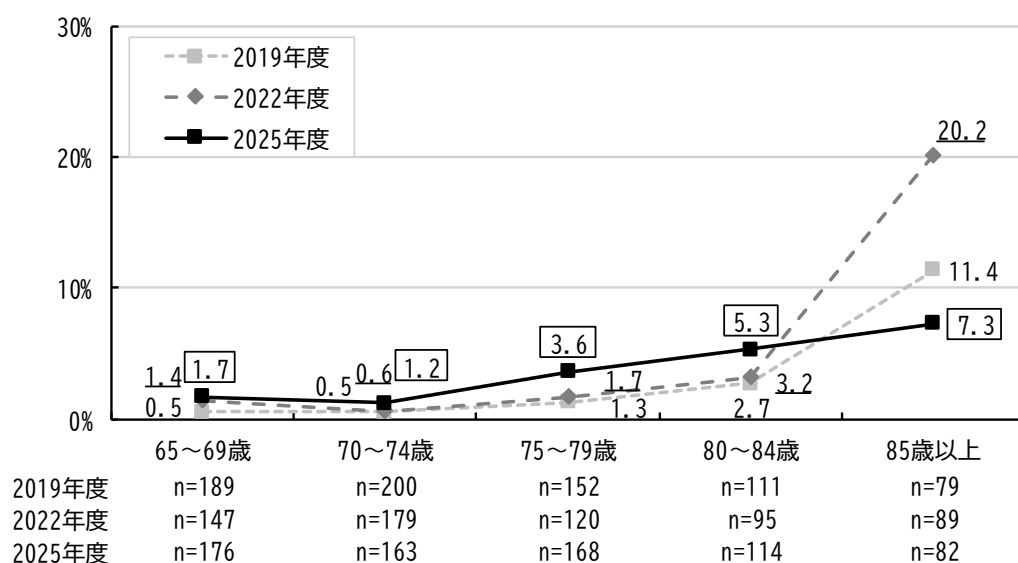
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



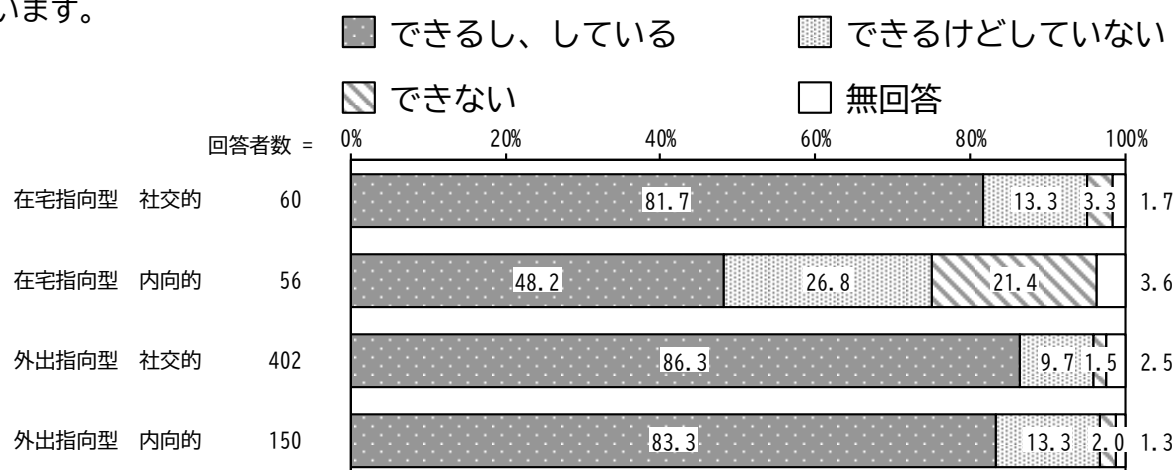
【食品や日用品の買物ができない（経年比較）】

2019年度調査及び2022年度調査と比較すると、85歳以上で「できない」の割合が減少しています。



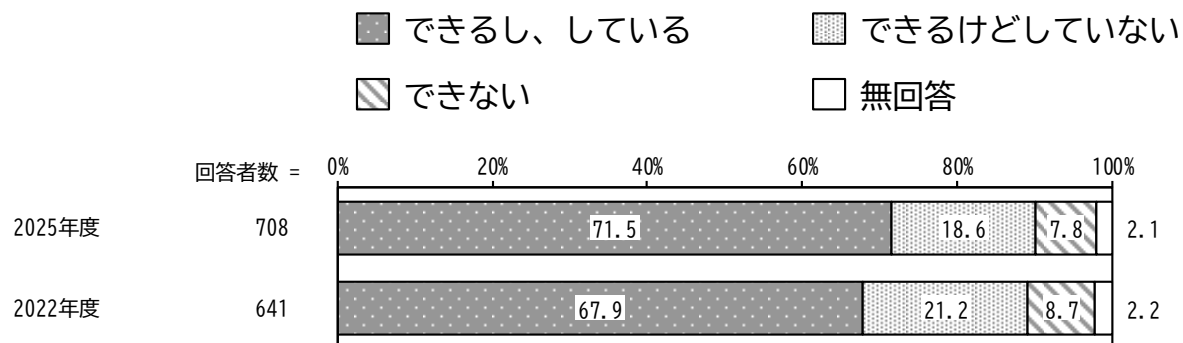
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



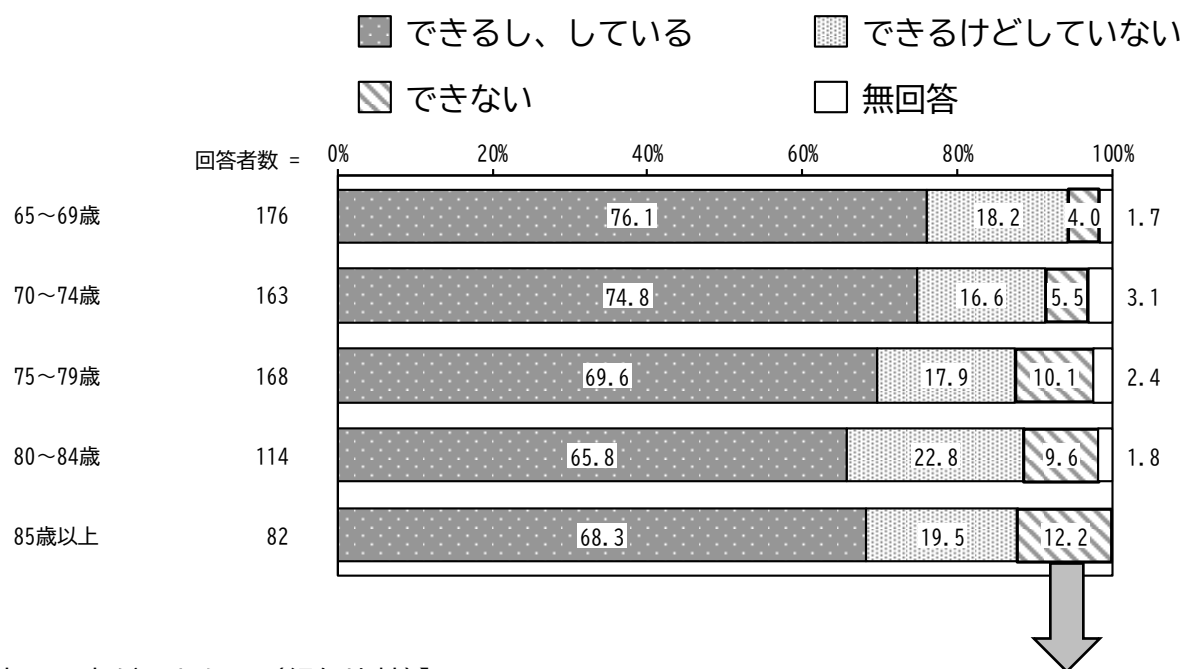
問 29 自分で食事の用意をしていますか。【○は1つ】

「できるし、している」の割合が71.5%と、最も高くなっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

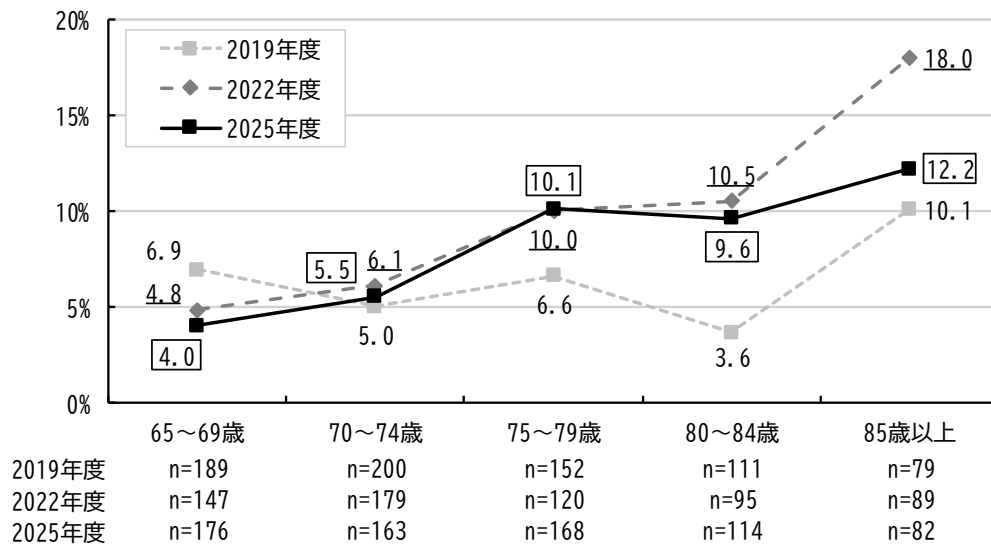


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高い傾向にあります。

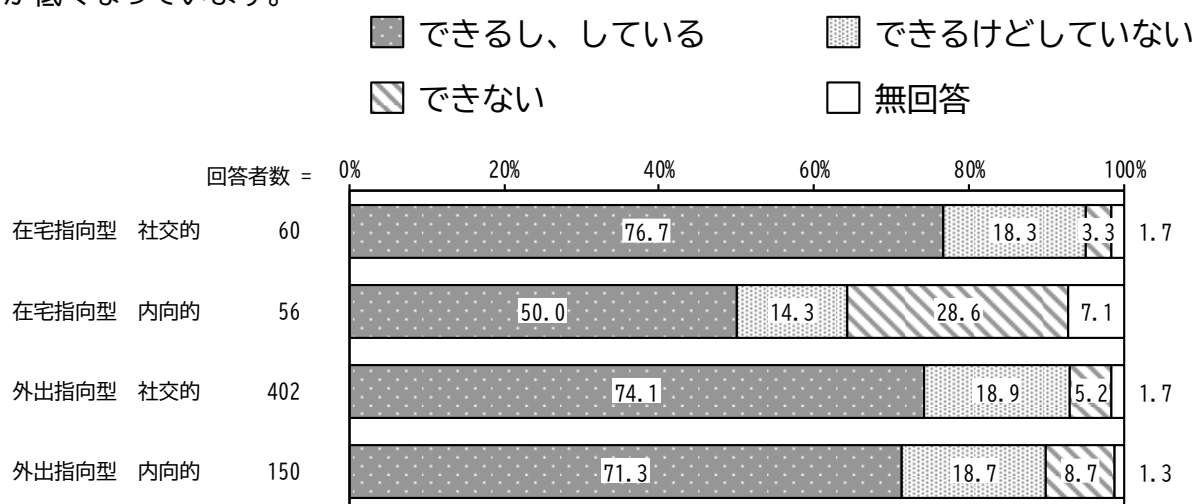


【食事の用意ができない（経年比較）】



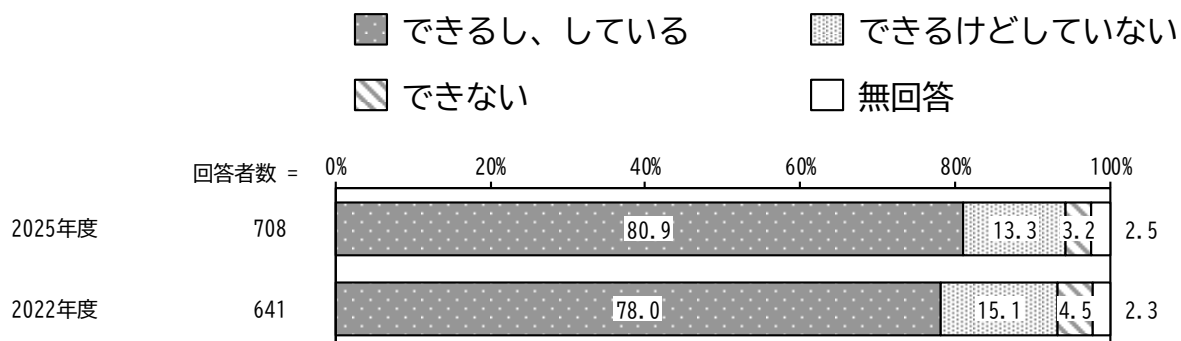
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



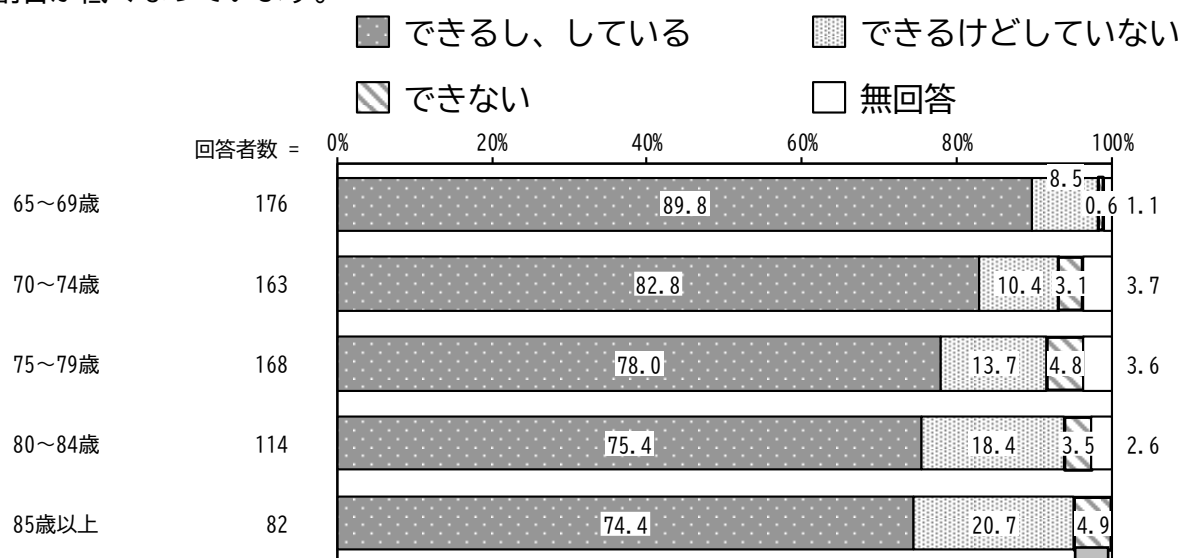
問 30 自分で請求書の支払いをしていますか。【○は1つ】

「できるし、している」の割合が 80.9%と、最も高くなっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



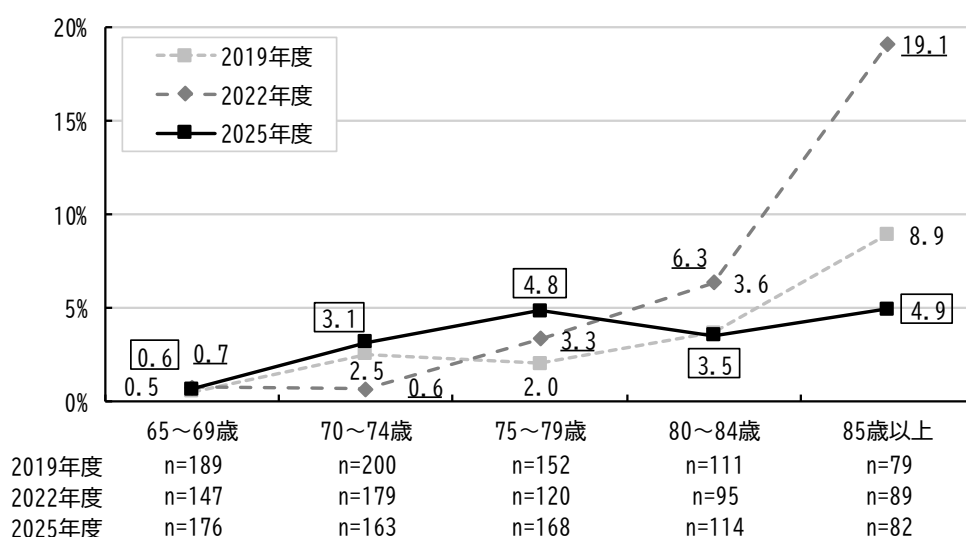
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



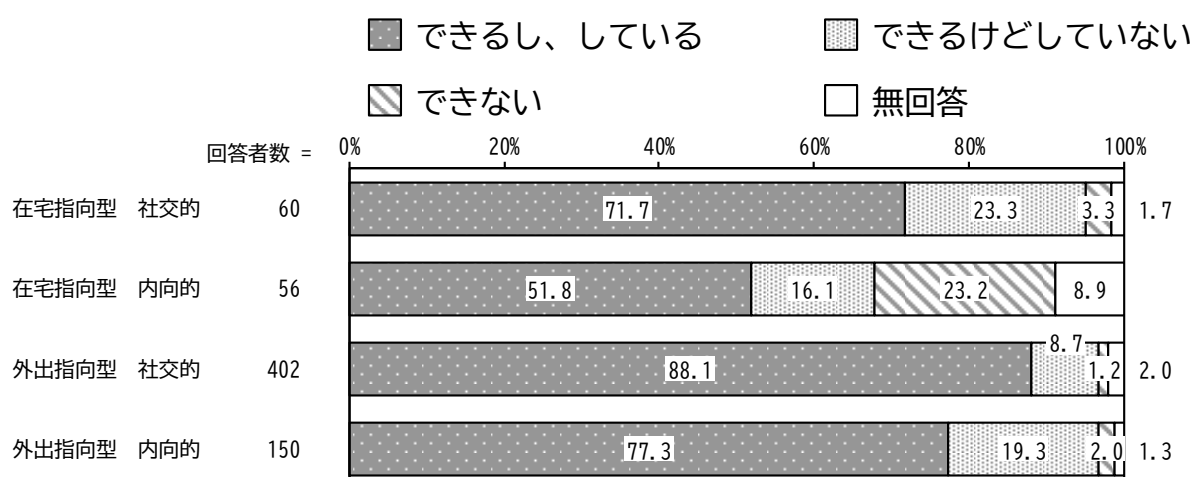
【請求書の支払いができない（経年比較）】

2019 年度調査及び 2022 年度調査と比較すると、85 歳以上で「できない」の割合が減少しています。



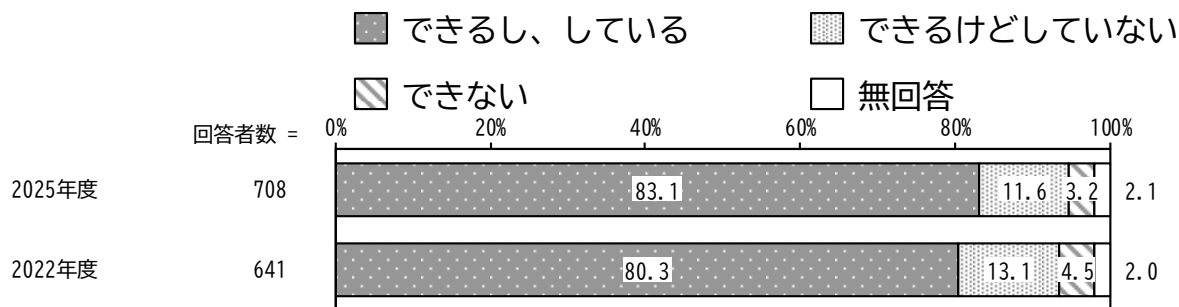
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型で「できない」の割合が高くなっています。



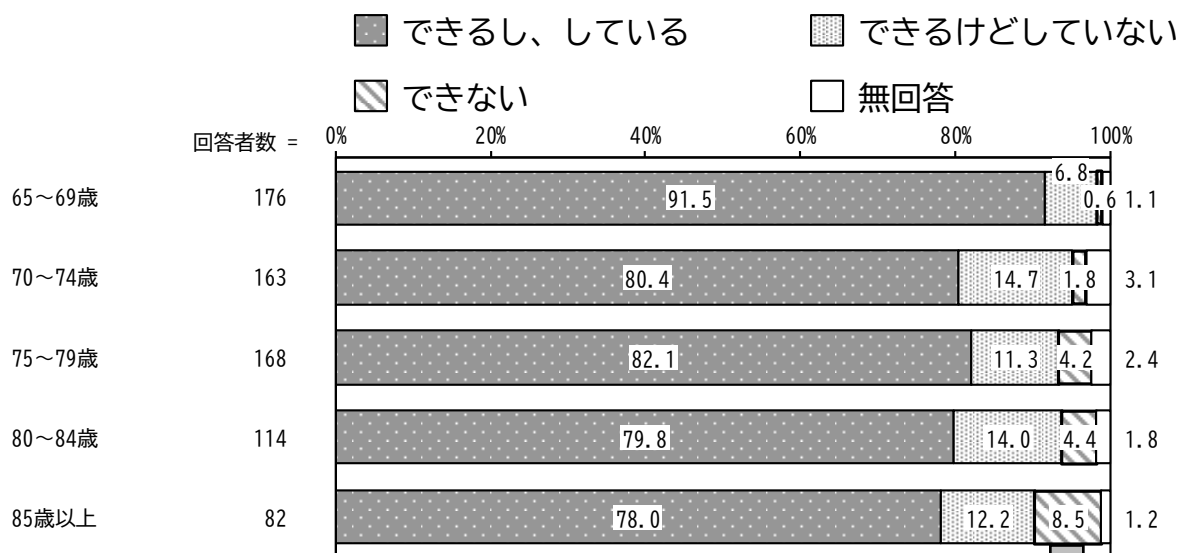
問 31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。【○は1つ】

「できるし、している」の割合が 83.1%と、最も高くなっています。2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



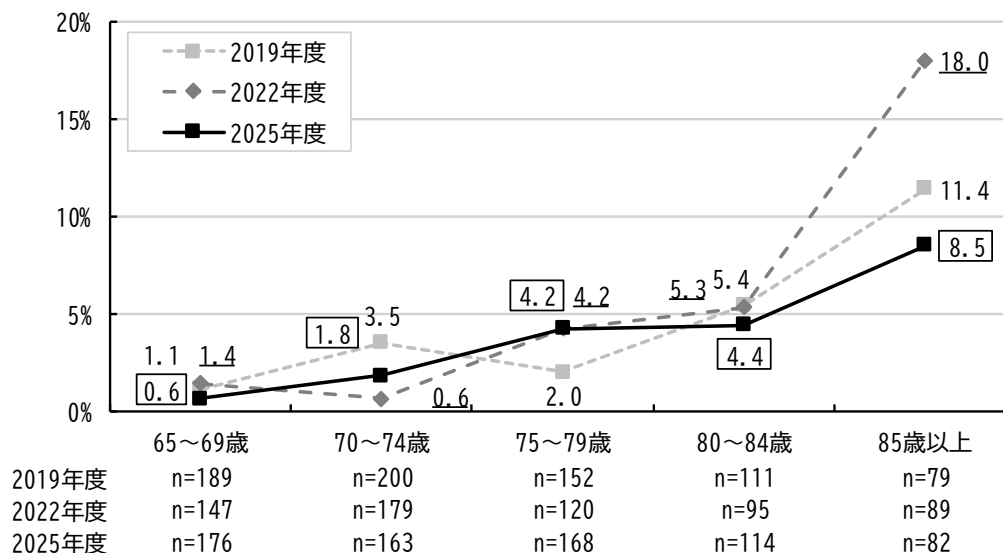
【年齢別】

年齢別にみると、65～69 歳で「できるし、している」、85 歳以上で「できない」の割合が高くなっています。



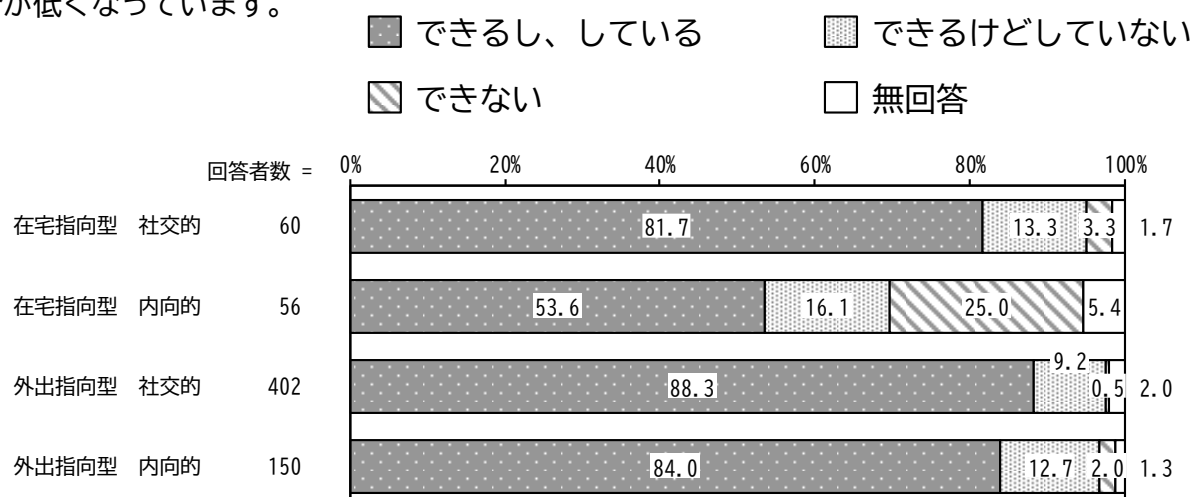
【預貯金の出し入れができない（経年比較）】

2019 年度調査及び 2022 年度調査と比較すると、85 歳以上で「できない」の割合が減少しています。



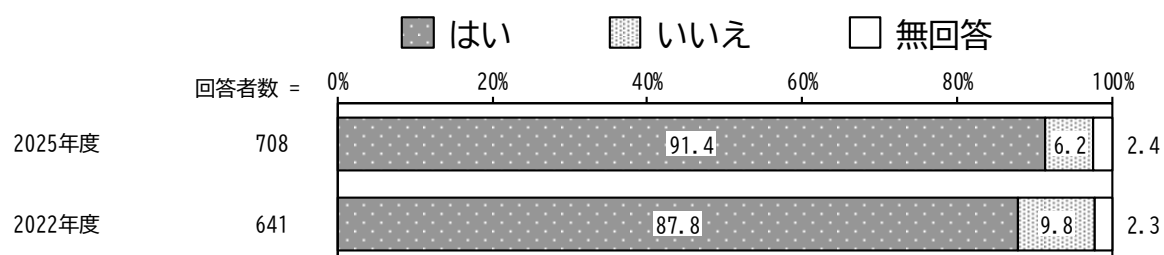
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



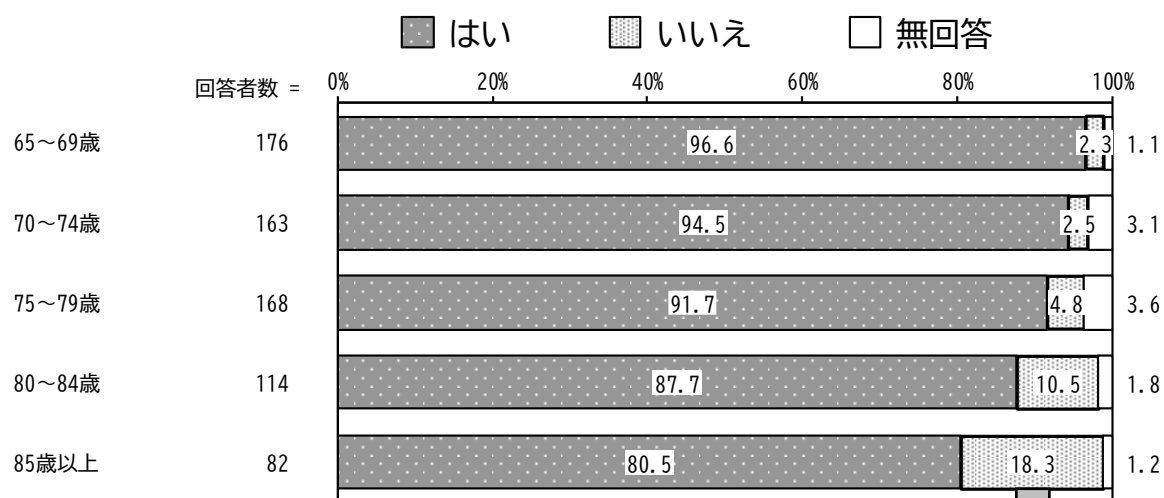
問 32 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。【○は1つ】

「はい」の割合が91.4%、「いいえ」の割合が6.2%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



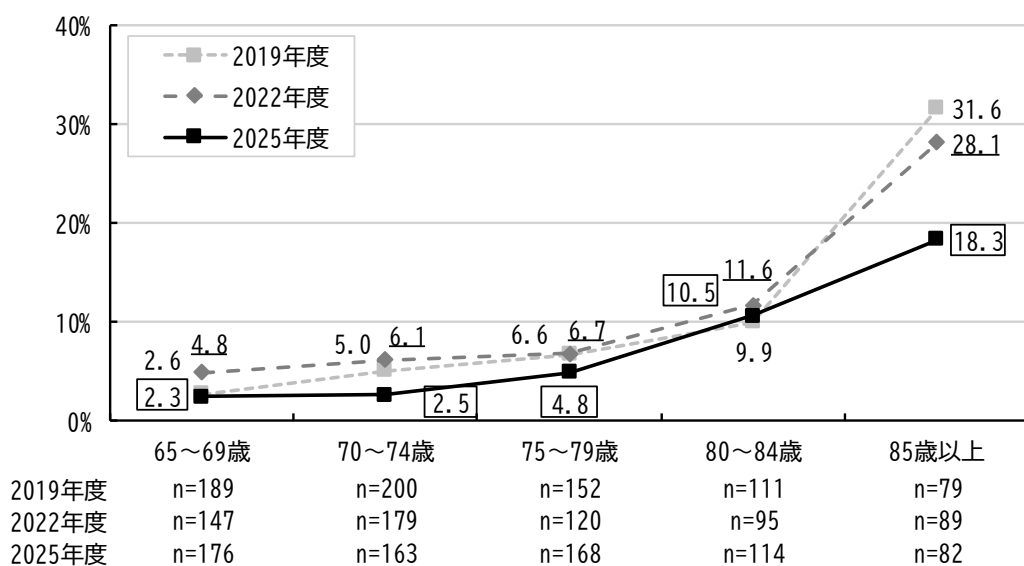
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



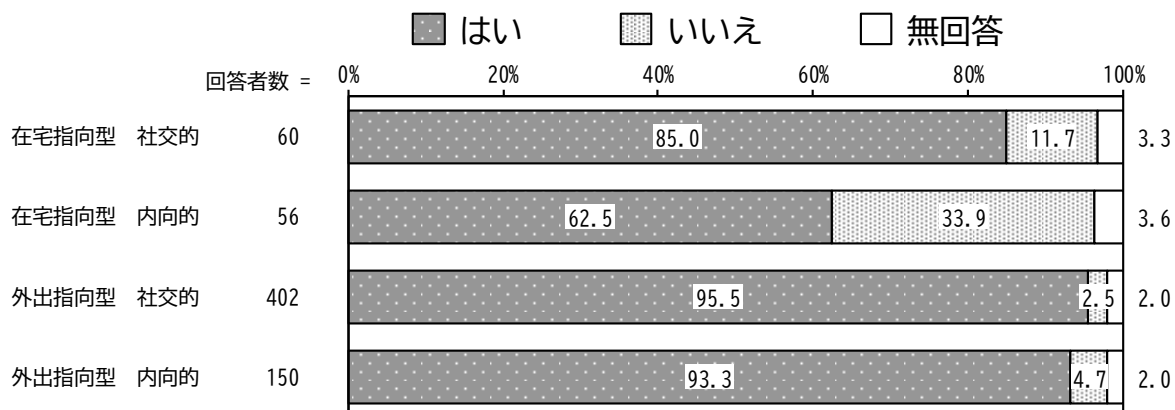
【年金などの書類が書けない（経年比較）】

2019年度調査及び2022年度調査と比較すると、85歳以上で「いいえ」の割合が減少しています。



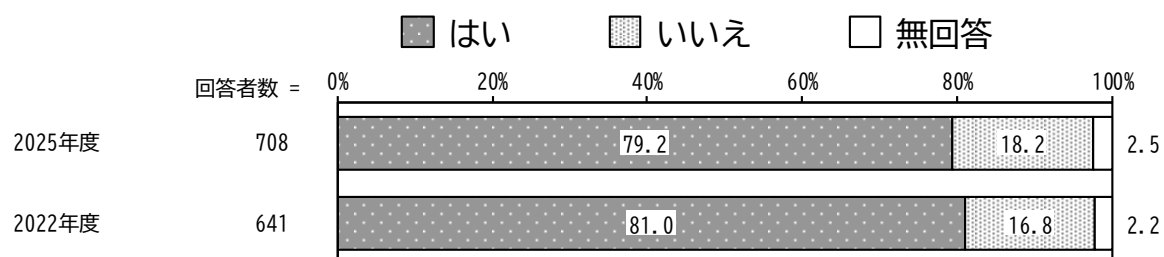
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



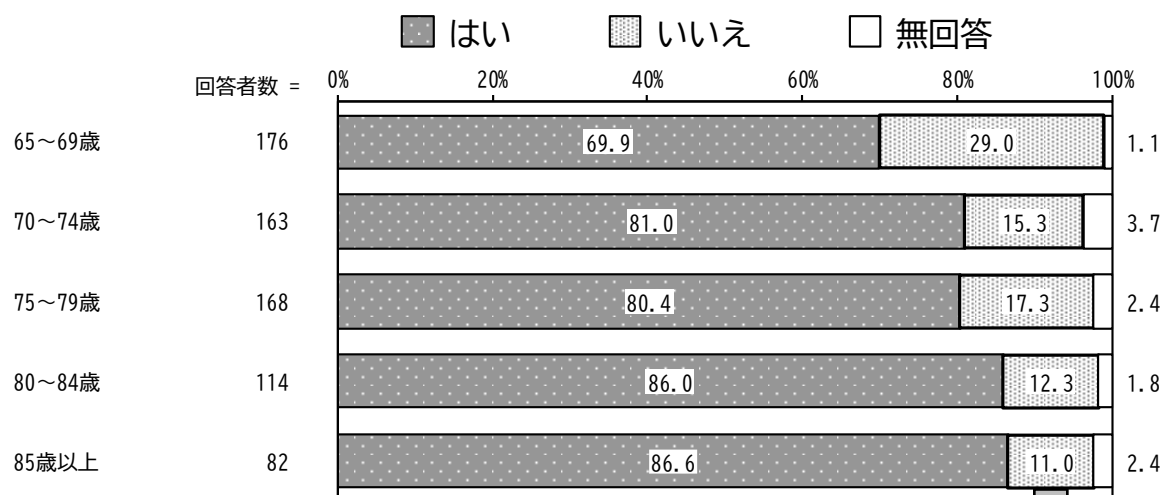
問 33 新聞を読んでいますか。【○は1つ】

「はい」の割合が79.2%、「いいえ」の割合が18.2%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

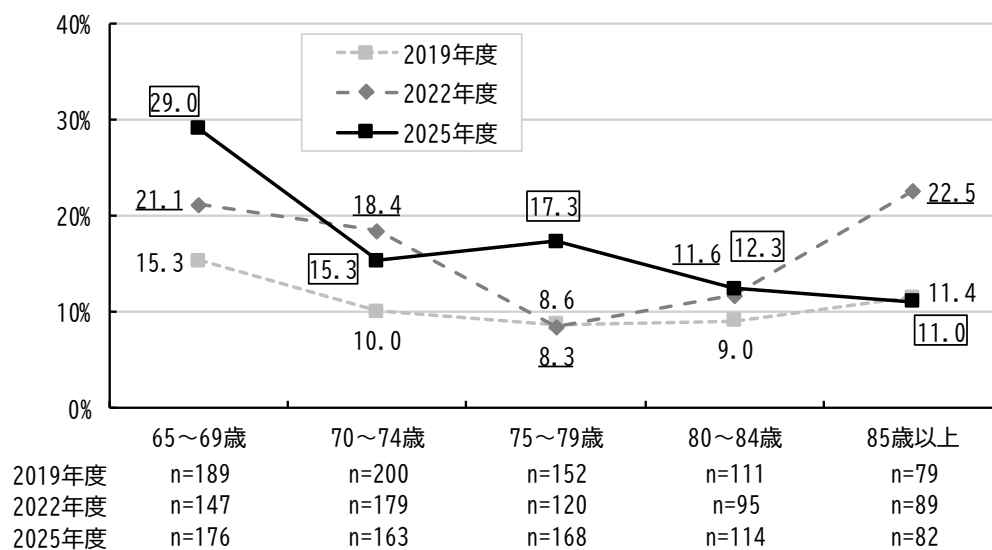


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高い傾向にあります。

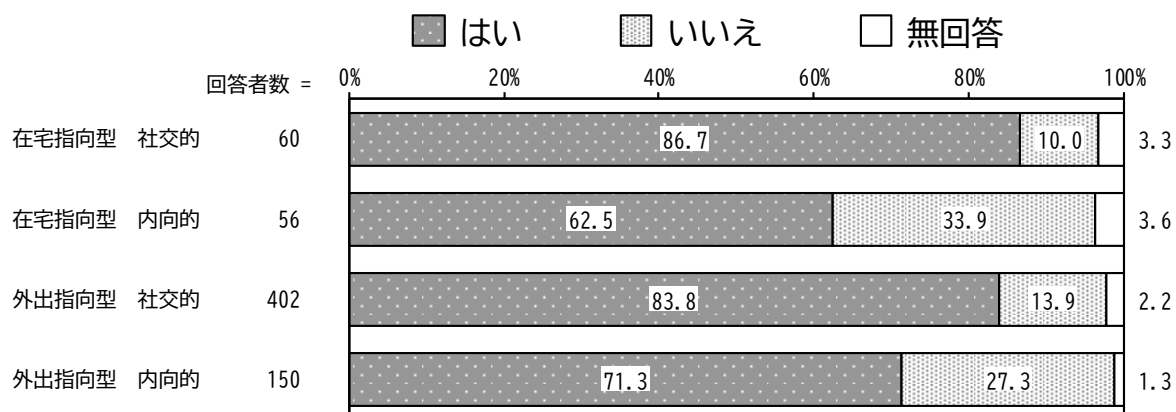


【新聞を読んでいない（経年比較）】



【タイプ別】

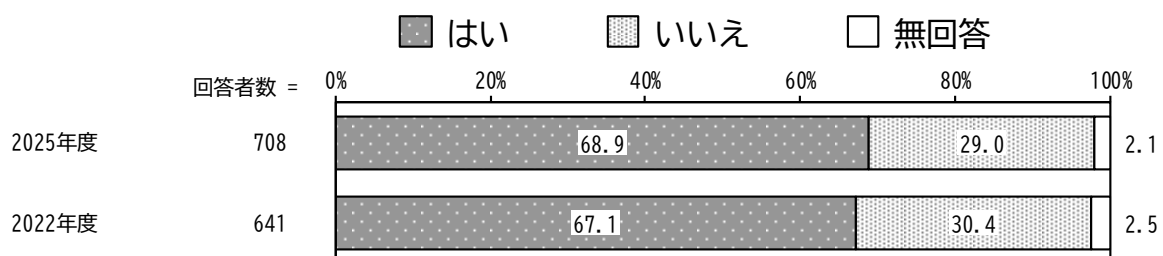
タイプ別にみると、内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 34 本や雑誌を読んでいますか。【○は1つ】

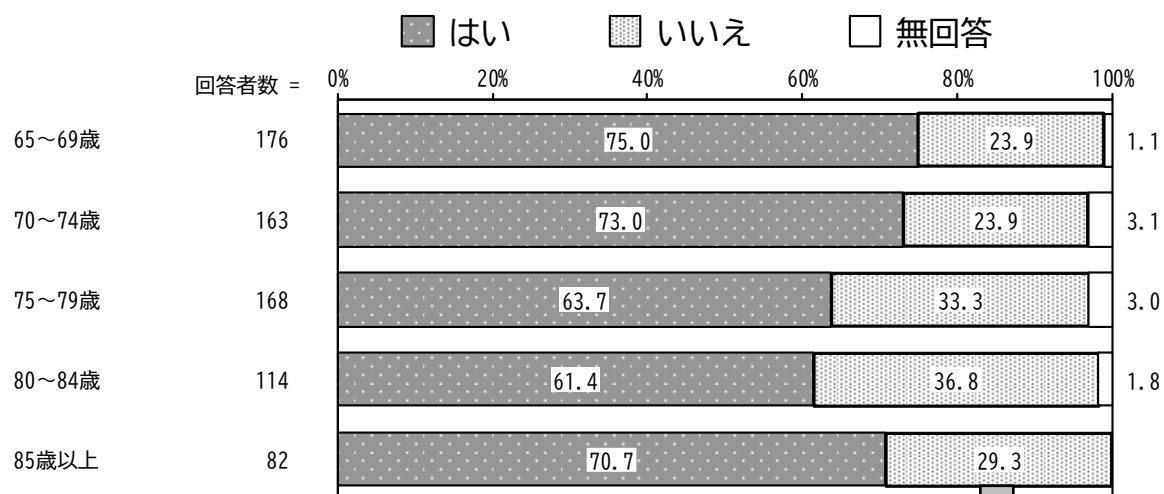
「はい」の割合が68.9%、「いいえ」の割合が29.0%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

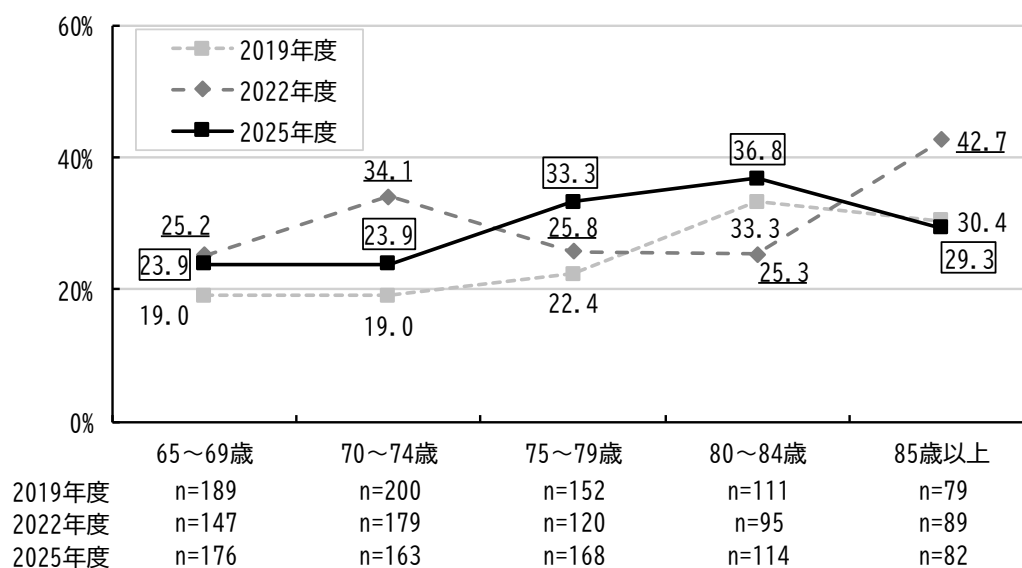


【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から80～84歳まで年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高い傾向にあります。

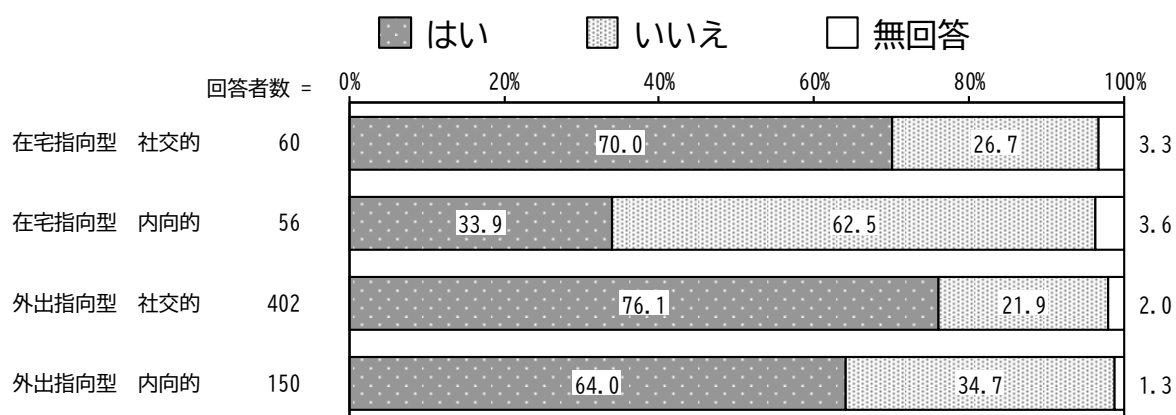


【本や雑誌を読んでいない（経年比較）】



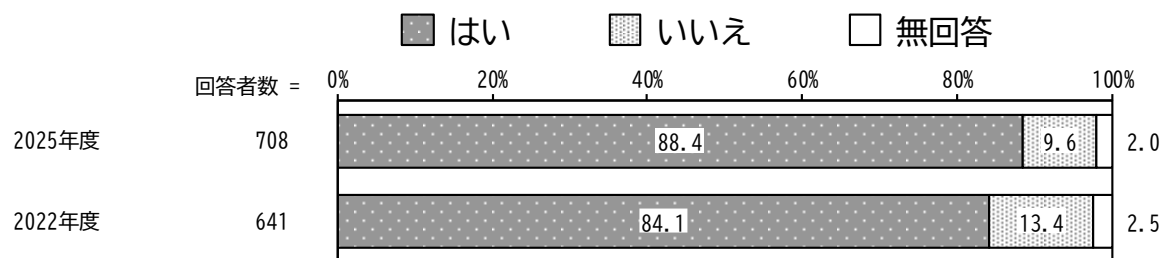
【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



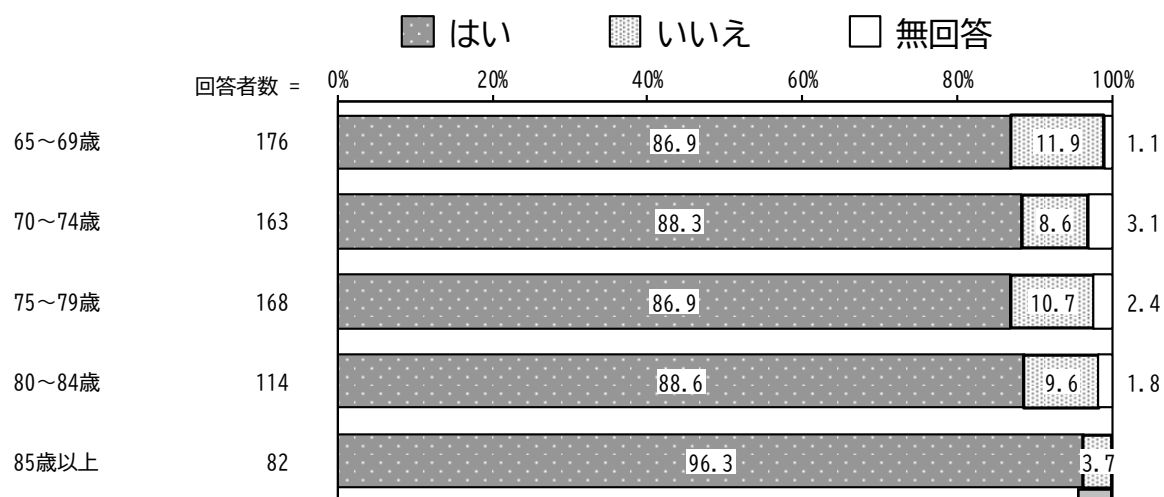
問 35 健康についての記事や番組に関心がありますか。【○は1つ】

「はい」の割合が88.4%、「いいえ」の割合が9.6%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

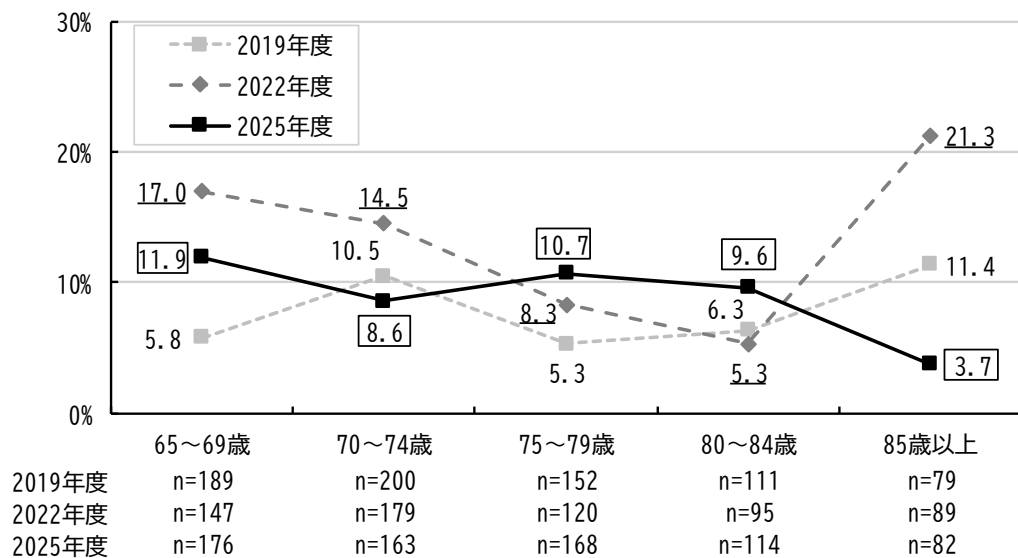


【年齢別】

年齢別にみると、85歳以上で「はい」の割合が高くなっています。

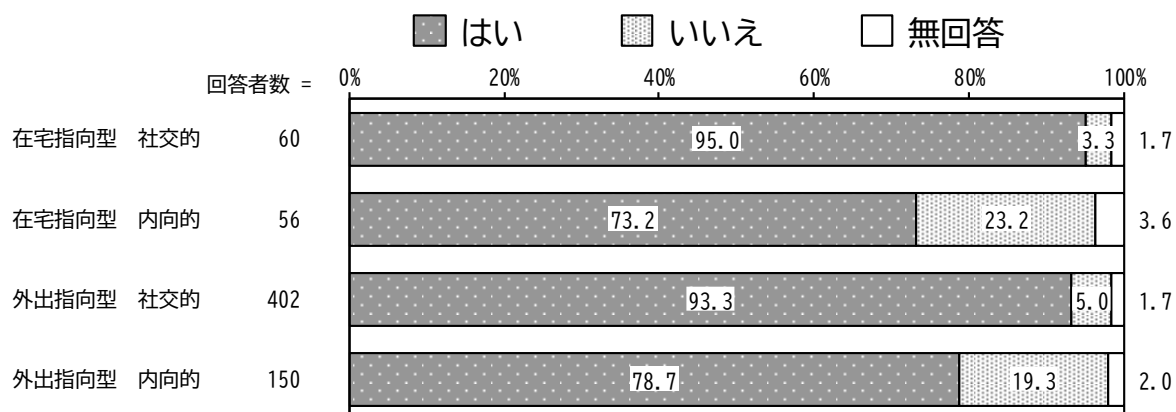


【健康についての記事や番組に関心がない（経年比較）】



【タイプ別】

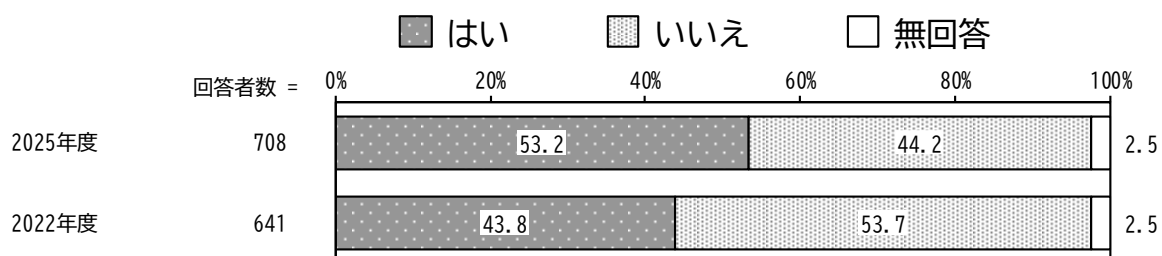
タイプ別にみると、内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 36 友人の家を訪ねていますか。【○は1つ】

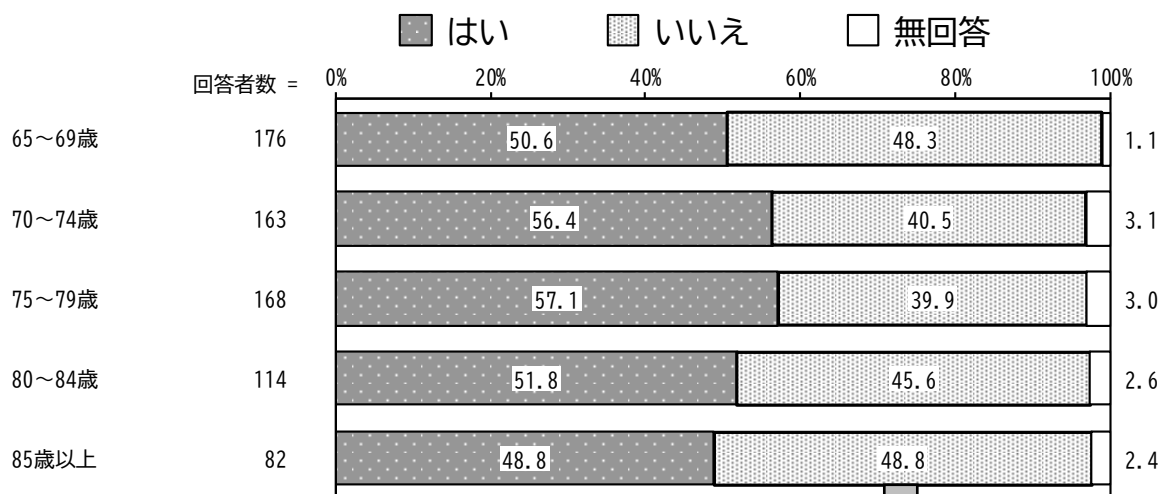
「はい」の割合が 53.2%、「いいえ」の割合が 44.2%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。

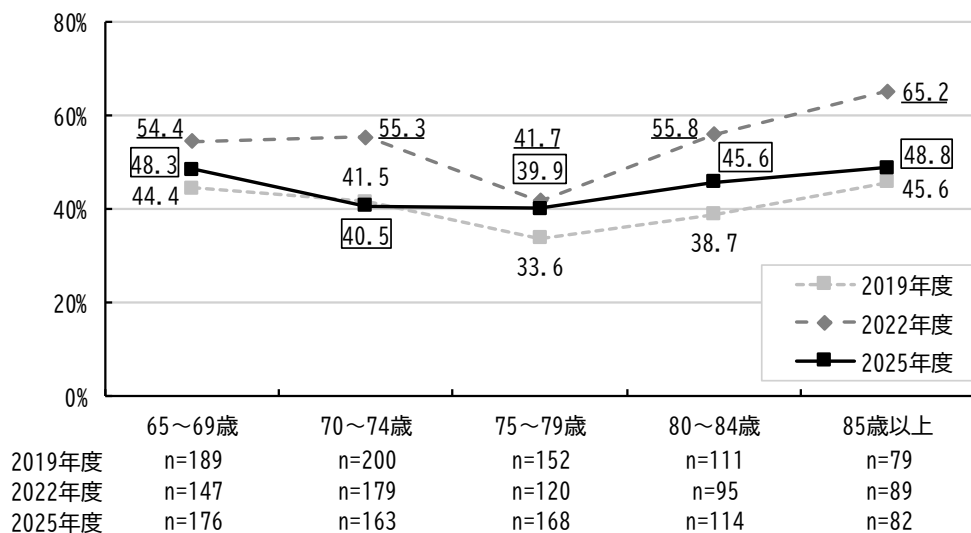


【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

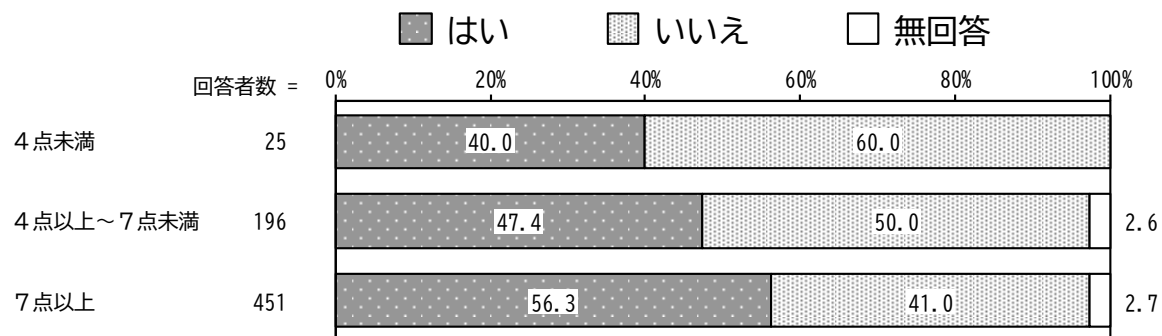


【友人の家を訪ねていない（経年比較）】



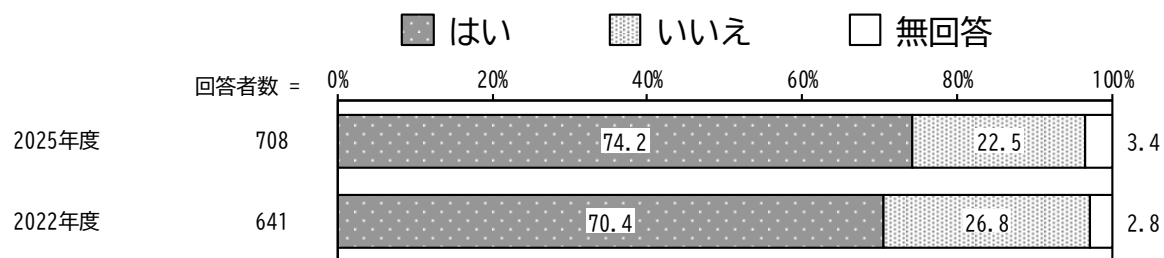
【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



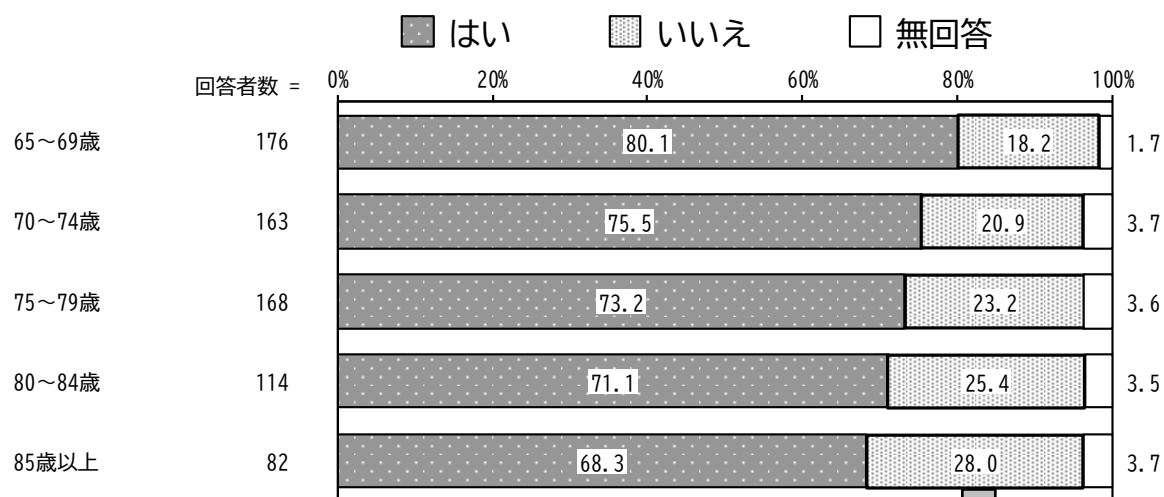
問 37 家族や友人の相談にのっていますか。【○は1つ】

「はい」の割合が74.2%、「いいえ」の割合が22.5%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

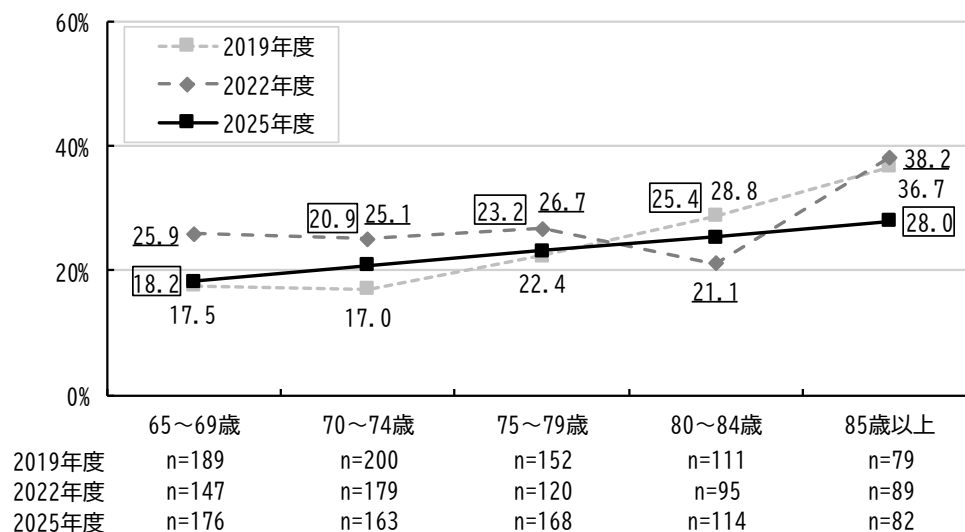


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。

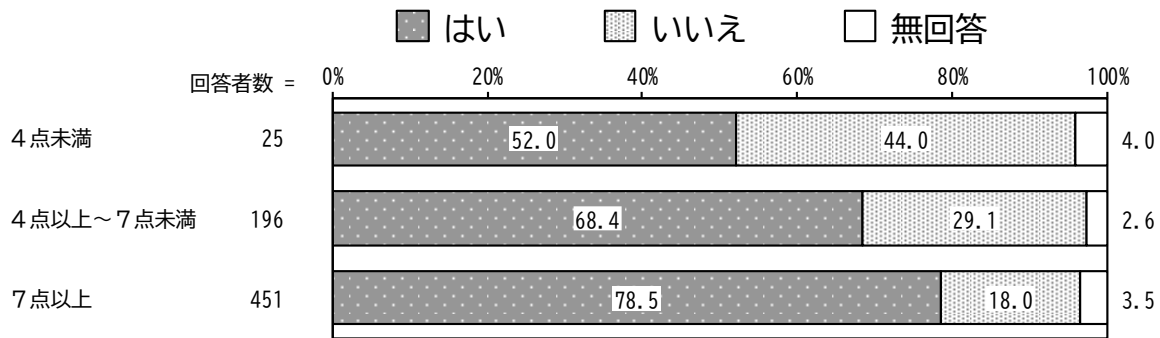


【家族や友人の相談にのっていない（経年比較）】



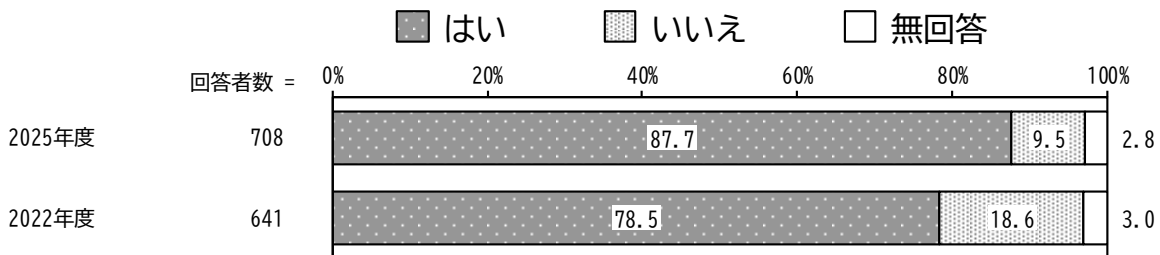
【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



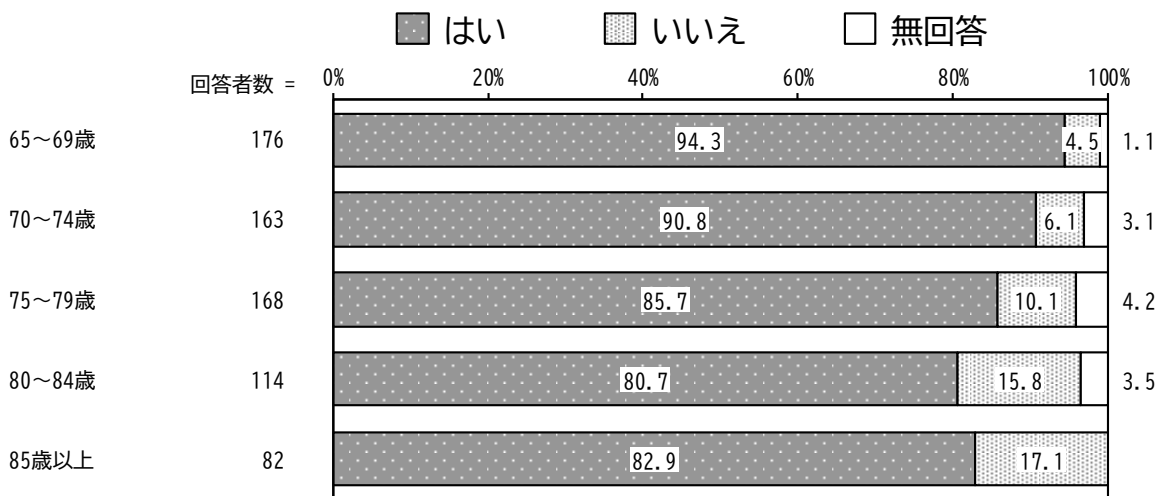
問 38 病人を見舞うことができますか。【○は1つ】

「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が9.5%となっています。
2022年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



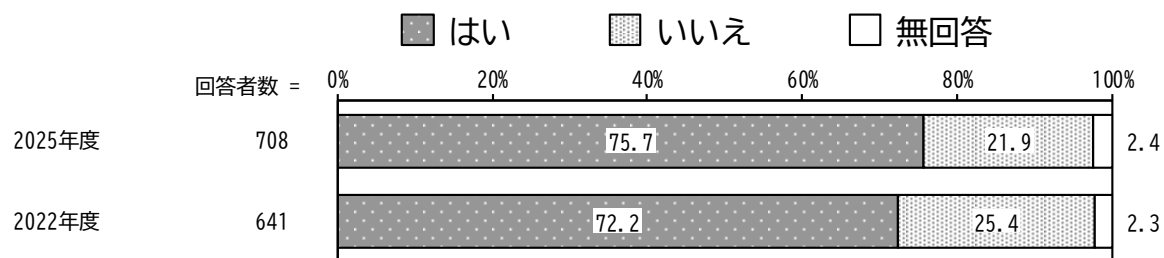
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



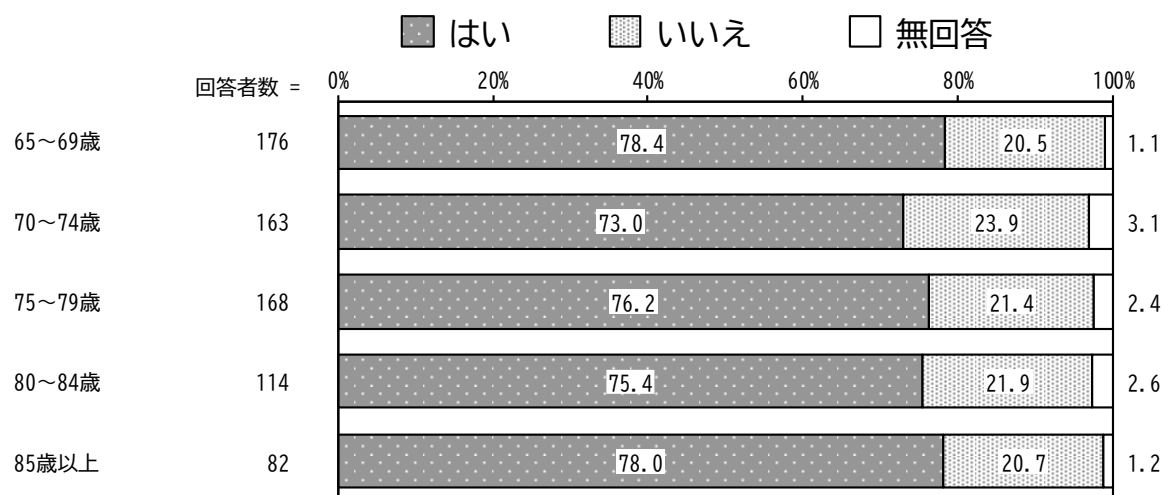
問 39 若い人に自分から話しかけることがありますか。【○は1つ】

「はい」の割合が75.7%、「いいえ」の割合が21.9%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



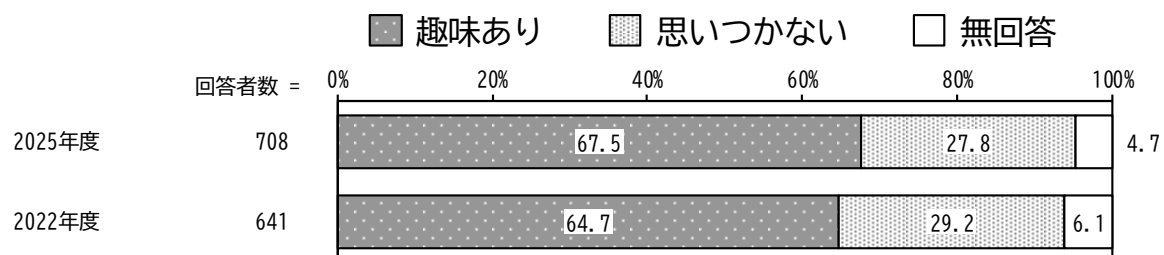
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



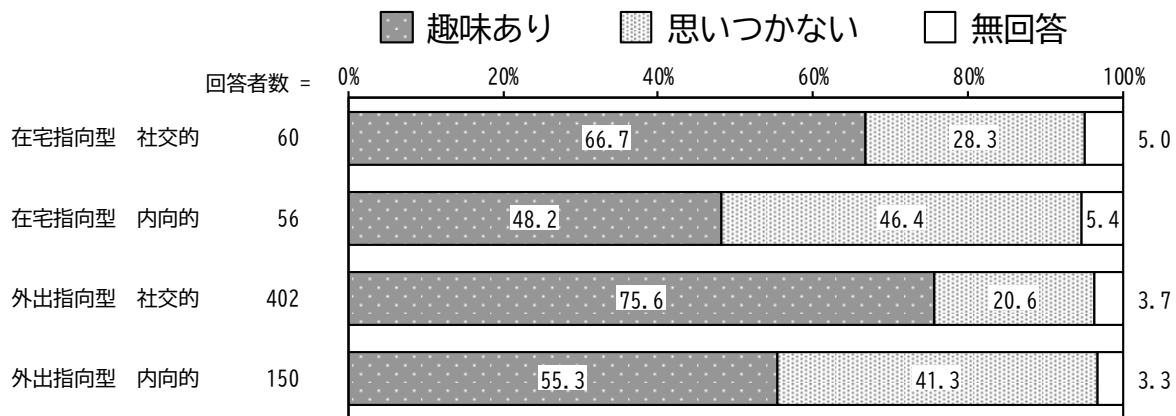
問 40 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。【○は1つ】

「趣味あり」の割合が67.5%、「思いつかない」の割合が27.8%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



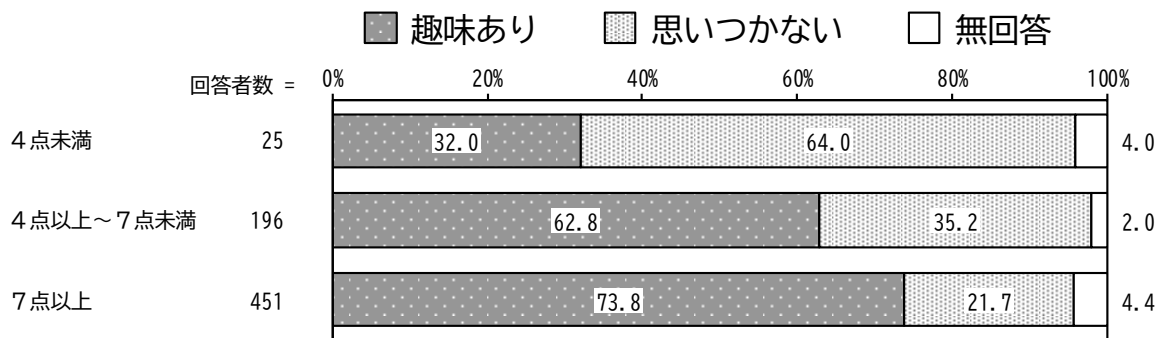
【タイプ別】

タイプ別にみると、社会的で「趣味あり」の割合が高くなっています。



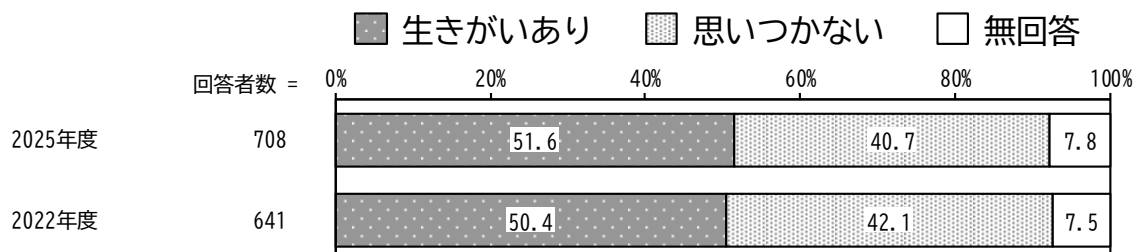
【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「趣味あり」の割合が高くなっています。



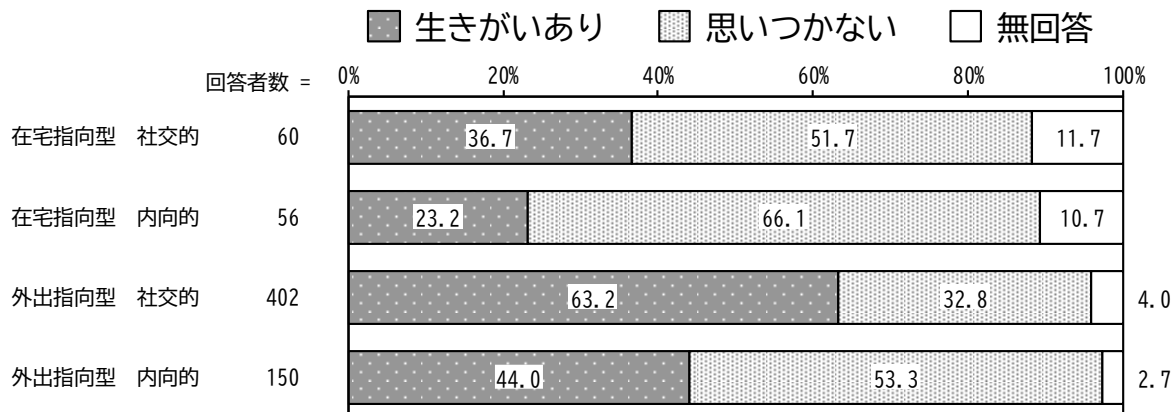
問 41 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。【○は1つ】

「生きがいあり」の割合が 51.6%、「思いつかない」の割合が 40.7%となっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



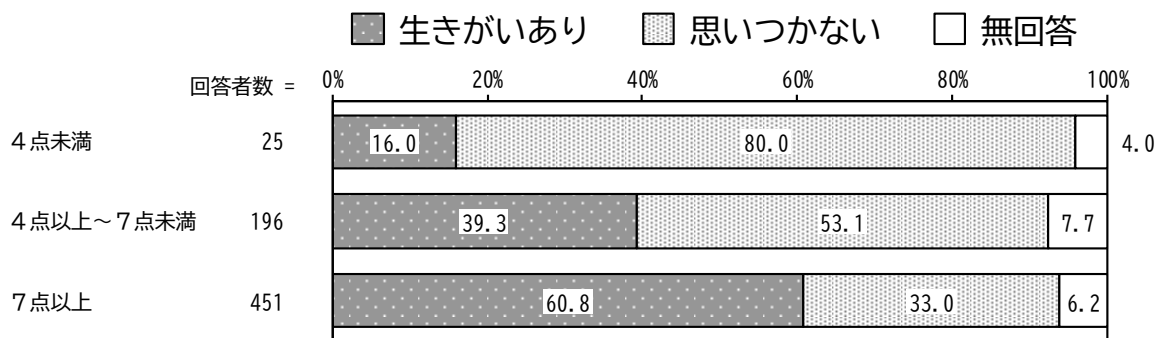
【タイプ別】

タイプ別にみると、外出指向型 社交的で「生きがいあり」、在宅指向型 内向的で「思いつかない」の割合が高くなっています。



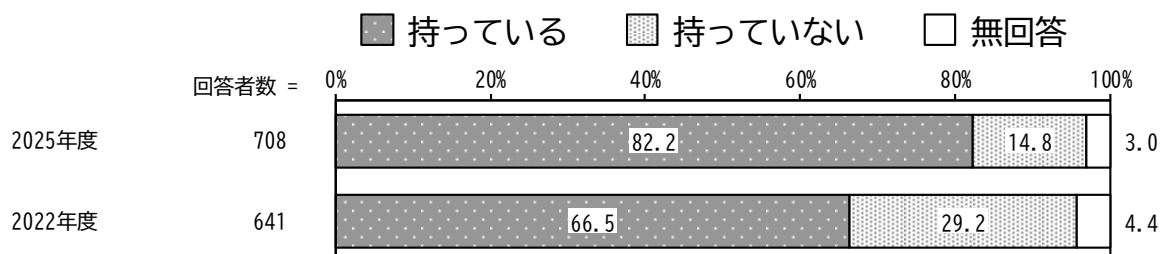
【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「生きがいあり」の割合が高くなっています。



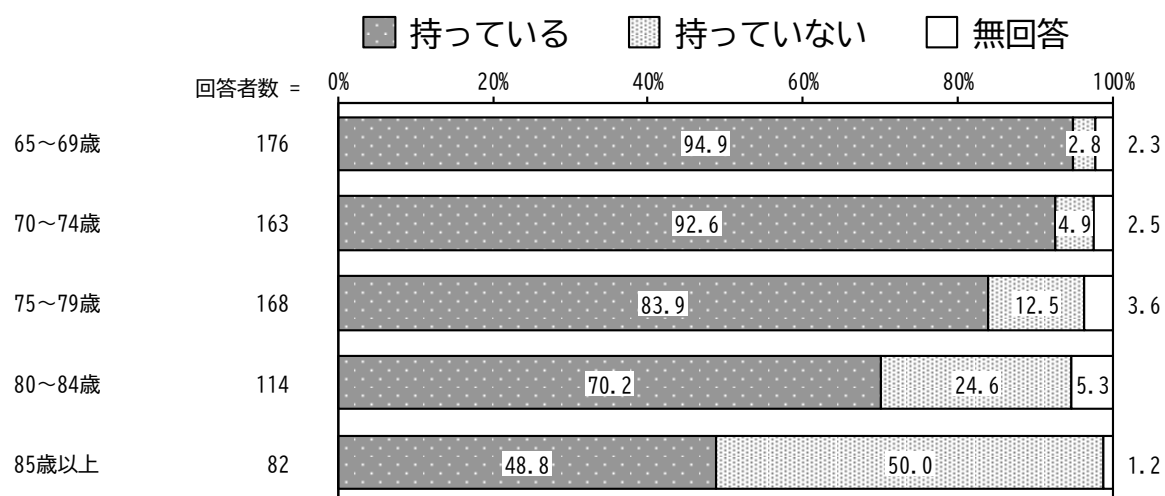
問 42 スマートフォンを持っていますか。【○は1つ】

「持っている」の割合が 82.2%、「持っていない」の割合が 14.8%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「持っている」の割合が高い傾向にあります。

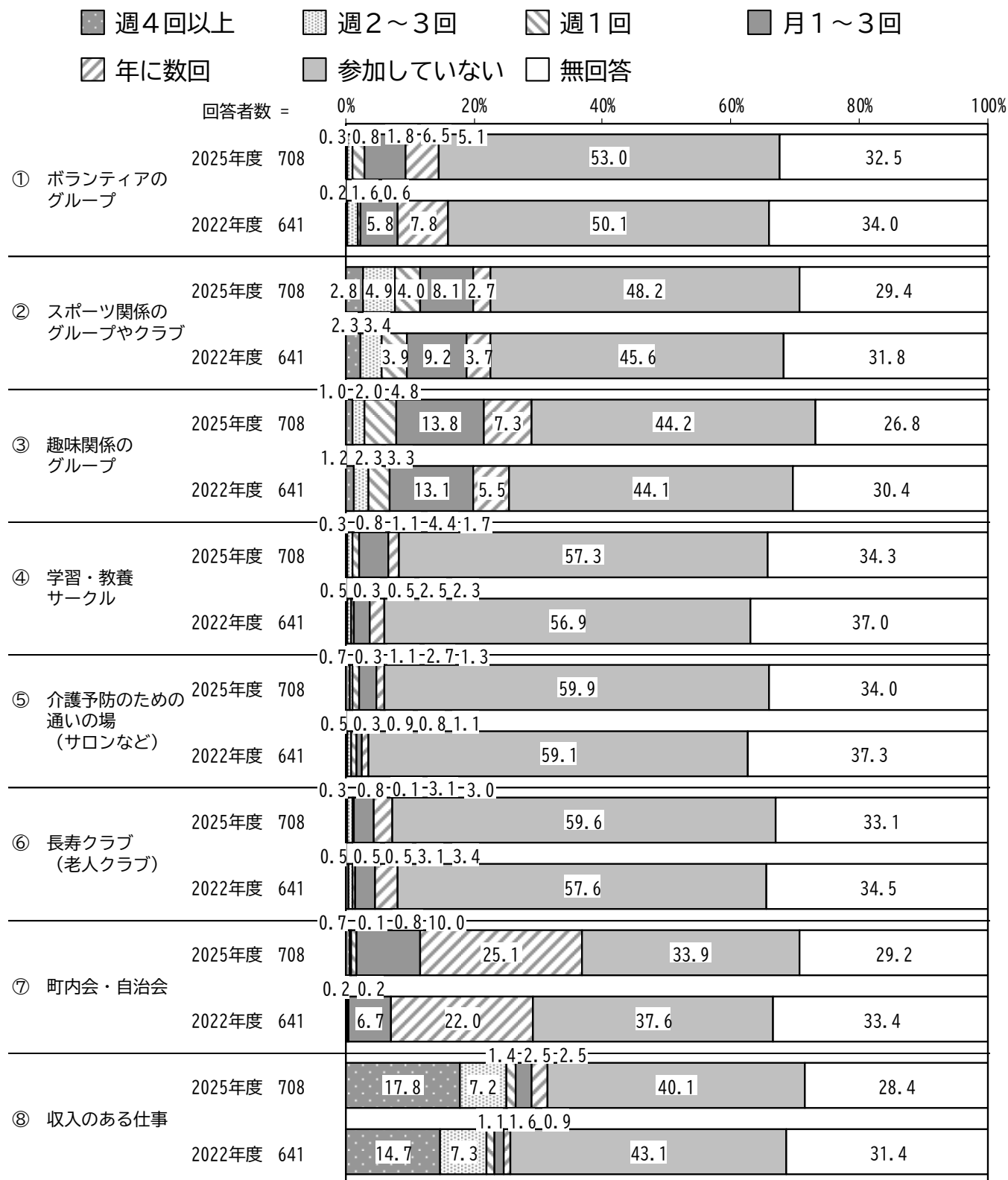


5. 地域での活動について

問43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。【①～⑧それぞれ〇は1つ】

『⑧ 収入のある仕事』で「週4回以上」「週2～3回」が、『③ 趣味関係のグループ』で「週1回」「月1～3回」が、『⑦ 町内会・自治会』で「年に数回」が、『⑤ 介護予防のための通いの場（サロンなど）』で「参加していない」が高くなっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



① ボランティアのグループ

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、75～79歳から65～69歳まで年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

地区別にみると、大湫地区で「月1～3回」「年に数回」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、4点未満で「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		708	0.3	0.8	1.8	6.5	5.1	53.0	32.5
性別	男性	315	0.3	1.6	1.6	6.3	7.3	54.3	28.6
	女性	388	0.3	0.3	2.1	6.7	3.4	52.6	34.8
年齢別	65～69歳	176	0.0	0.6	1.1	7.4	5.1	69.9	15.9
	70～74歳	163	0.0	1.2	1.8	8.6	5.5	55.8	27.0
	75～79歳	168	0.6	0.6	3.0	8.3	7.7	41.1	38.7
	80～84歳	114	0.9	0.9	2.6	2.6	2.6	50.0	40.4
	85歳以上	82	0.0	1.2	0.0	1.2	2.4	41.5	53.7
地区別	瑞浪地区	263	0.8	0.8	1.5	6.5	3.0	60.5	27.0
	稲津地区	70	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	55.7	35.7
	陶地区	83	0.0	1.2	2.4	7.2	4.8	48.2	36.1
	土岐地区	124	0.0	0.8	3.2	6.5	4.8	47.6	37.1
	明世地区	32	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	50.0	40.6
	釜戸地区	67	0.0	3.0	1.5	1.5	9.0	50.7	34.3
	大湫地区	10	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	20.0	10.0
	日吉地区	55	0.0	0.0	3.6	12.7	5.5	45.5	32.7
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	0.0	0.0	0.0	10.0	1.7	51.7	36.7
	在宅指向型 内向的	56	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	60.7	37.5
	外出指向型 社交的	402	0.5	1.0	2.5	9.5	7.2	50.0	29.4
	外出指向型 内向的	150	0.0	1.3	0.7	0.0	3.3	69.3	25.3
幸福度別	4点未満	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0	24.0
	4点以上～7点未満	196	0.0	0.0	2.0	7.1	3.6	58.2	29.1
	7点以上	451	0.4	1.3	2.0	6.9	6.4	52.1	30.8

② スポーツ関係のグループやクラブ

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、85歳以上から75～79歳まで年齢が下がるほど「月1～3回」の割合が高く、75～79歳から65～69歳まで年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

地区別にみると、瑞浪地区で「参加していない」、釜戸地区で「週1回」、大湫地区で「週4回以上」「月1～3回」「年に数回」の割合が高くなっています。タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、4点未満で「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		708	2.8	4.9	4.0	8.1	2.7	48.2	29.4
性別	男性	315	3.2	3.5	2.5	7.6	4.1	50.8	28.3
	女性	388	2.6	6.2	5.2	8.5	1.5	46.6	29.4
年齢別	65～69歳	176	3.4	5.7	5.1	4.5	4.0	65.3	11.9
	70～74歳	163	1.8	6.1	4.9	9.8	3.1	50.3	23.9
	75～79歳	168	4.2	4.8	4.8	11.3	1.8	37.5	35.7
	80～84歳	114	1.8	6.1	0.9	8.8	2.6	43.0	36.8
	85歳以上	82	2.4	0.0	1.2	4.9	1.2	37.8	52.4
地区別	瑞浪地区	263	3.4	4.2	3.4	6.5	2.3	55.5	24.7
	稲津地区	70	7.1	5.7	2.9	8.6	2.9	40.0	32.9
	陶地区	83	0.0	6.0	2.4	9.6	2.4	47.0	32.5
	土岐地区	124	2.4	8.1	4.0	7.3	3.2	41.9	33.1
	明世地区	32	0.0	9.4	6.3	12.5	0.0	40.6	31.3
	釜戸地区	67	3.0	0.0	9.0	10.4	0.0	50.7	26.9
	大湫地区	10	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	10.0
	日吉地区	55	0.0	3.6	3.6	7.3	5.5	43.6	36.4
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	0.0	5.0	3.3	5.0	3.3	45.0	38.3
	在宅指向型 内向的	56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.7	39.3
	外出指向型 社交的	402	4.2	7.2	6.0	11.4	3.2	44.5	23.4
	外出指向型 内向的	150	2.0	2.0	1.3	4.0	1.3	64.0	25.3
幸福度別	4点未満	25	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	72.0	24.0
	4点以上～7点未満	196	4.1	5.1	3.1	8.7	2.0	49.5	27.6
	7点以上	451	2.7	5.1	4.9	8.2	3.3	48.3	27.5

③ 趣味関係のグループ

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「年に数回」の割合が高く、女性で「月１～３回」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高い傾向にあり、85歳以上から75～79歳まで年齢が下がるほど「月１～３回」の割合が高くなっています。

地区別にみると日吉地区で「月１～３回」、大湫地区で「週１回」、「月１～３回」、「年に数回」の割合が高くなっています。

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高く、在宅指向型 内向的で「月１～３回」「年に数回」の割合が低くなっています。

幸福度別にみると、４点未満で「参加していない」の割合が高く、「月１～３回」の割合が低くなっています。

区分		回答者数 (件)	週 ４ 回 以上	週 ２ ～ ３ 回	週 １ 回	月 １ ～ ３ 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		708	1.0	2.0	4.8	13.8	7.3	44.2	26.8
性別	男性	315	1.3	1.6	4.1	9.8	11.4	46.7	25.1
	女性	388	0.8	2.3	5.4	17.3	4.1	42.8	27.3
年齢別	65～69歳	176	0.0	1.1	4.0	10.8	10.2	62.5	11.4
	70～74歳	163	1.2	1.2	4.9	13.5	9.2	47.2	22.7
	75～79歳	168	1.2	4.2	6.0	20.2	2.4	34.5	31.5
	80～84歳	114	2.6	1.8	6.1	12.3	8.8	36.8	31.6
	85歳以上	82	0.0	1.2	2.4	9.8	4.9	31.7	50.0
地区別	瑞浪地区	263	0.8	3.8	2.7	15.2	5.7	49.0	22.8
	稲津地区	70	2.9	1.4	0.0	17.1	2.9	48.6	27.1
	陶地区	83	1.2	0.0	9.6	12.0	6.0	41.0	30.1
	土岐地区	124	0.8	1.6	7.3	12.9	8.9	37.9	30.6
	明世地区	32	0.0	0.0	3.1	3.1	15.6	40.6	37.5
	釜戸地区	67	0.0	1.5	7.5	6.0	9.0	47.8	28.4
	大湫地区	10	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	40.0	10.0
	日吉地区	55	1.8	0.0	5.5	21.8	10.9	34.5	25.5
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	1.7	1.7	5.0	16.7	3.3	40.0	31.7
	在宅指向型 内向的	56	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	55.4	39.3
	外出指向型 社交的	402	1.2	2.2	7.0	18.2	9.0	41.8	20.6
	外出指向型 内向的	150	0.7	1.3	1.3	8.0	7.3	58.0	23.3
幸福度別	４点未満	25	0.0	4.0	0.0	4.0	8.0	60.0	24.0
	４点以上～７点未満	196	2.0	1.0	4.1	10.7	5.6	50.5	26.0
	７点以上	451	0.7	2.4	5.5	16.0	8.6	42.8	23.9

④ 学習・教養サークル

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高い傾向にあります。

地区別にみると、日吉地区で「年に数回」、大湫地区で「参加していない」の割合が高くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、幸福度が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		708	0.3	0.8	1.1	4.4	1.7	57.3	34.3
性別	男性	315	0.6	0.6	0.6	3.8	1.6	62.2	30.5
	女性	388	0.0	1.0	1.5	4.9	1.8	54.1	36.6
年齢別	65～69歳	176	0.6	0.6	1.7	4.5	4.0	72.7	15.9
	70～74歳	163	0.6	0.6	1.2	6.1	0.6	62.6	28.2
	75～79歳	168	0.0	1.2	0.6	3.0	0.6	50.0	44.6
	80～84歳	114	0.0	0.0	0.0	4.4	1.8	52.6	41.2
	85歳以上	82	0.0	2.4	2.4	3.7	1.2	36.6	53.7
地区別	瑞浪地区	263	0.0	0.8	1.1	5.7	1.5	62.0	28.9
	稲津地区	70	2.9	0.0	0.0	1.4	1.4	54.3	40.0
	陶地区	83	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	60.2	37.3
	土岐地区	124	0.0	1.6	3.2	3.2	0.8	54.0	37.1
	明世地区	32	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	53.1	40.6
	釜戸地区	67	0.0	3.0	0.0	7.5	1.5	53.7	34.3
	大湫地区	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	日吉地区	55	0.0	0.0	0.0	7.3	7.3	47.3	38.2
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	1.7	0.0	0.0	1.7	3.3	48.3	45.0
	在宅指向型 内向的	56	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	57.1	41.1
	外出指向型 社交的	402	0.2	1.2	1.5	6.5	2.0	57.7	30.8
	外出指向型 内向的	150	0.0	0.0	1.3	2.0	0.7	71.3	24.7
幸福度別	4点未満	25	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	72.0	20.0
	4点以上～7点未満	196	0.5	0.0	1.0	3.1	1.5	62.8	31.1
	7点以上	451	0.2	1.1	1.3	5.3	2.0	57.0	33.0

⑤ 介護予防のための通いの場（サロンなど）

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高い傾向にあります。

地区別にみると、大湫地区で「参加していない」の割合が高くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、幸福度が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		708	0.7	0.3	1.1	2.7	1.3	59.9	34.0
性別	男性	315	0.6	0.3	1.0	1.3	0.0	65.1	31.7
	女性	388	0.8	0.3	1.3	3.9	2.3	56.4	35.1
年齢別	65～69歳	176	0.6	0.0	1.1	1.1	0.6	80.1	16.5
	70～74歳	163	0.0	0.6	0.6	3.7	1.2	65.0	28.8
	75～79歳	168	0.0	0.6	0.0	3.6	2.4	50.6	42.9
	80～84歳	114	2.6	0.0	2.6	1.8	0.9	50.9	41.2
	85歳以上	82	1.2	0.0	1.2	3.7	1.2	40.2	52.4
地区別	瑞浪地区	263	0.4	0.4	1.1	1.1	0.8	66.2	30
	稲津地区	70	1.4	0	1.4	2.9	1.4	55.7	37.1
	陶地区	83	1.2	0	1.2	2.4	0	56.6	38.6
	土岐地区	124	0	0.8	0.8	4	1.6	57.3	35.5
	明世地区	32	0	0	3.1	3.1	3.1	53.1	37.5
	釜戸地区	67	0	0	1.5	4.5	1.5	56.7	35.8
	大湫地区	10	0	0	0	0	0	80.0	20
	日吉地区	55	3.6	0	0	5.5	3.6	52.7	34.5
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	55.0	41.7
	在宅指向型 内向的	56	1.8	1.8	3.6	0.0	0.0	57.1	35.7
	外出指向型 社交的	402	0.7	0.2	1.2	4.2	1.5	60.9	31.1
	外出指向型 内向的	150	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	71.3	26.7
幸福度別	4点未満	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0	24.0
	4点以上～7点未満	196	1.0	0.5	1.0	4.1	0.5	62.8	30.1
	7点以上	451	0.7	0.2	1.3	2.4	1.8	60.8	32.8

⑥ 長寿クラブ（老人クラブ）

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

地区別にみると、大湫地区で「月1～3回」「年に数回」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、幸福度が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		708	0.3	0.8	0.1	3.1	3.0	59.6	33.1
性別	男性	315	0.0	0.6	0.0	1.9	2.9	63.5	31.1
	女性	388	0.5	0.8	0.3	4.1	3.1	57.2	34.0
年齢別	65～69歳	176	0.0	0.0	0.6	1.1	1.1	80.1	17.0
	70～74歳	163	0.0	0.6	0.0	1.2	3.1	66.3	28.8
	75～79歳	168	0.0	1.2	0.0	5.4	1.2	49.4	42.9
	80～84歳	114	0.0	0.9	0.0	6.1	7.0	46.5	39.5
	85歳以上	82	2.4	1.2	0.0	2.4	4.9	42.7	46.3
地区別	瑞浪地区	263	0.4	1.1	0.0	3.8	1.5	65.0	28.1
	稲津地区	70	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	60.0	37.1
	陶地区	83	0.0	0.0	1.2	0.0	3.6	57.8	37.3
	土岐地区	124	0.0	0.8	0.0	2.4	4.0	58.1	34.7
	明世地区	32	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	53.1	40.6
	釜戸地区	67	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	61.2	37.3
	大湫地区	10	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0	30.0	20.0
	日吉地区	55	1.8	0.0	0.0	9.1	7.3	49.1	32.7
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	1.7	0.0	0.0	6.7	3.3	48.3	40.0
	在宅指向型 内向的	56	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	60.7	35.7
	外出指向型 社交的	402	0.2	1.2	0.2	4.5	3.0	60.9	29.9
	外出指向型 内向的	150	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	72.0	25.3
幸福度別	4点未満	25	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	72.0	24.0
	4点以上～7点未満	196	0.0	1.0	0.0	4.6	4.1	61.7	28.6
	7点以上	451	0.2	0.9	0.2	2.9	2.7	61.0	32.2

⑦ 町内会・自治会

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「月１～３回」「年に数回」の割合が高く、女性で「参加していない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「年に数回」の割合が高い傾向にあり、80～84歳から65～69歳まで年齢が下がるほど「月１～３回」の割合が高くなっています。

地区別にみると、大湫地区で「月１～３回」「年に数回」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。

タイプ別にみると、外出指向型 社交的で「年に数回」、在宅指向型 内向的で「参加していない」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、幸福度が上がるほど「月１～３回」「年に数回」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。

区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		708	0.7	0.1	0.8	10.0	25.1	33.9	29.2
性別	男性	315	1.3	0.0	1.6	14.6	34.6	25.7	22.2
	女性	388	0.3	0.3	0.3	6.4	17.8	41.0	34.0
年齢別	65～69歳	176	1.1	0.0	0.0	15.3	33.0	40.3	10.2
	70～74歳	163	1.2	0.0	1.8	11.0	26.4	34.4	25.2
	75～79歳	168	0.0	0.0	1.2	8.9	22.6	29.2	38.1
	80～84歳	114	0.9	0.0	0.9	5.3	24.6	32.5	36.0
	85歳以上	82	0.0	1.2	0.0	6.1	13.4	31.7	47.6
地区別	瑞浪地区	263	0.0	0.4	0.8	11.0	24.3	38.4	25.1
	稲津地区	70	1.4	0.0	1.4	2.9	21.4	35.7	37.1
	陶地区	83	2.4	0.0	1.2	6.0	33.7	26.5	30.1
	土岐地区	124	0.8	0.0	1.6	8.9	24.2	35.5	29.0
	明世地区	32	0.0	0.0	0.0	12.5	21.9	28.1	37.5
	釜戸地区	67	0.0	0.0	0.0	11.9	25.4	34.3	28.4
	大湫地区	10	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	20.0	10.0
	日吉地区	55	1.8	0.0	0.0	18.2	21.8	23.6	34.5
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	1.7	0.0	1.7	13.3	16.7	30.0	36.7
	在宅指向型 内向的	56	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	53.6	39.3
	外出指向型 社交的	402	0.7	0.2	0.2	13.4	30.1	30.8	24.4
	外出指向型 内向的	150	0.7	0.0	2.7	6.0	23.3	44.7	22.7
幸福度別	4点未満	25	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	56.0	20.0
	4点以上～7点未満	196	1.0	0.5	1.5	7.7	24.0	38.3	27.0
	7点以上	451	0.4	0.0	0.4	12.0	27.5	31.9	27.7

⑧ 収入のある仕事

【性別／年齢別／地区別／タイプ別／幸福度別】

性別にみると、男性で「週4回以上」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「週4回以上」「週2～3回」の割合が高く、65～69歳から80～84歳まで年齢が上がるほど「参加していない」の割合が高い傾向にあります。

地区別にみると、稲津地区、明世地区で「週4回以上」、大湫地区で「年に数回」「参加していない」の割合が高くなっています。

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的、外出指向型 内向的で「参加していない」の割合が高く、在宅指向型 社交的、在宅指向型 内向的で「週4回以上」の割合が低くなっています。

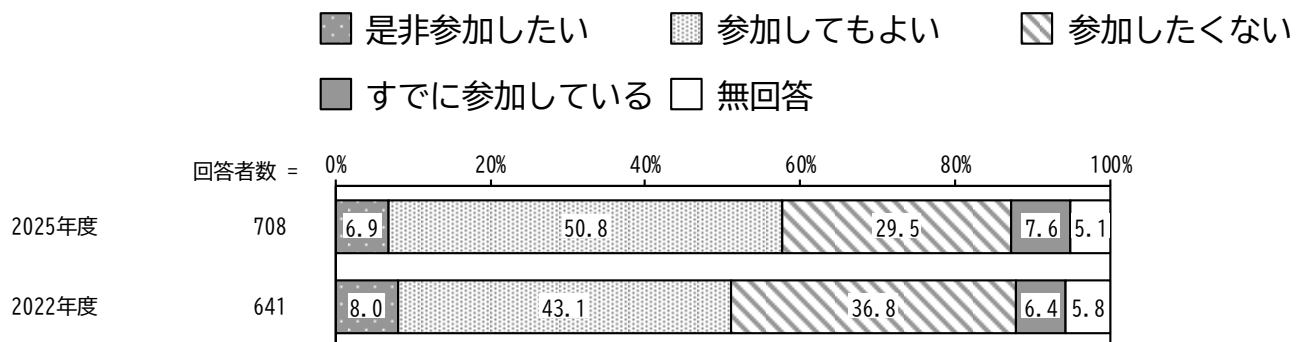
幸福度別にみると、幸福度が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

区分		回答者数 (件)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		708	17.8	7.2	1.4	2.5	2.5	40.1	28.4
性別	男性	315	21.6	7.0	0.3	2.9	3.2	40.0	25.1
	女性	388	14.9	7.5	2.3	2.3	2.1	40.7	30.2
年齢別	65～69歳	176	34.7	12.5	2.3	2.3	1.1	37.5	9.7
	70～74歳	163	20.9	11.0	1.2	2.5	4.9	38.7	20.9
	75～79歳	168	14.3	4.8	1.2	4.2	1.8	39.3	34.5
	80～84歳	114	6.1	1.8	0.9	1.8	3.5	47.4	38.6
	85歳以上	82	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	40.2	54.9
地区別	瑞浪地区	263	18.6	6.8	1.9	3.8	2.7	44.1	22.1
	稲津地区	70	24.3	2.9	1.4	4.3	0.0	32.9	34.3
	陶地区	83	18.1	12.0	0.0	0.0	3.6	34.9	31.3
	土岐地区	124	18.5	9.7	1.6	1.6	3.2	36.3	29.0
	明世地区	32	25.0	0.0	0.0	3.1	0.0	37.5	34.4
	釜戸地区	67	11.9	9.0	1.5	1.5	3.0	41.8	31.3
	大湫地区	10	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	20.0
	日吉地区	55	9.1	5.5	0.0	1.8	1.8	43.6	38.2
タイプ別	在宅指向型 社交的	60	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	45.0	45.0
	在宅指向型 内向的	56	5.4	0.0	3.6	0.0	0.0	53.6	37.5
	外出指向型 社交的	402	20.9	10.0	2.0	3.5	3.0	37.1	23.6
	外出指向型 内向的	150	21.3	6.7	0.0	1.3	1.3	50.7	18.7
幸福度別	4点未満	25	16.0	4.0	4.0	0.0	0.0	52.0	24.0
	4点以上～7点未満	196	16.3	6.1	2.6	3.1	1.5	43.9	26.5
	7点以上	451	19.1	8.0	0.9	2.7	3.3	39.9	26.2

問 44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。【○は1つ】

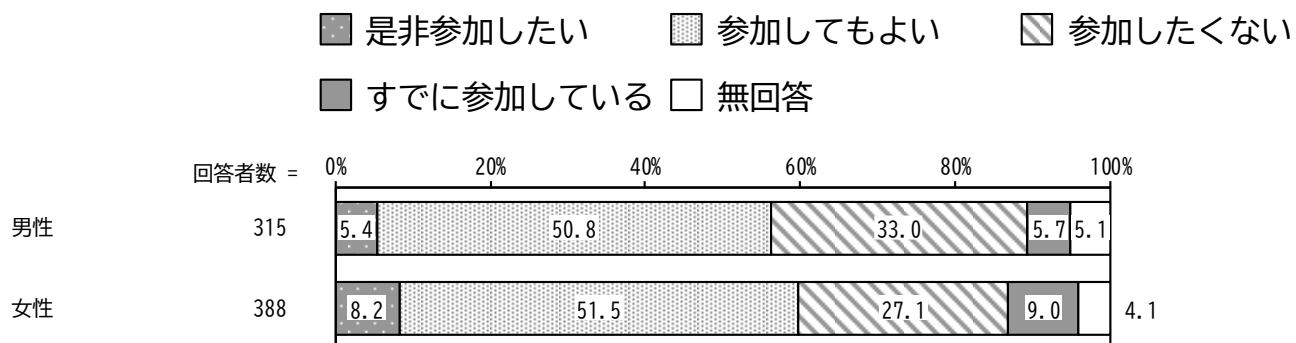
「参加してもよい」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 29.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が減少しています。



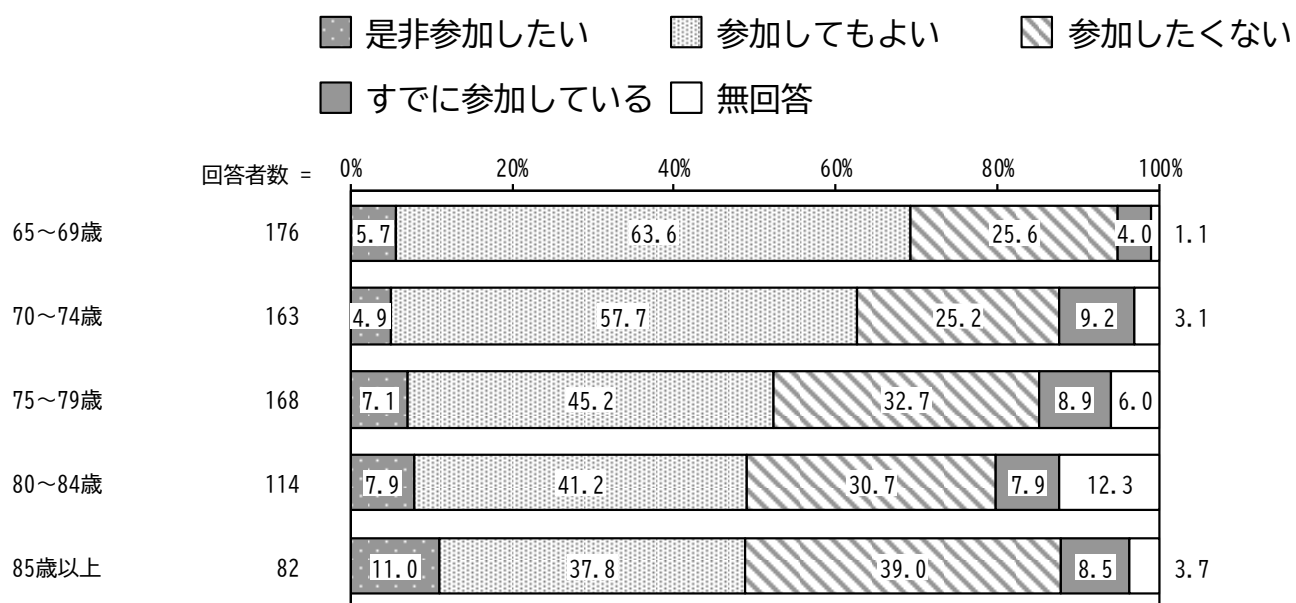
【性別】

男性の方が「参加したくない」の割合が高くなっています。



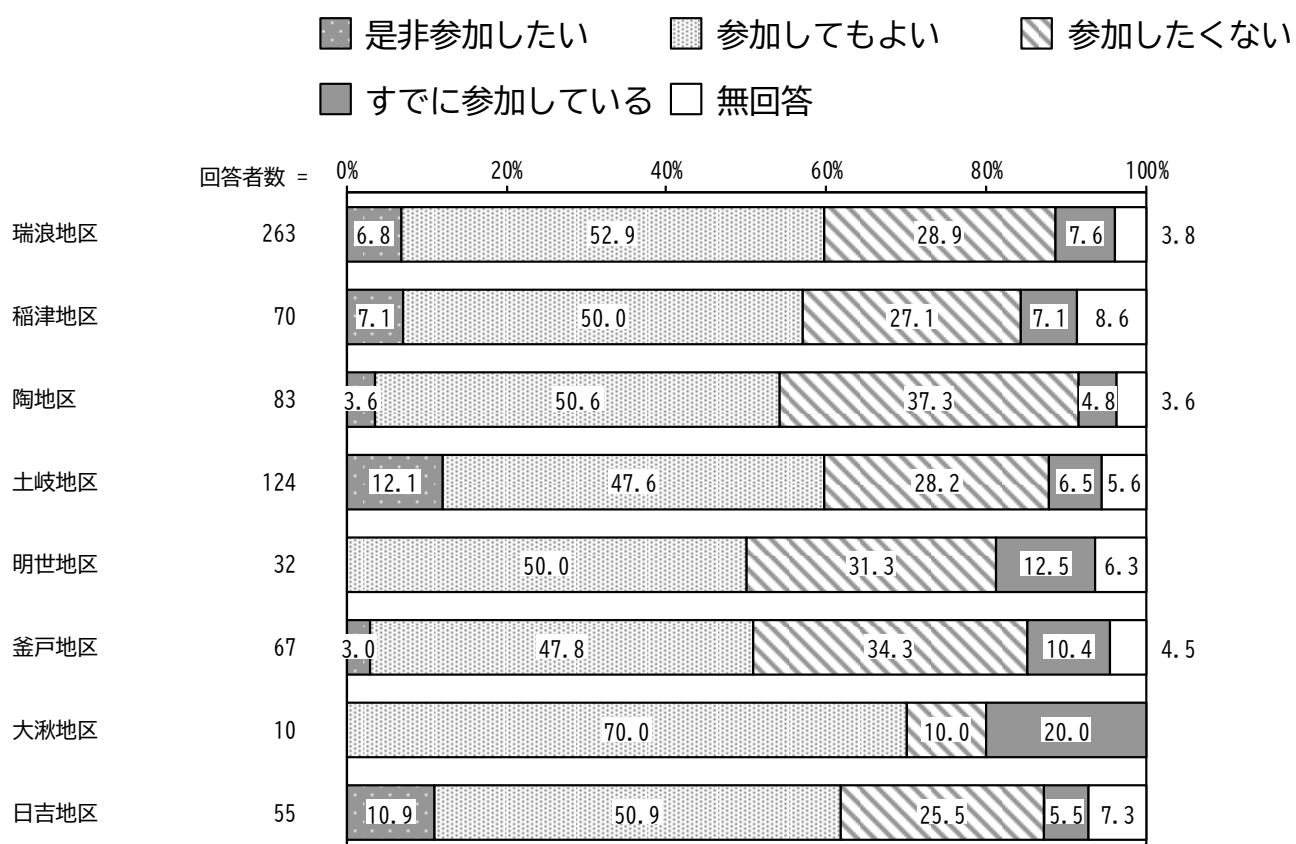
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高く、年齢が上がるほど「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。



【地区別】

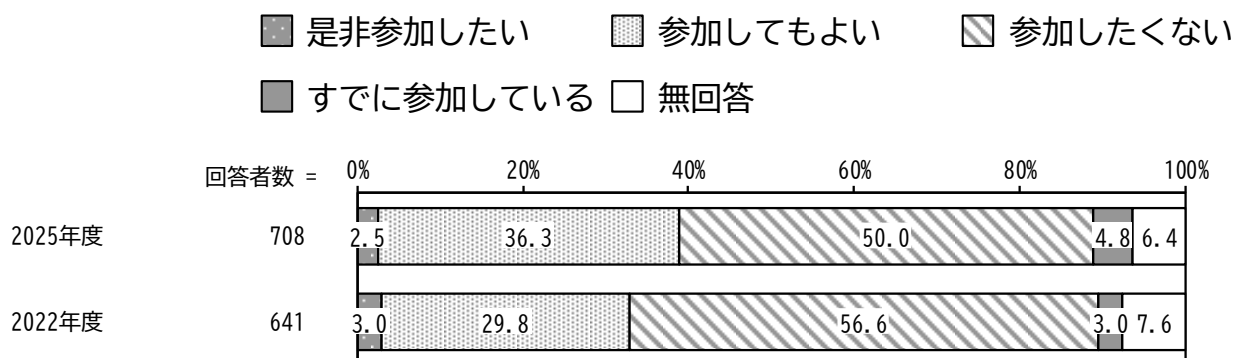
地区別にみると、大湫地区で「参加してもよい」の割合が高くなっています。



問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。【〇は1つ】

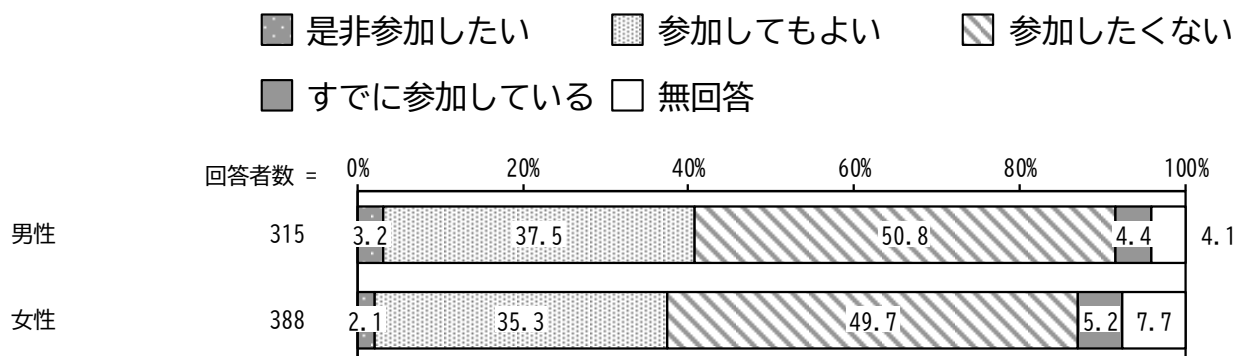
「参加したくない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 36.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が減少しています。



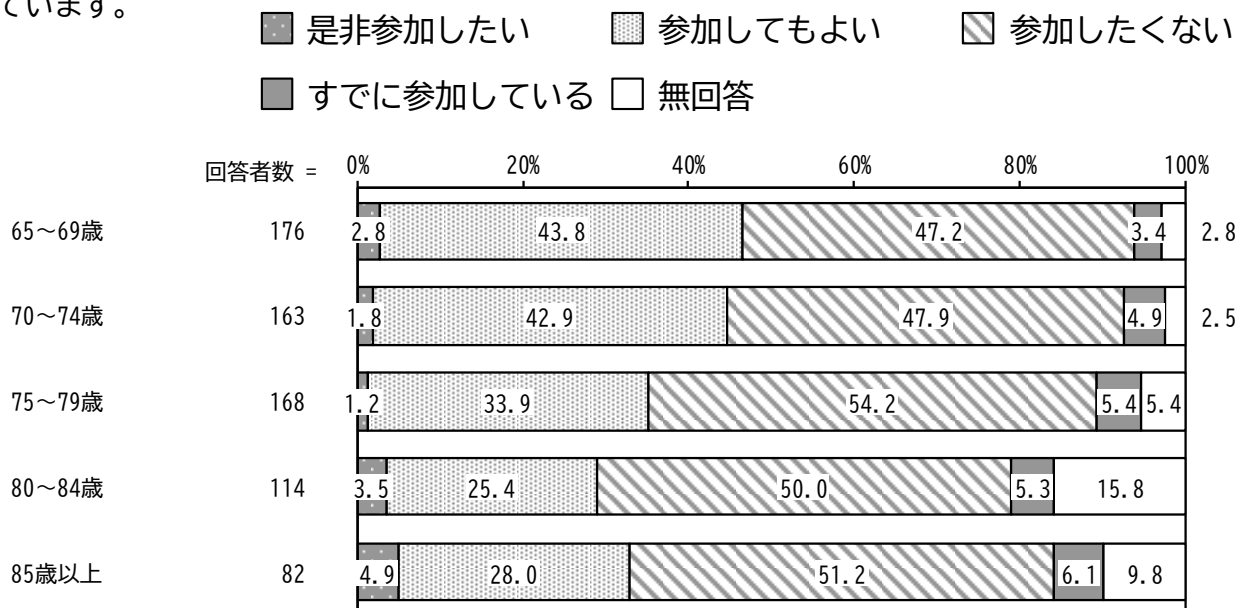
【性別】

性別による大きな差はみられません。



【年齢別】

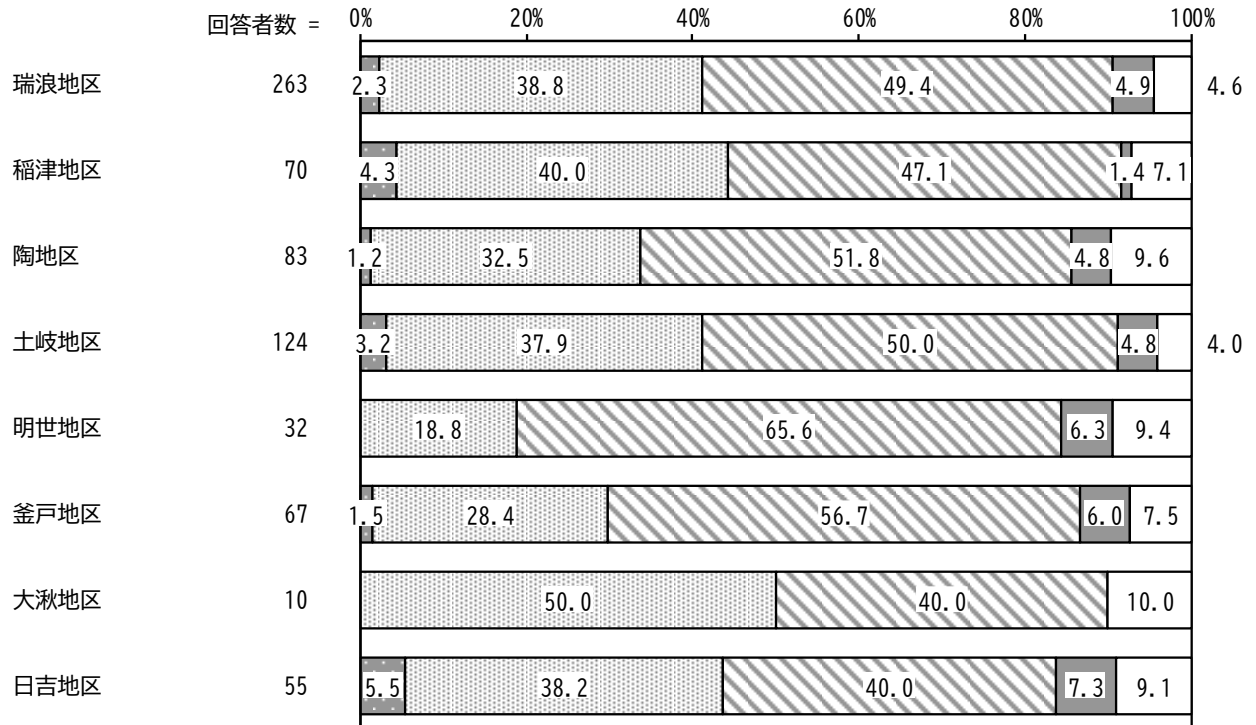
年齢別にみると、80～84 歳から 65～69 歳まで年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、明世地区で「参加したくない」の割合が高くなっています。

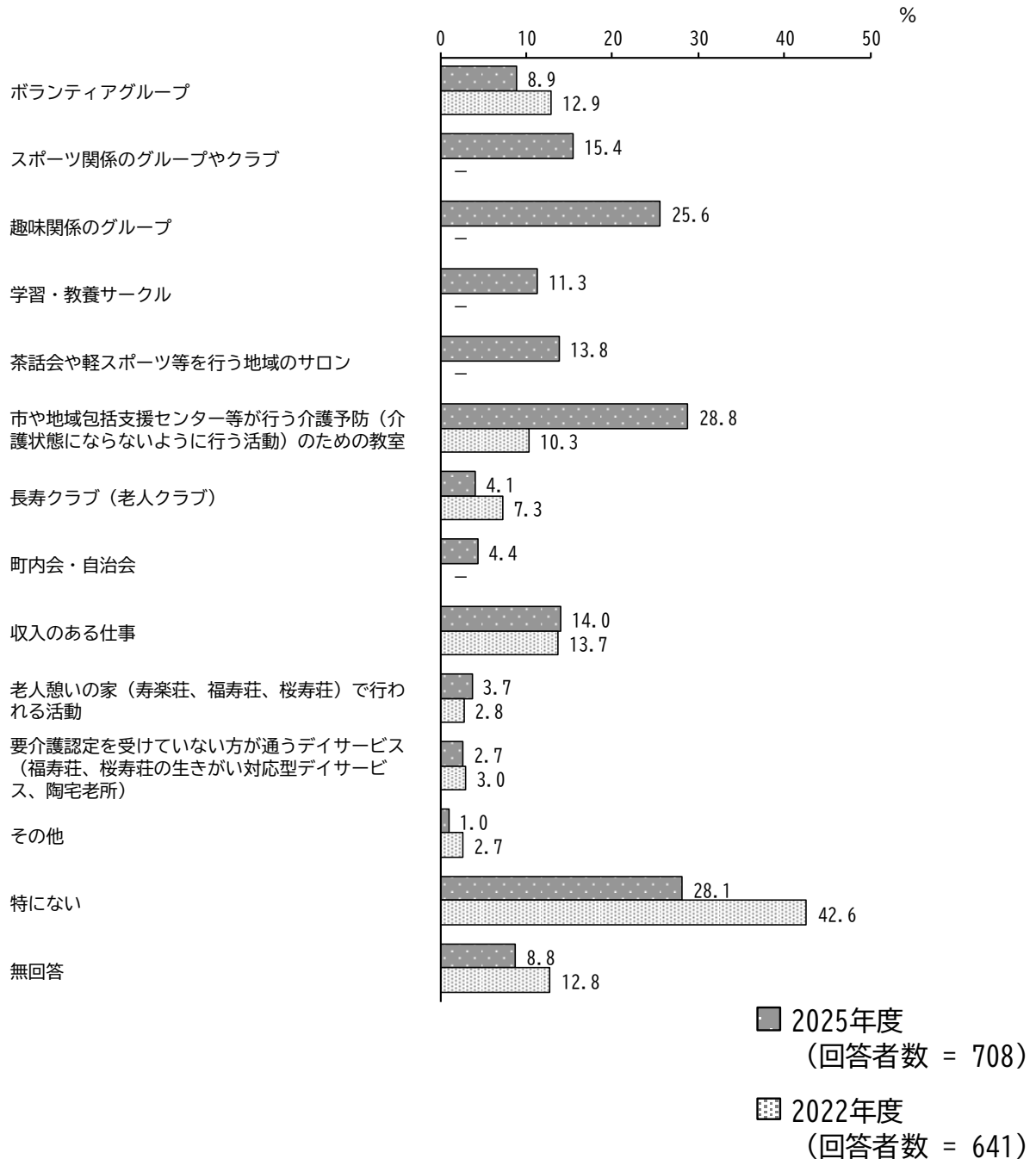
☒ 是非参加したい
 ☒ 参加してもよい
 ☒ 参加したくない
☒ すでに参加している
 ☐ 無回答



問 46 次の選択肢の中で、今後参加したい（行いたい）と思う活動やサービスを教えてください。【〇はいくつでも】

「市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動）のための教室」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「趣味関係のグループ」の割合が 25.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が 15.4%となっています。

2022 年度調査の項目で比較すると、「市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動）のための教室」の割合が増加しています。



※2022 年度調査では、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」、「学習・教養サークル」、「茶話会や軽スポーツ等を行う地域のサロン」、「町内会・自治会」がありませんでした。

【性別】

性別問わず「趣味関係のグループ」「市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動）のための教室」の割合が高いなか、男性では「収入のある仕事」の割合が、女性では「茶話会や軽スポーツ等を行う地域のサロン」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	ボランティアグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	茶話会や軽スポーツ等を行う地域のサロン	市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動のための教室）	長寿クラブ（老人クラブ）	町内会・自治会	収入のある仕事	老人憩いの家（寿楽荘、福寿荘、桜寿荘）で行われる活動	要介護認定を受けていない方が通うデイサービス（福寿荘、桜寿荘の生きたが対応型デイサービス、陶宅老所）	その他	特にない	無回答
全 体	708	8.9	15.4	25.6	11.3	13.8	28.8	4.1	4.4	14.0	3.7	2.7	1.0	28.1	8.8
男性	315	9.8	16.8	26.7	9.2	7.3	19.7	2.9	6.0	17.1	1.6	0.6	0.6	32.7	7.0
女性	388	8.2	14.4	25.0	13.1	19.3	36.3	5.2	3.1	11.6	5.2	4.4	1.3	24.7	9.3

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「収入のある仕事」の割合が高く、「市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動）のための教室」「学習・教養サークル」の割合が低い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	ボランティアグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	茶話会や軽スポーツ等を行う地域のサロン	市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動のための教室）	長寿クラブ（老人クラブ）	町内会・自治会	収入のある仕事	老人憩いの家（寿楽荘、福寿荘、桜寿荘）で行われる活動	要介護認定を受けていない方が通うデイサービス（福寿荘、桜寿荘の生きたが対応型デイサービス、陶宅老所）	その他	特にない	無回答
全 体	708	8.9	15.4	25.6	11.3	13.8	28.8	4.1	4.4	14.0	3.7	2.7	1.0	28.1	8.8
65～69歳	176	8.5	20.5	35.2	17.0	9.7	23.9	0.0	5.7	29.0	1.1	1.1	1.1	25.0	4.0
70～74歳	163	14.7	17.8	28.8	17.8	11.7	27.6	3.7	5.5	19.0	1.8	1.8	0.6	26.4	4.9
75～79歳	168	8.3	15.5	25.0	6.5	20.2	29.2	4.8	3.0	7.7	3.6	1.8	0.6	31.0	10.1
80～84歳	114	4.4	9.6	17.5	5.3	15.8	33.3	9.6	5.3	3.5	7.0	7.0	1.8	30.7	15.8
85歳以上	82	6.1	7.3	11.0	4.9	11.0	35.4	4.9	1.2	0.0	6.1	3.7	1.2	30.5	12.2

【地区別】

地区別にみると、全体で「市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動）のための教室」の割合が高いなか、稲津地区で「趣味関係のグループ」、大湫地区で「ボランティアグループ」、日吉地区で「老人憩いの家（寿楽荘、福寿荘、桜寿荘）で行われる活動」の割合が高い特色があります。

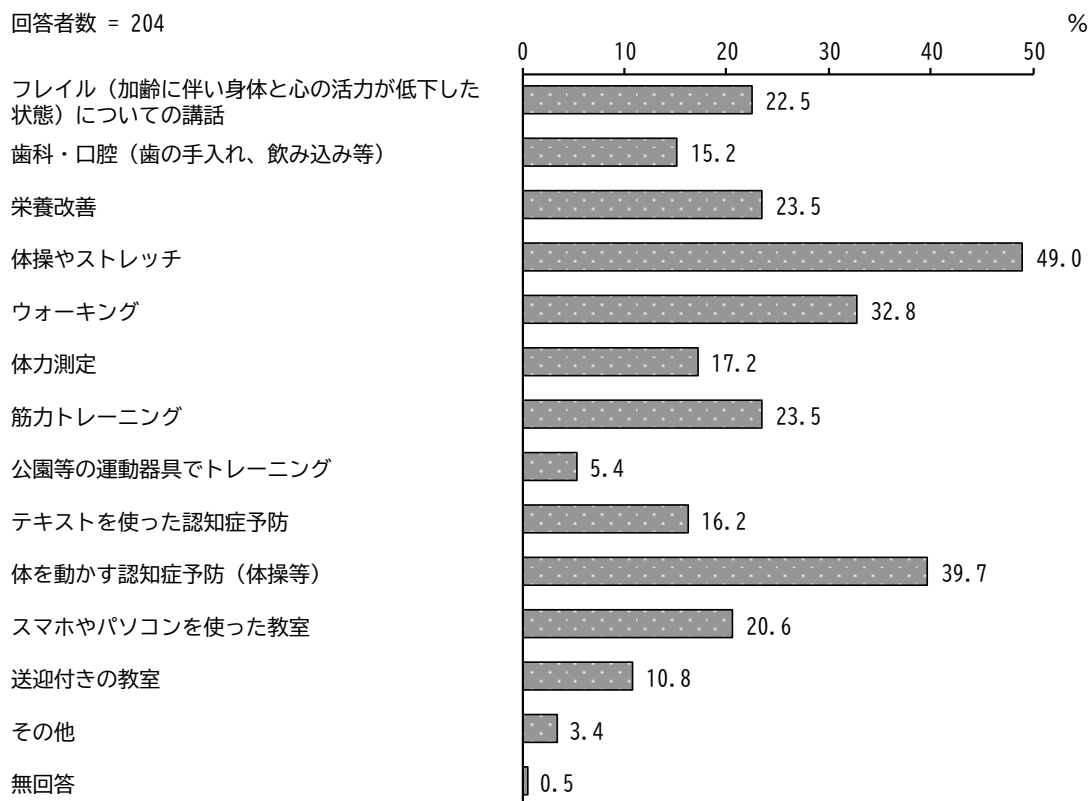
単位：％

区分	回答者数（件）	ボランティアグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	茶話会や軽スポーツ等を行う地域のサロン	市や地域包括支援センター等が行う介護予防（介護状態にならないように行う活動のための教室	長寿クラブ（老人クラブ）	町内会・自治会	収入のある仕事	老人憩いの家（寿楽荘、福寿荘、桜寿荘）で行われる活動	要介護認定を受けていない方が通うデイサービス（福寿荘、桜寿荘の生きたが対応型デイサービス、陶宅老所）	その他	特にない	無回答
全 体	708	8.9	15.4	25.6	11.3	13.8	28.8	4.1	4.4	14.0	3.7	2.7	1.0	28.1	8.8
瑞浪地区	263	7.2	16.0	27.8	12.5	16.3	30.8	3.0	5.7	14.8	0.8	0.8	1.1	27.8	6.5
稲津地区	70	7.1	17.1	27.1	10.0	15.7	20.0	4.3	0.0	12.9	1.4	0.0	0.0	22.9	15.7
陶地区	83	7.2	10.8	22.9	8.4	12.0	28.9	1.2	2.4	12.0	0.0	0.0	0.0	34.9	9.6
土岐地区	124	12.1	21.0	24.2	12.9	13.7	26.6	4.0	5.6	15.3	5.6	5.6	0.8	28.2	4.8
明世地区	32	12.5	15.6	18.8	9.4	9.4	28.1	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	0.0	34.4	9.4
釜戸地区	67	6.0	13.4	20.9	13.4	9.0	29.9	1.5	3.0	17.9	4.5	4.5	3.0	29.9	10.4
大湫地区	10	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	40.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0
日吉地区	55	14.5	10.9	29.1	9.1	14.5	32.7	12.7	7.3	7.3	18.2	9.1	0.0	20.0	16.4

問 46 で「市や地域包括支援センター等が行う介護予防のための教室」に○をつけた方にうかがいます。

問 46－1 参加してみたい介護予防（介護状態にならないように行う活動）の取り組みを教えてください。【○はいくつでも】

「体操やストレッチ」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「体を動かす認知症予防（体操等）」の割合が 39.7%、「ウォーキング」の割合が 32.8%となっています。



【性別】

男性で「ウォーキング」「体力測定」「筋力トレーニング」の割合が高く、女性で「フレイル（加齢に伴い身体と心の活力が低下した状態）についての講話」「栄養改善」「体操やストレッチ」「テキストを使った認知症予防」「体を動かす認知症予防（体操等）」「送迎付きの教室」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	フレイル（加齢に伴い身体と心の活力が低下した状態）についての講話	歯科・口腔（歯の手入れ、飲み込み等）	栄養改善	体操やストレッチ	ウォーキング	体力測定	筋力トレーニング	公園等の運動器具でトレーニング	テキストを使った認知症予防	体を動かす認知症予防（体操等）	スマホやパソコンを使った教室	送迎付きの教室	その他	無回答
全 体	204	22.5	15.2	23.5	49.0	32.8	17.2	23.5	5.4	16.2	39.7	20.6	10.8	3.4	0.5
男性	62	12.9	12.9	16.1	37.1	41.9	22.6	27.4	4.8	11.3	25.8	21.0	6.5	8.1	0.0
女性	141	27.0	16.3	27.0	54.6	29.1	14.9	22.0	5.7	18.4	46.1	20.6	12.1	1.4	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「送迎付きの教室」の割合が高い傾向にあり、79 歳以下で「体操やストレッチ」「筋力トレーニング」、75 歳以上で「体を動かす認知症予防（体操等）」の割合、75～84 歳で「テキストを使った認知症予防」、また 80 歳以上で「送迎付きの教室」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	力が低下した状態（加齢に伴い身体と心の活力が低下した状態）についての講話	歯科・口腔（歯の手入れ、飲み込み等）	栄養改善	体操やストレッチ	ウォーキング	体力測定	筋力トレーニング	公園等の運動器具でトレーニング	テキストを使った認知症予防	体を動かす認知症予防（体操等）	スマホやパソコンを使った教室	送迎付きの教室	その他	無回答
全 体	204	22.5	15.2	23.5	49.0	32.8	17.2	23.5	5.4	16.2	39.7	20.6	10.8	3.4	0.5
65～69歳	42	16.7	9.5	19.0	57.1	28.6	19.0	33.3	2.4	11.9	31.0	28.6	4.8	2.4	0.0
70～74歳	45	33.3	11.1	33.3	62.2	40.0	20.0	20.0	6.7	8.9	31.1	20.0	2.2	0.0	0.0
75～79歳	49	26.5	22.4	24.5	63.3	28.6	22.4	36.7	6.1	24.5	55.1	20.4	6.1	4.1	0.0
80～84歳	38	15.8	18.4	18.4	31.6	36.8	7.9	15.8	10.5	26.3	42.1	21.1	15.8	5.3	2.6
85歳以上	29	17.2	13.8	20.7	17.2	31.0	13.8	3.4	0.0	6.9	37.9	10.3	31.0	6.9	0.0

【地区別】

全地区で「体操やストレッチ」「体を動かす認知予防（体操等）」が高い傾向になるなか、稲津地区で「筋力トレーニング」、明世地区で「栄養改善」、日吉地区で「栄養改善」「テキストを使った認知症予防（体操等）」「送迎付きの教室」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	力が低下した状態（加齢に伴い身体と心の活力が低下した状態）についての講話	歯科・口腔（歯の手入れ、飲み込み等）	栄養改善	体操やストレッチ	ウォーキング	体力測定	筋力トレーニング	公園等の運動器具でトレーニング	テキストを使った認知症予防	体を動かす認知症予防（体操等）	スマホやパソコンを使った教室	送迎付きの教室	その他	無回答
全 体	204	22.5	15.2	23.5	49.0	32.8	17.2	23.5	5.4	16.2	39.7	20.6	10.8	3.4	0.5
瑞浪地区	81	19.8	13.6	22.2	55.6	32.1	16.0	22.2	6.2	8.6	33.3	19.8	9.9	2.5	1.2
稲津地区	14	7.1	7.1	7.1	64.3	35.7	21.4	35.7	14.3	28.6	42.9	28.6	7.1	7.1	0.0
陶地区	24	25.0	25.0	25.0	50.0	20.8	20.8	25.0	4.2	16.7	41.7	20.8	4.2	0.0	0.0
土岐地区	33	21.2	15.2	21.2	45.5	39.4	15.2	21.2	3.0	21.2	51.5	18.2	15.2	0.0	0.0
明世地区	9	33.3	0.0	44.4	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0
釜戸地区	20	25.0	15.0	25.0	45.0	40.0	15.0	35.0	0.0	20.0	40.0	15.0	10.0	10.0	0.0
大湫地区	4	75.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
日吉地区	18	27.8	16.7	38.9	33.3	27.8	22.2	22.2	11.1	33.3	50	33.3	22.2	5.6	0.0

【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型内向的で「歯科・口腔（歯の手入れ、飲み込み等）」「体力測定」、在宅指向型 社交的で「体操やストレッチ」「体を動かす認知症予防（体操等）」「送迎付きの教室」、外出指向型 社交的で「ウォーキング」の割合が高くなっています。

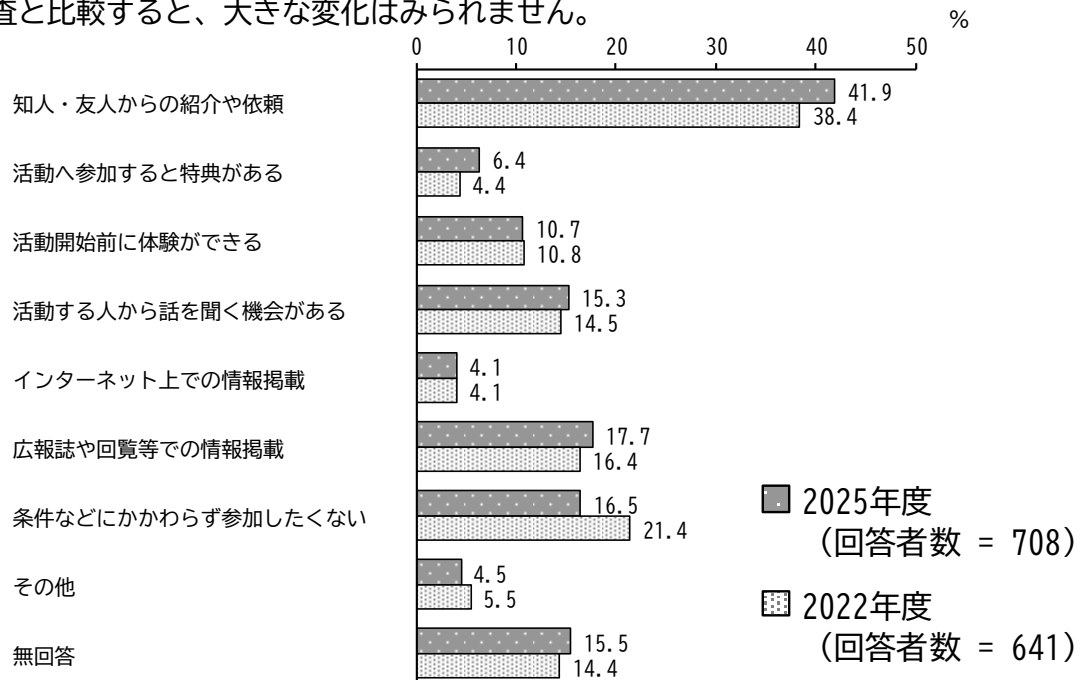
単位：％

区分	回答者数（件）	力が低下した状態（年齢に伴い身体と心の活力が低下した状態）についての講話	歯科・口腔（歯の手入れ、飲み込み等）	栄養改善	体操やストレッチ	ウォーキング	体力測定	筋力トレーニング	公園等の運動器具でトレーニング	テキストを使った認知症予防	体を動かす認知症予防（体操等）	スマホやパソコンを使った教室	送迎付きの教室	その他	無回答
全 体	204	22.5	15.2	23.5	49.0	32.8	17.2	23.5	5.4	16.2	39.7	20.6	10.8	3.4	0.5
在宅指向型 社交的	22	22.7	9.1	18.2	68.2	22.7	9.1	13.6	4.5	13.6	59.1	9.1	36.4	0.0	0.0
在宅指向型 内向的	12	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0
外出指向型 社交的	143	25.2	16.1	25.9	54.5	37.8	19.6	26.6	7.0	17.5	43.4	23.8	7.0	0.7	0.7
外出指向型 内向的	23	8.7	8.7	21.7	17.4	26.1	8.7	26.1	0.0	13.0	8.7	13.0	8.7	13.0	0.0

問 47 あなたは助け合いの地域づくりを実現するための活動に、どのようなきっかけや条件があれば、参加しようと思いますか。【〇はいくつでも】

「知人・友人からの紹介や依頼」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「広報誌や回覧等での情報掲載」の割合が 17.7%、「条件などにかかわらず参加したくない」の割合が 16.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別による大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知人・友人からの紹介や依頼	活動へ参加すると特典がある	活動開始前に体験ができる	活動する人から話を聞く機会がある	インターネット上で の情報掲載	広報誌や回覧等での 情報掲載	条件などにかかわらず参加したくない	その他	無回答
全 体	708	41.9	6.4	10.7	15.3	4.1	17.7	16.5	4.5	15.5
男性	315	41.3	9.2	7.6	11.1	5.7	16.2	19.4	4.8	12.7
女性	388	42.8	4.1	13.4	18.6	2.8	19.1	14.4	4.4	17.0

【タイプ別】

タイプ別にみると、内向的で「条件などにかかわらず参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

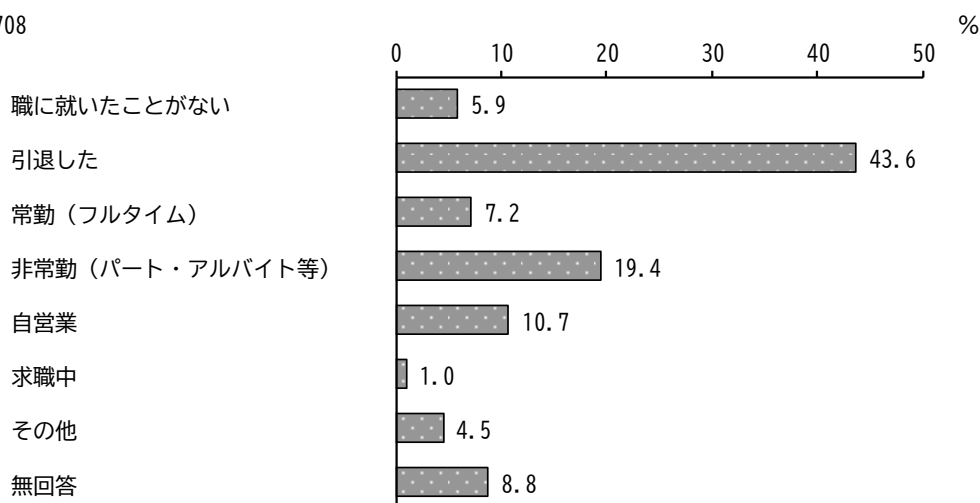
区分	回答者数 (件)	知人・友人からの紹介や依頼	活動へ参加すると特典がある	活動開始前に体験ができる	活動する人から話を聞く機会がある	インターネット上で の情報掲載	広報誌や回覧等での 情報掲載	条件などにかかわらず参加したくない	その他	無回答
全 体	708	41.9	6.4	10.7	15.3	4.1	17.7	16.5	4.5	15.5
在宅指向型 社交的	60	43.3	5.0	5.0	16.7	1.7	21.7	11.7	0.0	21.7
在宅指向型 内向的	56	16.1	0.0	1.8	5.4	0.0	1.8	35.7	19.6	23.2
外出指向型 社交的	402	52.2	8.0	15.7	21.4	6.2	23.4	6.2	2.7	11.2
外出指向型 内向的	150	23.3	4.7	4.7	1.3	2.0	7.3	42.0	6.0	15.3

6. 就労について

問 48 現在のあなたの就労状態はどれですか。【○はいくつでも】

「引退した」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」の割合が 19.4%、「自営業」の割合が 10.7%となっています。

回答者数 = 708



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「職に就いたことがない」の割合が高く、「自営業」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	職に就いた ことがない	引退した	常勤(フル タイム)	非常勤(パ ート・アル バイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	708	5.9	43.6	7.2	19.4	10.7	1.0	4.5	8.8
65～69歳	176	1.1	32.4	15.3	31.8	12.5	2.3	3.4	1.7
70～74歳	163	4.3	45.4	6.7	25.2	12.3	1.2	2.5	4.9
75～79歳	168	4.8	50.0	4.8	16.7	11.3	0.6	5.4	7.7
80～84歳	114	7.9	52.6	1.8	7.9	8.8	0.0	6.1	15.8
85歳以上	82	19.5	37.8	3.7	3.7	6.1	0.0	7.3	22.0

【地区別】

地区別にみると、“就労している”の割合が明世地区で高く、大湫地区で低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	職に就いた ことがない	引退した	常勤（フル タイム）	非常勤（パ ート・アル バイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	708	5.9	43.6	7.2	19.4	10.7	1.0	4.5	8.8
瑞浪地区	263	8	41.4	8.4	17.9	11.8	1.9	4.2	8.7
稲津地区	70	1.4	47.1	10	20	7.1	1.4	1.4	11.4
陶地区	83	6	38.6	6	19.3	13.3	0	4.8	13.3
土岐地区	124	4.8	46.8	6.5	22.6	7.3	0.8	7.3	4
明世地区	32	0	37.5	12.5	18.8	15.6	0	9.4	9.4
釜戸地区	67	6	49.3	7.5	22.4	9	0	1.5	4.5
大湫地区	10	0	50	0	0	10	0	20	20
日吉地区	55	9.1	47.3	0	20	14.5	0	0	9.1

【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「引退した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職に就いた ことがない	引退した	常勤（フル タイム）	非常勤（パ ート・アル バイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	708	5.9	43.6	7.2	19.4	10.7	1.0	4.5	8.8
1人暮らし	115	11.3	31.3	8.7	23.5	7.0	1.7	6.1	12.2
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	5.5	46.9	6.2	18.2	12.7	1.5	3.6	6.9
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	2.5	30.0	15.0	27.5	12.5	0.0	2.5	10.0
息子・娘との2世帯	129	3.9	51.2	7.8	16.3	9.3	0.0	3.9	7.8
その他	133	6.0	45.1	6.0	19.5	10.5	0.8	6.0	7.5

【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型で「職に就いたことがない」「引退した」の割合が高くなっています。

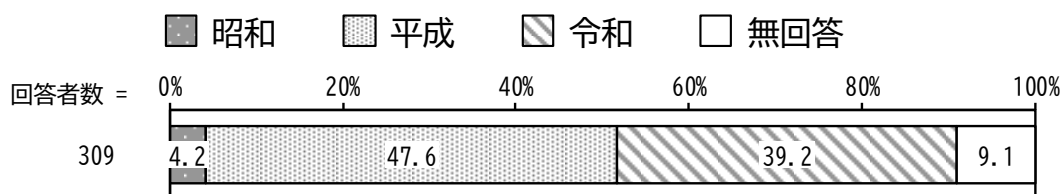
単位：％

区分	回答者数 (件)	職に就いた ことがない	引退した	常勤（フル タイム）	非常勤（パ ート・アル バイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	708	5.9	43.6	7.2	19.4	10.7	1.0	4.5	8.8
在宅指向型 社交的	60	15.0	55.0	1.7	3.3	11.7	0.0	3.3	10.0
在宅指向型 内向的	56	14.3	53.6	5.4	3.6	5.4	1.8	5.4	12.5
外出指向型 社交的	402	3.0	41.3	9.2	23.9	11.7	1.0	4.2	7.0
外出指向型 内向的	150	7.3	44.0	5.3	18.7	10.0	0.7	6.0	8.0

問48で「引退した」に○をつけた方にうかがいます。

問48-1 いつ引退しましたか。

「昭和」の割合が4.2%、「平成」の割合が47.6%、「令和」の割合が39.2%となっています。

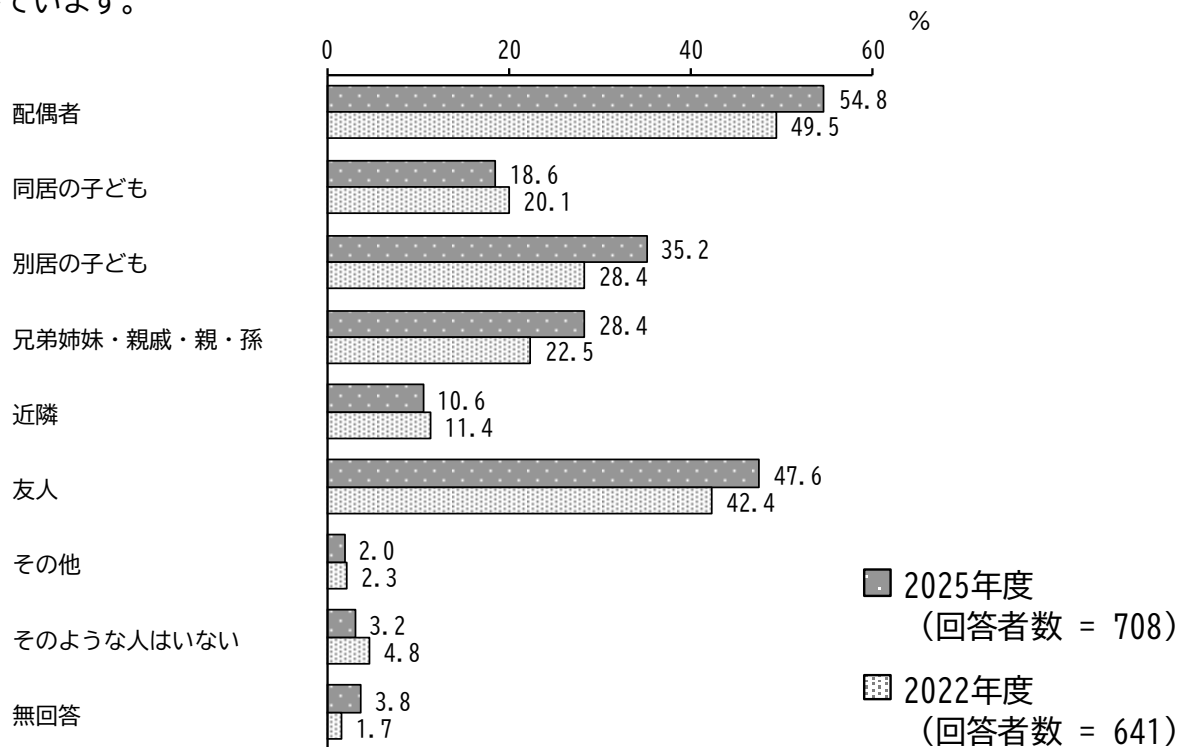


7. たすけあいについて

問 49 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。【○はいくつでも】

「配偶者」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が 47.6%、「別居の子ども」の割合が 35.2%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、“親族”に相談する割合が土岐地区、大湫地区、日吉地区で高くなっており、“近隣・友人等”に相談する割合は大湫地区で高くなっています。反対に、“親族”に相談する割合は陶地区、釜戸地区で低く、“近隣・友人等”に相談する割合は瑞浪地区、稲津地区で低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	54.8	18.6	35.2	28.4	10.6	47.6	2.0	3.2	3.8
瑞浪地区	263	56.3	18.6	38.4	25.5	6.8	47.1	2.7	3.0	4.6
稲津地区	70	57.1	22.9	22.9	31.4	4.3	51.4	0.0	2.9	4.3
陶地区	83	59.0	13.3	36.1	21.7	15.7	43.4	0.0	1.2	4.8
土岐地区	124	58.1	18.5	37.1	33.9	14.5	44.4	2.4	3.2	2.4
明世地区	32	46.9	18.8	34.4	34.4	9.4	59.4	0.0	9.4	3.1
釜戸地区	67	44.8	14.9	32.8	25.4	9.0	50.7	1.5	6.0	3.0
大湫地区	10	60.0	20.0	40.0	30.0	30.0	50.0	0.0	0.0	0.0
日吉地区	55	50.9	25.5	34.5	36.4	18.2	47.3	3.6	1.8	1.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「近隣」「友人」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	54.8	18.6	35.2	28.4	10.6	47.6	2.0	3.2	3.8
1人暮らし	115	5.2	0.9	45.2	36.5	14.8	56.5	0.9	8.7	5.2
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	78.5	2.5	42.2	25.1	8.7	46.2	0.7	2.5	2.5
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	80.0	15.0	30.0	20.0	7.5	30.0	0.0	2.5	5.0
息子・娘との2世帯	129	51.2	49.6	22.5	29.5	10.9	48.1	3.1	2.3	4.7
その他	133	46.6	36.1	29.3	31.6	10.5	50.4	4.5	1.5	3.0

【タイプ別】

タイプ別にみると、社交的で「友人」の割合が高くなっています。また、内向的で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

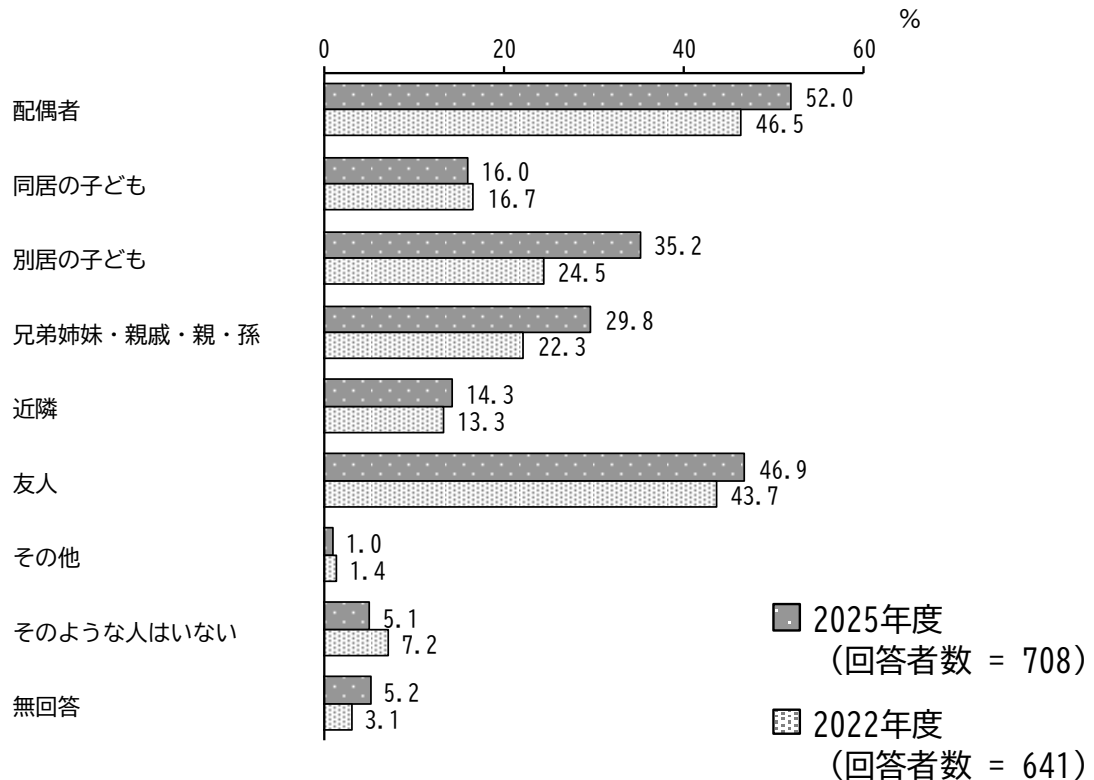
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	54.8	18.6	35.2	28.4	10.6	47.6	2.0	3.2	3.8
在宅指向型 社交的	60	50.0	25.0	36.7	30.0	15.0	45.0	0.0	0.0	3.3
在宅指向型 内向的	56	48.2	14.3	33.9	19.6	5.4	30.4	3.6	5.4	3.6
外出指向型 社交的	402	57.5	18.4	37.3	33.3	11.2	58.2	1.5	2.7	3.2
外出指向型 内向的	150	53.3	15.3	34.0	17.3	8.0	30.7	3.3	5.3	3.3

問 50 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。【○はいくつでも】

「配偶者」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が 46.9%、「別居の子ども」の割合が 35.2%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、明世地区、大湫地区では“親族”“近隣・友人等”の割合が共に高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	708	52.0	16.0	35.2	29.8	14.3	46.9	1.0	5.1	5.2
瑞浪地区	263	53.2	14.1	38.0	27.8	9.9	45.6	1.1	5.7	5.3
稲津地区	70	57.1	20.0	30.0	35.7	10.0	51.4	0.0	2.9	4.3
陶地区	83	50.6	9.6	34.9	21.7	19.3	44.6	0.0	3.6	8.4
土岐地区	124	54.0	19.4	37.1	31.5	16.1	43.5	0.8	4.0	3.2
明世地区	32	40.6	21.9	43.8	40.6	12.5	65.6	3.1	12.5	3.1
釜戸地区	67	44.8	11.9	28.4	26.9	20.9	49.3	1.5	6.0	6.0
大湫地区	10	70.0	20.0	20.0	40.0	30.0	50.0	0.0	10.0	0.0
日吉地区	55	52.7	21.8	32.7	34.5	18.2	45.5	1.8	3.6	3.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「配偶者」、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）で「別居の子ども」、1人暮らしで「友人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	52.0	16.0	35.2	29.8	14.3	46.9	1.0	5.1	5.2
1人暮らし	115	4.3	0.0	42.6	29.6	15.7	55.7	2.6	9.6	5.2
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	75.6	2.5	40.4	27.6	12.0	46.5	0.7	3.3	3.3
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	80.0	5.0	30.0	17.5	10.0	27.5	0.0	5.0	10.0
息子・娘との2世帯	129	48.8	43.4	25.6	31.8	18.6	45.0	0.8	6.2	5.4
その他	133	42.1	33.8	32.3	38.3	14.3	49.6	0.8	4.5	5.3

【タイプ別】

タイプ別にみると、内向的で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

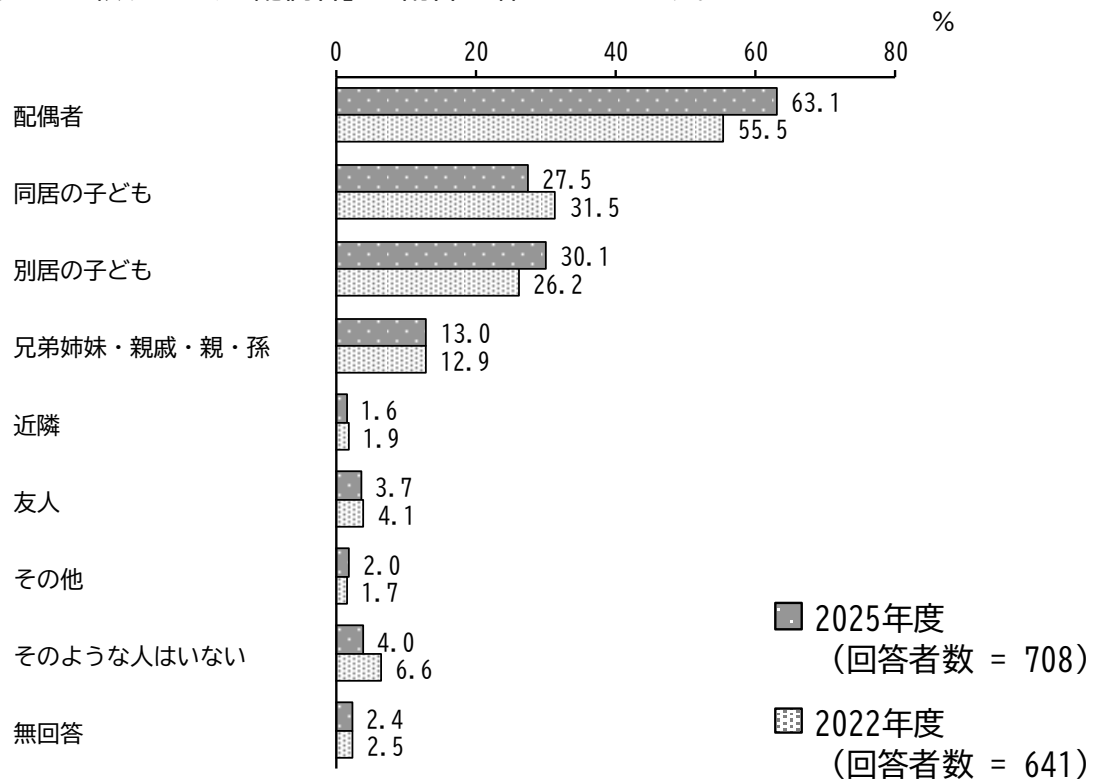
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	52.0	16.0	35.2	29.8	14.3	46.9	1.0	5.1	5.2
在宅指向型 社交的	60	41.7	25.0	31.7	30.0	15.0	41.7	0.0	1.7	3.3
在宅指向型 内向的	56	42.9	5.4	23.2	19.6	10.7	30.4	1.8	10.7	7.1
外出指向型 社交的	402	56.2	17.4	39.8	35.3	16.9	57.0	1.2	2.7	4.5
外出指向型 内向的	150	49.3	11.3	33.3	18.0	8.7	30.7	0.7	10.0	4.0

問 51 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。【〇は
いくつでも】

「配偶者」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 30.1%、「同居の子ども」の割合が 27.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、明世地区で「同居の子ども」「別居の子ども」、大湫地区で「配偶者」、日吉地区で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	708	63.1	27.5	30.1	13.0	1.6	3.7	2.0	4.0	2.4
瑞浪地区	263	67.7	27.4	27.8	10.6	1.5	3.8	1.1	6.1	2.7
稲津地区	70	70.0	28.6	25.7	15.7	0.0	4.3	1.4	1.4	4.3
陶地区	83	61.4	18.1	30.1	10.8	2.4	3.6	2.4	6.0	3.6
土岐地区	124	63.7	31.5	28.2	12.1	2.4	3.2	2.4	1.6	0.8
明世地区	32	46.9	37.5	46.9	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
釜戸地区	67	56.7	22.4	32.8	14.9	0.0	4.5	3.0	4.5	3.0
大湫地区	10	80.0	30.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0
日吉地区	55	50.9	30.9	40.0	23.6	1.8	3.6	3.6	1.8	1.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「配偶者」、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」、1人暮らしで「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

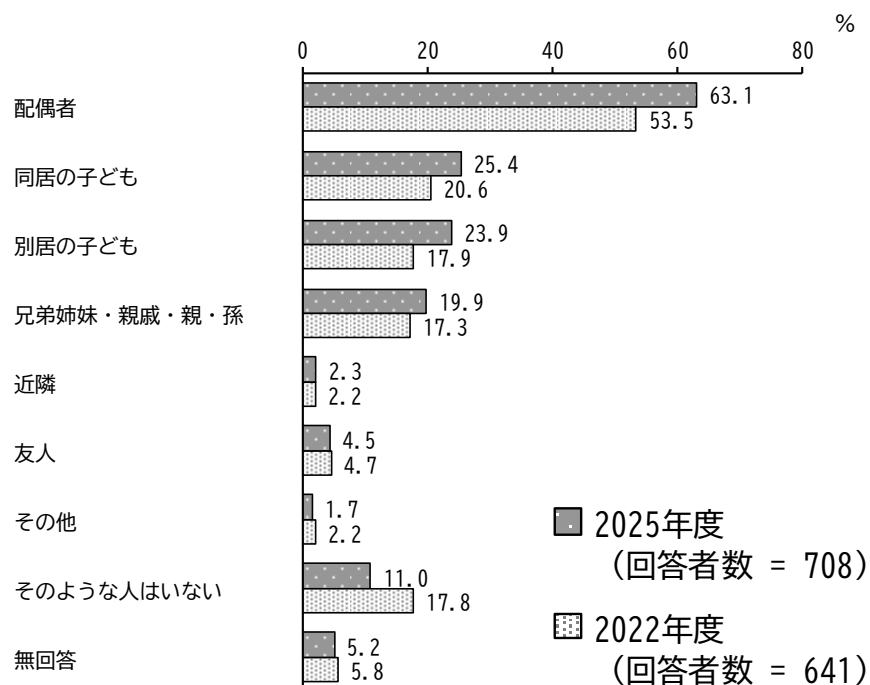
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	63.1	27.5	30.1	13.0	1.6	3.7	2.0	4.0	2.4
1人暮らし	115	7.0	2.6	54.8	27.0	4.3	11.3	0.9	17.4	3.5
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	90.2	5.1	37.1	8.7	1.5	2.9	1.5	1.1	1.8
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	92.5	12.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5
息子・娘との2世帯	129	58.9	72.9	14.0	7.0	0.0	0.8	2.3	0.8	2.3
その他	133	54.1	51.1	21.8	19.5	0.8	2.3	4.5	1.5	2.3

問 52 反対に、あなたが看病や世話をしあける人はいいますか。【○はいくつでも】

「配偶者」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 25.4%、「別居の子ども」の割合が 23.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「配偶者」「別居の子ども」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、明世地区で「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、大湫地区で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	63.1	25.4	23.9	19.9	2.3	4.5	1.7	11.0	5.2
瑞浪地区	263	67.7	27.4	24.3	19.8	1.9	4.6	0.8	9.5	4.9
稲津地区	70	70.0	28.6	27.1	24.3	2.9	5.7	0.0	5.7	5.7
陶地区	83	59.0	16.9	20.5	13.3	2.4	6.0	2.4	12.0	8.4
土岐地区	124	63.7	29.0	24.2	19.4	1.6	4.8	1.6	13.7	1.6
明世地区	32	50.0	34.4	37.5	31.3	3.1	6.3	3.1	9.4	6.3
釜戸地区	67	55.2	19.4	17.9	19.4	1.5	3.0	3.0	14.9	4.5
大湫地区	10	80.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0
日吉地区	55	54.5	21.8	27.3	20.0	3.6	0.0	3.6	14.5	5.5

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「配偶者」、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」、1人暮らしで「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

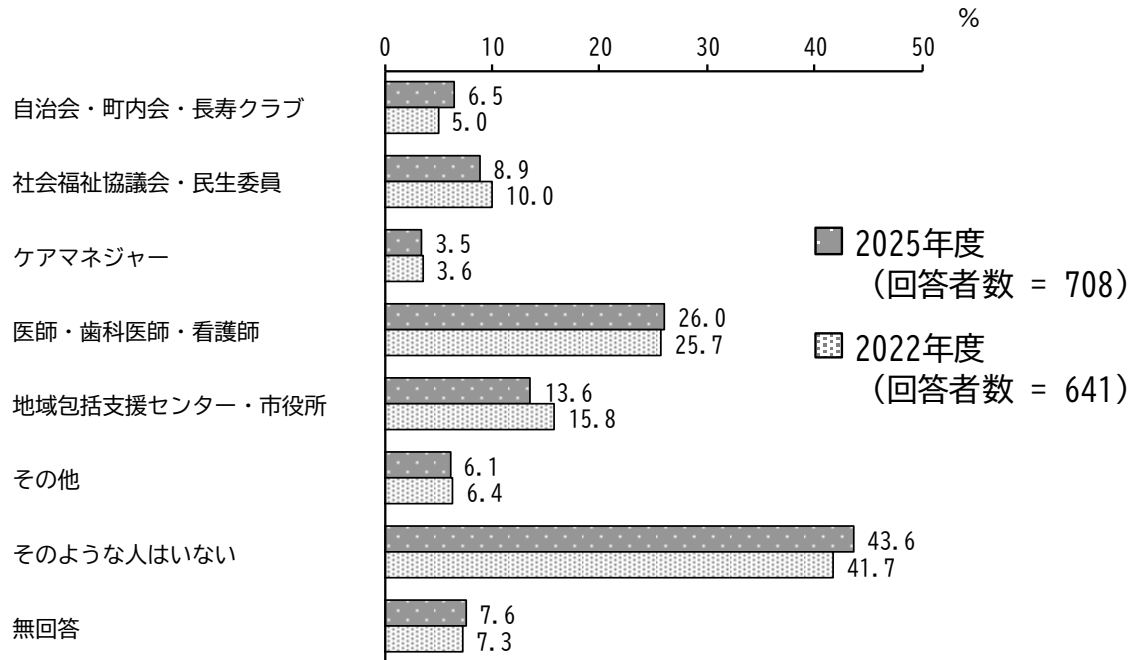
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	708	63.1	25.4	23.9	19.9	2.3	4.5	1.7	11.0	5.2
1人暮らし	115	7.0	2.6	30.4	27.8	2.6	11.3	0.9	38.3	6.1
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	89.5	4.4	27.6	16.4	2.2	4.7	1.1	4.7	2.5
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	92.5	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0
息子・娘との2世帯	129	58.9	65.1	18.6	18.6	2.3	1.6	2.3	7.0	7.0
その他	133	56.4	51.1	21.1	26.3	2.3	2.3	3.8	8.3	5.3

問 53 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか。【〇はいくつでも】

相談できる相手の中では「医師・歯科医師・看護師」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」の割合が 13.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【地区別】

地区別にみると、陶地区、明世地区で「そのような人はいない」の割合が低く、大湫地区で「社会福祉協議会・民生委員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・ 町内会・長 寿クラブ	社会福祉協議会・民 生委員	ケアマネジャー	医師・ 歯科医師・看 護師	地域包括支援セン ター・市役所	その他	そのような人はい ない	無回答
全 体	708	6.5	8.9	3.5	26.0	13.6	6.1	43.6	7.6
瑞浪地区	263	6.8	6.5	3.4	26.6	14.4	7.2	44.9	5.7
稲津地区	70	7.1	7.1	2.9	31.4	17.1	2.9	45.7	5.7
陶地区	83	7.2	13.3	3.6	24.1	14.5	3.6	38.6	13.3
土岐地区	124	7.3	6.5	1.6	24.2	8.1	8.9	46.0	6.5
明世地区	32	0.0	18.8	12.5	34.4	25.0	9.4	37.5	3.1
釜戸地区	67	7.5	9.0	4.5	23.9	7.5	4.5	41.8	10.4
大湫地区	10	0.0	30.0	0.0	20.0	20.0	10.0	40.0	0.0
日吉地区	55	5.5	12.7	3.6	21.8	16.4	1.8	45.5	10.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「社会福祉協議会・民生委員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・長寿クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	708	6.5	8.9	3.5	26.0	13.6	6.1	43.6	7.6
1人暮らし	115	6.1	13.9	1.7	27.0	11.3	7.0	38.3	11.3
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	275	6.2	8.7	4.0	27.3	14.5	4.4	45.5	6.9
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	7.5	15.0	2.5	27.5	12.5	2.5	52.5	0.0
息子・娘との2世帯	129	6.2	5.4	3.9	25.6	8.5	5.4	48.8	8.5
その他	133	6.8	6.8	4.5	24.1	18.8	10.5	40.6	3.8

【タイプ別】

タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

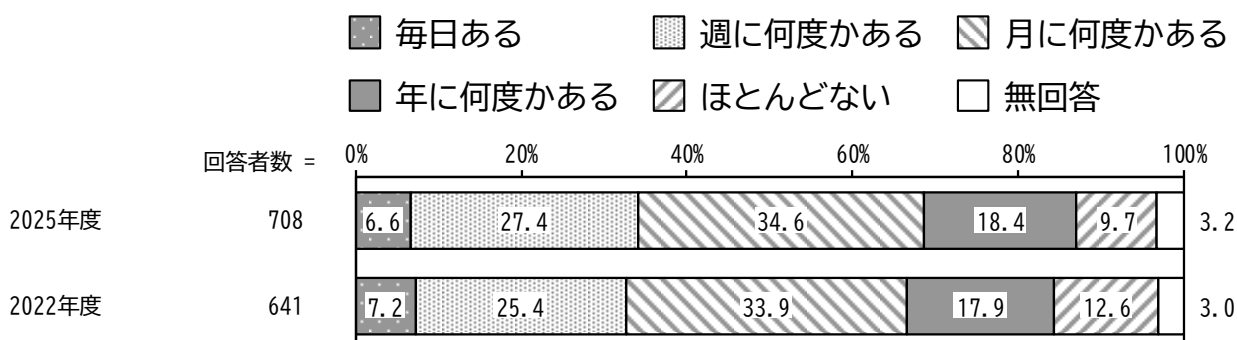
単位：％

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・長寿クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	708	6.5	8.9	3.5	26.0	13.6	6.1	43.6	7.6
在宅指向型 社交的	60	6.7	8.3	1.7	18.3	13.3	3.3	50.0	10.0
在宅指向型 内向的	56	0.0	7.1	1.8	8.9	7.1	14.3	60.7	1.8
外出指向型 社交的	402	8.2	10.4	3.7	31.6	15.7	5.2	38.3	6.7
外出指向型 内向的	150	5.3	4.7	3.3	20.0	10.7	4.0	54.0	8.7

問 54 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。【○は1つ】

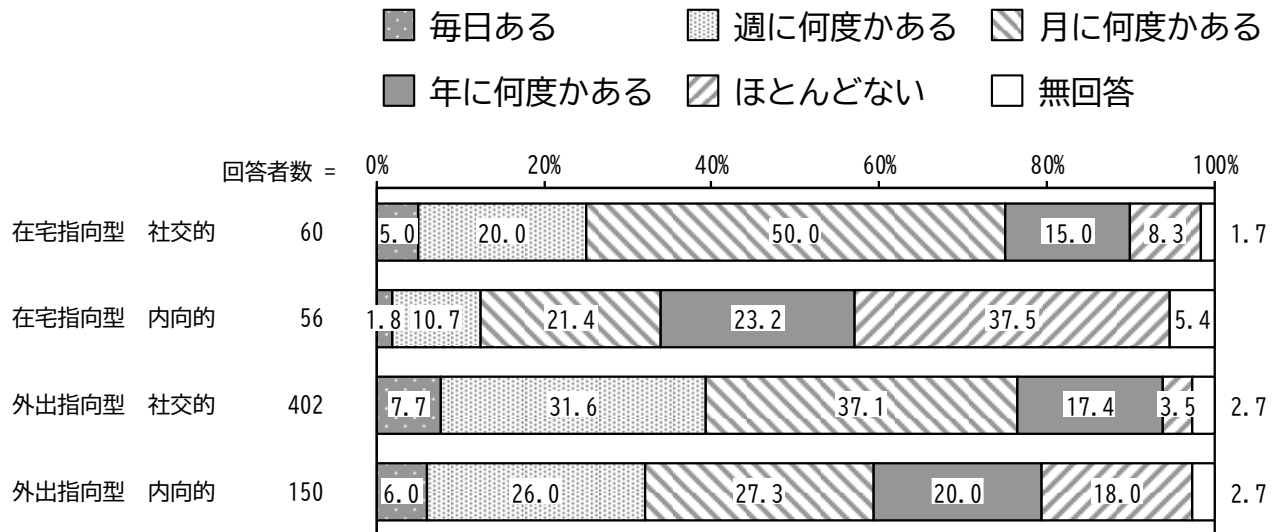
「月に何度かある」の割合が34.6%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が27.4%、「年に何度かある」の割合が18.4%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



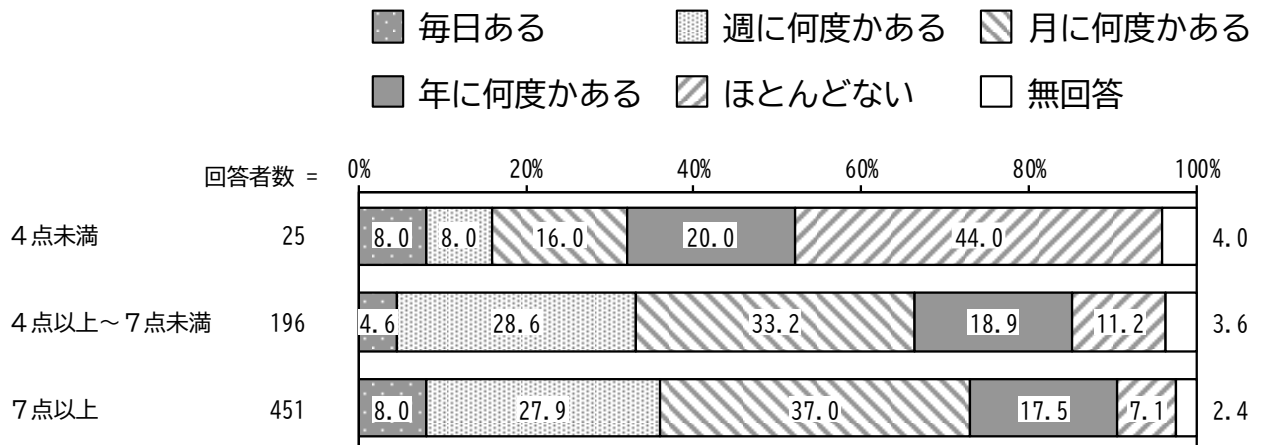
【タイプ別】

タイプ別にみると、外出指向型ほど友人・知人と会う頻度が高く、在宅指向型 内向的で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「月に何度かある」の割合が高く、「ほとんどない」の割合が低くなっています。また、4点未満で「週に何度かある」の割合が低くなっています。

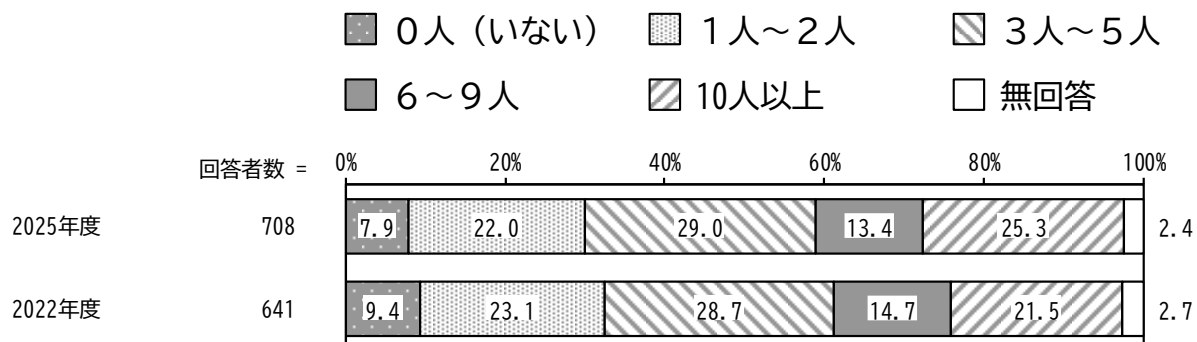


問 55 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。【○は1つ】

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

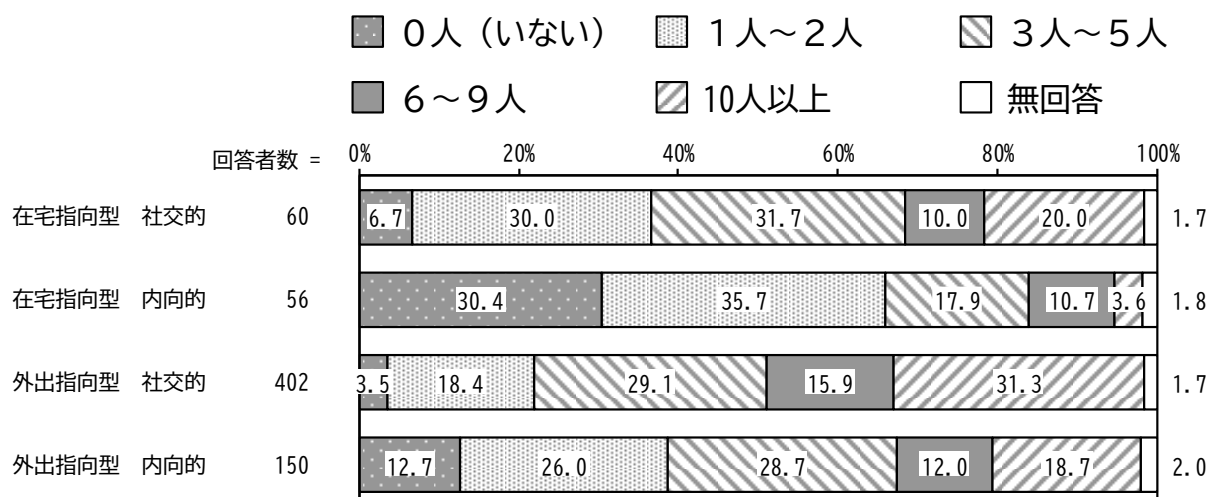
「3人～5人」の割合が29.0%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が25.3%、「1人～2人」の割合が22.0%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



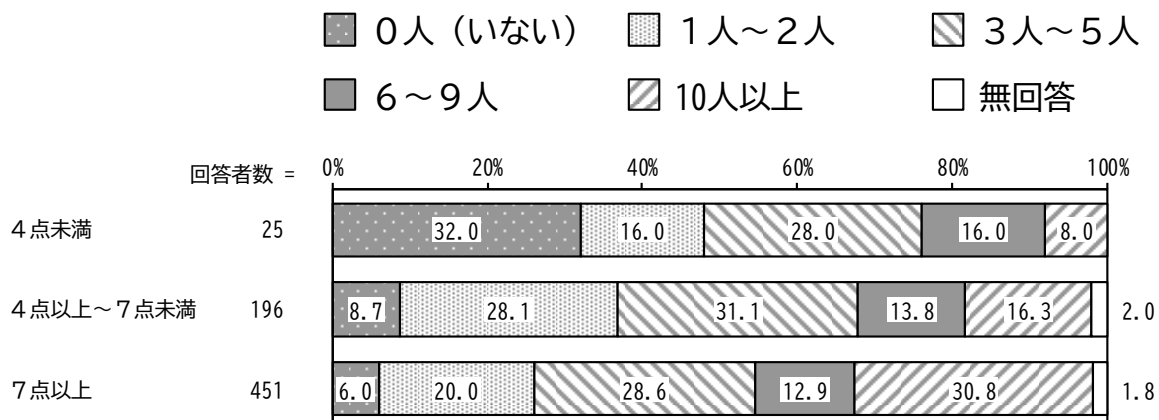
【タイプ別】

タイプ別にみると、内向的で「0人（いない）」「1人～2人」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

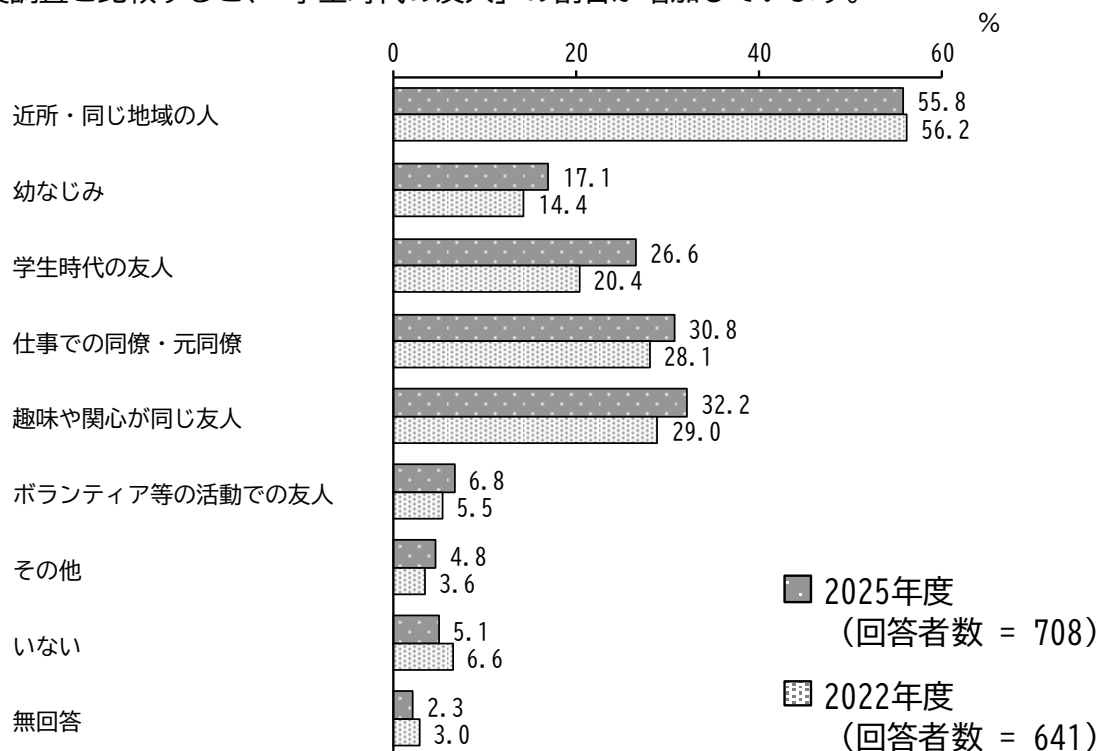
幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「10人以上」の割合が高く、「0人（いない）」の割合が低くなっています。



問 56 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【〇はいくつでも】

「近所・同じ地域の人」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 32.2%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 30.8%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「学生時代の友人」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるほど「所・同じ地域の人」の割合が高く、「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	708	55.8	17.1	26.6	30.8	32.2	6.8	4.8	5.1	2.3
65～69歳	176	44.9	20.5	38.1	40.9	27.3	4.0	4.5	6.3	1.1
70～74歳	163	52.8	20.9	30.1	38.0	39.3	9.2	4.3	4.9	1.2
75～79歳	168	58.9	16.7	23.8	29.8	33.9	10.7	3.6	4.2	3.6
80～84歳	114	65.8	15.8	18.4	21.1	33.3	4.4	7.9	3.5	0.9
85歳以上	82	67.1	6.1	13.4	12.2	22.0	2.4	3.7	7.3	4.9

【地区別】

ほぼ全域で「近所・同じ地域の人」の割合が高く、日吉地区は76.4%と最も高くなっています。

また、陶地区で「幼なじみ」、明世地区で「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・ 同じ地 域の人	幼 なじみ	人 学 生 時 代 の 友 人	僚 仕 事 で の 同 僚 ・ 元 同 僚	同 趣 味 や 関 心 が 同 じ 友 人	友 人 等 の 活 動 で の テ ィ ア	そ の 他	い な い	無 回 答
全 体	708	55.8	17.1	26.6	30.8	32.2	6.8	4.8	5.1	2.3
瑞浪地区	263	48.3	12.9	28.1	32.3	33.8	5.3	6.1	5.7	3.4
稲津地区	70	54.3	24.3	21.4	37.1	31.4	5.7	4.3	4.3	1.4
陶地区	83	61.4	31.3	22.9	25.3	21.7	7.2	4.8	4.8	2.4
土岐地区	124	61.3	11.3	24.2	27.4	32.3	8.9	5.6	4.8	0.8
明世地区	32	37.5	15.6	40.6	46.9	34.4	9.4	0.0	12.5	0.0
釜戸地区	67	62.7	19.4	23.9	26.9	34.3	4.5	1.5	1.5	3.0
大湫地区	10	50.0	0.0	20.0	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0
日吉地区	55	76.4	21.8	32.7	25.5	32.7	10.9	5.5	3.6	0.0

【タイプ別】

タイプ別にみると、社交的で「近所・同じ地域の人」、外出指向型で「仕事での同僚・元同僚」、在宅指向型 内向的で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・ 同じ地 域の人	幼 なじみ	人 学 生 時 代 の 友 人	僚 仕 事 で の 同 僚 ・ 元 同 僚	同 趣 味 や 関 心 が 同 じ 友 人	友 人 等 の 活 動 で の テ ィ ア	そ の 他	い な い	無 回 答
全 体	708	55.8	17.1	26.6	30.8	32.2	6.8	4.8	5.1	2.3
在宅指向型 社交的	60	73.3	13.3	25.0	15.0	20.0	5.0	3.3	3.3	1.7
在宅指向型 内向的	56	37.5	14.3	16.1	8.9	12.5	1.8	5.4	21.4	7.1
外出指向型 社交的	402	59.5	18.9	30.3	35.8	41.8	9.2	5.5	2.0	1.5
外出指向型 内向的	150	47.3	14.7	24.0	32.7	21.3	3.3	2.0	8.7	1.3

【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど「近所・同じ地域の人」「幼なじみ」「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。

単位：％

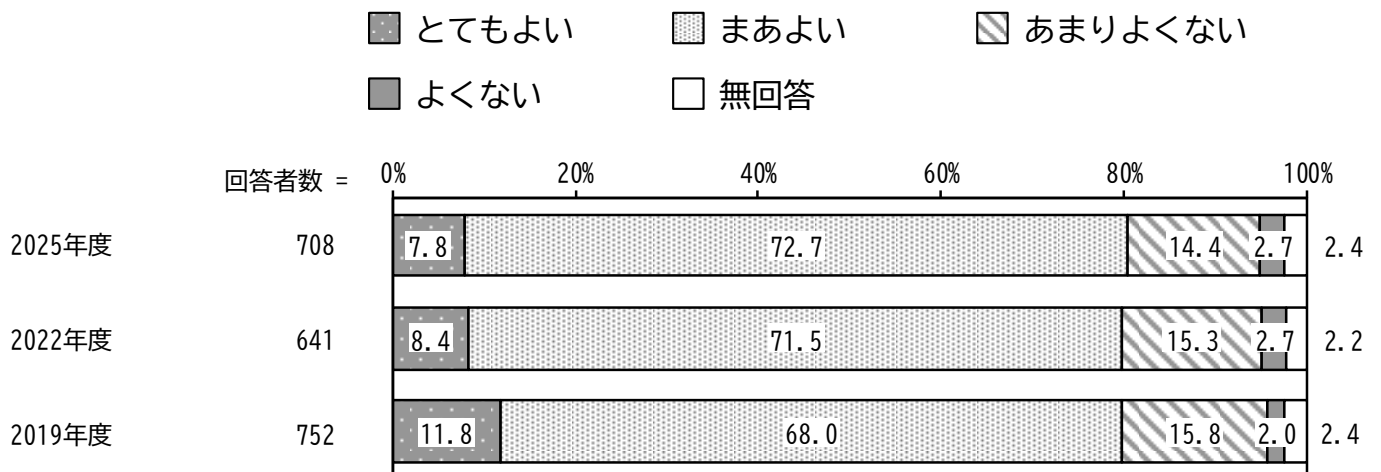
区分	回答者数 (件)	近所・ 同じ地 域の人	幼 なじみ	人 学 生 時 代 の 友 人	僚 仕 事 で の 同 僚 ・ 元 同 僚	同 趣 味 や 関 心 が 同 じ 友 人	友 人 等 の 活 動 で の テ ィ ア	そ の 他	い な い	無 回 答
全 体	708	55.8	17.1	26.6	30.8	32.2	6.8	4.8	5.1	2.3
4点未満	25	36.0	12.0	0.0	24.0	20.0	0.0	16.0	20.0	4.0
4点以上～7点未満	196	52.6	15.8	24.0	27.6	27.0	5.6	4.1	6.1	1.0
7点以上	451	58.5	18.0	28.8	33.5	35.9	8.0	4.7	3.8	2.0

8. 健康について

問 57 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【○は1つ】

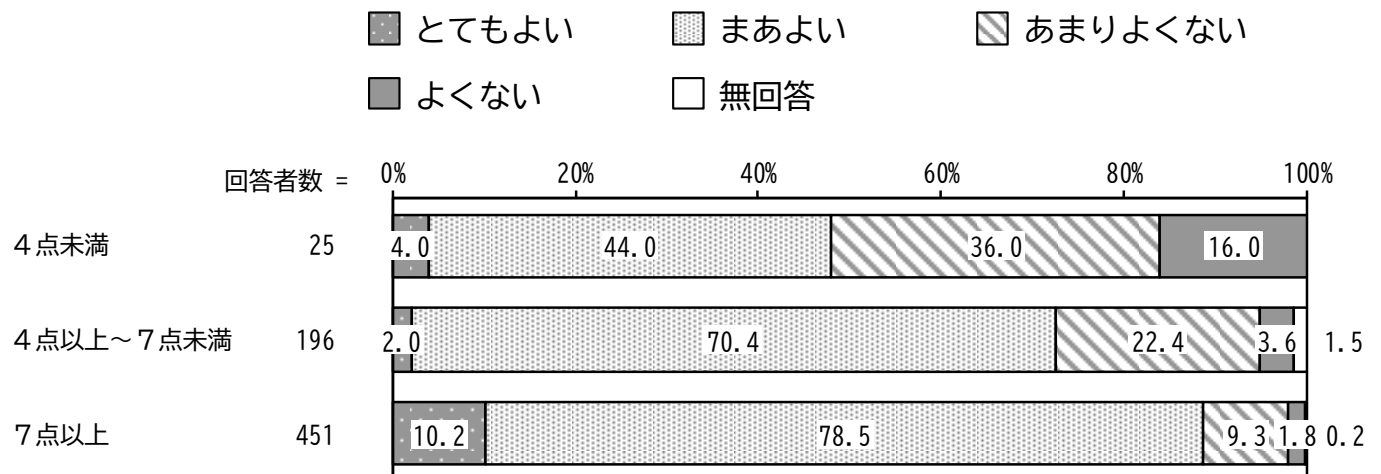
「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が80.5%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が17.1%となっています。

2022年度及び2019年度調査比較すると、大きな変化はみられません。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福感が上がるほど“よい”の割合が高くなっています。また、4点未満で「あまりよくない」の割合が高く、「とてもよい」と「まあよい」の割合の合計が低くなっています。



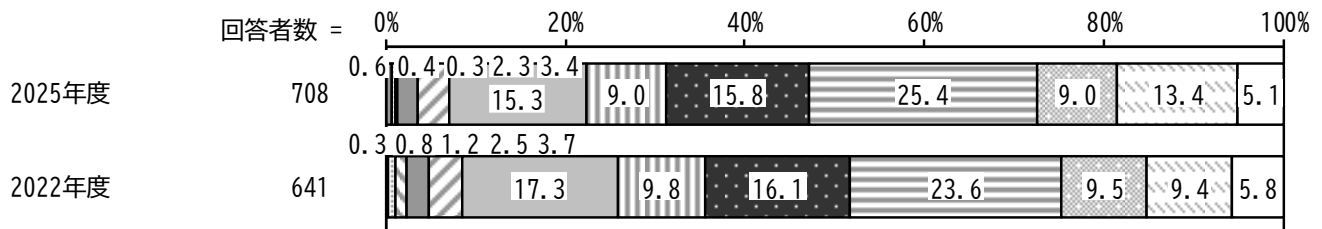
問 58 あなたは、現在どの程度幸せですか。【〇は1つ】

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

「8点」の割合が25.4%と最も高く、次いで「7点」の割合が15.8%、「5点」の割合が15.3%となっています。

2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

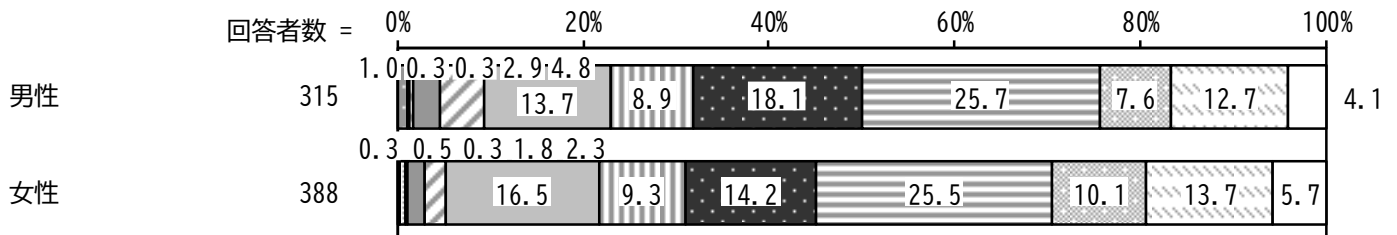
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点
7点 8点 9点 10点 無回答



【性別】

性別による大きな差はみられません。

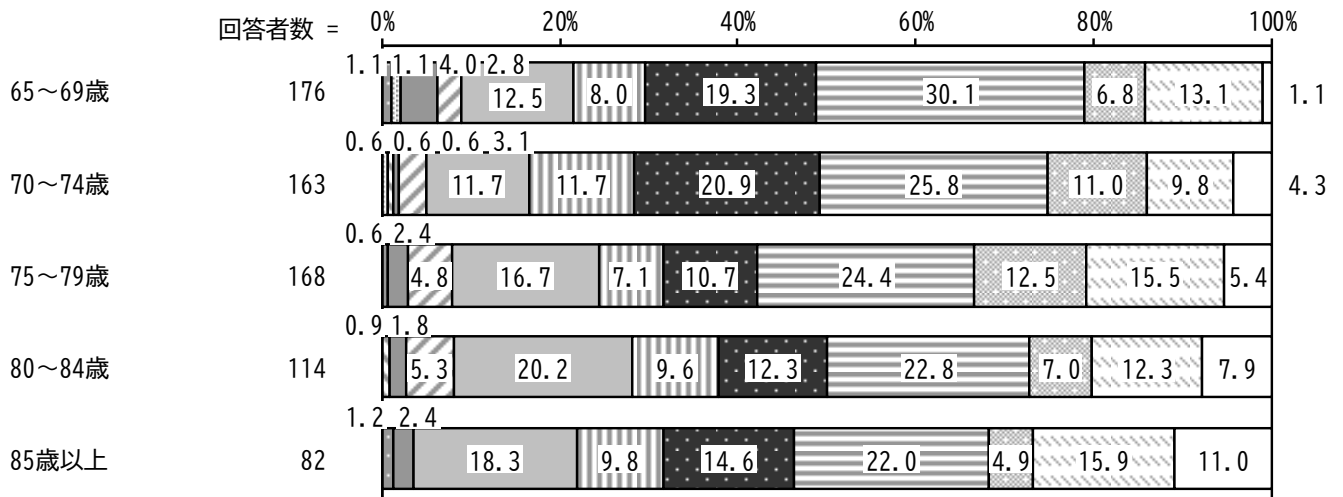
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点
7点 8点 9点 10点 無回答



【年齢別】

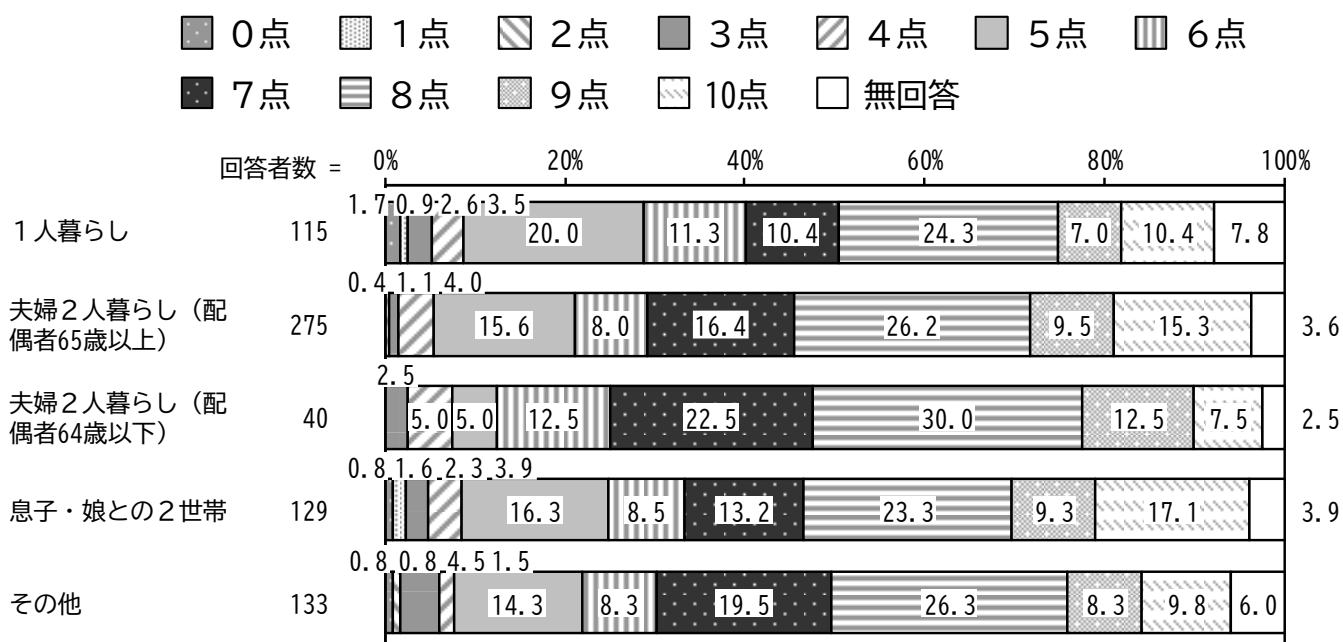
年齢別にみると、いずれの年代でも5点以上の回答が80%半ばから90%程度を占めており、年齢による大きな差はみられません。

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点
7点 8点 9点 10点 無回答



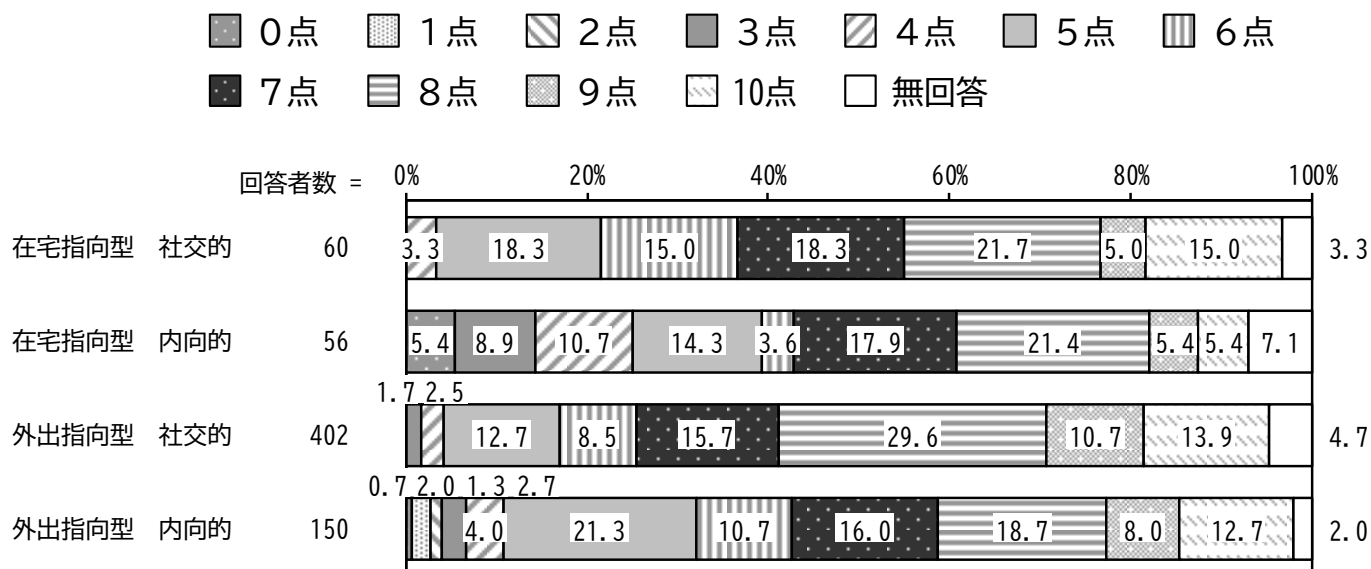
【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で幸福感の割合が「7 点」の割合が高く、「5 点」「10 点」の割合が低くなっています。



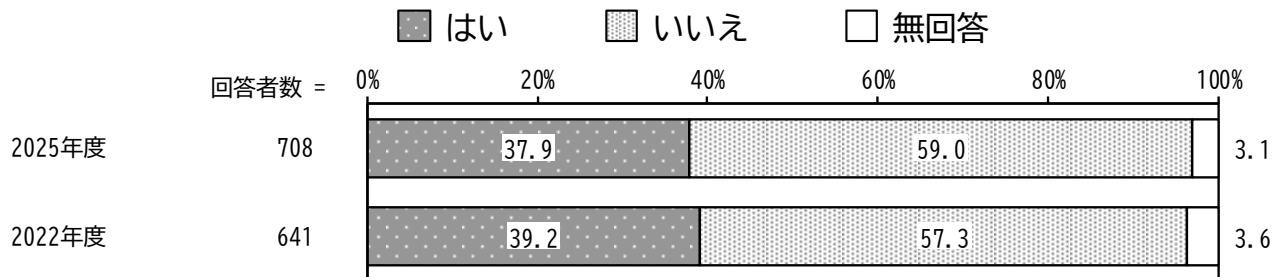
【タイプ別】

タイプ別にみると、社交的で「7 点以上」の割合が高くなっています。



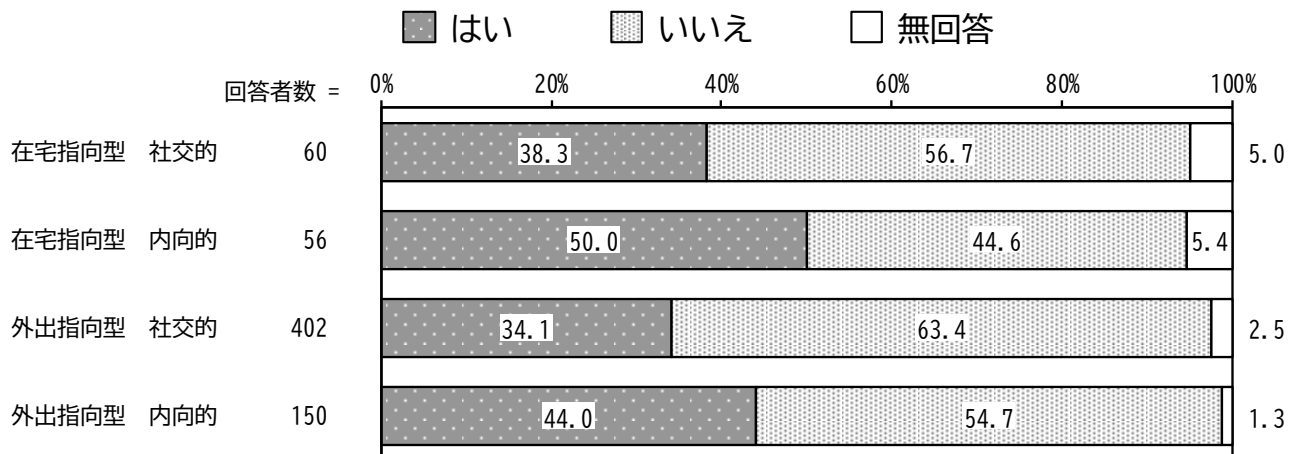
問 59 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。【○は1つ】

「はい」の割合が37.9%、「いいえ」の割合が59.0%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



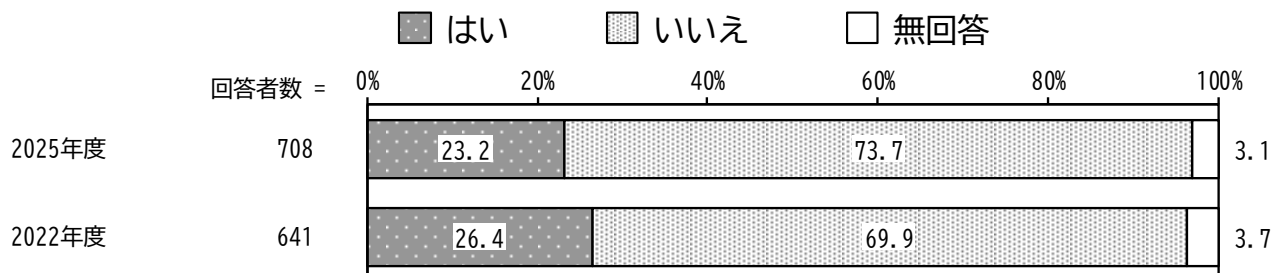
【タイプ別】

タイプ別にみると、内向的で「はい」の割合が高くなっています。



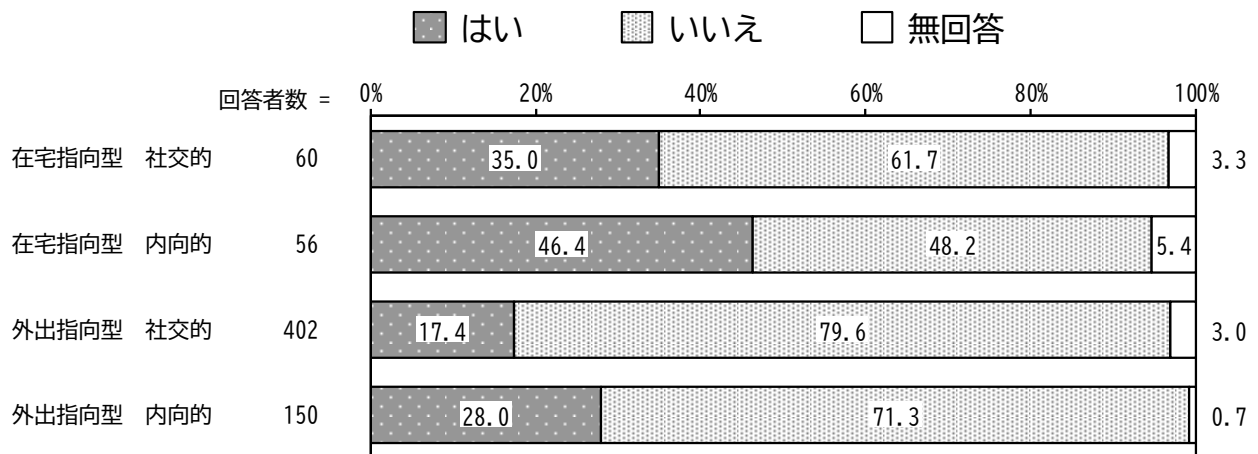
問 60 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。【○は1つ】

「はい」の割合が23.2%、「いいえ」の割合が73.7%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【タイプ別】

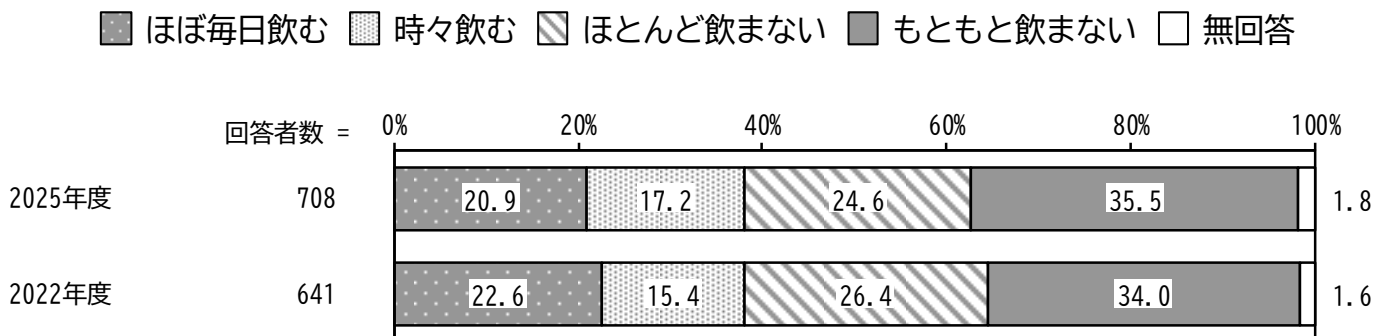
タイプ別にみると、在宅指向型 内向的で「はい」の割合が高くなっています。



問 61 お酒は飲みますか。【○は1つ】

「もともと飲まない」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 24.6%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 20.9%となっています。

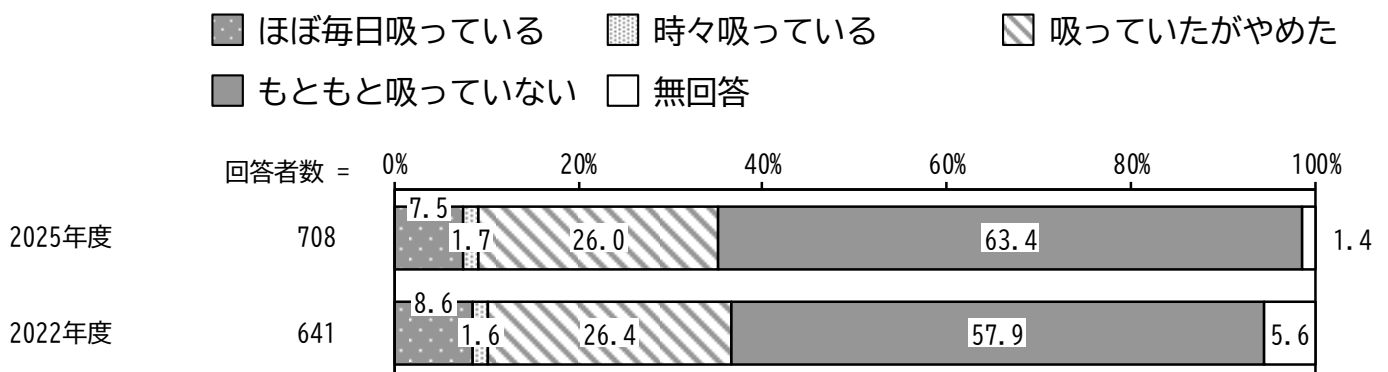
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 62 タバコは吸っていますか。【○は1つ】

「もともと吸っていない」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 26.0%となっています。

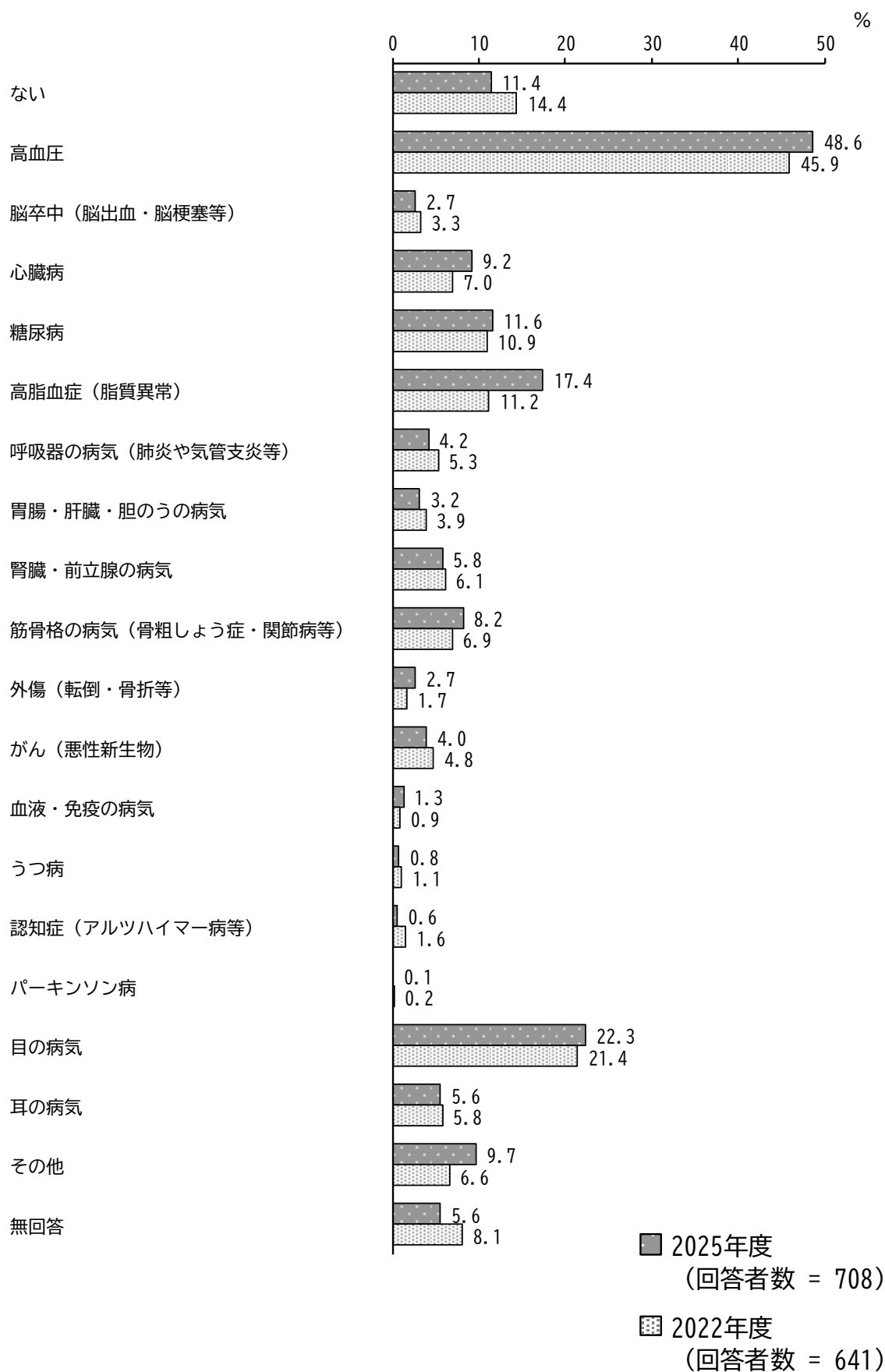
2022 年度調査と比較すると、「もともと吸っていない」の割合が増加しています。



問 63 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【〇はいくつでも】

「高血圧」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 22.3%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が 17.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「高脂血症（脂質異常）」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「心臓病」「目の病気」の割合が高く、「高脂血症（脂質異常）」の割合が低い傾向にあり、概ね年齢が上がるほど「高血圧」の割合が高くなっています。

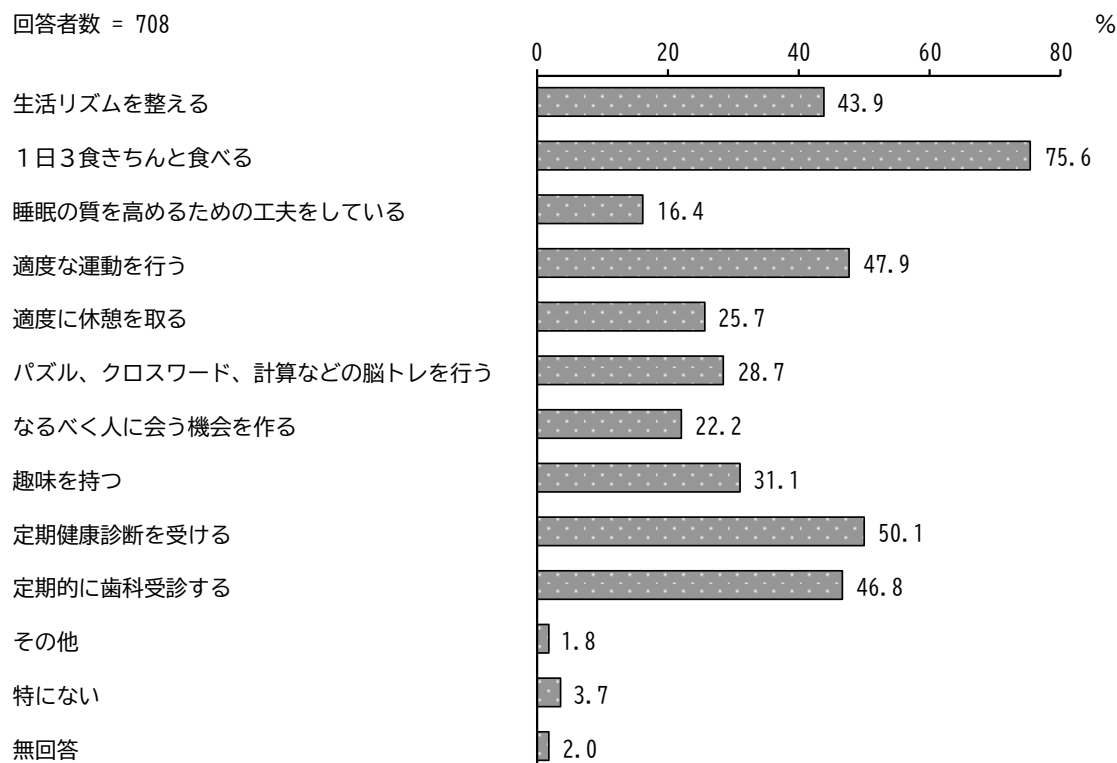
単位：％

区分	全 体	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上
回答者（件）	708	176	163	168	114	82
ない	11.4	19.9	16.0	4.8	6.1	6.1
高血圧	48.6	36.9	44.8	47.6	64.0	59.8
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2.7	1.1	1.8	3.0	4.4	3.7
心臓病	9.2	5.1	7.4	10.1	12.3	15.9
糖尿病	11.6	7.4	11.0	16.7	12.3	9.8
高脂血症（脂質異常）	17.4	23.3	18.4	19.6	11.4	7.3
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	4.2	4.5	3.7	4.8	2.6	6.1
胃腸・肝臓・胆のうの病気	3.2	2.3	4.3	3.6	3.5	2.4
腎臓・前立腺の病気	5.8	4.0	6.7	7.1	7.0	3.7
筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節病等）	8.2	5.7	9.2	6.0	11.4	12.2
外傷（転倒・骨折等）	2.7	2.3	0.6	3.6	5.3	2.4
がん（悪性新生物）	4.0	2.8	3.1	6.0	4.4	3.7
血液・免疫の病気	1.3	1.7	1.2	0.0	1.8	2.4
うつ病	0.8	1.1	1.2	1.2	0.0	0.0
認知症（アルツハイマー病等）	0.6	0.0	0.0	0.0	1.8	2.4
パーキンソン病	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
目の病気	22.3	15.9	20.9	24.4	25.4	29.3
耳の病気	5.6	3.4	3.7	7.1	7.0	9.8
その他	9.7	12.5	8.6	10.1	10.5	4.9
無回答	5.6	4.0	4.9	.7	4.4	8.5

問 64 あなたが健康のために取り組んでいることについて、ご回答ください。【〇はいくつでも】

「1日3食きちんと食べる」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「定期健康診断を受ける」の割合が 50.1%、「適度な運動を行う」の割合が 47.9%となっています。

回答者数 = 708



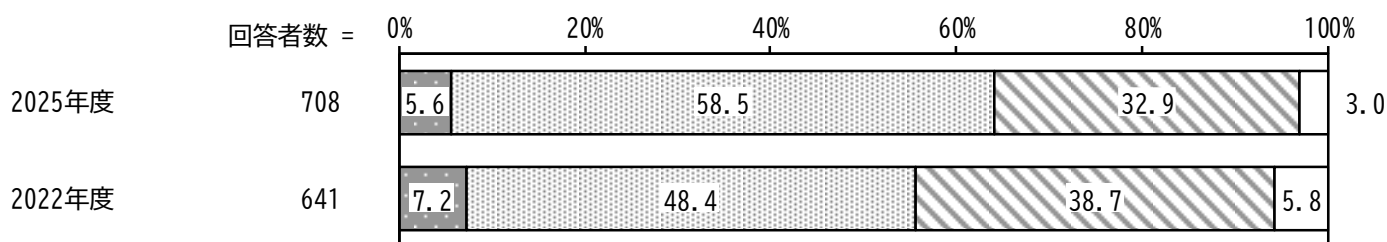
9. 介護が必要になった場合などについて

問 65 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。また、利用したことがありますか。【○は1つ】

「知っているし、利用している」の割合が 5.6%、「知っているが、利用していない」の割合が 58.5%、「知らないし、利用もしていない」の割合が 32.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「知っているが、利用していない」の割合が増加しています。一方、「知らないし、利用もしていない」の割合が減少しています。

☒ 知っているし、利用している ☒ 知っているが、利用していない
☒ 知らないし、利用もしていない ☐ 無回答

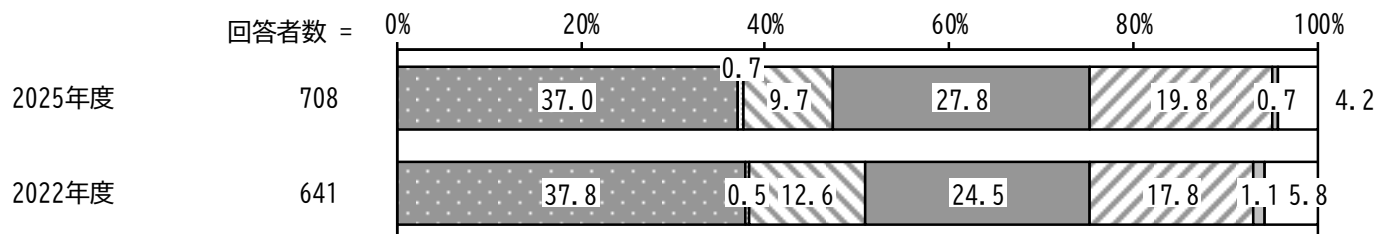


問 66 あなたが、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか。【○は1つ】

「自宅」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム等の介護施設」の割合が 27.8%、「考えていない」の割合が 19.8%となっています。

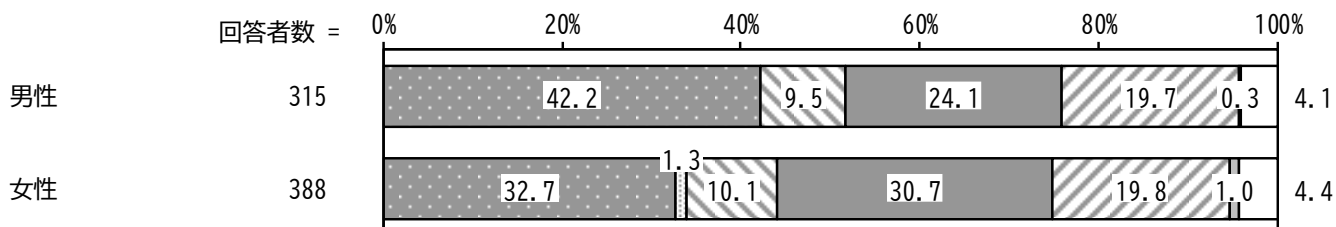
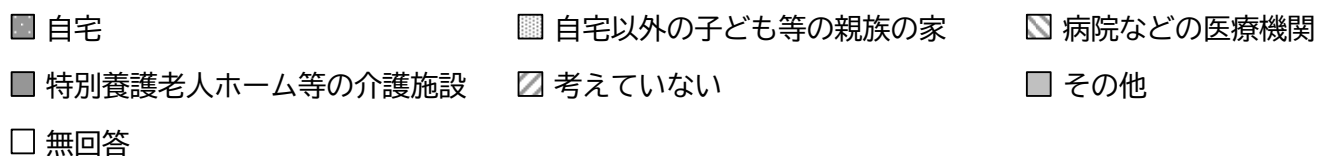
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

☒ 自宅 ☒ 自宅以外の子ども等の親族の家 ☒ 病院などの医療機関
☒ 特別養護老人ホーム等の介護施設 ☒ 考えていない ☒ その他
☐ 無回答



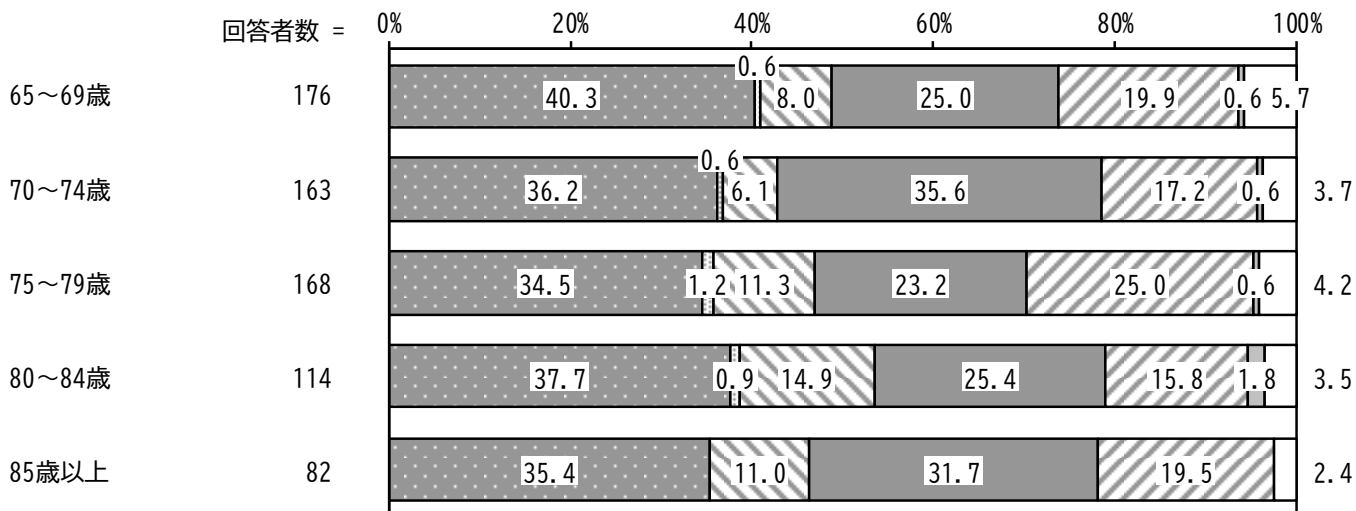
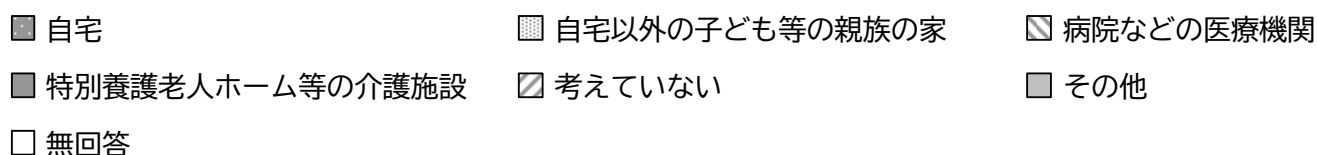
【性別】

男性で「自宅」の割合が高く、女性で「特別養護老人ホーム等の介護施設」の割合が高くなっています。



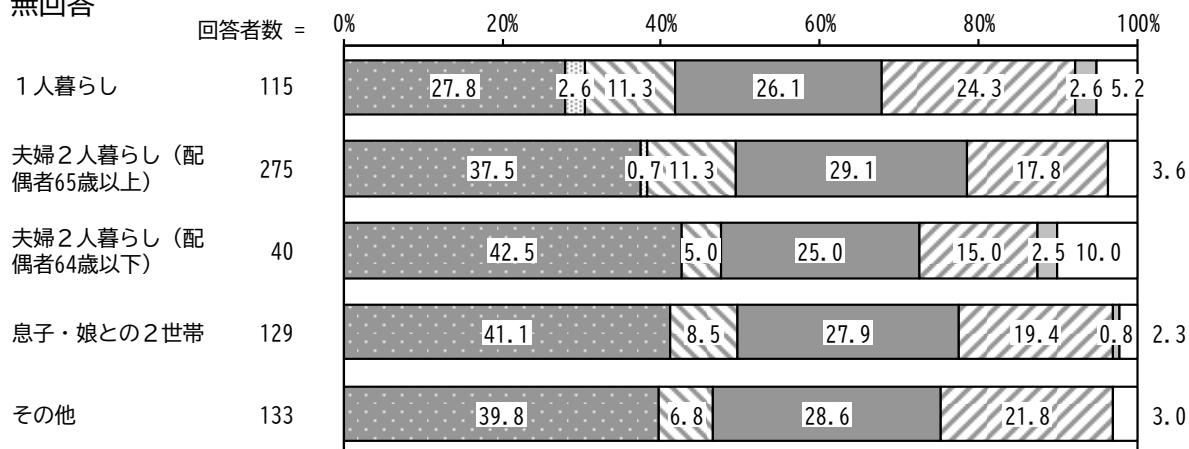
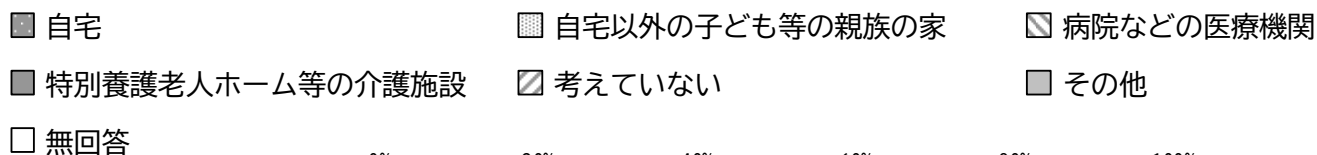
【年齢別】

年齢別にみると、80～84歳で「病院などの医療機関」、70～74歳で「特別養護老人ホーム等の介護施設」、75～79歳で「考えていない」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

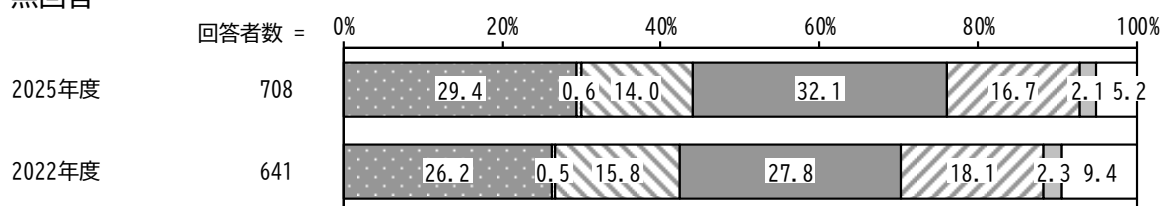
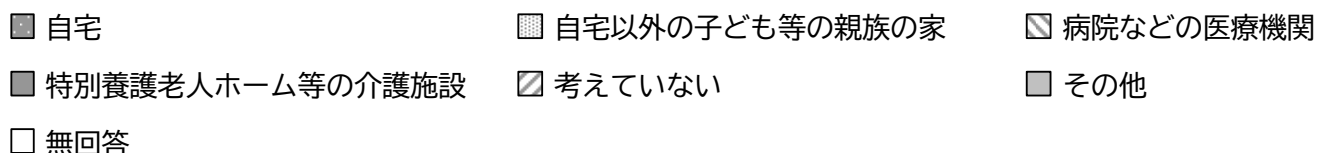
家族構成別にみると、1人暮らしでは「自宅」の割合が低くなっています。



問 67 あなたのご家族が、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか。【○は1つ】

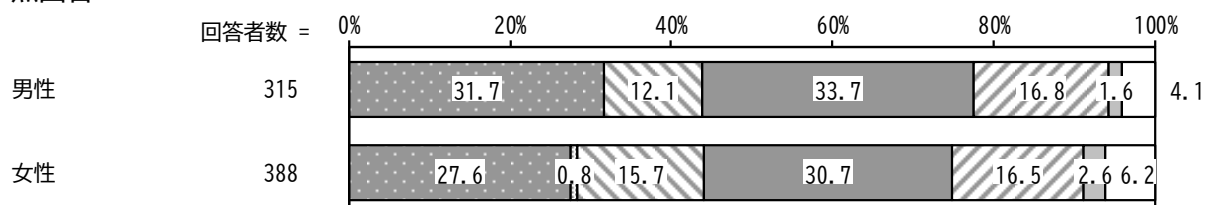
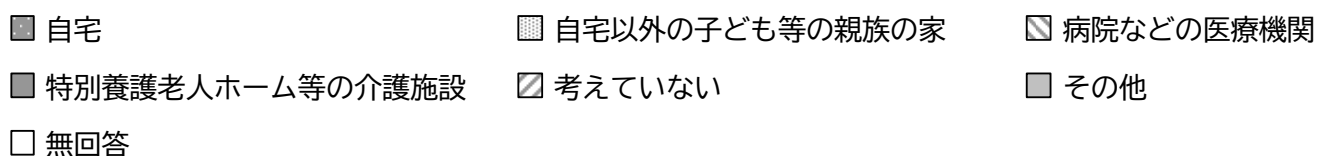
「特別養護老人ホーム等の介護施設」の割合が32.1%と最も高く、次いで「自宅」の割合が29.4%、「考えていない」の割合が16.7%となっています。

2022年度調査と比較すると、「自宅」「特別養護老人ホーム等の介護施設」の割合が増え、「考えていない」の割合が減っています。



【性別】

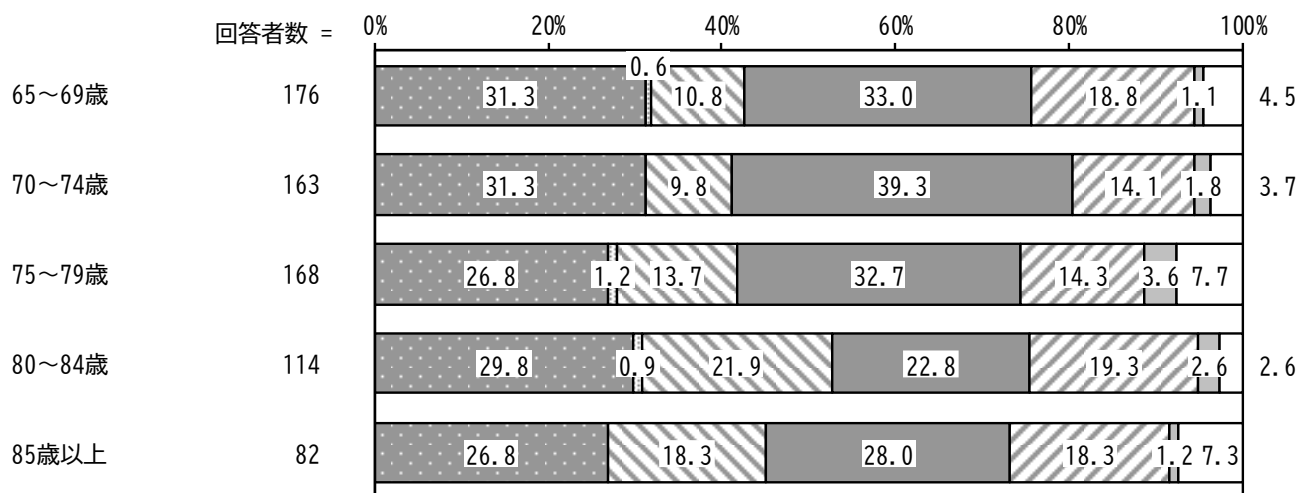
性別による大きな差はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「自宅」の割合が減る傾向にあります。
また、80歳以上で「考えていない」の割合が高くなっています。

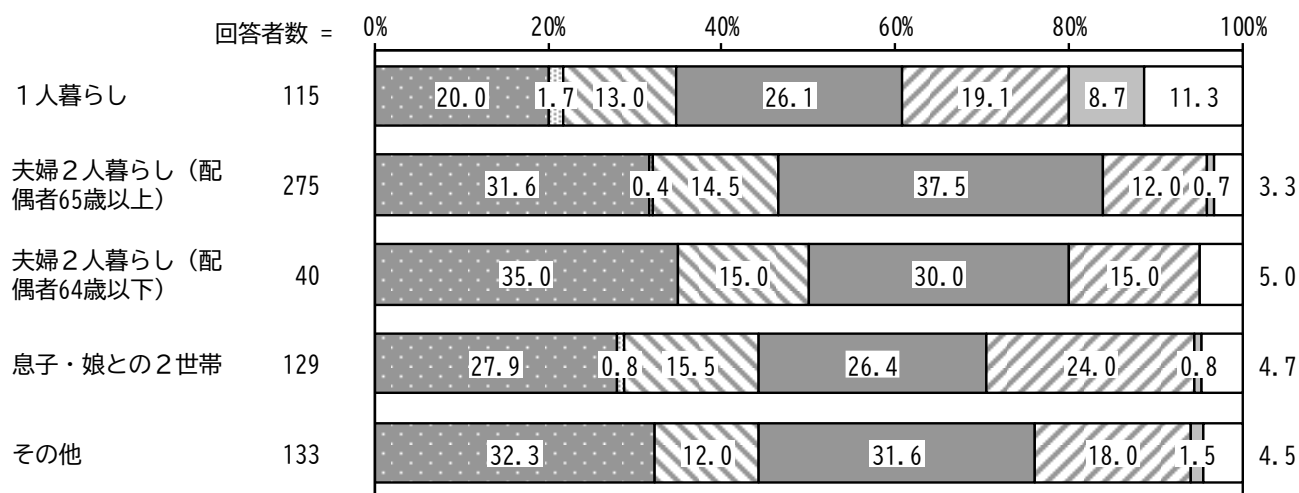
- 自宅
- ▨ 自宅以外の子ども等の親族の家
- ▤ 病院などの医療機関
- 特別養護老人ホーム等の介護施設
- ▧ 考えていない
- その他
- 無回答



【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）で「自宅」、夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）で「特別養護老人ホーム等の介護施設」、息子・娘との2世帯で「考えていない」の割合が高くなっています。

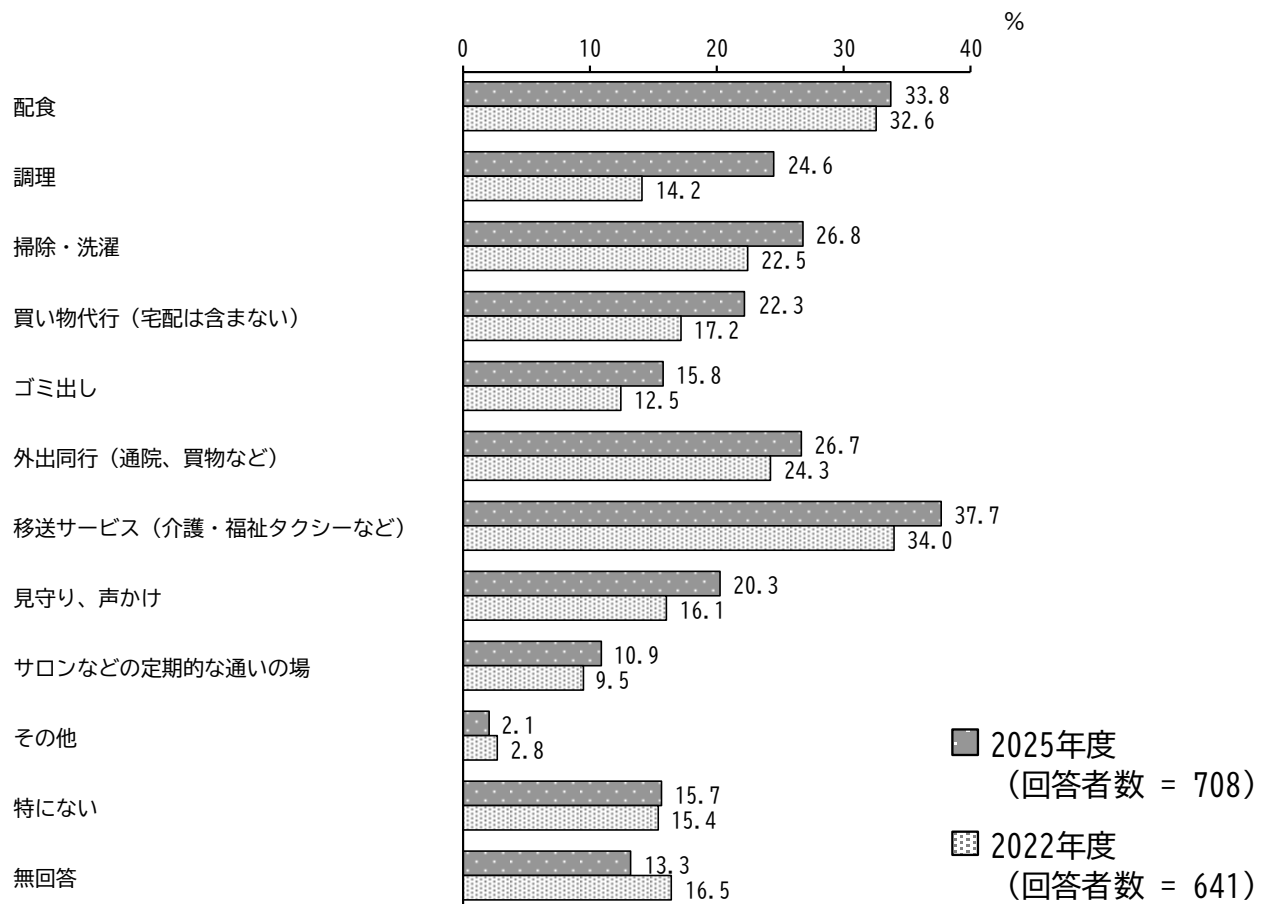
- 自宅
- ▨ 自宅以外の子ども等の親族の家
- ▤ 病院などの医療機関
- 特別養護老人ホーム等の介護施設
- ▧ 考えていない
- その他
- 無回答



問 68 家族の介護負担を軽減するために必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
【〇はいくつでも】

「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「配食」の割合が 33.8%、「掃除・洗濯」の割合が 26.8%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「調理」「買い物代行（宅配は含まない）」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、稲津地区、陶地区で「配食」、明世地区、大湫地区で「調理」、瑞浪地区で「掃除・洗濯」の割合が高くなっています。

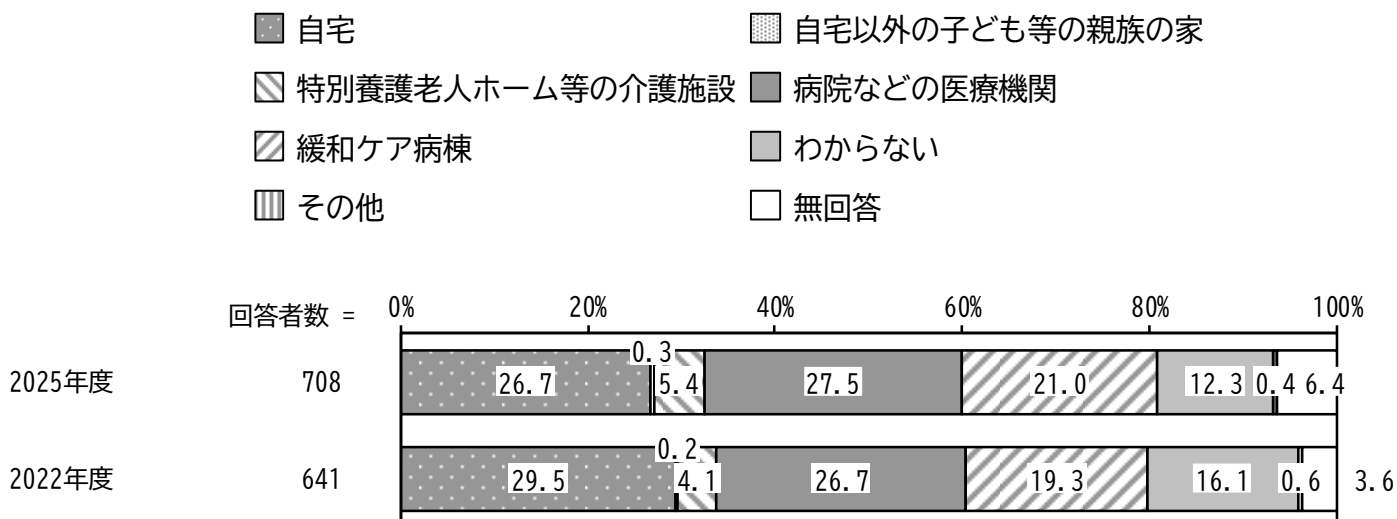
単位：%

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物代行 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	708	33.8	24.6	26.8	22.3	15.8	26.7	37.7	20.3	10.9	2.1	15.7	13.3
瑞浪地区	263	36.9	27.0	32.7	26.6	19.0	28.5	40.7	18.6	13.3	2.3	13.3	12.5
稲津地区	70	44.3	21.4	22.9	12.9	17.1	24.3	37.1	24.3	12.9	0.0	18.6	15.7
陶地区	83	41.0	22.9	27.7	22.9	20.5	26.5	37.3	22.9	7.2	1.2	9.6	10.8
土岐地区	124	29.0	19.4	25.0	19.4	10.5	27.4	37.9	22.6	9.7	3.2	14.5	12.1
明世地区	32	25.0	34.4	25.0	21.9	21.9	31.3	31.3	15.6	9.4	3.1	21.9	18.8
釜戸地区	67	25.4	25.4	19.4	22.4	10.4	25.4	35.8	16.4	7.5	1.5	20.9	17.9
大湫地区	10	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	20.0	30.0	20.0	10.0	0.0	30.0	10.0
日吉地区	55	23.6	23.6	18.2	21.8	7.3	20.0	32.7	21.8	10.9	3.6	23.6	9.1

問 69 あなたが、がんなどの病気で人生の最後を迎える時が来た場合、療養の場所はどこを希望されますか。【〇は1つ】

「病院などの医療機関」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 26.7%、「緩和ケア病棟」の割合が 21.0%となっています。

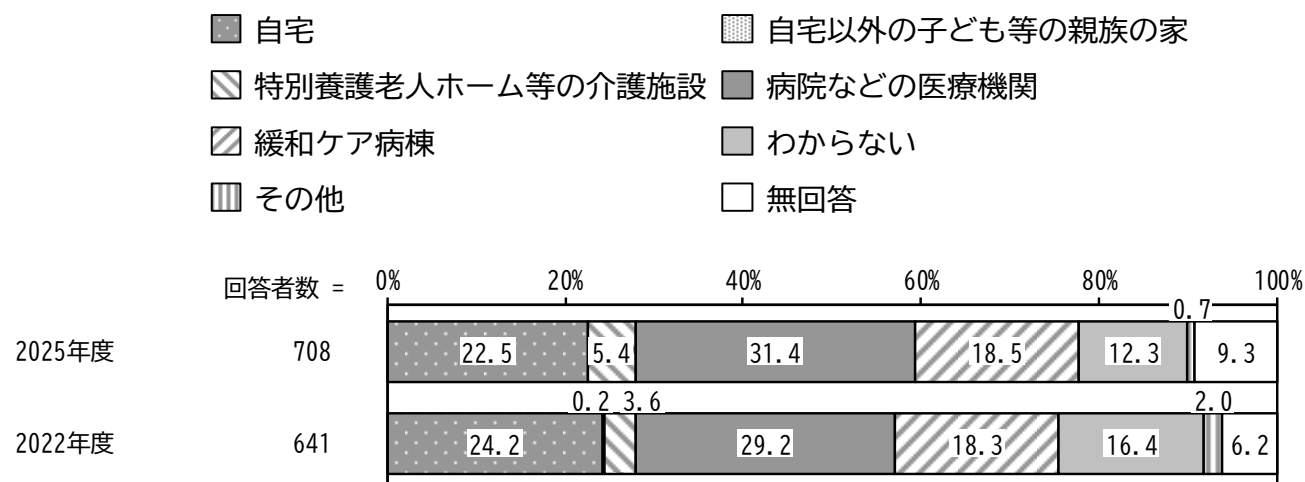
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 70 あなたのご家族が、がんなどの病気で人生の最後を迎える時が来た場合、どこで療養してもらいたいですか。【〇は1つ】

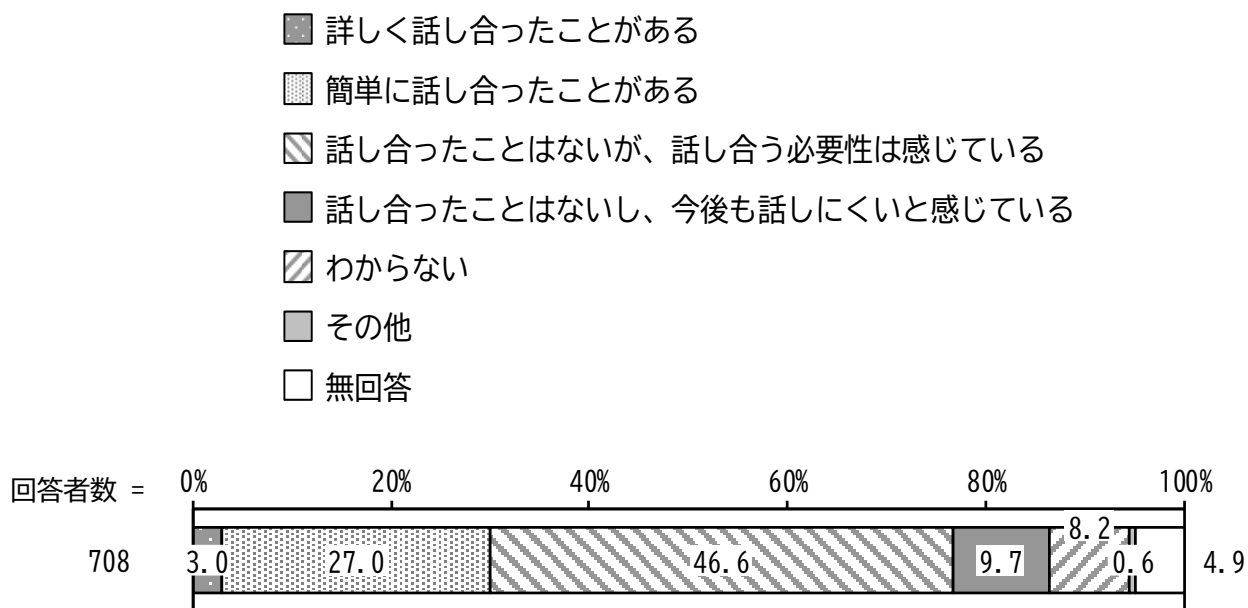
「病院などの医療機関」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 22.5%、「緩和ケア病棟」の割合が 18.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



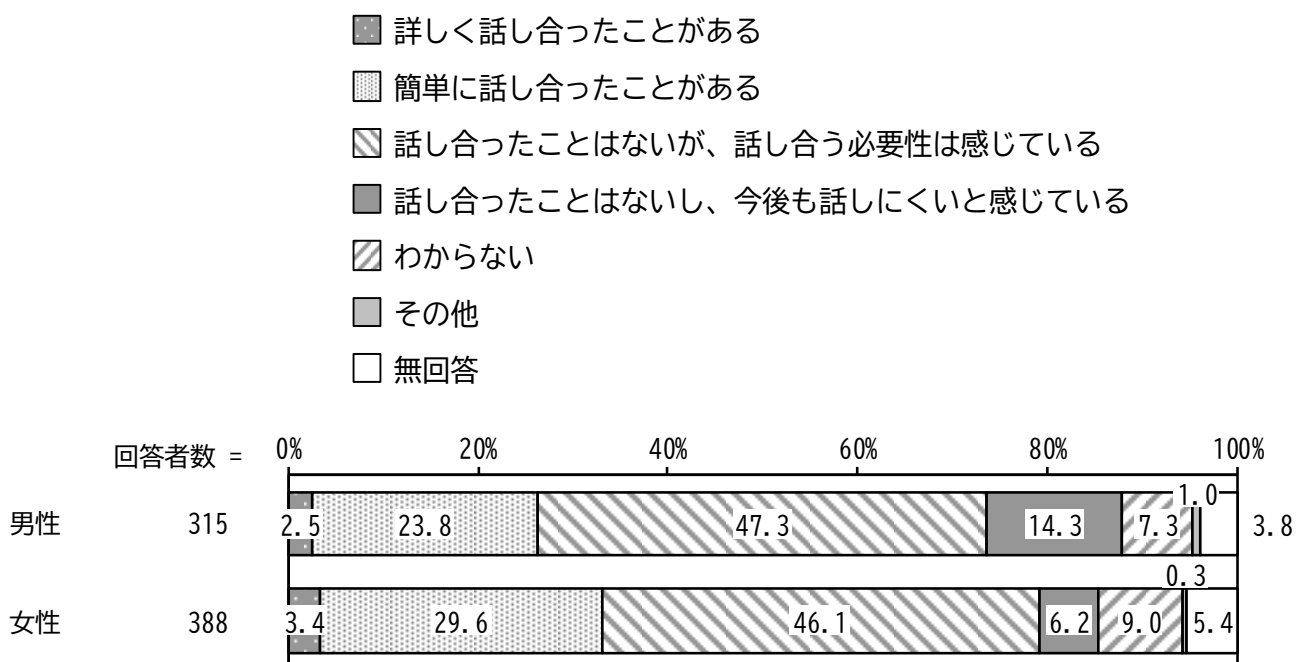
問 71 あなたは「人生の最終段階（終末期）」について、家族や近い人と話し合ったことがありますか。【○は1つ】

「話し合ったことはないが、話し合う必要性は感じている」の割合が46.6%と最も高く、次いで「簡単に話し合ったことがある」の割合が27.0%となっています。



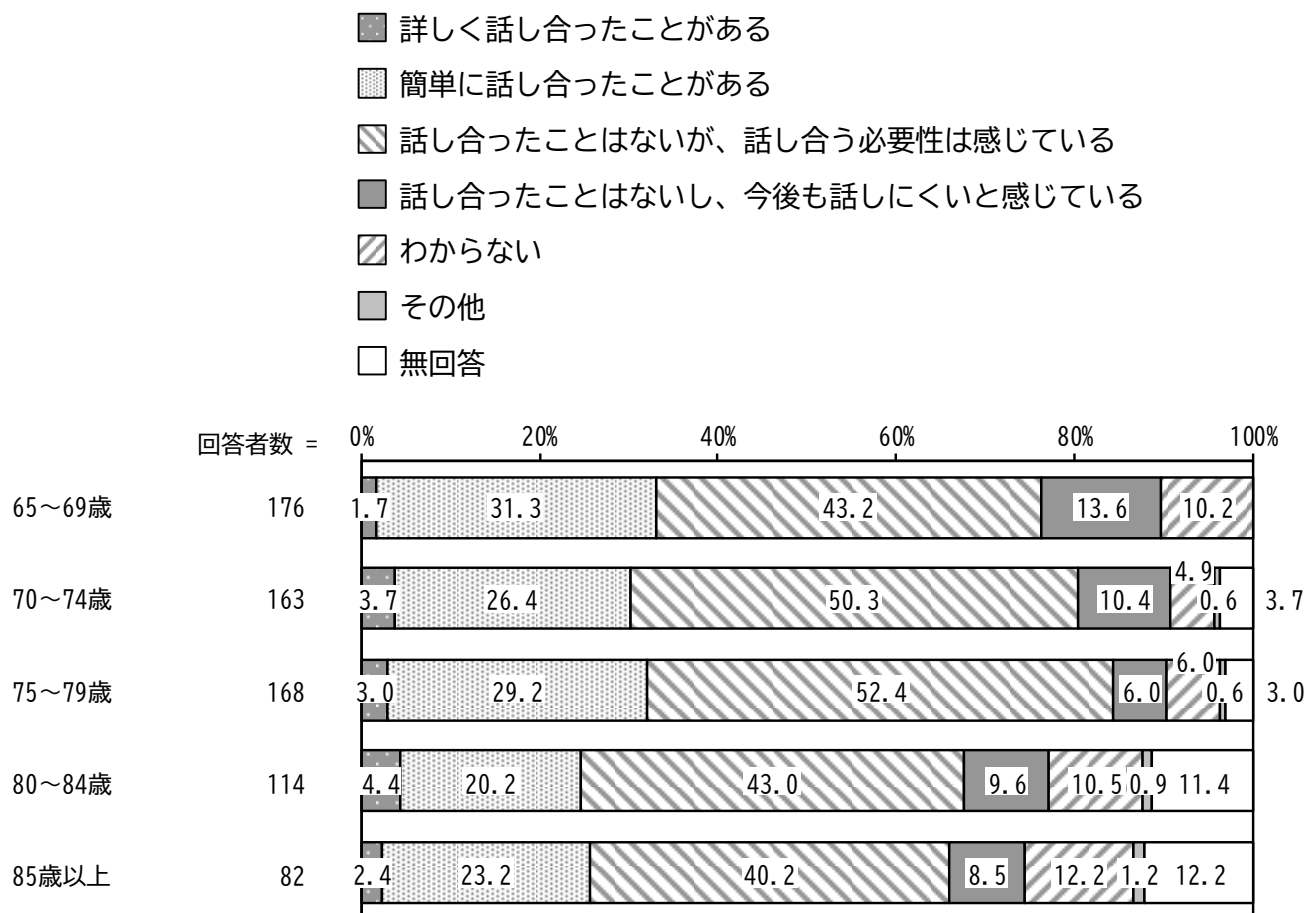
【性別】

男性で「話し合ったことはないし、今後も話しにくいと感じている」の割合が高く、女性で「簡単に話し合ったことがある」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から75～79歳まで年齢が上がるほど「話し合ったことはないが、話し合う必要性は感じている」の割合が高くなっています。



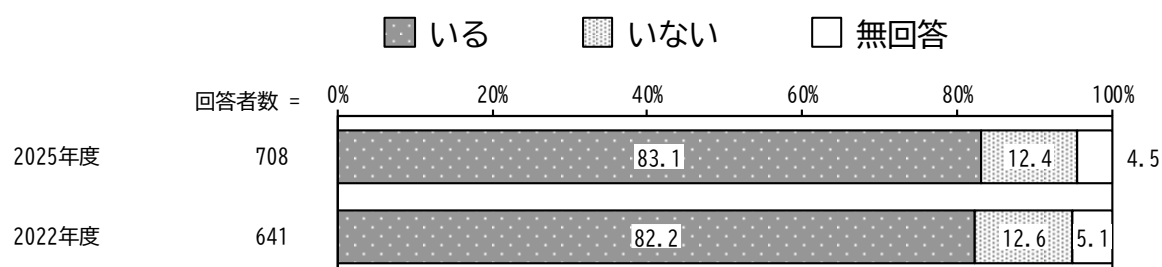
10. 医療等について

問 72 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けたりすることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいますか。

① 医師【〇は1つ】

「いる」の割合が83.1%、「いない」の割合が12.4%となっています。

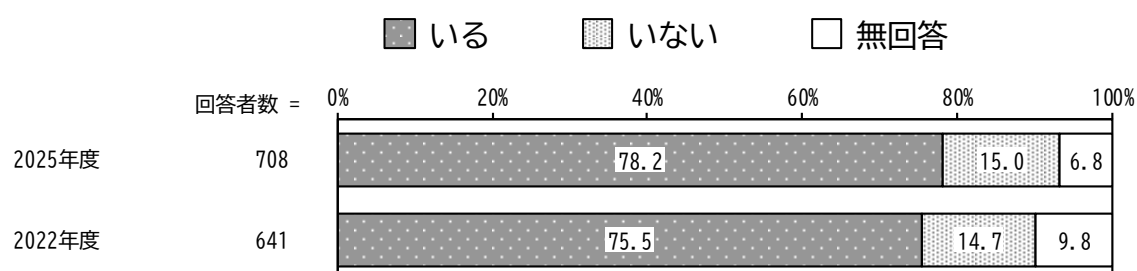
2022年度と調査比較すると、大きな変化はみられません。



② 歯科医師【〇は1つ】

「いる」の割合が78.2%、「いない」の割合が15.0%となっています。

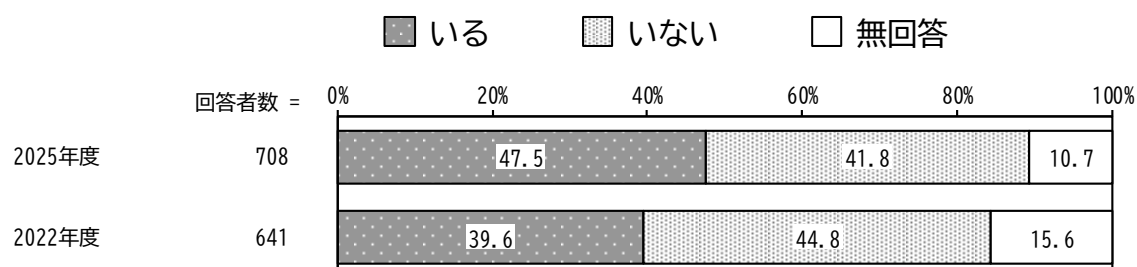
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 薬剤師【〇は1つ】

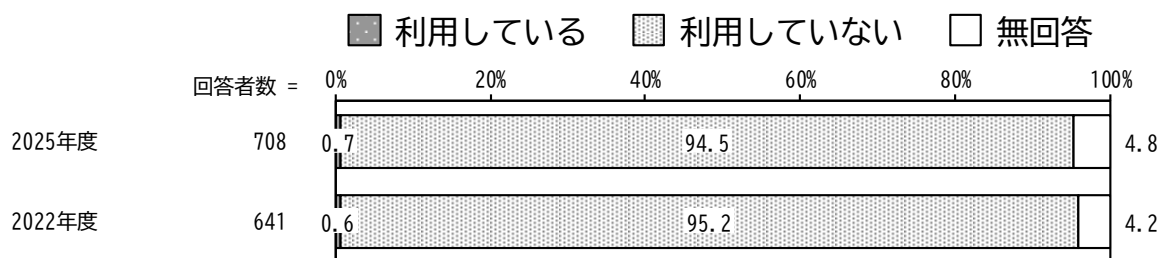
「いる」の割合が47.5%、「いない」の割合が41.8%となっています。

2022年度調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。



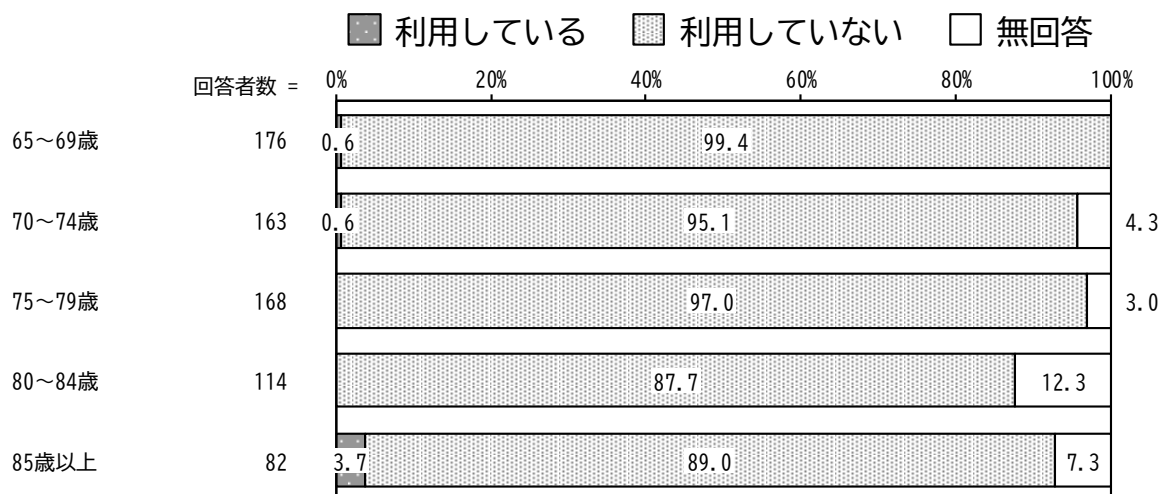
問 73 あなたは、自宅で訪問診療（医師の訪問）を利用していますか。【○は1つ】

「利用している」の割合が0.7%、「利用していない」の割合が94.5%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



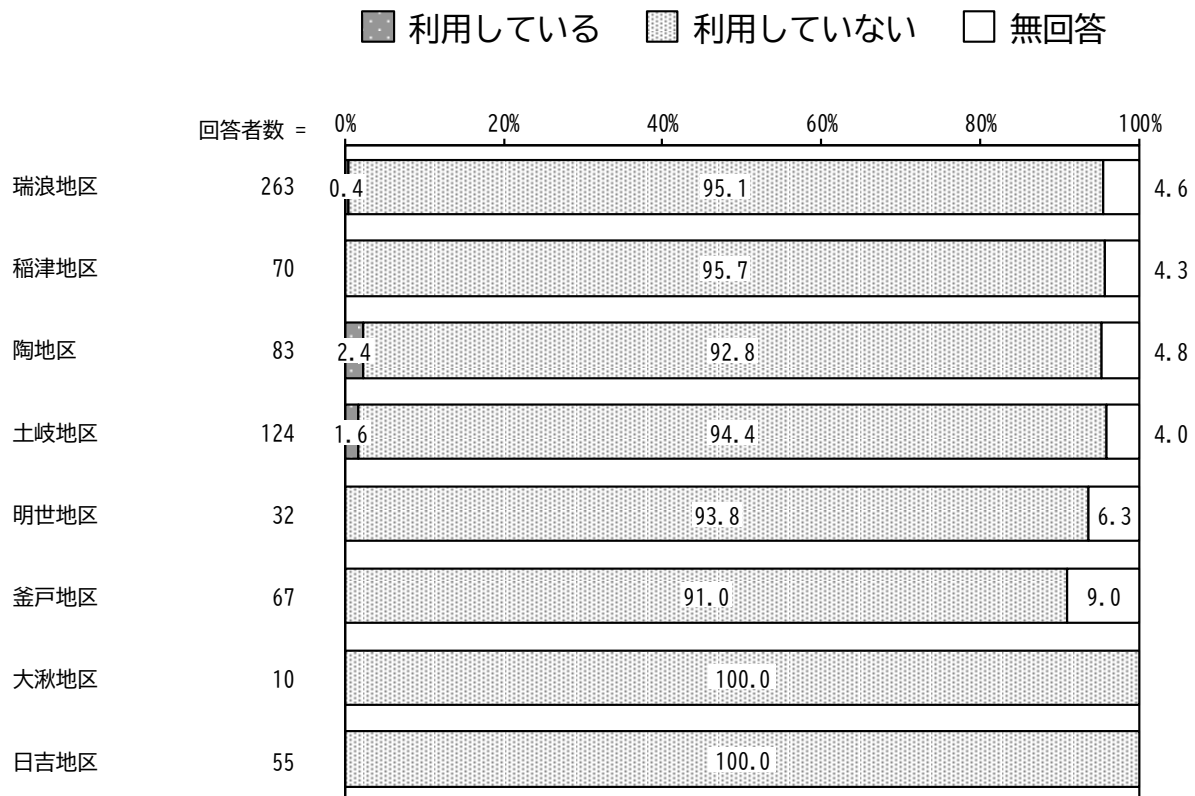
【年齢別】

年齢別にみると、80～84歳から65～69歳まで年齢が下がるほど「利用していない」の割合が高い傾向にあります。



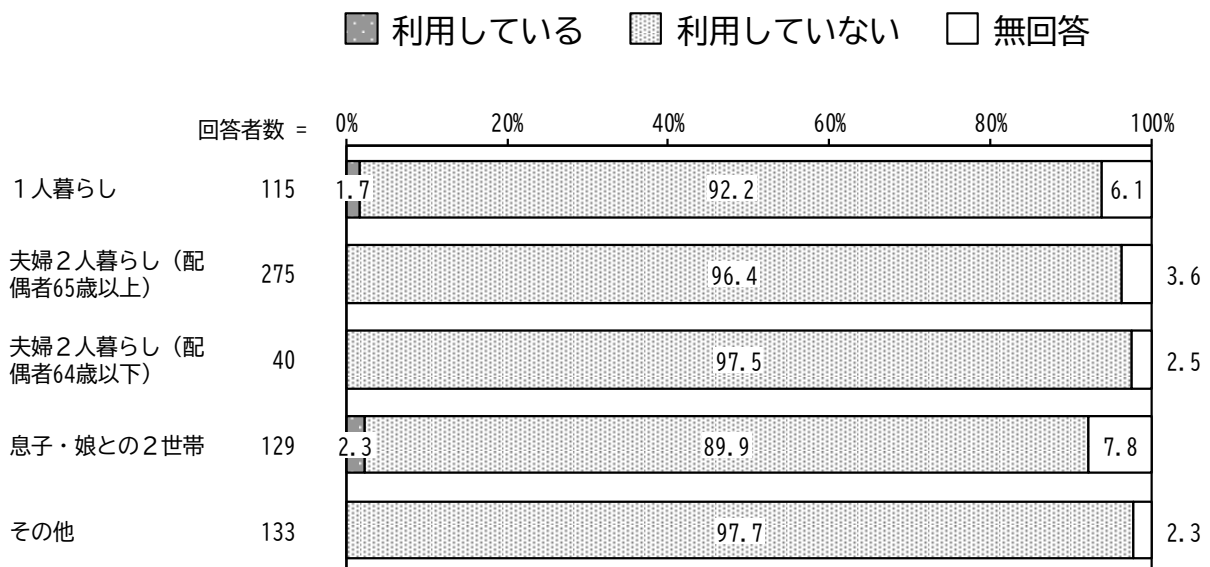
【地区別】

地区別にみると、日吉地区、大湫地区で利用している割合が0%となっています。



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

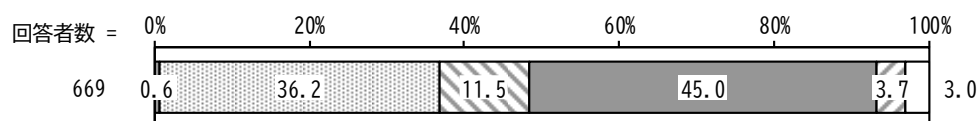


問 73 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 73－1 あなたは、自宅で訪問診療（医師の訪問）を利用したいと思いますか。【○は1つ】

「すぐにでも利用したい」の割合が 0.6%、「機会があれば利用したい」の割合が 36.2%、「利用したくない」の割合が 11.5%となっています。ま

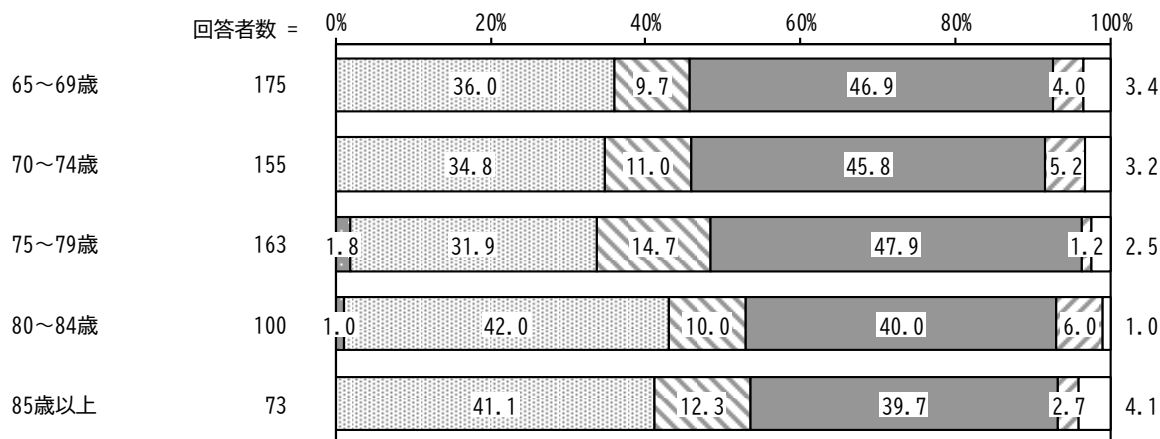
■ すぐにでも利用したい ■ 機会があれば利用したい ■ 利用したくない
■ わからない ■ その他 □ 無回答



【年齢別】

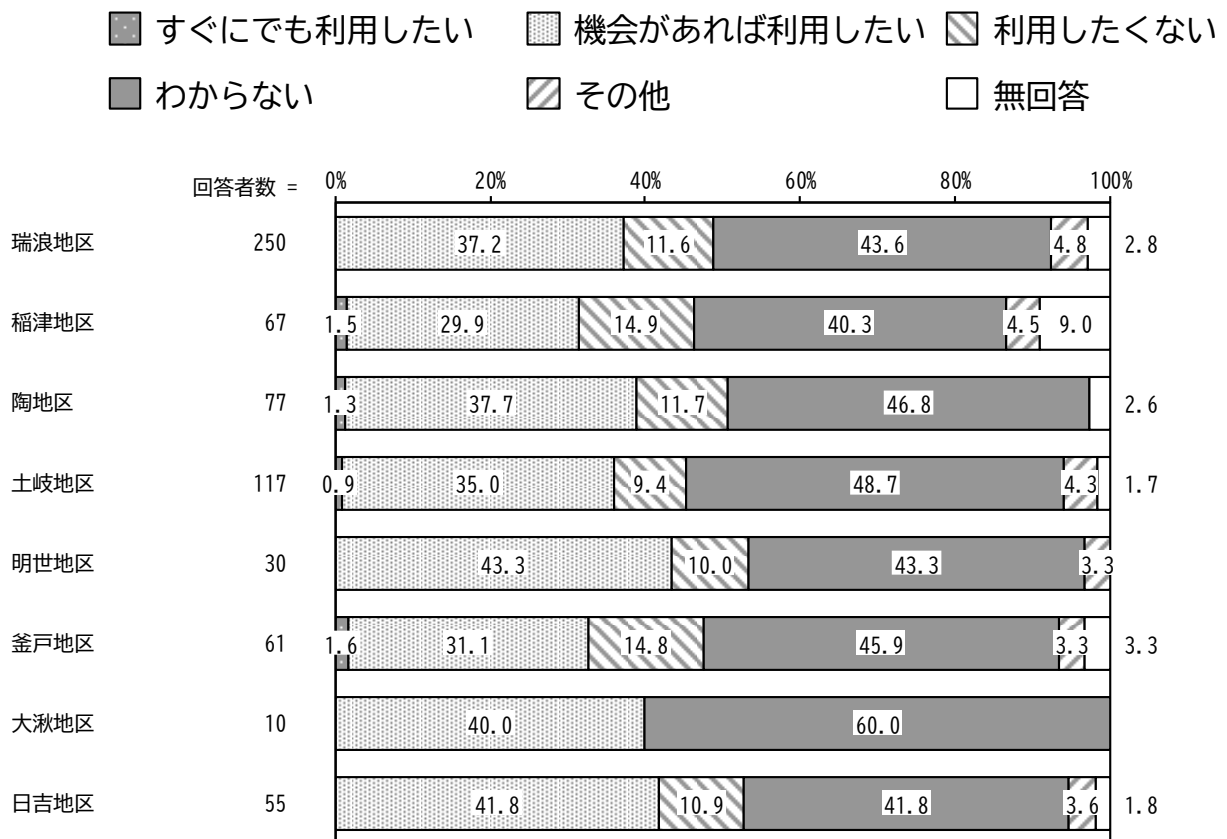
年齢別にみると、80～84 歳で「機会があれば利用したい」の割合が高くなっています。

■ すぐにでも利用したい ■ 機会があれば利用したい ■ 利用したくない
■ わからない ■ その他 □ 無回答



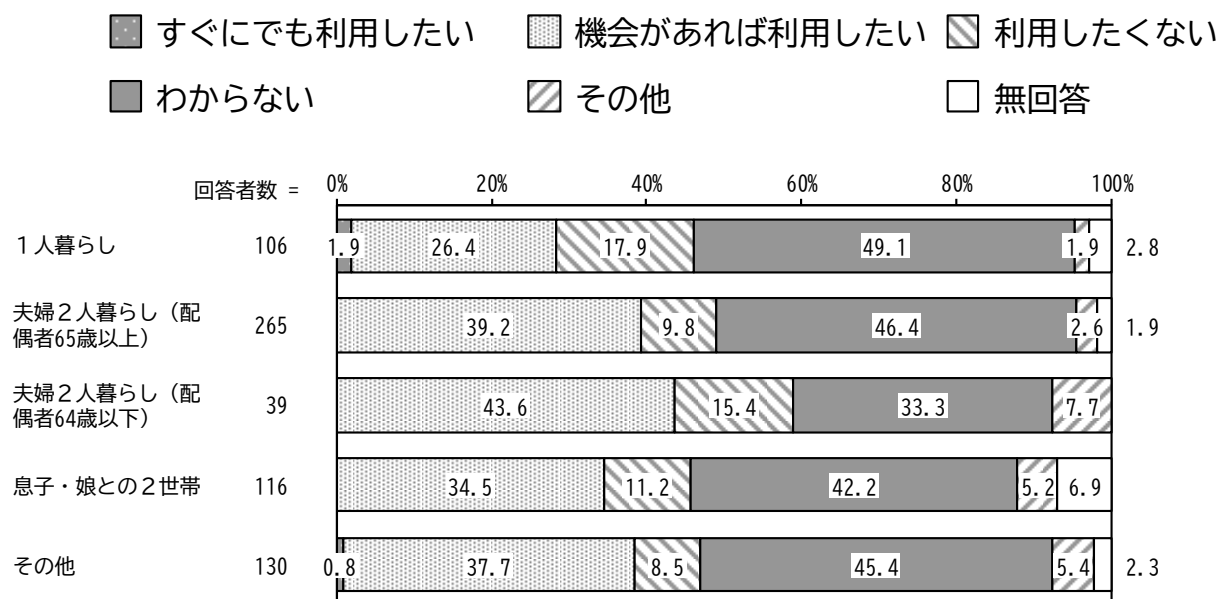
【地区別】

地区別にみると、明世地区、日吉地区で「機会があれば利用したい」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「利用したくない」、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「機会があれば利用したい」の割合が高くなっています。

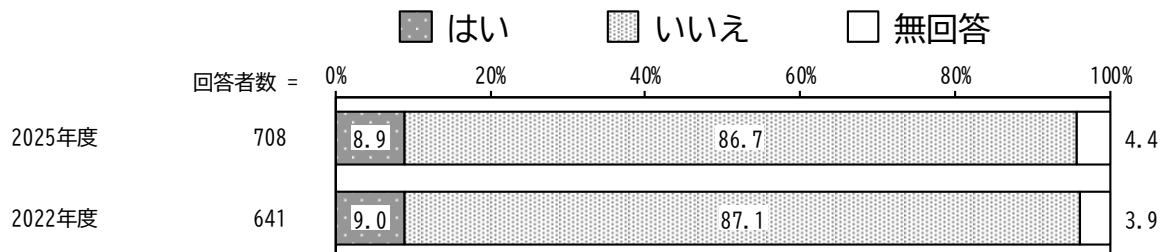


11. 認知症について

問 74 あなたに認知症の症状がある、または、あなたの家族に認知症の症状がある人がいますか。【〇は1つ】

「はい」の割合が8.9%、「いいえ」の割合が86.7%となっています。

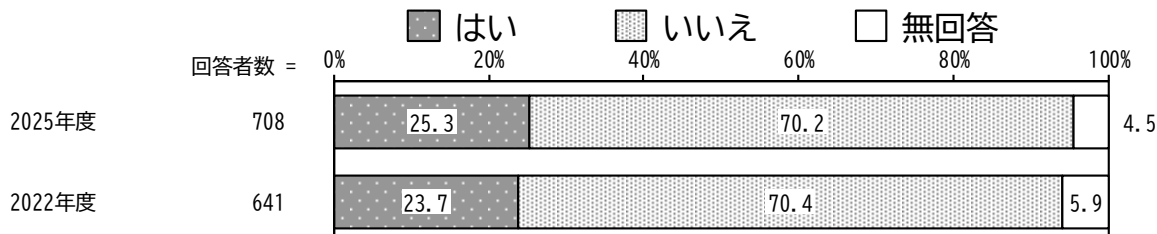
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 75 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

「はい」の割合が25.3%、「いいえ」の割合が70.2%となっています。

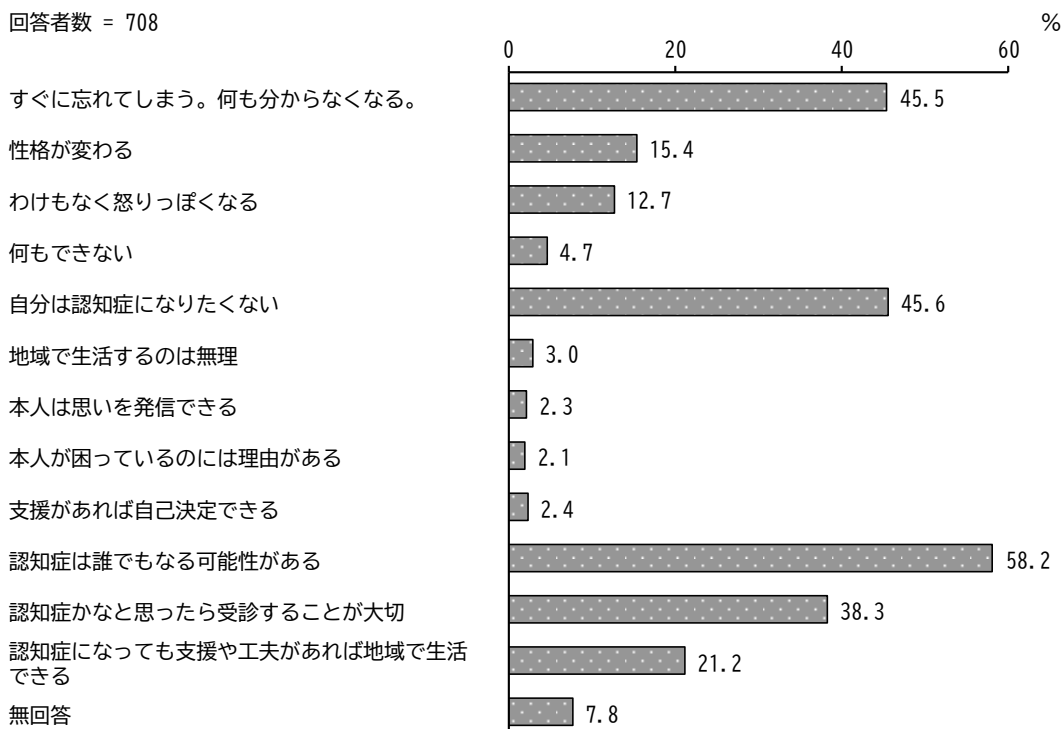
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 76 認知症や認知症の人に関するイメージをどのようにお持ちですか。【〇は3つまで】

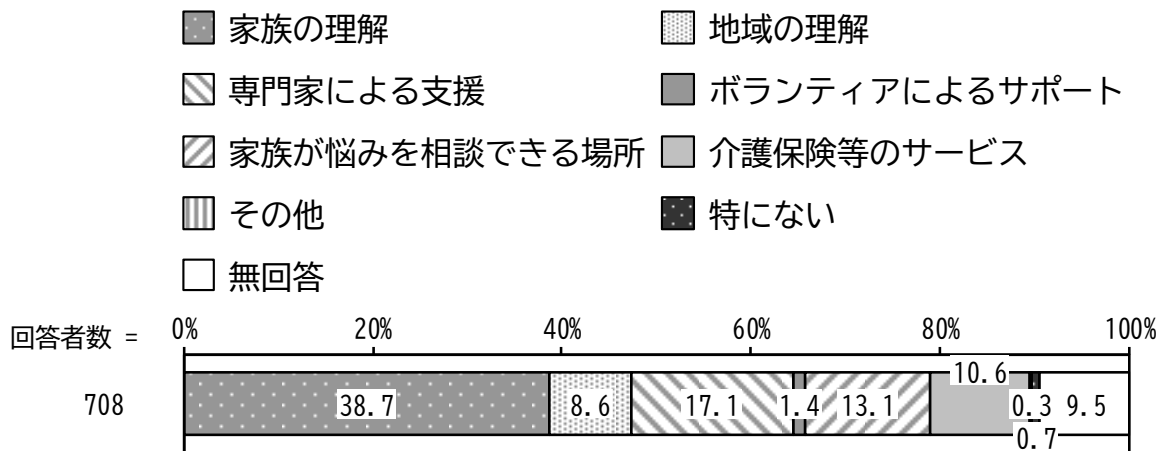
「認知症は誰でもなる可能性がある」の割合が58.2%と最も高く、次いで「自分は認知症になりたくない」の割合が45.6%となっています。

回答者数 = 708



問 77 認知症の人が地域で暮らし続けるために最も必要と思うものは何ですか。【○は1つ】

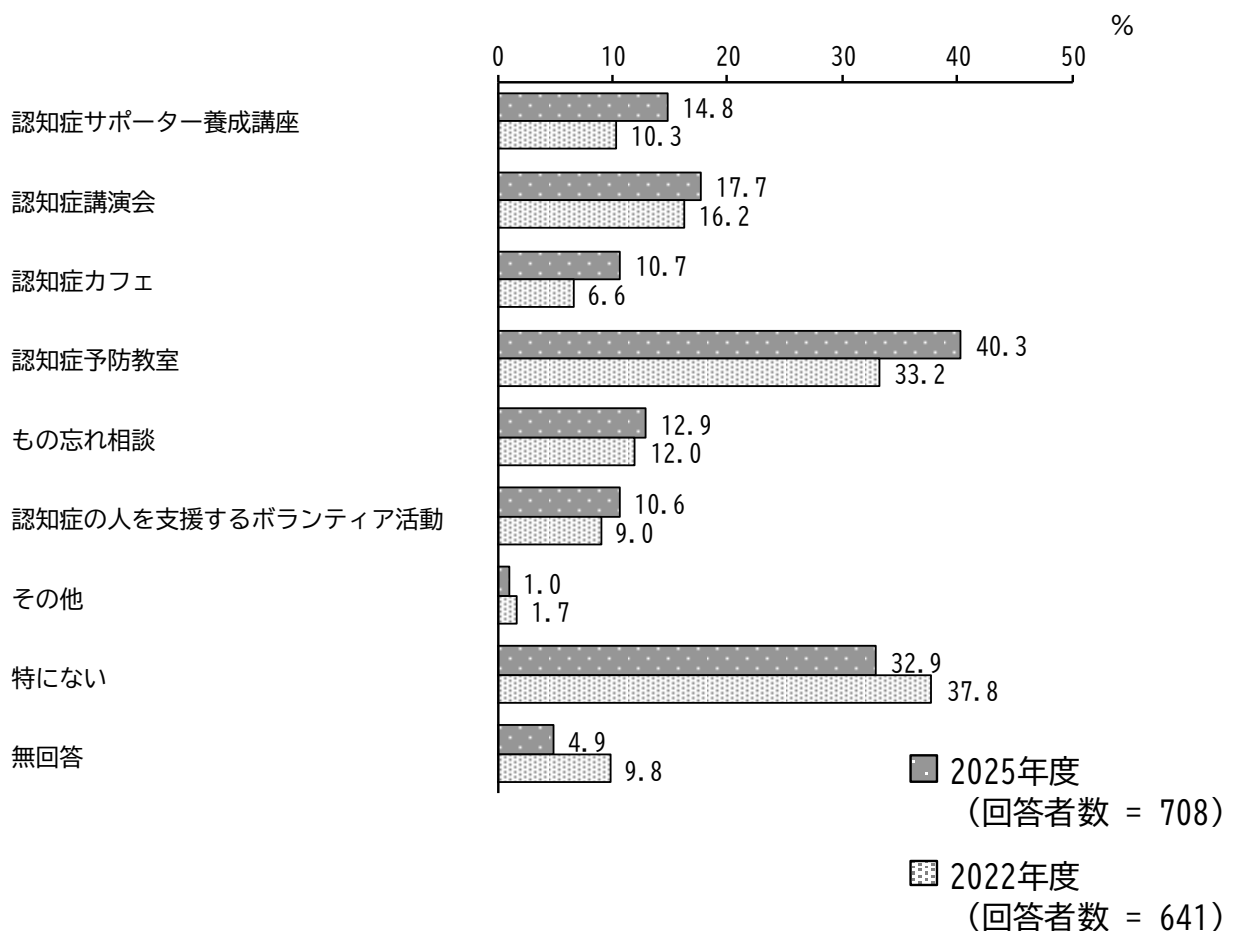
「家族の理解」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「専門家による支援」の割合が 17.1%、「家族が悩みを相談できる場所」の割合が 13.1%となっています。



問 78 市では認知症が正しく理解され、認知症であっても安心して暮らせるまちづくりを推進していますが、認知症に関する取り組みの中で参加してみたいものはありますか。【○はいくつでも】

「認知症予防教室」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「認知症講演会」の割合が 17.7%、「認知症サポーター養成講座」の割合が 14.8%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「認知症予防教室」の割合が増加しています。



問 79 その他、瑞浪市の高齢者福祉について意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【介護施設・在宅介護支援】

- ・ 特養・介護施設を増やしてほしい
- ・ 施設の待機が多すぎる
- ・ 在宅介護の負担が重い
- ・ 独居高齢者の増加に対する支援強化

【地域のつながり・居場所づくり】

- ・ 独居高齢者が多く、孤立が深刻
- ・ 近所に話し相手がいない
- ・ リーズナブルで楽しく過ごせる居場所がほしい
- ・ カフェ・交流の場・教室・趣味活動の充実

【行政・福祉サービス】

- ・ 手続きが複雑で高齢者には負担
- ・ 情報が届かない、知らないサービスが多い
- ・ 高齢者宅への訪問・見守りを求める

【認知症】

- ・ 認知症の初期サインがわからない
- ・ 相談先がわからない
- ・ 薬の副作用による認知症リスクへの懸念
- ・ 予防活動の充実
- ・ 認知症の家族介護の負担が大きい

【生活】

- ・ 買い物ができない
- ・ 一人暮らしの緊急連絡手段がほしい（スマートウォッチ等）
- ・ 生活支援サービスの不足
- ・ 自分がいつどうなるか不安

【介護職員不足】

- ・ 介護職員が少ない
- ・ 施設ごとのサービス格差への不安

【その他】

- ・ 福祉サービスに感謝している
- ・ ケアマネジャー・訪問医療への感謝
- ・ 子どもと高齢者が触れ合える施設の提案
- ・ ハートメールの配布に感謝
- ・ 「健康で長生きしたい」「元気で働きたい」

12. 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

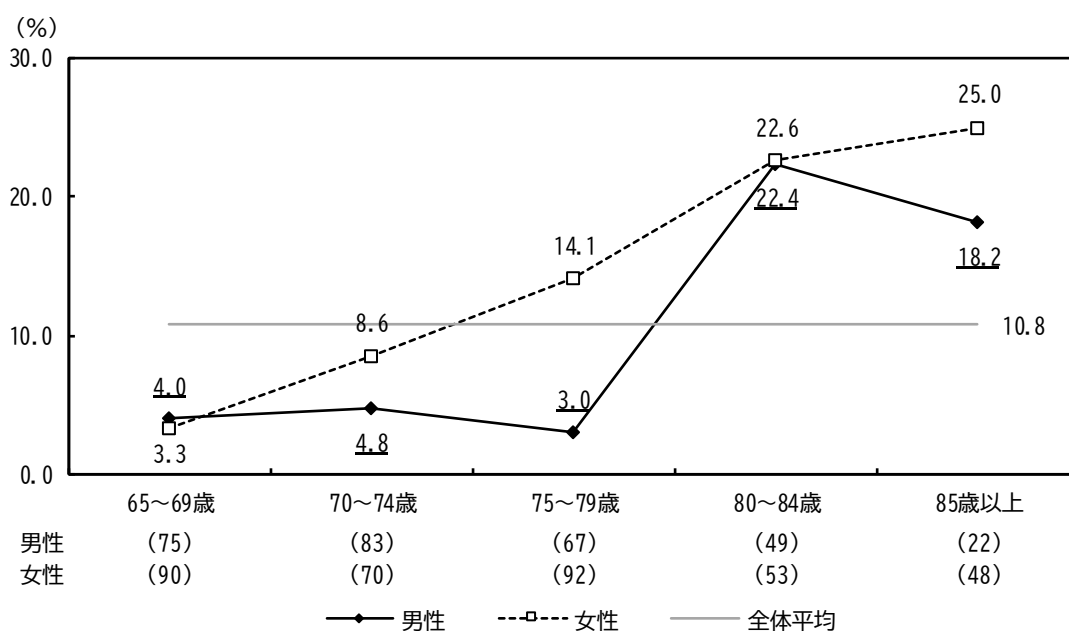
問番号	設問	該当する選択肢
問7	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問9	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問10	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問11	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、65歳以上の全体平均で10.8%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では75～79歳までは3～5%程度にとどまっていますが、80～84歳で22.4%となり、80歳代以上で高くなっています。女性では年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなり、80～84歳で22.6%、85歳以上で25.0%となっています。女性は70歳以上の各年代で男性を上回っており、男性は80歳代前半で高くなる一方、女性は70歳代から段階的に高まる傾向がみられます。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

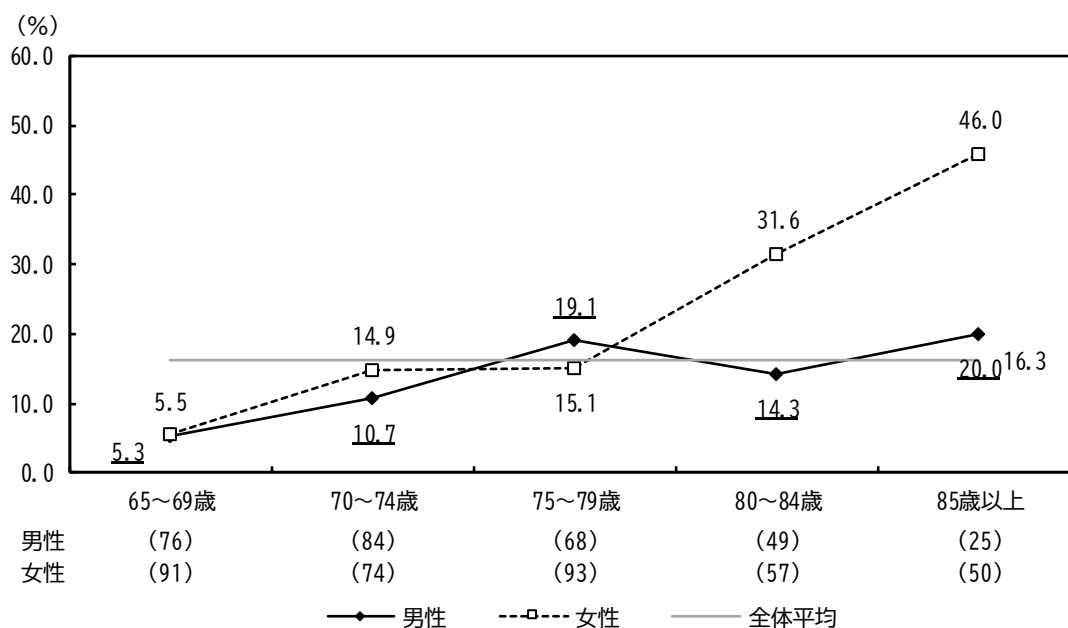
問番号	設問	該当する選択肢
問12	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、65歳以上の全体平均で16.3%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では65～69歳の5.3%から75～79歳で19.1%となり、その後80～84歳で14.3%、85歳以上で20.0%となっています。女性では70～74歳では15%前後ですが、80～84歳で31.6%、85歳以上で46.0%となっており、80歳以上で急激に高くなり、その後も高まっています。男女差をみると、75～79歳では男性が女性を上回りますが、それ以外の年代では女性の方が高くなっています。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

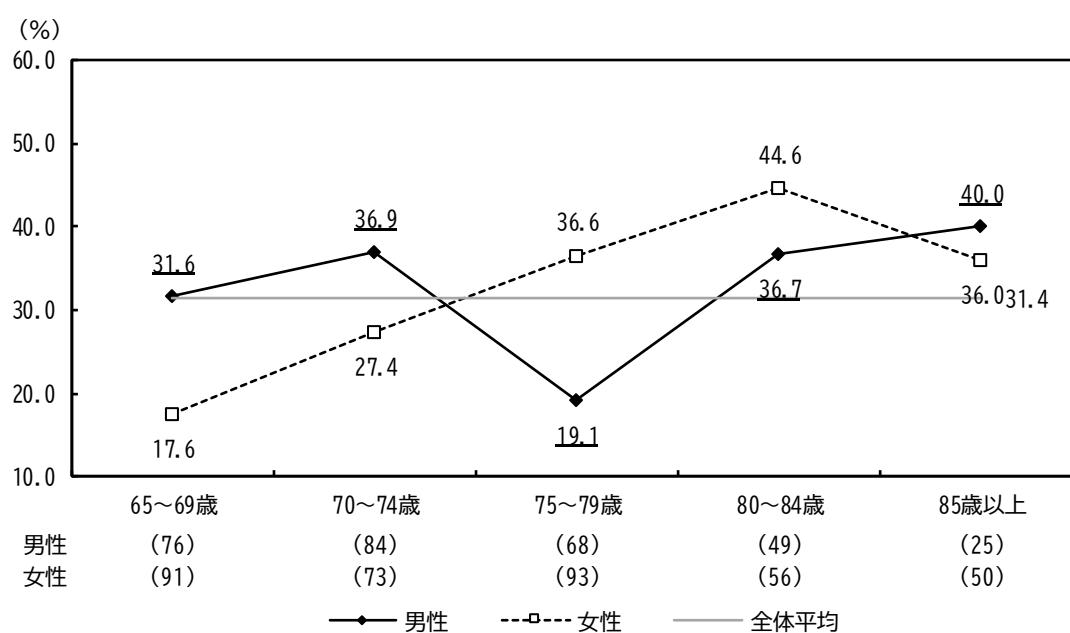
問番号	設問	該当する選択肢
問10	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、65歳以上の全体平均で31.4%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では75～79歳で19.1%に下がった後、80～84歳で36.7%、85歳以上で40.0%となっています。女性では65～69歳の17.6%から80～84歳の44.6%まで年齢階級が上がるにつれて高くなり、85歳以上では36.0%と80～84歳を下回るものの、65～74歳より高い水準です。75～84歳では女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



(4) 低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

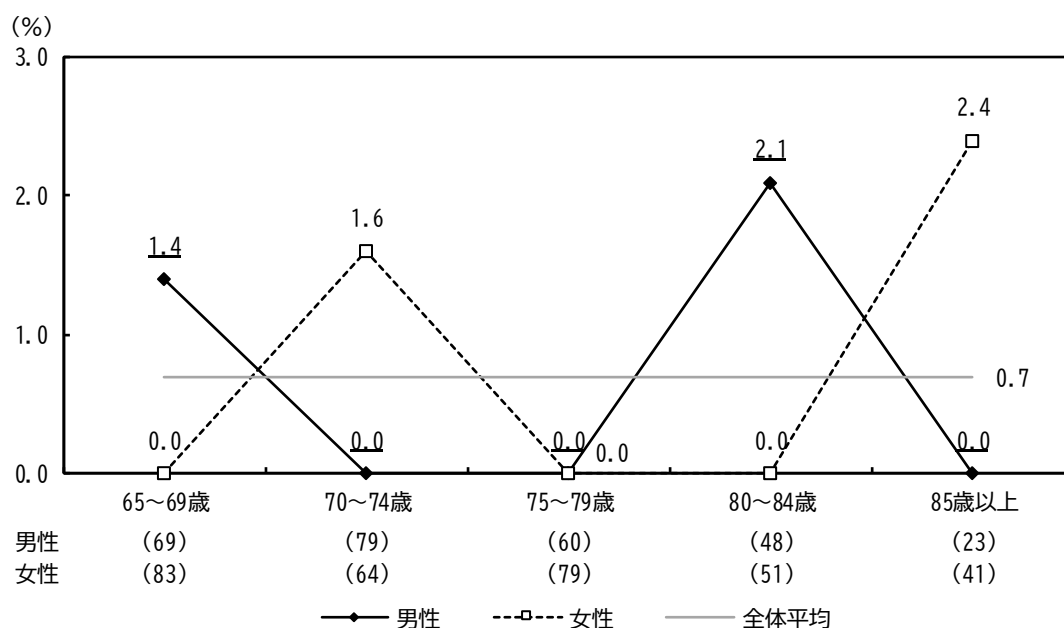
問番号	設問	該当する選択肢
問16	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5未満
問22	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、65歳以上の全体平均で0.7%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では65～69歳で1.4%、80～84歳で2.1%となっている一方、70～74歳、75～79歳、85歳以上では0.0%となっています。女性では70～74歳で1.6%、85歳以上で2.4%となっている一方、65～69歳、75～79歳、80～84歳では0.0%と、性別・年齢階級別の該当者割合は0.0～2.4%の範囲となっています。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

（５）口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、３項目のうち２項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

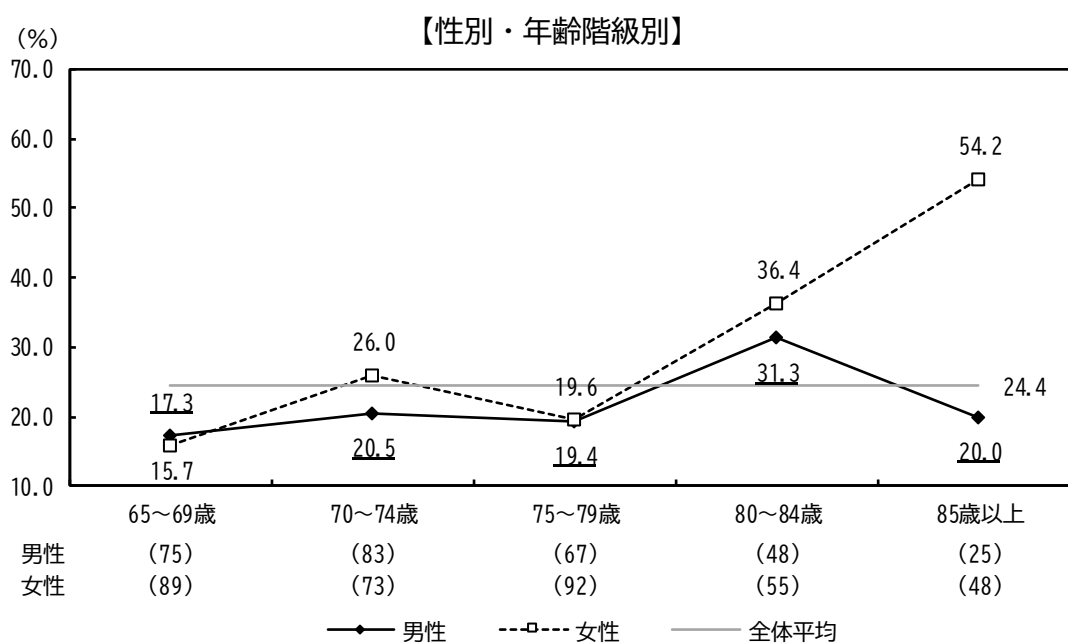
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問19	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、65歳以上の全体平均で24.4%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性の65～79歳では17～21%程度で推移し、80～84歳で31.3%と高くなりますが、85歳以上では20.0%となっています。女性では80歳以上で高くなり、85歳以上でさらに高い水準となっています。男女差では、70歳以上で女性が男性を上回っており、特に85歳以上では女性の割合が高くなっています。



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

（６）認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

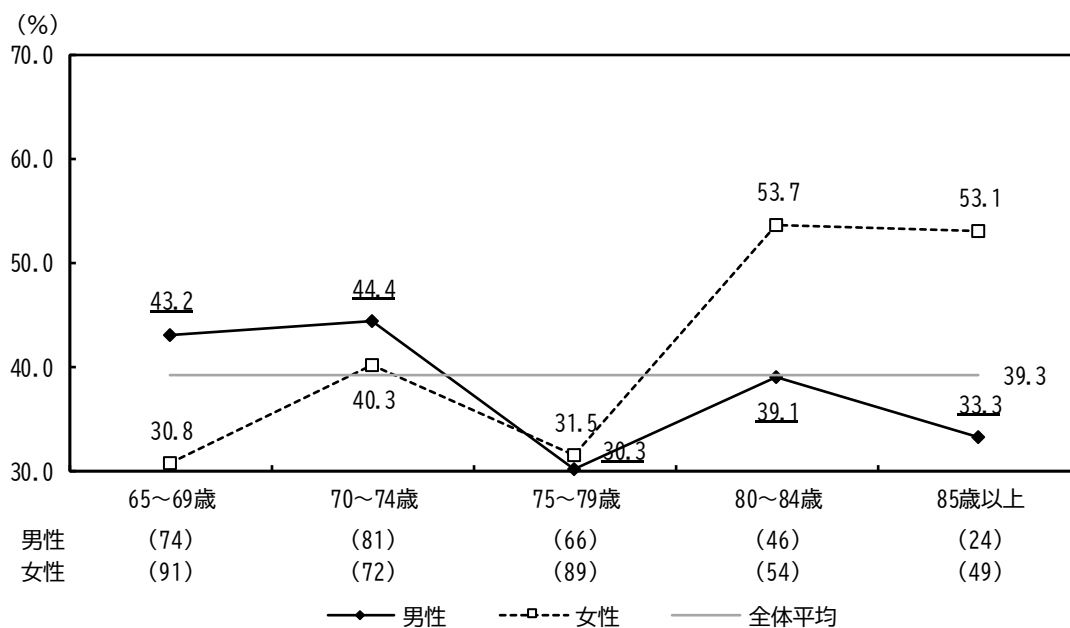
問番号	設問	該当する選択肢
問24	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、65歳以上の全体平均で39.3%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では65～69歳で43.2%、70～74歳で44.4%と高くなっています。女性では80歳以上で5割を超える水準となっています。男女差をみると、65～74歳では男性が女性を上回りますが、75歳以上では女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

(7) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

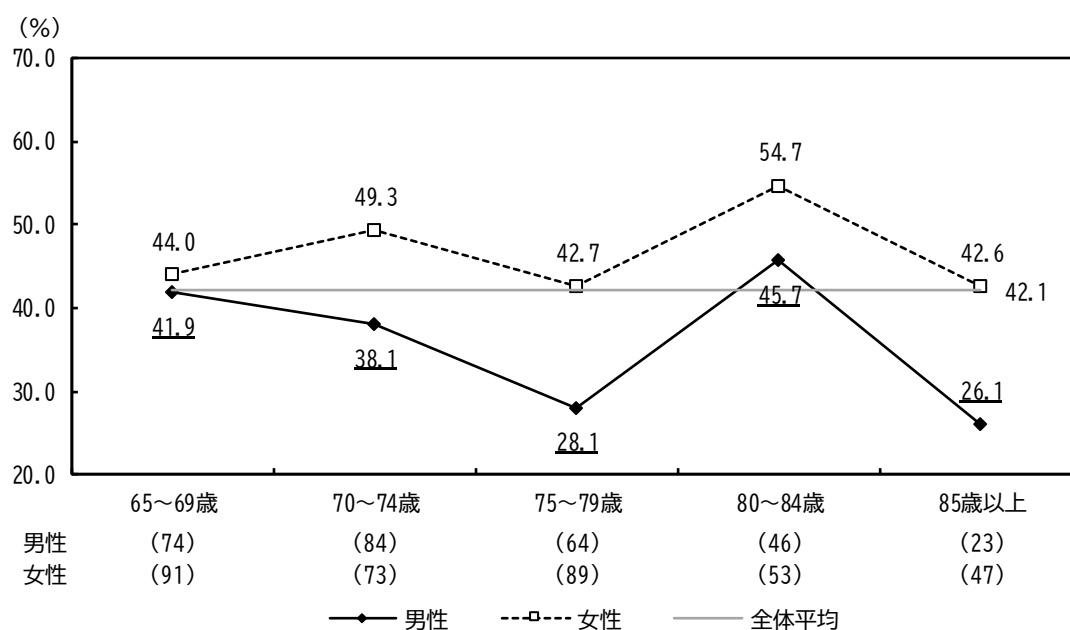
問番号	設問	該当する選択肢
問59	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問60	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、65歳以上の全体平均で42.1%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では80～84歳で45.7%と高くなっています。女性は80～84歳で54.7%と最も高くなっていますが、85歳以上では42.6%となっています。男女差では、すべての年齢階級で女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

(8) IADL (手段的自立度)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

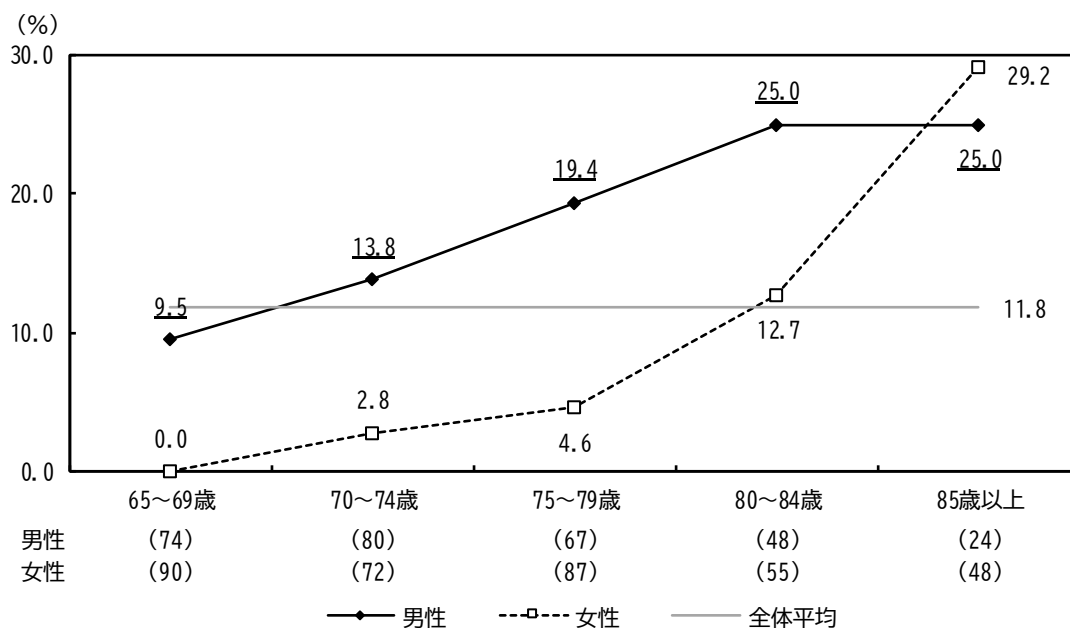
問番号	設問	該当する選択肢
問27	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問28	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問29	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問30	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問31	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

全体平均では 11.8% が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では 65～69 歳の 9.5% から 80～84 歳の 25.0% まで段階的に高くなっており、80 歳以上で 4 人に 1 人程度の水準となっています。女性では 80～84 歳で 12.7%、85 歳以上で 29.2% となっており、80 歳以上で高くなり、85 歳以上でさらに高まっています。男女差では 80～84 歳までは男性が女性を上回りますが、85 歳以上では女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



(9) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

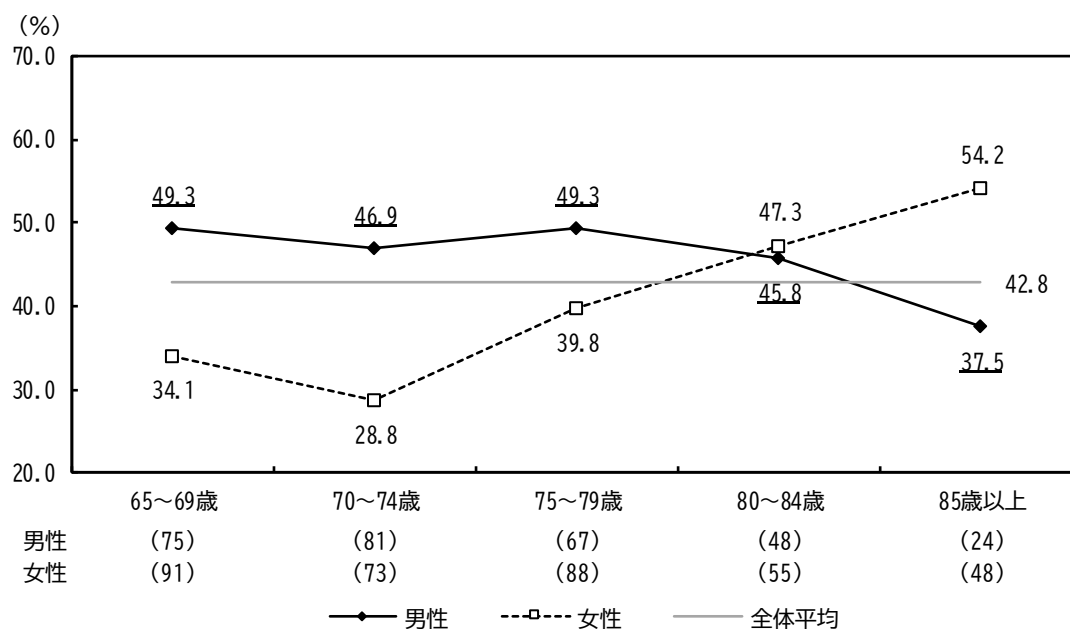
問番号	設問	該当する選択肢
問32	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問33	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問34	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問35	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では42.8%となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では65～84歳で45～49%台で推移し、85歳以上では37.5%となっており、65～84歳で高い水準にあります。女性では70～74歳で28.8%と最も低く、75歳以上で段階的に高くなっています。男女差では、75～79歳までは男性が女性を上回りますが、80歳以上では女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

(10) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

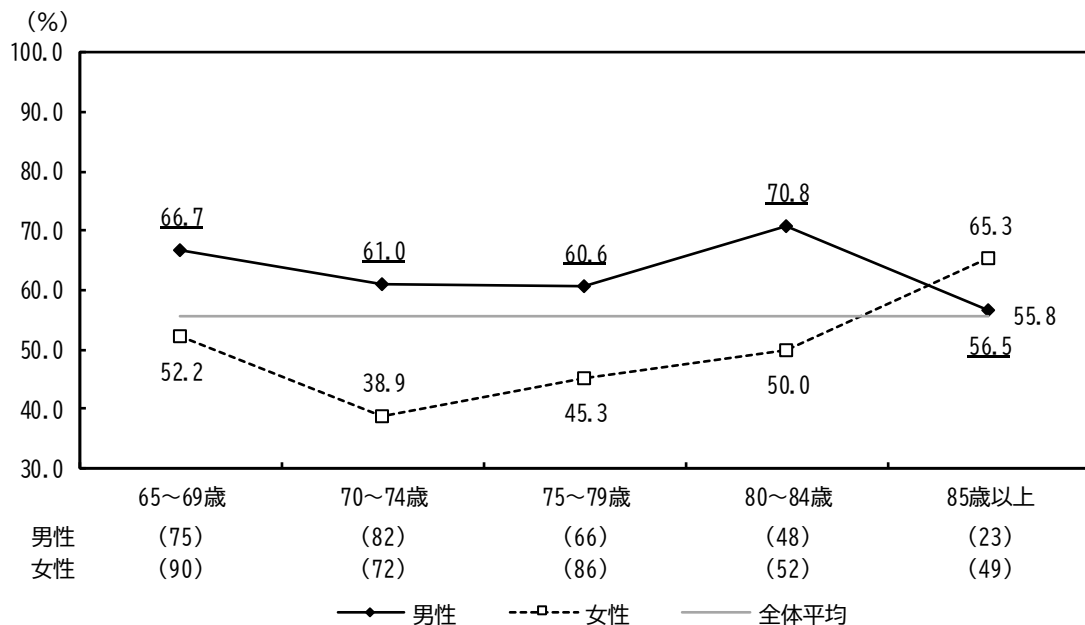
問番号	設問	該当する選択肢
問36	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問37	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問38	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問39	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【リスク該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では55.8%となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では65～84歳で6割以上の水準で推移しています。85歳以上では56.5%となり、80～84歳を下回っています。女性では70～74歳で38.9%と最も低く、75～79歳で45.3%、80～84歳で50.0%、85歳以上で65.3%と高くなっています。男女差では80～84歳までは男性が女性を上回りますが、85歳以上では女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



【地区別】

(1) から (10) のリスク該当状況について、地区別に比較すると、次の表のとおりです。

単位：％

区分	瑞浪地区	稲津地区	陶地区	土岐地区	明世地区	釜戸地区	大湫地区	日吉地区
(1) 運動器の機能低下	10.0	9.0	18.9	8.3	15.6	12.9	0.0	8.2
(2) 閉じこもり傾向	14.3	16.4	22.8	14.9	12.5	18.5	0.0	21.2
(3) 転倒リスク	32.4	32.8	34.6	30.6	21.9	33.8	12.5	30.8
(4) 低栄養の傾向	0.5	0.0	2.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
(5) 口腔機能の低下	24.7	21.2	32.9	22.5	20.7	26.2	11.1	21.2
(6) 認知機能	36.7	42.4	48.1	44.3	18.8	40.3	55.6	36.0
(7) うつ傾向	45.8	38.5	42.3	41.5	45.2	39.7	44.4	33.3
(8) I A D L (手段的自立度)	13.4	6.0	15.2	12.9	12.5	4.8	22.2	9.8
(9) 知的能動性	40.1	47.8	47.4	45.7	45.2	42.9	44.4	33.3
(10) 社会的役割	58.2	54.5	59.2	57.8	56.7	54.1	44.4	44.0

陶地区は、(1) 運動器の機能低下、(2) 閉じこもり傾向、(3) 転倒リスク、(4) 低栄養の傾向、(5) 口腔機能の低下及び(10) 社会的役割の6項目について、8地区の中で最もリスクが高く、特に(3) 転倒リスク及び(4) 低栄養のリスクが高くなっています。

大湫地区は、(1) 運動器の機能低下、(2) 閉じこもり傾向、(3) 転倒リスク、(5) 口腔機能の低下のリスクが8地区の中で最も低い一方、(6) 認知機能及び(8) I A D L (手段的自立度) のリスクが最も高くなっています。

瑞浪地区は、(7) うつ傾向のリスクが8地区の中で最も高いほか、(10) 社会的役割のリスクも高くなっています。

稲津地区は、(9) 知的能動性のリスクが8地区の中で最も高いほか、(3) 転倒リスクも高くなっています。

土岐地区は、いずれのリスクも突出していませんが、(6) 認知機能、(9) 知的能動性及び(10) 社会的役割のリスクがやや高くなっています。

明世地区は、(6) 認知機能のリスクが8地区の中で最も低くなっていますが、(1) 運動器の機能低下及び(7) うつ傾向のリスクが高くなっています。

日吉地区は、(7) うつ傾向、(9) 知的能動性及び、(10) 社会的役割のリスクが8地区の中で最も低くなっていますが、(2) 閉じこもり傾向のリスクが高くなっています。

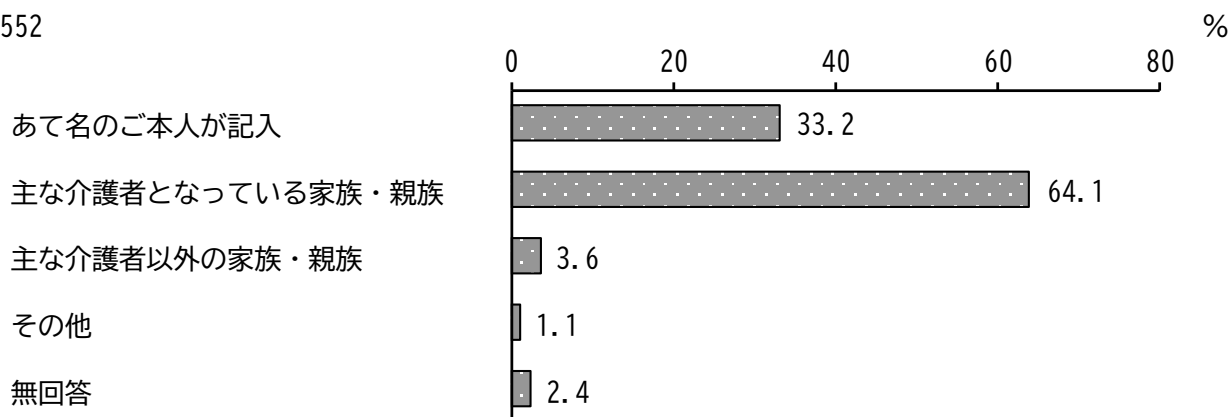
釜戸地区は、8地区の中で(8) I A D L (手段的自立度) のリスクが8地区の中で最も低い一方、(3) 転倒リスク及び(5) 口腔機能の低下のリスクが高くなっています。

2 在宅介護実態調査

この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。【〇はいくつでも】

「あて名のご本人が記入」の割合が 33.2%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 64.1%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が 3.6%となっています。

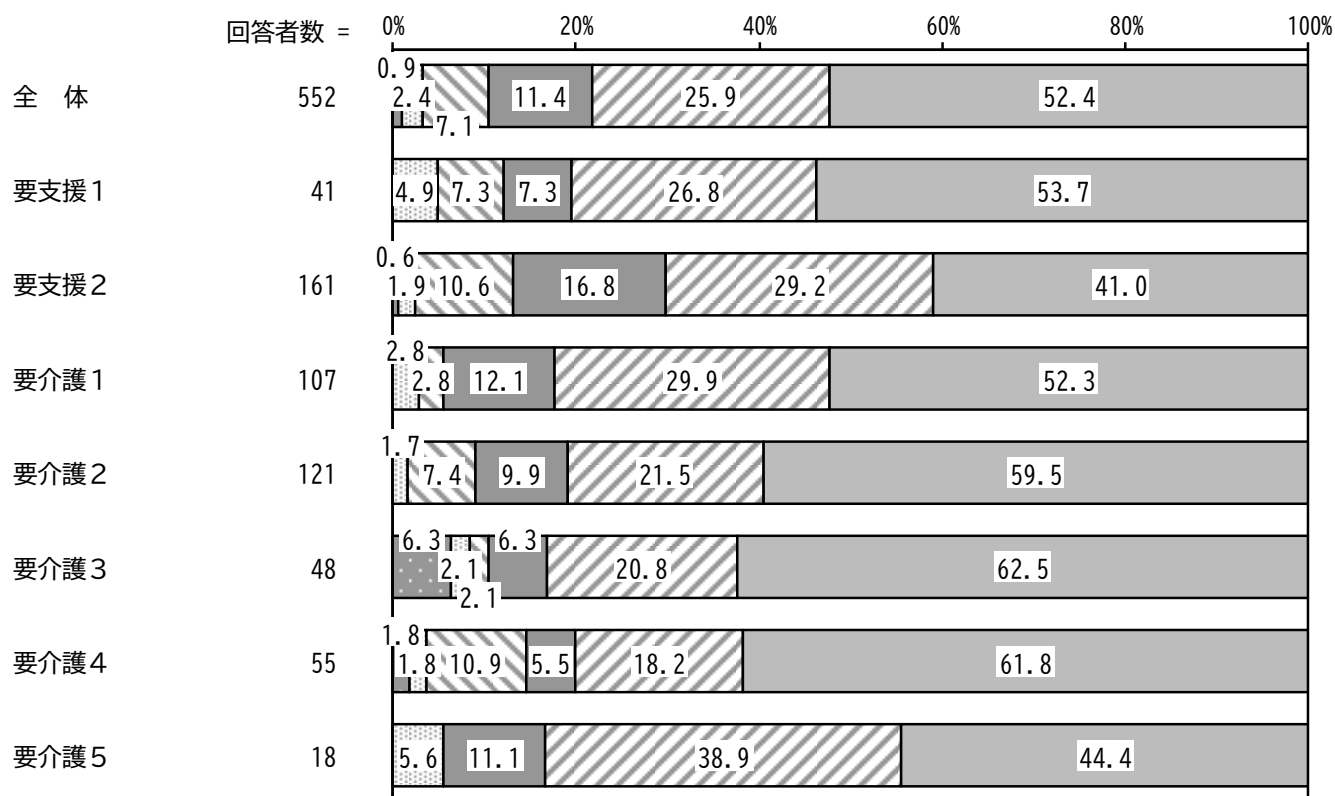
回答者数 = 552



【調査対象者の年齢/要介護度別】

要介護度別にみると、要介護4から要支援2まで要介護度が下がるほど「75～79 歳」の割合が高く、要介護4から要介護1まで要介護度が下がるほど「80～84 歳」の割合が高くなっています。また、要介護3で「85 歳以上」の割合が高くなっています。

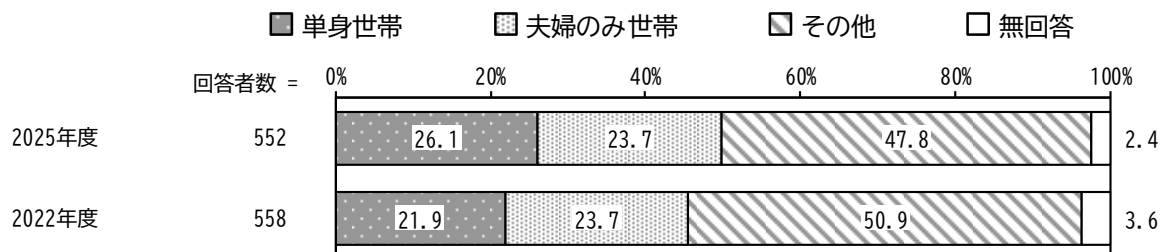
■ 64歳以下 ■ 65～69歳 ■ 70～74歳 ■ 75～79歳 ■ 80～84歳 ■ 85歳以上 □ 無回答



1. ご家族や生活状況について

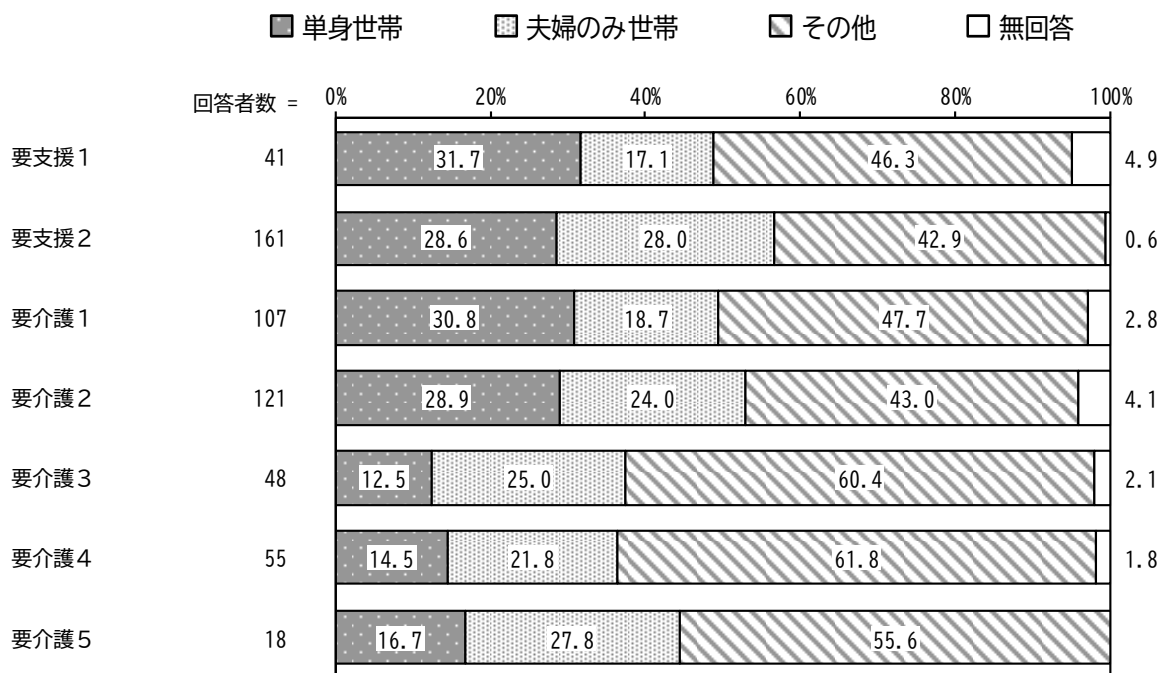
問1 世帯類型はどれに該当しますか。【〇は1つ】

「単身世帯」の割合が26.1%、「夫婦のみ世帯」の割合が23.7%となっています。
2022年度調査と比較すると、単身世帯の増加がみられます。



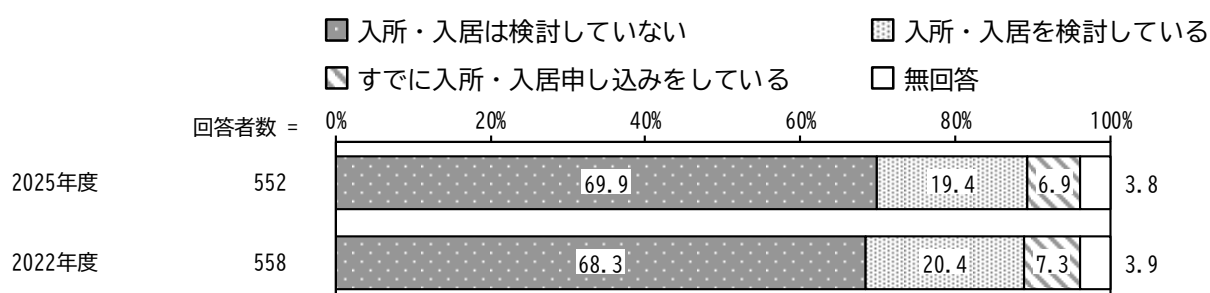
【認定度別】

認定度別にみると、要支援1から要介護2までの「単身世帯」の割合が高くなっています。



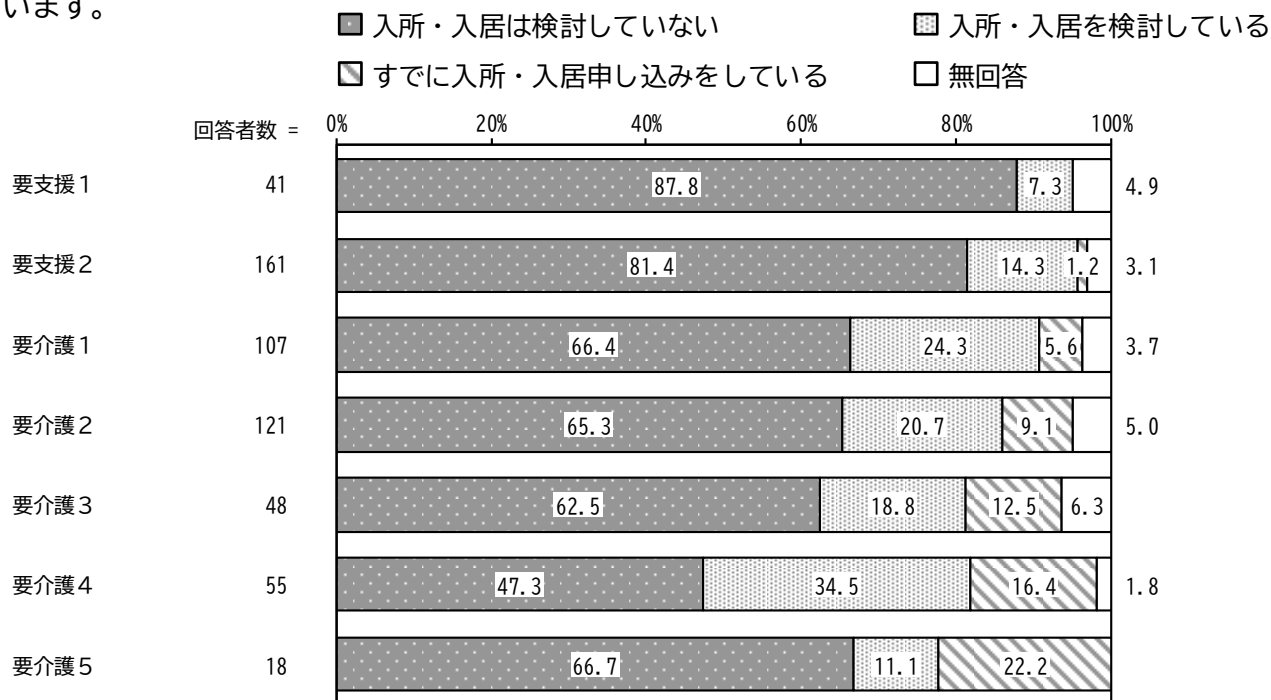
問2 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【〇は1つ】

「入所・入居は検討していない」の割合が69.9%、「入所・入居を検討している」の割合が19.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が6.9%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



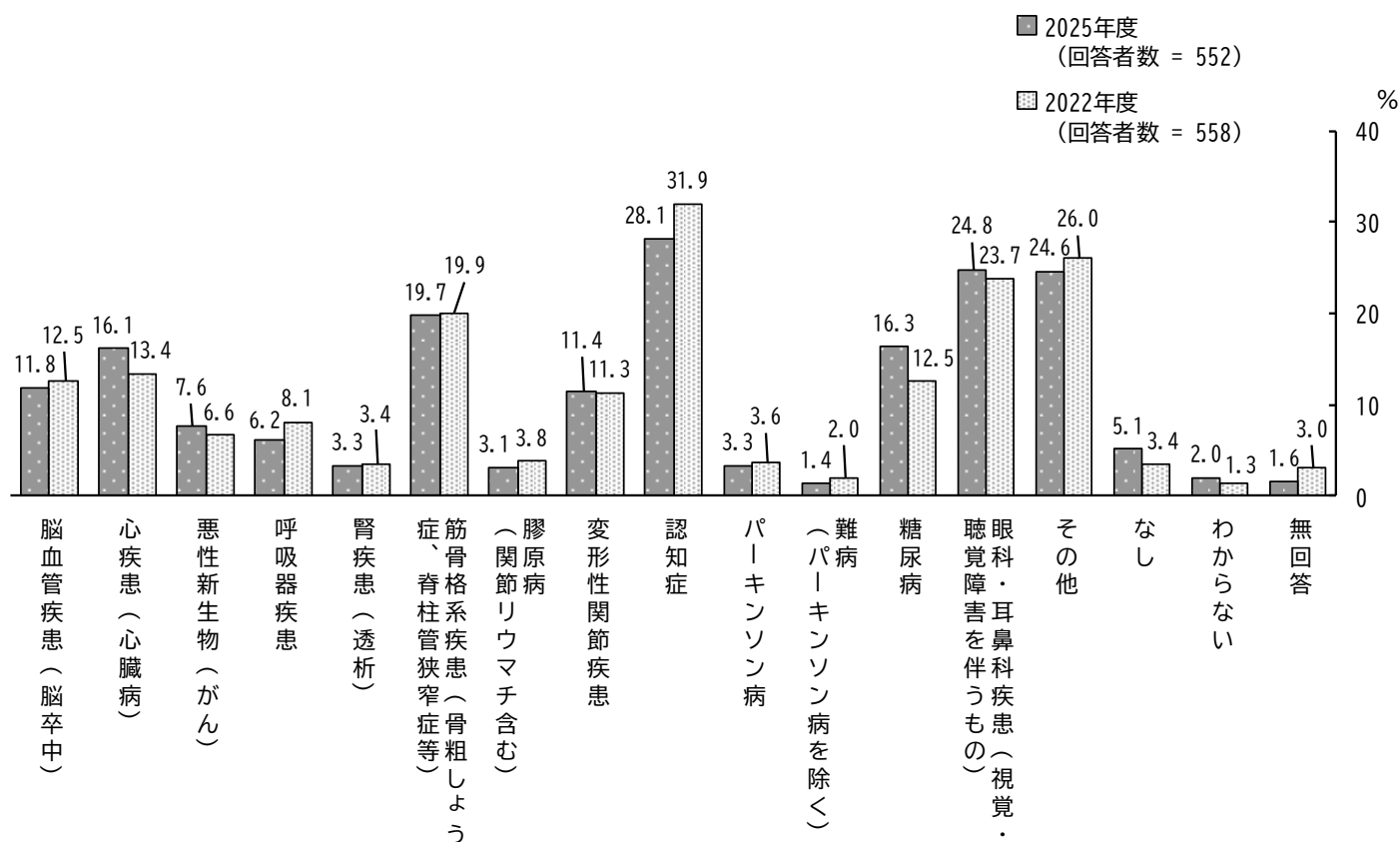
【認定度別】

認定度別にみると、認定度が上がるほど「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



問3 ご本人（実態調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。【〇はいつでも】

「認知症」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 24.8%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が 19.7%となっています。2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定度別】

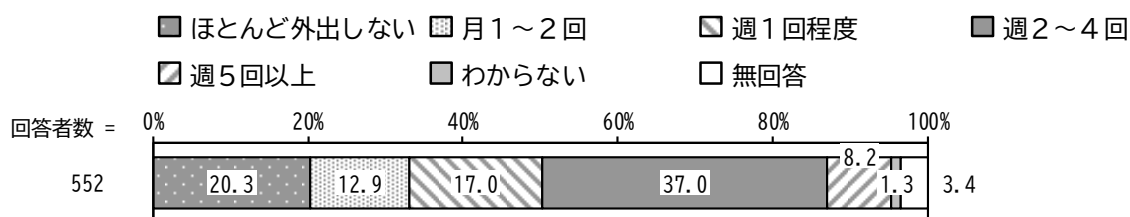
認定度別にみると、認定度が下がるほど「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高い傾向にあり、要支援では最も高い割合となっています。また、要介護1から要介護5で「認知症」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	粗しょう症 脊柱 管狭窄症等	筋骨格系疾患(骨 粗しょう症 脊柱 管狭窄症等)	膠原病(関節リ ウマチ含む)	変形性関節疾 患	認知症	病 パーキンソン	難病(パーキン ソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾 患(視覚・聴覚障 害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全 体	552	11.8	16.1	7.6	6.2	3.3	19.7	3.1	11.4	28.1	3.3	1.4	16.3	24.8	24.6	5.1	2.0	1.6	
要支援1	41	2.4	14.6	4.9	7.3	0.0	24.4	4.9	19.5	7.3	2.4	0.0	12.2	17.1	39.0	4.9	0.0	4.9	
要支援2	161	13.0	13.0	12.4	8.1	3.1	29.8	5.0	15.5	2.5	1.9	3.1	16.1	32.9	27.3	5.0	1.2	0.6	
要介護1	107	7.5	10.3	5.6	5.6	1.9	15.0	0.0	8.4	49.5	1.9	0.0	10.3	24.3	22.4	9.3	0.9	2.8	
要介護2	121	12.4	21.5	5.0	4.1	5.8	19.8	2.5	9.9	35.5	4.1	0.8	21.5	24.8	20.7	3.3	2.5	2.5	
要介護3	48	18.8	22.9	2.1	6.3	4.2	4.2	0.0	6.3	43.8	2.1	2.1	12.5	20.8	25.0	4.2	4.2	0.0	
要介護4	55	10.9	21.8	10.9	5.5	3.6	12.7	3.6	9.1	43.6	7.3	0.0	25.5	16.4	20.0	1.8	5.5	0.0	
要介護5	18	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	38.9	11.1	5.6	11.1	11.1	16.7	5.6	0.0	0.0	

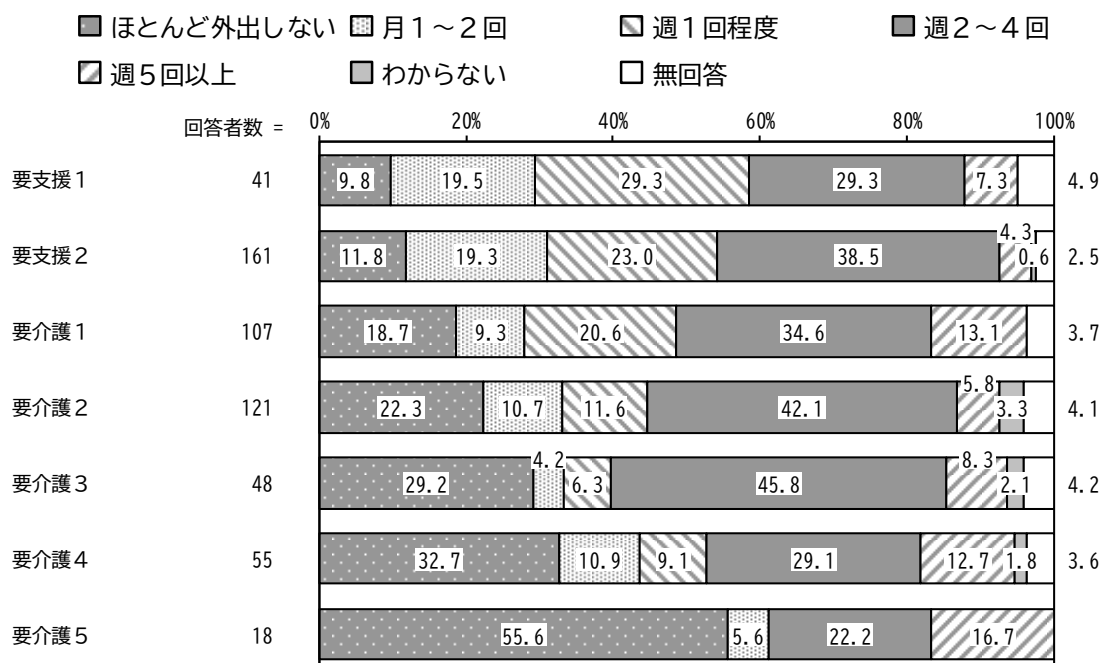
問4 ご本人（実態調査対象者）の外出頻度について、ご回答ください。【○は1つ】

「週2～4回」の割合が37.0%と最も高く、次いで「ほとんど外出しない」の割合が20.3%、「週1回程度」の割合が17.0%となっています。



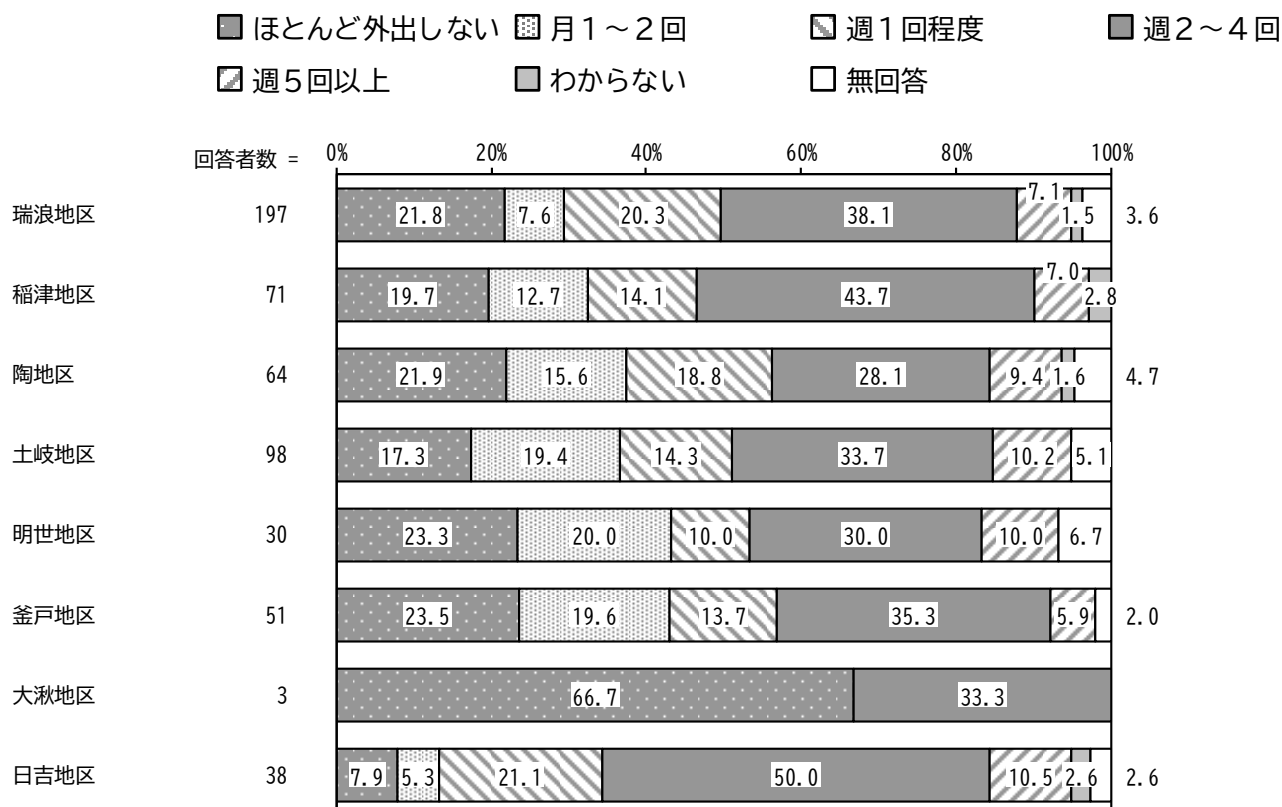
【認定度別】

認定度別にみると、要介護5で「ほとんど外出しない」の割合が高く、要介護1から要介護3まで高い傾向の「週2～4回」の割合は要介護4から低くなっています。



【地区別】

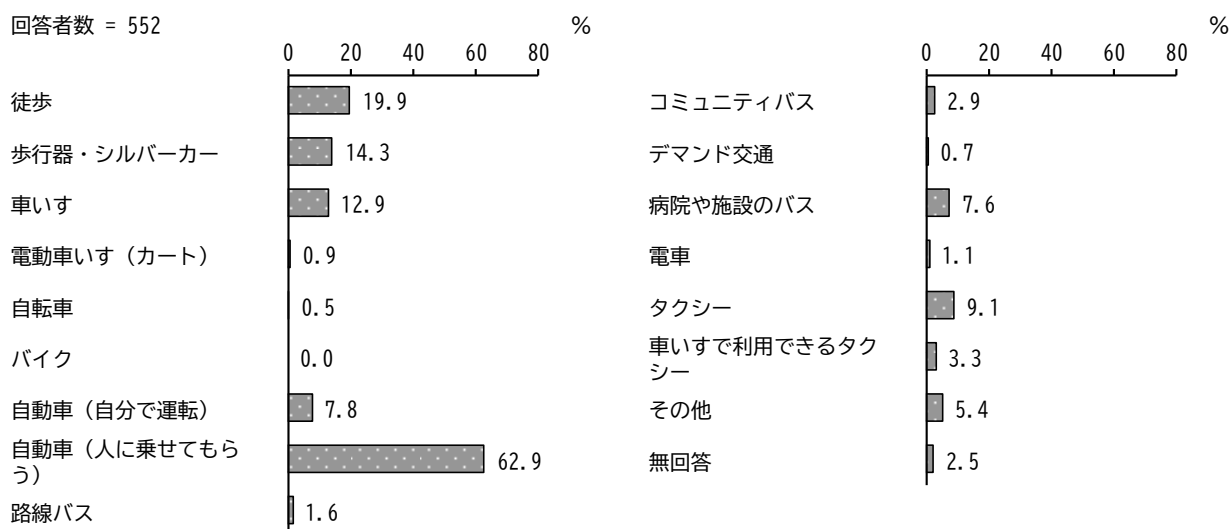
地区別にみると、陶地区、土岐地区、釜戸地区で、「ほとんど外出しない」「月1～2回」の割合が高く、外出回数が少ない傾向にあります。



問5 普段、ご本人（実態調査対象者）が外出する際の移動手段について、ご回答ください。
【〇はいくつでも】

「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が62.9%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が19.9%、「歩行器・シルバーカー」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 552



【認定度別】

認定度別にみると、認定度が上がるほど「車いす」「車いすで利用できるタクシー」の割合が高い傾向にあり、「タクシー」の割合が低い傾向にあり、要介護4から要支援1まで認定度が下がるほど「徒歩」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	歩行器・ シルバーカー	車いす	電動車いす (カート)	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	路線バス	コミュニティバス	デマンド交通	病院や施設のバス	電車	タクシー	車いす で利用できる タクシー	その他	無回答
全 体	552	19.9	14.3	12.9	0.9	0.5	0.0	7.8	62.9	1.6	2.9	0.7	7.6	1.1	9.1	3.3	5.4	2.5
要支援1	41	36.6	9.8	0.0	0.0	2.4	0.0	24.4	53.7	9.8	4.9	0.0	7.3	2.4	17.1	0.0	0.0	7.3
要支援2	161	23.0	16.1	7.5	1.9	0.6	0.0	13.7	64.6	1.2	6.2	1.9	3.1	2.5	13.7	0.6	6.8	1.2
要介護1	107	22.4	10.3	5.6	0.0	0.9	0.0	6.5	68.2	0.9	2.8	0.9	10.3	0.0	7.5	0.0	4.7	0.9
要介護2	121	18.2	18.2	14.0	1.7	0.0	0.0	0.8	70.2	1.7	0.0	0.0	7.4	0.0	7.4	5.0	4.1	1.7
要介護3	48	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	2.1	58.3	0.0	0.0	0.0	16.7	2.1	6.3	6.3	6.3	6.3
要介護4	55	3.6	14.5	32.7	0.0	0.0	0.0	1.8	58.2	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	9.1	5.5	3.6
要介護5	18	5.6	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	16.7	5.6

【地区別】

全地区で「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が最も高く、瑞浪地区、土岐地区、明世地区で「徒歩」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	歩行器・ シルバーカー	車いす	電動車いす (カート)	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	路線バス	コミュニティバス	デマンド交通	病院や施設のバス	電車	タクシー	車いす で利用できる タクシー	その他	無回答
全 体	552	19.9	14.3	12.9	0.9	0.5	0.0	7.8	62.9	1.6	2.9	0.7	7.6	1.1	9.1	3.3	5.4	2.5
瑞浪地区	197	22.3	13.7	14.2	1.0	0.0	0.0	7.1	64.5	1.5	3.0	0.0	7.1	1.0	10.2	3.6	5.1	2.5
稲津地区	71	15.5	19.7	11.3	1.4	1.4	0.0	5.6	66.2	0.0	5.6	0.0	7.0	1.4	5.6	2.8	7.0	1.4
陶地区	64	18.8	9.4	10.9	0.0	0.0	0.0	9.4	68.8	3.1	0.0	0.0	10.9	0.0	7.8	4.7	1.6	3.1
土岐地区	98	21.4	15.3	8.2	1.0	2.0	0.0	4.1	57.1	4.1	4.1	0.0	7.1	1.0	11.2	3.1	3.1	4.1
明世地区	30	23.3	13.3	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	56.7	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0
釜戸地区	51	15.7	17.6	21.6	0.0	0.0	0.0	15.7	60.8	0.0	2.0	2.0	7.8	3.9	7.8	3.9	9.8	3.9
大湫地区	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日吉地区	38	18.4	10.5	13.2	2.6	0.0	0.0	10.5	60.5	0.0	2.6	5.3	10.5	0.0	5.3	2.6	10.5	0.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、単身世帯で「徒歩」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。

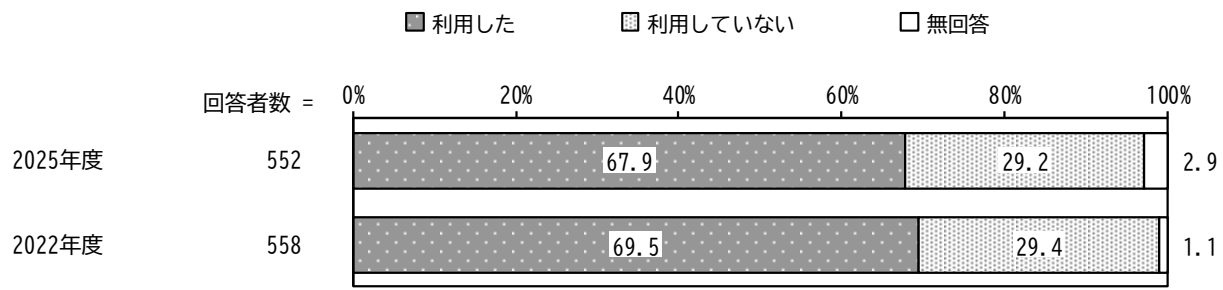
単位：％

区分	回答者数（件）	徒歩	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす（カート）	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	路線バス	コミュニティバス	デマンド交通	病院や施設のバス	電車	タクシー	車いすで利用できるタクシー	その他	無回答
全 体	552	19.9	14.3	12.9	0.9	0.5	0.0	7.8	62.9	1.6	2.9	0.7	7.6	1.1	9.1	3.3	5.4	2.5
単身世帯	144	25.7	13.2	6.9	0.7	0.7	0.0	9.7	59.0	2.1	3.5	1.4	4.2	2.1	11.1	0.7	3.5	1.4
夫婦のみ世帯	131	19.8	10.7	3.8	0.0	0.0	0.0	7.6	66.4	1.5	3.8	0.8	6.9	1.5	9.9	5.3	6.1	3.8
その他	264	16.7	17.0	20.5	1.5	0.8	0.0	7.2	64.4	1.5	1.9	0.4	10.2	0.4	7.6	3.4	6.4	1.1

2. 介護予防・介護サービス等について

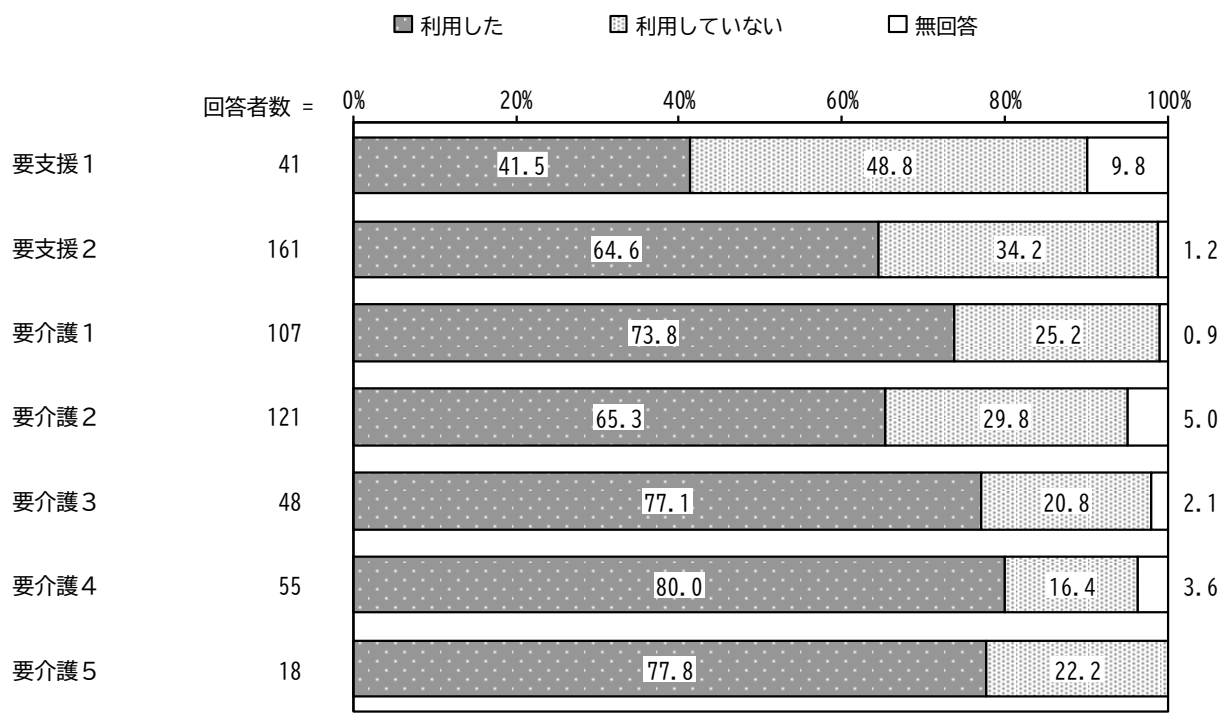
問6 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。【○は1つ】

「利用した」の割合が67.9%、「利用していない」の割合が29.2%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定度別】

認定度別にみると、要支援1で「利用していない」の割合が高くなっています。

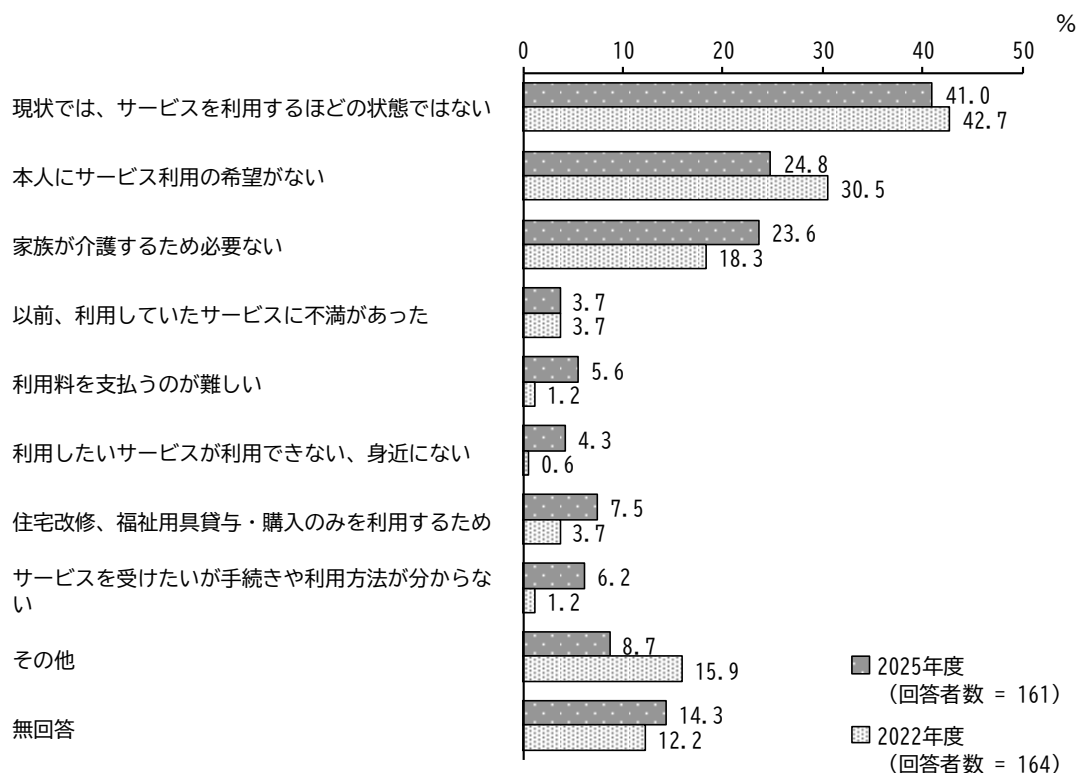


問6で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

問6－1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が24.8%、「家族が介護するため必要ない」の割合が23.6%となっています。

2022年度調査と比較すると、「家族が介護するため必要ない」の割合が増加しています。一方、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が減少しています。



【認定度別】

認定度別にみると、要支援1、要介護4で「本人にサービス利用の希望がない」、要介護5で「家族が介護するため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護するため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全 体	161	41.0	24.8	23.6	3.7	5.6	4.3	7.5	6.2	8.7	14.3
要支援1	20	40.0	35.0	15.0	5.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	20.0
要支援2	55	58.2	23.6	23.6	5.5	3.6	7.3	7.3	1.8	7.3	7.3
要介護1	27	48.1	18.5	25.9	3.7	3.7	3.7	3.7	14.8	0.0	18.5
要介護2	36	19.4	22.2	25.0	0.0	8.3	0.0	11.1	8.3	19.4	13.9
要介護3	10	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0
要介護4	9	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
要介護5	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦のみ世帯で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「家族が介護するため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：％

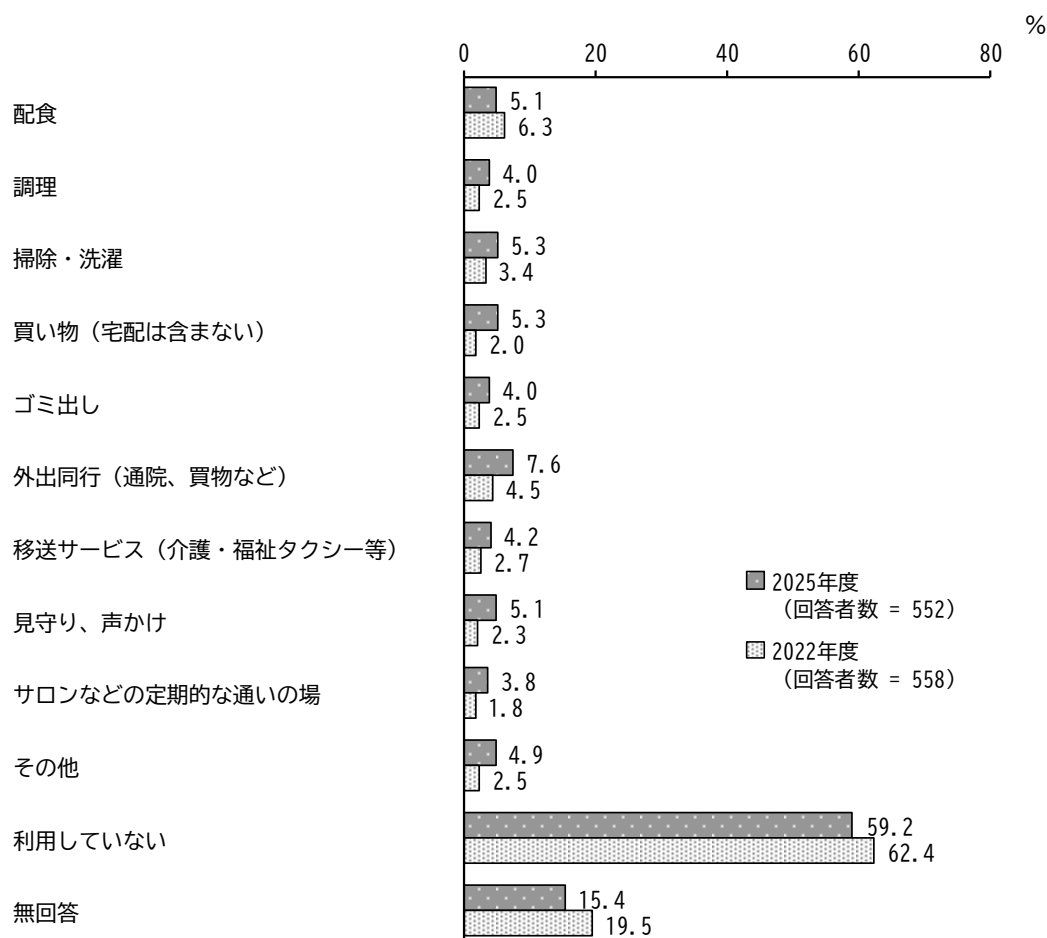
区分	回答者数 (件)	現状では、サービス を利用するほどの 状態ではない	本人にサービス利 用の希望がない	家族が介護するた め必要ない	以前、利用していた サービスに不満が あった	利用料を支払うの が難しい	利用したいサービ スが利用できない、 身近にない	住宅改修、福祉用具 貸与・購入のみを利 用するため	サービスを受けた いが手続きや利用 方法が分からない	その他	無回答
全 体	161	41.0	24.8	23.6	3.7	5.6	4.3	7.5	6.2	8.7	14.3
単身世帯	37	35.1	35.1	8.1	0.0	0.0	5.4	5.4	5.4	8.1	18.9
夫婦のみ世帯	49	42.9	16.3	32.7	2.0	6.1	6.1	8.2	6.1	6.1	22.4
その他	71	45.1	25.4	23.9	7.0	5.6	2.8	8.5	5.6	11.3	7.0

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。【〇はいくつでも】

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用割合が低い中、「外出同行（通院、買物など）」の割合7.6%が最も高くなっています。

2022 年度調査と比較すると、「配食」を除き、利用している割合が上がっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行(通 院、買物など)	移送サービス (介護・福祉タ クシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 定期的な通いの場	その他	利用していな い	無回答
全 体	552	5.1	4.0	5.3	5.3	4.0	7.6	4.2	5.1	3.8	4.9	59.2	15.4
瑞浪南部	332	6.9	4.5	5.4	6.3	4.8	7.5	5.4	4.8	3.6	6.0	57.8	13.6
瑞浪北部	220	2.3	3.2	5.0	3.6	2.7	7.7	2.3	5.5	4.1	3.2	61.4	18.2

単位：％

【家族構成別】

家族構成別にみると、単身世帯で「配食」「買い物」「ゴミ出し」等の介護保険サービス以外を利用する割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行(通 院、買物など)	移送サービス (介護・福祉タ クシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 定期的な通いの場	その他	利用していな い	無回答
全 体	552	5.1	4.0	5.3	5.3	4.0	7.6	4.2	5.1	3.8	4.9	59.2	15.4
単身世帯	144	10.4	3.5	8.3	9.0	9.0	11.8	2.1	9.7	4.9	4.9	48.6	13.9
夫婦のみ世帯	131	3.8	6.9	6.1	6.9	3.8	9.2	6.9	5.3	3.1	4.6	54.2	19.8
その他	264	3.0	3.0	3.4	2.7	1.5	4.5	3.4	2.7	3.8	4.9	67.0	14.4

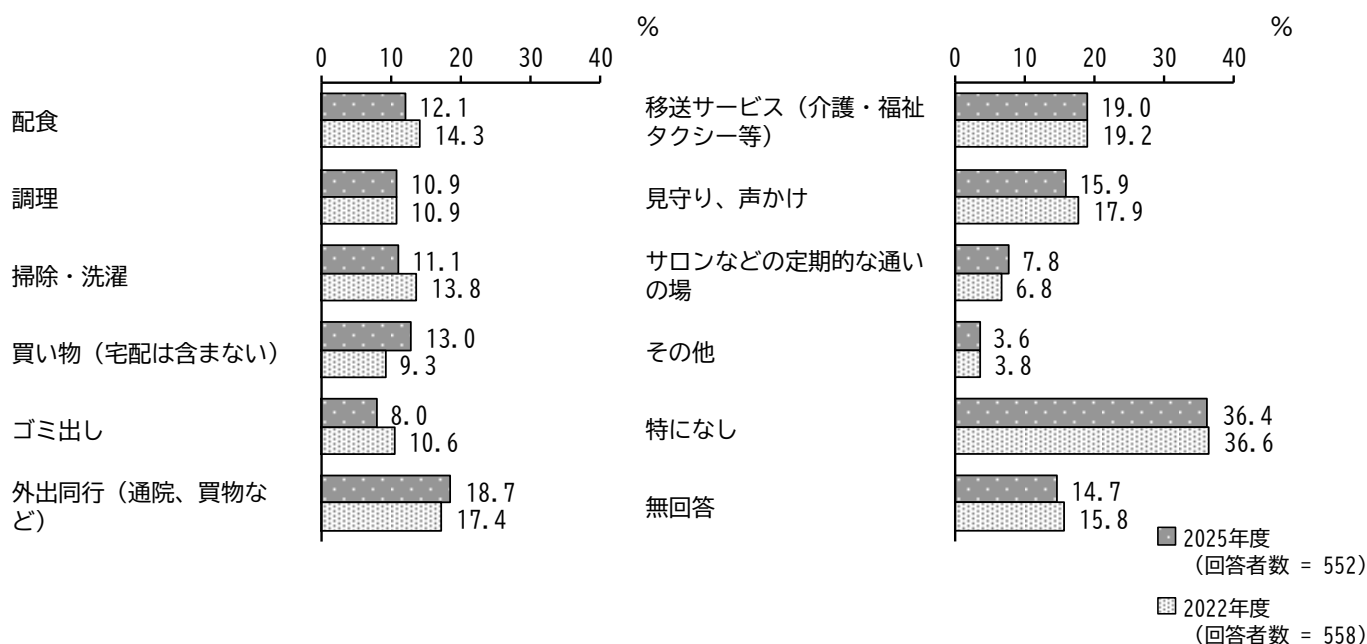
単位：％

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【〇はいくつでも】

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 19.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買物など）」の割合が 18.7%、「見守り、声かけ」の割合が 15.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定度別】

認定度別にみると、要支援2から要介護3まで『外出同行（通院、買い物など）』の割合が高い傾向にあり、要介護4及び要介護5では『移送サービス（介護・福祉タクシー等）』の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行(通 院、買物など)	移送サービス (介護・福祉タ クシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 定期的な通い	その他	特になし	無回答
全 体	552	12.1	10.9	11.1	13.0	8.0	18.7	19.0	15.9	7.8	3.6	36.4	14.7
要支援1	41	7.3	4.9	7.3	17.1	12.2	12.2	17.1	19.5	7.3	2.4	34.1	19.5
要支援2	161	11.8	11.2	16.8	16.8	10.6	20.5	21.1	14.3	8.1	1.2	35.4	14.3
要介護1	107	20.6	14.0	10.3	19.6	11.2	22.4	15.9	19.6	9.3	3.7	29.9	10.3
要介護2	121	11.6	10.7	10.7	7.4	5.8	18.2	19.0	14.0	7.4	5.8	38.0	17.4
要介護3	48	10.4	14.6	6.3	8.3	2.1	18.8	10.4	20.8	2.1	8.3	39.6	12.5
要介護4	55	7.3	9.1	7.3	5.5	1.8	14.5	20.0	14.5	7.3	1.8	49.1	14.5
要介護5	18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	38.9	5.6	11.1	5.6	33.3	22.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行(通 院、買物など)	移送サービス (介護・福祉タ クシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通い の場	その他	特になし	無回答
全 体	552	12.1	10.9	11.1	13.0	8.0	18.7	19.0	15.9	7.8	3.6	36.4	14.7
瑞浪南部	332	11.4	9.9	10.2	13.3	8.4	18.7	19.0	14.2	7.5	4.2	36.7	16.6
瑞浪北部	220	13.2	12.3	12.3	12.7	7.3	18.6	19.1	18.6	8.2	2.7	35.9	11.8

【地区別】

地区別にみると、明世地区で「配食」、日吉地区で「買い物（宅配は含まない）」、土岐地区で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含 まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買物 など）	移送サービス（介護・ 福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的 な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	552	12.1	10.9	11.1	13.0	8.0	18.7	19.0	15.9	7.8	3.6	36.4	14.7
瑞浪地区	197	10.2	9.1	9.6	12.2	7.1	20.8	19.3	14.7	6.6	2.5	39.1	16.2
稲津地区	71	12.7	12.7	8.5	14.1	8.5	12.7	18.3	12.7	5.6	4.2	36.6	19.7
陶地区	64	14.1	9.4	14.1	15.6	12.5	18.8	18.8	14.1	12.5	9.4	29.7	14.1
土岐地区	98	15.3	13.3	12.2	7.1	5.1	23.5	24.5	21.4	9.2	1.0	34.7	11.2
明世地区	30	20.0	10.0	13.3	13.3	10.0	13.3	16.7	20.0	6.7	3.3	33.3	20.0
釜戸地区	51	5.9	7.8	11.8	15.7	9.8	7.8	13.7	13.7	7.8	3.9	41.2	11.8
大湫地区	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
日吉地区	38	13.2	18.4	13.2	23.7	7.9	26.3	15.8	18.4	7.9	5.3	28.9	7.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、単身世帯で「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「外出同行（通院、買物など）」等の生活支援にかかるサービス、「見守り、声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」等の地域での支え合いに資するサービスの割合が高くなっています。

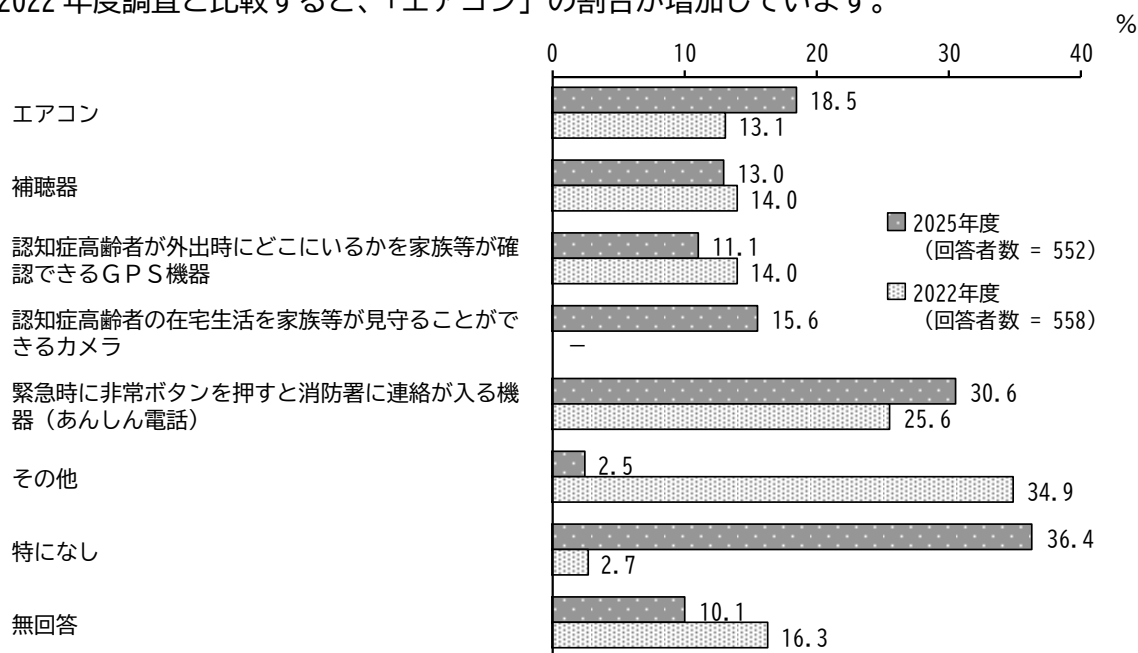
単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	552	12.1	10.9	11.1	13.0	8.0	18.7	19.0	15.9	7.8	3.6	36.4	14.7
単身世帯	144	16.0	14.6	17.4	18.1	14.6	21.5	18.1	23.6	12.5	4.2	29.9	8.3
夫婦のみ世帯	131	13.7	11.5	12.2	12.2	8.4	16.0	18.3	12.2	5.3	3.1	31.3	23.7
その他	264	9.5	8.7	7.2	10.6	4.2	17.8	20.1	14.4	6.4	3.4	43.2	12.9

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる設備・機器はありますか。【〇はいくつでも】

「緊急時に非常ボタンを押すと消防署に連絡が入る機器（あんしん電話）」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「エアコン」の割合が 18.5%、「認知症高齢者の在宅生活を家族等が見守ることができるカメラ」の割合が 15.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「エアコン」の割合が増加しています。



※2022 年度調査では、「認知症高齢者の在宅生活を家族等が見守ることができるカメラ」がありませんでした。

【認定度別】

認定度別にみると、要介護5から要介護1まで認定度が下がるほど「認知症高齢者が外出時にどこにいるかを家族等が確認できるGPS機器」の割合が高く、要支援2から要介護4まで認定度が上がるほど「エアコン」の割合が高い傾向にあります。

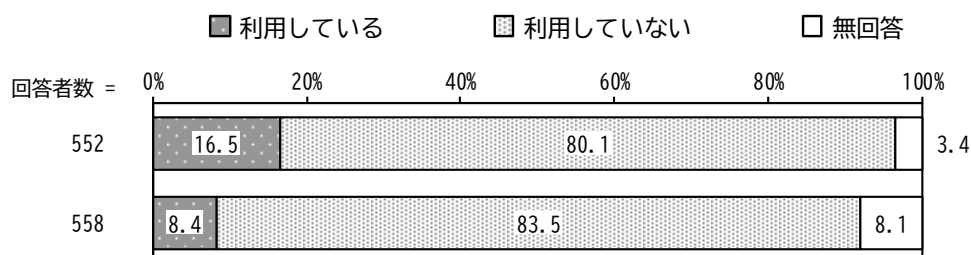
単位：％

区分	回答者数 (件)	エアコン	補聴器	認知症高齢者が 外出時にどこに いるかを家族等 が確認できるG PS機器	認知症高齢者の 在宅生活を家族 等が見守ること ができるカメラ	認知症高齢者の 在宅生活を家族 等が見守ること ができるカメラ	緊急時に非常ボ タンを押すと消 防署に連絡が入 る機器（あんし ん電話）	その他	特になし	無回答
全 体	552	18.5	13.0	11.1	15.6	30.6	2.5	36.4	10.1	
要支援1	41	24.4	12.2	9.8	7.3	31.7	2.4	34.1	17.1	
要支援2	161	13.7	19.3	7.5	8.7	34.8	1.9	41.0	9.3	
要介護1	107	17.8	16.8	21.5	22.4	24.3	3.7	29.9	8.4	
要介護2	121	21.5	8.3	13.2	23.1	34.7	1.7	29.8	10.7	
要介護3	48	18.8	4.2	10.4	18.8	37.5	6.3	37.5	6.3	
要介護4	55	23.6	9.1	1.8	10.9	20.0	0.0	47.3	9.1	
要介護5	18	11.1	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	50.0	22.2	

問10 ご本人（実態調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。【○は1つ】

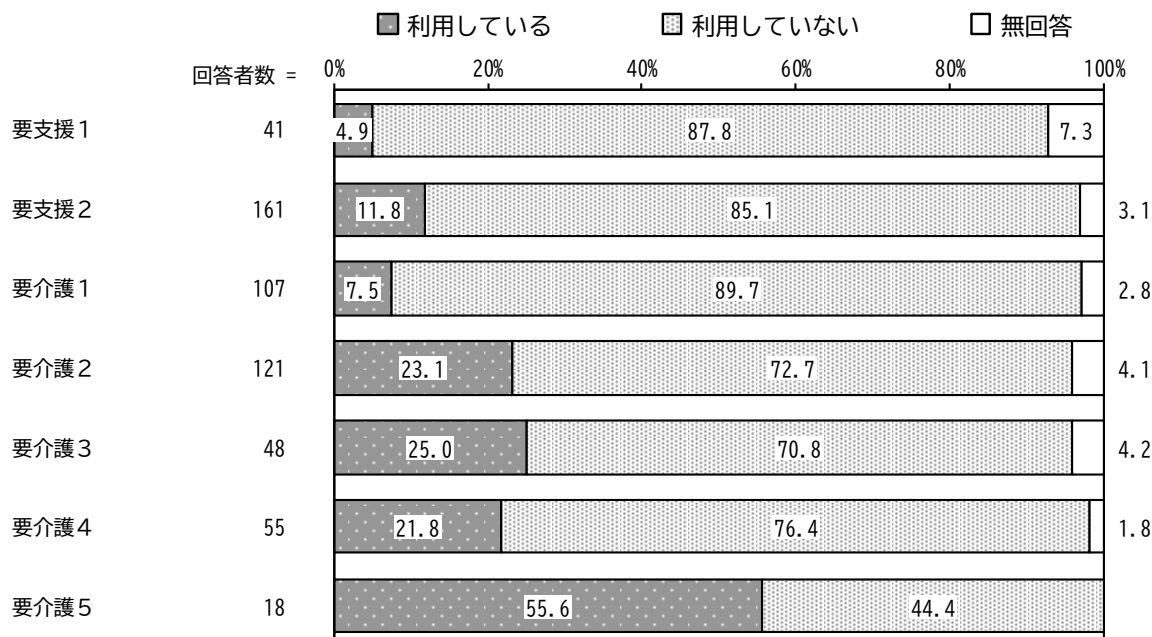
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」の割合が16.5%、「利用していない」の割合が80.1%となっています。
2022年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。



【認定度別】

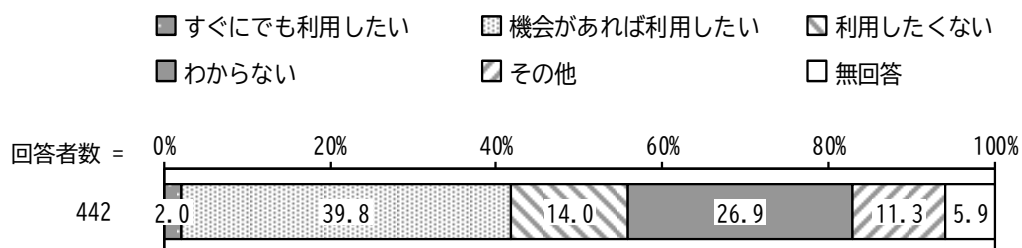
認定度別にみると、要介護5で「利用している」の割合が高くなっています。



問 10 で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

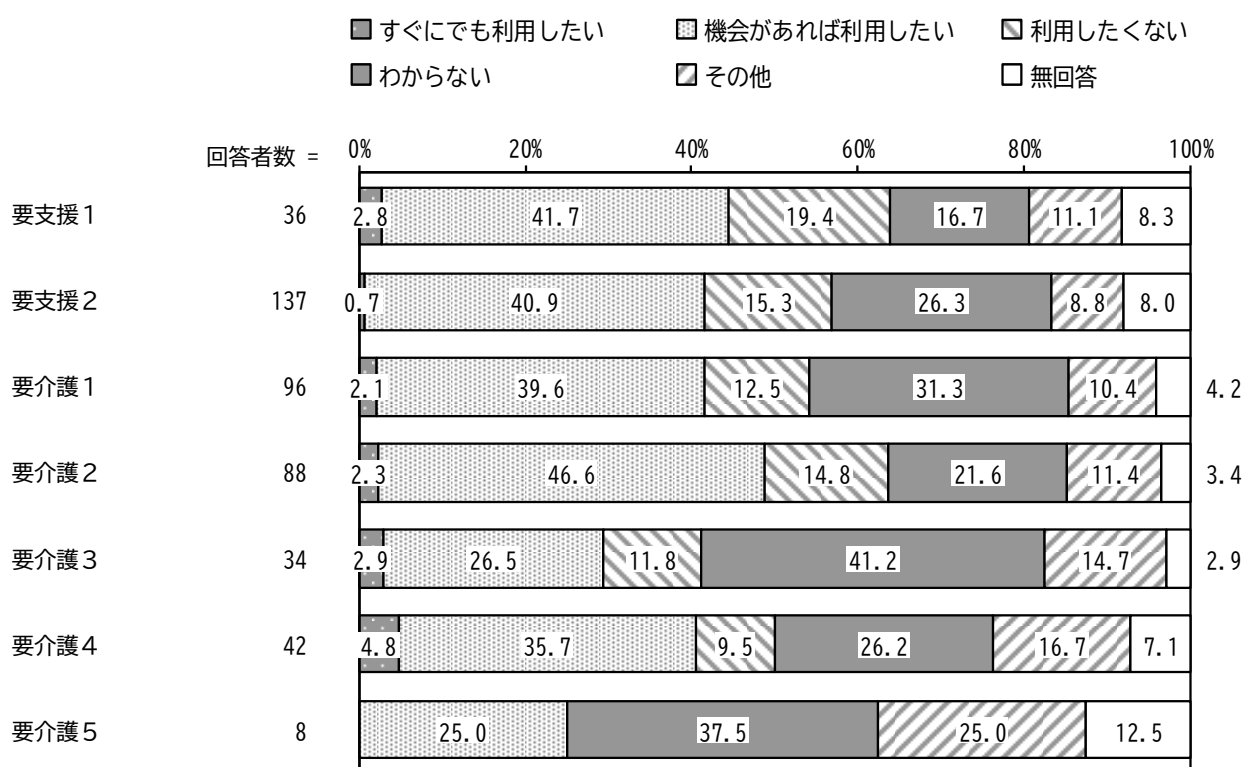
問 10－1 訪問診療を利用したいと感じますか。【○は1つ】

「すぐにでも利用したい」の割合が 2.0%、「機会があれば利用したい」の割合が 39.8%、「利用したくない」の割合が 14.0%となっています。また、「わからない」の割合が 26.9%と高くなっています。



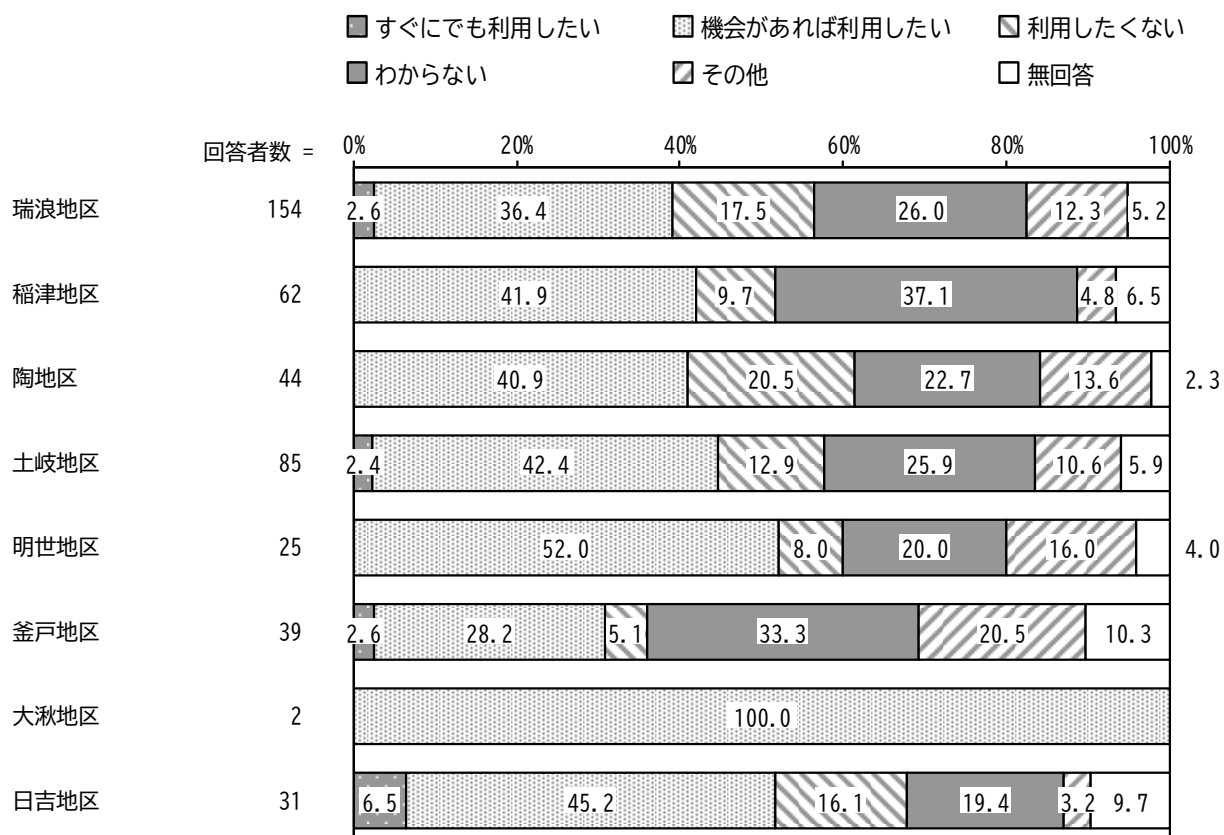
【認定度別】

認定度別にみると、認定度が下がるほど「利用したくない」の割合が高い傾向にあります。



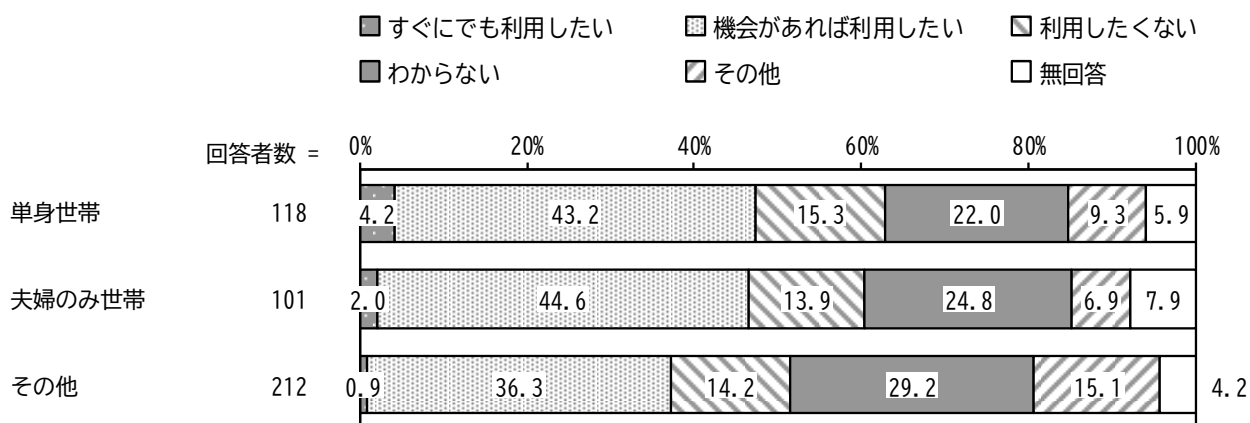
【地区別】

地区別にみると、陶地区で「利用したくない」、明世地区で「機会があれば利用したい」の割合が高くなっています。



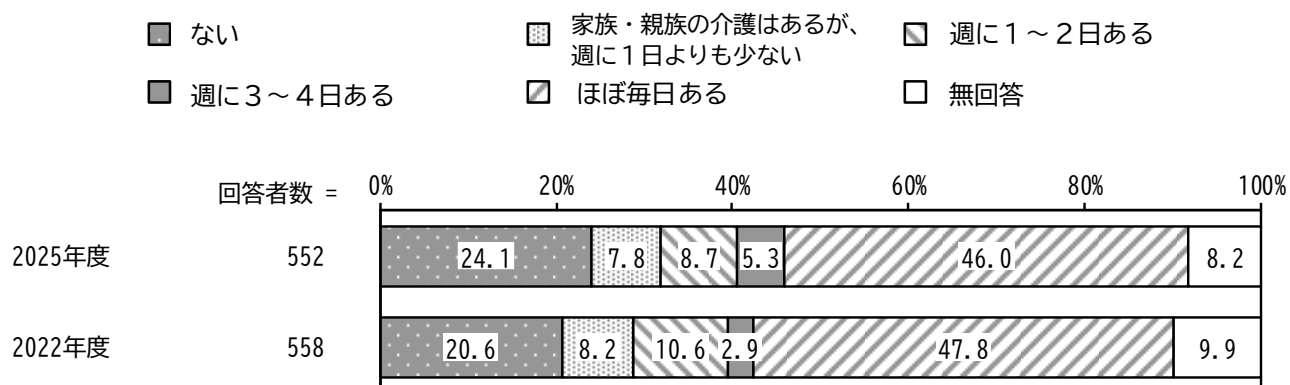
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。



問 11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)【○は1つ】

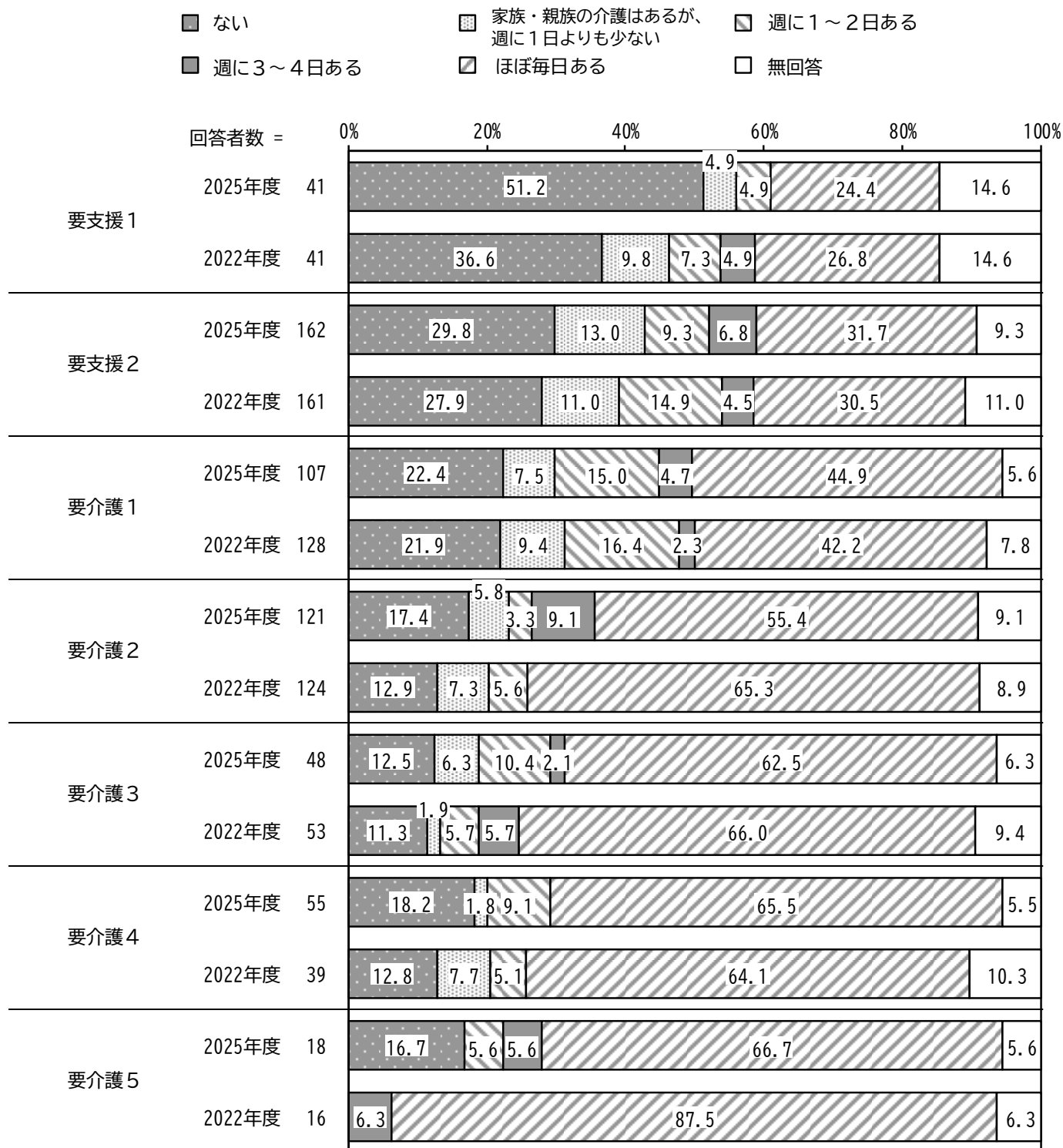
「ほぼ毎日ある」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「ない」の割合が 24.1%となっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定度別】

認定度別にみると、認定度が上がるほど「ほぼ毎日ある」の割合が高く、要介護5から要支援2まで認定度が下がるほど「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が高い傾向にあります。また、要支援1で「ない」の割合が高くなっています。

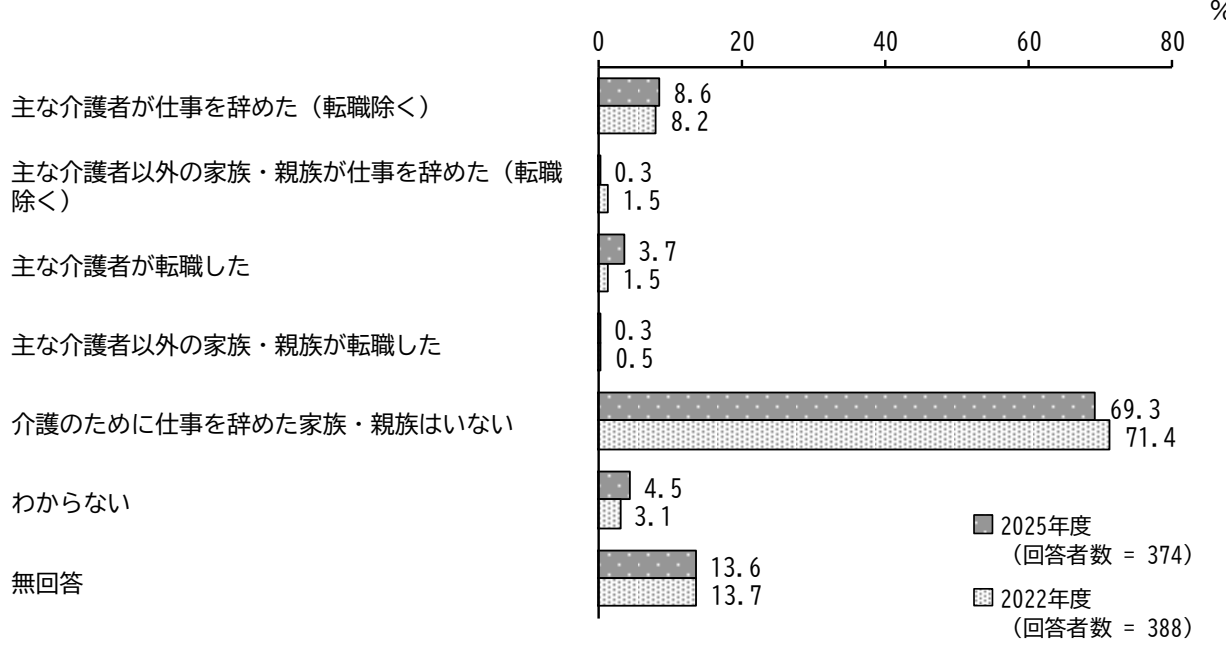
2022 年度調査と比較すると、要支援1、要介護4で「ない」、要介護2で「週に3～4日ある」、要介護5で「ない」「週に1～2日ある」の割合が増加し、要支援2で「週に1～2日ある」、要介護2、要介護5で「ほぼ毎日ある」、要介護4で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が減少しています。



3. 主な介護者の方について

問 12 ご家族やご親族の中で、ご本人（実態調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）【〇はいくつでも】
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含めます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が 69.3%と最も高くなっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定度別】

認定度別にみると、認定度が上がるほど「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	374	8.6	0.3	3.7	0.3	69.3	4.5	13.6
要支援 1	14	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	0.0	21.4
要支援 2	98	7.1	1.0	3.1	0.0	66.3	5.1	17.3
要介護 1	77	6.5	0.0	6.5	0.0	72.7	1.3	13.0
要介護 2	89	9.0	0.0	2.2	1.1	66.3	6.7	14.6
要介護 3	39	12.8	0.0	2.6	0.0	74.4	7.7	2.6
要介護 4	42	14.3	0.0	7.1	0.0	66.7	4.8	9.5
要介護 5	14	7.1	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	21.4

【主な介護者別】

全ての主な介護者の区分において「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高い中、子、子の配偶者で「主な配偶者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	374	8.6	0.3	3.7	0.3	69.3	4.5	13.6
配偶者	96	3.1	0.0	0.0	0.0	68.8	8.3	19.8
子	191	11.5	0.5	6.3	0.0	70.7	3.7	7.9
子の配偶者	50	12.0	0.0	4.0	0.0	68.0	4.0	12.0
孫	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
兄弟・姉妹	11	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	0.0	18.2

【介護者の年齢別】

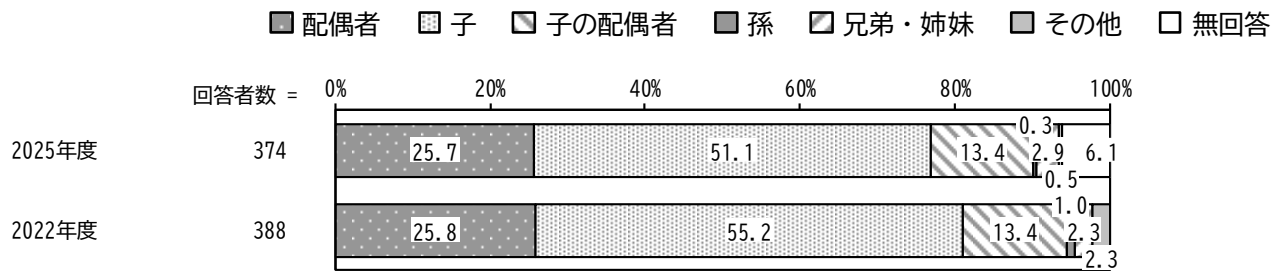
介護者の年齢別にみると、30代では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が100%を占めるが、50代、60代で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	374	8.6	0.3	3.7	0.3	69.3	4.5	13.6
30代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
40代	16	6.3	6.3	6.3	0.0	87.5	0.0	0.0
50代	75	10.7	0.0	6.7	0.0	74.7	1.3	6.7
60代	134	11.9	0.0	3.7	0.7	68.7	6.0	9.0
70代	83	7.2	0.0	2.4	0.0	65.1	6.0	19.3
80歳以上	55	0.0	0.0	1.8	0.0	72.7	5.5	20.0

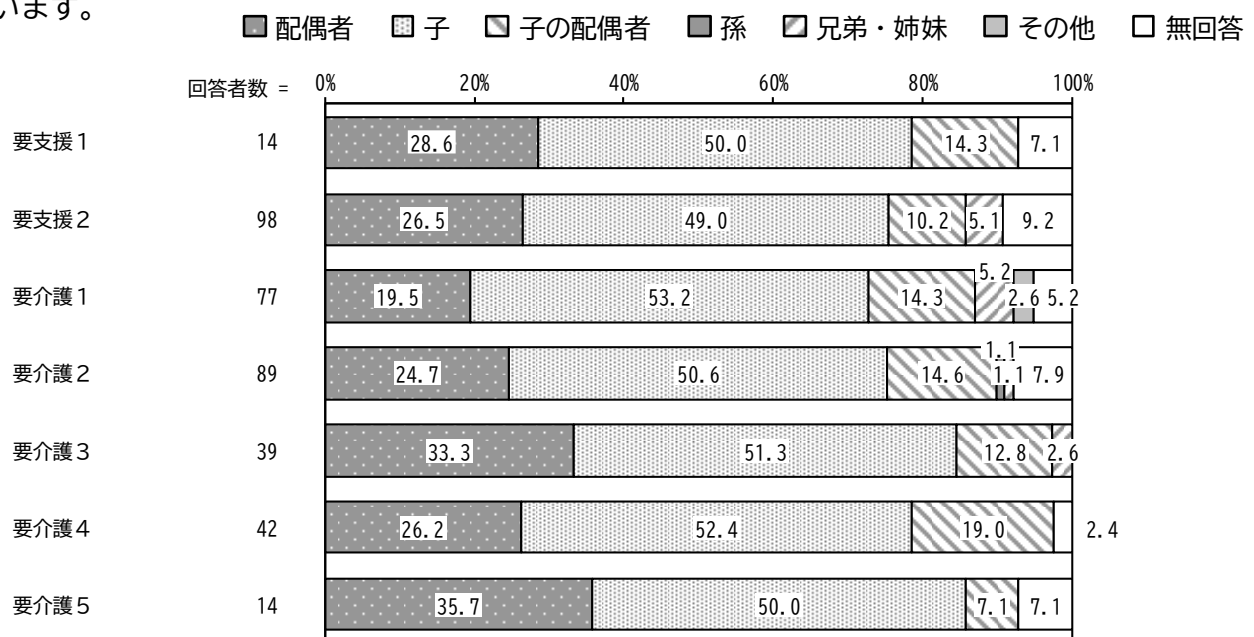
問13 主な介護者の方は、どなたですか。【○は1つ】

「子」の割合が51.1%と最も高く、次いで「配偶者」、「子の配偶者」の割合が高くなっています。2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



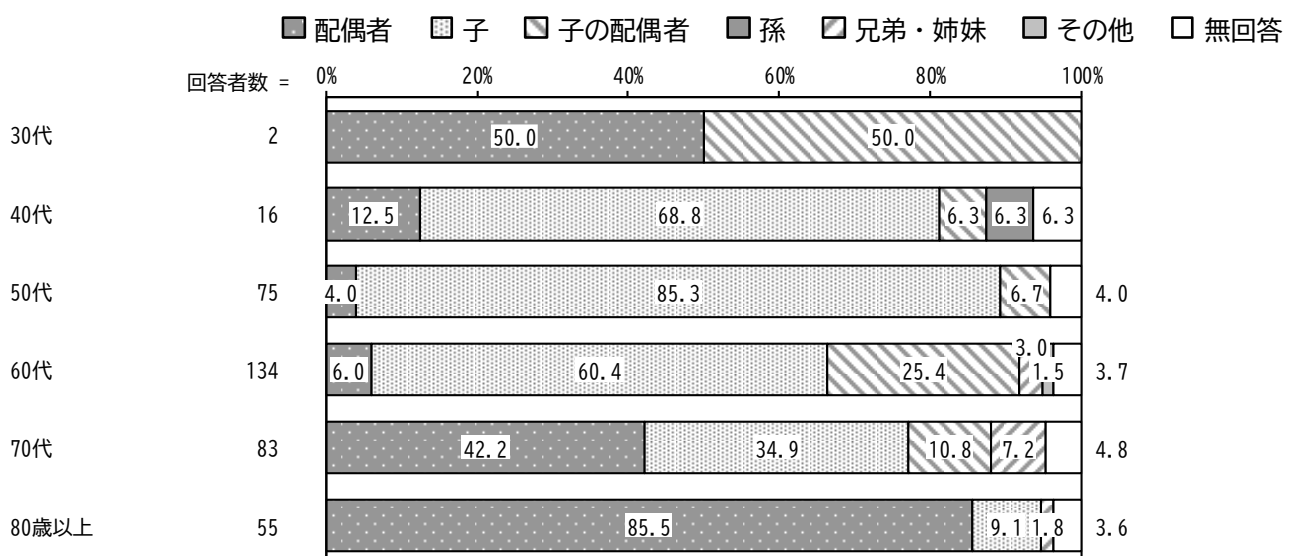
【認定度別】

認定度別にみると、要介護3、要介護5で「配偶者」、要介護4で「子の配偶者」の割合が高くなっています。



【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、50代から80歳以上まで介護者の年齢が上がるほど「配偶者」の割合が高く、「子」の割合が低くなっています。また、60代で「子の配偶者」の割合が高くなっています。

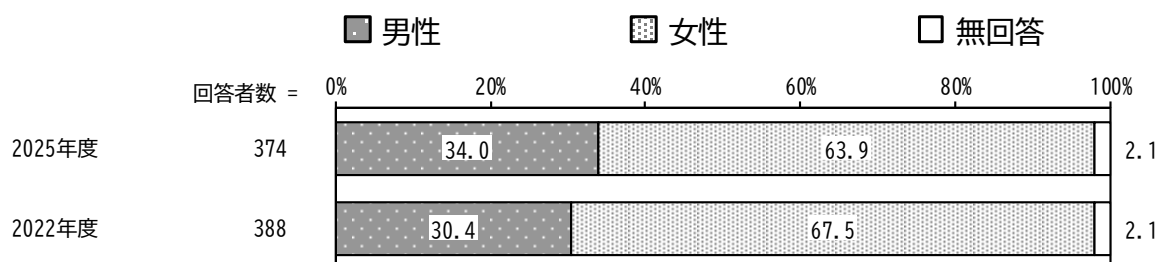


問 14 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。【○は1つ】

※統計上、戸籍上の性別を記入してください。

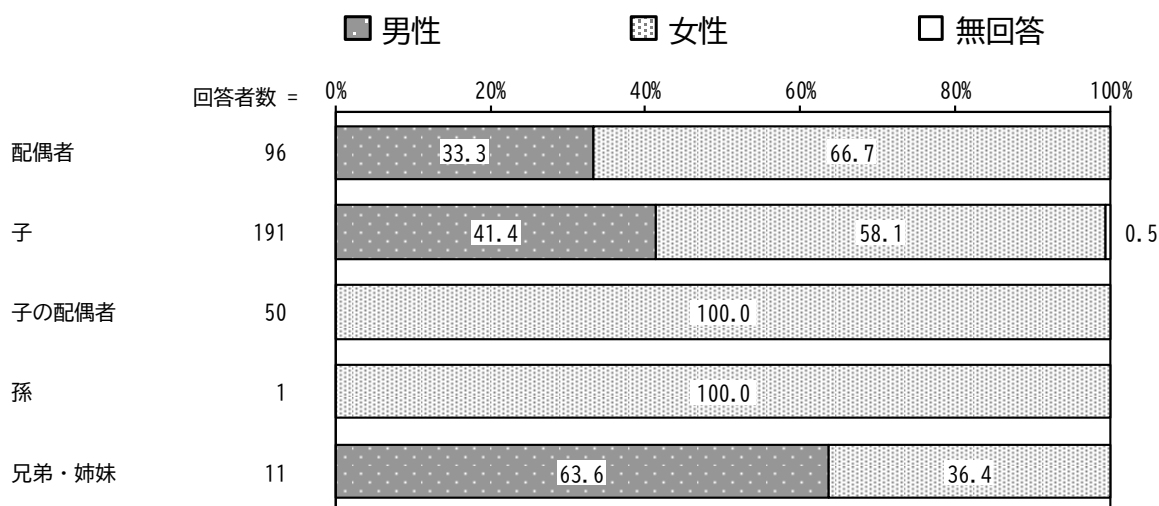
「男性」の割合が 34.0%、「女性」の割合が 63.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



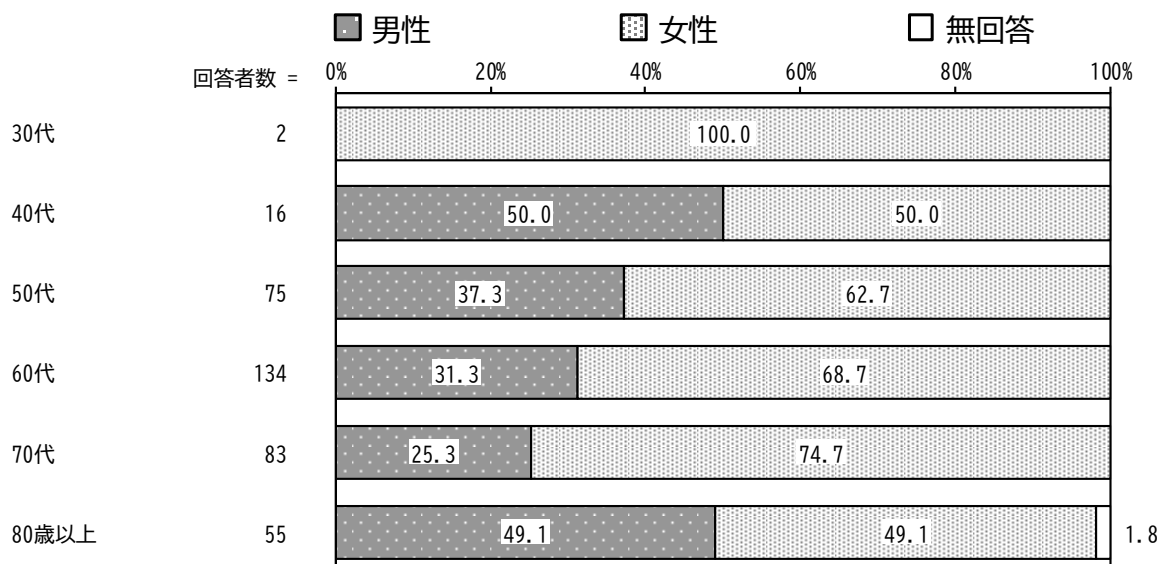
【主な介護者別】

主な介護者別にみると、兄弟・姉妹で「男性」の割合が高くなっています。



【介護者の年齢別】

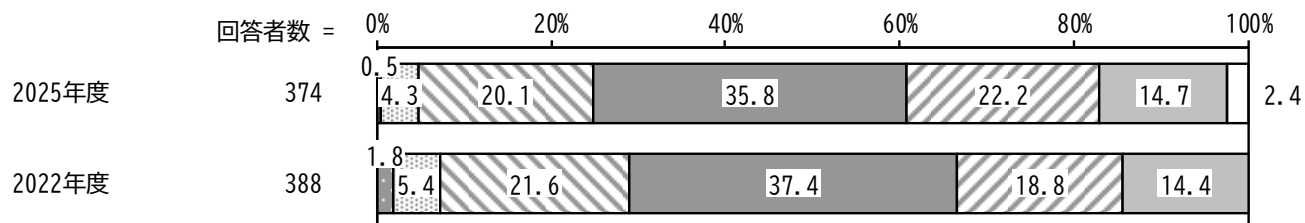
介護者の年齢別にみると、40代から70代まで介護者の年齢が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。



問 15 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。【○は1つ】

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。「60 代」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「70 代」の割合が 22.2%、「50 代」の割合が 20.1%となっています。

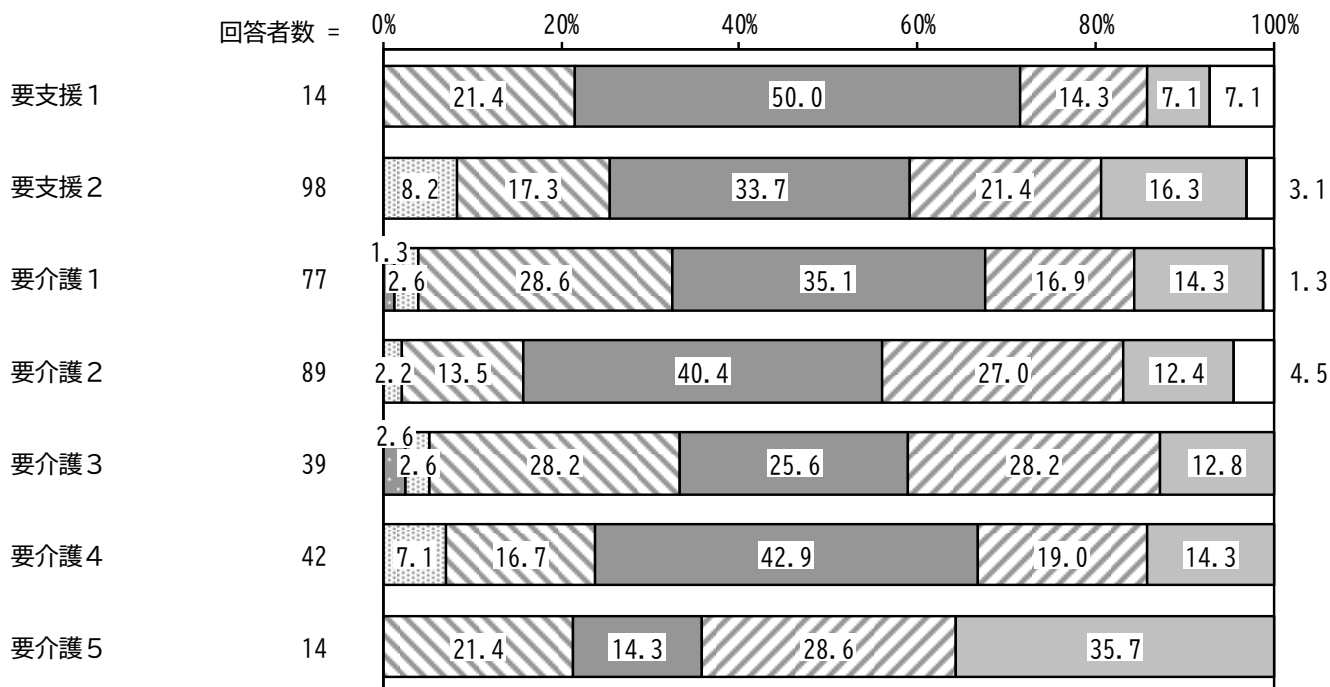
■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80歳以上 ■ わからない □ 無回答



【認定度別】

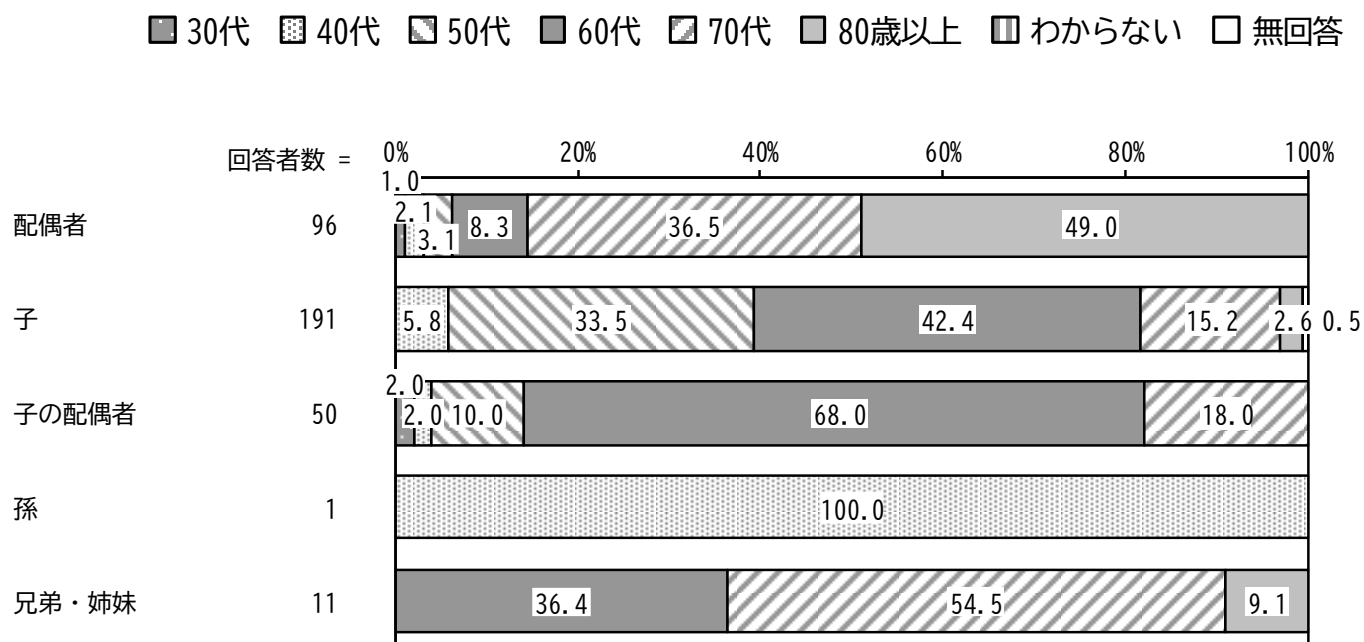
認定度別にみると、要介護1、要介護3で「50 代」、要支援1で「60 代」、要介護3、要介護5で「70 代」、要介護5で「80 歳以上」の割合が高くなっています。

■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80歳以上 ■ わからない □ 無回答



【主な介護者別】

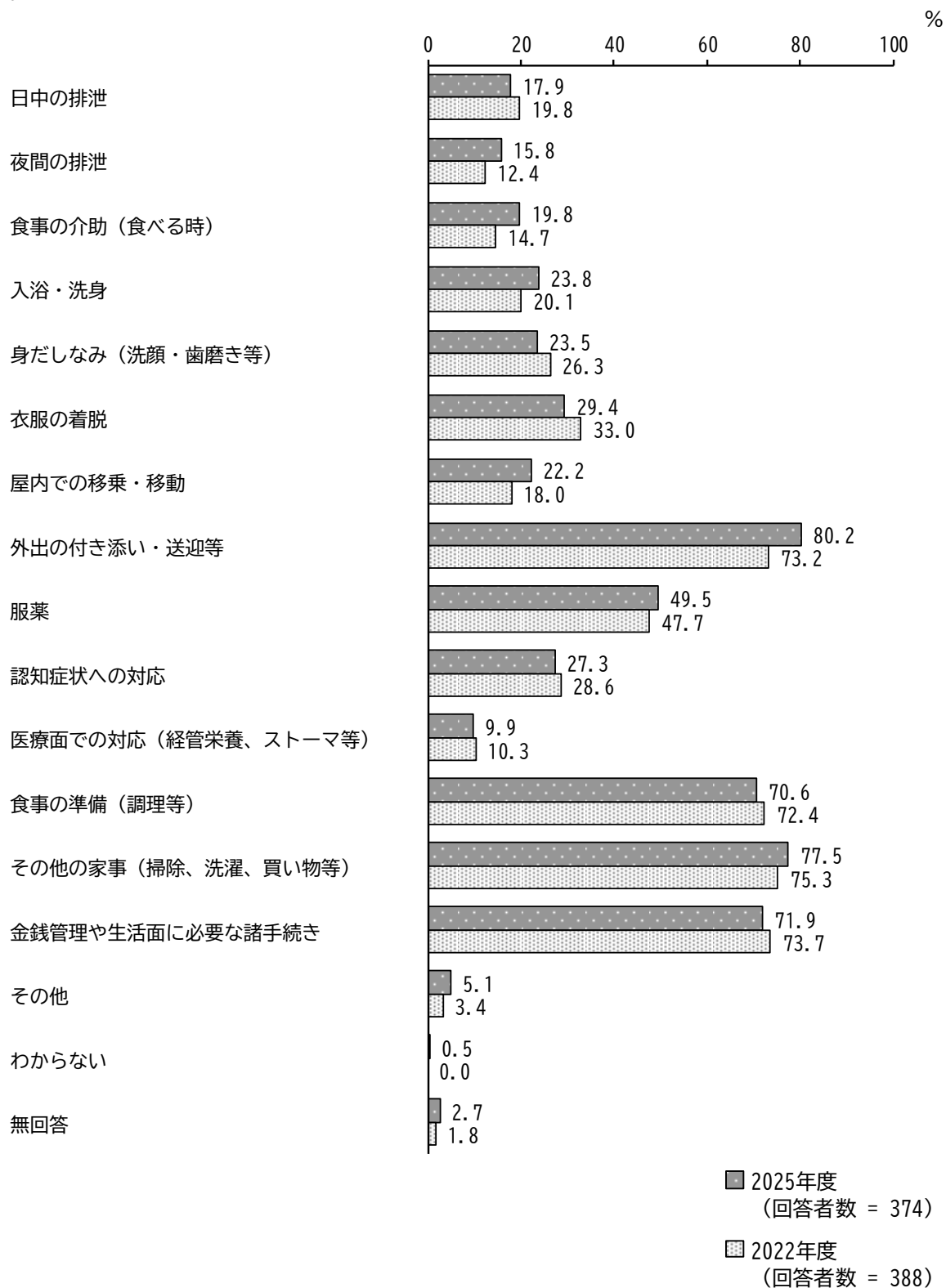
主な介護者別にみると、配偶者で「80 歳以上」、子と子の配偶者で、「60 代」、兄弟・姉妹で「70 代」の割合が高くなっています。



問16 現在、主な介護者の方が行っている介護等についてご回答ください。【〇はいくつでも】

「外出の付き添い・送迎等」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 77.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 71.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「食事の介助（食べる時）」「外出の付き添い・送迎等」の割合が増加しています。



【認定度別】

認定度別にみると、認定度が上がるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」の割合が高い傾向にあり、要支援2から要介護5まで認定度が上がるほど「服薬」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内での移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	374	17.9	15.8	19.8	23.8	23.5	29.4	22.2	80.2	49.5	27.3	9.9	70.6	77.5	71.9	5.1	0.5	2.7
要支援1	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	21.4	64.3	28.6	14.3	0.0	64.3	78.6	57.1	7.1	0.0	7.1
要支援2	98	2.0	4.1	8.2	18.4	8.2	13.3	9.2	81.6	13.3	2.0	6.1	55.1	64.3	46.9	4.1	2.0	4.1
要介護1	77	2.6	3.9	5.2	14.3	7.8	11.7	6.5	80.5	55.8	44.2	9.1	61.0	72.7	80.5	9.1	0.0	2.6
要介護2	89	12.4	9.0	12.4	24.7	20.2	30.3	21.3	84.3	58.4	36.0	10.1	78.7	84.3	75.3	5.6	0.0	3.4
要介護3	39	33.3	25.6	43.6	35.9	53.8	64.1	30.8	79.5	71.8	33.3	10.3	87.2	84.6	89.7	2.6	0.0	0.0
要介護4	42	64.3	57.1	52.4	42.9	57.1	57.1	59.5	81.0	76.2	28.6	19.0	88.1	88.1	92.9	0.0	0.0	0.0
要介護5	14	85.7	71.4	85.7	35.7	78.6	78.6	71.4	57.1	92.9	50.0	21.4	85.7	100.0	85.7	7.1	0.0	0.0

【主な介護者別】

主な介護者別にみると、子の配偶者で「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」、配偶者で「衣服の着脱」「屋内での移乗・移動」の割合が高くなっています。

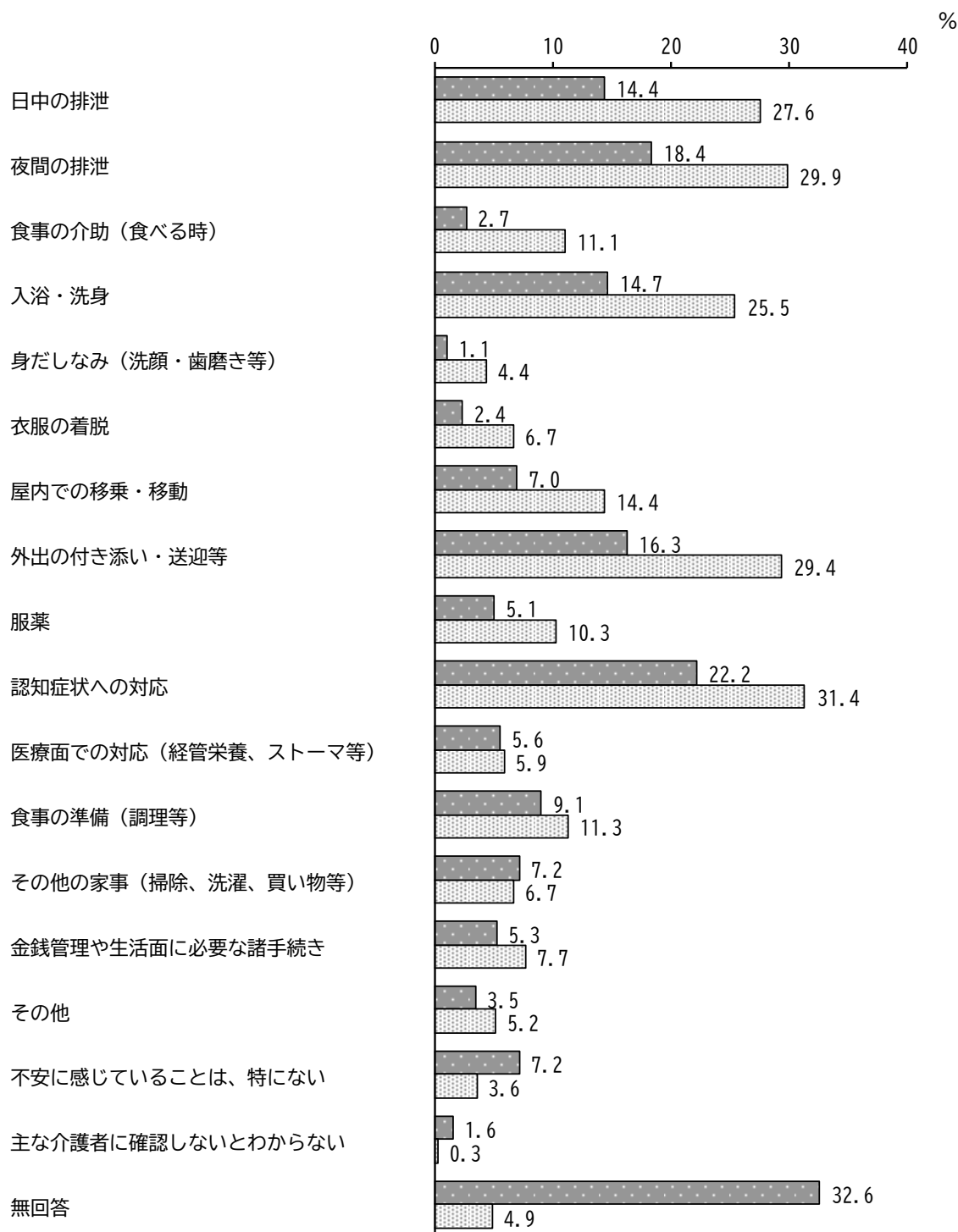
単位：％

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内での移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	374	17.9	15.8	19.8	23.8	23.5	29.4	22.2	80.2	49.5	27.3	9.9	70.6	77.5	71.9	5.1	0.5	2.7
配偶者	96	24.0	22.9	22.9	31.3	31.3	44.8	32.3	82.3	49.5	27.3	9.9	70.6	77.5	71.9	5.1	0.5	2.7
子	191	15.2	11.0	16.8	26.2	23.0	25.7	17.8	82.2	58.3	22.9	14.6	79.2	82.3	67.7	8.3	1.0	1.0
子の配偶者	50	26.0	26.0	30.0	16.0	22.0	30.0	26.0	78.0	48.7	29.8	8.9	68.1	79.1	75.4	4.7	0.5	1.0
孫	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	58.0	38.0	6.0	84.0	76.0	80.0	0.0	0.0	0.0
兄弟・姉妹	11	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 17 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません。）【〇は3つまで】

「認知症状への対応」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 18.4%、「外出の付き添い・送迎等」の割合が 16.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「屋内での移乗・移動」「外出の付き添い・送迎等」「服薬」「認知症状への対応」の割合が減少しています。



■ 2025年度
（回答者数 = 374）
▨ 2022年度
（回答者数 = 388）

【認定度別】

認定度別にみると、要支援1、要支援2では「外出の付き添い・送迎等」の割合が高い傾向にあり、要介護1、要介護2では「認知症への対応」の割合、要介護3から要介護5まで「排泄」にかかる割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内での移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全 体	374	14.4	18.4	2.7	14.7	1.1	2.4	7.0	16.3	5.1	22.2	5.6	9.1	7.2	5.3	3.5	7.2	1.6	32.6
要支援1	14	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	42.9
要支援2	98	11.2	14.3	2.0	17.3	0.0	1.0	4.1	22.4	0.0	5.1	3.1	7.1	11.2	2.0	3.1	12.2	4.1	32.7
要介護1	77	11.7	13.0	2.6	15.6	2.6	1.3	7.8	7.8	9.1	40.3	7.8	13.0	10.4	7.8	2.6	3.9	0.0	32.5
要介護2	89	19.1	22.5	2.2	12.4	0.0	1.1	5.6	15.7	9.0	31.5	6.7	14.6	4.5	6.7	5.6	3.4	0.0	31.5
要介護3	39	12.8	23.1	5.1	17.9	2.6	7.7	15.4	23.1	5.1	20.5	2.6	5.1	2.6	10.3	2.6	2.6	0.0	28.2
要介護4	42	23.8	23.8	4.8	11.9	2.4	7.1	4.8	11.9	4.8	19.0	4.8	4.8	2.4	4.8	2.4	11.9	0.0	35.7
要介護5	14	14.3	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	7.1	35.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、単身世帯で「入浴・洗身」「認知症状への対応」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「外出の付き添い・送迎等」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内での移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全 体	374	14.4	18.4	2.7	14.7	1.1	2.4	7.0	16.3	5.1	22.2	5.6	9.1	7.2	5.3	3.5	7.2	1.6	32.6
単身世帯	100	9.0	11.0	4.0	14.0	1.0	0.0	5.0	14.0	4.0	25.0	6.0	11.0	11.0	5.0	1.0	6.0	3.0	37.0
夫婦のみ世帯	82	12.2	14.6	4.9	7.3	0.0	1.2	1.2	22.0	7.3	17.1	2.4	7.3	6.1	3.7	7.3	13.4	0.0	35.4
その他	184	18.5	24.5	1.1	18.5	1.6	4.3	10.3	15.2	4.9	22.3	6.0	8.2	5.4	6.0	3.3	5.4	1.6	29.9

【主な介護者別】

主な介護者別にみると、兄弟・姉妹を除き全区分で「認知症への対応」が高い傾向にあり、また配偶者と兄弟・姉妹で「外出の付き添い・送迎等」の割合が高く、子の配偶者で「日中の排泄」「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

単位：％

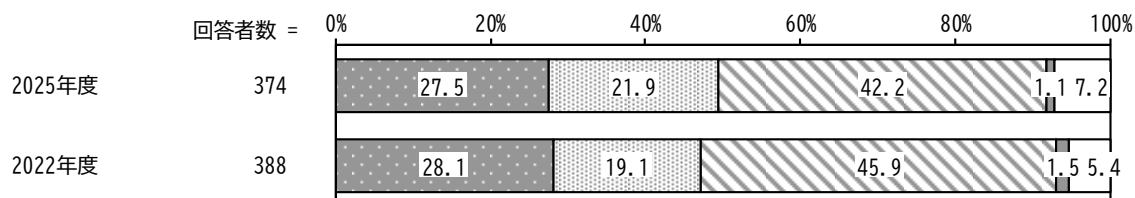
区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内での移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全 体	374	14.4	18.4	2.7	14.7	1.1	2.4	7.0	16.3	5.1	22.2	5.6	9.1	7.2	5.3	3.5	7.2	1.6	32.6
配偶者	96	13.5	17.7	5.2	17.7	1.0	4.2	5.2	21.9	6.3	15.6	4.2	6.3	3.1	4.2	8.3	12.5	1.0	30.2
子	191	15.2	18.8	2.1	16.8	1.0	1.0	8.9	16.8	6.3	25.7	6.3	12.6	8.9	6.3	1.6	4.2	2.1	29.8
子の配偶者	50	20.0	24.0	2.0	10.0	2.0	4.0	6.0	4.0	2.0	36.0	6.0	6.0	10.0	6.0	2.0	6.0	0.0	32.0
孫	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兄弟・姉妹	11	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	18.2	0.0	45.5

問 18 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。【○は1つ】

「フルタイムで働いている」の割合が 27.5%、「パートタイムで働いている」の割合が 21.9%、「働いていない」の割合が 42.2%となっています。

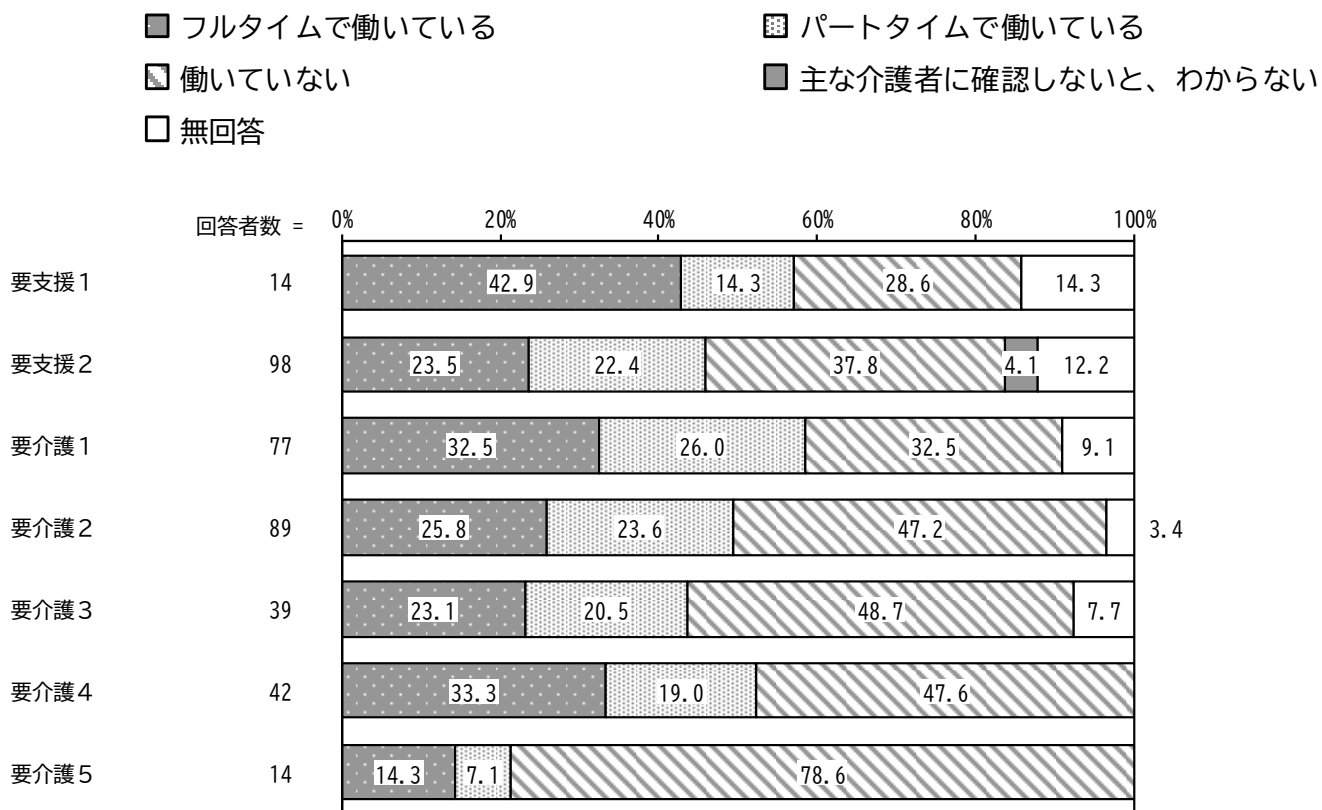
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- フルタイムで働いている
- パートタイムで働いている
- 働いていない
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答



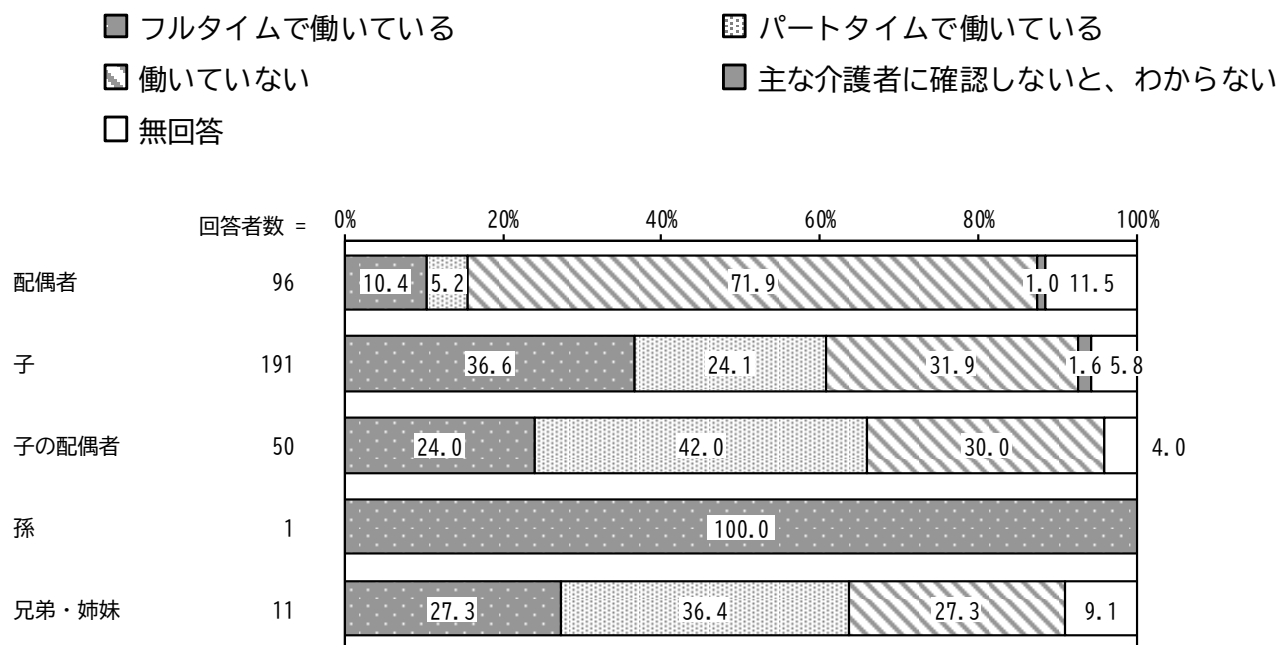
【認定度別】

認定度別にみると、要介護1から要介護5まで認定度が上がるほど「働いていない」の割合が高い傾向にあり、「パートタイムで働いている」の割合が低くなっています。



【主な介護者別】

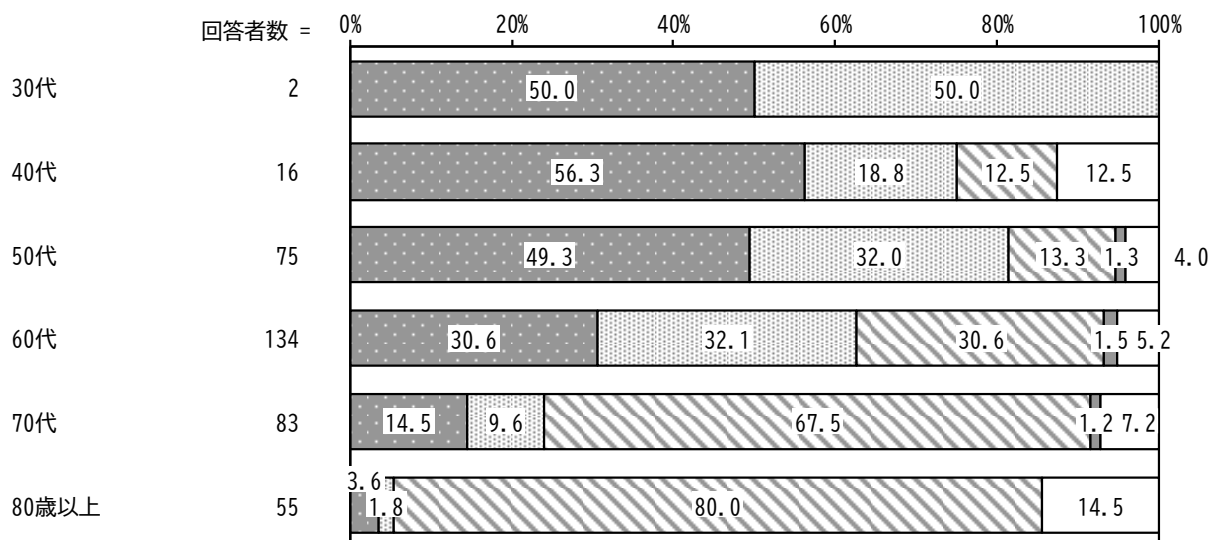
主な介護者別にみると、子の配偶者で「パートタイムで働いている」、配偶者で「働いていない」の割合が高くなっています。



【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、介護者の年齢が上がるほど「働いていない」の割合が高い傾向にあります。また、50代、60代で「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。

- フルタイムで働いている
- ▨ パートタイムで働いている
- ▤ 働いていない
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

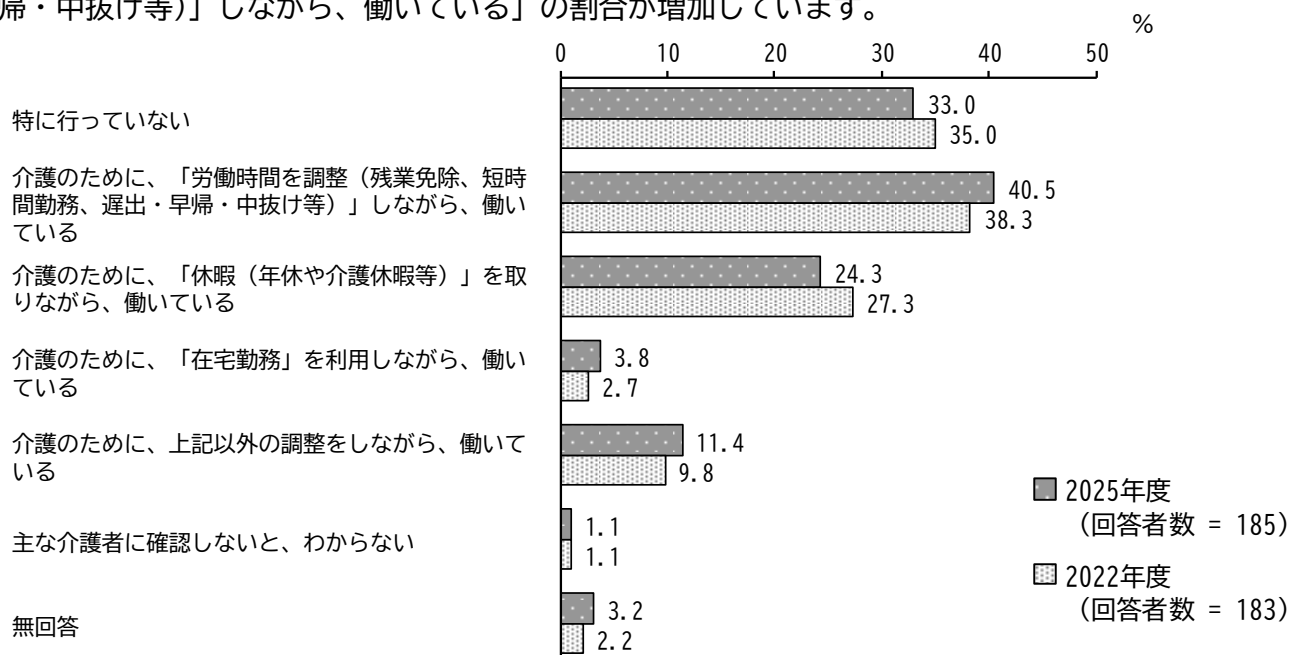


問 18 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」（主な介護者が働いている）と回答した方にお伺いします。

問 18－1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。【○はいくつでも】

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が 33.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 24.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が増加しています。



【認定度別】

認定度別にみると、要介護3、要介護4で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	33.0	40.5	24.3	3.8	11.4	1.1	3.2
要支援1	8	62.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
要支援2	45	40.0	44.4	20.0	2.2	4.4	2.2	0.0
要介護1	45	37.8	28.9	28.9	2.2	20.0	0.0	4.4
要介護2	44	27.3	40.9	22.7	2.3	4.5	0.0	9.1
要介護3	17	23.5	64.7	35.3	11.8	23.5	0.0	0.0
要介護4	22	18.2	54.5	22.7	4.5	9.1	0.0	0.0
要介護5	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0

【主な介護者別】

主な介護者別にみると、配偶者で「特に行っていない」、配偶者、子の配偶者で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、子、子の配偶者で「特に行っていない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	33.0	40.5	24.3	3.8	11.4	1.1	3.2
配偶者	15	40.0	46.7	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0
子	116	26.7	40.5	30.2	4.3	13.8	1.7	4.3
子の配偶者	33	30.3	48.5	15.2	3.0	9.1	0.0	3.0
孫	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兄弟・姉妹	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、40代から60代で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。

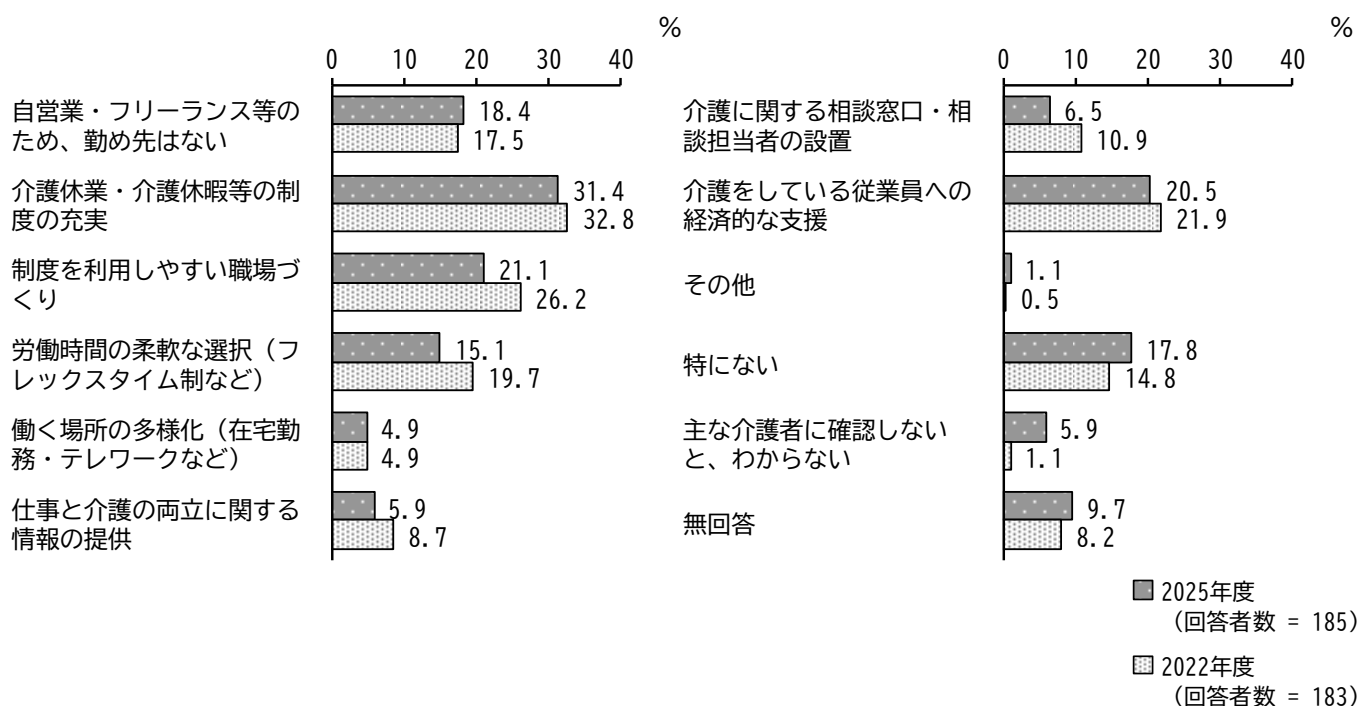
単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	33.0	40.5	24.3	3.8	11.4	1.1	3.2
30代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
40代	12	25.0	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0
50代	61	27.9	37.7	21.3	0.0	16.4	1.6	4.9
60代	84	28.6	46.4	28.6	7.1	9.5	1.2	3.6
70代	20	70.0	20.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0
80歳以上	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問 18－2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【○は3つまで】

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 21.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 20.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が減少しています。



【認定度別】

認定度別にみると、要支援１から要介護３まで認定度が上がるほど「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。また、要支援１で「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、要支援２以降では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	18.4	31.4	21.1	15.1	4.9	5.9	6.5	20.5	1.1	17.8	5.9	9.7
要支援１	8	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0
要支援２	45	11.1	28.9	17.8	13.3	0.0	6.7	8.9	15.6	0.0	24.4	8.9	11.1
要介護１	45	8.9	46.7	31.1	20.0	2.2	6.7	2.2	24.4	2.2	17.8	4.4	11.1
要介護２	44	27.3	25.0	18.2	11.4	6.8	4.5	11.4	20.5	0.0	13.6	2.3	13.6
要介護３	17	23.5	23.5	11.8	11.8	5.9	0.0	5.9	29.4	5.9	11.8	5.9	5.9
要介護４	22	40.9	31.8	27.3	18.2	13.6	0.0	0.0	22.7	0.0	13.6	0.0	0.0
要介護５	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0

【主な介護者別】

主な介護者別にみると、子の配偶者で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	18.4	31.4	21.1	15.1	4.9	5.9	6.5	20.5	1.1	17.8	5.9	9.7
配偶者	15	20.0	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	33.3	6.7	6.7
子	116	18.1	29.3	18.1	17.2	6.0	6.0	6.9	23.3	1.7	15.5	6.0	12.9
子の配偶者	33	15.2	48.5	42.4	15.2	6.1	9.1	9.1	21.2	0.0	12.1	6.1	0.0
孫	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
兄弟・姉妹	7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3

【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、70代から30代まで介護者の年齢が下がるほど「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高く、50代から80歳以上まで介護者の年齢が上がるほど「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」の割合が高くなっています。

単位：％

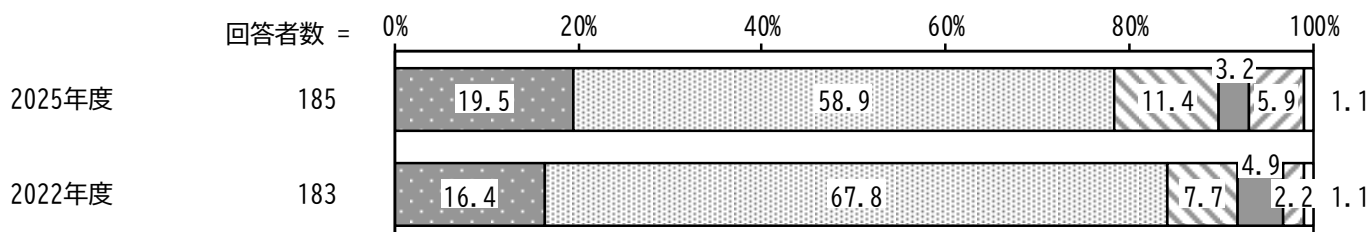
区分	回答者数(件)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	185	18.4	31.4	21.1	15.1	4.9	5.9	6.5	20.5	1.1	17.8	5.9	9.7
30代	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	12	25.0	58.3	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0
50代	61	9.8	27.9	23.0	13.1	4.9	3.3	3.3	26.2	1.6	14.8	6.6	16.4
60代	84	17.9	35.7	21.4	20.2	6.0	7.1	7.1	22.6	1.2	19.0	6.0	6.0
70代	20	50.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	25.0	5.0	10.0
80歳以上	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0

問 18-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。【○は1つ】

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 19.5%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が 11.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が減少し、「続けていくのは、やや難しい」の割合が増加しています。

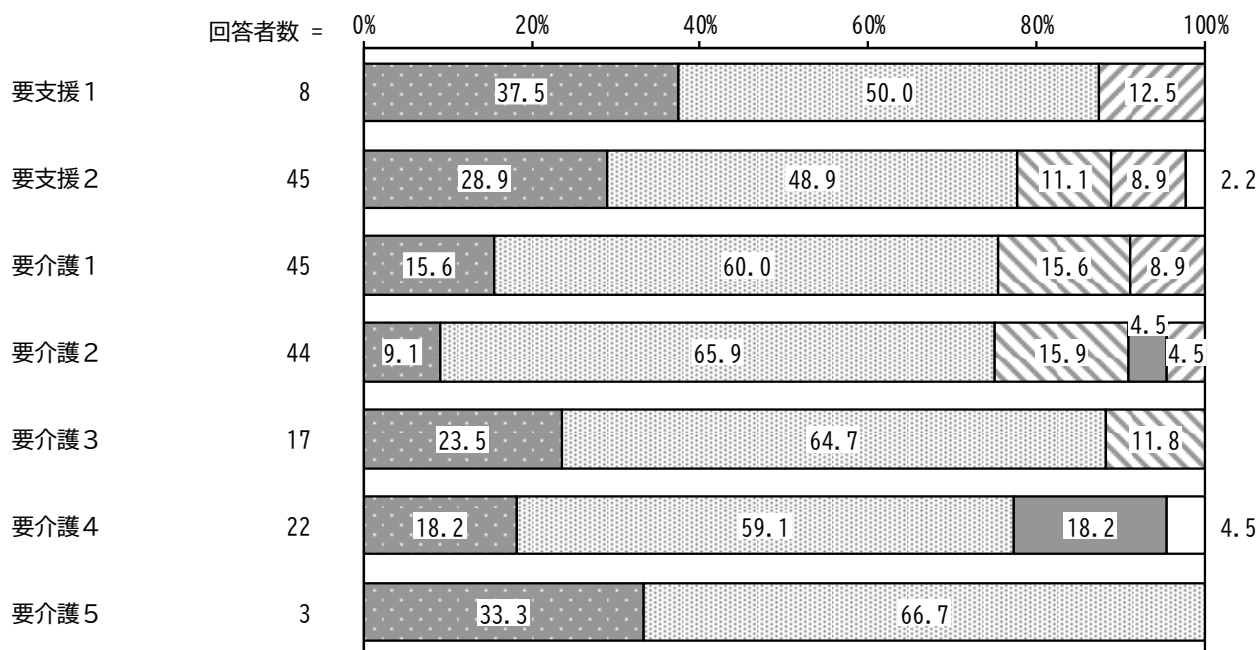
- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答



【認定度別】

認定度別にみると、要支援1から要介護2まで認定度が上がるほど「続けていくのは、やや難しい」の割合が高く、「問題なく、続けていける」の割合が低くなっています。また、要支援2で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が低くなっています。

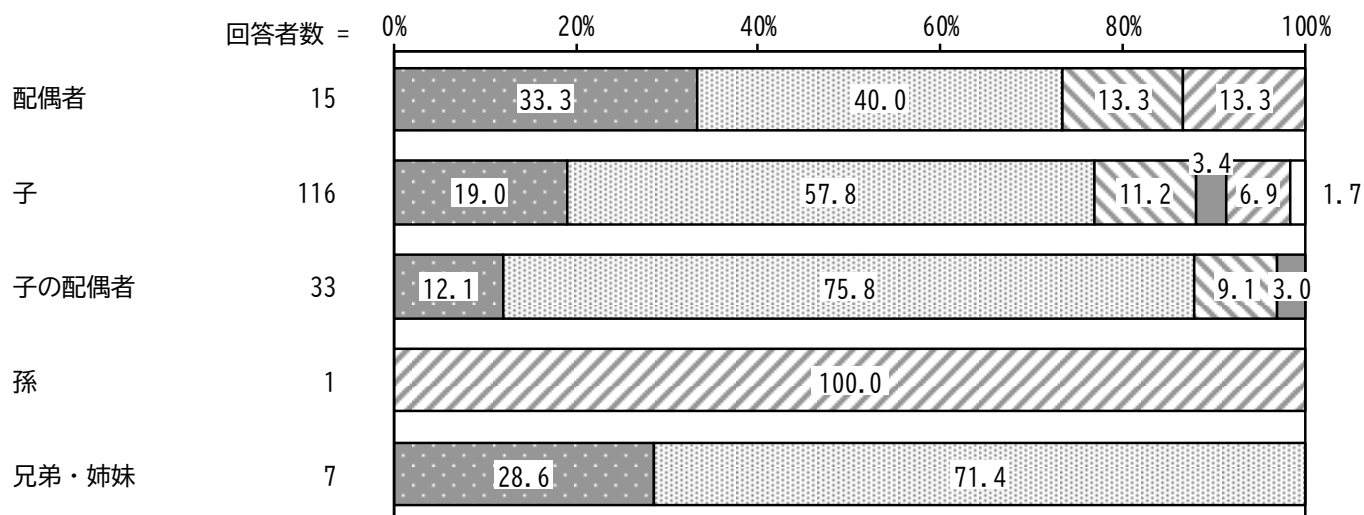
- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答



【主な介護者別】

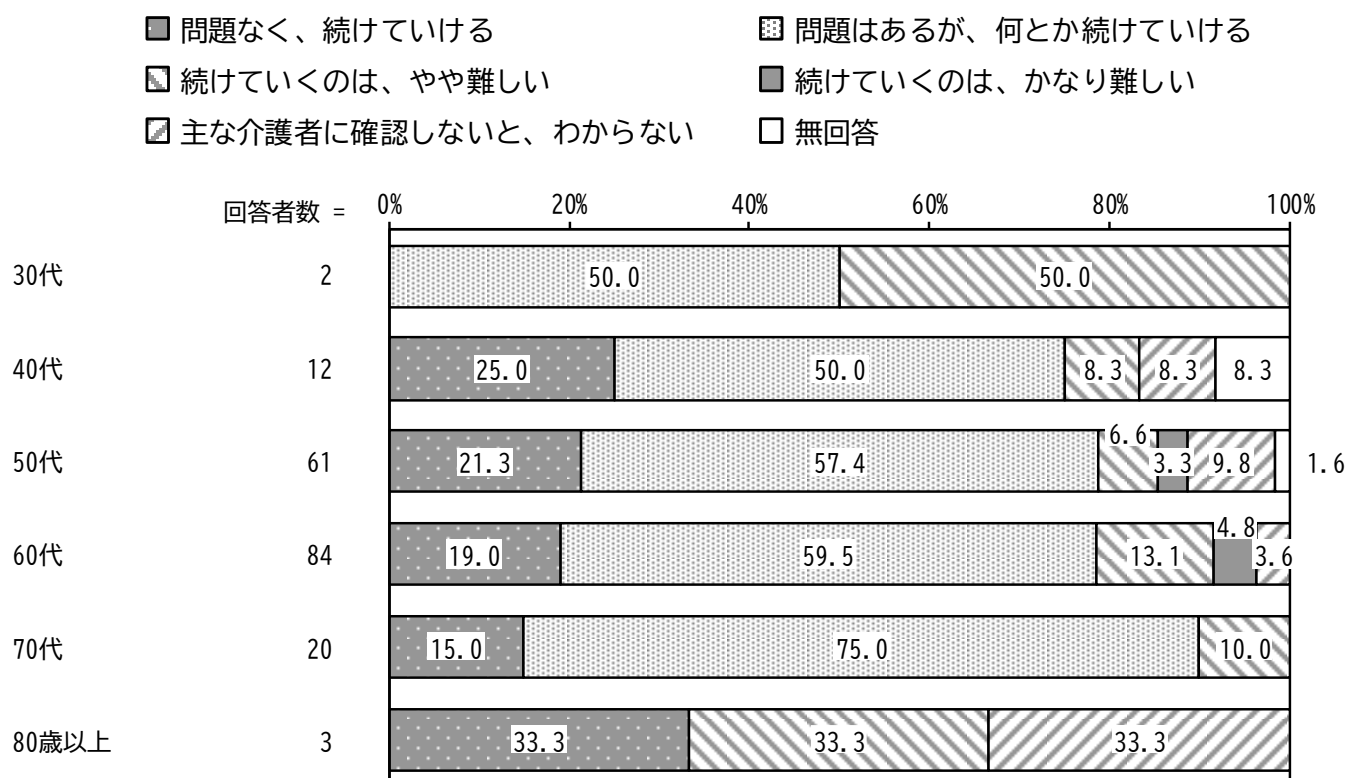
主な介護者別にみると、配偶者で「問題なく、続けていける」、子の配偶者で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。

- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答



【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、20代から70代まで介護者の年齢が上がるほど「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高い傾向にあります。



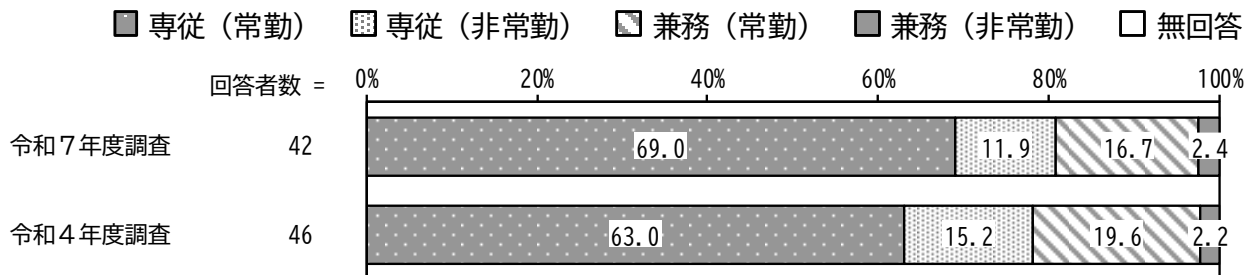
3 介護支援専門員アンケート調査

1. あなたご自身について

問1 あなたの勤務形態は次のどれに該当しますか。【1つを選択】

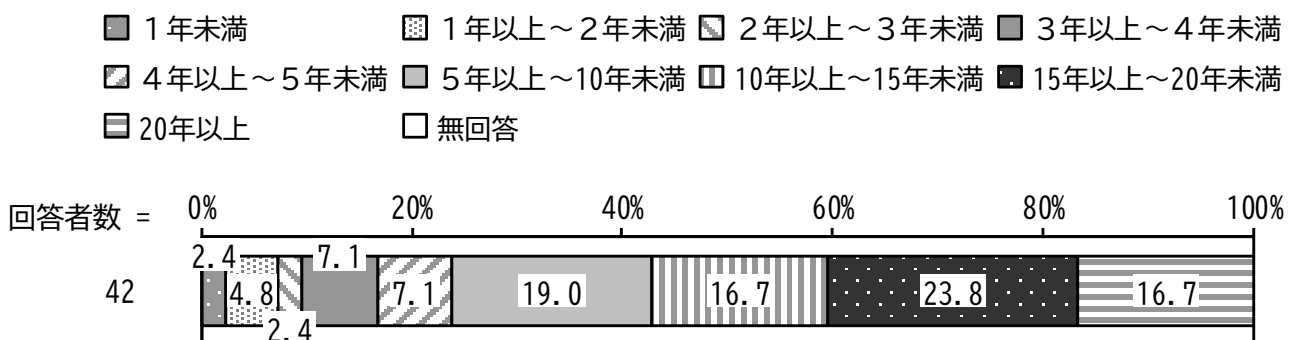
「専従（常勤）」の割合が69.0%と最も高く、次いで「兼務（常勤）」の割合が16.7%、「専従（非常勤）」の割合が11.9%となっています。

2022年度調査と比較すると、「専従（常勤）」の割合が増加しています。



問2 あなたの介護支援専門員としての経験年数をお答えください。【1つを選択】

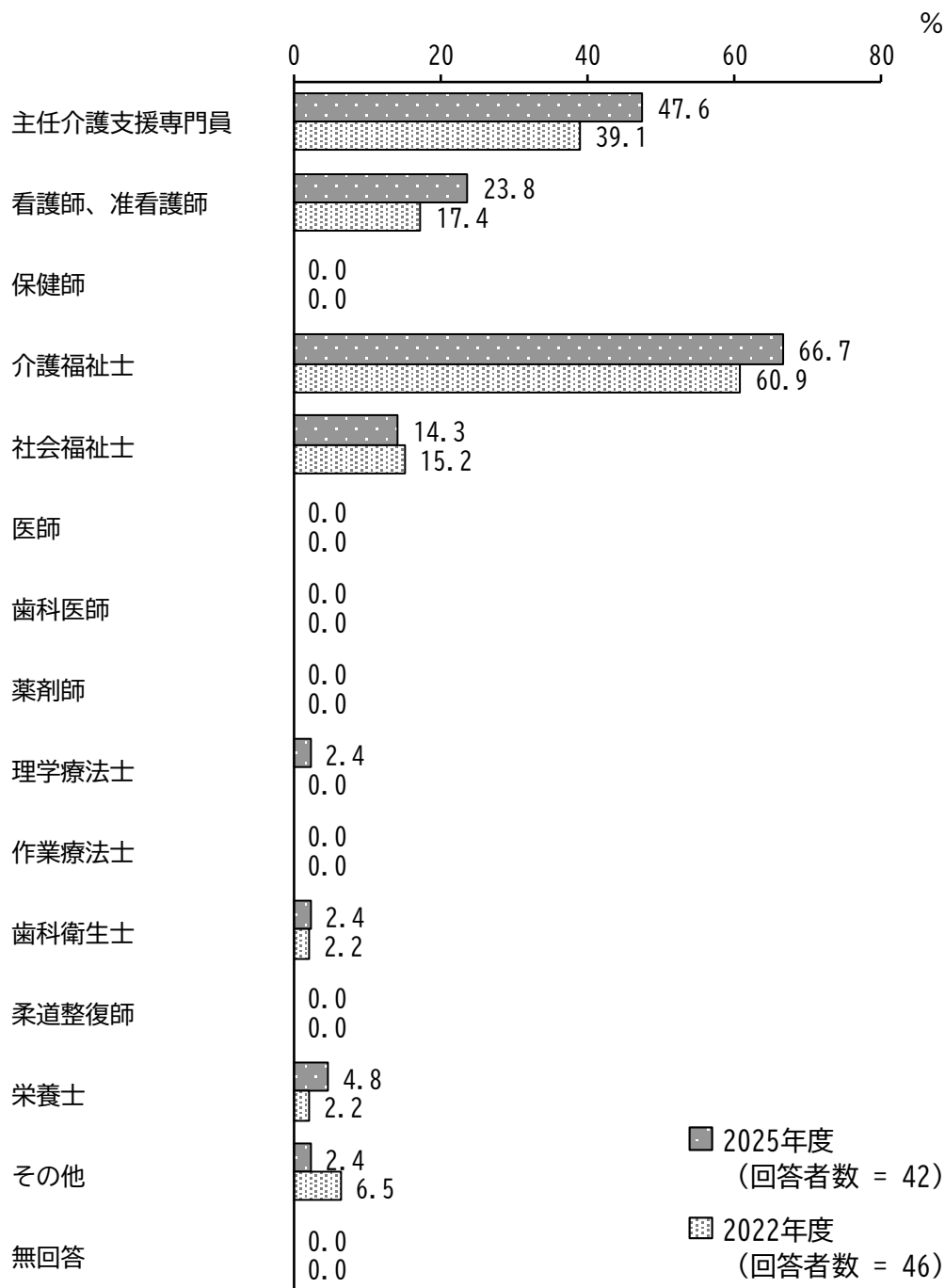
「15年以上～20年未満」の割合が23.8%と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」の割合が19.0%、「10年以上～15年未満」の割合が16.7%となっています。



問3 あなたは次の資格の中でどれをお持ちですか。【複数選択可】

「介護福祉士」の割合が66.7%と最も高く、次いで「主任介護支援専門員」の割合が47.6%、「看護師、准看護師」の割合が23.8%となっています。

2022年度調査と比較すると、「主任介護支援専門員」「看護師、准看護師」「介護福祉士」の割合が増加しています。



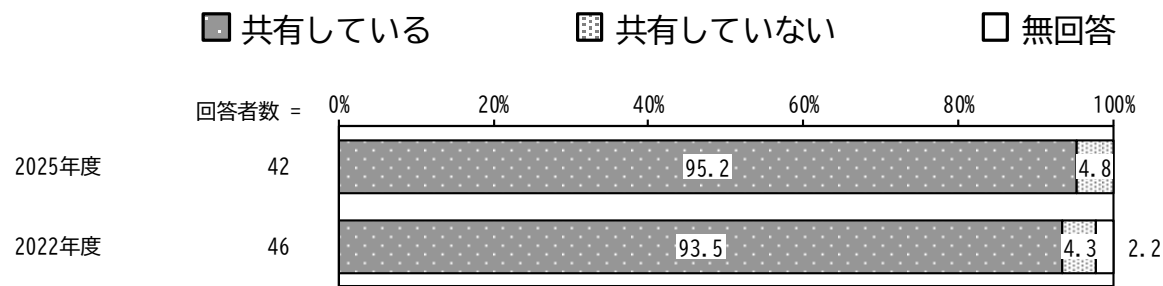
2. ケアプランの作成について

問4 あなたが令和4年12月時点で担当しているケアプランの件数は何件ですか。（それぞれ数字を記入、また要介護度ごとに内訳を記入）

	全体	合計	平均	最大値	最小値	参考(2022年度平均)
要介護1	33	218	6.6	12	1	7.9
要介護2	33	237	7.2	13	1	7.3
要介護3	31	146	4.7	10	1	5.1
要介護4	32	141	4.4	10	1	3.8
要介護5	27	73	2.7	5	1	2.3
要支援1	31	76	2.5	8	1	2.7
要支援2	39	287	7.4	23	1	5.8
事業対象者	26	129	5.0	33	1	2.7

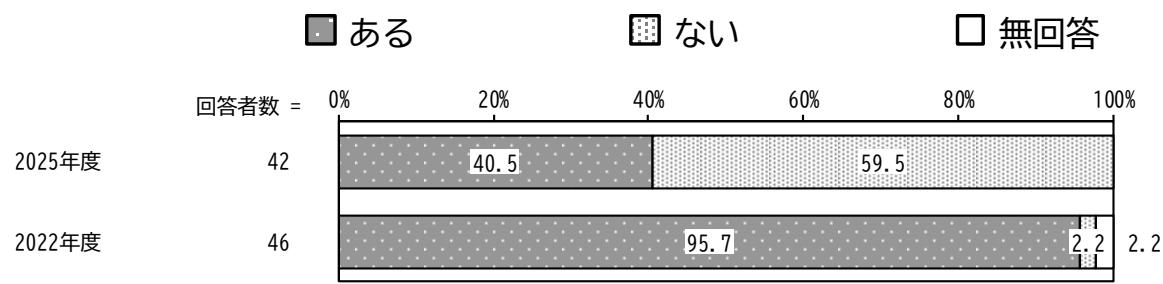
問5 あなたが勤務する事業所内において、ケアプランに係る情報を共有していますか。【1つを選択】

「共有している」の割合が95.2%、「共有していない」の割合が4.8%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 直近3か月の間に、ケアプランで困ったことがありましたか。【1つを選択】

「ある」の割合が40.5%、「ない」の割合が59.5%となっています。
2022年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。

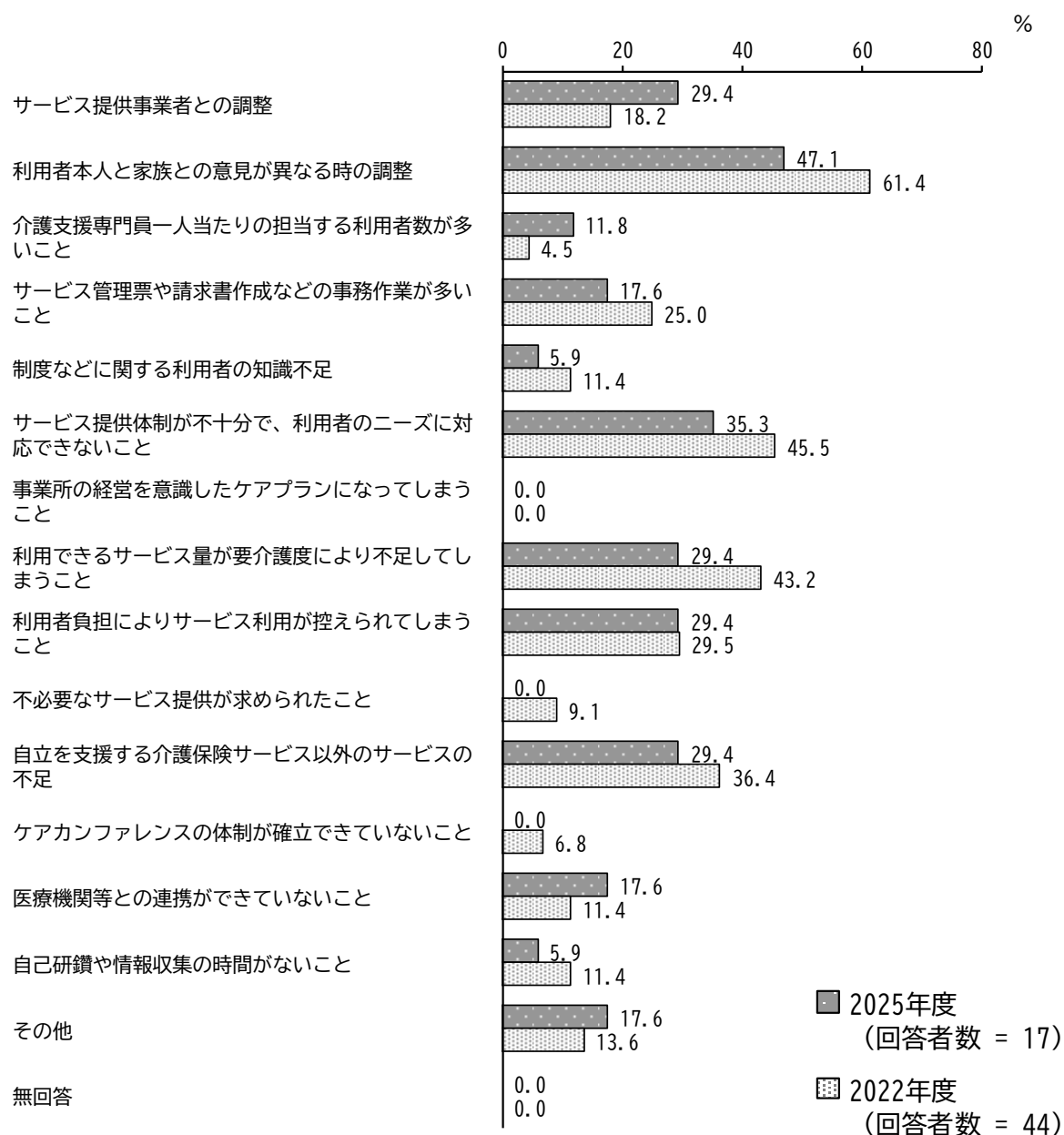


問6-1 困ったことの内容は何ですか。【5つまで選択可】

問6で【ある】を選んだ方のみご回答ください。

「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと」の割合が 35.3%、「サービス提供事業者との調整」、「利用できるサービス量が要介護度により不足してしまうこと」、「利用者負担によりサービス利用が控えられてしまうこと」、「自立を支援する介護保険サービス以外のサービスの不足」の割合が 29.4%となっています。

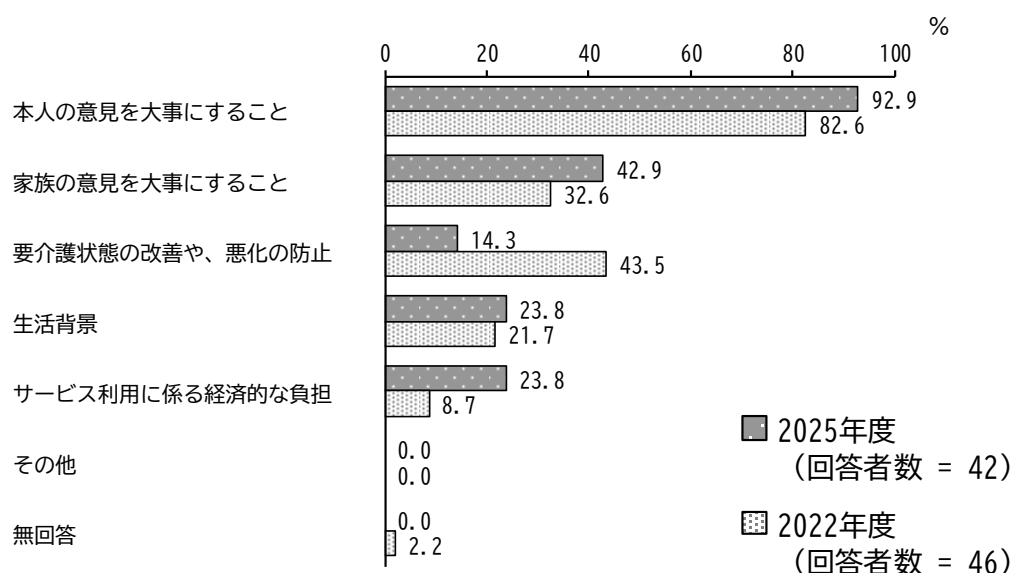
2022 年度調査と比較すると、「サービス提供事業者との調整」「介護支援専門員一人当たりの担当する利用者数が多いこと」「医療機関等との連携ができていないこと」の割合が増加しています。一方、「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整」「サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと」「制度などに関する利用者の知識不足」「サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと」「利用できるサービス量が要介護度により不足してしまうこと」「不必要なサービス提供が求められたこと」「自立を支援する介護保険サービス以外のサービスの不足」「ケアカンファレンスの体制が確立できていないこと」「自己研鑽や情報収集の時間がないこと」の割合が減少しています。



問7 ケアプランを立てるにあたり、どのようなことに気をつけていますか。【2つまで選択】

「本人の意見を大事にすること」の割合が 92.9%と最も高く、次いで「家族の意見を大事にすること」の割合が 42.9%、「生活背景」、「サービス利用に係る経済的な負担」の割合が 23.8%となっています。

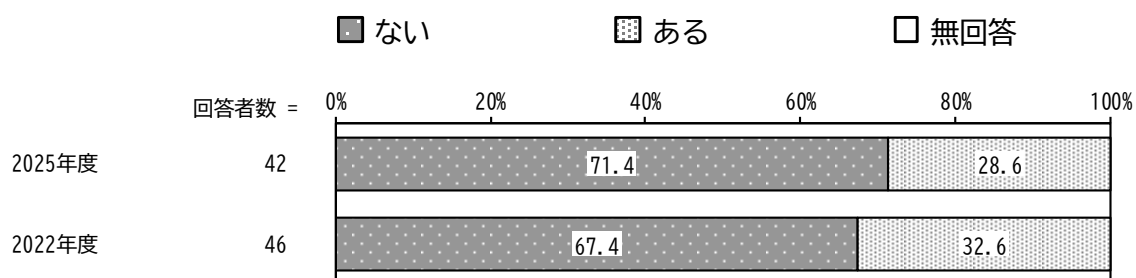
2022 年度調査と比較すると、「本人の意見を大事にすること」「家族の意見を大事にすること」「サービス利用に係る経済的な負担」の割合が増加しています。一方、「要介護状態の改善や、悪化の防止」の割合が減少しています。



問8 ケアプランの作成を断ったことがありますか。【1つを選択】

「ない」の割合が 71.4%、「ある」の割合が 28.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8-1 その理由を教えてください。

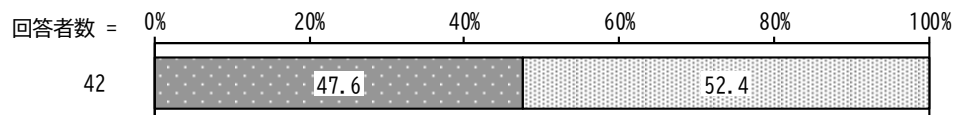
問8で【ある】を選んだ方のみご回答ください。

- ・多忙。
- ・担当件数が多いため。
- ・コロナ感染蔓延の時期に制限していたことがあります。
- ・緊急の依頼で、依頼者の希望訪問日時に他の予定があり、断った。
- ・市外のため、その土地のサービス資源の情報を収集できておらず、適切な提案ができない事と緊急時に訪問ができない事。
- ・担当人数が多く、新規の対応が出来なかった。介護保険で対応できないサービスの依頼だった。
- ・先方の指定する契約日時に対応出来なかったため。
- ・担当件数が、いっぱいだったため。
- ・新規の依頼が重なり、対応出来なかったため。
- ・本人の自立度が高く、希望されるサービスが不要と判断されるため。
- ・要介護判定がでたため。
- ・看取りの方のプラン作成の難しさ。

問9 直近1年間で、利用者からケアプランにあるサービスの利用を断られたことがありますか。【1つを選択】

「ある（1～10件／年）」の割合が52.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が47.6%となっています。

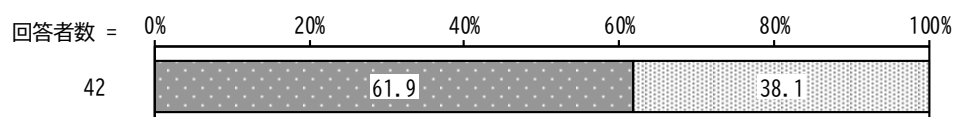
■ ない ■ ある（1～10件／年） ■ ある（11～20件／年）
■ ある（21件以上／年） □ 無回答



問10 直近1年間で、サービス提供事業者からサービス提供を拒否されたことがありますか。【1つを選択】

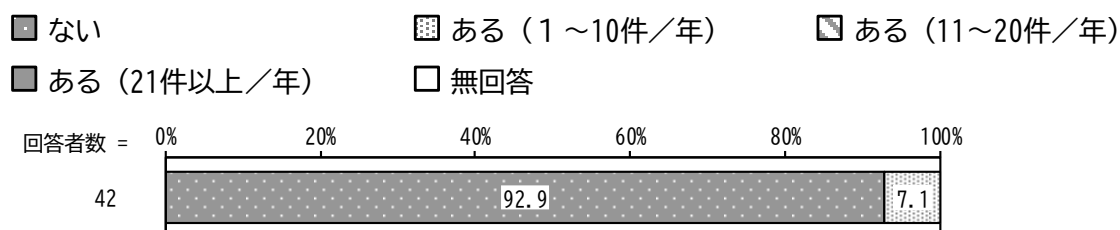
「ない」の割合が61.9%と最も高く、次いで「ある（1～10件／年）」の割合が38.1%となっています。

■ ない ■ ある（1～10件／年） ■ ある（11～20件／年）
■ ある（21件以上／年） □ 無回答



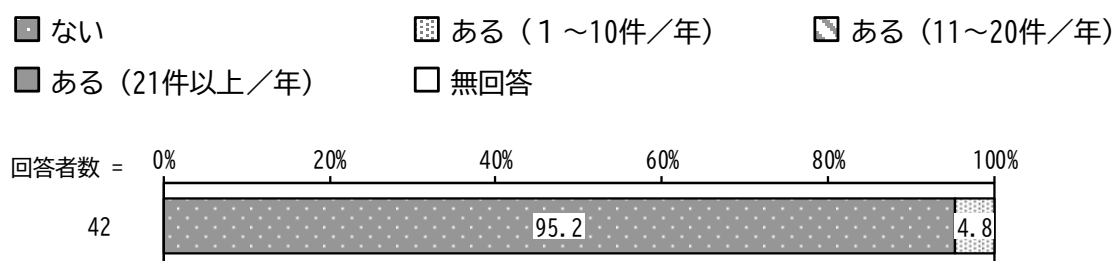
問 11 直近1年間で、サービス提供事業者から利用者が希望していないサービスをケアプランに組み入れるように求められたことがありますか。【1つを選択】

「ない」の割合が92.9%と最も高くなっています。



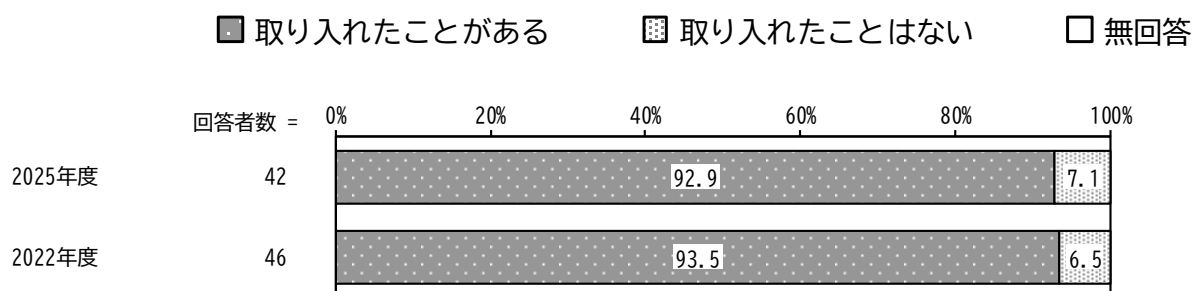
問 12 直近1年間で、利用者の意に反して特定のサービスや事業者に偏ったケアプランとなっていましたか。【1つを選択】

「ない」の割合が95.2%と最も高くなっています。



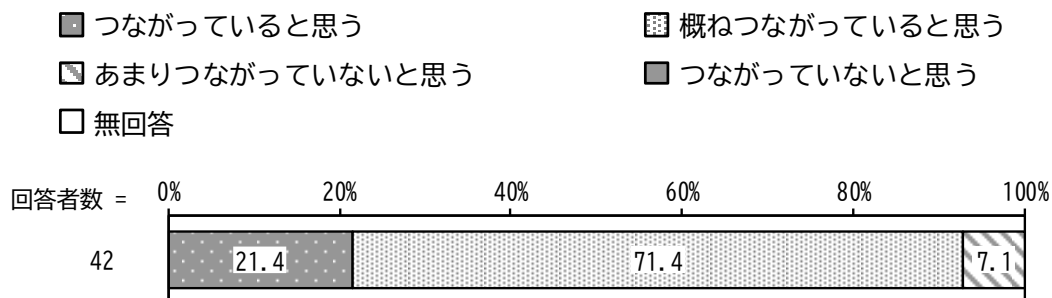
問 13 ケアプランに介護保険以外のサービスを取り入れていますか。令和7年10月、11月の実績でお答えください。【1つを選択】

「取り入れたことがある」の割合が92.9%となっています。
2022年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



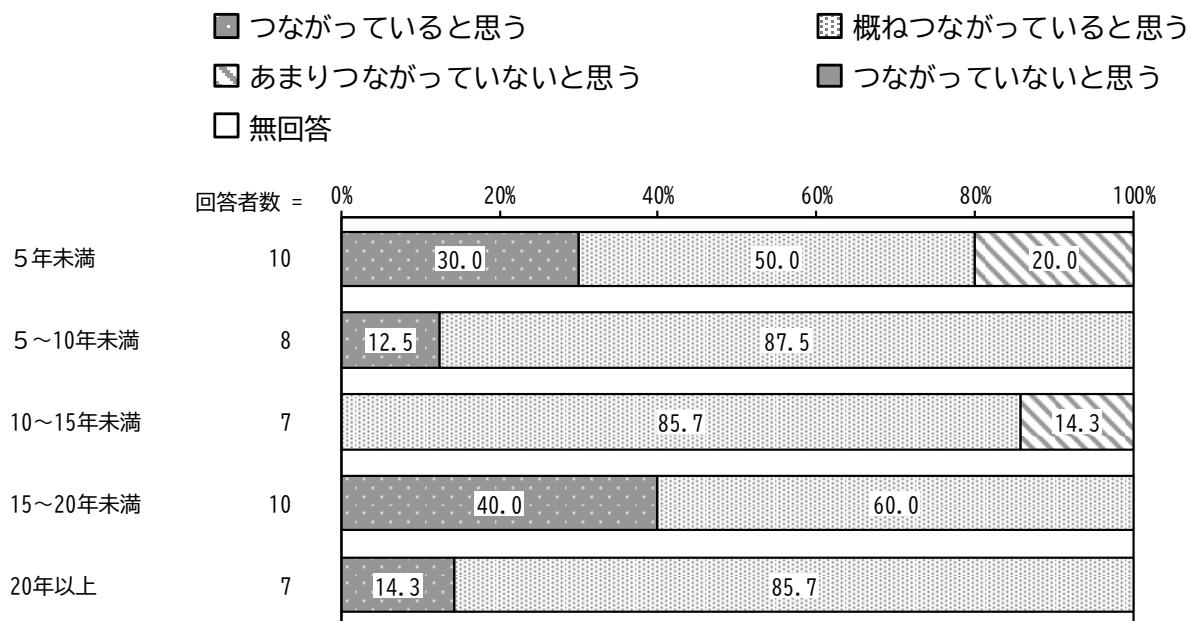
問 14 ケアプランが利用者の自立支援につながっていると思いますか。【1つを選択】

「概ねつながっていると思う」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「つながっていると思う」の割合が 21.4%となっています。



【経験年数別】

経験年数別にみると、15～20 年未満から 5～10 年未満まで年数が短いほど「概ねつながっていると思う」の割合が高く、15～20 年未満から 10～15 年未満まで年数が短いほど「あまりつながっていないと思う」の割合が高くなっています。また、5 年未満で「あまりつながっていないと思う」の割合が高く、15～20 年未満で「つながっていると思う」「概ねつながっていると思う」の割合が高くなっています。



問 14-1 自立につながっていない理由は何だと思いますか。

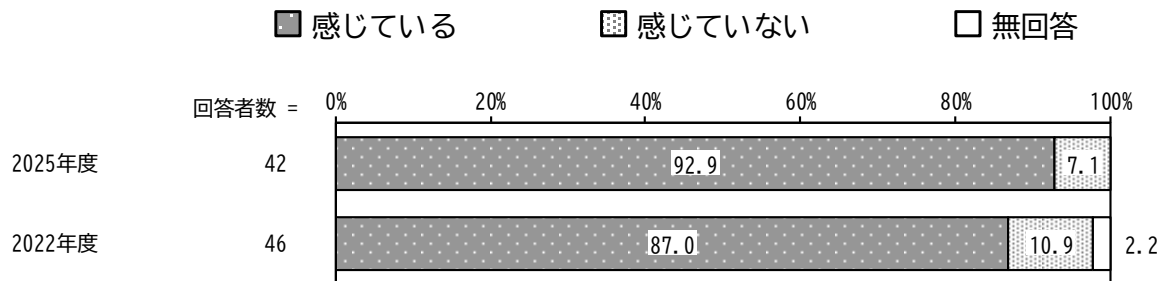
問 14 で【あまりつながっていないと思う】または【つながっていないと思う】を選んだ方のみご回答ください。

- ・ 本人の意識（意思）の弱さ、自己中心さ。家族の意向の強さ、自己中心さ。サービス提供事業所と家族の都合でできる所を奪ってしまう所。ケアマネも何でも屋に思われている（ケアマネも本来やらなくてもいい事をしてしまう方もあると思う。やらざるを得ない事もあります。）
- ・ サービスを利用する事で、状態が改善したりする事は少ない。
- ・ 利用者サイドはやってもらえる受け身、権利受容意識。

3. 業務について

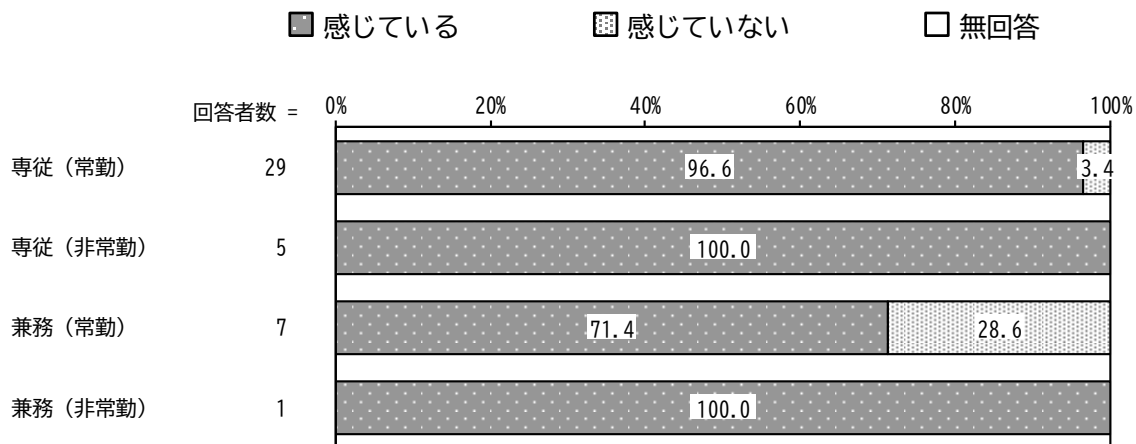
問 15 あなたは、現在の業務にやりがいを感じていますか。【1つを選択】

「感じている」の割合が 92.9%、「感じていない」の割合が 7.1%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「感じている」の割合が増加しています。



【勤務形態別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



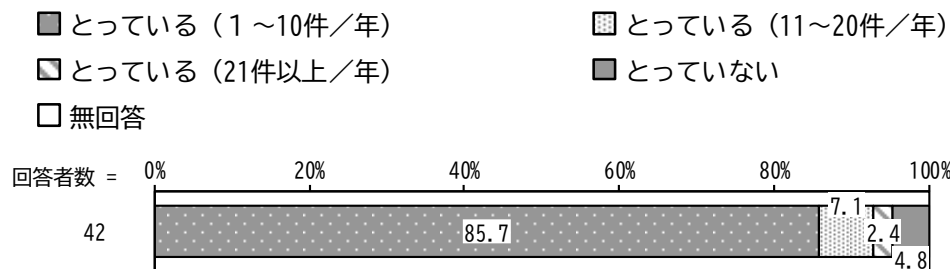
問 15-1 感じていないのは、どのようなことからですか。

問 15 で【感じていない】を選んだ方のみご回答ください。

- ・ケアマネに求められることが多すぎる。業務を超えた対応をせざるを得ない状況が多すぎる。対価に見合った業務量とは思えないため、長く続けていくことは考えていない。
- ・独居の利用者支援について、緊急時の対応等に意見が合わず、支援についての思いを聞いてもらえない。
- ・他にやるべきことがあると感じているから。

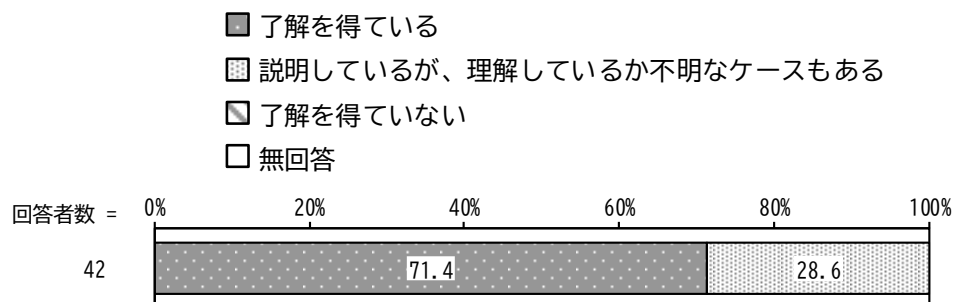
問 16 利用者の病状や健康状態について、主治医と連絡をとっていますか。直近 1 年間の状況を教えてください。【1 つを選択】

「とっている（1～10 件／年）」の割合が 85.7%と最も高くなっています。



問 17 利用者との契約の際、契約の内容について説明し、了解を得ていますか。直近 1 年間の状況を教えてください。【1 つを選択】

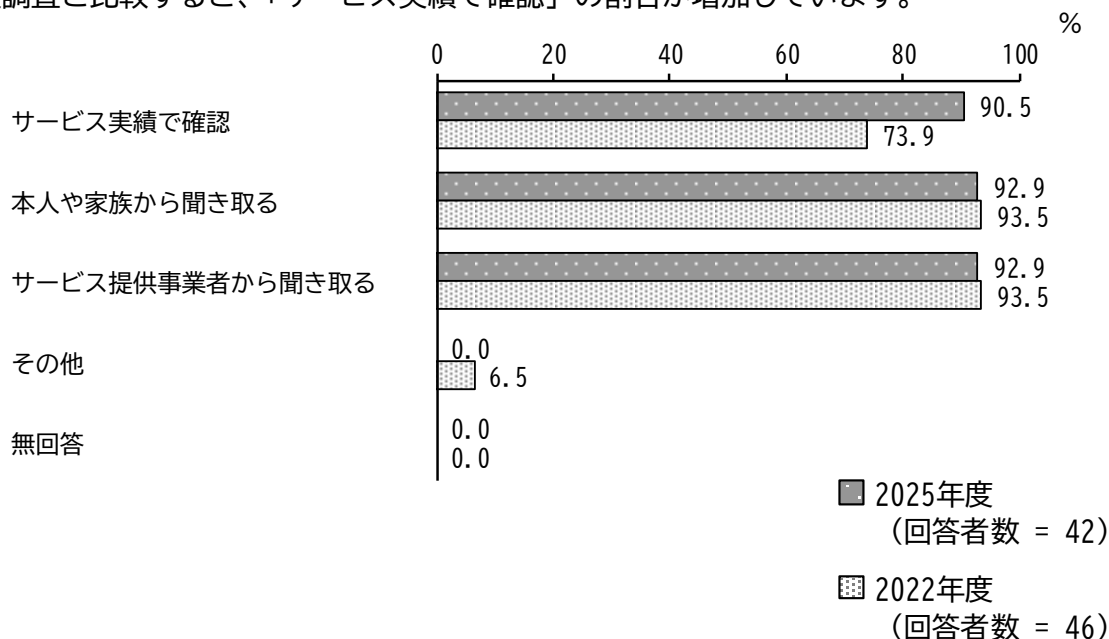
「了解を得ている」の割合が 71.4%、「説明しているが、理解しているか不明なケースもある」の割合が 28.6%となっています。



問 18 利用されたサービスの確認はどのようにしていますか。【複数選択可】

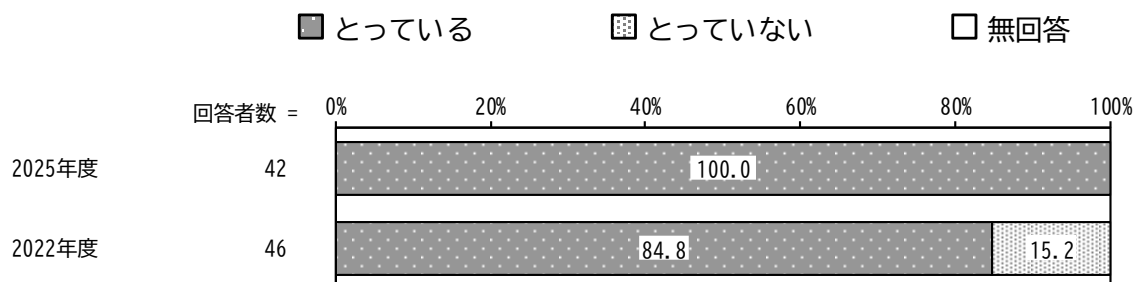
「サービス実績で確認」の割合が 90.5%、「本人や家族から聞き取る」、「サービス提供事業者から聞き取る」の割合が 92.9%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「サービス実績で確認」の割合が増加しています。



問 19 介護サービスだけでは処遇が困難な場合、地域包括支援センターと連携をとっていますか。【1つを選択】

「とっている」の割合が100.0%となっています。
2022年度調査と比較すると、「とっている」の割合が増加しています。



問 19-1 処遇が困難な場合に、地域包括支援センターと連携をとっていない理由を教えてください。

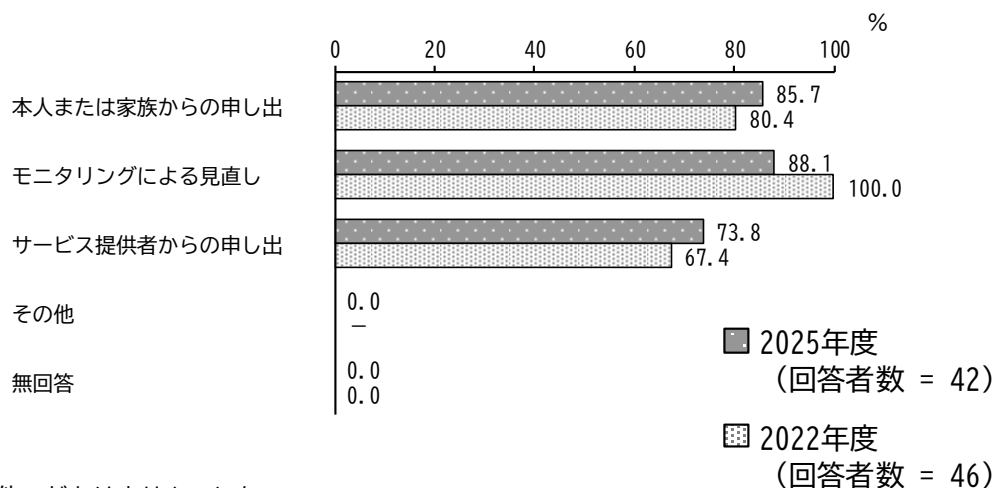
問 19 で【とっていない】を選んだ方のみご回答ください。

- ・ サービス事業所との連携。
- ・ 介護サービスについて再度説明。サービス事業者との連携。(サービス担当者会議開催)
- ・ 関係各者より聞き取りを行い、客観的な判断の上で解決案を皆で話し合う。
- ・ 信頼関係が築けず、解約した。
- ・ 話をよく伺い、不満な点を調整。
- ・ 事業所と一緒に説明をした。
- ・ 利用者、事業所に話を聞き、説明をした。
- ・ 双方の話を傾聴し、サービス事業所の管理者が謝罪していただいた。
- ・ サービス事業所へ時間・担当等調整できるか依頼する。できなければ、希望の叶う他の事業所を案内する。ケアマネの担当を交代希望があれば、まずは事業所内で交代している。
- ・ 事業所へ改善を求めた。
- ・ 傾聴と説明。納得できないなら事業所変更。
- ・ 双方の話を聞いて、妥協点を見出し対応した。
- ・ 納得いただけるまで話し合い解決した。
- ・ サービス事業所に伝え、対応を待つ。
- ・ 事業所の変更。
- ・ 事業者や市役所に報告。
- ・ 上司に報告し、対応をお願いした。
- ・ 事業所、利用者双方から聞き取りをした。結果的には別の事業所に対応してもらう事になった。
- ・ サービス事業者に伝え、改善方法を一緒に考えた。
- ・ ケアマネの交代、事業所から聞き取りを行い本人に説明。
- ・ 傾聴と改善策の検討。

問 20 利用者のケアプランの見直しはどのようにしていますか。【複数選択可】

「本人または家族からの申し出」の割合が 85.7%、「モニタリングによる見直し」の割合が 88.1%、「サービス提供者からの申し出」の割合が 73.8%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「本人または家族からの申し出」「サービス提供者からの申し出」の割合が増加しています。一方、「モニタリングによる見直し」の割合が減少しています。

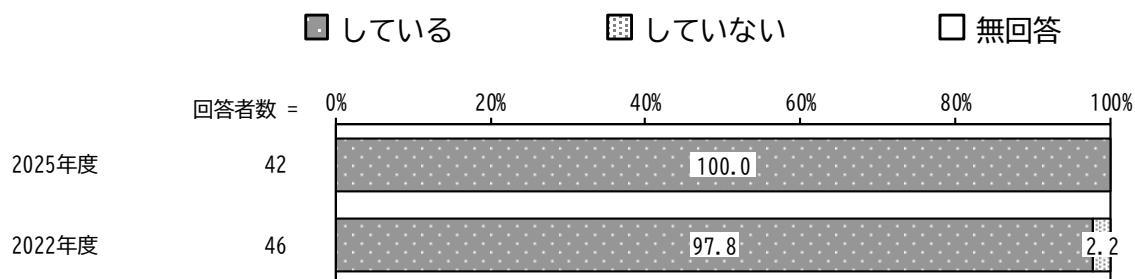


※2022 年度調査では、「その他」がありませんでした。

問 21 利用者に介護サービスの内容と利用料金の説明を十分していますか。【1つを選択】

「している」の割合が 100.0%となっています。

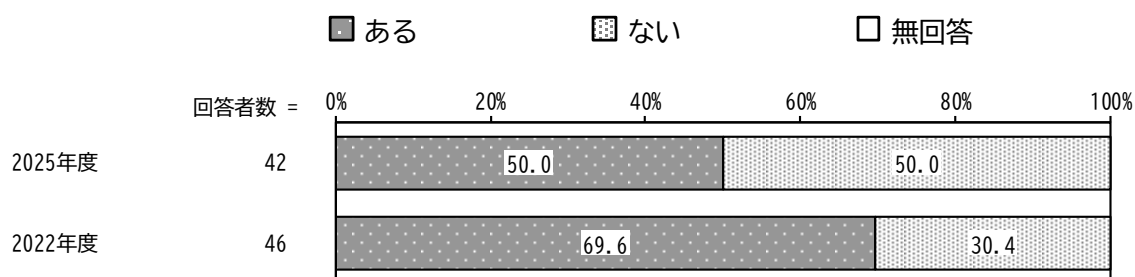
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 利用者から、苦情を受けたことがありますか。【1つを選択】

「ある」、「ない」の割合が 50.0%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

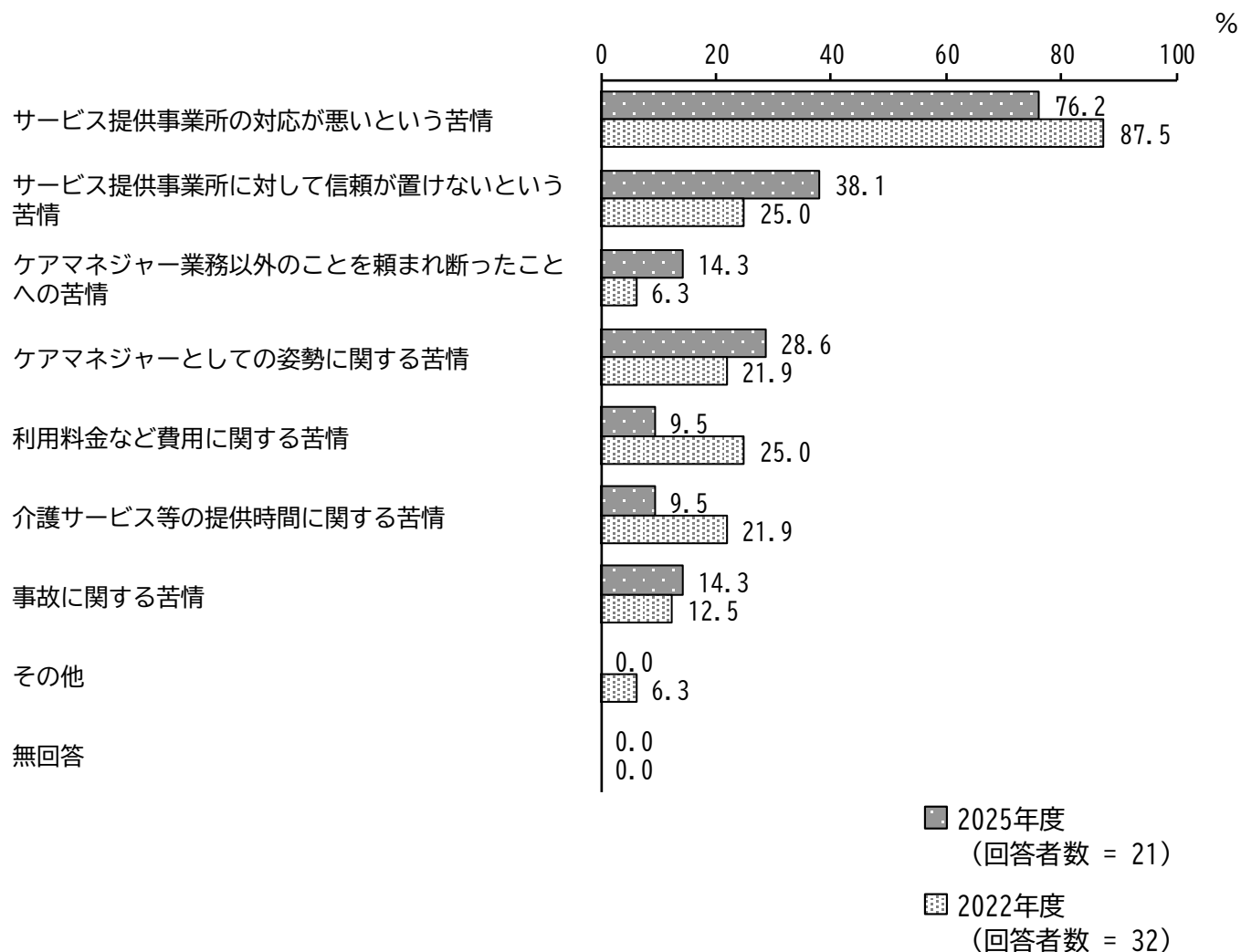


問 22－1 どういった苦情を受けたことがありますか。【複数選択可】

問 22 で【ある】を選んだ方のみご回答ください。

「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「サービス提供事業所に対して信頼が置けないという苦情」の割合が 38.1%、「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」の割合が 28.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「サービス提供事業所に対して信頼が置けないという苦情」「ケアマネジャー業務以外のことを頼まれ断ったことへの苦情」「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」の割合が増加しています。一方、「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」「利用料金など費用に関する苦情」「介護サービス等の提供時間に関する苦情」の割合が減少しています。



問 22－2 苦情について、どのように対応しましたか。

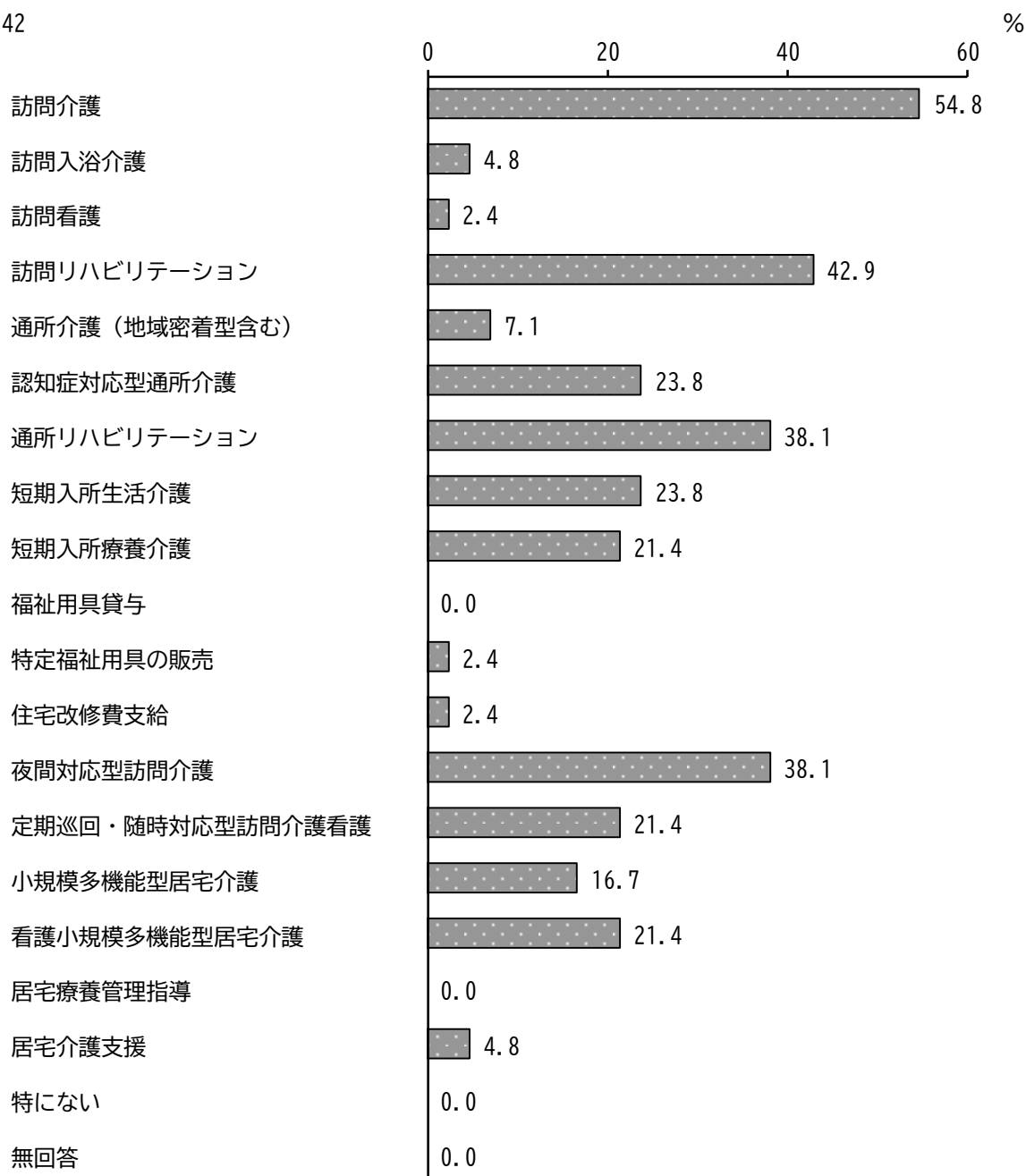
問 22 で【ある】を選んだ方のみご回答ください。

- ・ サービス事業所との連携。
- ・ 介護サービスについて再度説明。サービス事業者との連携。（サービス担当者会議開催）
- ・ 関係各者より聞き取りを行い、客観的な判断の上で解決案を皆で話し合う。
- ・ 信頼関係が築けず、解約した。
- ・ 話をよく伺い、不満な点を調整。
- ・ 事業所と一緒に説明をした。
- ・ 利用者、事業所に話を聞き、説明をした。
- ・ 双方の話を傾聴し、サービス事業所の管理者が謝罪していただいた。
- ・ サービス事業所へ時間・担当等調整できるか依頼する。できなければ、希望の叶う他の事業所を案内する。ケアマネの担当を交代希望があれば、まずは事業所内で交代している。
- ・ 事業所へ改善を求めた。
- ・ 傾聴と説明。納得できないなら事業所変更。
- ・ 双方の話を聞いて、妥協点を見出し対応した。
- ・ 納得いただけるまで話し合い解決した。
- ・ サービス事業所に伝え、対応を待つ。
- ・ 事業所の変更。
- ・ 事業者や市役所に報告。
- ・ 上司に報告し、対応をお願いした。
- ・ 事業所、利用者双方から聞き取りをした。結果的には別の事業所に対応してもらう事になった。
- ・ サービス事業者に伝え、改善方法を一緒に考えた。
- ・ ケアマネの交代、事業所から聞き取りを行い本人に説明。
- ・ 傾聴と改善策の検討。

問 23 介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。【複数選択可】

「訪問介護」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「訪問リハビリテーション」の割合が 42.9%、「通所リハビリテーション」、「夜間対応型訪問介護」の割合が 38.1%となっています。

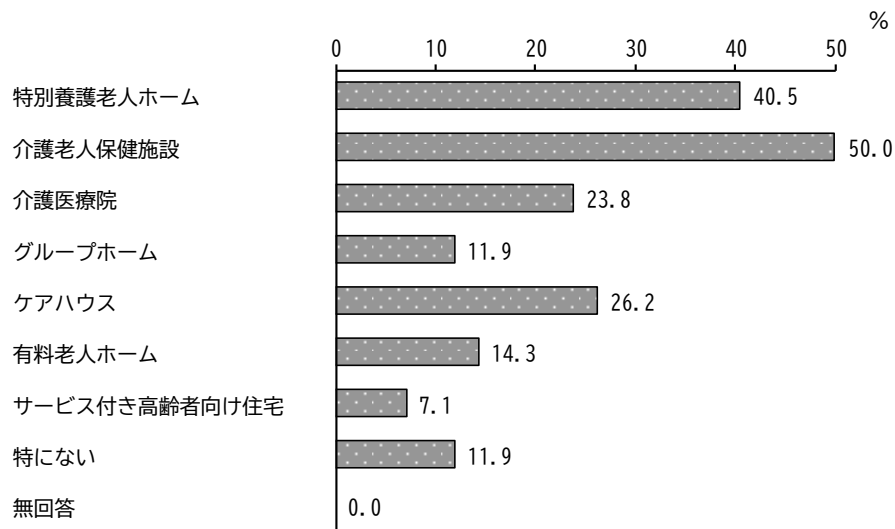
回答者数 = 42



問 24 住居系サービスの中で、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。【複数選択可】

「介護老人保健施設」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」の割合が 40.5%、「ケアハウス」の割合が 26.2%となっています。

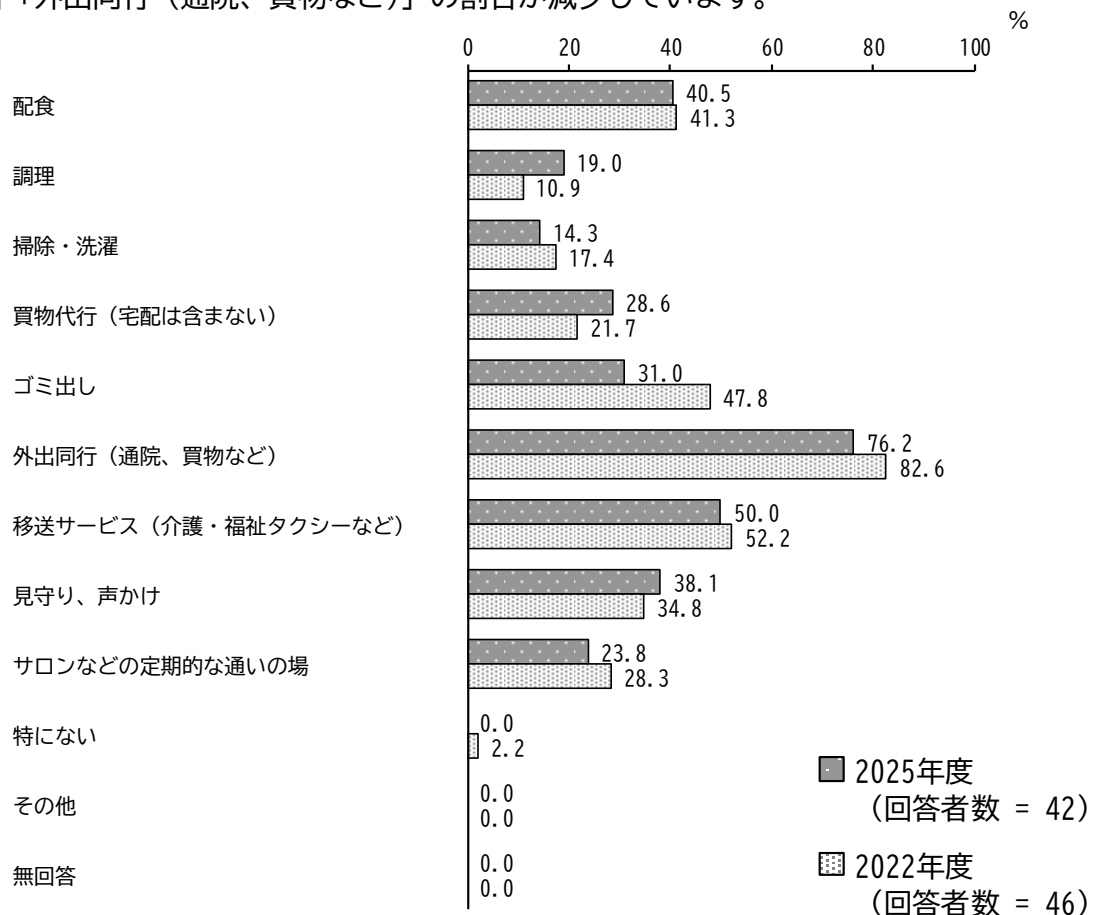
回答者数 = 42



問 25 家族の介護負担を軽減するために必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。【複数選択可】

「外出同行（通院、買物など）」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が 50.0%、「配食」の割合が 40.5%となっています。

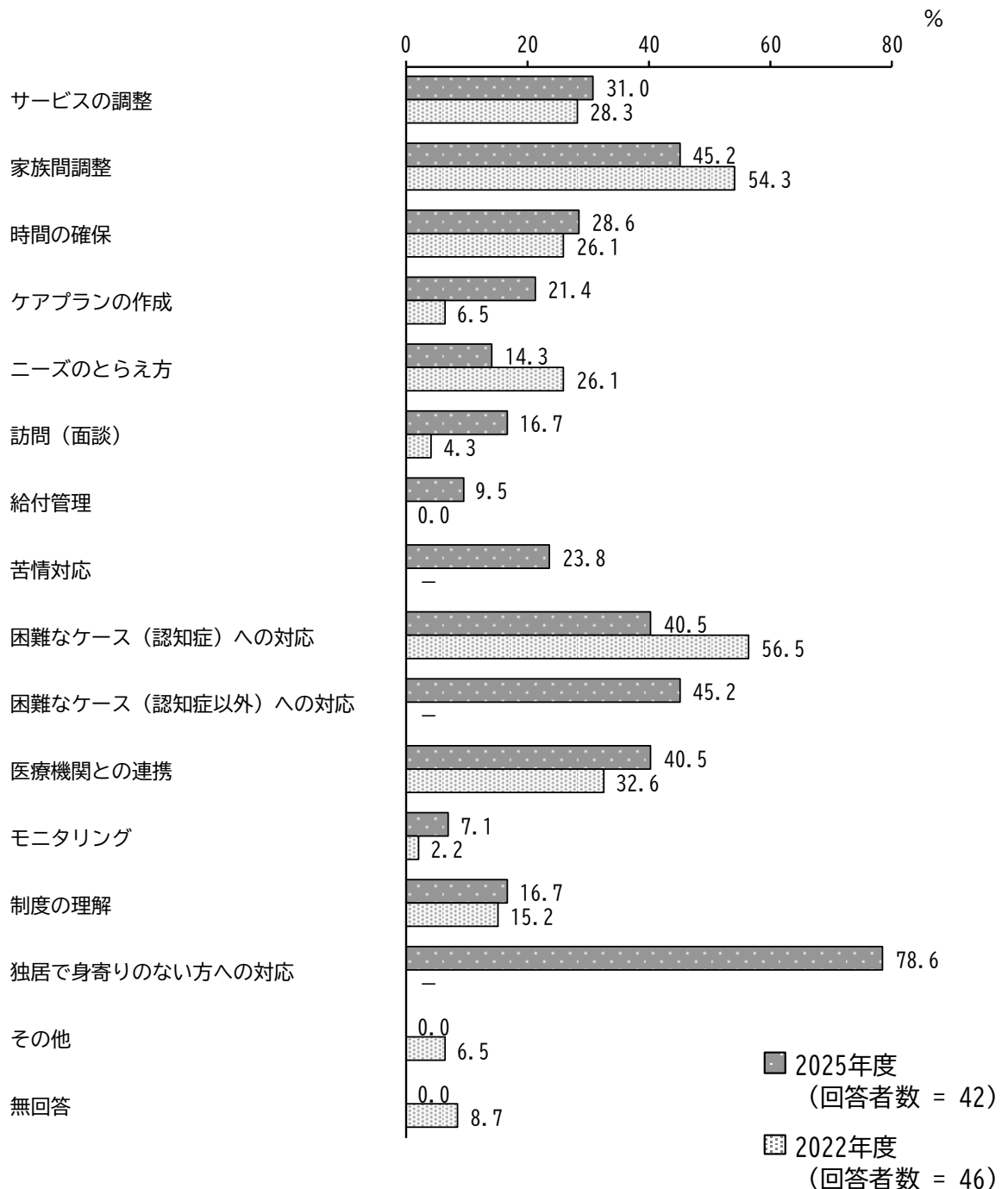
2022 年度調査と比較すると、「調理」「買物代行（宅配は含まない）」の割合が増加しています。一方、「ゴミ出し」「外出同行（通院、買物など）」の割合が減少しています。



問 26 介護支援専門員の業務として負担が大きいことは何ですか。【複数選択可】

「独居で身寄りのない方への対応」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「家族間調整」、「困難なケース（認知症以外）への対応」の割合が 45.2%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「ケアプランの作成」「訪問（面談）」「給付管理」「医療機関との連携」の割合が増加しています。一方、「家族間調整」「ニーズのとらえ方」「困難なケース（認知症）への対応」の割合が減少しています。



※2022 年度調査では、「苦情対応」、「困難なケース（認知症以外）への対応」、「独居で身寄りのない方への対応」がありませんでした。

【経験年数別】

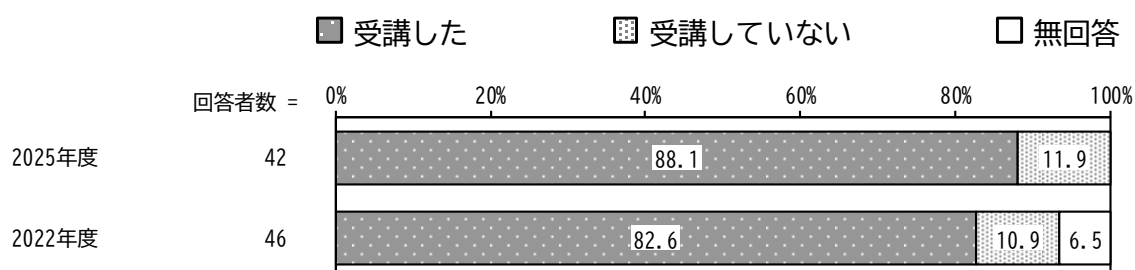
経験年数別にみると、年数が短いほど「訪問（面談）」の割合が高く、20 年以上から 5～10 年未満まで年数が短いほど「制度の理解」「独居で身寄りのない方への対応」の割合が高くなっています。また、5 年未満で「サービスの調整」「ケアプランの作成」「訪問（面談）」「医療機関との連携」の割合が高く、15～20 年未満で「家族間調整」「時間の確保」「ニーズのとらえ方」「モニタリング」「独居で身寄りのない方への対応」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	サービスの調整	家族間調整	時間の確保	ケアプランの作成	ニーズのとらえ方	訪問（面談）	給付管理	苦情対応	困難なケース（認知症）への対応	困難なケース（認知症以外）への対応	医療機関との連携	モニタリング	制度の理解	独居で身寄りのない方への対応	その他	無回答
全 体	42	31.0	45.2	28.6	21.4	14.3	16.7	9.5	23.8	40.5	45.2	40.5	7.1	16.7	78.6	0.0	0.0
5 年未満	10	50.0	20.0	10.0	40.0	10.0	30.0	10.0	20.0	50.0	50.0	30.0	0.0	10.0	70.0	0.0	0.0
5～10 年未満	8	0.0	50.0	75.0	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0	25.0	37.5	37.5	12.5	37.5	87.5	0.0	0.0
10～15 年未満	7	28.6	57.1	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	57.1	42.9	71.4	71.4	0.0	28.6	85.7	0.0	0.0
15～20 年未満	10	40.0	50.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	50.0	50.0	20.0	10.0	10.0	80.0	0.0	0.0
20 年以上	7	28.6	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	57.1	14.3	0.0	71.4	0.0	0.0

問 27 過去 1 年間に業務に関わる研修を受講しましたか。【1 つを選択】

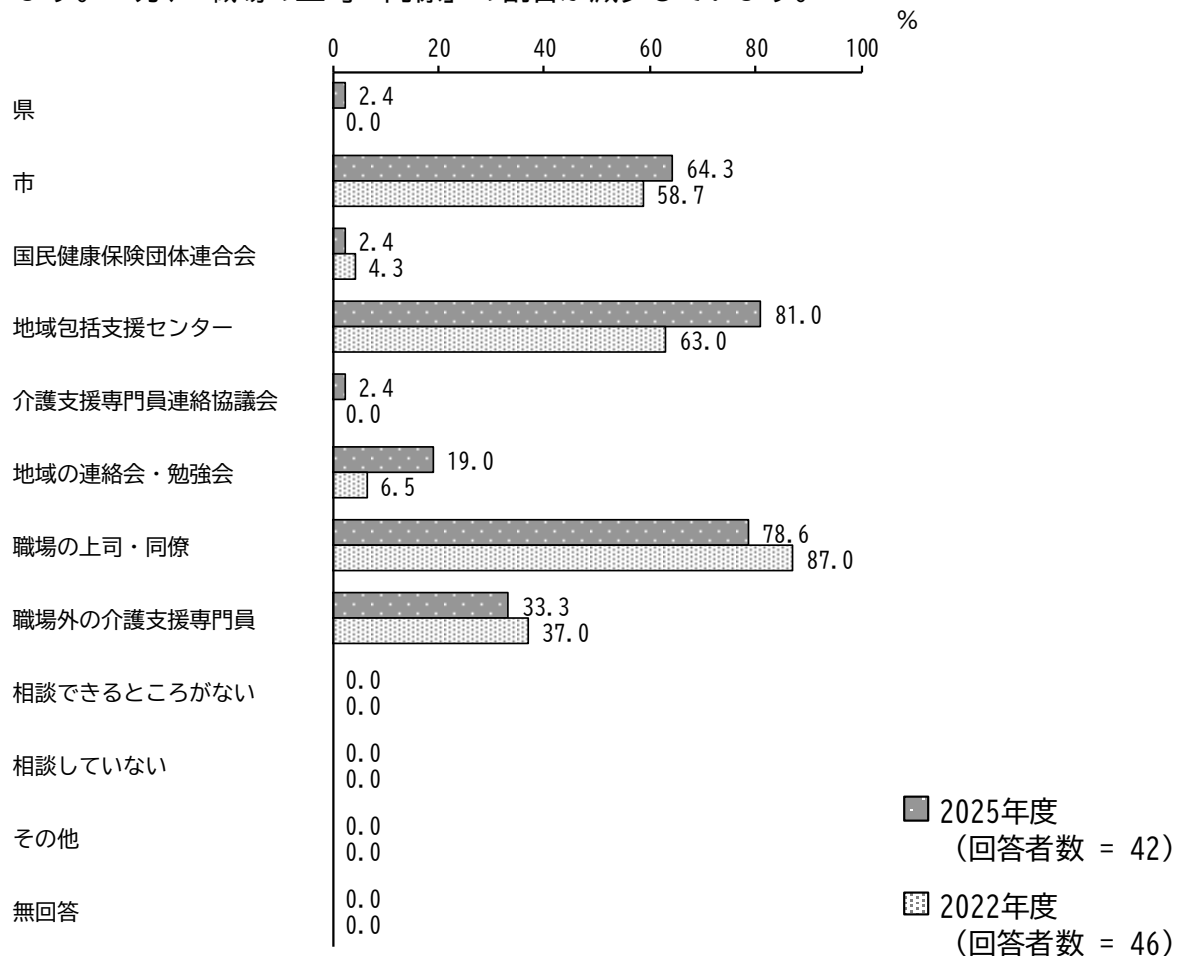
「受講した」の割合が 88.1%、「受講していない」の割合が 11.9%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「受講した」の割合が増加しています。



問 28 あなたが業務を進める上で困った時どこに相談していますか。【複数選択可】

「地域包括支援センター」の割合が 81.0%と最も高く、次いで「職場の上司・同僚」の割合が 78.6%、「市」の割合が 64.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「市」「地域包括支援センター」「地域の連絡会・勉強会」の割合が増加しています。一方、「職場の上司・同僚」の割合が減少しています。



【経験年数別】

経験年数別にみると、5～10 年未満から 20 年以上まで年数が長いほど「地域包括支援センター」「職場外の介護支援専門員」の割合が高く、10～15 年未満から 5 年未満まで年数が短いほど「市」「職場の上司・同僚」の割合が高く、「地域の連絡会・勉強会」の割合が低くなっています。また、5 年未満で「市」「職場の上司・同僚」の割合が高く、15～20 年未満で「地域包括支援センター」「地域の連絡会・勉強会」「職場外の介護支援専門員」の割合が高くなっています。

単位：％

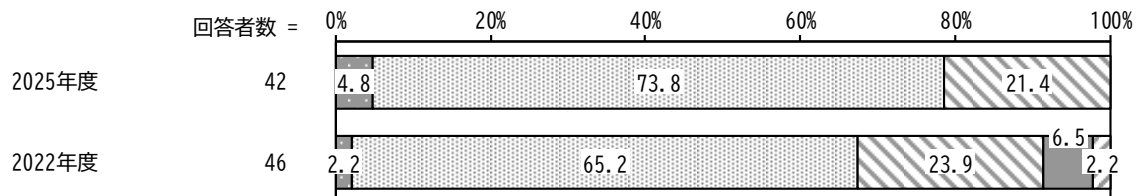
区分	回答者数 (件)	県	市	連合会 国民健康保険団体	地域包括支援センター	介護支援専門員連絡協議会	地域の連絡会・勉強会	職場の上司・同僚	職場外の介護支援専門員	相談できるところがない	相談していない	その他	無回答
全 体	42	2.4	64.3	2.4	81.0	2.4	19.0	78.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
5 年未満	10	0.0	80.0	0.0	70.0	0.0	0.0	90.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～10 年未満	8	0.0	62.5	0.0	62.5	0.0	12.5	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10～15 年未満	7	14.3	57.1	14.3	85.7	14.3	42.9	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
15～20 年未満	10	0.0	60.0	0.0	90.0	0.0	20.0	80.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 年以上	7	0.0	57.1	0.0	100.0	0.0	28.6	71.4	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0

問 29 自分が担当する利用者について、モニタリングやアセスメントがどの程度できている
と思いますか。【1つを選択】

「十分にできている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が78.6%となっています。

2022 年度調査と比較すると、“できている”の割合が増加しています。

■ 十分にできている ■ まあまあできている ■ どちらともいえない ■ やや不十分である
■ 非常に不十分である □ 無回答

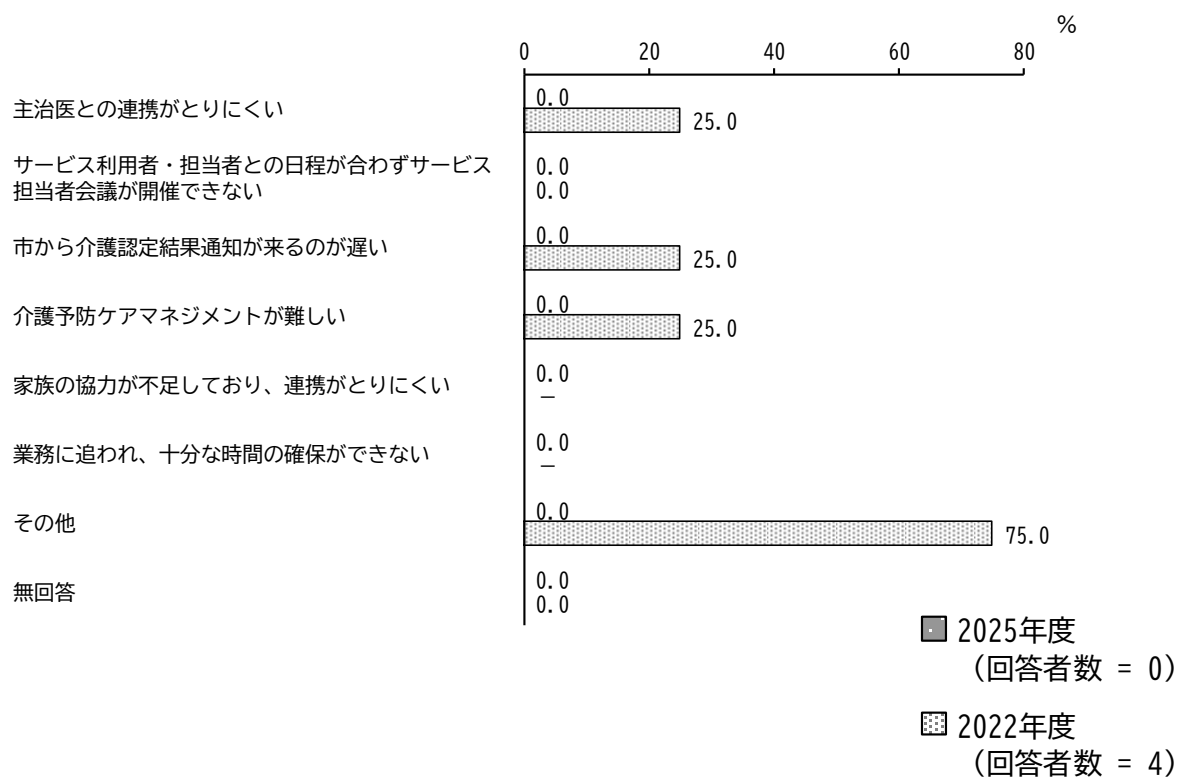


問 29-1 その原因及びアセスメントの障害となると思われるものは何ですか。【複数選択可】

問 29 で【やや不十分】または【非常に不十分】を選んだ方のみご回答ください。

有効回答者がいませんでした。

2022 年度調査と比較すると、「主治医との連携がとりにくい」「市から介護認定結果通知が来るのが遅い」「介護予防ケアマネジメントが難しい」の割合が減少しています。

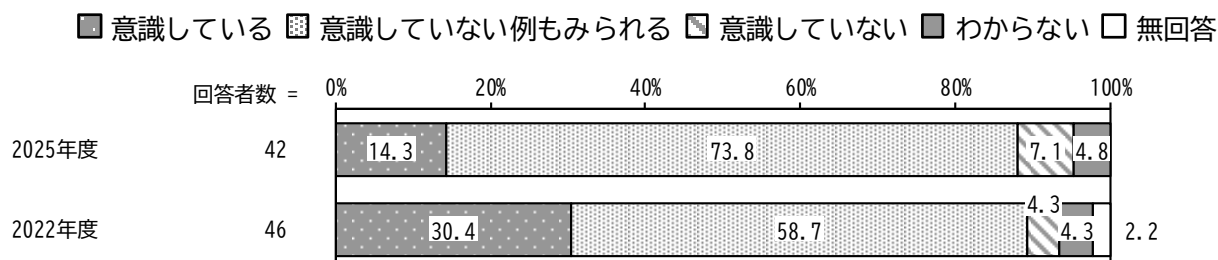


※2022 年度調査では、「家族の協力が不足しており、連携がとりにくい」、「業務に追われ、十分な時間の確保ができない」がありませんでした。

問 30 利用者は、要介護状態の改善や悪化防止を意識して介護サービスを利用していると思いますか。【1つを選択】

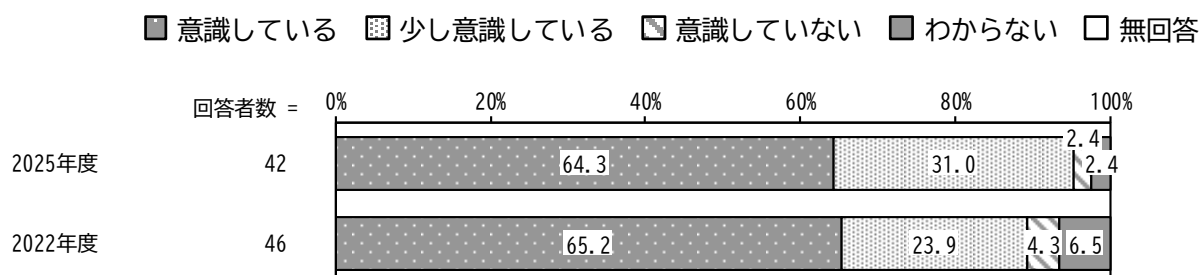
「意識している」の割合が14.3%、「意識していない例もみられる」の割合が73.8%、「意識していない」の割合が7.1%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「意識していない例もみられる」の割合が増加しています。一方、「意識している」の割合が減少しています。



問 31 ケアプランを立てるにあたり、介護給付や介護予防給付の適正化を常に意識していますか。【1つを選択】

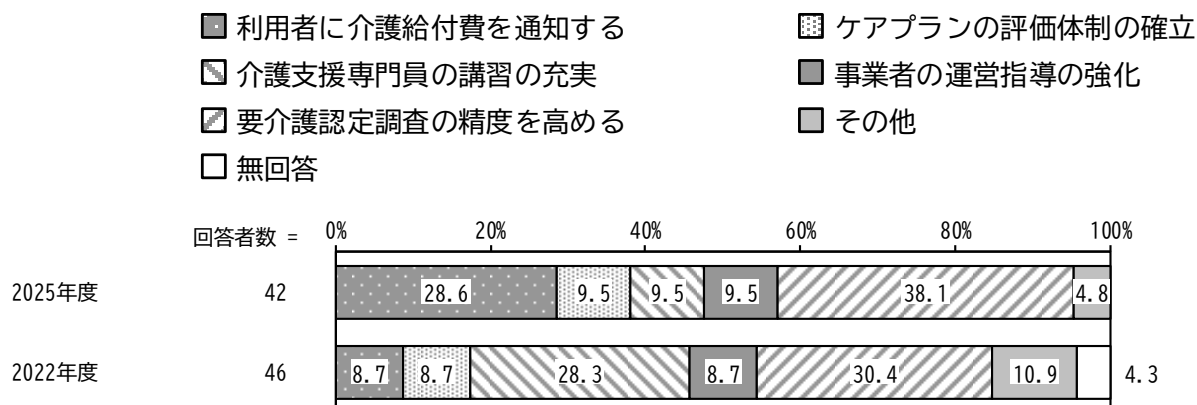
「意識している」「少し意識している」を合わせた“意識している”の割合が95.3%となっています。2022 年度調査と比較すると、“意識している”の割合が増加しています。



問 32 介護給付や介護予防給付の適正化に向けて、どのようなことが大切だと思いますか。【1つを選択】

「要介護認定調査の精度を高める」の割合が38.1%と最も高く、次いで「利用者に介護給付費を通知する」の割合が28.6%となっています。

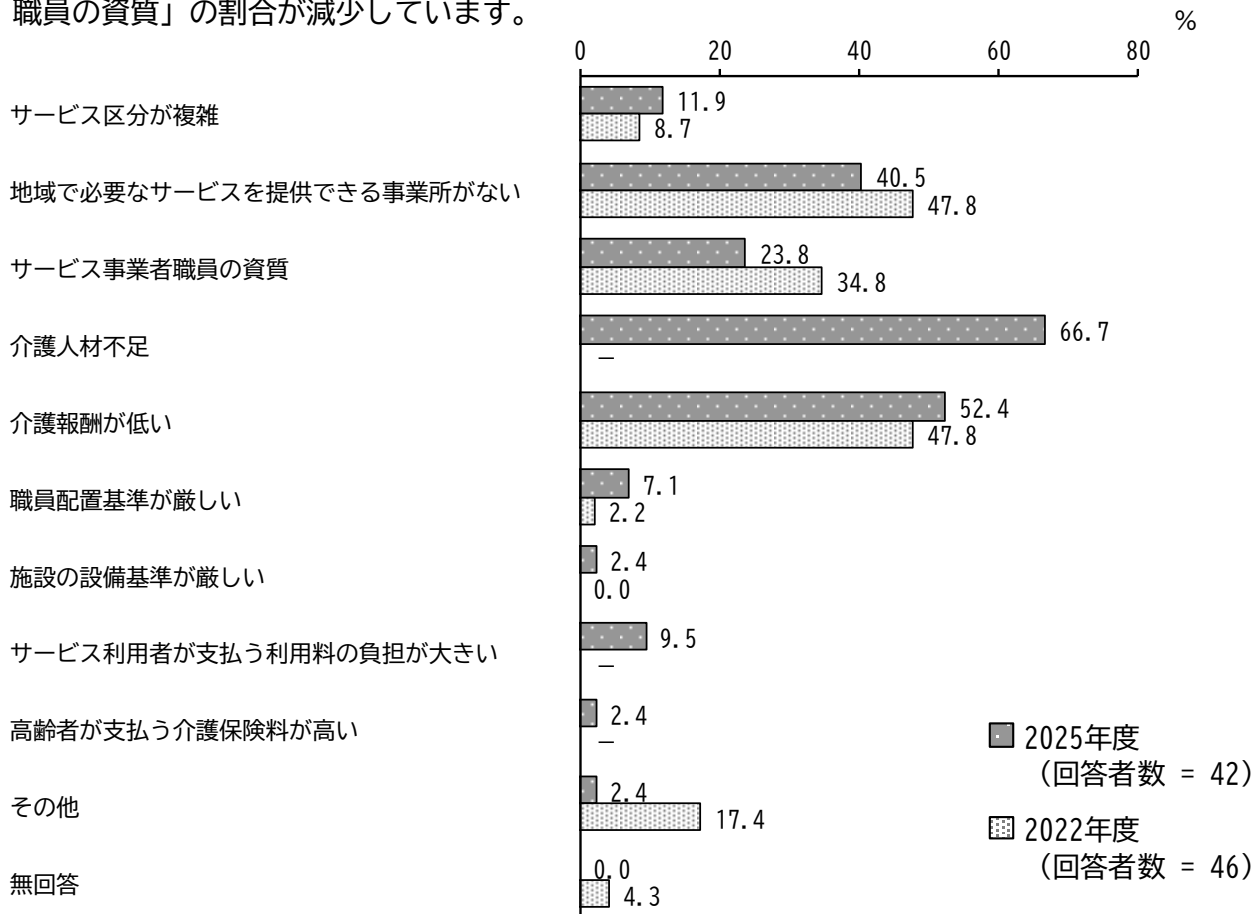
2022 年度調査と比較すると、「利用者に介護給付費を通知する」「要介護認定調査の精度を高める」の割合が増加しています。一方、「介護支援専門員の講習の充実」の割合が減少しています。



問 33 介護保険制度の中で問題と覚ることはありますか。【3つまで選択可】

「介護人材不足」の割合が66.7%と最も高く、次いで「介護報酬が低い」の割合が52.4%、「地域で必要なサービスを提供できる事業所がない」の割合が40.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「地域で必要なサービスを提供できる事業所がない」「サービス事業者職員の資質」の割合が減少しています。



※2022 年度調査では、「介護人材不足」、「サービス利用者が支払う利用料の負担が大きい」、「高齢者が支払う介護保険料が高い」がありませんでした。

【経験年数別】

経験年数別にみると、5年未満で「職員配置基準が厳しい」「施設の設備基準が厳しい」、10～15 年未満で「地域で必要なサービスを提供できる事業所がない」「介護人材不足」、15～20 年未満で「介護報酬が低い」、20 年以上で「サービス事業者職員の資質」の割合が高くなっています。

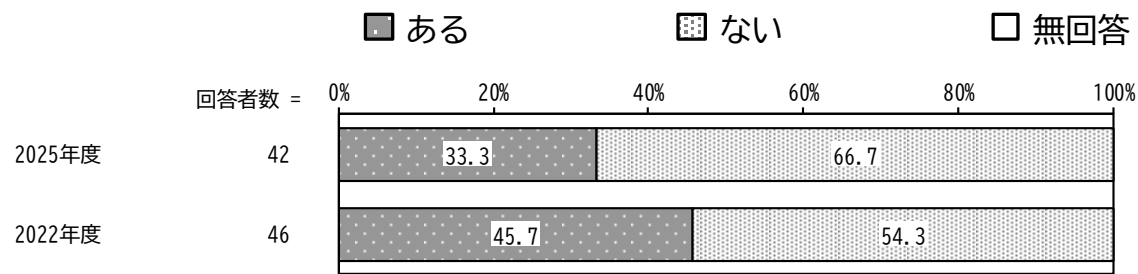
単位：％

区分	回答者数 (件)	サービス区分が複雑	地域で必要なサービスを提供できる事業所がない	サービス事業者職員の資質	介護人材不足	介護報酬が低い	職員配置基準が厳しい	施設の設備基準が厳しい	サービス利用者が支払う利用料の負担が大きい	高齢者が支払う介護保険料が高い	その他	無回答
全 体	42	11.9	40.5	23.8	66.7	52.4	7.1	2.4	9.5	2.4	2.4	0.0
5年未満	10	10.0	10.0	30.0	60.0	60.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0
5～10年未満	8	12.5	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
10～15年未満	7	0.0	71.4	0.0	85.7	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
15～20年未満	10	10.0	40.0	20.0	80.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20年以上	7	28.6	42.9	42.9	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

4. 高齢者虐待について

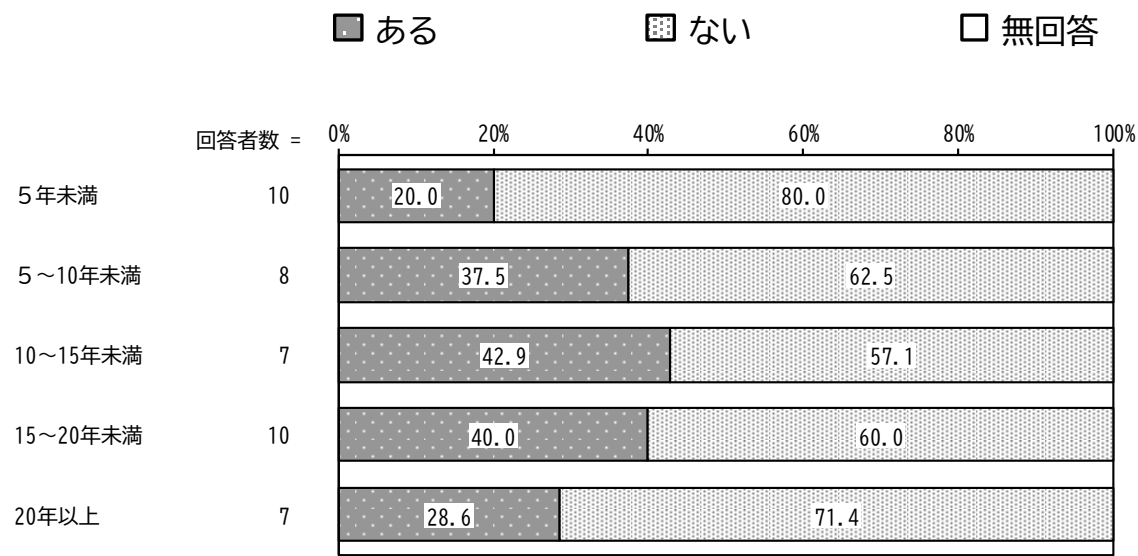
問 34 家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。【1つを選択】

「ある」の割合が 33.3%、「ない」の割合が 66.7%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。



【経験年数別】

経験年数別にみると、10～15 年未満から 20 年以上まで年数が高いほど「ない」の割合が高くなっています。また、15～20 年未満で「ある」の割合が高くなっています。

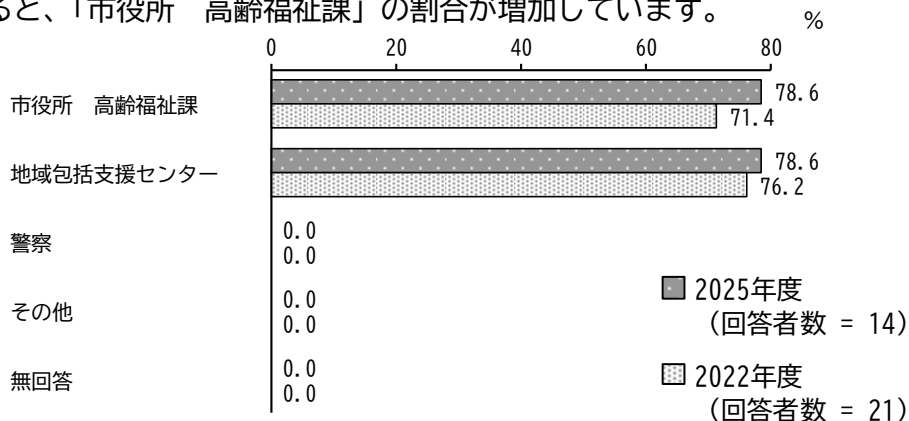


問 34-1 どこに相談しましたか。【複数選択可】

問 34 で【ある】を選んだ方のみご回答ください。

「市役所 高齢福祉課」、「地域包括支援センター」の割合が 78.6%となっています。

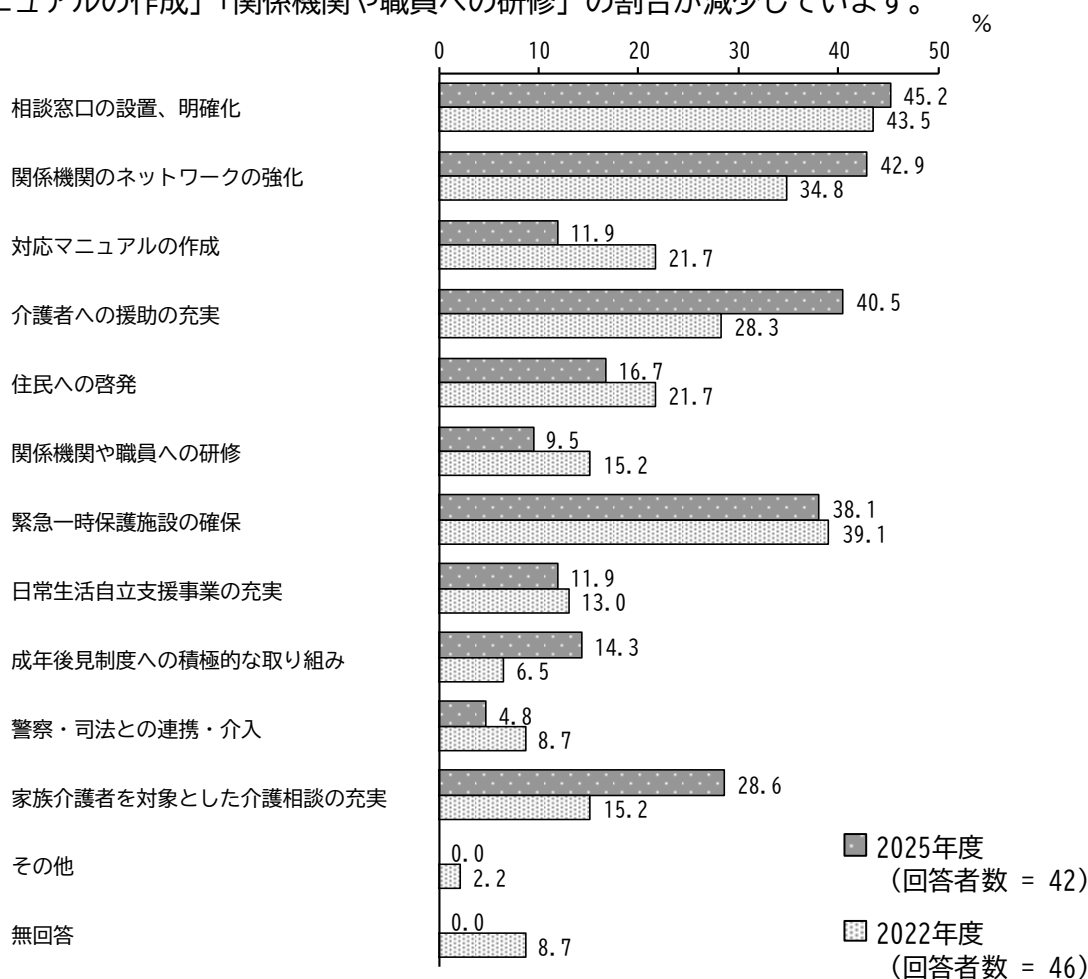
2022 年度調査と比較すると、「市役所 高齢福祉課」の割合が増加しています。



問 35 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。【3つまで選択可】

「相談窓口の設置、明確化」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「関係機関のネットワークの強化」の割合が 42.9%、「介護者への援助の充実」の割合が 40.5%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「関係機関のネットワークの強化」「介護者への援助の充実」「成年後見制度への積極的な取り組み」「家族介護者を対象とした介護相談の充実」の割合が増加しています。一方、「対応マニュアルの作成」「関係機関や職員への研修」の割合が減少しています。

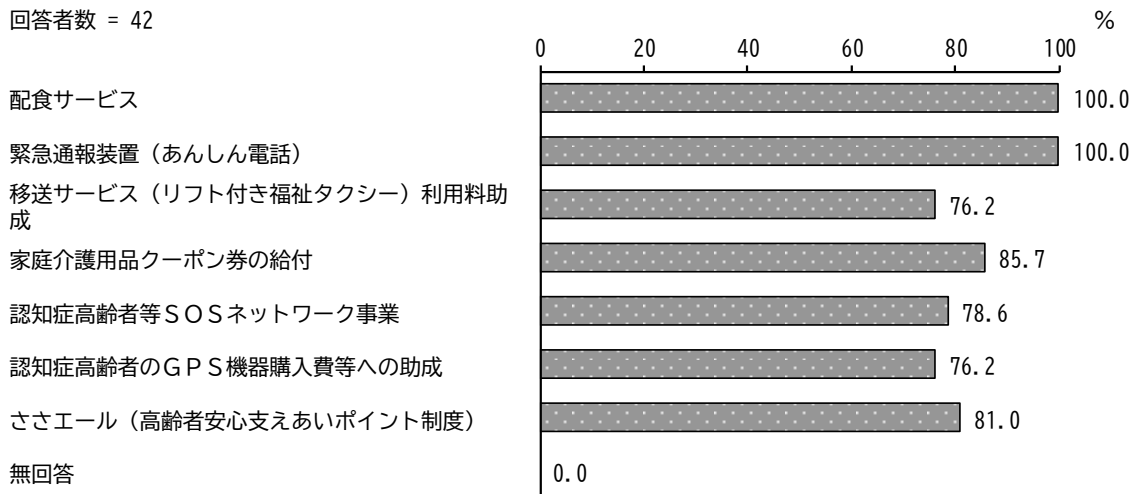


5. 本市の高齢者福祉施策について

問 36 市の高齢者支援制度について知っているものをお答えください。【複数選択可】

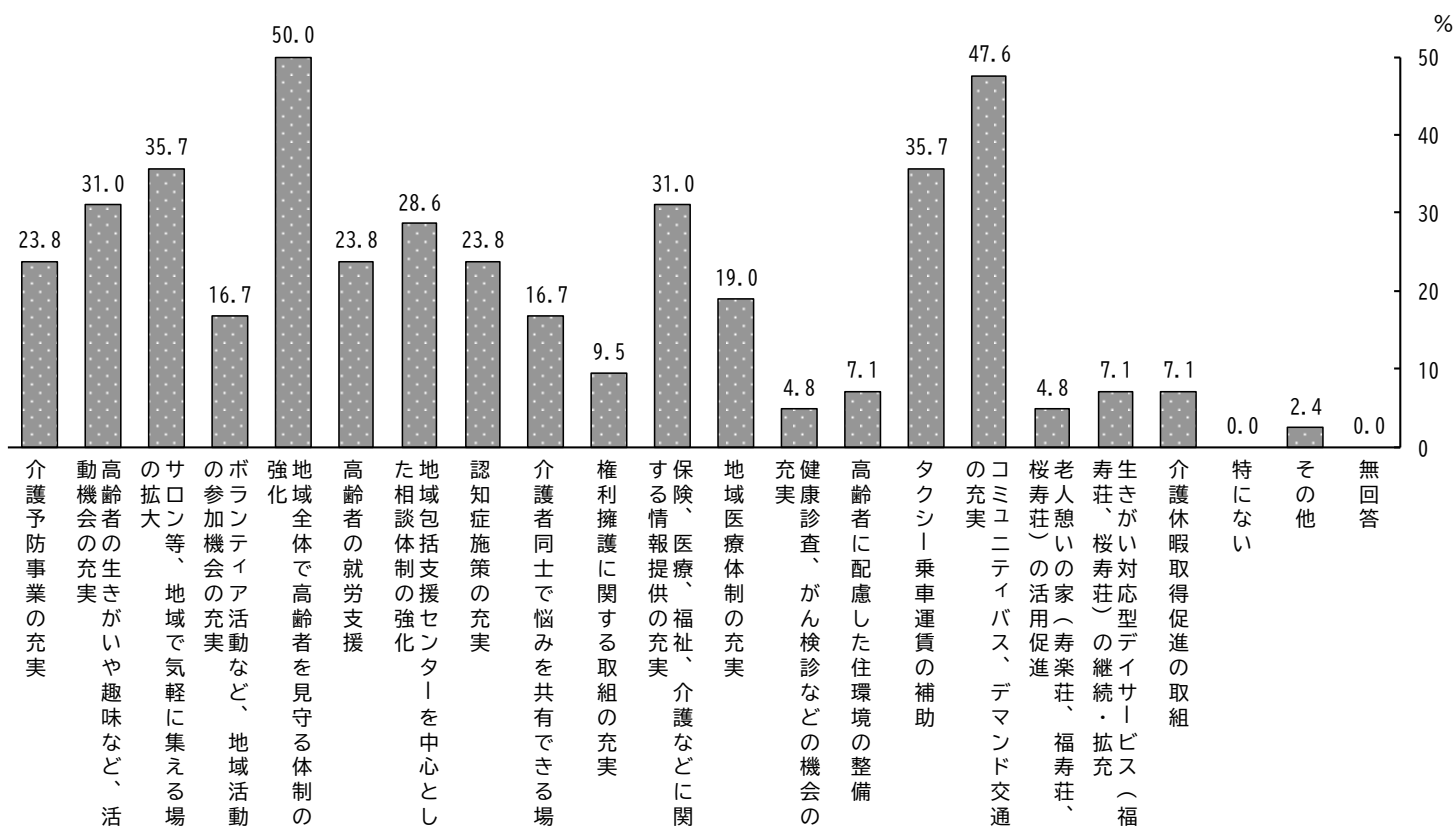
「配食サービス」、「緊急通報装置（あんしん電話）」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「家庭介護用品クーポン券の給付」の割合が 85.7%となっています。

回答者数 = 42



問 37 高齢者福祉をさらに充実させるために、今後、どのようなことが必要だと思いますか。【5つまで選択可】

「地域全体で高齢者を見守る体制の強化」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「コミュニティバス、デマンド交通の充実」の割合が 47.6%となっています。



回答者数 = 42

問 38 その他、介護保険や高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

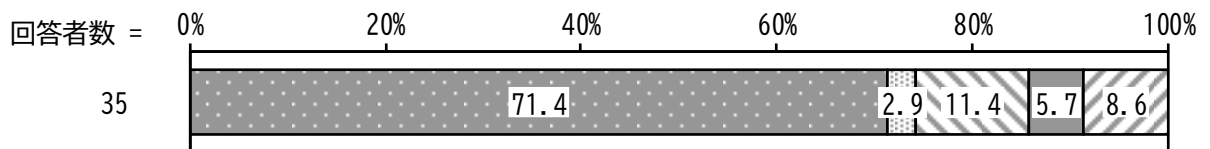
- ・ケアマネの書類作成量が膨大なため、時間を取られてしまう。また利用者(家族)さんから、カスハラを受けることが増えました。
- ・独居、家族支援困難、カスハラ、生活保護、等の対応、体制。役割以上の負担がいつまでも軽減されない。
- ・住宅改修の理由書の作成はケアマネが行うべきであるが、申請書の提出は改修を担当する業者が行う。ケアマネの代行はできないというように決めて欲しい。書類に不備があった場合、ケアマネが間に入って伝える事になり、負担が大きい(マニュアルを作って説明するが、理解できない場合が多い)。介護保険の住宅改修を理解できていない業者もあるが、自分達で出来ると家族には伝えて、書類の申請等ケアマネに丸投げ状態の業者がいる。こちらが説明しても、「そっちでやって」と言われてしまう。
- ・住宅改修を行う事業者は一定の研修など受け、確実に行えるところ、登録制などにしてほしい。住宅改修自体、ケアマネへの報酬がないのにも関わらず負担が大きい。事業者によっては、ケアマネに申請書類の作成方法などのレクチャーを求めてくる。住宅改修の書類作成ができないのに、住宅改修をやろうとするため困る。
- ・ものごとが良い方向へ向かうための根元は“良い関係”だと思います。関係機関・関係者・市民みんなが仲良くなることを目指してみんなで協力できるようになるといいと思います。

4 介護事業所アンケート調査

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。【1つを選択】

「瑞浪地区」の割合が71.4%と最も高く、次いで「陶地区」の割合が11.4%となっています。

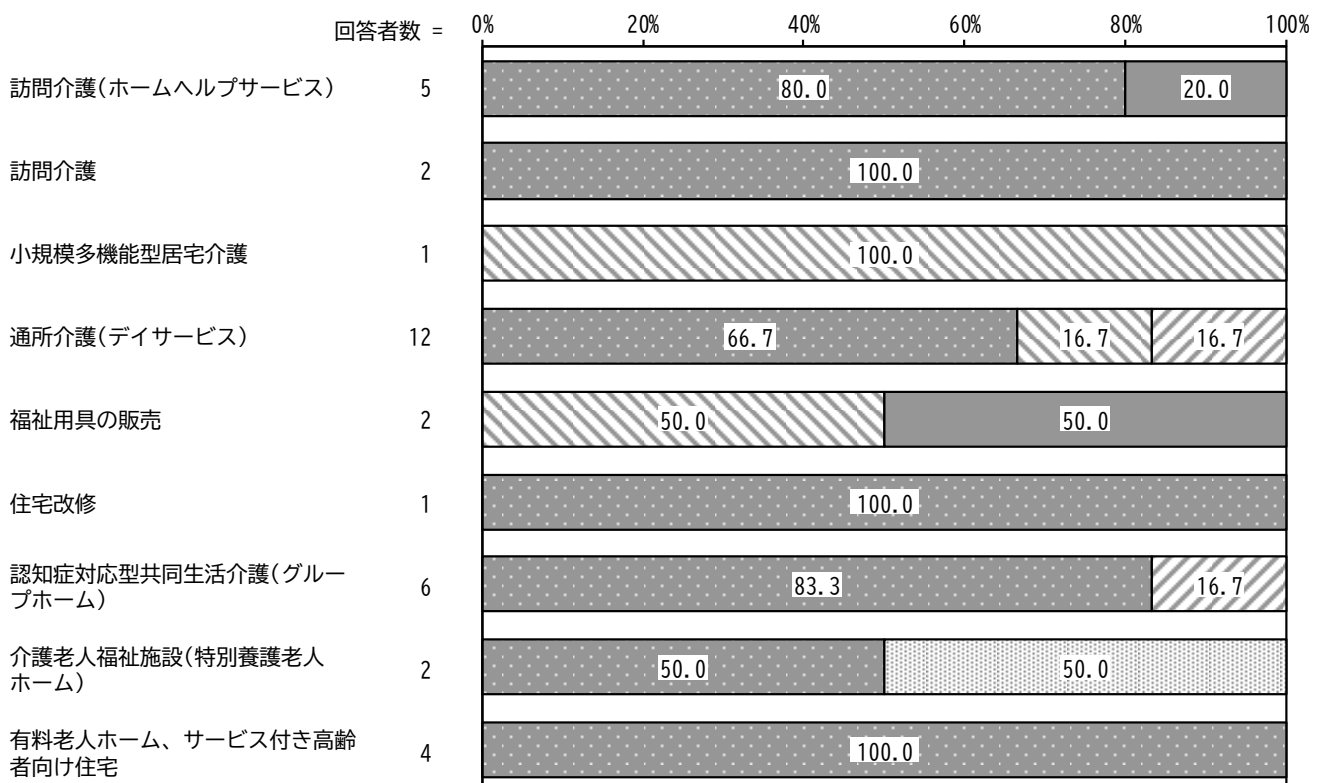
■ 瑞浪地区 ■ 稲津地区 ■ 陶地区 ■ 土岐地区 ■ 明世地区
 ■ 釜戸・大湫地区 ■ 日吉地区 □ 無回答



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

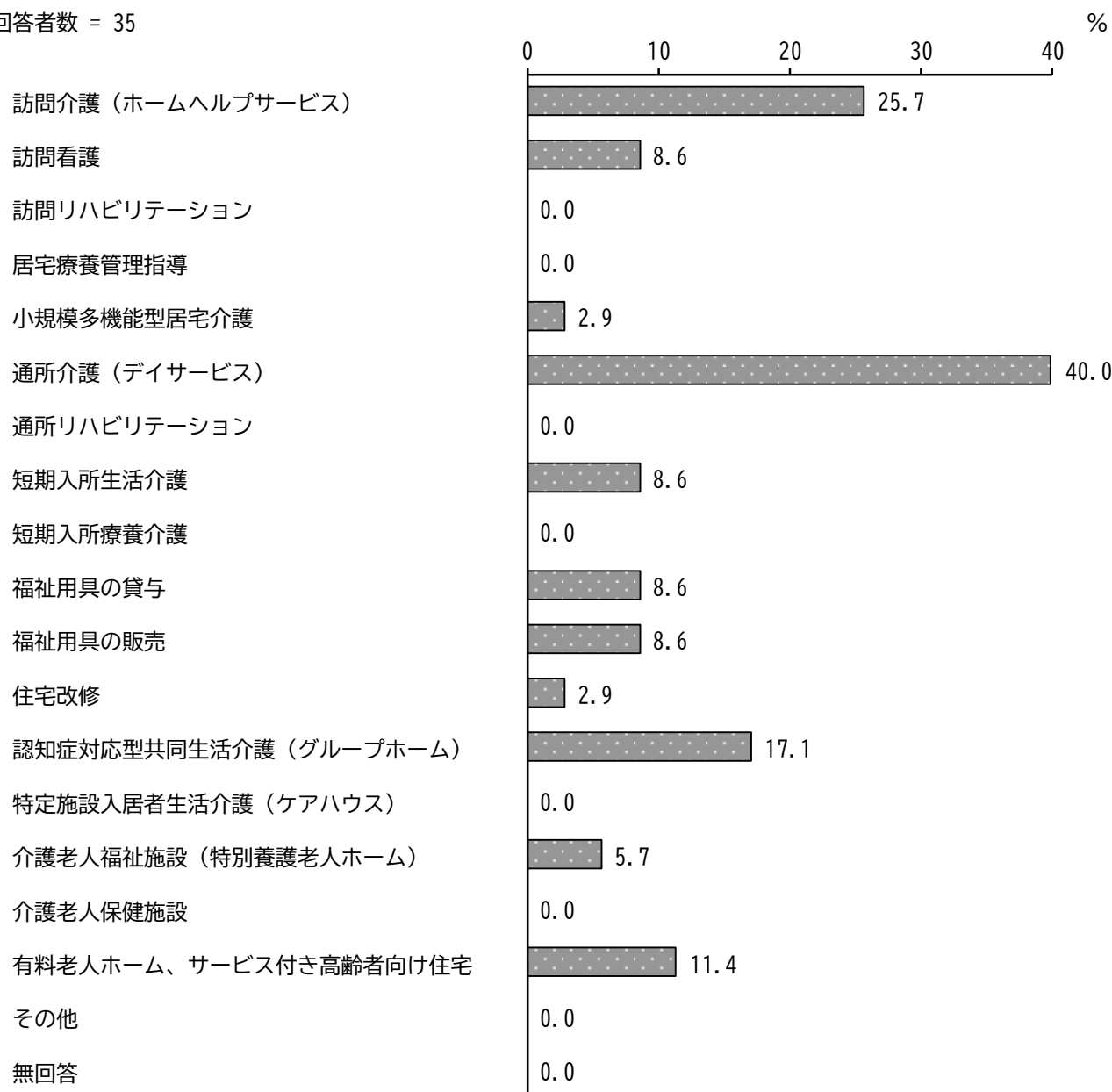
■ 瑞浪地区 ■ 稲津地区 ■ 陶地区 ■ 土岐地区 ■ 明世地区
 ■ 釜戸・大湫地区 ■ 日吉地区 □ 無回答



問2 貴事業所が実施している介護サービスはどれですか。【複数選択可】

「通所介護（デイサービス）」の割合が40.0%と最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の割合が25.7%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が17.1%となっています。

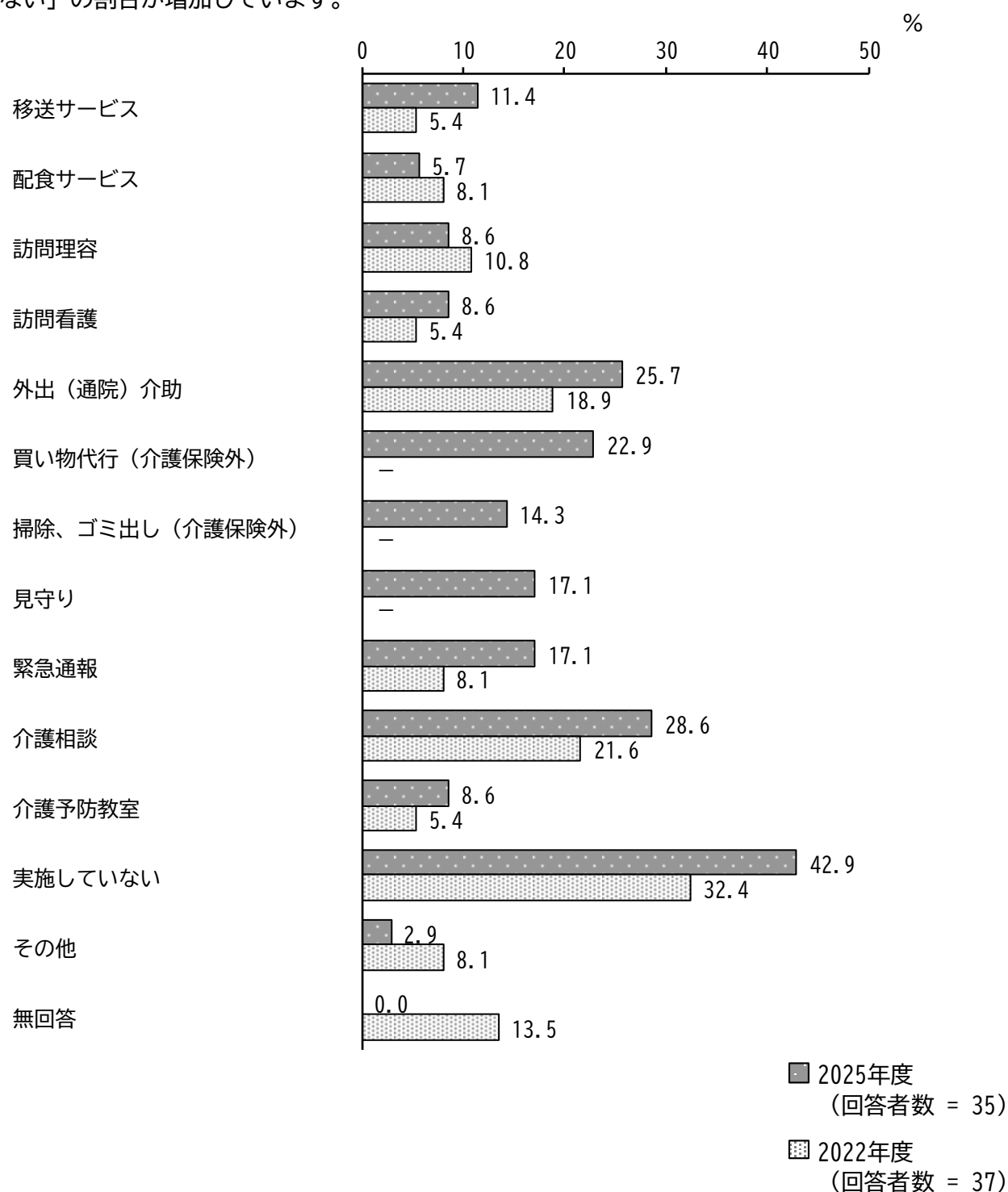
回答者数 = 35



問3 貴事業所で行っている介護保険サービス以外のサービスはどれですか。【複数選択可】

「実施していない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「介護相談」の割合が28.6%、「外出（通院）介助」の割合が25.7%となっています。

2022年度調査と比較すると、「移送サービス」「外出（通院）介助」「緊急通報」「介護相談」「実施していない」の割合が増加しています。



※2022年度調査では、「買い物代行（介護保険外）」、「掃除、ゴミ出し（介護保険外）」、「見守り」がありませんでした。

問4 貴事業所の従業員の配置人数、過不足状況、平均年齢を教えてください。

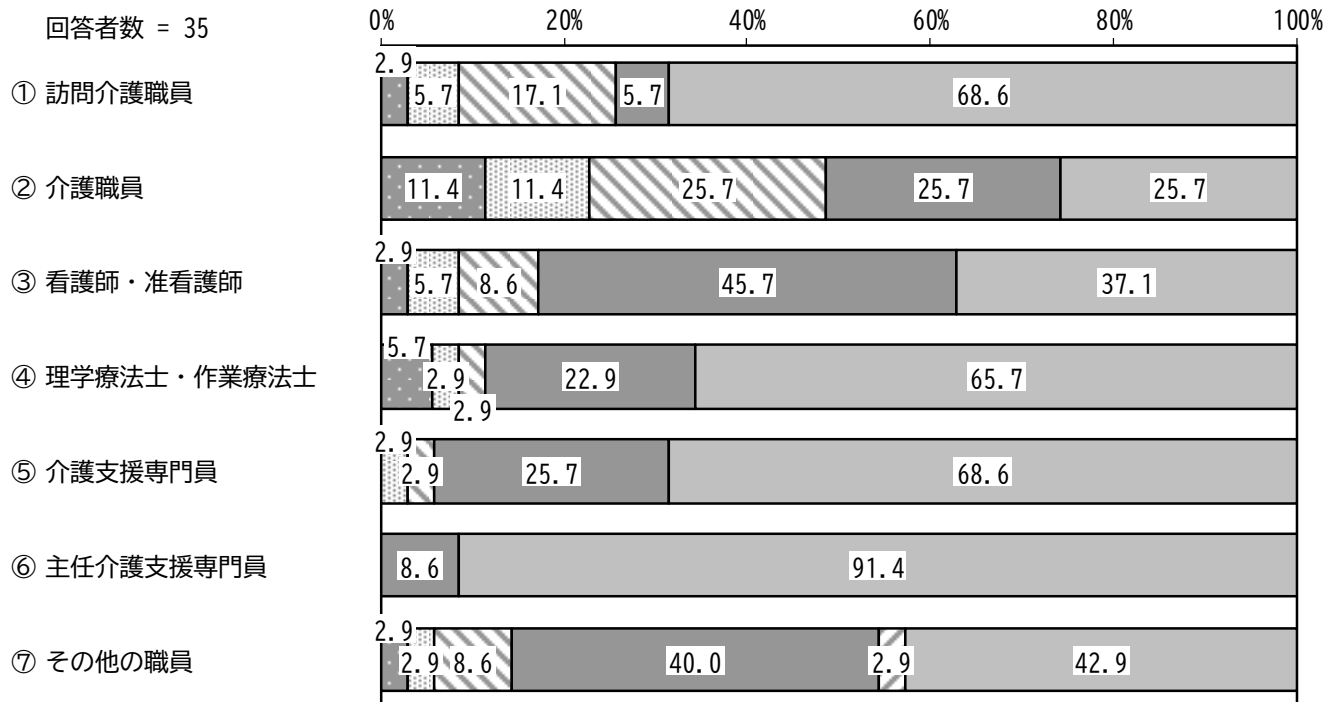
単位：(人)

職種	職員数			採用者数	離職者数
	正規	非正規	小計		
①訪問介護	64	63	127	21	17
②介護職員	194	157	351	34	24
③看護師・准看護師	43	41	84	9	24
④理学療法士・作業療法士	23	21	44	4	3
⑤介護支援専門員	13	6	19	0	0
⑥主任介護支援専門員	3	0	3	0	0
⑦その他	42	64	106	4	9

問4-1 過不足状況について、該当するものを選択してください。

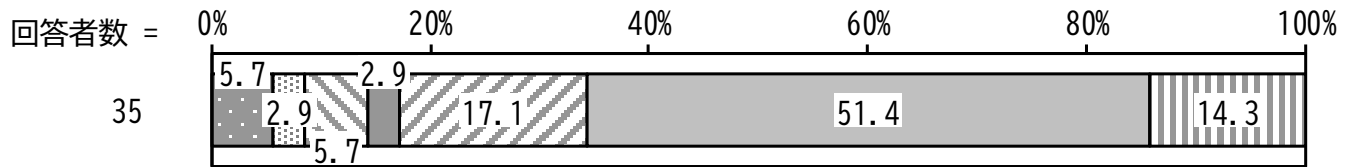
『②介護職員』で「大いに不足」「不足」「やや不足」が、『③看護師・准看護師』で「適当」が、『⑦その他の職員』で「過剰」が、『⑥主任介護支援専門員』で「当該職種なし」が高くなっています。

■ 大いに不足 ■ 不足 ■ やや不足 ■ 適当 ■ 過剰 ■ 当該職種なし □ 無回答



問5 貴事業所職員の平均勤続年数は次のどれですか。(非正規職員も含む。)**【1つを選択】**

- ☐ 6か月未満 ☐ 6か月以上1年未満 ☐ 1年以上2年未満
☐ 2年以上3年未満 ☐ 3年以上5年未満 ☐ 5年以上10年未満
☐ 10年以上 ☐ 無回答



問6 令和6年11月から令和7年10月の1年間の採用者数と離職者数を教えてください。
(採用者数には、事業の拡大に伴う増員も含めてください。)(勤務時間数に関係なく実人数でお答えください。)

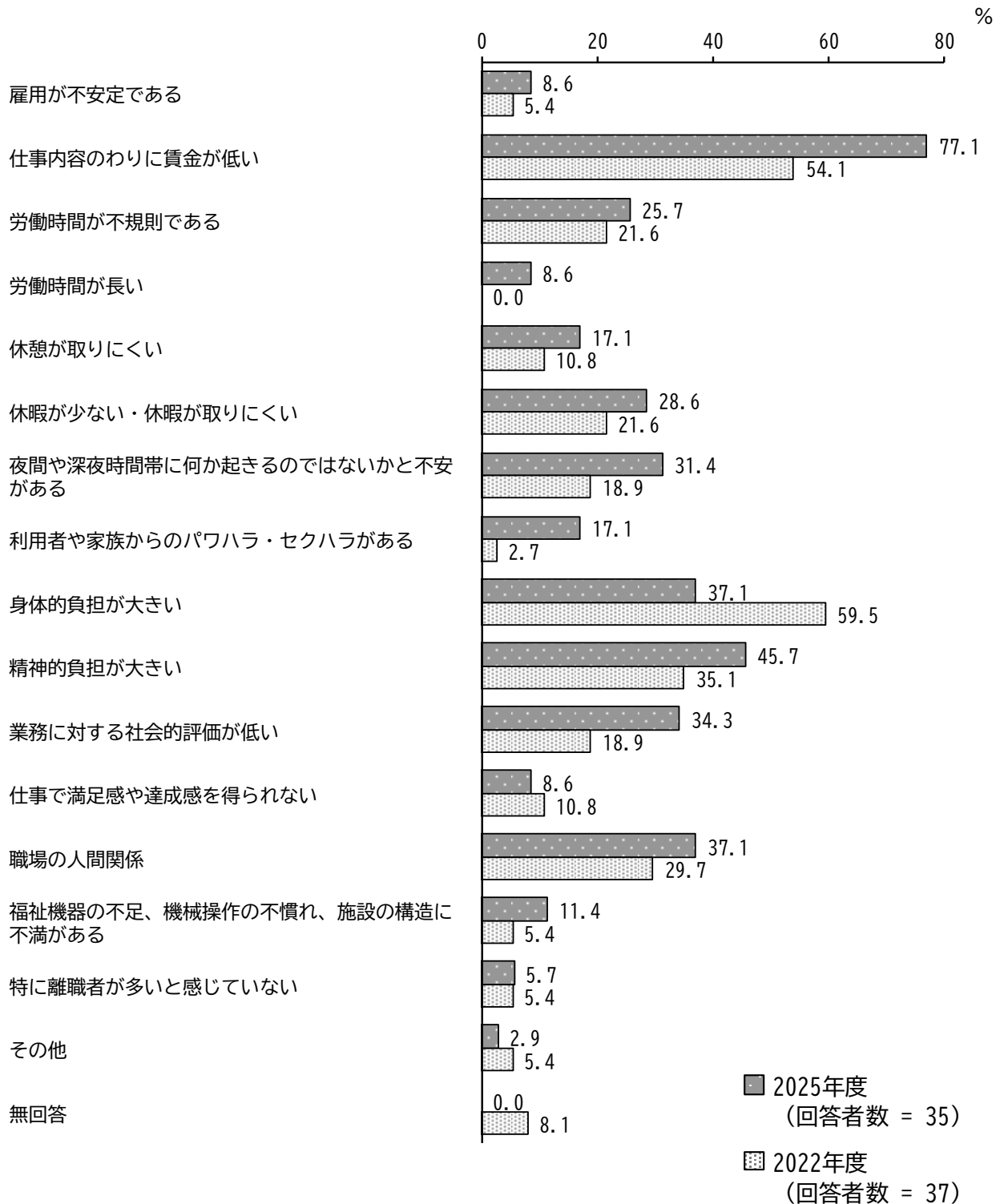
職種	職員数			採用者数	離職者数
	正規	非正規	小計		
①訪問介護	64	63	127	21	17
②介護職員	194	157	351	34	24
③看護師・准看護師	43	41	84	9	24
④理学療法士・作業療法士	23	21	44	4	3
⑤介護支援専門員	13	6	19	0	0
⑥主任介護支援専門員	3	0	3	0	0
⑦その他	42	64	106	4	9

職種	採用者数			離職者数		
	正規	非正規	小計	正規	非正規	小計
20歳未満	2	0	2	3	8	11
20～29歳	10	2	12	7	2	9
30～39歳	7	10	17	7	1	8
40～49歳	6	11	17	4	5	9
50～59歳	10	8	18	3	8	11
60～69歳	3	15	18	8	9	17
70～79歳	0	6	6	0	2	2
年齢不明	1	0	1	0	0	0

問7 介護の業界で離職される人が多いのは、主にどのようなことが原因だと思いますか。
【複数選択可】

「仕事内容のわりに賃金が低い」の割合が77.1%と最も高く、次いで「精神的負担が大きい」の割合が45.7%、「身体的負担が大きい」、「職場の人間関係」の割合が37.1%となっています。

2022年度調査と比較すると、「仕事内容のわりに賃金が低い」「労働時間が長い」「休憩が取りにくい」「休暇が少ない・休暇が取りにくい」「夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある」「利用者や家族からのパワハラ・セクハラがある」「精神的負担が大きい」「業務に対する社会的評価が低い」「職場の人間関係」「福祉機器の不足、機械操作の不慣れ、施設の構造に不満がある」の割合が増加しています。一方、「身体的負担が大きい」の割合が減少しています。



問8 貴事業所では外国人介護職員を雇用していますか。【1つを選択】

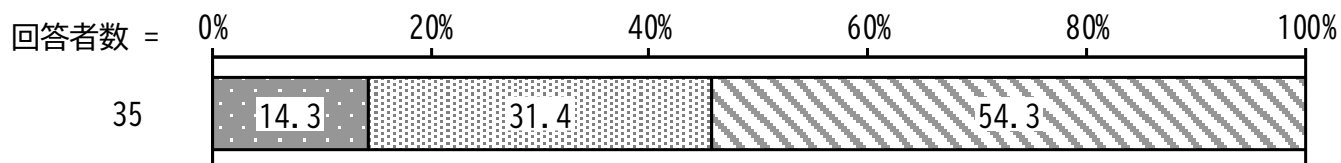
「雇用している」の割合が14.3%、「現時点で雇用していないが、今後雇用の予定がある、もしくは機会があれば雇用してみたい」の割合が31.4%、「雇用しておらず、今後も雇用の予定はない」の割合が54.3%となっています。

☒ 雇用している

☐ 現時点で雇用していないが、今後雇用の予定がある、もしくは機会があれば雇用してみたい

☐ 雇用しておらず、今後も雇用の予定はない

☐ 無回答



※問8で「1. 雇用している」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 外国人介護職員の人数と、その在留資格の内訳を教えてください。

在留資格等	人数
①EPA(経済連携協定による受け入れ)	15
②在留資格「介護」	7
③技能実習生(介護職種)	2
④在留資格「特定技能1号」	17
⑤外国人留学生	0
⑥身分に基づく在留者 (定住者(主に日系人)、永住者、日本人の配偶者等)	2
⑦その他	0

問8-2 外国人介護職員の国籍別の内訳を教えてください。

1.ベトナム	2.フィリピン	3.タイ	4.インドネシア	5.インド
13	8	1	4	0
6.ミャンマー	7.モンゴル	8.カンボジア	9.ネパール	10.その他
7	0	0	3	0

問8－3 外国人介護職員の期間従事の内訳を教えてください。

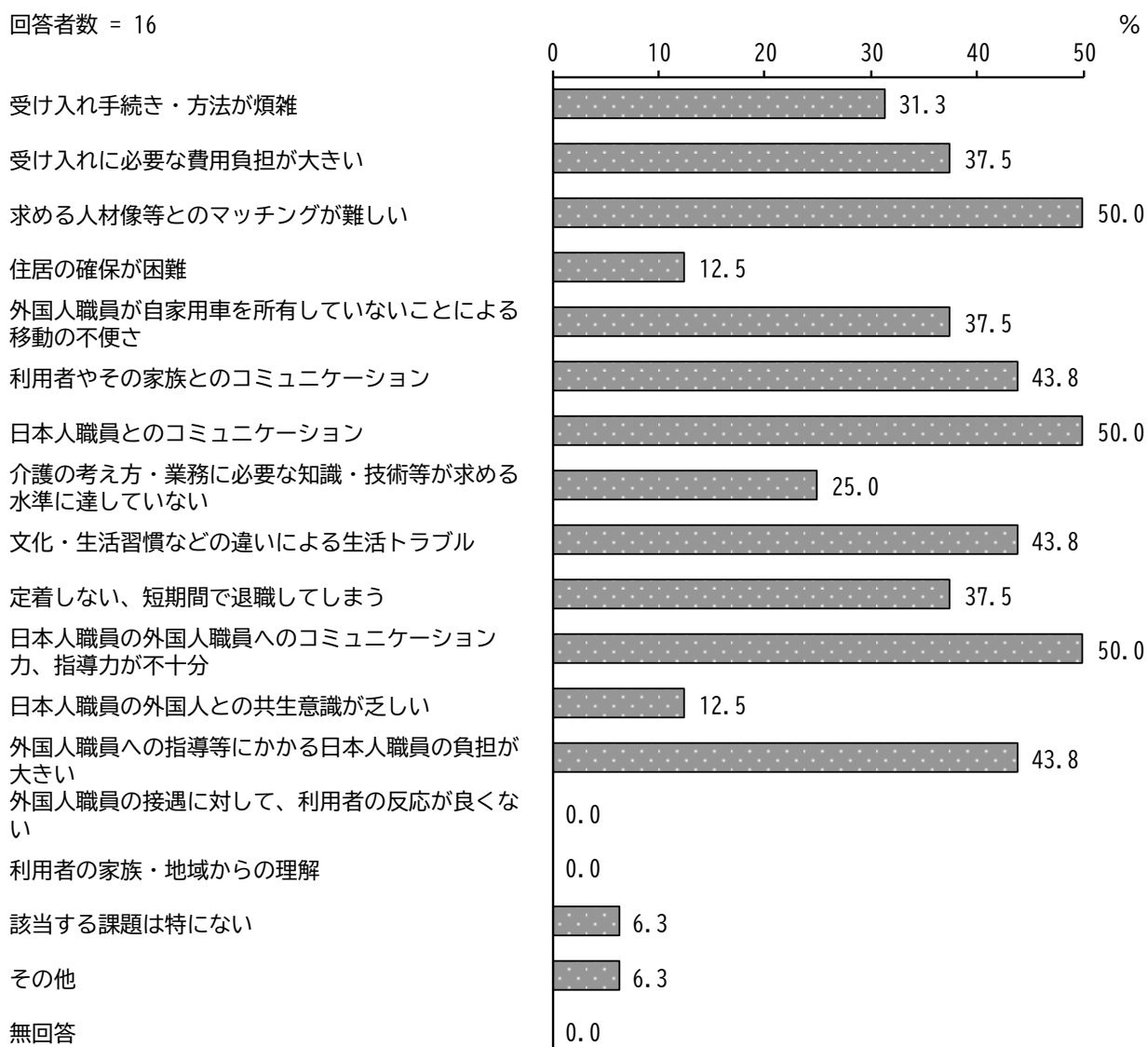
在留資格等	人数
1年未満	7
1年以上2年未満	7
2年以上3年未満	2
3年以上5年未満	16
5年以上	6
期間不明	0

※問8で【雇用している】【現時点で雇用していないが、今後雇用の予定がある、もしくは機会があれば雇用してみたい】を選んだ方のみご回答ください。

問8－4 外国人介護職員の受け入れに関する課題があれば、教えてください。【複数選択可】

「求める人材像等とのマッチングが難しい」、「日本人職員とのコミュニケーション」、「日本人職員の外国人職員へのコミュニケーション力、指導力が不十分」の割合が50.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 16

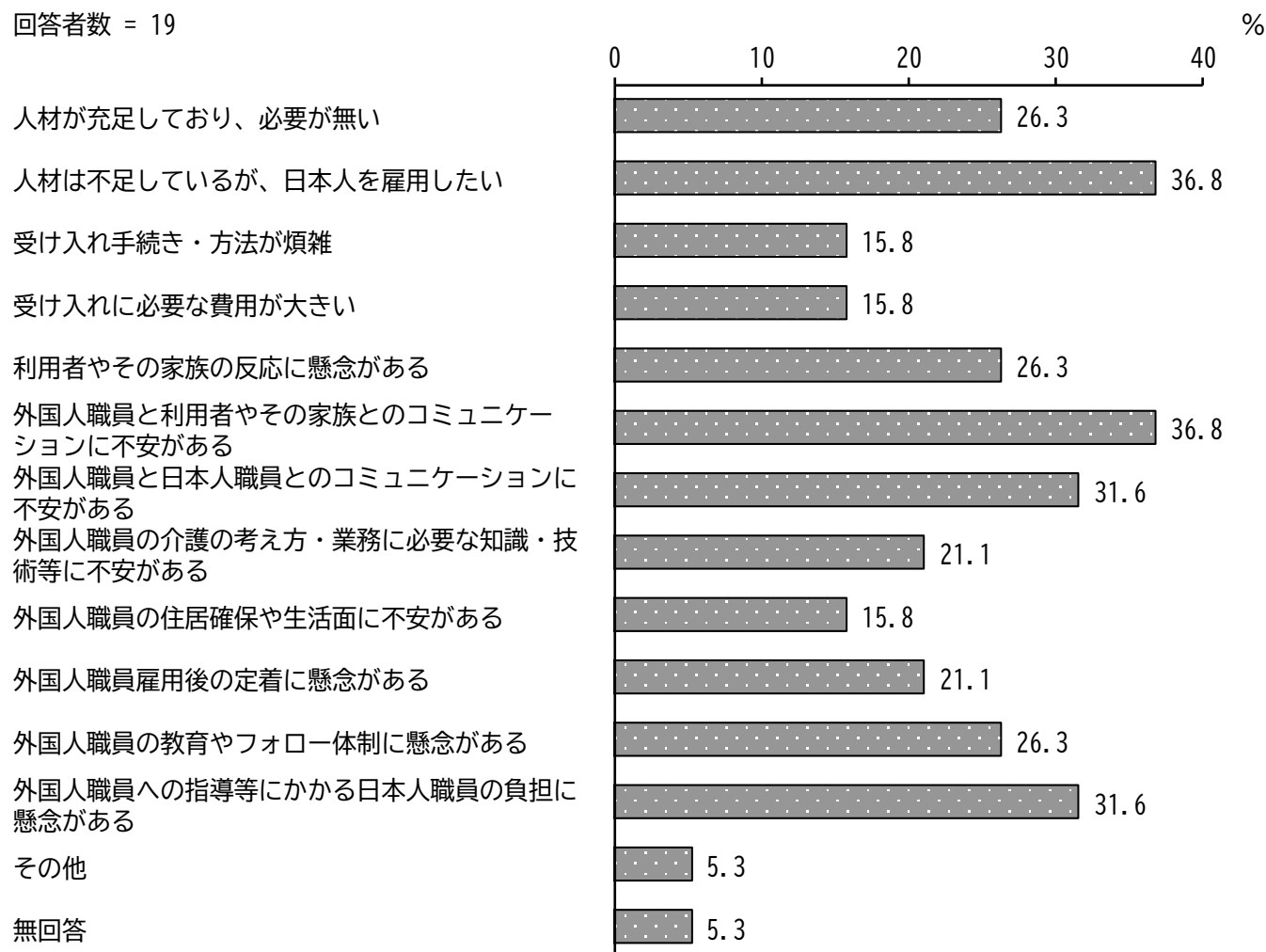


※問8で【雇用しておらず、今後も雇用の予定はない】を選んだ方のみご回答ください。

問8－5 問8で「雇用しておらず、今後も雇用の予定はない」を選択した方にうかがいます。雇用していない理由は何ですか。【複数選択可】

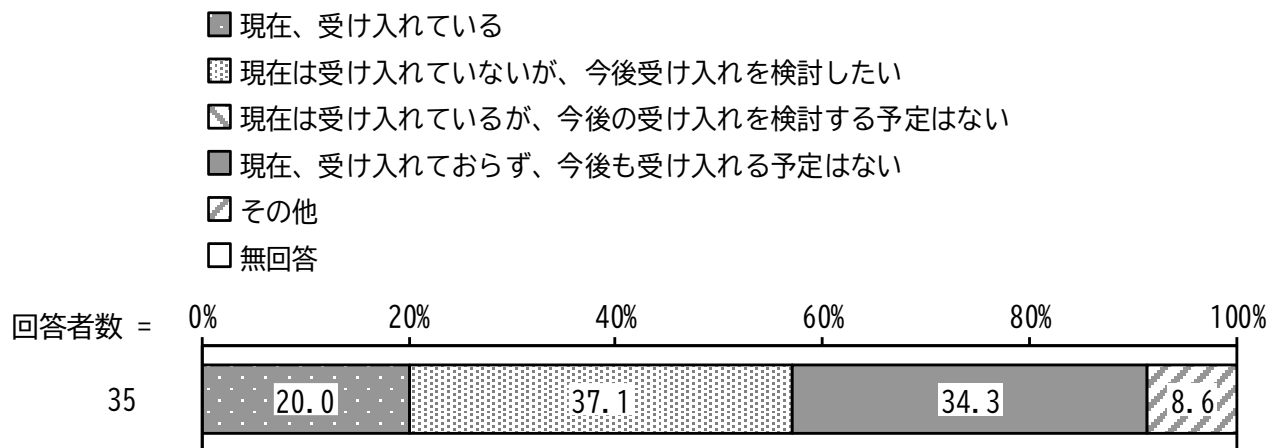
「人材は不足しているが、日本人を雇用したい」、「外国人職員と利用者やその家族とのコミュニケーションに不安がある」の割合が36.8%と最も高く、次いで「外国人職員と日本人職員とのコミュニケーションに不安がある」、「外国人職員への指導等にかかる日本人職員の負担に懸念がある」の割合が31.6%となっています。

回答者数 = 19



問9 貴事業所では、ささエール会員や、地域住民や学生などのボランティアを受け入れていますか。【1つを選択】

「現在は受け入れていないが、今後受け入れを検討したい」の割合が37.1%と最も高く、次いで「現在、受け入れておらず、今後も受け入れる予定はない」の割合が34.3%、「現在、受け入れている」の割合が20.0%となっています。

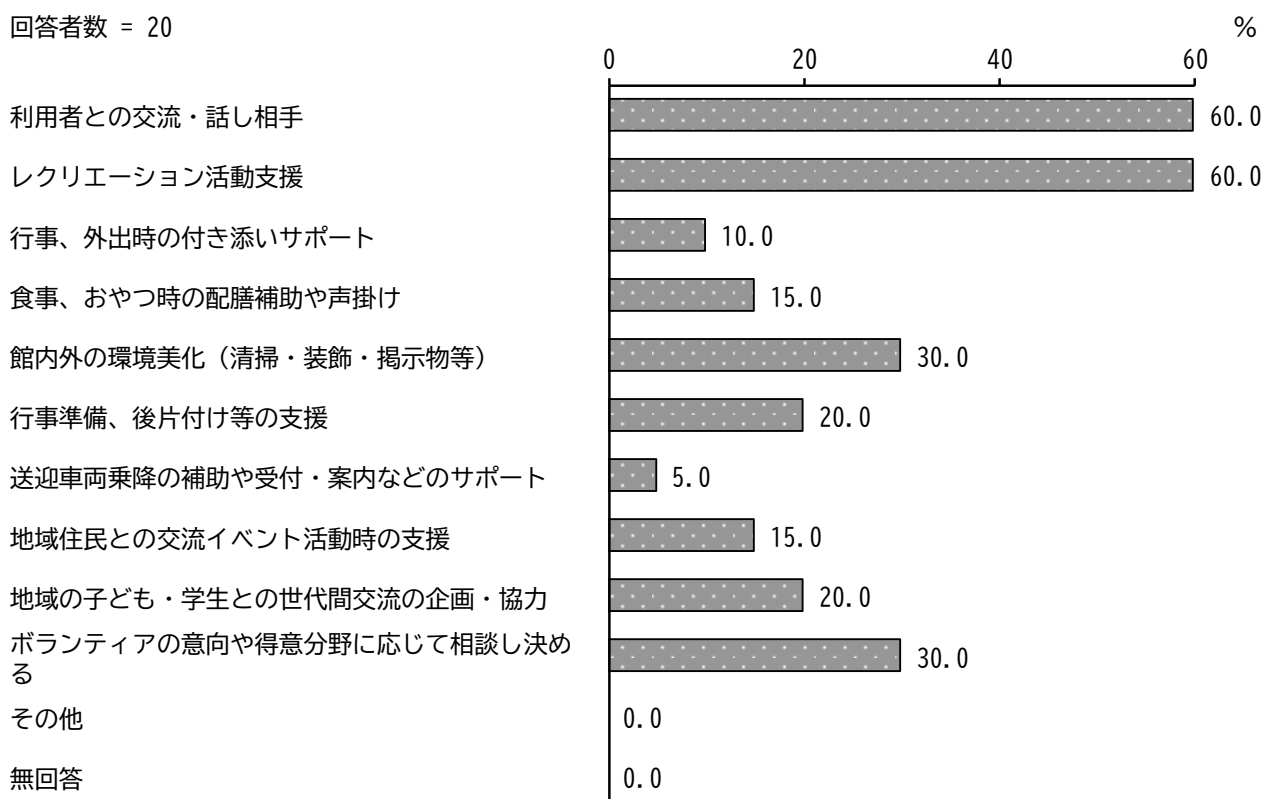


問9で【現在、受け入れている】【現在は受け入れていないが、今後受け入れを検討したい】を選んだ方のみご回答ください。

問9-1 ボランティアの方は、どのような活動をしていますか。または、どのような活動を行ってほしいと考えていますか。【複数選択可】

「利用者との交流・話し相手」、「レクリエーション活動支援」の割合が60.0%と最も高く、次いで「館内外の環境美化（清掃・装飾・掲示物等）」、「ボランティアの意向や得意分野に応じて相談し決める」の割合が30.0%となっています。

回答者数 = 20

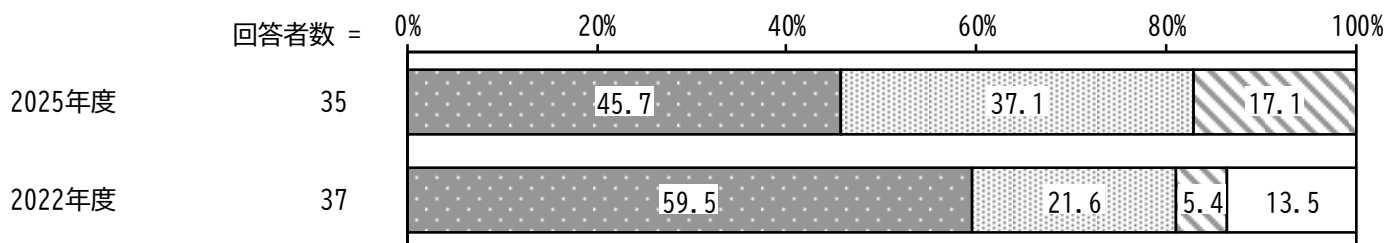


問10 介護職員の確保について苦慮したことはありますか。【1つを選択】

「確保に苦慮している」の割合が45.7%、「確保に苦慮したことがある。」の割合が37.1%、「予定通り確保できた」の割合が17.1%となっています。

2022年度調査と比較すると、「確保に苦慮したことがある。」「予定通り確保できた」の割合が増加しています。一方、「確保に苦慮している」の割合が減少しています。

■ 確保に苦慮している ■ 確保に苦慮したことがある。 ■ 予定通り確保できた □ 無回答



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

単位：％

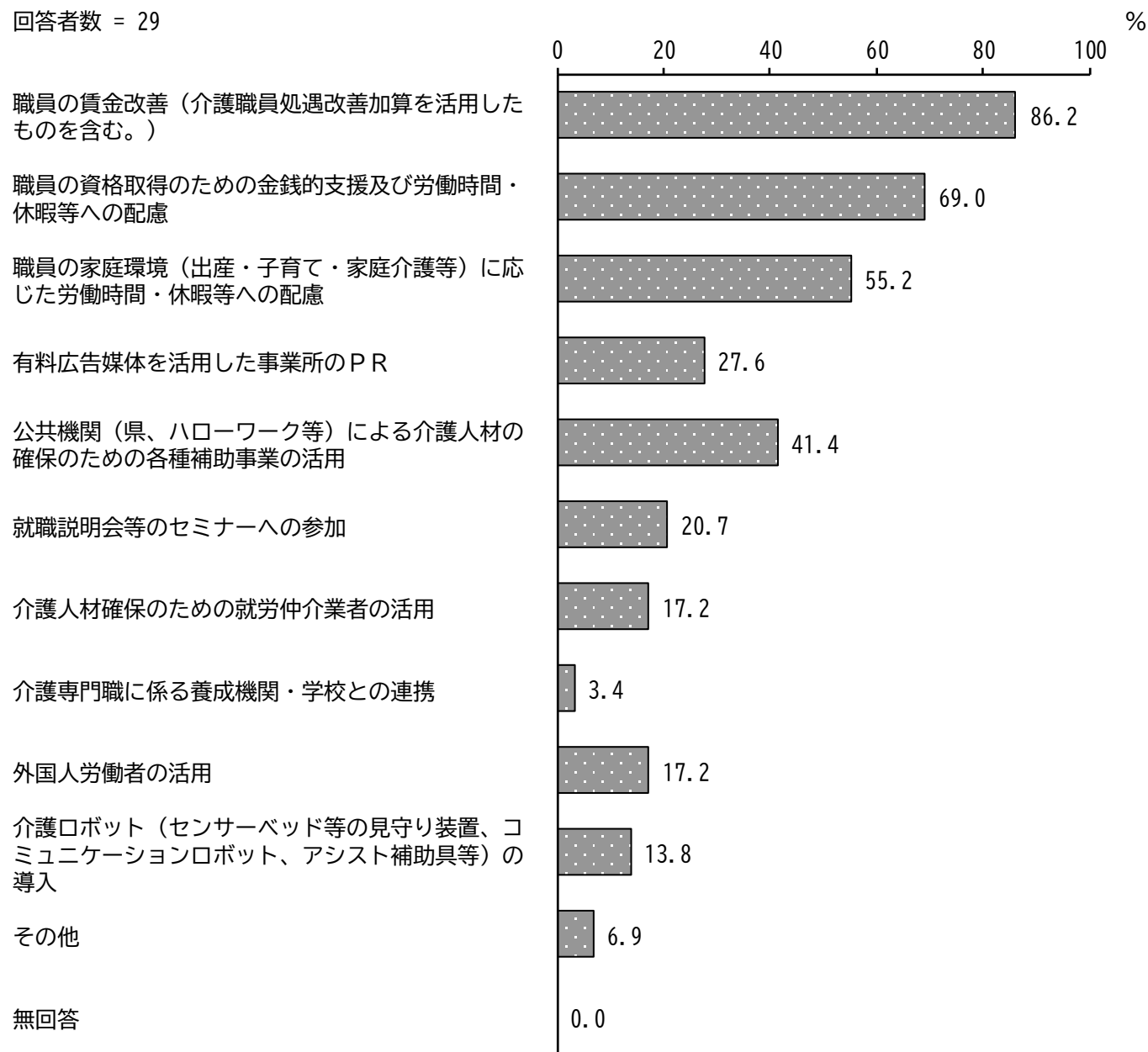
区分	回答者数（件）	確保に苦慮している	確保に苦慮したことがある。	予定通り確保できた	無回答
全 体	35	45.7	37.1	17.1	0.0
訪問介護（ホームヘルプサービス）	5	60.0	20.0	20.0	0.0
訪問介護	2	0.0	50.0	50.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0
通所介護（デイサービス）	12	33.3	58.3	8.3	0.0
福祉用具の販売	2	50.0	50.0	0.0	0.0
住宅改修	1	0.0	0.0	100.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	6	66.7	16.7	16.7	0.0
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	2	100.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	4	25.0	50.0	25.0	0.0

問 10 で【確保に苦慮している】又は【確保に苦慮したことがある。】を選んだ方のみご回答ください。

問 10－1 介護人材の確保のために特に取り組んでいることはありますか。【複数選択可】

「職員の賃金改善（介護職員処遇改善加算を活用したものを含む。）」の割合が 86.2%と最も高く、次いで「職員の資格取得のための金銭的支援及び労働時間・休暇等への配慮」の割合が 69.0%、「職員の家庭環境（出産・子育て・家庭介護等）に応じた労働時間・休暇等への配慮」の割合が 55.2%となっています。

回答者数 = 29

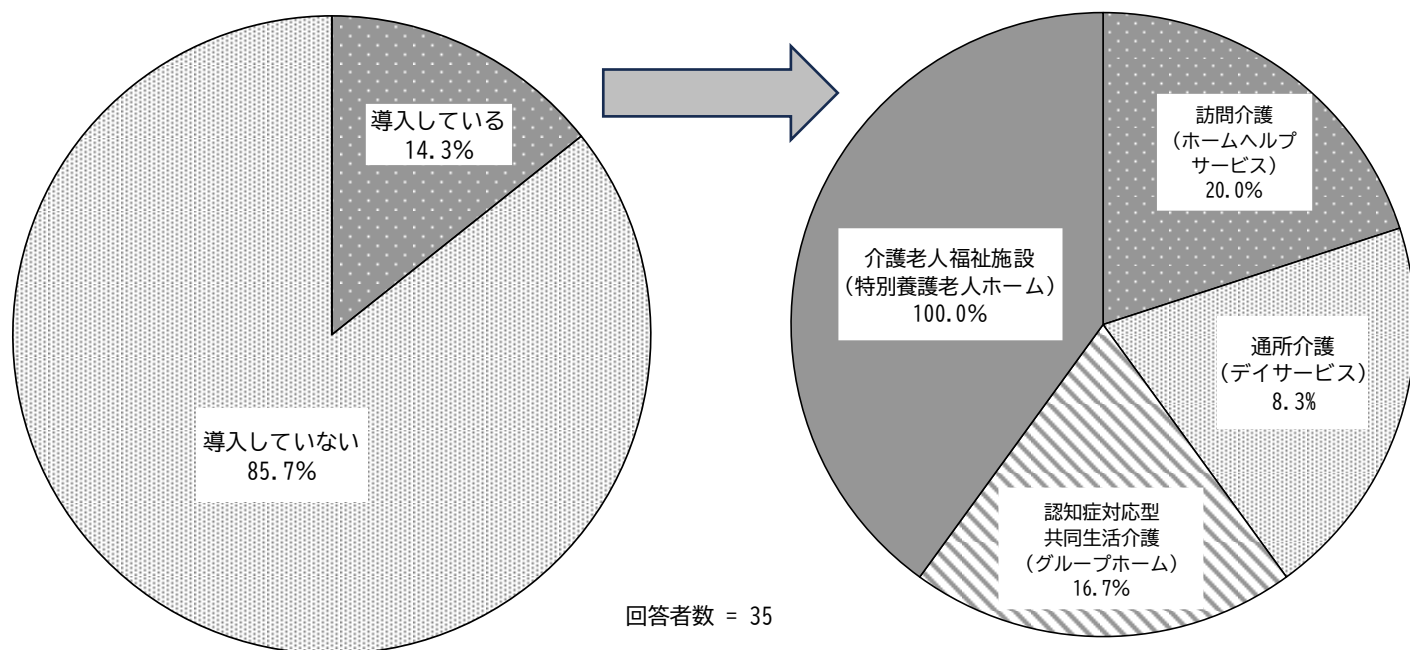


問 10－2 介護職員の確保のために、どのような支援が必要と思われますか。

- ・ 介護士の社会的地位の向上と平均賃金を上回る賃金にする。
- ・ 賃金が安いのがやはりネックなので、補助が必要かと思う。
- ・ 労働にみあった賃金確保。
- ・ 介護ロボットなどの導入。
- ・ 介護職員だけでなく、介護事業所にも報酬が上がることを望む。求人にもっとお金をかける事ができるため。
- ・ 求職者と企業とのマッチング支援。（見学の斡旋など）
- ・ 労働環境・賃金の改善。
- ・ 賃金改善のための助成金。
- ・ 様々な形で賃上げの取り組みがなされているものの、男性が家族を養っていける収入までは至っていない。また、経営スキルがある大きな法人は生き残っているが、小さな法人は経営が苦しく職員確保にも積極的に動きにくい現状にある。
- ・ 色々と試しているが、分からない。
- ・ 訪問介護の単価の引き上げ。ヘルパーの仕事を知ってもらうこと。
- ・ 賃金の向上が出来る為の仕組みの確立。
- ・ 魅力的な高賃金。外国人を雇うための初期費用の支援。
- ・ 処遇の改善。
- ・ 介護報酬の増額、国や市町村の補助。
- ・ 介護福祉士の処遇を地方公務員とし、経営は半官半民とすれば自然と介護員が安定する。
- ・ 介護職全体のお給料をアップする事。
- ・ ハラスメント対策。

問11 介護ロボットを導入していますか。【1つを選択】

「導入している」の割合が14.3%、「導入していない」の割合が85.7%となっています。



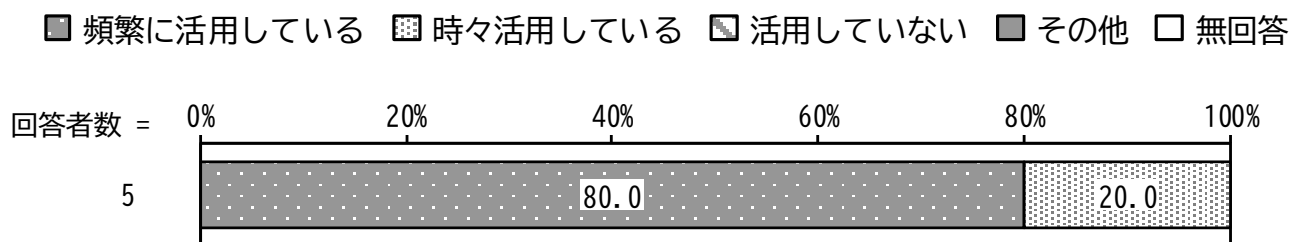
※問11で【導入している】を選んだ方のみご回答ください。

問11-1 介護ロボットの台数、補助金の有無について教えてください。【該当する番号全てに○】

	介護ロボット種別	導入台数	導入台数のうち	
			補助金有	補助金無
1	移乗介護機器(装着型、非装着型)	9	7	
2	移動支援機器(屋外型・屋内型)	0	0	
3	排泄支援機器	5	5	
4	見守り支援機器	150	150	
5	コミュニケーション支援機器	1	0	
6	入浴支援機器	0	0	
7	介護業務支援機器	0	0	
8	機能訓練支援機器	0	0	
9	食事・栄養管理支援機器	0	0	
10	認知用生活支援・認知症ケア支援機器	0	0	

問 11-2 導入した介護ロボットは活用されていますか。【1つを選択】

「頻繁に活用している」が4件、「時々活用している」が1件となっています。

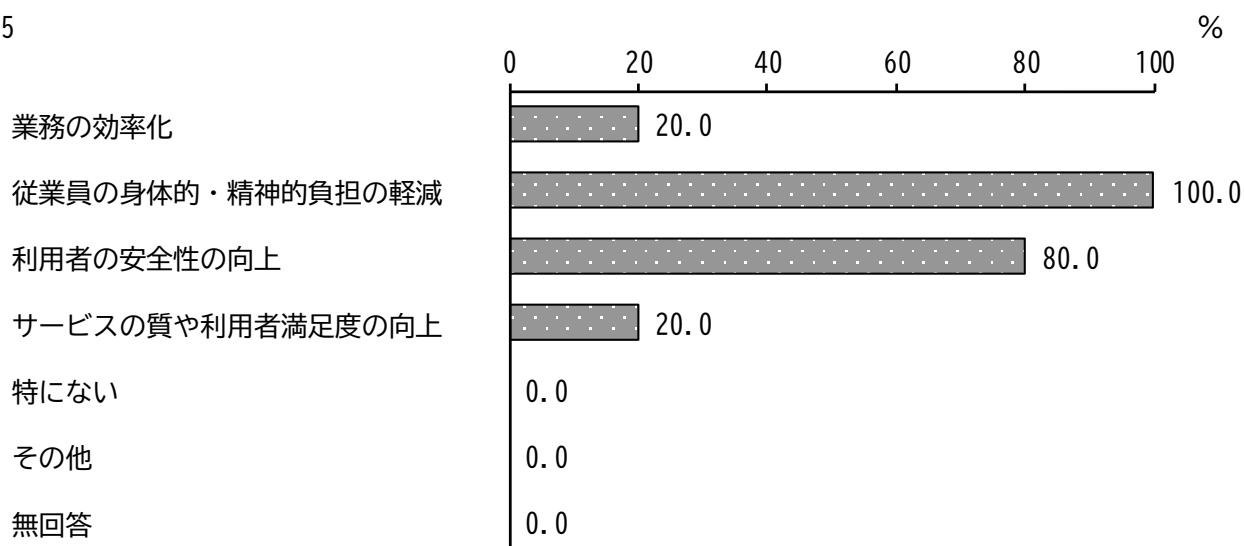


※問 11 で【導入している】を選んだ方のみご回答ください。

問 11-3 導入して良かった点や効果を感じている点を教えてください。【複数選択可】

「従業員の身体的・精神的負担の軽減」が5件、「利用者の安全性の向上」が4件、「業務の効率化」、「サービスの質や利用者満足度の向上」が1件となっています。

回答者数 = 5



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

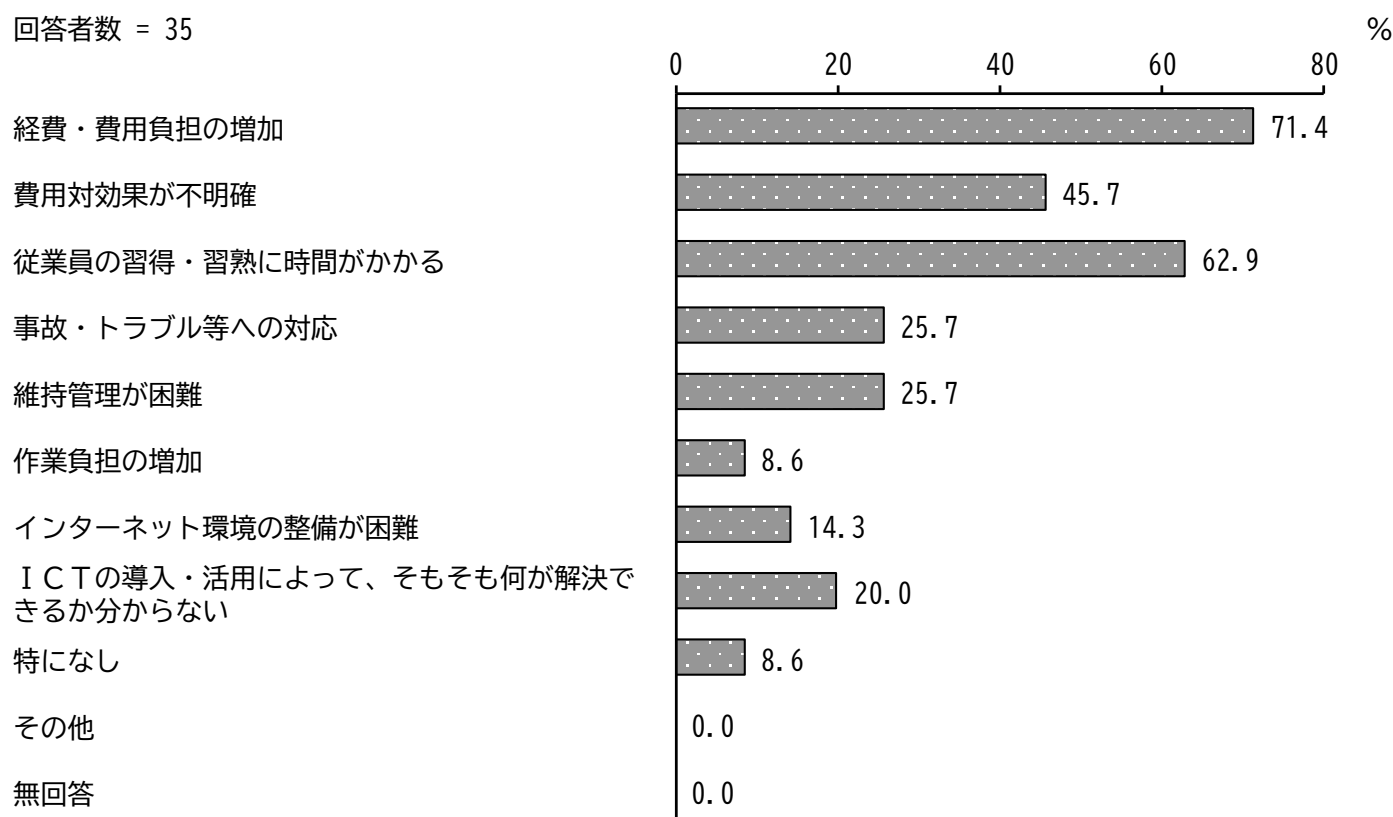
単位：%

区分	回答者数（件）	業務の効率化	従業員の身体的・精神的負担の軽減	利用者の安全性の向上	サービスの質や利用者満足度の向上	特にない	その他	無回答
全 体	5	20.0	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
訪問介護（ホームヘルプサービス）	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護（デイサービス）	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	2	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問12 すべての方にお伺いします。ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。【複数選択可】

「経費・費用負担の増加」の割合が71.4%と最も高く、次いで「従業員の習得・習熟に時間がかかる」の割合が62.9%、「費用対効果が不明確」の割合が45.7%となっています。

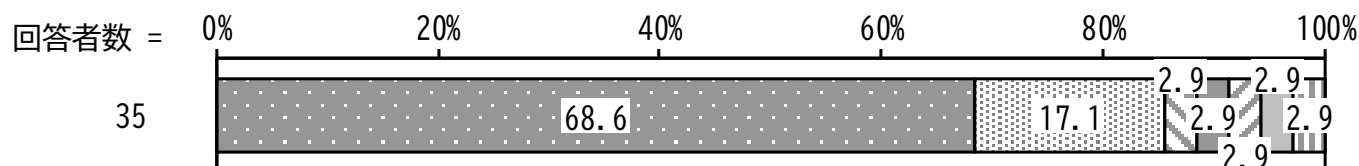
回答者数 = 35



問13 介護支援専門員1人当たりの担当件数は次のどれにあてはまりますか。貴事業所にて介護支援専門員を配属していない場合は、「介護支援専門員はいない」を回答ください。【1つを選択】

「介護支援専門員はいない」の割合が68.6%と最も高く、次いで「30件未満」の割合が17.1%となっています。

- 介護支援専門員はいない
- 30件未満
- 30～35件未満
- 35～40件未満
- 40～50件未満
- 50～60件未満
- 60件以上
- 無回答

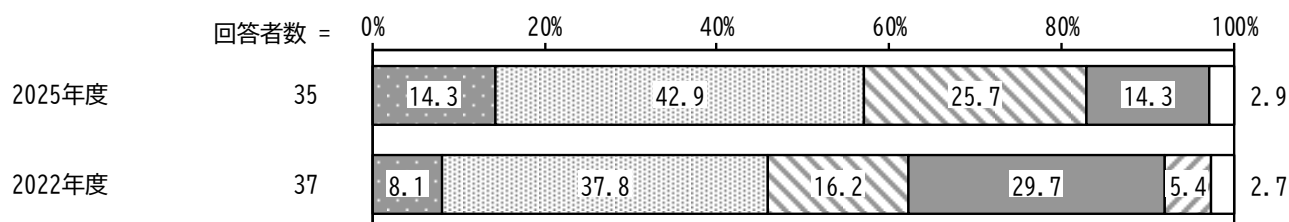


問 14 貴事業所の利用者数はどのような状況ですか。【1つを選択】

「若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「減少傾向にある」の割合が 25.7%、「増加傾向にある」、「増える時もあるが減る時もある」の割合が 14.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「増加傾向にある」「若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである」「減少傾向にある」の割合が増加しています。一方、「増える時もあるが減る時もある」の割合が減少しています。

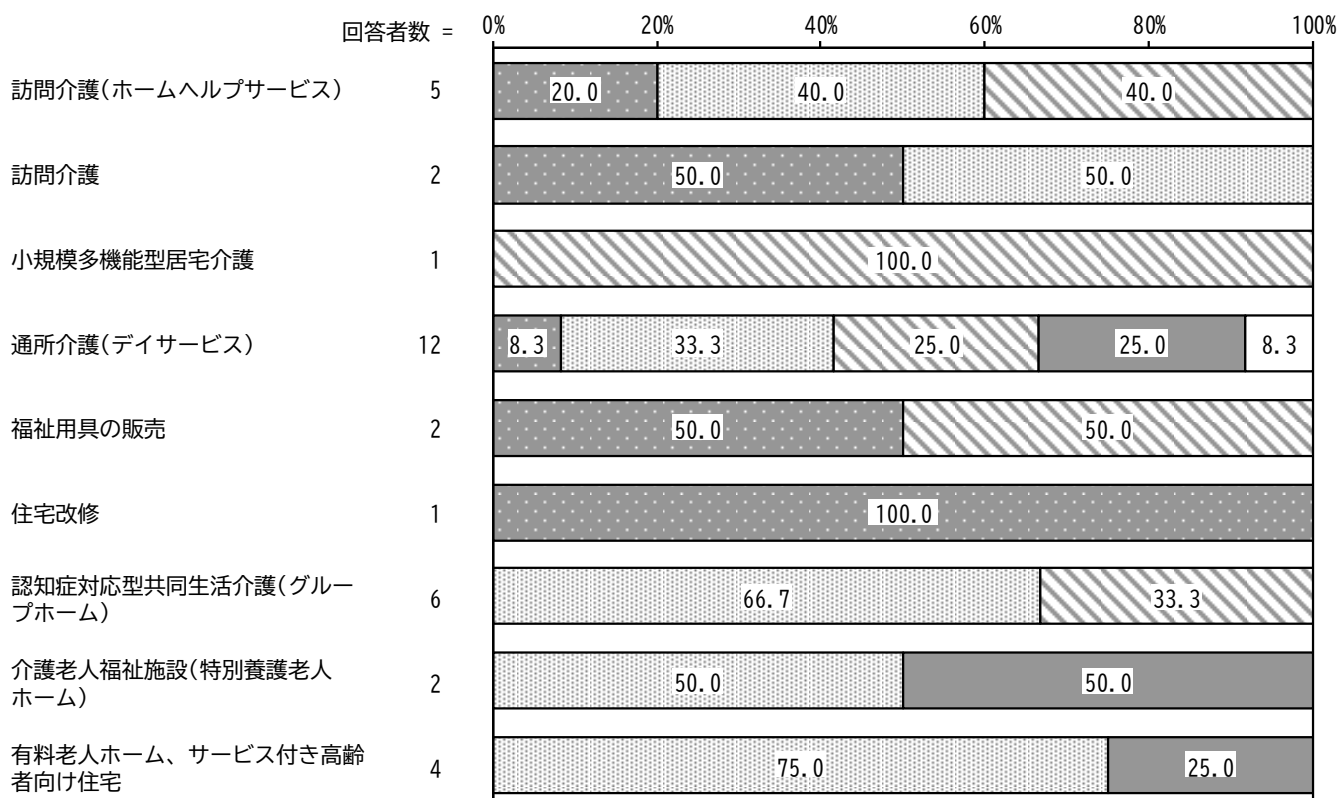
- ☒ 増加傾向にある
- ☒ 若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである
- ☒ 減少傾向にある
- ☒ 増える時もあるが減る時もある
- ☒ その他
- ☐ 無回答



【サービス種別】

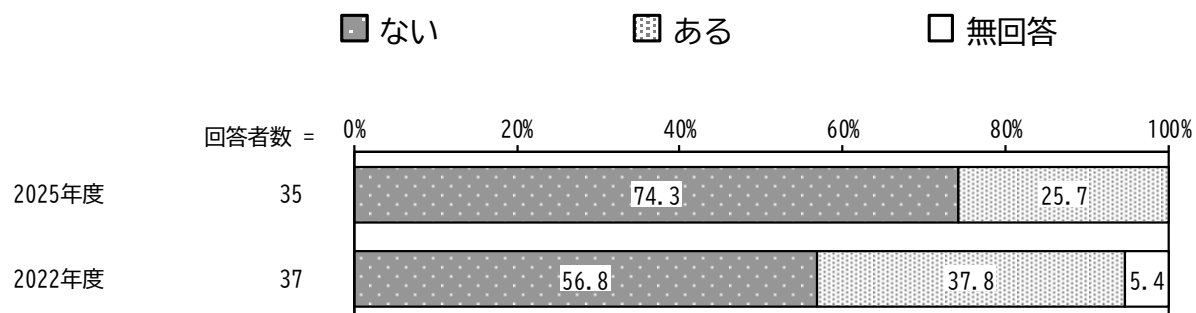
サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

- ☒ 増加傾向にある
- ☒ 若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである
- ☒ 減少傾向にある
- ☒ 増える時もあるが減る時もある
- ☒ その他
- ☐ 無回答



問 15 過去 1 年間で、介護サービスの提供を断ったことがありますか。【1 つを選択】

「ない」の割合が 74.3%、「ある」の割合が 25.7%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



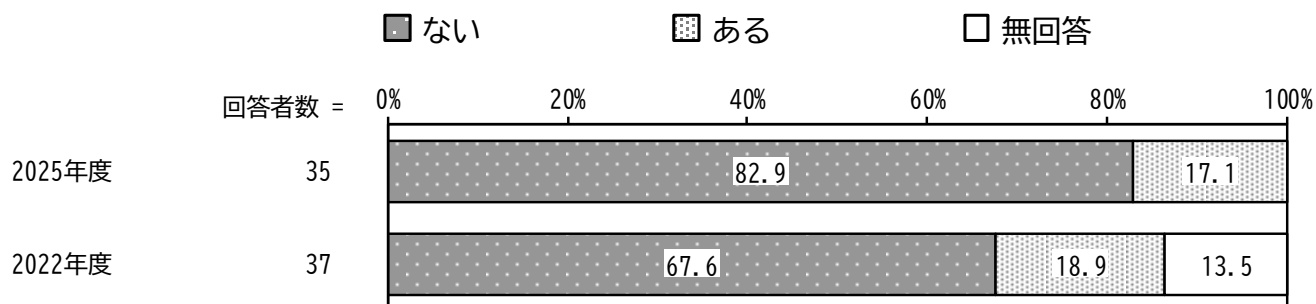
問 15-1 その理由は何ですか。【自由記述】

〔問 15 で【2. ある】を選んだ方のみご回答ください。〕

- ・ 空がない時。
- ・ 定員がいっぱいの際や勤務時間を超えるサービスの希望があった時。
- ・ 依頼された方の体格が大きく体の動きが低下して見える方の身体介護（入浴介助）。依頼者の安全確保が難しいと考え別の方法での入浴の機会を提案。
- ・ 突発的な急な依頼に、対応が難しく、お断りすることがある。（介護タクシー）
- ・ スタッフの不足。
- ・ 提供可能人数の上限に達していた。または、重度の認知症や医療行為があり、対応が不可能であったため。
- ・ 職員の数が不足したい時期と定員が上限であったとき。
- ・ 公平負担の原則に反する介護サービス費の未払い。

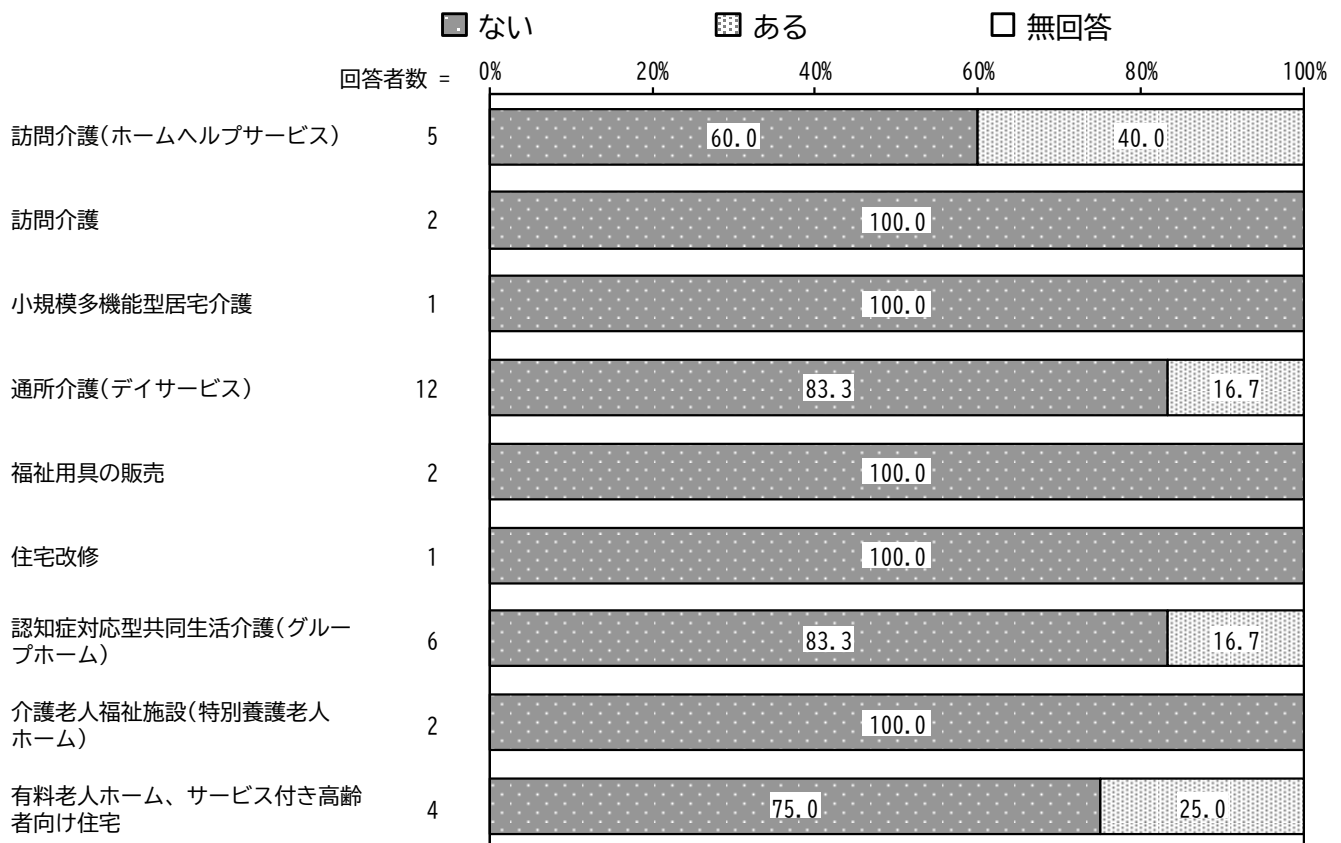
問 16 過去 1 年間で、介護サービス計画にないサービスの提供を利用者から求められたことがありますか。【1 つを選択】

「ない」の割合が 82.9%、「ある」の割合が 17.1%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。



問 16-1 どのようなサービス内容でしたか。【自由記述】

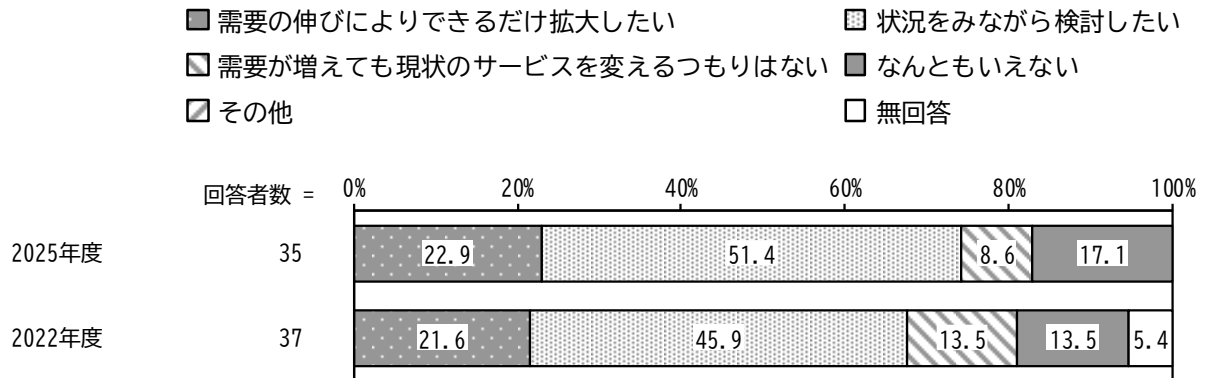
〔問 16 で【2. ある】を選んだ方のみご回答ください。〕

- ・ 買い物やおつかいのようなもの。(断ったため行ってはいない)
- ・ 毎日の外出。(散歩・買い物)
- ・ 無償で自費サービスの要求。
- ・ 畑の野菜の収穫。普段利用していない部屋の掃除など。
- ・ 支度準備。
- ・ 他県へ人探しのための送り迎え同行サービス。携帯電話解約、口座開設、年金受取口座変更の手続き代行サービス。家族旅行の事故対応の応援サービス。待機遺体安置サービス。

問 17 貴事業所では、令和8年度以降の介護保険サービスの提供をどのようにお考えですか。【1つを選択】

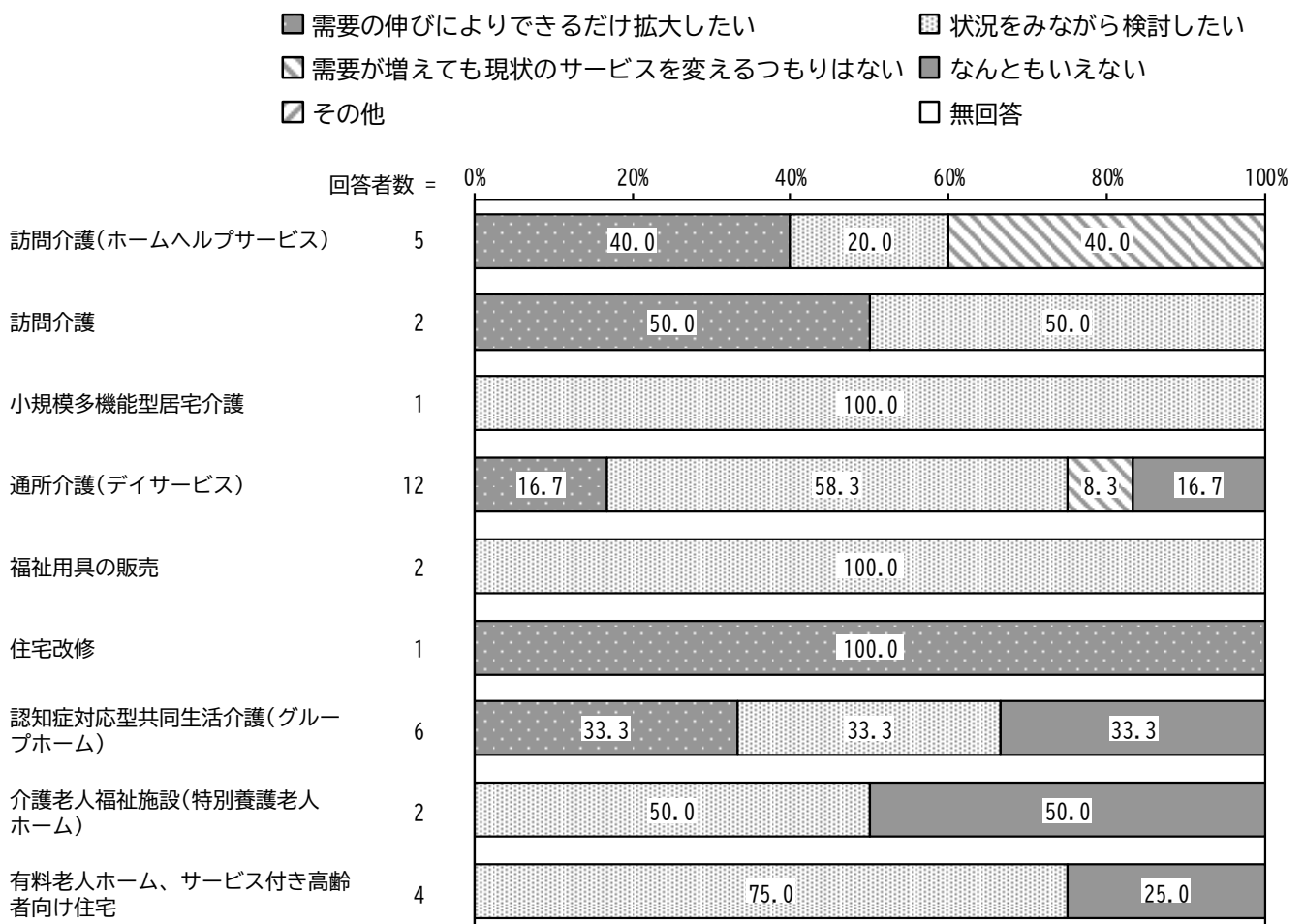
「状況をみながら検討したい」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「需要の伸びによりできるだけ拡大したい」の割合が 22.9%、「なんともいえない」の割合が 17.1%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「状況をみながら検討したい」の割合が増加しています。



【サービス種別】

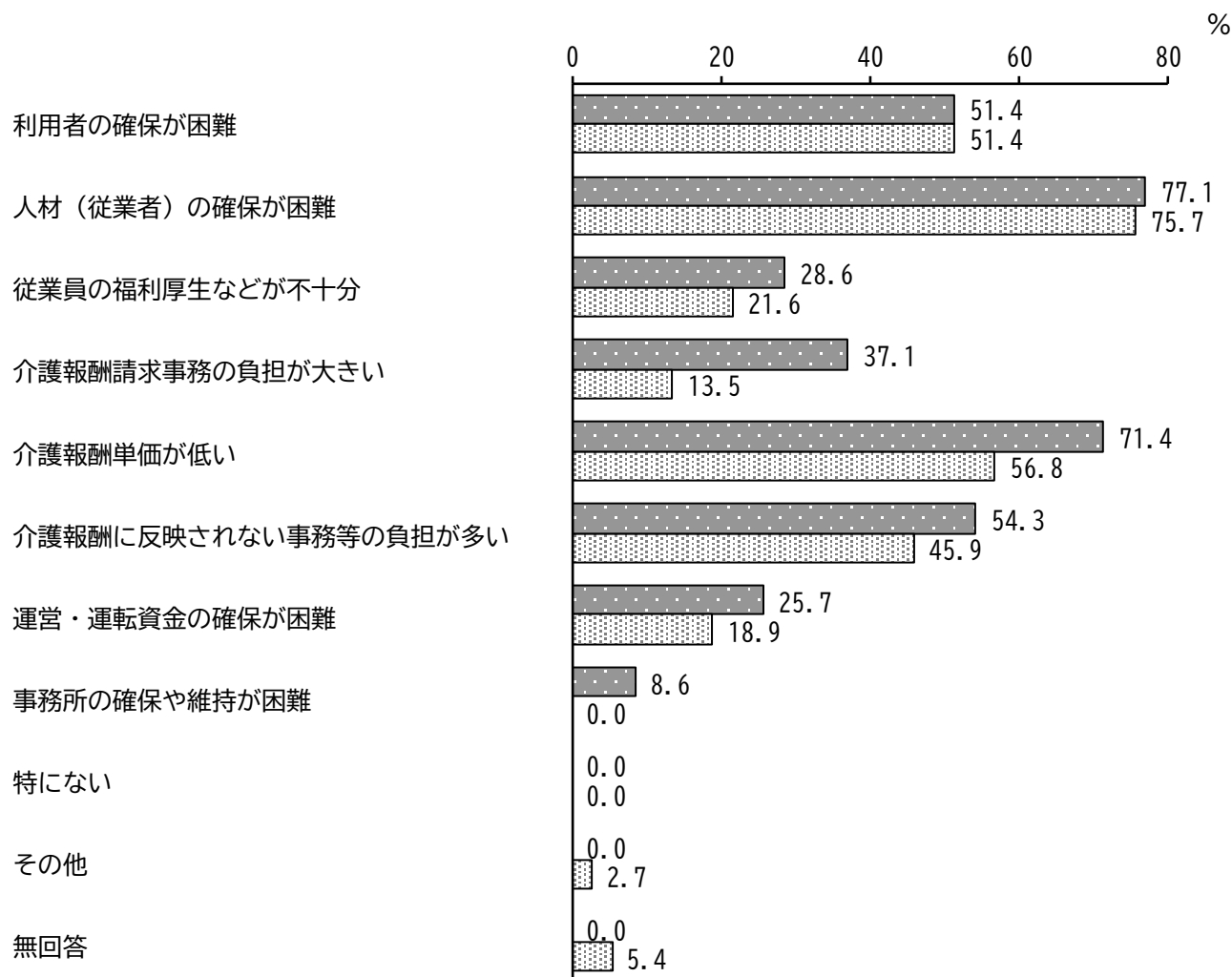
サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。



問 18 介護保険サービス事業を行ううえで、問題点や課題はどれですか。【複数選択可】

「人材（従業者）の確保が困難」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「介護報酬単価が低い」の割合が 71.4%、「介護報酬に反映されない事務等の負担が多い」の割合が 54.3%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「従業員の福利厚生などが不十分」「介護報酬請求事務の負担が大きい」「介護報酬単価が低い」「介護報酬に反映されない事務等の負担が多い」「運営・運転資金の確保が困難」「事務所の確保や維持が困難」の割合が増加しています。

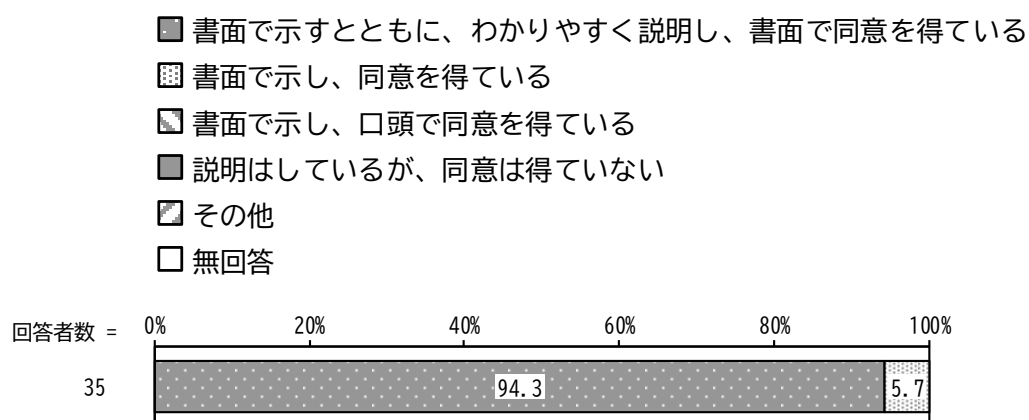


■ 2025年度
(回答者数 = 35)

▨ 2022年度
(回答者数 = 37)

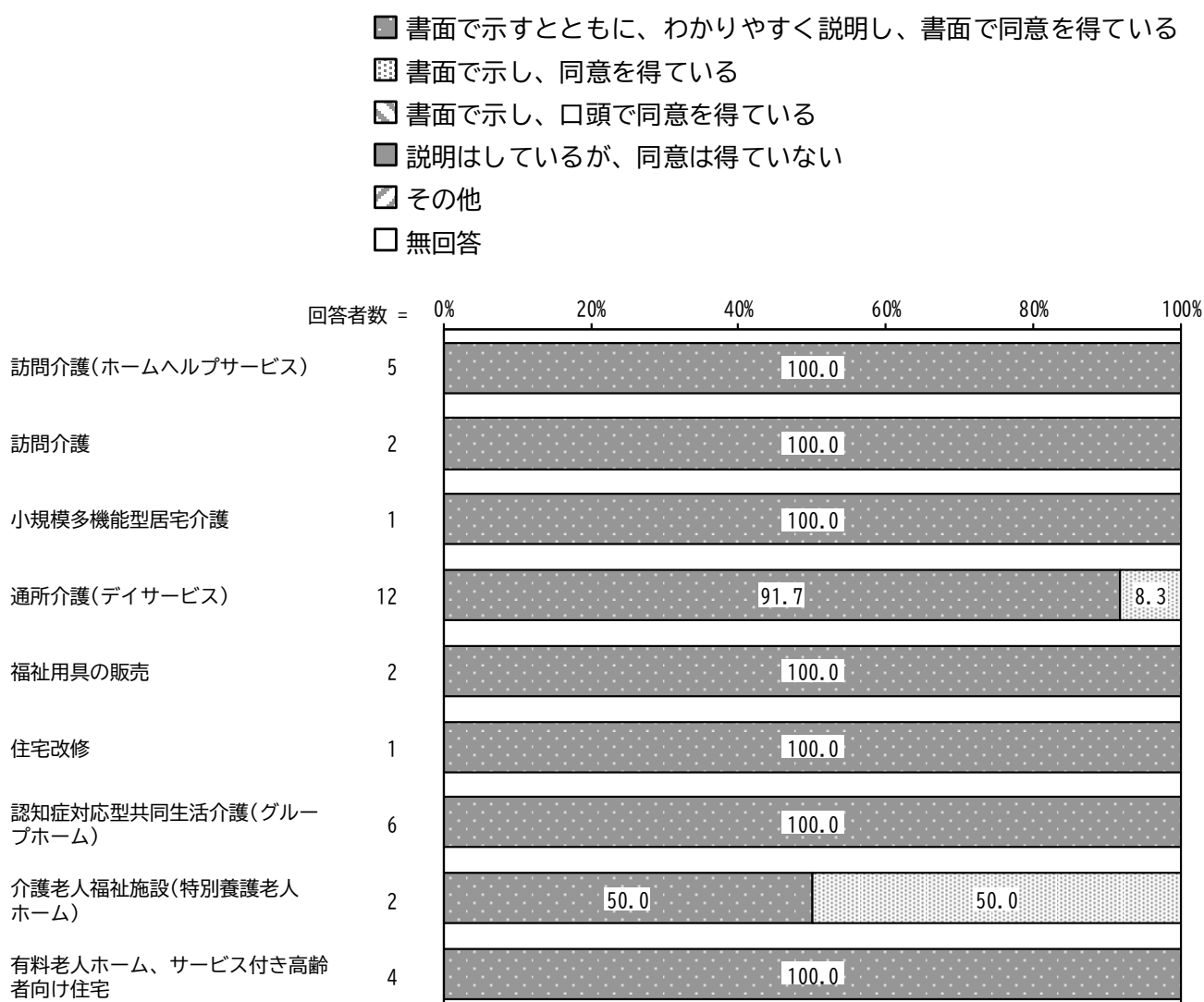
問 19 貴事業者では、介護サービスの提供にあたり、内容、手続きなどに関して対象者へどのような説明を実施していますか。【1つを選択】

「書面で示すとともに、わかりやすく説明し、書面で同意を得ている」の割合が 94.3%と最も高くなっています。



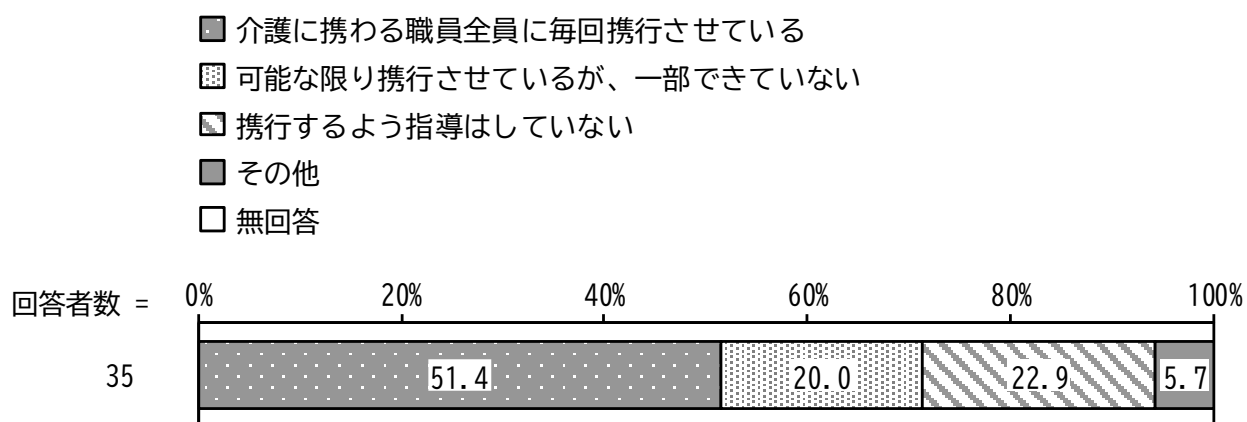
【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。



問 20 介護に携わる職員に身分を証明する書類を携行させていますか。【1つを選択】

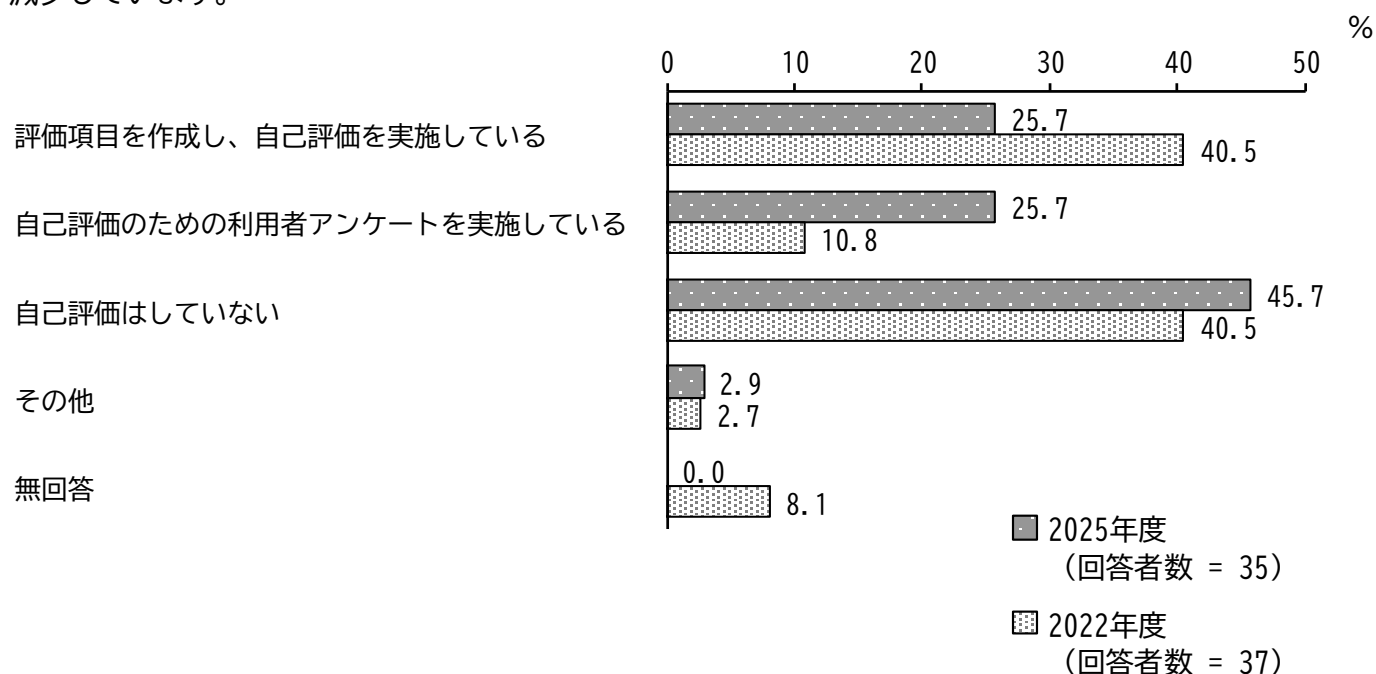
「介護に携わる職員全員に毎回携行させている」の割合が 51.4%、「可能な限り携行させているが、一部できていない」の割合が 20.0%、「携行するよう指導はしていない」の割合が 22.9%となっています。



問 21 貴事業所では、サービスの自己評価をしていますか。【複数選択可】

「評価項目を作成し、自己評価を実施している」、「自己評価のための利用者アンケートを実施している」の割合が 25.7%、「自己評価はしていない」の割合が 45.7%となっています。

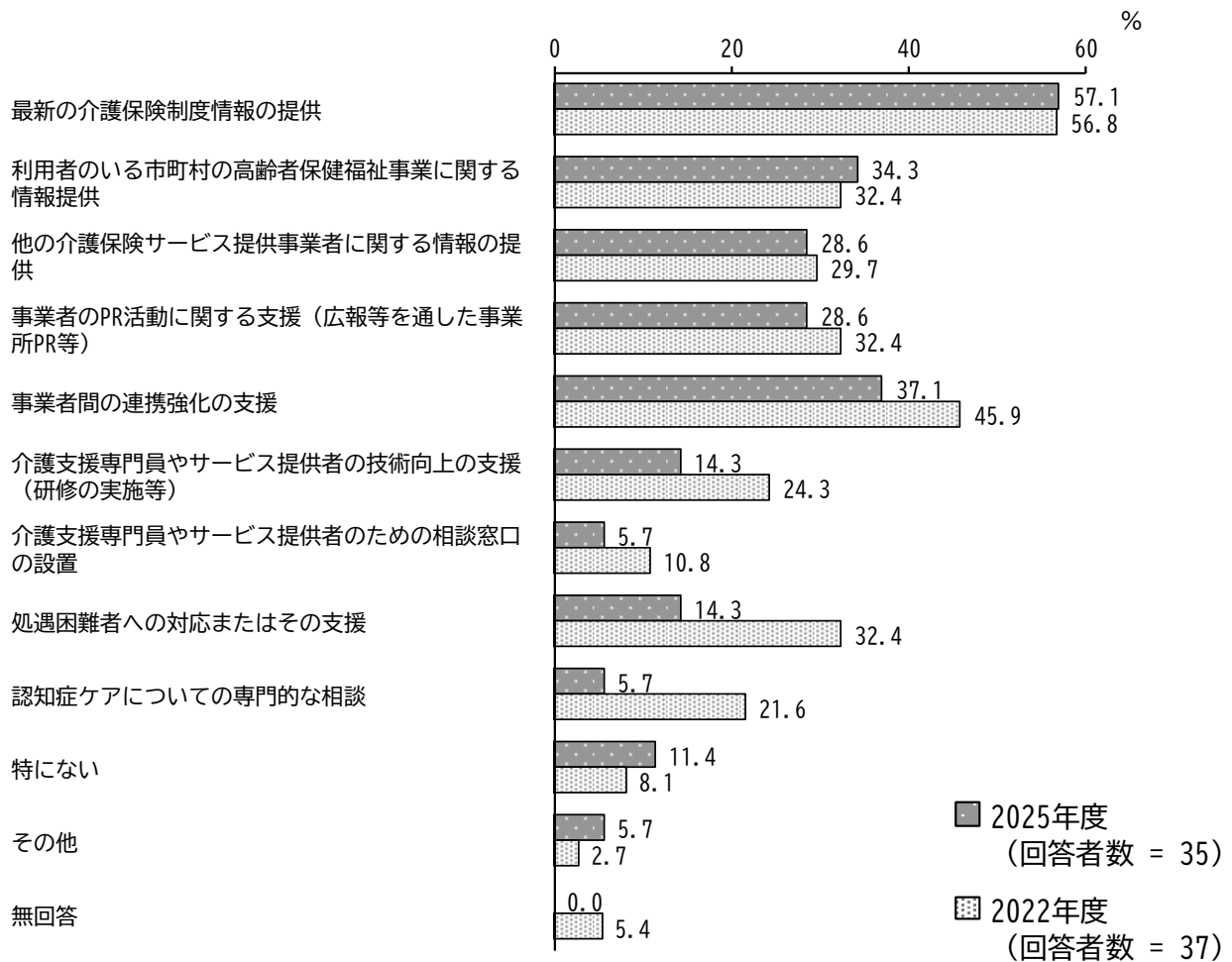
2022 年度調査と比較すると、「自己評価のための利用者アンケートを実施している」「自己評価はしていない」の割合が増加しています。一方、「評価項目を作成し、自己評価を実施している」の割合が減少しています。



問 22 介護保険サービス事業を行ううえで、行政に支援等をしてほしいことはどれですか。
【複数選択可】

「最新の介護保険制度情報の提供」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「事業者間の連携強化の支援」「利用者のいる市町村の高齢者保健福祉事業に関する情報提供」の割合が高くなっています。

2022 年度調査と比較すると、「事業者間の連携強化の支援」「処遇困難者への対応またはその支援」「認知症ケアについての専門的な相談」等の割合が減少しています。



【サービス種別】

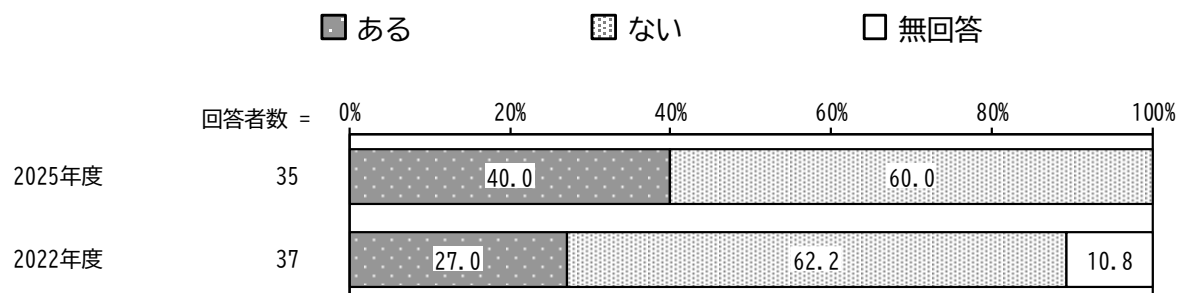
サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

区分	回答者数（件）	最新の介護保険制度情報の提供	利用者のいる市町村の高齢者保健福祉事業に関する情報提供	他の介護保険サービス提供事業者に関する情報の提供	事業者のPR活動に関する支援（広報等を通じた事業所PR等）	事業者間の連携強化の支援	介護支援専門員やサービス提供者の技術向上の支援（研修の実施等）
全 体	35	57.1	34.3	28.6	28.6	37.1	14.3
訪問介護（ホームヘルプサービス）	5	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0
訪問介護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
小規模多機能型居宅介護	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
通所介護（デイサービス）	12	58.3	25.0	25.0	16.7	33.3	8.3
福祉用具の販売	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住宅改修	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	6	83.3	33.3	16.7	33.3	66.7	16.7
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	2	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	4	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

区分	介護支援専門員やサービスの提供者のための相談窓口の設置	処遇困難者への対応またはその支援	認知症ケアについての専門的な相談	特にない	その他	無回答
全 体	5.7	14.3	5.7	11.4	5.7	0.0
訪問介護（ホームヘルプサービス）	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護（デイサービス）	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0
福祉用具の販売	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
住宅改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

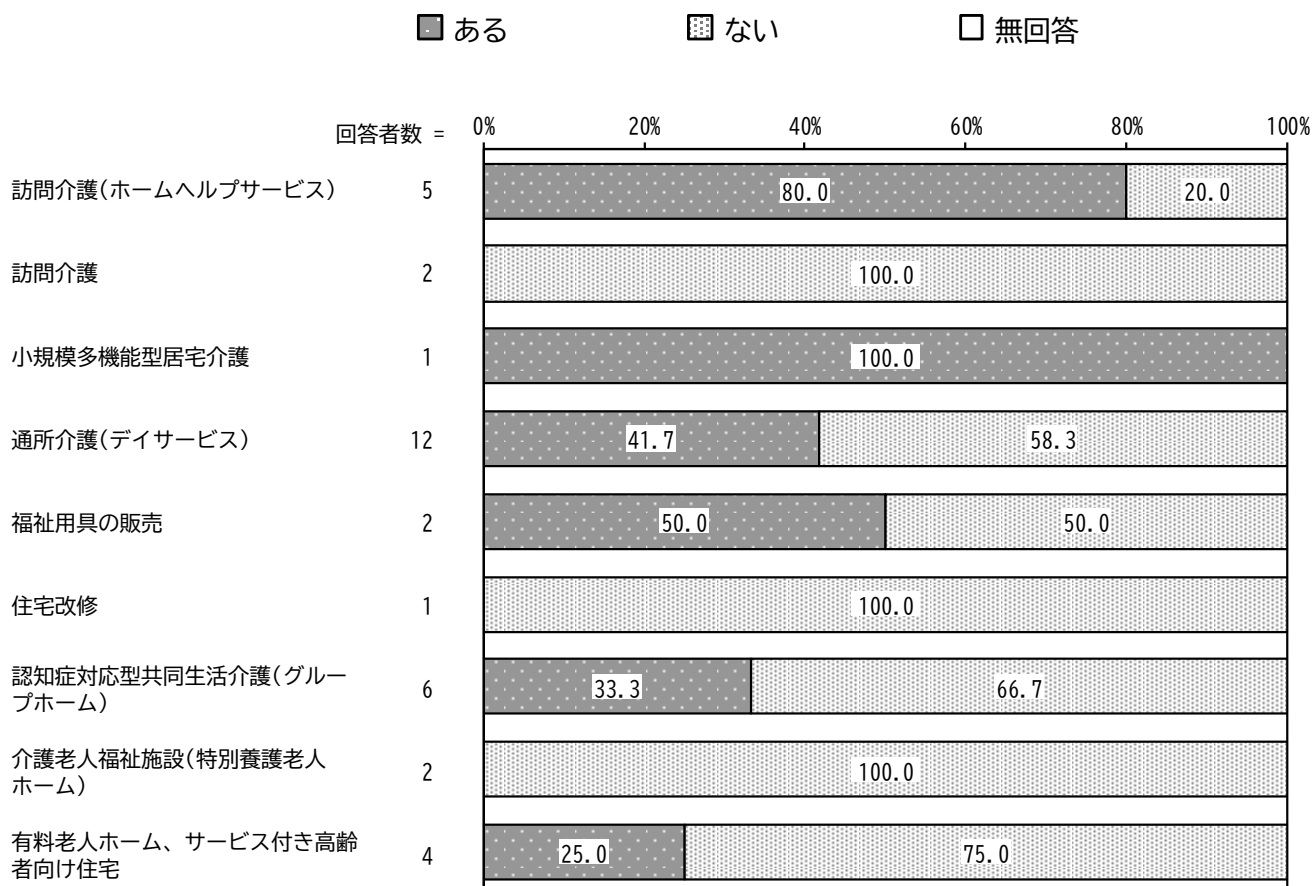
問 23 貴事業所では、地域包括支援センターに相談等したことがありますか。

「ある」の割合が 40.0%、「ない」の割合が 60.0%となっています。
2022 年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

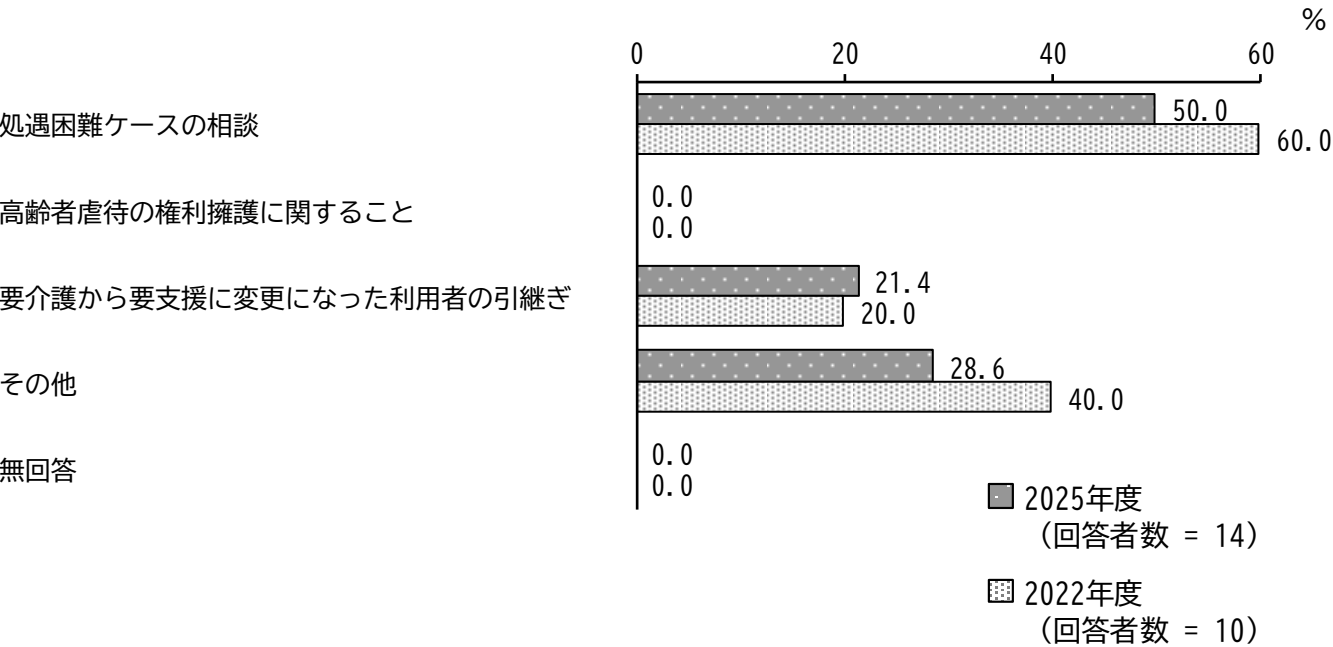


※問 23 で【ある】を選んだ方のみ回答ください。

問 23－１ どのようなことで地域包括支援センターに相談しましたか。【複数選択可】

「処遇困難ケースの相談」の割合が 50.0%、「要介護から要支援に変更になった利用者の引継ぎ」の割合が 21.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「処遇困難ケースの相談」の割合が減少しています。



【サービス種別】

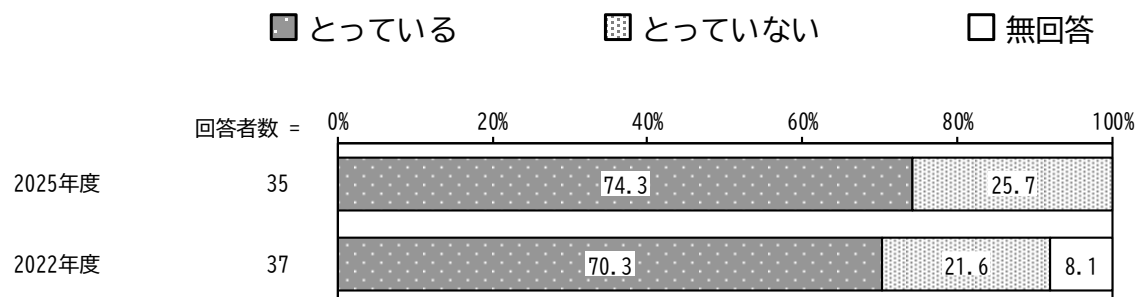
サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

単位：％

区分	回答者数（件）	処遇困難ケースの相談	高齢者虐待の権利擁護に関すること	要介護から要支援に変更になった利用者の引継ぎ	その他	無回答
全 体	14	50.0	0.0	21.4	28.6	0.0
訪問介護(ホームヘルプサービス)	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護(デイサービス)	5	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0
福祉用具の販売	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24 利用者の病状や健康状態について主治医と連絡をとっていますか。【1つを選択】

「とっている」の割合が 74.3%、「とっていない」の割合が 25.7%となっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※問 24 で【とっていない】を選んだ方のみご回答ください。

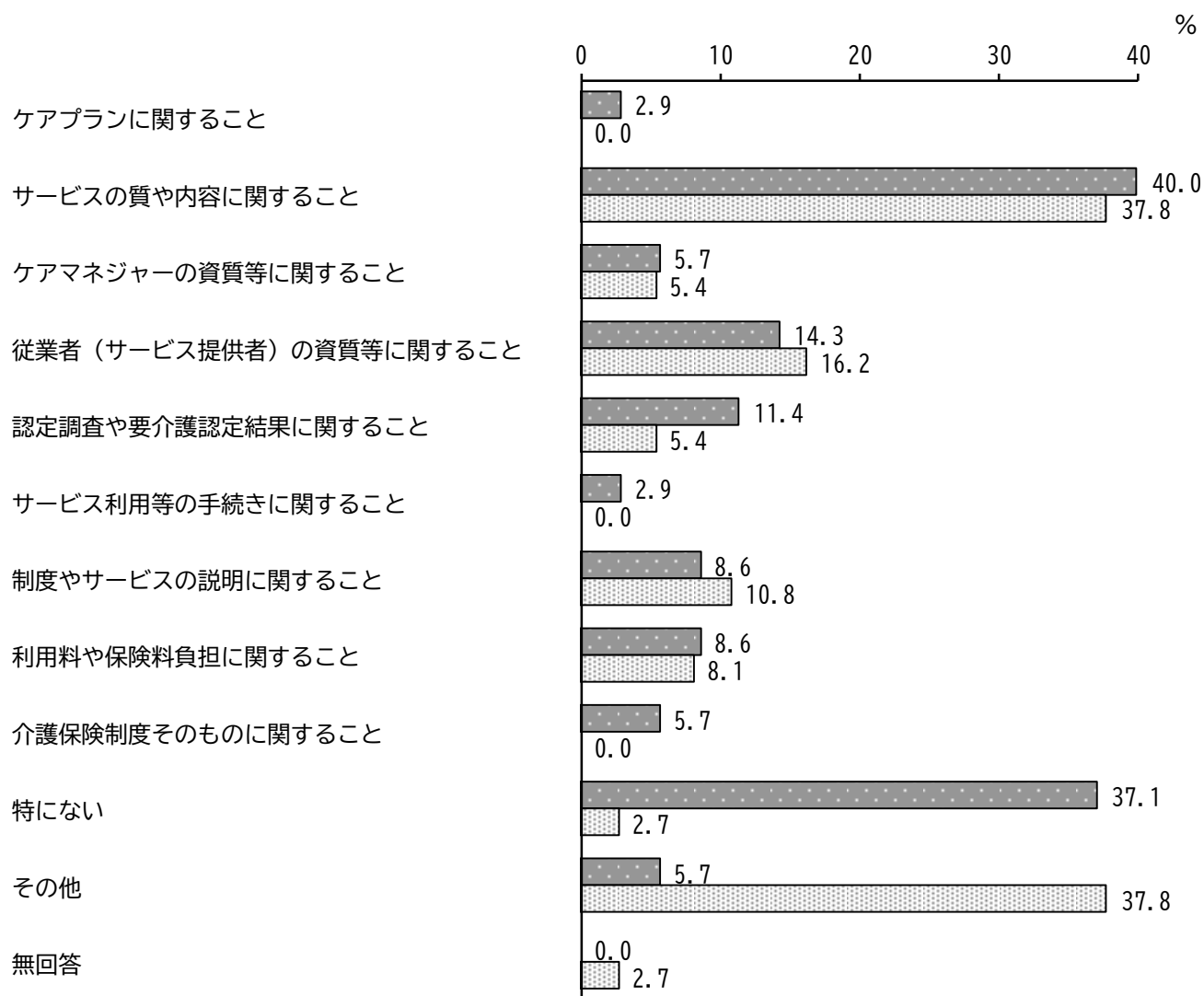
問 24-1 その理由は何ですか。【自由記述】

- ・ ケアマネと家族に全て報告しているため。
- ・ 主治医に直接というよりは、ケアマネ又はご家族を通して連絡をとっている。
- ・ 診断書の提出にて基本的な状況は確認出来るため、直接連絡する事はないがどうしても必要な際はケアマネを通して情報を収集している。
- ・ 主治医と直接的な連絡はしていない。
- ・ 利用者の担当介護支援専門員を介して情報のやり取りや連携が出来ているため。
- ・ 緊急で取る要件がなかったこと。家族を介し必要な情報はいただいている。
- ・ 主治医も診療があるため、こちらからの連絡に対応できない。繋いでもらえない。

問 25 貴事業所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中からお答えください。【5つまで選択】

「サービスの質や内容に関すること」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」の割合が 14.3%、「認定調査や要介護認定結果に関すること」の割合が 11.4%となっています。

2022 年度調査と比較すると、「認定調査や要介護認定結果に関すること」「介護保険制度そのものに関すること」の割合が増加しています。



■ 2025年度
(回答者数 = 35)

▨ 2022年度
(回答者数 = 37)

【サービス種別】

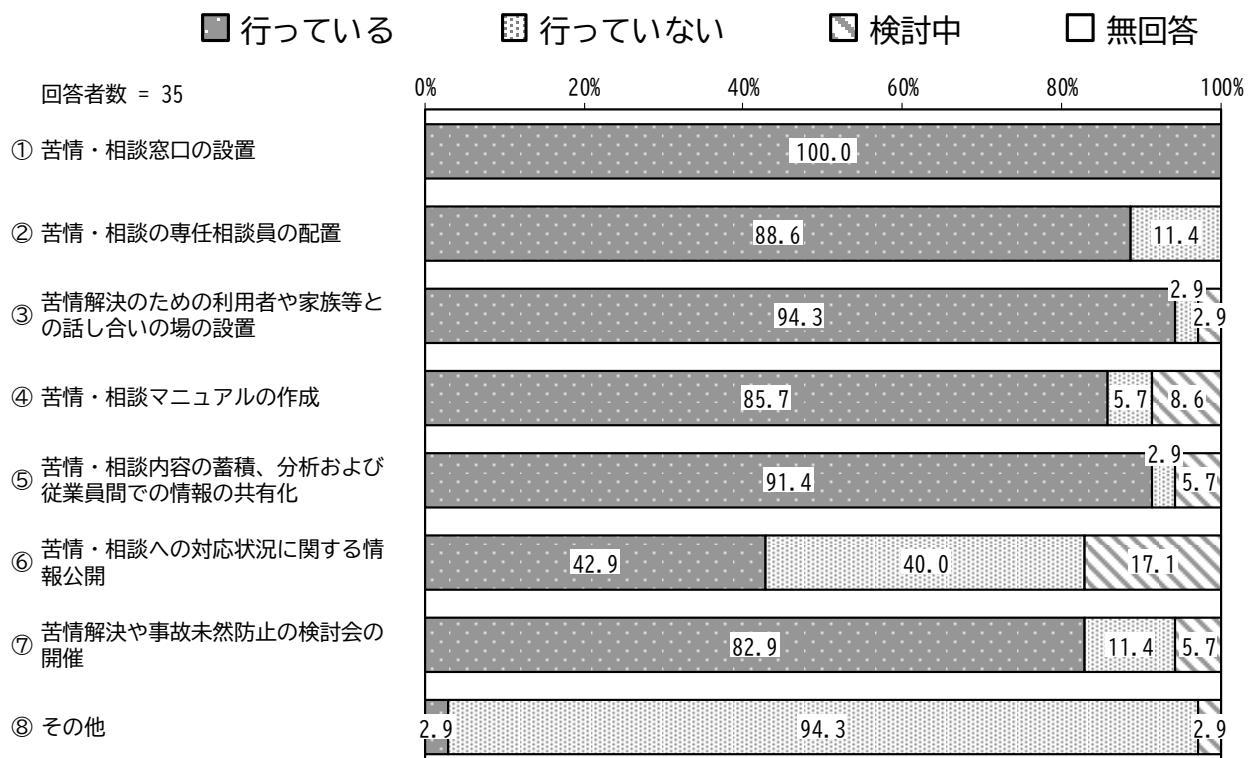
サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

単位：％

区分	回答者数（件）	ケアプランに関すること	サービスの質や内容に関すること	ケアマネジャーの資質等に関すること	従業者（サービス提供者）の資質等に関すること	認定調査や要介護認定結果に関すること	サービス利用等の手続きに関すること	制度やサービスの説明に関すること	利用料や保険料負担に関すること	介護保険制度そのものに關すること	特にない	その他	無回答
全 体	35	2.9	40.0	5.7	14.3	11.4	2.9	8.6	8.6	5.7	37.1	5.7	0.0
訪問介護（ホームヘルプサービス）	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
訪問介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
通所介護（デイサービス）	12	8.3	58.3	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
福祉用具の販売	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
住宅改修	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	2	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	4	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0

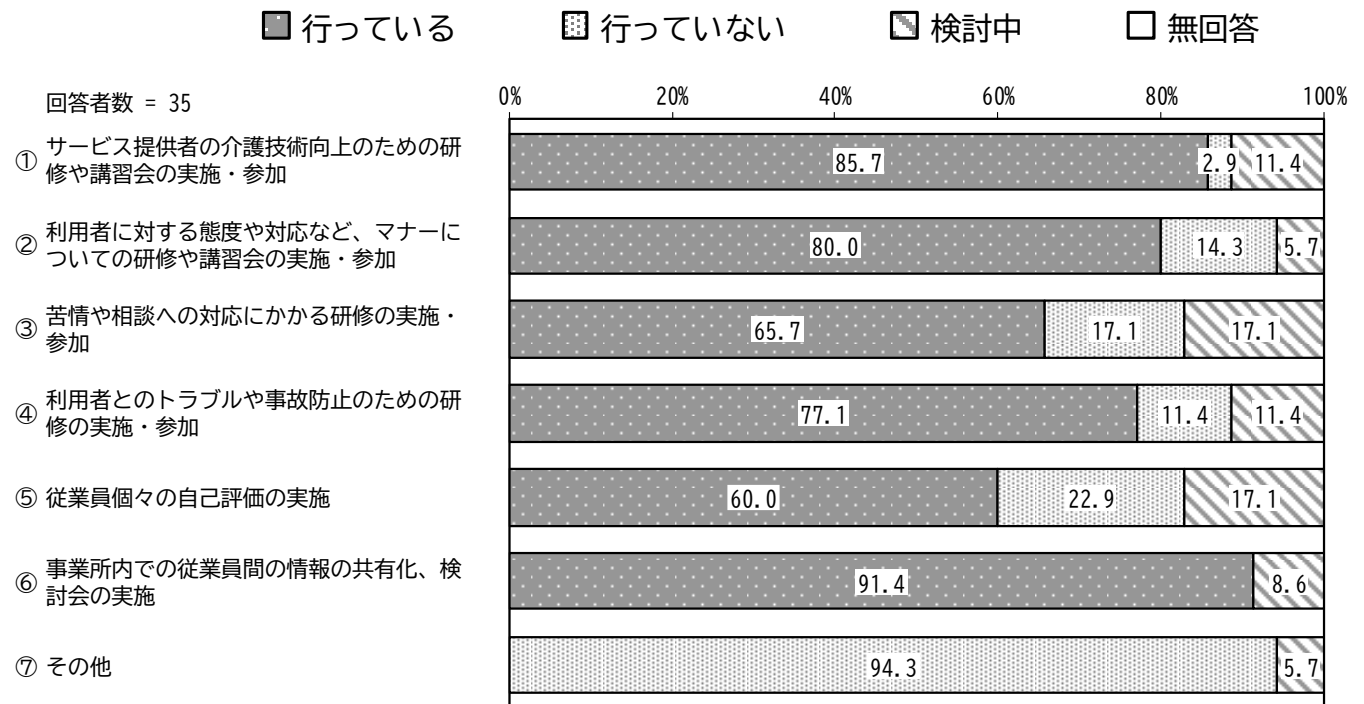
問 26 サービス利用者や家族からの苦情や相談に対する取り組みについて、各項目について該当するものを選択してください。【それぞれ1つを選択】

『①苦情・相談窓口の設置』で「行っている」が、『⑧その他』で「行っていない」が、『⑥苦情・相談への対応状況に関する情報公開』で「検討中」が高くなっています。



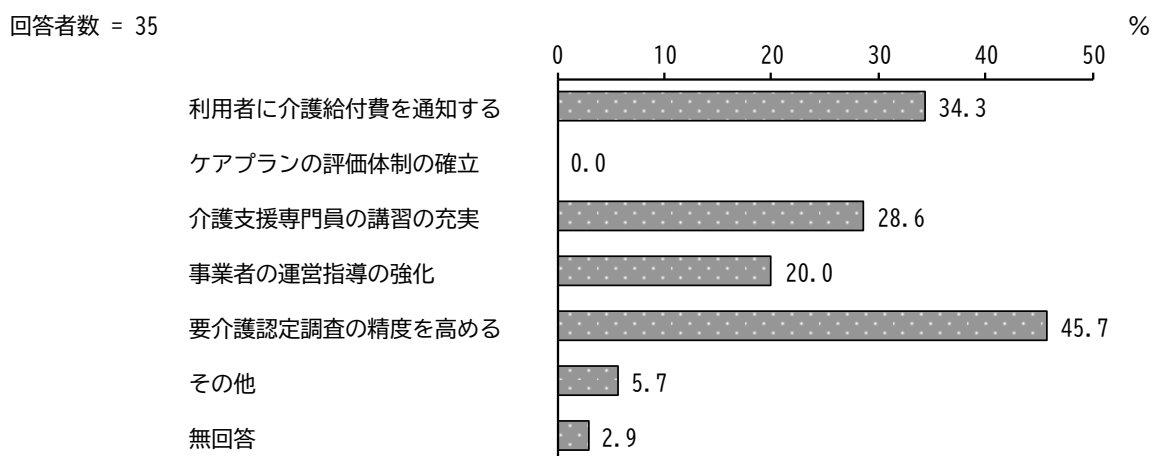
問 27 従業員のサービスの質の確保・向上を図るための取り組みについて、各項目について該当するものを選んでください。【それぞれ1つを選択】

『⑥事業所内での従業員間の情報の共有化、検討会の実施』で「行っている」が、『⑦その他』で「行っていない」が、『③苦情や相談への対応にかかる研修の実施・参加』『⑤従業員個々の自己評価の実施』で「検討中」が高くなっています。



問 28 介護給付や介護予防給付の適正化に向けて、どのようなことが大切だと思いますか。【複数選択可】

「要介護認定調査の精度を高める」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「利用者に介護給付費を通知する」の割合が 34.3%、「介護支援専門員の講習の充実」の割合が 28.6%となっています。



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用者 に介護 給付 費を 通知 する	ケア プラン の 評価 体制 の 確立	介護 支援 専門 員の 講習 の 充実	事業 者の 運 営 指 導 の 強 化	要 介 護 認 定 調 査 の 精 度 を 高 め る	そ の 他	無 回 答
全 体	35	34.3	0.0	28.6	20.0	45.7	5.7	2.9
訪問介護(ホームヘルプサービス)	5	60.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
訪問介護	2	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
通所介護(デイサービス)	12	25.0	0.0	25.0	8.3	83.3	0.0	0.0
福祉用具の販売	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
住宅改修	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	6	33.3	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	4	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0

※問 28 で【ケアプランの評価体制の確立】を選んだ方のみ回答ください。

問 28－1 ケアプランのチェックについて、必要だと思いますか。【1 つを選択】

有効回答がありませんでした。

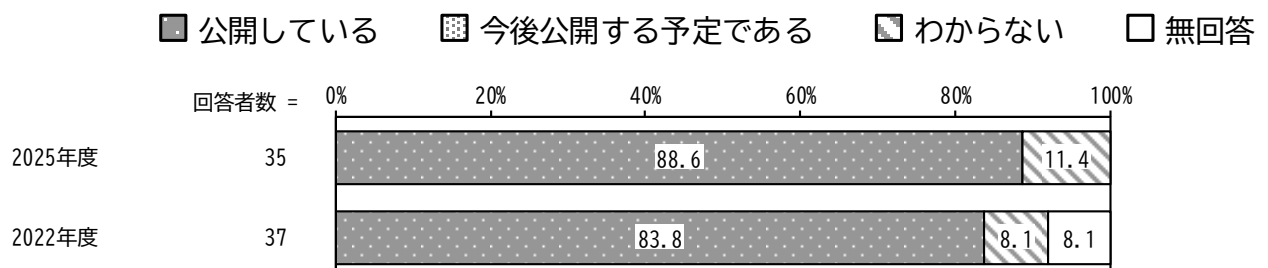
※問 28－1 で【必要でない】を選んだ方のみ回答ください。

問 28－2 どのような理由から必要でないと思いますか。

有効回答がありませんでした。

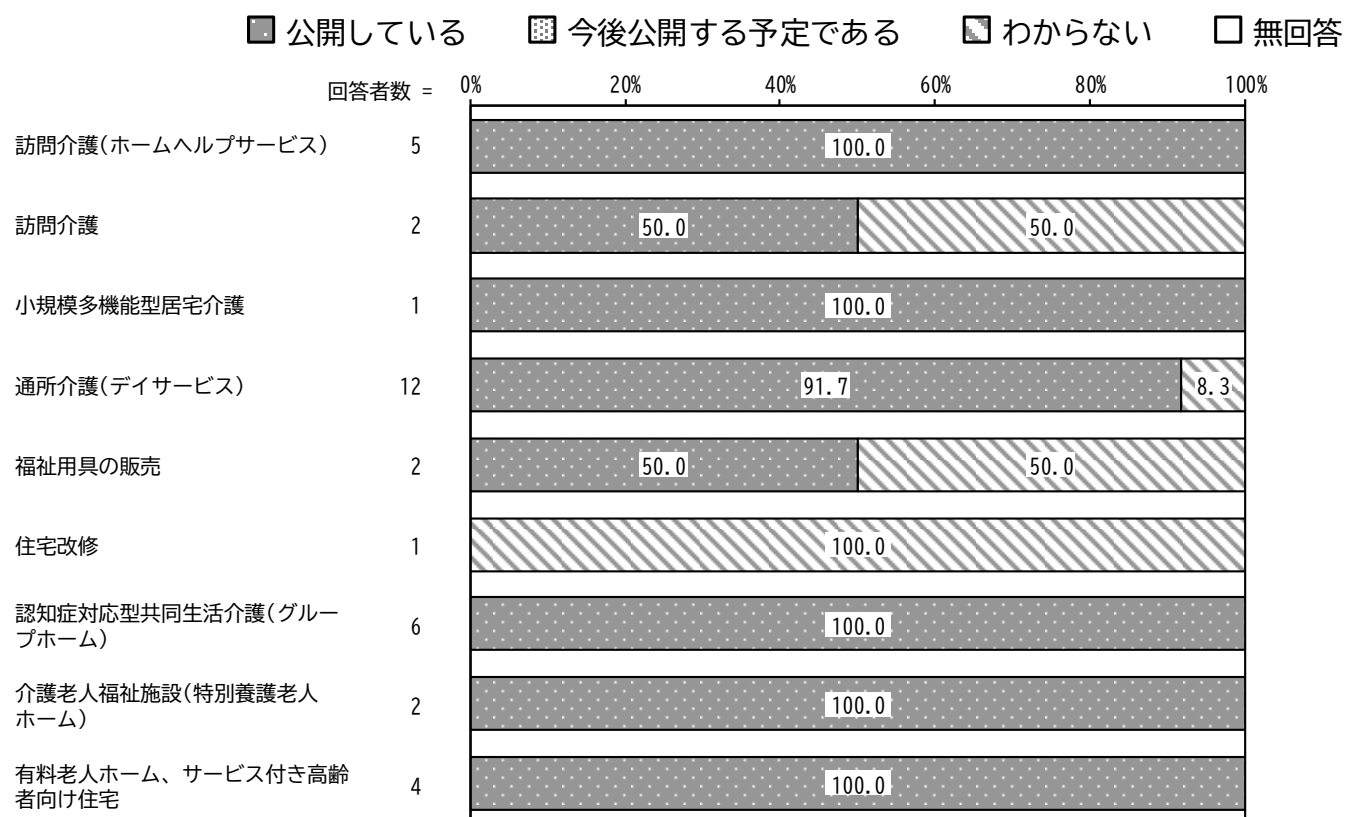
問 29 貴事業所における情報を公開していますか。【1 つを選択】

「公開している」の割合が 88.6%となっています。
2022 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【サービス種別】

サービス種別の内訳は、次のとおりです（回答があった事業所のみ抜粋）。



問 30 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 瑞浪市介護外国人人材が多いため、相談窓口の設置と、日本語教室支援、介護技術、医療用語の学習支援教室、外国人を育成する際の日本人コミュニケーション力を高める研修を事業所間で集まって行うことで効率的に行える。現場だけの努力には限界がある。
- ・ 介護職員の人員が不足している中、これからの介護技術は介護ロボットやＩＣＴを活用して、長く働ける環境づくりが必要なため、介護ロボット等の補助金を全額出して頂き、安心、安全な介護ができれば良い。
- ・ 外国人人材が瑞浪市でたくさん活躍しています。利用者や家族から安心していただくために、頑張っている姿や勉強している風景を瑞浪市広報などに掲載して頂き、知っていただくことができるとう良い。
- ・ 身寄りのない受け入れ支援やお金のない方の支援が従来型特養に集まる傾向のため、今後このような方などの勉強会を病院関係、福祉関係機関、行政も一緒にマニュアルなど作成して、利用者、事業所が安心して暮らしていけると良い。
- ・ このアンケートに答えるのに時間を割いている。単なる「カタチ」だけで終わらせて欲しくない。従業員の賃金上昇及び物価高に対して報酬が見合っていない。このままだと総合事業から撤退せざるを得ない判断をしなくてはならない。
- ・ 高齢福祉課の職員さんは、１ヶ月でも介護の現場を経験してほしい。「エッセンシャルワーカー」と勝手に呼び名を付けられて、社会に必要不可欠な仕事だとただ言っているだけで、何の評価（支援）もない。多治見市は介護施設に物価高騰の助成金を出している。
- ・ 団塊世代が過ぎれば事業所の閉鎖が相次ぎ、介護員の確保も必要ないため概ね現状維持で構わないが、人員配置基準や保有資格制限の緩和を願いたい。

瑞浪市介護に関するアンケート調査結果報告書

発行年月：令和8（2026）年6月

発 行：瑞浪市 健康福祉部 高齢福祉課

住 所：〒509-6195 岐阜県瑞浪市上平町1丁目1番地

電 話：0572-68-2111

F A X：0572-68-1278

U R L：<https://www.city.mizunami.lg.jp>